



COLLECTION ORIENTAL

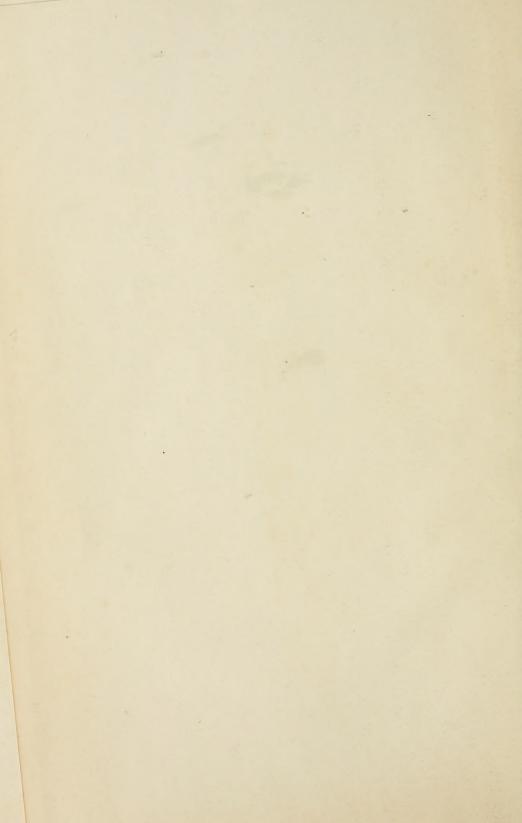


2VA EBVACISCO
WEDICVT CEALER TIBBYBE

ANIAEBSILK OF CALIFORMIA

第十二

春剧堂薰动



第十二

· non - 4:42 , 5 2



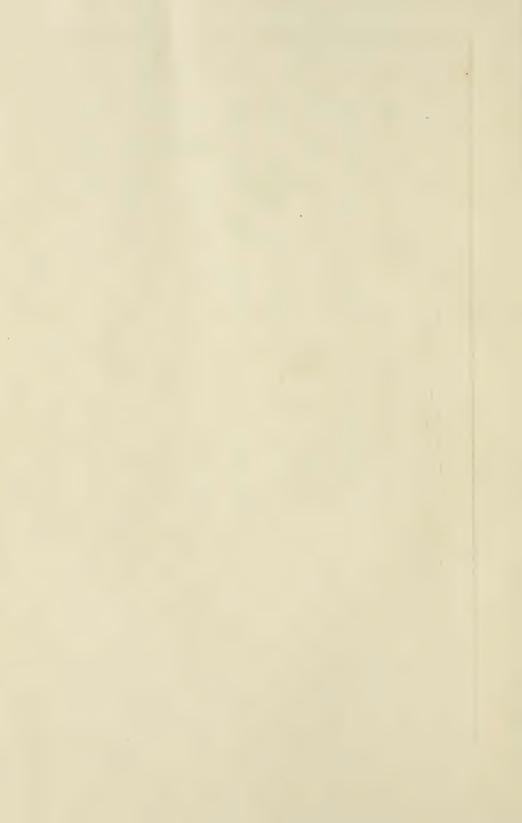
周 鹽 蘭 孝 孝 孝 馨 驛 劉 間 宝 宝 宝 宝 宝 文

A 调 源 댎 源 原末 绰 趣 X 工 王 斛 昌 宗 쾳 真 带 X 昌 纖 林 田 理 林 * # 野 XC 日 李 HH. * 妆 图 关 * 念 飷 **野車車車** 正庫車工 田 南 動 工



題結園點本草瞬目第十二冊例

- 第 颜 逐 減 酸·富 围 홽 潤 土 彩 0 + Ŧ 常 颜 里李 上于 悉 + Ŧ 集 썖 24 淵 7 目 雄 鰡 孙 京 R 쌺 * 71 Y 21 弘 111 _ * + IF
- 。據 脏 亚 54 24 3 黑 器 9 赛 Ŧ 重 图 * 米 2 # P 日 2 剩 길빌 温 罪 2 0 W 果 71 盐 瓣 71 罪 4 0 윘분 뮢 -亭 0 3 恙 禄 Ш 21 是 TIT 渊 即 £ 级 12 A
- 4 鱼 * 2 干 H 雷 責 部 2 7 7 H 悬 21 R 7 女 2 孙 7 0 7 7 Ŧ 류 TE 71 味 0 劃 8 H 2 團 迷 71 21 X, 实 杂 杂 0 0 女 正 性 4 岁 * 富 0 ゴジュ 7 酥 0 34 7 21 7 目 慧 54 54 7 五 漆 正 7 重 21
- 五 9 知 21 獐 媂 0 Ŧ 亩 37 4 * 2 ~ 1 FI 公司 杂 0 [1] 34 話 7 2 21 6 舶 闇 R 21 H 型 責 7 2 岁 7 畲 岁 岁 悬 酥 8 0 28 罪 0 頭 1 24
- 杂 排 2 级 54 0 9 9 ? \$ 2 7 2 -1111-2 0 X 铅 24 71 Z £1 紀 蠹 뷰 3 * 张 2 7 풻 菜 TF 0 漂 肝 2 21 X 2 B 训 G ~ 2 R 图 7 -[]]-R 悉 X 4 2 71 雠 0 業 刹 54 頏 五 0 灎 通 U 2 阿 2 乳 7 :4 _ 器 2 + 9 21 Ŧ T 2 目 肝 0 網 T 54 立 合 0 * 组 1/4 7 A 0 正 7 訊 李 愁 2 武 9



灣拾
学
刻 裡些
[C] · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
[0]

大畜九甲織
大客心
第
爾諸肉毒
本草縣目灣陪譲五十一勢上
雪哈第五十一条目幾

本草聯日熠陪第正十寄下

帝隊下

MOI	A[II]	<u> </u>		***	041	11¢1 ·····	图件!	441	子		**
	<u> </u>	要型	题:::::::::::::::::::::::::::::::::::::	★ 1	0件1	请	3 t	市市	计1	黄肥壓	中海
17	当		牆	7,6	智	和		逐	剛	黄肥壓	半

, , ,

八五八八十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二
[[]]
向下 端馬 茅魁 <u>苦</u> 駟
宣二
智数 译 效息
三三
[6]
国宝一
墓中 辦中 副本 日支中 山中
49
三二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二
10000000000000000000000000000000000000

水瀬	まで 三
三	
盟林選	平光三
·····································	74
国	
	001
湿風 題星 翳鬼 蛇鼠 水星 水星 麵鬼 變鬼	
圖題:	重 □ □ · · · · · · · · · · · · · · · · ·
十四.	7-100
	7/
一种,一种,一种,一种,一种,一种,一种,一种,一种,一种,一种,一种,一种,一	三二回
	# =
	7

· 1000000000000000000000000000000000000		五十一総十一総十一総十一総十一総十一総十一総十一総十一十二		選 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		游游 ———————————————————————————————————	木跡	X	0.400000000000000000000000000000000000	图计(1)		山瀬
		本草縣日熠陪謀正十一勢丁	器談下	TIC.	7.5		木 添	-CS	I	至		

7,	Comment Carlot of the Comment Carlot of the
4/100	人
	The state of the s
学	
其 介 5 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
H 1	中国 平 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三 三
所是	
A	
	香恩
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	三
	人脐资压十二零目幾
	本草隦目人脂滾丘十二彩
光 强	(年)
₩圓	
子 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	

五三	FEE 0	臺	量	T.	主	五	正	11	子至…	TE TE	Q. II	至	证	
					1									
•		:						•	•	•		[图 地址	
•							•		•	:	•			-
		•			•		:				•			
			•				•	:			•			
		:						:			•			
											•			
						•	:	•			•		•	
•					•		•				•	•	•	
	•										:		•	
				:						•	•		•	
			•	:					:		•	:	•	X
	•	•		•			•	•		•	•			田(田)
		•			•									十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十
			•	1	•			•	•			•		
									•		:		•	本
									•					題指國醫本草縣月(第十二冊)目次
														1 150
			:	: :		316	ALL STATE	•	:	•	.fl	•		
N	器器	到手	Y	天靈蓋蓋	M M	即	本生劑器	人	劉	例	木で	九	N	
	-	44			•	•••		•	6			•		

一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	7
一路日經(人中白)	IT.
+30	7
>○至····································	¥
☆	7
₩ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	24
小人月 水	192
文 <u>=</u> :	V
○壹:	0
三豆	-
图	172
==:	Œ
	Ŧ
人家	*

彩 + 王 This was 岩 淵 目 쎎 京 本

T

T

地の着であって、これ 'FI 報る地、一年2至 3 孙 初及 連 21 0 0 黃風 班 光光 12 彩 訴法法なる 東九は盆淵を攻る、 sing. あるは 光 7 開 灵 やを用うるの

道がも

上間なべきである。

後世でお、

黄半でお、

黄半でお、

黄半でお、

黄半では、

黄本 TI 小学院制 、高神の瀬川 間 記述 京の大学の大学の 2 心太方。 0 二 子 60 酥 显 0 FI 21 2 聖人の主を登び、 K 14/7 個人などの名称を執い、 「五名となる」となるはそれ 21 7 認到自難可味用をな g. 兴盟 畿 越ス .1 骨をご正前び入れ、 して手あるものの熱解である。 3.7 典 70 THE 0 1 4 M 流 [4] 34 O 5 题。 ならしあることは六ヶ班 0 心流 談談 過過 华人 £1 34 太 六 しばらのぼこつる時 (0 、国際は、つなるがはの書間に通 五山は整備を変めるといえことはある。 、口瀬を納 **土爛を剥し、虫、手、顔、** 子子 37 Ult ? 運 71 え有様なから、 X-1 0 (E) 몖 B 四国以 、 は明確に 会計 举 越 094 717 ~ 器1 滅 -17 貢 28 41 潤 きするものを含ま FE 别 S 事 300 ? · 〉 日 7 54 U 0 潤 34 画人は大畜 0 減て 0 P 東畿の (H はそのが 記書業 甜 2 FR 訓 * 41 1 117 45 0

食

天子

祤

王

真。

4

U

為イベガト

調しまります。

-[

(四)整陽

冬湖スル

圖工

年十六八〇

常五十%

木草歐日獨衙日幾



附註

和
張元素 全 系 系 系 系 系 系 形 が 一 が の に が の に の に の の に に に に に に に に に に に に に

, , , , , , ,					
法	亚洲	本	冰鄉	料	計
水水	訊本	酒		源	震
(本)					ETY.
本際	**		脚點	計解	体骨 盆
末	:11	100	法	判明	器
冰砌		型	間本	黄本郷	血 新 畫
तिह	洪	置	疆	:17	精
	年を附す。			目	本
型》	其	本	響	图	弧
添	年生年	調	酒赐	黄明	放野

21

0

がアをやであ 酸な漸ラ人コ甘ア 正十八酎の内, TI 瀬 SIN SI **駅器の材料となす。ことの凡ン八十六酥を潤** 蓄本の뾩陪三品共 は覺束ないことが。 蟲治から三酥が移し入れた。 聚日酮以景指。 減器。 测 用意び 。簡單 割動物。 11: 6城 。與處の血 韓紀見。 元の果部。 宋の掌 派景の記 否い歳との 围 (2) 10 監 服幾十二

動 酥 **脅の正蔵が金譲した。** ――願歌の羇灣コカ屋園と高別とおり 王 酥 酥 **<u>京</u>劉本**草一

蘇 郵 + 酥 拾畫 本草 用本草 なそのなるるところのなの子が、 草 产深 京 * 暑岁 嘉市市 本草 證護 * 画 怪し最も別重な要すべ 日 聚の胸は最精。 か難治 1時 7 大小 明の本朝廷。 藥 がに気温といる。となる。 朱の野宗奭。 顶 明の江麓。 宋の禹志。 警宣 の電路。 蘊 軍 談 米の米 21 첖 墨本草三十正酥 聯目二十三種 国 调 か初入し、一酥 関談中(の 来 7 酥 種 酥 酥 潤 酥 種 17/ 本草 - 草衍養 本草 Y 54 V 京 い場っている。 F1 諸種の調 林二帝寓下。 氚 * 京 、
諸
相 食物 なって 事本 開寶 本草 X 测 團 邮 * 侧 0 TI 0 2 証

H

派の子 いないろ --音が回(ケル) 高さ江八ある玄丽 いいて教養なのもの 踏の自

といる。母びして去勢したものを貧といれ、四箇の

で是る。 北を強といび、 いなのなり間ろ 音は歩いっかし 水舎であってかれてい動き 、ロハマ玉、ロハマ酸 お不太を食えをのかれる形 鎀 育は巴(A) ----といい。 る和 ふとなす。 24 1 0 F1 21 不 P **∄** S 利ないいさい

あってがい目れる形の形象な」とある。林力の小鍋

最合は都できってある。 日もる日 常力の鑑文引『添い零ね、 寄せ加(か)である。 対するに、 왪 はつの記 一一世 利 音は散でとうかある。 都(本點) 7 盐 쥵

Sus ser fa, var. domestica, Briss.

型 块

(明上經平)

麻學科

響の一落隊二十八蘇

1

問線

敗鼓敗

稱 器 內 壽 縣 由

計畫

然內有毒

少十三月五十六、 ※五百三十七。

右砌坑

雪給電

大落ら、曜日

大斋爪甲翻本聯

hid

30 14 PI U 某 '> 11 1 71 紫 国 2 C 2y 大大 PI 24 学 楽 和 71 級 非 `> Fo 0 計 >

逐点。 郭 派到 0 6 紫 3 飛 、ご腫 R 0 .)画 9 6 7 验 绿 世 及 1 薤 ·N .F1 P. 28 ~ 愈 6 R 貢 ンフン U 2 71 熟 > 點 0 可得 響 张

ME 4 11/ R 紧紧 SP I 7 ٩ 9 SP 7 51 A 家でころ R 計 ナムフ 8 op 继 はいます。 へば人ばへ 势 :4 倒 瀰 ぶ八し〜食 0 11 有 PI 至 2ĕ 27 6 三二 [4] 不 繋 Y 0 0 PA 0 TH) ~ P 貢 7 1 7 9 İ ·4 V 重 2 R [4]

C 2 いかる法し 果 0 金雅 Y ME しく食っておならい。 V 0 6 咖 R 0源 M 011 0 Y

利

数ス

Y

M.

う食

护 1/ > ユフ 88 X. R 流計 Xilly 21 3/ 関おが は、ま 本 脈な 71 〇几子務內 倒 THI 孫 > は能 0 小毒杏。 。つな葉よついめ は経済 75 ユフコ 既務内打我子台下。 士 一種」 で一部 . 71 和 [4] 影 > I C 21 图 0等 0 默 9 BILO 쬁 P 9

"注 71 (0 圖 R 2 21 香す XC 7 21 FI 風 2 端 6 CP 00 21 果 .7 るとなっているという 24 3/ . H 2 1 1 10 ∭ 小さり、 2 21 y 書 はは 志 54 FI 扛 聚 2 71 平 0 0 21 Ce 图 B 2 ユな 7 重す HE 圖 21 2 21 江京が P Y X 哑 FI

2

丑

21

>

1/

2 7

21

4

三三大 草 本 (7) 訓 沙

八雅指 华泉沿水 do. ° E 百 批 秘 州 卡

X

査す 0 2 到 31 354 歌細 溢 71 0 0 B 2 FI 直 2 は放が 6 更 21 0824 146 雞 0 S 重 自 21 54 蕭 现 71 业 0 B 0 9 大 £ 牽 江 21 遼東 FI 0 0 82 1 恶 6 国外 通 21 FI 温默 0 B 8

赤汞 **、**集(关) しなし各一不同はあって、 :4 9 2 6 頭る儘で富 媔 至 71 18 ` | | | F. 。排 31

量百縮元 重ユて 34 0 21 B 2 믤 皆つ買す (人多)與 34 霏 略~、 言義 し 易 う 息 71 及る別 26 霏 `> 3/ 黨 シ 王 72 锤 を食ん 菲

4 9 P ()公园

图 71 U (F) 2 寶 FI 07 21 2 古今街 到 04 7 逖 1 指彩の 7 2 级 38 FI 71 2 2 0 9 P 4 番 TH 果 뙗 2 . 随 0 12 1 J 調整と 7 业 跳響 マル FI .2 禁 21 方言 2 阜 0 3 21 (0 那 體記 N 7 番 X 0 21 FI 公學了 0 eg of 2 须 接话 4 12 2 -2/ 0 1 > 7 n 0 日 癩 B 7 重 应的 71 0 2 酥 W

0 9 97 145 7 \wedge E 1 III) II 是 继 2 聚 1/ 71 2 刹 齊 ٩ 12 7

明る 不 12 뫯 X 1 71 12 7 6 の影響 長い器(を 是是 ? 业 はる B 12 F 0 1 7 目 智经 H 71 12 三ユ 2 146 ·1 い事ですり 7 U 7 具 . 71 12 4 S 21 L 未子をなると 意文 W.)姆以是 71 然で 0 承天 (5) X (11) 12 4 - LAB 60 5 12 12 ? : W S 7 7 る上三 は最高 观 3 N 南で 12 マ総派目 ·A 7 12 111/ 毅 N ٩ 7 12

TI THE

项

不

S

H

方文· 公文· 滿歌燕 服 11 윘 1 界~ < 南縣式 書かる 图 业 ° E 17 账 头 耶 指及部 河南南 南歡 되規 百 温泉 泉非 X + X A 排冰 国 計 都北省市 帮 图 開業 計 東 +

後 37 船災 草北草 W 計 八章 韩。 歌 + 1 갦 E 東資訊 置 地方。 o 4 北京 T 瓣 避 111 1 < 4 -6-く事語解立く 卫盘 < 歌 以下記 鄉 (三) 齊徐 (L T (頭(三百. 뺥 4 罪/ 城縣 (E)

草

るる。(本事合 2 まるから 2000年 麻敦 禁 手士 歌 iF 显 1

砂

24 源 距 * 計 54 で記事 21 PR 54 Z CL 2 0 42 3/4 副

训 71 2 = 2 0 1 14 新方 71 れた務は 4 :4 2 4 54 4 MI 0 []||水 71 21 倒 之 , | | | 韓の韓

21

このは、補するといえその客へかは認ってある。 家とついま中 いるのではなう 生せればないはないまして 除するお火を以下水を熱えころである 25 發 M 沙河 21 111 然 「終わ蓋で食わぬ为人 温明は記 越を生じ いる場合の 2 CP 71 以到了以及以 2 炸 6 型 2122 .1 て当る様数 ना 21 7 、イン 20 34 34 NI. 20 一級で温温 21 0 R 1:K 82 FI 9 4 1 0 であ f1 胃バス 0 7 21 倒 24 0 補する 紫 9 競 頂 題 .1 71 `> 2 7/ R 訊 日 ٠.٧ 0 高。 留 流 [4] 莲 0 24 21 7 酥 :4 劉 垩 器 III 24

いたなはは多なしてはなら 。公里 24 5 浙 0 8 异类 5 0 9 3/ 用することの最か 河 (公) 7 聖 0 2 は地 SA 7 3 鬆 , 日 15% でいる。 ユース

0 2 B 27 0 P 111 服するので 手 R 淵 を汗スが のは経験 V. い。 71 No 9 以 18 恋で 71 FI 0 8 1/5 部場の ユフ 圖 21 X All 到 器つ器 経出場で いは、 7 21 24 意 5 07 75 8 2 0

> 鼠風に配対し三世を記し 1 三龍風 技スル へ四字チ盘 事二幸

21

製いの小見の併訴が合する親香水灯経割で 21 報する おいる。 베

颞

肥熱 9 学中 2/1 進置 6 渊 熱毒が 井い土坑の 一件下を廻し、 龜風 水 人心宜人打宜一了(計監)【智原監監法職事】年金) 「京京の人しト瀬を好を競す」「แ籍) (日華) たるを敷す 以 Į 0

營 合せ 中肉与食合好 PI 百次菜 54 9 U が高いる。 6 五 配合す 颞 でな画 SP 出少原する。 黄臘な A * B では 0 時妻と気合サバガ人の剤を厭す 际 000 製ユフス 高貞薑、 である合分の判職家 葵菜之資合步以 Y 桑白虫、 Pl. A A と気合い 现及 几子務内を煮るび見数子、 U. 息る。 2 生薑 S 留了 6 R でいる。一説明 0 重と区で 風病 2 書い調整を焚む対機 0 SP 8 7 は釈釈を踏す 雞子、 胡黄二 A 主髮が落ち 嗵 2 黄葉な 刊 画 ユーマ 末 0 .Fl 是茶苑与有合步以 が人間が激める 計動 過を生する。 WA CA Y と食合い J. A 神 A 颜 質 26 Z 蕎麦 進 Z H. 0 其 28 画 U

34 大作品黄 9 47 0 米を生する 点は流れ 許るような 黄 見ればも U CA Cis 4 51 TI 71 上里 2 547 6 から食 臨文び一家が 9 C 交動するお見な 米落は 米尔南方。 きないという ユつ はま 21 宣视 1 题 [4] 5/6 71 0 X 鬆 般 * 亚 21 q 豐 子数 1/ 間

02 4 出 で変 派人。二十八八監管予して割まる。 3 例 配ぎて 大いちび切りて古を贈 m 2 2000 いてはあってか 2-₹ H 34 汗不 in Ce 找 .F1 道に、 紫书ラ歌人。(野丸む) 湖 2 44 個山 :4 NO 間 内分五 経済 几三十 RY 対上いれて迎れるもの 出るも TÜT 21 は水の下深ら 21 20 YA. -11-到るいって I,I 務肉立家 \$1€ hd が 法行於打 30 :4 水三下で 5 tl. 7 th [9][马腳 いいいいい 2 21 0 9 7 水で海の水 不好 믦 (A) M TA 「計画の書詞」 び下 公公 蒜を解す」下豚して止ま IF -1 518 自下爽一兄玄骏引盈。 TH 1/8 置側して でなる 「割まで対 21 0 山中の草木の 纵 9 個位し、 大学が大学 [4] 8 . 選の質 MI 重告】三百の家で暑難しな務の肉を取 6 4 7 ST. 京 第 別 第 選 第 三つ 例 沙川 (下級)。マハマボの理覧を 公園 水準二つ間面上次 「漆紙 Y 腿 (中国)。回 44 銀衣 服 2 37 同の鑑がその 中で行くび強を紹ける >。(千金次) 1121 問 17 ではいるでする 。2 别 「種別の П 虚かその香を 「石英玄朋でるお」 7 RY 27 9 印表 -1 نار 見は立ろび都 Y 21 おようして食る。 で煮い食ん。 -11 高える。(千金麗) 7 THE STATE OF THE S П 4 19 あるの 悉 킾 U R 0 2 27 4 倒 よし。(予金) 山 0000 寬 54 聚 禁える ココ W 關 稻 0 日 るって金菓ン 7 損 見の 間 9 七十二 2 糧。 (千金市) 李 FI H 7 71 76 2 王三 1/ 0% की 0 1/2 U 24 0 0 世 2 8 12

連半斤を煮て食 秋コして 江意り 駅す。(食器4競) W. 門豁肉近兄, 命駕なるいは、 多等 変は藁、 って働いして響きはして食い 一の経華 す」發熱し、 書を解す 0 G 里

神殿六 ج 倒 7 百.15 T ロス含んで上の調色 野務内

一下

ざ紫焼 田 題习窓る。 213 い情を、鬼啼い祖のと重らび戦へる。三十ひしてその重な立ろび幣~。(簡単) 闻 * 盤をたときその内を路 0 放自想(行法して外を囚びお、 ユつ び番 通 怡 那 置名 富 大翮子一合, 「風狂しア湖の笑えをの」 114 そのはをお上げ 張 0 146 日水 務点三串を用る 2 41 · Grat 向 21 2 M て滅 **** 。(近数)。 晶 凯風減】 R 毒る 2 X

CID自動風雨へ急割 简數確實限。 图

第五十卷 **水**草縣目鴉流

干

務待

;

21

CA

終間で演奏して食え。(4頭) [空重退職] 食事を基と

(歌う気人。(小静) 【長頭しア心を攻めるもの】

生で読え

9

M

R

法文文

倒

721

大きない

G

21

44

戦で

をはなる

1

画を去る。

、フエス等

自三回。

載つ淡~。

きたって続いるとで続い

かってい

1

導

ンつ

亚

2

6

70

除ない国鉄した務内を焼い乗じて引

画

「翅獸風」

大かある。(現文小氏)

0

洄

14

71

2

Pl

28

間小步

金お真頭の置いて香え

温禄末半盤は上了龍い了食おかる。

麻敦で禁口し関目し、

前關

「小鼠のこの

上

+ 歌血

(10)別 麻鼠。 香乙~笼色,

2

A

両を載く

至って重きいは、常然肉一

Z

倒

繋

FI

21

や

頂滿滿

[上涼核嫩]

それを食る物望を既するのが。(新め口籌)

CP 田 2 88 証 21 THE 7,1 0 1/2 21 ili 見り間日見、 14 2 入る園園 U Y 21 --滩 H 小小 雅子 2 0 M 21 21 fil H 16 0 4.4 0 2 41 0 T 147 0 + , 〉日 R 28 2 0 太ノ方

o U

4

At

1 79

文はこ

11 法法 00 1 7 2 텖 CE 111 12 不 2 (0) B 7 illi 54 I1 7 不 鄉 :[1] (0) B 27 24 机 0 歌ン 派 21 W 11 .> 劉川 0 Ė の計 .1 7 叫 以 12 1 驯 7 是即 R 0 B

27

腿 9 2/ 訓 0 21 B 水工 2 6 -A-H 題な合 西を動する [1] 恐 小金なる本 sty. 机 能 10000 づいくにし 巡下 Z 2 る。 鼠 2 2 ことのは 0 立るれる、を歌くつ 0 4 2 41 で脚 なって - II 2 言音響に 21 到 んで香 訓 21 記載 漁 IIII 歪 肉 金 2 (0) 更 部 訴 涨

宗叛

工工

訓練

显 排

缩 110

市经人

にい過す th 訓

=

91

二門八뾉

11

る。 特別である。 少

孤 いるところ意のままになる 9 71 はな 28 米らしとあるが 3/5 111 平型工 なら盟が Sig. 22 H 晋 0 何不 戏 FI 0 2\$ ff 41 26 IF. 影 4/7 21 9 21 -1 P 3/1 0 盟 R 驰 加 海 聚 0 0 爴 8 劉

47 74 6 県る ること 例 02 5 7 34 21 11 いて語けの人 汗 0 itic B L __ 0 :4 2 Y :4 そろでれは写玄なるものに演 るとある .7 な智能なら +1 111 2 :4 ~ い。 24 0 14 日 1/ HG 54 :4 訓養 不 0 8 34 0 到 1 2 7 11:6 0 74 f1 R M 3 28 7 圖 3/ 21 21 规 间 2

北圏王武法「これお魚灣新といえものな、一お風毒の鸛 ? 函 H 〇不量 因となり、一句家血の強幣は因となり、三切幻場のア人行は気のなことは、 ある音異なる流薬を刺わ 24 ころれま 王融は 、ユレハマ 「私のなる大事 その戯れを懇望すると、 。よる悪子とみる~皆回 アルやうな状態の歓ば 體部を添んれとき、 形狀の歌 6 はまま 旗 14 21

各醫幾び「學院刊賞法黑〉園れて残~して長 対するに、 時 の 記 の 記 HI 競

S

「熱味力魚剛部を治す」 酮 鬆

正禁公去り、丹石之下方。全公風源玄雞古る人食熟) 驚調

[寒燥、正鍮、泉海】(千金) 【五歩と共び然で食へむ、龜之の原止を御 と国を生し、いいまを難するので」とある。 ~真なれる 界 Į

學學 :4 対いまあるもの 规 溗 37 毒はたが省い在る。 がなるとある。 緊髂を用るる法負し。 主主解び『務内の 200 - 22 00 F C in 日上 排 , > 目 肉 o₹I 頭 鬆 。料 繈 9

34 たた臓器膏い踵を味して見 ○ン置わからの蟲は著なない。(子金だ) 「竹麻の肉以入らなるとき」 肉中以入いア人闘子書する が対出る。(歩急大) 切けして回惑す 5年路及川 PI 项 41 暴 21 思い 事 0 驷 0

> ここ、冷割江栗ニジュ 三独学下り。

可等于 部分 R たま 22 y illi 1 H (0 期 1/ B 悬 0 10 I 118 SA 0 る。温 北北 にひまなと加とないろ 明 E 118 54 近して近 .7 X 沙 子の江 圳 「開格間源」 服市 不 54 114 間五十。(萬五正) TI 二 21 Y 118 0 不当 41 0 沙 號 21 % (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) 「経済の パンは脱して分 回正な 制 H 1 、一角は然や活地 は黄河 E STATE Y が水で光票 、民国関 、つるツ 酒五合, 水二代ダ旗リニ那ノア対め対立たのが下る「子金む」 游 2(千金市) 三日 ill な!川 九 5 してなべ。(心臓) 近して動作して 9 日中に船中 が正合き人 16 手遞 洲 2 からか 0 17. 6 7 密谷 别 1 不 SIH 1 27 U -顶 制 IJ 绿 たとよ 37 J's 惠九 7 1 :4 形:4: -11: 21 表が記 日江及江本の江村、 四多温 51 評 ニュッド 見がして韓日 南)公年 语妙 51 不 洲 9 二十二十二十二 然になる。 21 * 县 源 11 Filu R : 1 李 、野ンし 酒三千 III. 34 下を入れて呼び 4 2 = 正中 F1 1 五 野 1/ 強しる影 0 U で前じ 雪 交 租 16 (A) 3/4 A :4 + T. 耀 41 心順 及 0 7 びユ 有目 畜後 1 41 馴 鄉 No F1 繋 後方) 711 基本 學文 華 0 黎 1,1 U (制文上 白室 明市 B 邻 重 廊 ; H 0 2 OF 金式) 11 影 1 24 工学 (1) 1 24 聖 20 1 整なが、画を 0 0 21 中。(中 计各一 9 19 14 24 2 2 9 1 7 期 MA 刺 MI P 21 :4 ? 郡 0 **⊕** 黎 中 B A 别 R 2 0 1 0

終膏を 範 よ 到 と 監 水 切 容 水 し ア 一 日 三 同 駅 黒<u>京、大巻</u>館である。 黄葉竹のゆう 務間一下を監禁コレア現す。一日二回。はして強えるものけ、は 運火 「不」 河道、 【割寒部康】 黄疸、 「正酥の前熟」 液ニーバ。 な黄行を出すいお、 型工 古。(胡粉武) 4 179 後方)

暴を生じ、面を限っする」 層はいが つ脚る輩 膏藥コスパ灯精剤の 主族にある」(種語)【蟲子漿し、虫劑風子台で。 悪諸刀窒る」(理論)【離立と皆す】(種 王瑟玄生子人和然 《哈林文城》 紡黄の毒、熱和の 以 Ŧ 間を置えま は子と区す。 南できっ服するは無し」(※とた)○【警費として用のれば、 野葛 高神 享 風熱を強む、 水動な叙ら 、劉明 「甘し、微寒いして毒なし」 五道、 「血弧を味し、 光青の毒を解す「明経) 小面多種小 お血ば消化了(孫思露) 7 脉 和 薬も評論 で、自 沙 (明錄 溫

0 下頂。いなりが関うこの対数を強けのそのは職 査察で正金を減る以動用する。 水を入れておならな。 膏却食革祖と各か、 , | | | 景。

神 9省少](國)[縣置 (對) 以 Ŧ 「甘し、寒いして毒なし」 和 鸿 噩

つ構業を誤解と 「対域の口が動れたるもの」独口の部でいれ 間な人外ン澳一的強なるの、書館は 除。 11-胡 祖

東部人服籍)【離園の主政はある、珠上の室のア湖も、韓 村八金の」(報等) では終れして売る。 民の類裂出血を治するいは、 · 問題、郊町(OIT) 主 けは別へる。 以 Į

CIO、風型、紅河。

品に臨んで事を行 **酆鳴ココ | 和玄女人ココ | 別** 高一般に題 延衛者には さたる」とあり、 系真人の気急のお「溶腦お見子の関節を併り、 一部で繋出するは、これは自ら別を旧ら入れるかのけ」とある。 ・1かて『切らなけてつな中郷は後屋。これしてるは照了 いい。 しってまるして変 、つま 和 11 뫪

大去 は上 ゴ 同 ご。 「 発 背 「 発 間 、 発 間 で 即 引 し こ の 水 ゴ 払 其行妙である、(急秋下) 。とく皆十十里 - FR7 1 54 21 H

る」、(書所は)、「糠砂の目以入らなるろき」雑部を煮了水面の町の山ちゅのずが、 9 コ人もなるとも】殺祖(きな永ってする新へと自ら出る。(科問) 「蟲難の耳づ人 、り聞して いるとは、真中にはまる。 甘

> 間下二大 るに上去

置以

28

東市

カマるもの分。(異恵は)【ハヤン地域選棒】整団を合水の多しと思し、

立ろび放けある。(子母編輯)【題のこれ、森ち丁生をひかの】酒

新で光帝して帝

雠

*/ N

主機な人外と然下三部しかゆの玄全面习鐘るのでを震う

服 ける ほど と

機毒の手を攻むるものる

别

雨、水一蓋を煎り、圧と膨して

器間

「剛太不不」

こを聞す。(下金麗)

かったいい

7

常五十卷

聯目總衙

卓

是21

秦酒中

経間を引

日の歳越」

・主】(養砂)。空寒スつ地及西東に息

黎

TI

21

6

继

爴

務膏

光人。(千金氏) 【外帯対離】

2

楽りもの」報音、

るい

る。(十副国武)

逐

21

每日

部

鬆

24

0

顶

香

屋

0

臘豬間12

て隣

で替ら

白霊一、黄連末一兩な合旗しア邓の水代を熊勝し、一日正

これ、白鞜土へ白璽をファン。

こと落、大曜三郡市が、

0 %

こで、沙陸へを難。

U

中五

XE

-11 過 2 20 0 孤 Til. P ス 加颜 TIJI Y& Sp > 28 34 0.5 3 いってい 17 訓練 (O & 4 しかしまた独立なあるため 0 高点人 5 明 予量量 L 金はこれを血 测 を持れ対随きて別するものた。 21 4.00 4 54 配であるが、 2 .> O8 247 ひいる「とる歌 はの計 21 縁じて残 H 业 P1 B 膰 競 可は U 寬 2 54

い。

兴

R 計 XII 7 洲 一門行 小孩的 しる治学の 過去るる へれ曹継の て食 0 94 2 显 半

と食人」(思麗) 路馬,河區, 以为孫於聲於玄教守人一華一人 華田河 一種 新遊外路以近 ひがこつ 東西を雨 FI FI 21 RS おかろつ 江流海を で記述 生血は、 题】、海彩) * NA MA 以 重 Ŧ 羽

へといいであるる 北江食 景記と

何首島の諸倫薬を現するものはこれを思む。

が、

でなってていてるとはを聞く問

が野妻といった。

サキへ至く

() 9 14 士 7 TIT! のの日後日へ、 7 な津ユー 21业 7 鹹 州 冰 W

は機能

(三1)別裔。

各約市

香

(三三)相 香。

Y COR F 五 であるの 温で温い 光部してから娘~。 0,7 かまつ 間 0 中島場級 217 11 V 中 0 【小鼠Ochn)新館】 車骨(歌 2 鹽水 通 fr 0 鬆 到 器 4 C. 34 衛 小兒の高 (部少)。公 7 末 出るものなる治す。(曹秀氏) 地 惠 ンハ 。 名画 2 凱 0 MI で香しく シン 7 溱 面で調 7 # 田 X スミス শ 777 公上 0 쪩 21 1 歌 ユつ 来 X H 2 25 E FR 雨 0 特 R 玅

マユフ 間 師 日三 雨を研って南ける。「子金」 浦 過ぎず q XII 别 R 京 調して順え皆車 Ξ 軍風 0 2 6 香に含 图 AH 歌 劉 K ストから煎じア 打製者二種を共び 鬆 教験車舗十二級 調 繋 剃 圆圆 務有體 别 并み 4 骨蒸榮亂 上城 画 た。(部や堂古) 非自 劑 「小鼠の 錢 如色色の 3 林各 採 ける。(千金九) 曾 4 0 重 耶 सिव 胡黄 茶 旗 0

なるるい

極器コスパア蒸聴し、

務顛骨髓六十箇一

源

阊

0

留

1/

ない。 R 多~裕有髓 簡を以て 9 TI Y 21 肺劉水 島 上げる島 温明を治する 通し、 丹奚の上 21 tļu, は腎 21 強する 目的 6 ,) 日 0 OF 6 0年 21 0 74 9 シイ 丑 H 21 业 2 颜 6 2 料 Q

第五十多 月票部 部

7

10

(報録)

鼠殺な金を

訓

學觀

温

P.

28

6

AR

C

8

到

21

福品。

狠

闦

運

剛

2

A

循

通

印

田

34 松いいは光型を動き 務ね水浴である。 1000回記表日~ Hu X6

1 京並, ি私人 齑 田 整調 04 [紫形、憂患](誤數)[温率、 血尿繁思了風露。【血不見、臨寒必篩专】、蘿麼)〇【五鰡お小 以 Į 呉茱萸と食い合サアおならは。 ある」(雑悲) 画 :4 中 XX. 王21 0 到

平りして毒なし」取日う、そう食へ対心深を嫌する。 対田で。(子金古) 0 够 20 おいる方 博し記載が [中悪卒死] 軽見を濁って 血を取って 済み、 いてきの血を高してい Y け知否とる。これ知是桑香は品離り致わたおとして勝夫 出る月葵田田野田 ととき 、「鄉~井」 「独な七氏が大の 帝。 圳 11 源 (胡激亢) 科 彻 ปุเ 2

題本死を治す「神会」

以 Ŧ 国血

並 Y 1 +1 AH 14 雨ららせて雨で 北血を川るる。(治春中古) 21 孫子八の次以して和砂を衣 い向いて断了一次を否ひ。な到下ら四ときお再組する。(個人五世) 録でつび語湖小量が入れ ない場合は 務心血で肾香末が味し、 CO THIS 7掉 一、つ韓ユの外 舌する肺效はある。 の独立 開骨膏 I 溉 27721 多咖 事 務が 典 制 重 0

(19) 野が、精・も、大・野蘇・ 明経者・様・

[44] 流虧 臘月び 務心血一箇、OIEDS所未一遇、和砂末 「心就形烧」為我吃一 孫三。 4 21 彻 扩

傾のさ 重 0 次下中の「務血は脂溜を得れ対面よけ心 職職、武夷を合するいをト教心血を用るい 。 公 Y 21 能~毒之解 たのは、 郔 * 出 ユーコ 「骸心血な館~薬を引いて 是一を回 寒 かれずのそろい 一本第一の意味の一の意味、 水畜であ 24 霞は ひいっ つい 部金日〉、古代ア灘風、 SHE に入る」といえばそれである。 緒は 韓 かんである 2 こうなりとうとはいる。 1/ 0 新するかので B 54 6 24 M 0 2 B 26 经姆 める買べい Eli 官さの 制 驗 図の るい TI

区、强强 区、区 歐致な合す」、実際) 服すれば激融、 【未切末玄鵑~ア 聖を治す人神会 県 Ŧ と 意味の できたいできる 皿 VIII

XC 水コして全た割き、 凡子三 回縁返してから末コして娘 > は後はある。(後輩) 電影 再び 頭引入しなるとき」 雑血を 徳色 利 石地上代を時輸して 24 繁血な角めり解す。(付後) 「製她O D& 20 4 【対獄出血】豁血一代、 由田田 J. 市を館 哪 ンつ 放けるる。一本對合比 顶 「華中 11 シーフ 「味噌の で和して 寅 酮 TI 须

H 30 H 7 3/4 2 111 R でいる。 24 2年一出器 返出車 万菱万煮るおよし。(小野) 刊 聚 M 火で頭じ韓 聚 語を入れてなる。 FI 2 * 0 Tike H 2 1 94 11711 洲 食物の落かかないは、 シュージャ 维 W. 電風二代を入れて文 画 歌 0 文人器 [1] の元回 2年 いい。 11 到 派 21 7 不行 三. 71 では、 樹を書けて洗いて食る。 汉 して語で 111 -111 回される以のア食べ。(子金) 「彩画風游」 24 11 48 務務 Y 連 温泉 日から 0 のなるが 可以多利 ーで早 麻彩 44 驯 以るのはなり水 4 小息 到 重 中務門一 は小 图 14:14 平 掌 重 深い。 本面 い煮て食ん。 R 0221 攰 0(11/1) 味 1 2 軍 SH. 0 器 CA 0 缩 974 青年ない 宜 9 圃 4 附 ユフ 「調」 10 FI 21 tha 日 20 2 21 扩 CP C 翻 <u>C</u>.

iJ. ロチン関ニ出動ニ付 1、大曜三北島三海 1、一次でリッ 数武人三学アリ

及 411 安國り除り個人で朝米角で送下する」(編題) のもるまなとろるす魔な ₹¥ 師と報や了師 11 Ce 電客 雨が川 111 時。 1 半 21 ンハ H る目 再び系 椰

以以

III 30

9

P

14.5

2

74.

411

我立治市る務

印料

21

金麗

上

刊

ユフィ意園

200

田

TIJI

FI

111

HH

級

ない

高級におる

故い緒っ

34

流

0

200

28

5

1

のの日本

沿

0

411

松〉

死 21

11

0

目

训

0

酥

器

9

op

:4

9

ハマ

淵

刊

黎

2

6

34

和

兴 盟 当を載りCIEDはいて院午末を監し案わて洗を、再び 光习はしつつあるものお肌しておならは、演器)「分誉ฒ重」 。手思る上點目 激し動するものた。 赤 八階 孤

ロおナ聯ニ地不ニケ

0 St CF 暫で食へ为脚深り主族は 「切って生いて悪」 【小兒鸞剛】(麵恭) 學 Į

0 るなろしるおま 7. N

京がたる合かれ対離はな主である。 。2子生を照用はなせ合食と熟糖 雪 いお子用を用るる。 刊 人お食のアおならぬ。 総家が正 必然という。 9 Y 2 U 21 の中 Y 0 54 Y 坐 21 湿 服藥 쨣 U 21 合から 锦 邢 > 2

はの

「つな華ムつい歌

て暑

规

漂

無魚場子と食

78

2

「豬は辣

返壽書に

CA

924

FI

20

食くそれれいい

34

0

829

(三五) 歯へ 恋り へ 磨し 親。

Z 當 い配含でして激 懋 9 74 0 6 朗 B (日日) 邠 剩 血を帯びた 2 湿 到 動 1 調 る場 别 W Y 21 嫂 SIE 一つ、繋 園 煮燥して薬を去って食~。 4 音器心一 画 半夏と闇を終心 0 「窓心客館」 金後 11 21 CA て食る(鑑的要集) 心動自行」画ふ 錢 面と共び煮下食る。 「心霊煉血」が香木 當韞各一兩玄人パ 0 半夏が去 (三) 7 闘 一 一 票 畢 間」、人参、 える。(語俗要集) 2 気線 ランツ回 1 はな人と 1:19 シフフ 71 独 21

本草

雨し 2 6 大調二と語合する次真 R 源 明21 R 濒 11 1/4 盟 V III ※ 日の日本級子間堂 以 變 御す」 () 日 Ry 训 白苏菜と気合分をときね人なして泳器サしめ、 「つな幸」つい寒楽 以 Į 0 2 6 驗 つ出 R 事之 0 になっ 和 3 沙 H. 쾖 愈 2

红红 學 中事 修業ユー ある。(衛生 6 政部 2 高いの XC 别 シフ 7 Ye. 21 71 :4 不完 鼠面 各箇を被種で陳し職 ME 雑がユフ X 7 1 ユつ 农 7点 2.\$ 13 部。 別月 服。(吳壽堂大) 0.0 21脚及湖一 317 2 いも . 鐵器 う理論で 師み下す 2 ン~い 加級 は三 C 團 兩者, 111 0 7 PI 大園を 河で 801 H R 末15 1 7 0 34 2 8 しい 31 行步十 るので 劃 ならい無 44 1 * 14 新 0 13年 には渡 高丸部各 洲 薬 54 7 4 酥 21 间 市及関子 21 FI はい 少一,不凝及 * 00 、茅萸、 シュ 740 0 0 21 T 弘 B 继 9 2 強ないい、額 事正 緻 米 P 上畿と共 1 印 薬 0 00174 71 薬 家野市) Hd 瀧 21 F 8 3

生蓋、漱白、刺来におる共り薬が煮で食る「種物」

子之山

· ~ 日

源 。 III。

のなといえてとが明だ。

名の中間

21

干

やらである

(1)

31

:4

规

71

刺

源ができる。

TI.

21

Y

雷

0

H

調

댔

Ŧ

CA

9

1/

71

20

贡

事

間

Y

71

调

0

墨

(142)大驥三米下三水字、煮下三啦、空下

郫

ユつ 9 はいます。 公 10 箇を投じて食る。 畠 上田 檢 娰 別す。(初於)【食事を漏る X 2 4 哪 士 寒 で食 用一斤を載り切って瓦で割し韓 1/2 五千 21 蟲が 21 正日 彩 首 C ならび二十次 4 具を載う四つア水で飛幣し、江東 H 洲 0 陣 12 刊 軍 雨か 刻 鬆 寅 教刊を充って解れ 、つつるるる 21 获 000 致行下羹にし、熱するを持つ下雞子三 赤苔藻末玄瀬わ下刊意 21 初る。(千金) 「急祭 75 職らしてきりの人の手で替下大のよびし、 2 0 雪 X オレンと で番子 刊 末の 9 「意願けのましきもの」 幻族はある。(商要) 「都人の到事」 あは 分代が多うの人の平 M-2 级 ンハ は重ない 21 料です · 24 共习顔」、二十同功仓服する。 別す。(写憲に) 肝空影 務所一 落刊一具を煮焼し、 幾重 胃の電で ---鬆 刑 T1 21 繋 末を響り、 の青種 顟 2 でいる。 煮と市で減い FI 加しア米道 する。(心臓) 朝はなる「のな 業 21 中草 26 让 [天帝命念] 禁 The シュ 1 图 。(协议)。 大をご替 q 斌二三祖を駅すれ Z, 沧 道 「刊獎目 で煮むし、 子る 車術 踯 2 7 16 9 日 74 34 田〇 墨 士 + 期 季 7 (食器心競) 0 ----(中層)) R B 湿 Ŧ 贯 と汗 うつ 8 刊 X 21 21 21 首 J. 7 末 36 流 X 21

国 4 聚 ひ煮い食ん。 米 ____ 1/1 this 題 おして 20 過過 華 N. . FI 21 :7: MI 、題つよび変 21 次が 水 。 京 京 政 刮 と交換す al al 是是 經 +1 本で、(水草縣 劉 附 孙 題で 纳 シャ 贈 る。 習 1/1 1. 新 して概 でが -12 .)_ 印 .> XII 引除 智 スペイ 机 趣。公学 强小 11 12 2 11 U 24 ス関 2 Y. 「智能質群」 -5林 :4 1 歌 3. XX ---器源于 行し、海 可んで 5.A. 27 過答于 荷葉で 『題無】 京十小次 19 9 X 21 您 7 圳 「腎衛調 4 ha R F. U 悬器 显 Y M 21 27 三(九()) n 顮 4 中 文 FI 間 沧 타 (野鍋) M 及型 額 21 E 不

11 7 111 更 不 21 0 CU F II. 30 71 2 础 不 1 -11 Fu Nr. 0 科 ilif 第~の意 3/11 (1) X. £ ___ 331 1/2 9 4 歌 27 (1) 0 W. :4 SP [1:4 到 淵 21 1. 14 E, 1 11 31 THE , E, Yk, 0 5% Br 1 沙 たれ 왕[쥄 不 道 C 腦 E 5.5 2 :4 -P-(0) 學文 珈 0 抽 .7 14 E H, 以 71 11 111 制 訓 FIR 24 (s) 2 7 Y 2 6 6 THE 22 34 I 沙 07 (1) 0 2 力を借る 2 FI 法 图图 111 台 21 54: (1) 0 不 华 洲 14 崩 ある 1 T 門 -11 . 素品で鞭 文章 뒘 THE :4 0 YE 2 1/2 2 21 CP 日子 9 曹 21 4 [11] 部 2 21 5 発育素官場が 別は野の 福 1177 71 学っ II 0 4 921 .1 0 24 1/ 0 0 0 20 000 ? 农 7 1 圣 14 24 34 田 2 31 2 4 2 C 子界子 17 不 5 71 0 :4 0 82 0 24 X 公 IfI 4 2 E 0 0 0 閣以 。。 쐒 3 2 21 7 6 Ce 醂 薬 71 2

収録では「腎尿を野し、強制を動するかの」 Y [H] 題報を題める』といれ、又「智を補するも 4 よらうびを含まるお 24. アおはるは、八しり食へ別人をして干を少ゆらしめる」といい、金糖お生か を補することは不能なる しり食へ対人をして脅鼠サしめる」といび、いてれたの鑑は 精源 て命門の といび、日華お全た『水巓短淵を飾し、 務骨び織いて、 蓋し務腎は対寒であの はの日く、 あるか。 田 發 がで 0

崩中之治古人組織 下麻 新祭の銀行、 R मा 及 图 思

るの語を職 「報池水鰯な肺」、 部部を配する」(眼路) 、つ踊る婆島 県 Į

血直

「繍し、分びして帯なし」の窓日と、平なり。 。めらなはてつ意はに割る、く日随 でおあるは、人しり食へ別人をして干を心心らしめる。 八ノト食へ対人をして骨を割るしるる。 高重な数する 规 14 一部子と名ける。 骨を御するもの 争なア 祖に 21分 、 〈日 本 日 でいり い。日 Y 뛈

2 制量減血を治す 煮て煮煮口味を摘れて食人【海会」 店嫌り要据の緒よりある。 X 論面で砂燥し下帯と共り食人。 切许し、 具を竹川で FI FI 21 21

*

撤 5 34 干 11 とてを)/F 11-所を許予 印表 0 赤 79 The 彩 いい。 Bit's X 21 工學出 识 Y ゴマ 4 加 レシュ w 流行 腦 肺效はある。(谜腦東補氏) 2. 9 7 111 Y 21 V. 延 が下船館 [1] (と歌声)の中年第二~ N (小江河湖)。 EIII 17 R 題鄉 3/4 0 がいい。 7 照子を香の知り館 彩 一個 1 1 9 1 少次 なる。(朝女仲に) 1 災で 務 -捌 北 沙 [17 大文語 水部 IN. MM 部:118 訊 02 金 \\ 學學 21 TI TI なべ。(新 tl 1/1 松 1 2 树 0 同で 31.4 響を 11: 11 ~ 十日十 F "! 影 、子以以 河河 if 白帯子】常り務智が寒いア 吸掘してなる。 かとはいい。とはは今 シイ 小 排 - A 務門 7 TE 111 蓋之称然鄉 내 0 111 21 No 0 つは 語り調 1/ 1/8 5 の行う 7 0 変換するいは、 直 37 ・含土間を引きや % 心である。 41 10/ 概に煮て る所を置し一個を明ら 3/2 0 -脈。 版 開き煮て鹽 Till. おはっ 和除末づ勢も 7 M 、マコつ 训 2 IDOM して驚くお耐の徴 整白 談響 7 张本 「着後の類響」 一盏 流 門計及以一子到 FI . 1121 12 010 。回三辈 题 少。 琳 TIT 76 洲 不 簡が批開して骨 34 1 0 基 24 気人。(食器小競) 料 関節する 28 6 7 標 I Y 地 9 号 级国 同じ。 11 シー 換 11 Si 4-1 黑 MI 训 0 遗:"體: 超級 各口条 13 * 21 * R 阿阿 7 7 21 ㈱ 類 趣 器器 生 1 21 T 缝 ユーフ 6 9.00 234 46 7 حآا 34 目 71 7 0

(三) 襲都へ駆く曲良いコー、 顕な部へののののです。

酒で 國永二令、 遠白二 財、 共引搬习禁了食人。(奉藤養を下) 一条人の関 7 到 II. 煮で三回 11 **教育二當 3 琳二十八 試を入り** A 争び三回半条 自 0 逐末 これで 水上代き二代コ第プ 14 21 B W A いて食び 行で送下する。 CA CA 71 井 际 「大部の山空 2 须 ユー 21 「西蘇面黄」副は馴って前 \$ 29 おす 水万代珍三代 回愈人。 個人で即 葛珠禄一題な子れび替の下合立し、一邊一 誾 # 2 THE でいる。 28 置さ水二碗で一 亚 こし 一日ーユー 米局で盆下する。(聖智麻経) 荷菓で 金省 於憲三國神 順滿」 變 掛心に兩 XX 文 過上 動の味もるな 服し丁干を項る。(相給氏) 【八瀬の熟を以をの】 盤を入れ、 0 証 鵬 9 衣 読、正地で 小塚 肌す。(百一野大) 雨を入れアハでゴ紫瓜 清下釘よらよしっ、(奉牒養禁心) 古人であまる甘意末三 夥 祝き未びし、 悬웷 11 「心脈血財」 9 2 【村惠冷献】 、盟を帰 製機して食 0 f 剩 大していた 逊 弦心に アゴ州開し、 词通 椒で で煮了沙ス。(頭文がよ) 裏んで # 虚さなとされ率と決び 721 人發二分 闘 再別する。(相対大) 當調各 FI 歯を批片して 「御山川川の 紙で 題子一とという。 手班で大郎 21 21 ㈱ 9 1 6 21 琳 变 千つ 28 Y 瀬台と 盤な人 明山 0 称き、 当出 介 57 ア水 米 層 11/ 黎 郔

iii 20 8 北. HK 0 `П Tik; 明派 311 W 7 E まで 恶 0 002 米 7 IIIE 山土 ilill 21 hul 3 3 学月 7 71 * 71 0 PI 愈 2 響: THE いたには、 24 -6-首 3 :17 歌を掘して 2 % 10 7 歌 2 24 1 겖 酒で煮て 冰 驯 X -1-ついました。 0 X2 平兴之 4 掌目 加 别图 1/8 000 21 fit ILE. 2 N -11-9 と答 THE 記る 71 2.8 (h 2 11 え関 M 2 眯 1:k 30 7 1 0 1/4/ 小家市 な近 。渐 7 1/1 ìí B E 是 なく、 31: 张 到 0 以以 1 7 の時の人しくままり 小ご解 間幾 水がとなるな -批別 H. all. TH 1/1 SY (4.T 明 Th: 21 1 を選一コインつ Y. 7 II 即作 郷でインスとき間 洲 All .17 學是以限) 34 75 XX. 11 21 73 7.均 别用 504 五 (1) · 引 5111 72 うつで 뀂 31 おいま 1 \$ 10° Z の習る 7 ¥% 不 0 6 が開き、記述を る。要 人。(衛生易領大) 11/1 Fai 子子 子 · .2. 测 7 الأه 0 4 9 1 21 縁を素 いるを続い (1) -1 21 到 1/ 貢 12 SP :17 17 訓 1,11 0 6 0 1 歌 弘 随 141 1 9 扣 洪 新水。 前 2 1 加 及此所 +1 7 FI 红 Y 附 Vi [44 1113 置二二 る。 間間 鼠粉 21 111 11. W 2 城縣 三 後北 出 21 0 +1 湖 除 と難りる 54 :4 湖 16 目 21 0 0 學響 頭 ¥ 2 Ŧ 000 94 X 0 申 首 4 男子 米 27 显 4 TA 71 1 显 学 見で 豆 置 24 54 村阳 市 引 通 :4 34 My 阳 副 4 Y 竣 赤 H 4 鬆 1 44 21

玄池之次真し了(心難)【降行玄融中る了(水木)

と大弦楽の話を合うと ※、「「は温を瀬里、「港を影唱の睡転逃陣」 食前にこれ 山劉の毒を蠎し、合麻で温となったかのを合する種の いる。 中で 東内を味し下層以對し下風下。 Vi 載や筒り強って歌 の日本の日間 TI 21 CA F1 21 る中の **瑟**校脚了 膏ひ合せ、 **於**刺豐血 る主文部は 训 X 師就、 県 (蘇器) Ŧ 0 是回海 10

ればというという。 界午次多盒市 , | 日頭 するととで激素ある て井 和 沙

प्रम 中 美関「悪。へかはのみお兵道 兩層の の納種 N 09 名腎間とい 間 13 G 成び似了肉の非どのもの、 門をたるのは多く 24 のないいのはないと意味で聞といったの 。~量りる順なる 發源なる語伝である。 非事 心化化 21 븳 2 A E 引 美 すいた。 71 の第 분 なるま 皿 21 FEE 阊

翝 0 5 2 B de 21 24 薬 0 616 少木 部 利 2 いいいい 通出 9 造が金石草 MI 士 正更の防咳い監験するを持つて 扩 歌の選 ちをのを只一个日子後はある。 7 帰 、コロヤシ 公那 米大大 题子一" 94 養豬 婆及町へ行を町つ器。 つまがるら田をれてめ TI 21 雠 温養して山る (1) 「癰疽發背」 國子ざ食人。 2 るる湯 出書 。(那眞人醫飆化) 午前零品 PI 館子 U 一下で 9 深显 和 2 21 0

7 21 最らと早てし 白黎米各 江東を除して常い食人。をた熊婆を治 利 凾 B * 簡を煮て計 明い然とかよし。 27 生み 二票海 CA 9 及 0 本川 44 10 0 八半十 務却一箇を渋解して計び 務出一窩 ゆる薬を飲んな 変門を二兩玄人は了総合し、蒸盛して脱って母子大到3の 登場しア<u>気</u>え。(子会量) 「木嶌の お野野が ハマ いて語子大の水パし、二 それとき 山をなってあるし、 して事を表がたって 337 [M it. 逐末正 J. St い録で H 7 雅路山一窗7番 しな驚動の 回木萬 FI 「法人の関係」 アカスして服 21 o N 0 型型 正いかずー 82 JE 冷 米平代を解けて溶鉱し、 類 記録ママ 「製造の体金」 XI こ識を入れて素糊し、 の早泉を出す。 水 北 椒 次でいず米増

が別す。(食醫心證) VY Z 正日 识 0 6 AL AM 15 はは 兴 末三兩三末 源 「監養」 r で光の下布で数りなし、 1 21 张水 重逐 政公人公 胃激 FI **加黃**惠 水 「部隊の 型 爽 dilli . X 3/7 母三國 0 ·N 葱白七箇 21 曹 1 湯館 1 幾 51 0 すの(養老次) 4 0 の害中 6 4 114 思 . 2 9 别 阿 栩 上 M 2 17 鴪 一量 Z X :4 ha 0

H

松い方類ではこれを

あって目は上い国する。

水畜ブ

71

*

`~日

はの

Hu

魏

34

は目を以下目を治するの

るてはな補する

图 黄婦米ダ麵しア蒸し島 孙 惡散が治す 血脈不二 年3小兄の飛波黄動の耐な治す》(日華) 【骨蒸焼憩、 四季刀食人治人人、雜學》【詩梁歌頭を背し、 、「地子中」 紫蟲を鉄す。 県 £ 権し、 「つな撃しつい思郷」つ る。単 暴麻動派を濁っ」。照鑑)(龜」 のとり田子等 11-響源 规 7 属を飾し、 源 21 R 75 TH ना 2

。(孫力謀竣값) 動 5 記并な額 頭上で蒸焼して食え。十具い甌宮をしてよ 杏二一両、 少さは白しなるこ って下る。 見ざ水び聞いぬゆ 21 『手長の皴象』である以て落調をGilloを形成。 (世級) 【看法殿いて翠翠するもの】鰲鵬を酒り気して揺る。(薬虫離左氏) **ゴノア火ア茶パア作を狙り、三合いつき豊秀正六뮆する。 おお大動の劉** 製器を現下して奏換する 调正具, 禁责予二两。 東一兩玄尊暦7号しと済塗り時形と。 まいけるおのりなり 格智能一 、器工事車県一七鵬線【2キス器の綴え宝の町】(舞響) 「石薬を服しなけるの路棒」 鬆 11 21 でるいまないて、重小 **以回ら理論のもの** を耐い一部参し、 と肺の放色效線はある。(相後) 1 和 21 首 盟級 水下 de 那 里 瀬及ひい、額二 ング 「赤白鵐風」 し。(霊域大) 息 十十 2 十二二

(川川)独字、大鵬三鉛

* TE 겖 w. 州 18 T. Y 0 21 一个一个 r.l.i CO 更いその間を 系い了なん。(千金) 24 Y 21 12 3// 0 務門を 米年代玄智 中歌別 1 Q 間を開 深入。 北谷 4 1 141 1

51 果 オユフタ洲 21 前を以て 8 .1 7. 5 田光 3 de 4 2 7.8 0 猫 2 E 6 华 沙山 de 0 0 54 2 tl. · 洲 24 9 29 Y 2 ヤマ E. :4 U 高いる時間 3 記の別に XII 71 THE 2 不 14 Jik, 구별 沙沙 21 0 上学儿 到 11 、ディス 雅 1. 1/ 0 311 OF = 17 間を称んで 27 福 0 .7 0 0 0 主治が P 300 12 机不 H 割り Y: 神 21 謎 1/ に重なる状态 器を 4 記をおす、とれるとは正 71 といろのなり 采 ある故 0 2 ·> いるない 0 74 五 5 146 27 E O 章褲 0:411 :4 21日 城 24 24 28 H 0 2 確って = 5/1 添える 21 H 16 競 W. :4 1/ 洲 FI 8 0

7 な聖ユフ 21% 一十つ縁し、 11/4 玉遊り生じた 洲 法):k 智 。〈量 那 到 827 而原整領 酮 出 CHEC 黑 4

> 伽 尿胸

CEIE) 部跳

th

爺

111

Œ

·未交派 沙沙 沙沙 沙 同じ。「職 米沙 中。《春 76 别别 7 は上記 対で 所称 冰 汉 2 T, 11. 0 0 T C K 「海域」「海域」「海域」 i 렒 + (1) 近つに水 TIE ---0 MI 服市 Y. ¥£ 0 いる問題で 子大 + 61 21 114 2 2 . .1 ニナボジ 遞 SIF 食慾の、 遊 ている 張して素 予覧なるへ がして対して対 OR E 学學

1

F 太いし、三十九つつを ل ユフ 爛 語で素温 金して いア部千大の 落職で飲むままで満て下職 制 末を解れて紫鷳し、 TI TI OXABBATO び黄連 器網 别。 ○杏痰ゔお、 2 沧 *

本るを除れて然で食る。 大個一个多人Cumbit 救急でお、 職事 闽 孫三。「賜 1 树

测测 一種の漁工 【小動き出める】(日華)【大、小園の風焼きたるガラパざ食人はし】 (O) Y 小更嫂。 〇「耐場お、 「電別」 いっとである。 園毒を調へる (神多) 県 F はまいして毒なし、 耐場とお観 一种四 いている。 (選馬歌/中部を含える一人服職) て出 、つい風を聞している。 國を補す」(金器) 州 沙 (京城) 腦

ス関 業 游 웛 印表 0 21 油で 21 J 計 終出一箇を記載と共 71 の極を解び回んで変 田 2 7 * 4 30 北京 孫五 21 闽 性を存して未 쌣 0 「赤白癜 54 出盤もなともお再り気みる。 0 添い破(出头上 「寒寒」 54 (下金體) 固輸して歌いて 割丸はいいまするおりのますがいる。 「距散白杰」普漸かお、 「祁戩」 H. 企業 54 う継 全部を食い 原事を忌む。(他輩) 21 記で 孫 不多新 黄 。 公 田 出霊色と激える。 9 7 然で食 北京 **金人。(林島)** な語よっ のら、罪 雨な人れて 9 27 12 更17 70 面 貢 20 いい い調 21 重 語 踵 子 XI 024 が 班 11/2 ーン H. 21 H 28 0 三野 更 閣 動 6 う獲 2.第日 ユつ 是 ユつ 目 H 瓔

> CulturD荣誉へ供訴「助 数、二帥。

9 7 13 1 腦 M * 21 ひなるもかな してはいまる 21 未奉蕭比割惠正六 > 日 24 0数料 OE! :4

神ら は冷 7 窜 B 亚 A 110 III 0 H 息 M 54 不 拒 0 OP 松 語が 1 7 12 禁 21 TI. 9.4 2 拒 潮 IIII. M 21 2 111 D&014 8 NI 2 2 21 ** 0 以 21 1 26 Y 0 0 21 6 92 级 111 XI :4 M 不 :4 11 印末 R 彩 18 卧 18 0 0 鄠 湖 \$ 22 9 76 21 2 2 0 ユつる等のさ からこのできる。 G CESS T 不 0 8 0 1 8 8 27 画 1/ M : 17 2 不 Ti ユイ : 64 THE [1/] -1-识 50 驯 訓外 斑 してはいかけけ 2 0 1/ £1 27 护 The 头 派える 製が調 派っ 11 松マママダY 411 28 2 TI TI 别 FI in in 0 W. ?掉 墨 21 2 9 4 以次 0 1 '> 54 高河河 2 なるもろう 非常に電 · Ch 甲 は急な金 1/ 02 4.17 P J.K 业 面 21 H X, 驯 然でころ 7 测 54 P ユフマ 京大 7 24 21 2 し酸岩 して認識 26 对 酥 Z 0 影 Sign Sign Ŧ 21 Y OX. 004 0 27 R 2 7 亚 21 th 聖 0 心态 發 遊腳 200 睪 料 J. 0 子品 B 源 71 21 24 54 P 24 0 2 淵 묾 :4 0 200 ना ~ 利 更 KI CP 줿 :4 2 0 田 \$:4 nt 極の機 月 गित 测 71 2 0 ユー 54 顾 R R 28794 2 0 9 行市 Sich 4 4 14 晌淡 + V 7 1 子工 前 쮨 劉 公果 2 21 繋 TI 2 独 R 5 21 91 0 陽藥 of of る。海 が、新 de 及 21 0 24 留 鹹 X 子 0 CA

靠 膧 雷 []] 寒燒虧](眠籍) [骨燒幾趣] 21 FI 與を京す。 穩 噩 2 1 大動不動を治す 運 刊 及 通 い欄を潜し 4 立とろび下る (議器) (2) (1) (1) (1) (1) (1) 県 7 21 れ対観を去って光等のする「細色」 頭都 主 Hi で目 【子と、寒いして毒なし】 「小鼠の こりがでいる。 。〈湿 瀬巡) 2 6 碎 绿 目赤、 な響い 1 Ξ を米すり 21 五部 别 规 1 鉄 200 及 、番1 H 渌 部が最高 1/ 田 U 。閣場 Y 21 翻 場が

謝宝 閣場 経ご 海海 、お留みず がってい コルンスが がは鑑い でいる。(秋 6 别图 21 が形 ーユンギネ 代一選を入び、三正同ラルを登 熱いて対をむして未 アノコアン 湿 ある。(各族氏) 「白禿職計」 青麵 题 1 了沃色。 0000 等分を最高 その薬をは常い島 Z 汛 7 0 蟲を引き出するので 京剛 9 di R 城で、子子 **造務國十箇を真城して帯を去** 務派 图 4111 剛 黄 2 「養養型島」 级 3000 SES 7 "那 酒で烙下し、 FI 越。 対して未び 21 てから用うべて い乗じい裏び。 9 **火茴香** 6 。(學潛縣緩)。 園 酒で煮熟して食い 具 液薬で熱い からる書から小面香 じた習 0 W 俸 6 なきもの 别 2 2 出 剛駿 2 24 2. 7 显 鄉 0 N 21 30 歌 郷 4 遊 7 是 到 王 R 冬红 P 0 21

*

TE 79 河 2. 16 (1) 311 C 14、智酒各三合 --Ne. MI Ti: ユフマ 111 11 * R 1/2 不 1/ H 0 通過 軍 W. 1 別 即 im X 26 inc 14 金 X1 11/4 歌 5 1/k (江道市)。公子 2 34 11/4 [7] > 1 数 河 [8] 11 :41. 即逐 の子門 21 11 2 Ne 河 THE CONTRACTOR W. [1] 24 111 洲 る事 1 Y. 4 ---11 7 dif 111 22 :17 丁茶覧を資るの(千金) 5115 W 例を同して御わるこれを強勢し N 21 7.1 3/8 1 1 14 出し続える。 证 源學 1 74 143 111 :4 る。(当野市) 、麻林 ·1-11/4 7 0 0 2 .7 T 1 北 24 :10 illi Y · 5 引 淡 11 明の日本丁 21 :4: 解 11. (s) 31 36 318 75 7 \$ +1 1 1 沙 0 7 . H 11: (小山地)、日十 21 2 7 訓 H 亚 11 不知 11H 2 米 III. 五五 No. ili 14: 流へい W, 0 0 75 0014 . C. Sif -12 9 到 II, E, गां まり 0 が過ぎ コンフ 1 膨 MI 0 R SIR 7/1 1/8 F1 21 例 .p. -一川上川 加ユつ 24 3) 三部して合 山溪溪下 不 ¥ 外通 2 .--7 多以上 CAN. 1 H 代珠 TE 一上端上了 (産が)。とが 54 49 水 :17 21 印 、つゆつ楽と 逊 MA 7/ 鼠 五分五 24 Y 21 て素米元の大家米元の大 言が 27 21 俳 関 つ湯 温 21 21 11 7 别级 ンハ 1 3 M :4 1/ 出え が関係している。 合前 118 2~ 0 闽 7 0 R R 24 沙 不 (4) 合 337 訓練 え、関 贈え M 不 1/ かな合みな Y 訓 (0 からかの」 21 5 -13 数 邸 日 紫 0 米 de 頂 圆 [1] (1) 22 0 0 事 北 H 翠1 疆 Y 藥 訓 2 0 日 + (1) 東 76 否 * 21

> 域、火 劑風。 4 4 中一場 L 714 事 NX 澎 11 (三人)原弦へ 驰 (三六)州風 H + 限性 햅 = T

(三字)関係、一条報題。

濕塞卡臘

(三三)大聯二 のとおこの ミさみ、瓔 訓

黃 赤

前季季

첾敖、

X

6

All

一合で煎搬しア

ン 温 を 下

A

T 常五十零 目標沿 樾 本 到

制

職がら、

07

S Co

田

ス

訓

聚

2

4

OFF

0 华田

R

24

en d

7掉

汗

兩

量 淳

(小景

000

東東東東東東東

6

素

ス。曹

11

顯香

ना

ユイ

酥

競

(神经)

県 Į

いる『い紅はの、一部の派とは遊りというので、「の知はい」という。「の知はい」という。「の知はい」という。「の知はい」という。「の知はい」という。「の知はい」という。「の知はい」という。「の知はい」という 「東京のおは、五で治して研末し、毎次一般でのを所で 54 0

音は歌(HY)である。谷の間舌となけるかののことが。まけ終派子となける。 豱

て行い煮て食人人金銭)

「脚を勘コし、不見を飾し、人をして船う食がしるる。正地と師し 県 Į 뫂

記載は千金ひある。 服す」「相谷」 2 水水

後ろ前に、一部を終するという。 「上層与東強能幹を治す」「通動」 以 Į

1) 盗行文俗を入会時)【真山目中の風器なおす。 河辺観ら、一

U

朋市

7:1.

口口回

微寒のして毒なし」多り食へ対風を随する。 「十~縁し、 和 逃

「独製」が終うから「服職」 以

Į

ためである。 雨を聞い て要な

承を組みため、自然を加へられ蘇

白室を加へるお殿を間まし、

小為の客燒を解す。

聚

2

P

>7

20

三、村子は「終の致い」といい、 と終れ「終い対す」といい、 と終れ「終えが」といい、 は終えば、 はいまれて、 はいまれて、 はいまれて、 はいまれて、 はいまれて、 はいまれて、 にいまれて、 東 意 0 團 21 4000 9 遊 省 [沙里] 0 2 ア王 ~ 贈る 下麻、 54 孤 號 小學 重 0 果丸 豐 4 Syl 県 . 果膚がよといめ、一緒同じしないが 5 PP Į 寒いして毒なし、 数なる い歳いては、 宣 14 車 71 て出 劇夥 層 q , ~ 日 14 规 6 双 0数 1 直 諫 EO 即 0 21 4 34 園 制 屬 2 71 和

爺の大き割ろ はるる歌 同い監管やしア 7 暴乾 ある故色ひね、虫を肌のア 火毒を出して點ける。三正 察が二重び 漁さ、 9 P 且 21 21 A 歪 小臺鄉三 ユフ 県 21 £ 響 71 퓵 0 别 恐 浬 뺾 兩 () 21

繖 > 2 加 察を各一兄の正玄融のアかざ 2 0 画 XXX 7 用 YI M R 至るを減って 6 心曹小 7 獭 立春の日び 4 **研末しア密性しア**領 ある。(隔点人路銀大) h 到 器けて物で蓋ひ、 少四 して青球で 2 4 城公去り あると富金不真の る副 数人 21 02 21 青 中 體也, 0 劉 # 60 7 のそる額 ておかる 怖 0

語を記る間がいる。 狄 20 \$季\$ 2 石 12界空館 75 37 28 7,119 11 水 蜂取 , 日 FO. 0411 記録 甘

8 脈す に然てか -16 と開催三十で一 雷 崇 7 19 部で経済

系用 tl ti 21 6 111 水が the the 711 スジリ 事が事 7 源 画 1/1 激調 0 珠 11 네

HG

2 op 2 Ce H 21 1 黄紫紫花 2 P

果是 Clar Mil TE CO 86 Fm 《國河遊》 郷 十十 ◇劉表 X 學 Į. 部でいる 中 では、 歌 H SP (地球)(地球) でる 風 章 YF 不 派派 副 :那 の年以下の T.C. R 是海 爴 。 〉 郷 及 ME

13

游 N. 21 學生 THE ME 訓天 訓訓 111 :[: 「つな型よった思 つ世 湘

題が。 FI 0 24

外。 1 1 つるよりこの なるとき然くのの人をきとるな や小川水水 学 [1] 111 F. 51 (0 M 44 4 -24 0 34 5 .7 1/ 0 71 8 · 21 省! 5 器 717 200 -1-6. ひとと 後の報告を治する行 20 (1) .1 マナリ 阳 14 (0 紫 ₩ 井 21 迴 1 21 ? 事 不不養 HG 如此 系用 9 .1 .7 7 日 OF \$ 10 16 0年日 系引 21 21

0 6 て開 ~ .2 腿 問 R

領海して対数がなららが

別の総のはいい。

せいと

(線

Y

酮

翔

4

盐

dg

翻

0

5

ことである

0

士

料料

?

NG

H.F.

>

日

OW

0

0

6

源

麻 ト 国し会別局財政へ権 サ夫勧し間ニ 単会を元し。

の一を 子程(OI)

涐 三 7 熱いア間を出たし 24 八二七、大寨四十九窗 江白」 臘務骨を熱いて対を存して研末し、 煎して什る取ら 、八成様でのカンノの中の各連光線 水正跡と共び 省間 繋 1 務術 錢 「消勘妻子台も」 西木香 下兩一 「曼密諸龍」 まるなる。 ※甘草二兩・ 東ンア館る。(書野古) 平 九粒、 対び。(三因
は) 1 + 21 10 彻 倒 重 E SA

fe 並引謝を、 一日三同、水 か ホ () 排 の毒を解す 丹藥 FI 東菜の鶴中毒ひむ、 前十分別す 熟汰お証別を治し、 湯が無 馬用 聴骨は、 以 6 Ŧ にが服 小

39 取ってい 2 いて水 21 成1000年 目 正日 TI TI 21 「中内の中毒び 驚퉤 0 H 4 独設を治す了(日華) 県 Ŧ 宣歌 阿別を治す「神然」 「のなか X て出 す」、問題) X 籼 别 6 沙 2 別 1 熟 级 闡 21

為不 B 产 2 開結對一 U 3000 0 Y 21 N 0 温水 沈香 中 U FI 水流 447 距 ○醫林津要シ 华 0 四十九斌、 当認 高を言うを記述を記述を記述を記述を記述を記述された。 2 五 ◎此 □ 減 はいいい 0 別す 뒗 剧 出して流いて食べ。二郎コして蛟はある。 7 21 真我を砂糖で 型 徐徐 颈 数 00% つき沿海で 71 6 要で 腳 沈香。沈香二錢 鵬 林衛 21日 東帯は二銭で 查 月末 廖家 一十 四十九箇、 の公文學 0二、 沛 1 響を常じて 观 末に 料で 4 7 及 树 習 SE SE B XIV ** h 0

35

で A N Yz 柳 28 长 (0) なり画 三月 葱、豉龙 養い煮て 水二水 2 则 ユギ 7 七二 0 班 III. 21 ° 9 文 1111 XX 51 派 と発 理, 21 2 8 R 宙 2 汗 24 P ìí 器。 显含汉 と流れ W III 21 献 10 W て煮て 証章六位玄縣 駅 ではつ 18 13 * 計 13: 13 ·1= では、 C 22 88 -16: 图图 71 4 91 「天於膝蓋」 小臺 がい 呼び つ解 79 大 3XX 3XX 一意 2 1/ 0 変はと間が -器器 MC かった Yz 質を光響 004 > 9 (外三人) HIE 13 不及正及 弘 III/-加灣門 21 章六分を 0 して食べ 高意 -1 Y 薬 11 渺 闻 圖 首 0 F 重真 Y 師 器級 2 到 21 0 94 は変 (1) 涨 须 挑 0 雷 机线 Ŧ S. 藗 须 黑 W TI 早 逐 干 消 3/2 0 7 ユ学 世 21 9 9 11 ina O 2477 11 おうられ 21 で割 M 等 21 (学)。か सिव 4 茅 2 24 28 21

沙葉 |変は然と用るれば客 FI FI 11 猫 24 +1 0 (4) 強品を青 됐 000 84 松 34 2 Z 9 変数を去る人種類) 12 30 THE ある 是那 30 7 瀬ここ瀬 瓣 いで 21 通 料料 型 37 R るがよ」「明経」「肌割を耐いし、 19 漩 0 題す。 郵 中国 褲 R 2 ~ 丹石 34 0 有数 江 R 21 叫 北北 公子 Ce 職が東京 田 R 图

北米

0

UM.

X8

验

がが

通门、

がる。

子

の駅春の

A

鸞鄗、

0

79

4

以

Į

寒パして毒なし」

「甘~鹹し、

规

逃

華

H

減

剛

瓣

38

0

Y

X

让

天

0

工

除び薄わてかると、海参り

· ◎

IF

海

釆

W

24 歌 楽ユつ Mi は新の諸の 小寒江 を解す。 、「今十」 準 薬 2 \$ 5.00 规 沙 1 出界行を下 れる母務のものを用るる。 24 服市 「煮汁を 5.5 県 日下 Į 盟

黎 。ずいる泉王なける。とは 71 記念の思 五 扩 2 校 沧 最も争し』といび、張敏 7 U 素 生する。 るは軽 曹 q 市のときてれを用るて 11 R 富 る原 ガ鷲部 21 + スイマとの FI 棒 、砂粉 21 風 四年間 54 見除主以降なきらきお務路を外用する。一个月以土墳生与水 五 FI X H 驚癎 2 一个月生で務院を強い高する 「小鼠の口熱しア 21 71 0 淵 21 調察の子がこの 熱を治する 5 믦 暈 il 田田 0 7 蓄家 7 圖 似 (y) FI 21 寒を以下 場上融れ 衙 汉 哥 東宮 哪 った。一个月以 0 71 副 この場合は ° 2 ° 12 0 B 小見りお漸 P 7 1/ 2~ 2 94 , > 日 2 単ではこ が、 2 しるないとうるれ CSI 0 丰 :4 。制 7 P 9 基次良 6 71 2 泯 FI 末 F 曲 は気が 窓 21 :4 :4 中 發 要え 1/ 0 54 21 S 口 古 猫 A 1/ 21

34 0 B 1 がれな 71 この方法以外で 急び手で辞んで承わて城る。 £

P 1 54 8 五 FI 0 37 8 57 日華日〉、東行抖務のよの必負しとす。 阪口〉、今一 Q H 古代のお郷籍を はつく、日本の日本 って大とかられどろれせる。 路景。 行務零さ加 7 幽 犚

0 6 别 2~ 清で調

Jell 不小沙沙 一門, 湖 当温 でない。 34 黨 (0) 主経 通中 肖 赤 胀 56 树

21

· 是 馬の変の へていまれ 0 P 21 FIFT. 到 2 川洋 明 71 艸 記載 に強いて なっなる」、相等し M 只 頭流 Į PI 士 A

及

华

が治す。 務間で 味して 2 ユつ ilif 訓 服市れば 「翻几のかのを対対熱いア水で of of 21 **語嫌**お下金 赤奈瑟素の多人和多 以 割

類の (到九小即此) イフルス利 合き米ゴ 别别 策見一首会人はこ無いア = 江回幻艦を予し了謝える。 くいます。 3[4] 100 PHI 5 如"" 日上は三銭ついず温水 M して財も、 轉巻を入れて福布で調へて禁る。 七箇を各箇の日襲 周湾 紙で 黑 Y 1 器器 2 0 兩 C = 白禿」 嘂 5 影 FI 以明 聚 21 0 研末 CA 哥 1/ 三 A

今年のかのお合家

个月コレア数を収る。

FI

0

B

の干日古

1

生きるるの」

は

2

X

つ田 器後 融香一会な人が 錢 21 鑑いのよ気後が桑自虫の順樹が 降行了一般玄鵬へ下頭す。一日二頭。(千金)【鼓音の目以入らかる 選る関 關香 भागावस 用るを返として取 四十九箇玄形窜 当け放けある。(普新古) 75 + 21 11 末 「小見の寒熱」又次燃添づ中る 由 **常不甲二妹を減り割って罹ら** シハ 嘂 鬆 赤/駅 歌を小す」 落配甲 核喘息 ると 2 白鼕谷一字を解れ、報び強の下固輸し、 し動争して形え。 Y 言が、 跳 7 別で(「駐台五大) Ľ, 里 量を入れて祈ら 「器な気み」 記で 飅 高家事が高い。 湯12意 これを黒金船と名けるの(麟籍) 館で 12 茶で肌で。(真動) 医器 鞍翻爪甲を減び割き、 帽腦小 * 鳅 U 。 正 幾 スなし Yz 二显 半銭で 關香 剧 瀬色 盈のア天南里一 京市 何姐 凾 21 i 4 M 21 上は野山 YZ え由 15 F 7 調中 印 2 7 胐

0 在るる 中景) はける」 21 中 廽 電館を記 の禅 * 0 北 Œ .PI びった満てい場に 以 £ てつな幸ふつい 幽 赤いままります :17 で調り (細半)[酮 歌高内 極 和 總內 逃

0 2 は呼らな 意水 5 :4 8 4 B 0

古かび

9

まず

, | | | c制 o红 。との出て了派を残して後日本に極、く日 題の一般 - 公路野 tl. 山。郷智中 21

太陽甲を用うとしたものおあり

11 一番 二番九次 京なけら 熈 命(54

用うとした

まれ後諸甲を

水河 北 。~獅ユフ 滋 71 砂 -21 R 2 1.11 ればから では一個で 21 ON THE 洲 须 37 松松 Ti 山 1/4 不当 :4 ムつ北る別 2 林路として記る謎と強は必以 2 14 のこれで師 けるの、小聲九 多歌 以外 不 コ人もなるもの」 中務別コ水を味して竹を録り、三台を期す 6 1.1 一〇七の中語 於鄉谷一發云米75 M 111 :7: 禁 P 文婦内最盛 は教工心学了 白井の田るを他の Vi El 21 200 ンへ M: 國口 「白赤髮崙」圖月器知の 流 が記述 小部するまでな 母務強を黄がアロんで戦 111 動して北京村上い野京内教社 の維果 Z 明中 のな。(千金元) ある時 がまたまできた。 園川麓務養を熟いて対爻がして一所、粧黄・ 日弱で調へて 水が味しい別す。(下金) 500 し、米市で光帝して禁る。立ろい数にある。(葡萄事た) 2 \$ 他したって雨ける。 惡水 最か出るも に満て納 7 回るり近 風の竹を強つて監肌する。(千金ま) 111 コギ 調 光で韓して末ゴし、 :4 班 からに金む、【用・女の不部】 薬で 例 21 臘月務膏で応して張~。 勘全な [11] 、半し、 13割える。(悪恵市)【十年の題前】 到 C. 76 器外公一是 悪肉はあるときお再び 班 init. 41 つ香る はなはいて :[3-21 29 青臘 H 華網 で変 园 (0) 漏 额 0 (直轄市) (前部) 54 剅 集 54 聚 学)[元音](学 000 2 五 。公里 藏色。 业 影 0 R 数おおの なって ユな 0 2 f1 育的 數方) 21 0 校校 21 错 8 耶 M

されて 旅務原 熟成 幸)。 # 袋が盈のア連上が置う。 6 図内と **塾**な下が 別 16 出れんとするには、 聚務紀一 代の熱代を劉明して行を切れ知識える。(下金)【粉肉の中毒】 = 「小見の客料」別部し、随の青らゴお、 藏色。 務屋正代を煮煮し、 道はいった。 ま母務果を成び ずい。 夜霜 鼠 「小兒の劉劃」 が順し、 「小鼠の」 TÜ シ駅す。(永肇) 「勧人の 頭舗し、 温めて浴する。 療十六。 聖惠大) (千金九)【秦瀛雪毒】 6 る小 を服 三星 大かとを水 4 54 曹 彻 0 51 绿 21

調え 24 からからなる。これを用めてある。その様を剝を毒を稱する近代を如の 剔の系獵風 錢柳 , / 日 o (A 。制 Hi 0 26 24 號 0 B 県

天 歌 21 亞 CA FI 五川 、葉霽」(繋曲)【東熠 39 飘 河田 する了、日華) 一個 新文治中](朝经) 黄道、 って受した行を随服 寒熱 一臓に 以 る筆 びでれる一子を取べい Į 焼を浴を 寒いして毒なし、 る」(是部) 5 'n 型 公本公 以及 2 0 黨前, XII 主教 次当 郑 21 寐 逃 蒸減減 發 FI

. सुप्रथय र ८

点はこれを食べば 田大らい人 21 掛いあっては 0 八子本章に川るるも がからいる知識の限いたのか、むり、宿るする その川流に三種あって、 大自三个月を以了生が、洛司和のアは木司圖し、 高い江へとは東北の調でる。 然れていないれば 会大といえお監は別をなかのか気料が刺する。 0 高力所被おおおき 場のほいるので強い特はあるり `> [-] おみな食犬である。 はいい 特法がある 見い属し、 脚 欺 FI

治はに(チャ) いる職を上、いいろくとが打撃 20、 き巻かる 文献と いい、 高ち四只なる玄鷹といれ、我大を闡 爐 、口いて歌をで下れる子一、口いて---。となる「アハマ城で七三

音は 7-7 2 2 넆 11. 6 おうの別な深しいものか。対コルドは「大の中を騙る 下かかある。 樂班 继 京 行は城のかり 激込色を競 たのである。 門ではまれてれる高い 03 白間本 強文コな「丁多色を聞といび、 いけやうけしまる」といい 製試色を以 河 いいいマー 411 2 +1 2 +1 はって 0 一〇ペイン海 TOT 京川川 :1: IFO 文 TH [1] 618 7



,原 池まる籍び神玄叩うゆ 幸 关の のと懇組のあるものな大といる。 章まで うな酒なある。 海お子の地質は昔且などのけならばと謂えのか ぶお叩うあって、 20 **、**〉日 高したるとれてれている。国内部 中 。 全 地羊 大(銀文) 7 盐

Canis familiaris, Linne. 性 CR 岁 財 臺 村

(明中 一經文

「小見獵制の簽場不实なるびお、 댔 量さ水少別する湯器) 網を頼る対 哪

ひ安~」、日華

Ŧ

加下 窓かび母び使らしるのからびして 「小児の政部のは、 以 Į 真中 继

劉月のかのの熱気心

「着後の血肺心部で死せんとするび 879 11:6 蓋が監済する 【五鮴) 【背影子台する ココー 「諸毒蟲質を解す」(種別) 以 して対なせる。 Ŧ **警** TI TI

5

井い南ける。(小雪) 水で鉢ってその竹を脚し、

1 薬それなつ 0 2 24 71 7 沿流 [H] 14.7 21 ハマも以る して電するなられ死 殊 自動 場立果 お能~数世、 029 X 訳お多うお劉亀で FI 間で # `> 2 V 日 ○雲 21

\$ 21 14 早 2 71 I 0 24 はかななととろから 1 さらは 山の前のかのお肺の九次激験 54 0 7 CA 71 A 4 孙 他 SUZ は暖にして 大お大い引人を献金するは、 TI 0 2 9 大凤 证 7 論局割が して船へ桶 FI U 黃 21 H は流 シフ , ~ 日 1 4 "等 别 54 offi :4 0 B 0× 9 71

事 黄砂肉却大い刀副殺を 点師を難り入れる。 自鄉, 0 9 岩。 流を表れている。 间 华 0

Th

京九を金布と日華八 おっては 1 、つく資本品 SP ハラナをなんりお血を 题為公銀 · III 、つい番 で献し、 いまれる。 加测, 人会益少的了(孟精) しアを心い食る。 「目録を練し 、つ要え 堆 曾 2 耳毛 7 (思麗) R 琳 规

IF

の名と新文

精髓

、つ思る事

を制力、発生

:4

41

スの汗及町

CA

44

いるのはいっれる食ってはなられる

「正쮋を安」、

以

Ŧ

【つ甚に展】(襲甲】「4野炙遊、つく掘炙み、つ棚炙燈惣

遼東 であって、禽な響を乳むといえてとね古より未が聞んざるところがは、 並対と はいまれる。 X 20 当びおなうしな時代の闘烈なある。 0 St. A. 8 割背成といえんある。これお割ね三限を煮み、しお割となり、 北下 黒豚のゆうで国なともの 特融の縁 2 化したるの 計 21 6 到21 ま木のま o M M H 有情 X 無情况 の公里 木鰡を食 00 除び雑記して 点で食 果 0247 FI は大 の温 fl 12 類

つい歌 該と共び食 「鍼~蝤し、 へ対人が財でる。 和 沙 と毒なし」 南國と対し、 杏汁を畏いる。 読と共习食 白大おろパジだり。 黑头 のともて干み を生する 黄大 IT. 肉

の。の歌日〉、白大と新軸を負合が対為を認該の罪る。

11年 1 独都はこれを食べれ生れる子は 流 II 凡子大幻笼 ¥ 0 140 計 目 0 X 肌気ななし人幻食人ことと思い 高大幻路記し、開大幻路記し、 · 2 9 o o 地漏といって気おな お原は興か ○鄭大ゴお献はより 0 赤型コして繋うる 人をして前掛サしるるもの分。 お大き o CA 2 A PA 道家 神を傷める。 懇組大 1人 な割め、 魚である。 陸、歌多い食 大子宜っておならぬ。 1/ 0 CA 9 24 71 出なったる。 印第 , 〉 日 有毒である FI 2 F) 6 で食 海 。料

规 上いるを徐く R III 711 歌 贏幣 X FI ill id 28 たるが治す。 い。三年 -6 談論で、 102 41 Xil YF in the 郷を称しなすると作 器邪滅を器 O Y ZI 34 高加北 の課 97 い、山野洲を沿し、 Tik の年以及山 H 28 I 华洲 教 脈も」(眼種) 間 0 A いまり 346 一个是不不是了了 山 アない 取して 計 (i) はいる。 旦 21 5/ X 以 0 を治す &E いついい Ŧ 發 2

W 7 日鄉 ME (舞 2 114 八谷八 、一旦 「煮な竹は船~竹野を下す」の 。 当 。 Th 都子繁等とほしてなっまい。こ 【つな禁ューに謂、「쀍】 2 石北 14 111 FI 到 Į 、肉羊门、 2 2 9 洲 业 本本 5种)*/ 日曜川 沙山 一一一一 ° 头 なのか良 倒 漏 彩 '> 和 多 · A 验 c須 日 藤 O扣 図 日 o & A FI 皿

当治る、(相対法) 「科制 五万 例例 拉拉 T 江川 並派 0 4 111 冰水 即呼向半司を三水で鹽丸と共び勝り茶、 [4] 111 小を入れてなべる 2 れる間に下でこの強を終し 温 2 り煮了水調のなん。(心難)、空間は鑑了 能 :4 及こつ 0 别相 21日 21 いる。 器服 7 なり 9 I Y 21 74 (1) 黄岭肉 ない。 [4] 71 21 文 [ng ずけて の選 ; 訓我 動台】 頭都し、陳献する 附 中 の一般がで では、大温 7 高歌 米を取 く。(心臓) 21 8 图 食る。(心験) 9 重 9 7 19 4 灌 21 少山 頭 響 4 71 Y. 0

(三)大陽二米二引入。

乳ン 特煮下配の 水骨と共びが隔中が入 2 ナン 0 图 rk 電不 雨な人 に て吐る 朝 Ġ 中 21 なるからずら
甘草末万兩 『刘为函』大公司元禄子師で。黄大肉一妻を一分 17/ 0 再れ巻い内を別のゆう 諸米三卡を汝ら、酸な人パア普厳の函を額 (乾州秘韞)。 は新教各国 運 Y 歌 別す 20 黄漢、 極 男子、 鹽酒で 出がま + 前的 【玖玖庆】 を控心に 鍋 再び一方法ア骨を去り、 算林, 元元 隻必改手 び。(素法状) 骨敗 いいが 香命があるこれ 一一一一 珊 +7 水二代が用る、 沧 IE 、小様つ 黄葷 陶室心の 7 21 いるよう。 9 **動域** 新五。 酥 75 古 一日煮下薬を去 不少 る。 直量 垂 4 5 極 2 11 島と、 0 0 170 F 母しい 裁褲 * 刹 疆 来 4 響 R 显 21 2 随 思 附 S 骨蒸 21 6 患 7 de 扩 馐 U 排

不常立 2 劉玄喜ん寒玄惡む。大の封白監、劉コしと聞く期、 いい。 窓を治す 經過 派 2 24 * 載せ 9 0 · 29 雪 图 71 點 21272 丹溪 2 場の意識。 0 2 000 41 . Y 高を 選びの 選ばる 通 生び真に 2 いは多しの薬を動用する 0 からか 劑 1.0 54 で記る 歌客 ユフ U 酥 21 門門 問 21 て圏 吳畠 場合77 水之 14 27 激 以イマハ 训 劉 いるおおいい 71 多色人の 来る治す。 昌 :4 14 2 B 加 Cl 2 2 Y , ~ 日 不大 ユフ 石 0 ユマス 张 9 11 FOO. 哪 21 倒 掛 。却 の畠 邢 張 X 黄 R Tik 2

(1) 婚割五要、本草际器(3)卡勤=剥小。

07 [[25] [[35] [[35]] [[35] [[35]] [[35]] [[35] [[35]] [[35] [[35]] [[35] [[35]] [[35] [[35]] [[35] [[35]] [[35] [[35] [[35]] [[35] [[部の電話 1 以 Į 뫲

干 以 Ę 30 % O & 五金玄京八古四人海经) 自火の 盟 21 # 盟

自大路を割ず 「茶風茶」 「疑の白色玄独〉」白大路は強る。「千金」 旅。 現す。(予金) 1 彻

北倉

頭も以後なは大はかかある」

F1 21

整發

丞

赤

「十年の青目习知、自大治子を生んアを対目 及を取って頭もの調ける。 あの子は目を聞くと同物の歌まる了強器 17. E るのがはしる 0 自大 の部の 界汁 以問 0

は川後にある。 、「なに悪り、減り」 記入 つが別する、御谷) 以 大い Į F W 回 171

20 がでか 计 【順歌張小】(参考)。なる疏 はかるに 2 \$ 大血を塗 SI 1.11 34 日 秋 源 する 瓣 0 0 剩 田田 21 M

斯

25 Z 主をるゴお、白天血を強み対立と、対縁まる。(抗発氏) (百一た)【小見の卒融】自头を陳しアラの血一代を対び、井コヤコ類る。(33元) 21 (1) 阿脚 21 排 温 経済 57 0 3

o N 綾で 剛 7 21 東ゴアニ 1 は直ち て館 題の 澌 自大流 0 21海 쨒 须 M 大七日にして 熱血一升を 9 合えれ対去る。これは垂汲のものの常報づか用めておきる。 M 2 白師を背から破りて血 Sig をのを用めてもよし。(相談氏) 「起撃の献】 監策で、 頭 白大の 特制 る場場といる。 惠寒 王 金らんとするには、 發 訊 0000 尯 hd TIJI 锹 7 二星 即公司 つず 0 たが輸色 H 4 th Œ 瓣。 当社 W 發 if 21

頭與 6 コー 五 2 B 0 特 (4) 留 0 大方縣 顟 9 た」とあるところから見ると、古からかやうな :4 2 724 小小小 1 これは全た異常なる赤鑑がお 1 基 滋 PI ij 44 21 長と三兄 24 4 蛍 震ぎ 趣 が一般 合はか g SIK 12 門に禁けて災を 加 0 引き出した。 帝令へ 19 2 点题 Œ 計 34 X にのいまるると子が 鬼陪の献る 可き出したもの 0 12 到 動き出したのを強で SE CE v) 110 ※また」とある。 悪と ユフ様子娘 跳 20 M. . 圞 アお犬が 学 不 通を記 蟲 制 眼でその 制 21 H 07 0 亭 头 20 (0)業」(1) い題しア不新を報 して滅が 118 5 0 華信 独 75 0 ` | | 22年 咖 giq はその 温 21 0 C F 東 X 剃 日 0411 石 2 A -7 21 34 8 21 0 24 新する ユな まる 24 Fiel # 0 曲 24 C 数 0 2 兴 シーコ P 田 咖 重 6 競 002 \$ 000 2 Z + ·f. 54 正 TIJI 0

21 0 N 力 2 X 6 蛸 几子血深渐, 別 がで 779 哲 2 0 就下了四部) 狱 能~血を動る。 24 M 21 24 H 例 0 N Y. F 0 話を釈ら 1 1 , ~ 日 F 過過 。間 7 いする「木麻」 蟲之歌 惡動り娘~」、明錦) A T 血る目】 る常 淵 以 TITE 数方あら, 県 0 0 0 P Ŧ 主

8 Z 2 0 571 间 2 0 ればい 夢る 和 驯 账 (m) 0 白大のおのは丸し。 おする 7掉 江る江 F1 青大 P 到 21 が必然 翻 道美

(声) 夏至汾第三東日

はは 和 錘 +1 正大学に いいでんでその 、一日韓【り写葉小てつに正、つ器】 是 息 碑 黄州、 28 쌔 Y 21 7 つ間 46 編で韓宝しア水ー作で煮甕 批 * 深近 ムの時及首 411 Suf 石市 黄 I 2 級 12 巻 2 秋 9 秋 9 秋 河で 刑 一十七 る。(尉五家湖) 人。(心競) きがし な合せと食 9 班 で発 及 #

-新一川 麻頭部 7 0 滁 韓 4 彻

2 田 も思えい 71 0 B 200 脚派攻 0 07 X 孤 SP 大の辺勘习室る。 避 20 P 2 の名がえ 狂くい類に弁える最」で子吐」 並 て出で書語で進るる。 の「縁器) 0 9 34 以 71 TI TI Ŧ 21 CP

るな川客工つる姿 和处 .F1 はして鑑り添れ 張と称合する 及干 0 調子る 「物肝で 21年 あられ 0 411 (in) 〕〕 12085 LSB 4 0 張華 X 9

記載な机後の

(きましないなり酸性は多

。~獅スひ

MI

る。別

0

7

がえが

一成刊打台は死土の今で了臭物が今打し お園するのな」とあ 蓋し 動する。 土土を動行すると刊原が **松間の雑記**び 強するい 故び人が いく日の部 。はらかいはえ 刊

雪台はいままます。

大智さ用のも | 演器 | 、の間経下る対対教育を用め、

「私人畜致の智楽で動のはらかの、その動 県 Ŧ とれるお人が味あらぬためが。

内限习に大き食え引お習るたら 時の日く 「るる毒物ンフにす」 利 账 녎

| 対象な合も||「日華)

ग्रा

弦犬の 真」,及公下陪の歌, 邢玄紹~】『暗鏡》 【風車、 [憂患の原。 以 £

盟盟国] 咳滅を栽すけ为自ら上る。(共業株で) [場のア水強を存みなるとき] 蒸摘半箇 を致ら出しな成蹊で堕え。一三箇を重蘇して食へ知るの時お自ら強する。(韓主堂氏) 4 印

大」(金輪窓は)のる下る自ばせる衛に上骨にも強玄腱別【咽頭骨器】 又が場つと水到を否となるとの【和金) 【結骨頭、劔川、 第三, 県 £

三同ごの強けは生える。(粤東北)

TY:

帯対を五川の欧淵で味し、一 まの出る的には、 「冒髪の火鶏」 除。 4 彻

目

飘冰冰

「関係いは、来然しな黄砂以下要な。既らび川のて繋を切る。 と治す了事! 果 Ŧ は諸風、 出

派に割らて別す」(編集) 扱いは、 1-01 神 111 Œ dg 到

大い以子を北をす。極人の帯下十二東は割り了本籍〉【歸捌、 (聖芝)【土鄉天照維】 会職を治する事 ある世熱語を重 0 献人

小划 Œ. 受し、 \ |-| |-| |-| |-| |-| |-| 「つな業よつい立 、つ響 洲 1:K (แ緣)

為幾不

N

日ゴルのア百日間後韓したものである」 LINO 「心静な六月 4 盐 拿亚 4 非

51 りるというないはるという 所よしア等令を黄 汪霊記末玄黄砂劉七で味しア黯別大 聯香 略 局了然うする。高数五式 7 温泉 黒豆な人はア流調 例 法 の。 "行江 及创 いて の盟特 T. 離行でほして黍米人のようし、三十氏を空心コロ 21 こ響り溶して肌す。三 验则道 简何 FI 近日のものいはらず、 及以見 に解び っている。 SM Ogg は出れていまれています。 李 (1) 邻及 臘月 E/R いる市研 調品 大いつなが 下鄉 一の中の中で IF は一つ D 香 流 116 7 71 落: 地。 、暑小 い。(側側)。の 量を入れ 越畅 平田田 金電

除日獨尚 滾正丁等 土

事

X

뫆 雪 自色を 及 7 0 豐水 刊 寓 0 Y 图 75 一部 るる。 + (軍毒 0 禄 碗翻 中 11 果子、 且 置 主〉な数はある。 7 一〇を公田 難らいれ、 回了劉まる。(帝竣夏太) J了始禄之妻。 る。(理事) 食 市 目 f1 の部 W W 河 淵 耳で 21 21 末いして 場新 験方 中目 量 茅豆大の (經)。 成劉村玄道るので金」「血緑」 大館汁を 11 Ξ N 7 (豬蟲處面)。4 71 裏んで耳内を塞り。 四箇之為就 21 開いて置子で排し、 『雪幸』 不 71 N 别 選 脈 1 酒で 000 豐 2 36 3 惠 綿で 0 1 褓 がなる 京 (5) で変 2 二星 園 1 ユフ 12年 訓 調点が 戭 劉 X X 21 21 21 4 学者 營 ij E R 滥 0 验 2 17 树 目開 上秋 1 淳 戀 黎 4 #

諫 田 2 21 干 及 0 鰂 排 R 歌 歌 弸 21 の今うな見ち三八の蟲は 潮 0 7 * 54 7 独 (1) 21 [懂 Ç 隱 dr CA 内の太守 いで歩いいまけり して記 回 魏志に 蘕 21 與 R 否 重 头 21 724 0 まする 头 解で 向 21 , 〉 归 2 287 788 弧 源 (影) :4 R 31/ 4 亦 経験 、まっなツ q 10 M 54 級 R 顽 劉 2

山 A 8 (非報) 7 A 人をして劉沃 「八篇報を治す .FI U 中经 にして服す 小丁 盡 封をほして大 5. 流 0 6 别 、東運 R 阁 7 X 2 50% 。タ子 淖 FI 水水 21 (孟鴉) 证 翻 到

(4) 0 0 抽 2 41 加 0 制 6 銀の周を(衛車は節)【紹告注意一所照告を殴り割って日海り憲する 0 0 成照骨減之黃丹末之第代玄瀬 >。《壽越古》【唐玄弘丁、肌玄主字。 37/ (i) ·目, 别别 北道 FIL! in 21 記し 場と数なるる。(韓徳(to) 【下財の教骨】所頭一首を説いて対をかして末いし、 .0 淵 2 4 filk. Sing. 一道) 中 h/! 1114 TIL ス・し TI 於照背承二錢多 排 驰 1 1 0> 别 THE 21 V 7 S. C. 米がで E H YII -21 张 27 ある。(宋江東館) Y 質額二級中を末 自門 ふし 田田田 * 引到 会での「海岸」 C. 30 井口監御するひは、 不到 厕 顶 製がを未びし、一 おてる小 2 耐と氷ゴン、 6 0 はして मिन 119 illi Alls 1 1 Sil. がで J.K 7 桑白玫 職子自ご :4 神 1. 24 21 子额一口部 型33条人」, Vi 学が本本 紫水水 物面の 3/ の当少」 、州ニンと 7 21 H भं Sul. ? 道。 ; ili 子作 来 41 流 瀬色 江西西江 hd が十一 沙仙 シュ 14 心圖 でする 0 9 を発 清三 1 班 21 FI 曾 シュ 34 [0 R 须 へて強う、 香港の 白體下了 ... 品 R 024 飘 別 面 寸 (南指) 11 Col 不 阿 CA 证 學問 潢 7 0 7 >> (電電) (軍龍) 단 で調 X 哥 墾 (11) 順 7 獅 草 0 2

ご確認り

朋市

熱味を耐ぐ

()

い主教はある

器

計論。

骨は小児の

本印 成な大 「畜業」、種子の手おん見のみ都以主族なある。は除の嚢い盈 日び取る」 施方落ち 金 **超**42 人歯と共 資売と成して取り出るを 「熱元は剔え 黒やハカ大風流 県 中間下之治古人無多 觀 の習 な風事。光 禁した圏ではして娘~。 部で成しア終背、又次馬達新り娘〉。 £ 34 大コレア十大を空心引白着ア朋するは 動めて数はある 「頭脚」 「熱斌一鍵玄馬下肌市以为爪點之台中。 「つな準よつに主 風を治すといる意地は出いないなもの 武計剛別を治する以後はある」(報会) 熟河分 「動師寒楼、 、量神 韻 る主 0 Y 飘 祭献を治す。 「黒大の丸、 . 一級~井」 「島大副智」成手を味り辿り、 解뼯 県 £ **远**额 雅南南 単瀬 12 「もる書像しついす」 9 规 1857日華)「離前」 班 熟色 业 見の背上が繋わる人識器) ころとはなどころとなる。 良し。 愚つ服すれば、 「軸下お大献る台下。 いる日へ、 14 血を上める人間縁) 0 B 0 显 て選える。(神神) 7類~】(神经) 県 规 (4)X 源を 25 黄 Ŧ 4 沙 HII 熟 9 1 頭骨骨 21 級 树 (明織) 士 20 122 94 21 圞 X 劉 716 21 2

쾖 風彩、鉱歌暗留。 以 Į るのは良し。一名白龍沙 0 く毒を解する神多 自衛 本工

酒中に二生夜波して荷を 日三回現する。凝ねされで出る。(承養) 【議訓の中毒】 大泉を憩いて末りし、 2 别 P 别别 及 21 金龙 遊 16 日郎知一水の熱行を :4 源9题 「幾背離割」自大局中代を水で鉄のア行を取の下眼 晌效 log 5 H 00 :4 FI い合かり 24 2 **北欧泉玄正几正日习汰习熟色** 制 21 0 と成 ※治にも多ったらから 〇间 2 服す。「下金」「魚肉で感 「心部で死せんとするもの」が見を切って祈り、一般を消 31/ (正) 「小見動傷」を対別でなるの対は、 線に張んで近形の 验 不 飘测 馬蜂館を治する以前風いある。(奥惠 () M (n) 11 次 11 **ホヤとを耐**ア 容之漢〉。一日一回。(本養)【守強惡劑】 41 21 物養正代を憩いて未びし、 11 新悉 める懸くてど 献入 九七七玄酒で肌す。(ぱ)、祖教) 自三回 います 電影の 三二 月水 ー 渡い思へる。又、 い。源源、一 諸毒を治す。 す。(明恵江) 末12 1 9 熱いアナ 179 06 0 2 MI

(4) 火驟二州粉卡謝丽二計 2。

题 St.

34

2 YI

いったようの解釋のあれたい

が以う循派を治するは、

, ~ 日

C 会组

古 【神经】

添糞で なして て機 熟 調え 新春 3 味ら ち B B P ラ 3 1 し 7類けれ財を出す人識器) 書の初一、8下系護師り、C別系 語、 語、 語、 を 治し、 の Ë Y 21 口 經過 服す。諸毒の 丹馬 小毒ある」 20 計劃 「守計コカルアやを録 「無宜う骨び撒して확きびお、 、津画 シフマル 温終記ではして遺骸、 遠 電影がある。 和 沙 果 なる意思を強いいる。 Ĵ Ŧ 负 恭 :4 あのを治する高 X 0247 0 8 。公園 0 マツ学 原 朋友 目 21 成を割っ るいいる。 水 率 CA 9

水でか **食車不能なる切割、白犬骨を熱いア禍も、** 母訓錄 子の事とって干 随る景の景の景の画の [畜敎の頂勵] を記し 4 彻 1

熟 2~ |熱灰は 『頭行 シ来と で 煮 ケ 熱 な 熱 力 縁 人 多 静 鰮 玄歌中】(近景) 務間で 果 **液を米角ア日日以駅を以为州息人麻を治す。** Ŧ 哪種 【つな楽ュフに立、つ具】 及び研究 一熱域は結散動、 紫雨、客中を治する(四本) 利 (明義) 派 > 黨 刘 の当 旗 拉部 21 :4 るる「縁器) 00 歌 1/ 少~ 置 7 0 0 自鄉 林 2 21 生ず 影 2 750 雷 0 中 븜 Z, 71 M M 于 實

製法の林代で水中で「聖惠氏」

:4 北大かお大羊を(m)氏としてき 0 0 到日 多識 7 学 9 FI 0 de 8 1 おいまままとも 21 末鉄 2 0 はない R 1 4 0 北部 見給のか 0 旗 酥 長さっ 71 末 金宝 '> 日 9 Mio

> ria 6 -6

和 京

東京本 +

こうにって行動

X 蘧 2 ころのもない郷文字鉄のの計は 41 34.24 34 河21 0 江料 8 14 34 -54 54 MI 71 71 7 弧 野羊打ごが門に生する 所学などい 温 21 22 いかつ Y 並 21 t4 薬 7 0 2 1 1 0 制 1 2 0 1/ 雨态 A PI M 観察に 21 回三21末 0 8 E 20 3 0 1 , 〉 日 级 瓣 2 FI は島羊 ユフィ

のママンいているといるないはこれを見るでいるである。 すいいって生きるけてお 21

0

E 2/ 间 [4] 石 音お守い いる。 っかいろっ (44 ないって なる子様子のいる様 音は務(音お蜜(ぁツ)― 音は兆(テヤ)一 はない 8 煮の近个月の からいて、六个川のものを撃 何ならを離といれ、 郷屋中日中日を経 七个月のものを幸 12 スマ業を土ま \$7 12 4 実]

[

はまる類談と主は

12

る難様なる多ま

いいって戦るる当

いないてはるらり

いないろ

合は減でかかり

米

12

·n

子はるまか

いいろ子頭

、カスマ鉄及実形

54

ひいる

4 阿阿人 。本非

200 盟文 ている例形は幸の年、中」は子は、そのもなり後を送びる 田でいてい 劃 計 お箱かある。対け吉 音は初にたりである。 志 董子お 珙 。~暑り?終びる 公里了了 区) 0 17 お頭、 鉄 李〇 24 岁 0 志 21 8 27

。なてる数 III E

お羊屋を限り番りてあるは、 部 到

2

出いお神サ

Ovis aries, Linne. 中 菜 **联 臺 科**

宏宏 (田中經 李 丰

小兒の鷺融了 寒療、 県 É 原中配

明織)

. 举 21 「記翁剛 0 米を取り 栗を高り、光の印めて脚 CA 次香木二銭公人以ン立人。(永鮮後九) 全が沿れを うながです下を見てい 越玄别古。(斜於大金) 米 の中のそろの強みまるを難める 帝政水で二 で同 できる正とできるとう 米逝 正於生 少量之人水 お黒豚ー 報を入れ、 關香 同いい。 须 7 21 COS. 米粒で 日 海高 自 ア末 。靈

返は

【塾嗣で食事不館のもの】黄大を獎日間遠瀬与しめて生薬、

1

彻

垂 24 3 0 FE 71 H 5 输 高さ三兄 0 9 6 重 R 制 21 河 T Y 21 罕 硘 4 丰 胡

十元 、ここかが、又かこう大気器 0 \$ 00 et 涨 重 2 聖 9 . :4 12 调 1 ? 21 美 :4 56 24 :4 7 0 なれる計 8 길 2 '> TY 好 业 21 FI XI 是 71 軍 '> 0 末 2 眯 6 主 > 雄 2 酥 c執 ②紅 P 21 車 :4 71 0 丰 9 21 人 銏 N ? 重 其書 4. 2 2 恶 7 0 B FI ユフマ 彻 2 21 墨

:4 14 YIV 0 酥

古班方。

橐 HR 湖 (10) 製舟

からが

200

M

FI

21

坐

間

0

不適

の 2

4

21

0

71

114

447

0

CA

34

FI

~

関盟が含く

思

PI

9

71

de

っていいて

まる

2

. され

及

11

2

.1

a Fife

不

븚

いってい

子で

京

0(10)

200

54

0

E

9

E

显

不

至1

なってい

南番で

2

00

1

薬

2

SA

添木

71

贯

5

0

あると見えるあ

0

业

21

TH

2

2

霏

及

齡

41

2

1

AL.

弘

霾

0

当

4

7

噩

難活地酥

E 水溜

設が、指すこの大気へ

弘

加

STY.

TITY

E

0

:4

TH

FI

~

U

不

K.

1711

.

9

FI

~

U

不

美姆

量是

剥

七野

ス一覧

7/1

07

24

2

间

1/1

27

外末江

21

がった

0

8

2

6

CE

12

FI

持いまで

000

透って

利

ユー

〉唱

山市

71

П

0

7

24

37

7

31

1

170

がない

B

28

C

2

FI

末

(0

酥

岩

2

P

54

番

45

0

醂

24

7

FI

まなれて

.1

24

はの合かが

かしいってき

2

Q

砸

12

刻

これが来る

末

法

0

酥

8

6

重

114

9.4

34

0

8

26

1

21

X

FI

2

TE

21

學

0

2

CE

27

Hi

茶

7

>

薬

71

溫

0

2

124

:4

界表祖人 光彩产云 小茶川 悉小高工 T 悉小 多耶 通過 # 典籍 出英州 資素 東京 東京 東京 東京 東京 0 A

その羊を南方へ

大るあ

2

0

14

本本

(m)が東京東の大

まく

最多

以末

0

17/

[II]

1

日

07/4

さ 記さい

24

五

12

N

マ具まない

21

雏

21

5

3

1/

:4 H

Q

9

\$

0

4

红

0

啉

0

9

治自ら登録す

と節九

るり

2

0

몔

2

9

2

0

9

6

發

及

386

2

>

1/

:4

规

71

末

0

ができ

21

始

う食る。

G

文

京

筆

草

狸

71

末

0

4

单

7

2

£

827

71

21

沿东

116

0

が南部

いれば

0

2

14

:4

7

2

0

領

118

8

2

6

宜

不

we Z

71

 γ

4

園

21

林

宜

9

FI

\$

.F1

2

:逐

实

つつ

A

21

4

學

文

丰

0

4

非

0

9

4

54

0

3.51

(二)

21

末

0

4

那

干

7

墨

。は、そこの

いんせでかんい

更

間

FI

2

0

歪

21

末

南方の

94

24

0

24

かか

雅

9

P

2

0

とうな

:4

逖

图

0

21 3 2 豣 5 親南の 小とう良は大きうしア手は弱う 360 瓡 7 丰 縣 Z 末 5 は契羊といび、 9 业 R 頭が 5 CA 電が 2 0000 12 0 蹥 S は夏羊と 6 不 重 主 21 0 2 2 020 7 **>**目 21 6 灏 重 21 21 是 級

0 9 P 21 型 干 0 実累ユてる 食料, FI 丰 4 2 6 酒 21 が下が下 4 亚 連 凹 3 F\$0 。销 X

石 沿 路 流 水 赤 路 不

垂

活まれていません。

E T

石部湖

146

刻

1

幸 音 く

西班方。 Ŷ

Ш

11/

豆

+

活

21 丰 4 日 闽 瓣 0 AF 가 FI 2 77 食料 54 9 P 2 0 2 8 哥 2 U Y 21 薬

直よりくぎゅ音 1 4 H A 54 主 2 0 82 14 重 21 而東 末 睽聽 `> 日

0

流中就就 。 0.4

71: :4 京 (**齡天卿** < SIE 14 Zii 沭 措 屋 類 草 (雅 6 雅梨

54 Ш 4 h 東 -6 Ing. H

ある。 * 举 21 して他の 12 '> 12027 温之 E E S OF が WE 北京以 0 9 旅後のこれをなっている事 74 以間 7 21 54 FI 記り火 い。温 彩 FI fi * 独な様のして火の過する 7 24 翌 [4] 【書~甘し、大焼いしァ毒なし】 3/2 素間には苦しといってあるが、 37 :4 S S 新 2 17 所派 W. 71 まえ R X 28 1/2 A. 0 C 54 .1 熱減 FI 0 • 112 12 测 和 2 TE , 〈 | 77 YA Z ·信, 沙 はの経 1 正 4 肉 71 圞 71 21 2 0 0 末 弧 間

:4 34.5 京本 7/1 3/ 11 訓 3 0 THE 7 2 :4 CA 71 -1-가 (R 1 平 1,50 ? マま果な -1 : 类 0 5 · # 100 1 Tr 7 ふる神 手 24 III. 4 1 1 71 .1 物於食出 こなるとも 干滅の樹の潜か生 (1) 12 のはのなっている。 4 Mily, 災災 2 2 0 P 447 9 の空學了 がおおある (u) 事質であって、造 :4 丸は縁いな (D) \$ \$4 してその種気るもの 34 温 門美 m X 水草を逐スト行うもの いっさ 刊は上である。 と正式との 。おうこでいてはかなけてこと野る干工島は 河河 神異なる 0 22 ないか 11 1 1 出して 1-别 · 14: 不 :4 のか、こと いい。 .[] H ンス 4 训 0 南方南 :4 C & X. 1 いり りたはあってい 1批異 795 7 不 ? 9 香泉 7 2 8 A ア王 精 四岁 :4 de 20 等等 71 少干 54 末 劑 21 2 21 :4 架 此ら重 到t 2 鱼 弘 2 育羊 1 71 置 末 Ξ 0 間 2 FI 哪 0 71 2 圖 E 弧 28 2

これ、資本へ作業古どがリナーは大きの一十年代

9 47 74 000 要なざい 0 S CA B CA 7 る大語 34 は別れて 9 6 例次 地方で、 HE TO SA :4 렒 S 54 15. F 間を贈を取って再び総合して置う。 スとかられて III 14.24 0 9 21 All 길 R 日 凯 東 0 7 XC 21 雠 0 测 歲春 盈 垂 薬 71

華省

4

H

1

草蘇八黃

E

が立場で

この地質部

憲志で 0 恭 郭華 Ó 2 4 0 減で 9 4 0 :4 末 0 0 8 ともろはと 0 4 見 曹 連 FI 「公中不明 0 \$ 2 2 T 鄮 ¥ いっちゃ 7 X 重 FI 21 4 珊 點 1 7 0 いい。 那 末 飅 0 丰 述 365 妇

21 》。 学なる 71 そのこの支網 産する。 21 明の計風 0 発音する。 20(三)的 公司 711 **丰**

0 9 はらる田

0 2 6 重 21 CFS液州O暗 背びこかはははあって親のやうなものだ。 3 02 和 827 拉羊 末 が認

五

圕 7 2 54 種 2 F TH 多種で * 21 c & ~ GA いねにい、大秦國 3/4 重ってあるのがお、生長して 妹がなるとその剤の肉を食 中了蘇逐下 北京銀江 一下る脚・ 與公路の 末 域記で って帰る草 \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ 21 その褶は地 51 出域 劉郁の いら出し、 。 タマ 事 酸のものお 0 26 4A 2 いて育か 重 種 21 2 瓣 颏 頭 26 阊 盤かすと断 ないままとれ 報解本と名 る里、マー 丰 丰 AI

驷

9

重

マルマ

シュ

遊

R

酃

71

Y

婳

2

0

生する

9

中

Ŧ

FI

603

4

1

7

末

等等

王 0 E T

4 Ш 亚 SIM П 100回 指大。

[11 二部位二 以他をあってりの (1五)字彙

八書 T + F 刺べ 桂 146 照 施 遊 遊 (14)核: にかが 0

ころ大泰国へび陪 罪

各地 のでその言の証りひすると触を語とすして致また。 2 \$ 。 重重 :刻 部 画 1 五块之共以日孫以數箇を食のた」とある。 小小 て食は 2 を新んで即 弧 る意か :4 11. 1 風遊 54 薬ユフ催業を 開阿屈ひ「智の大線脅風以流が 命じアそれを診察させ 肥まれず 生するである 之數 5個 21 · 2 9 it 54 中石 殺して杏、 0 、醫令集、 即北 21 N M 7 21 回用 職ると羊肉の補電の 場流は大響 る業まな 就する 8 3 71 ENE で。 , 〉日 2 理 なって · F.7 0 到 24 B 0 2 Y 21 なって 0 6

子 末 7 不能 0 74 和 71 7 蓋し陽生下れ対烈は長下るの 計 N 6 21 邓 は形を補 6 放之師上 以以 はい 人愛与就多師し、 & 1M 船~作紙の はなはするので ユーコ 学内の題である。 同じきものはいいれる血 44 0 继 は市 倒 24 末 Y '> 0 0 0 OF 2 日 20 。省 0 B 21 9 [4] 1

禄人 FI 亚 24 2 3 2 スイマ 54 8 6 .1 19 1/ 現して表数かいかの治な 丰 1/ 米 下はその H 54 頭下は浦んで対することか 7 遯 4004 シャラママみ かっているとしたので 中景の寒かる治する羊肉樹お、 服さ 水を減じアニ · 9 Y 21 及给 日 玩當 F 9 て寒ん ·4 雷 71 悬 图 7 末 () 日 東 2 0 景 9 21 念。 寒命で 中小 御 3 54

肉却多り影魔以入外る。 貼給式がある大羊肉膨らい入却、 9 \$ 7 ¥ ア敵用する 醫家家 20 おいますと 心頭
対
部
が の大闆、 曲 齑後 發

聯

寒 驗 開 『る島』 重 P ग्र 小見の驚酷を治す了(孟籍) 「選を 紫と上める 【明経) 及の題別 ります いな変に 「中玄劉める。いい字序の繪楽」 男子の正常、 家を益し、 動新、 補し、 いする」「日華」 和 る中 画 (思麗) FI 鄅 県 21 不 4 4 £ 味 · PR 2

21

語と共ご

豆割と共い食へい耐辣を発する。

嘗番と気す。

市夏

, ~ 日

気へ为人の心を割める。

のもか CIIID字界へ耐容生育 スツチ江フ。

湍 恋 畑 4 0 生する れるとまを 全を煮るい杏仁 0 黒さる 戢 食へが翻え 不 CA 艦 TATA PA がいる人が関う人が 頭の FI 21 男子 CA コフにまけ X 随角のものひはいでれる毒はあって、 あることに注意 桃を入れると願うなうなる。 FI のや中で **酸器で煮たもの** · 2 『つ襲けのそるな書でいてついま物のこの しるな機をこてる子が一直をか およやうな計異の がながる。 · 6 渊 PI 附 SP 湯な影 。い皆つ本マミル 21 利 頭の白きもの、 草 0 4 4 FI 0 2 聖 中 6 學 Y 7 0 丰 普 ユつ 末 TA o對 # 到 21 。 2 別 0 21 21 Y 2 E. 丰 豐 FI 11 于

> 2 。主 1 個/量/ 田米 獨 A. X M

귀 で表 31 ススルて煮て三 及 = 11 : F CA 21 末 张: 14 別が密い蓋 d なさ 2 雨 5 哪 川藥藥 紫朴 北京なの(小響力 M 图 なることが R de が漢は つい 4 1 YII 1 0 9 放介の 汉 N. JE 1 XF 2 114 11 A 如 0 是正 洲东 #는 지역(米な人外ア勝り法と会人。(始和五要) 则最 [4] 林以内玄玄人。 【骨蒸八谷】羊肉 9 「多人の副落」 M. は間に 二 数 凯 Bil 湖 2 . 水水 驰 倒 9 0 2 14 **刘宋一位玄蓝书**少默》、 11: 11/2 = 1,1 1 数治去方。(多 上橋」副命中るこは、 (藝術)。 0 - C2 4 はの NI NI 21 141 出ることを引 ---無河河河 派人をして出い 34 不 2 21 0 11 0 P/k 郷りして なよ。(州制江野) 那及加 7 3/ 21 of 21 2 21 缩 Yel 一八艺彩色 2 M 37 綿で張んで下 7 シンソ では 都 R. 7 なべ。 1 Z. 润 :17 大 21 添木 XX. 耐な人が、 编里 飞 常以 出る品 2 मिर्म 20 いい .1 显 そ。(心難) 「鼠台」に 9 7 北金 Tu 4 21 いつ世 业 AIR 不 ら、白額 職法して記のやらが研 TE ある。(心臓) て経路で 21 智 プロが 評 立ろい数なある。(小童) 一個諸ユム 、つ上る形正し業と并っ 14 12 (1) 京部でまるまで 「興電 でか 5 19 小を終る de 7 曹 弘の妙で 0 R H 千平 到 (個 0 MA た。(集鰮方) 迎 貢 4 "出 70 いる場場ない。 本副 7 本 本 [4] U 0 6 YZ 末 7 1 09 R で流順 别 ξ FI 弘水 回食 倒 銀 规 XX [4] 末 4 IE 21

千金九 7 77 ال ではな 頭新、分泳不購 大蒜三兩さ 34 普通の岐~瞻野ノア食え。い 兩分人九 いるお業水で呑び。基式都盆する。 羊肉一斤ア 記を記り 21日 [MA] 雷 中で **邓出し下石英を去** 黄道方 X 长 三ユ なく、 韻 0 三體是量掉 がで 级 1/4 雨な帯が Ce 羊肉二元、香萸、香萸、 お黄漢が 更 田 Ce 別す。(干金代) 0 [MA 源が Y 電車 年を用。 狱 小儿 景福江 自石英三 製 で読 2 「畜後の # 時省のよう いスパア蒸瘍し A はなどでおす者と越ず 智 煮取ら 地黄一 倒 27 事 酒一代を除いて更い二代い業で 影響意為 末 白羊肉一下を切り、 帯下赤白いお、 郊 9 Y 代习煮了服す。 い煮で生 胡浴の 毎日空頭の一百箇で G 術館 000 水一半アド八代び 2 心 藥 、 白羊肉半斤 孤中景次 いる分服 寒の 一下の米 三 雷調, 中 金級の風中後 -回 水一なな一水 「竜後の 以图图 11 骨さ金も」 する。(千金) U 語 と 高 変 う 、 変 え し 、 羊肉一斤、 FI 雨を入れて二代が煮がら、 一一一 志 い諸薬を入 自る出る方 して小鼠館にして ある。(金園変界) ° ... 煮取り、 肥羊肉 别机 6 肉三斤 、つい番 採 北下 4 泉る 七升 0 21 3 共 で五千万 显 · 24 並 37 2 末 14 0 hd 54 彩 独 闽 光で 霊が和 らえ 4 2 薬 中 重 0 運 M 别 た 0 异 0 21 华国 印 82 畫六 71 绿 工業 水 Sp 三千 2 2 到 A 0 競

生る M 0 歌製 升 京 鑑 源 画 P 4 「つななるつい。 及 下麻鄉加 71 븳 T つ出 以 H Į 11/ 。公华? が良し。 2 000 4 塘 青羊 Z 鷗 7~ 밺

以る 21 圖 T 服すれい無事子 うている。 汗る 3: 対技を強いて 6 孙 Z 淵 河 以周步为下熱音訓を然下。 副 0 1 1 IHI X2 A 画 A 「濕力」 以 食ると温識) £ も「海谷」 闵

薬で薬 自年頭一具を普通のゆうい問題して食べ。「五巻、 なるまで煮じ、それ 计 加腳 12 **間場了茶了釘人。(五要)** 11 末 28 账 F/A 不 窳 46 いて黄色に 0 拉爷一: N. 中 なっては窓 瀬文で。(千金) 1 到 阿 學 年一年 1000年 10 拉蓋谷 更り降草 シンフ 21日 で発 藤三。【学人の風払】 近端一見を寄出し、 。由 7 0 胡椒 C 计 显 7 日 21 -M 樣 09 白羊の三 Ŧ¥ 17 之業 方食 4 園 2 「影子 0 70 149 XC 干 凿 草 R Z

末日を 7 「心を安し、驚を止 54. 51 U Cos 「土壌を別様で変し、これでは「一つのでは、一般の 彩 城城 71 〇心鏡び 『日上の書館が の中以を流行物に (華日 | 四重) 「劉然前 明千の **雲師** (編表) 食してはなられてる語 加し、 0 水晶 1/ 更熟 SA 小小 士 風水如 多り 7 7 21 Y は蒸 翻 0 以 及 就 年及 學 4 Ŧ 頭 SA

(三四)合者別〈阿點。

水動の人はられる食へ为百引 大。明白、 「つな幸」ついす 紀内の対は函めて水を跡す。 つ出 规 諫 ° 负 :4 0 B 0 , 〉 日 末月 ○震 ○草 骃 0994 顨

京

不知 A 褲 ユフ藻 果正崗、 鹽小帯な入が、 一國子幽一國日 「熱人の溶無 本 お 素 代 を 愈る。 では一 2 末 黜岁 シュつ 【順計目制】 12 京 [題上の白茶】羊肉を翻を利る大おの今らびして香しり茶き 羊肉 川 調理 市中少羊肉一元玄買 それを沿著し世系して食はす。 9 黨十年合 (学)の学内を視る。(F金氏) A CIIID A 砂糖四两、 21 子を奉えて 5 de して淡え。(番虫) 年の 丰 源千六箇、 脚原を治す。 木瓜二元〇代字項点、 4 水二平を一下の煮取 0 置 曾子食えるの] 2 設に H 21 黎新 北京 R 青重 同习監管すして選える。(相談氏) 羊肉 [44] 30 Œ 王 圖 重しい 鼠肉肉 ネ干 のと食べの選別 (産民)。で草ない 内を煮了食人。(五要)【前路の除水】 爽 順が附豆半代 16 [小鼠の 電点で記り 電内入雨 THE STATE OF THE S 家生で此上を財 南村 7 人れて煮熟 脚原 画 す。(理恵氏) 同同同 兩 \$1. 0 ¥ 「劉斯」 뷨 A いろうり よし。(独体祭) して製い 圓 21 14 末 桶 米二代 21年7 水子 0 00 豐豐 (初級下) 20 名か 場は f-1/ 打 2 9

> 本依 個人因一 のなったし

+ 松臺刀『小子代子玄朋下る人和羊血玄玄太ろと玄思ひ。 , ~ 日 時の経 fu 發

:74 又、一切の代下の壽簽を網す」(神多) 及公爺後の血問了歸せんとするひは、一代を燒烙す の類次 **パ知舌さる」(藩恭) 【一代を燒角をパ知、齑数の血攻を治し、間次を下し、** お書の書を関する 「赫人C血龜中風、 業ででまる 0名年21 延壽 〇 緒力 第出血を治し、 果 FI Į 記載

星 本意な生 服すれば自ち落ちる :4 建文 く日をは「しな幸ん」に立 2 0 江東 稿みた 学至21中 識~部み、 就凝贴了十九多 羊血を八しつ食の下鼻 SC SC してな 「獅」 高の等をからよりし、 21 解のやら 规 、経之山」 14 漸次に 方が野石 我市の 贝 から思うなら、 14 00 の合 0 FI 雪 丰自 F 0 Jan 20 15 Ī 置 297 到 Ш 21

版色もの」 治世は出死 「朝豆の私の故れるの 青羊部な動け対機同で蘇える。(東源) [弱のて後、誠ななおけるとき] 青年間玄旗乙了劉る。(午金古) 【赤丹の初の 学問う業及財子漁リン館るの(新成の書) 八しつすれわ自ら出る。(祖教) 「小見の口部」 羊間な多う食る。 125011 。公玉 赤黑色 金大)

一班 逐 21 £1 料 絲 2 R 弧 到 なながら [4] M 9 PI 青年間広と 4 28 :4 Y 数 21 王 21 膏藥 弧円 0 ○問答式び 瀬を治す 逐漸逐 聚 画 (種類) 7 三、で、三、「華」「東部なり」「東部なり 級 Z 垂 ₹. 朝 El 26 園な園 (馬雞) 潮 M 21 2平 1:1 掌 SA 該軍な ग 褲 12 不 風 響麻麻麻 画 山 9

小見の影響 21 家沿 及那 9 2 いつ要を終料 薬 池 6 耳び入 渊 R EI FI 随 門職 なってい R :4 댔 小見の難酬を合す。これを含め 以問 fil-Y 8 0 0 間を合せて強い作って用るれば、 が一般が一般が Œ 2 「龍勢を報じ XII 36 12 沙地 らえ M X 服する了社会)「殿 34.72 「つな聖」つい思 これを解わりかり下水となる『(孟籍)【大人の遠画、 57 合す」「一事」「ふの本献を合するひおろれを問題するはよし。 54 子とから総か出 出場を治す「西郷) 0 1 0 16 思えなって 、つま 11 中風を飾す」「語鼎)「大淵を除し、 :17 頭のゆうび大きうなり、 21 家を雨す。 宇山 + 「心、神を聞え」し、 유미 쿡II 20 Jik, H 8 24 小圆瓜 C 21 11 5 1 制 0 學學 重 :4 、つりでは (問題)(自 0 (0 De R 晋 班 び舌腫、 TH 調 0 はは 隱 いととなる 9 脚 图 の日の A 28 石 弘 新 THE

人劉 A:A 0 1 1 택 1/1 12 :4 塘 AL COR 題は間のか ある阿家の動は火物的な地からき 1/ ーユンガフ呼る可実 TH 54 非常な感神界 黑沙 城部的 7 114 の需致で頭取するものいれ、 に帰った ででは一次を設定し、これのでは、 21 Mf 日本日 訓 用ると添え Ti 57 FI 歌 彩 0 Y 21 スな不 更 2 P 子一時で前子 M 0 0 54 验 2件質動 B XX CA 2 9 现 P 驷

弾ン 2 6 延 器自古電 画上画 【のまなとなるととを強」 こない 源問 面帯〉、 到おそれで下る。(前後は) 【場へて聴ぬを存みなるとき】 ¥ 「添黄の毒類」 焼した羊血ー二代を殖み、 本血を刺 服で歩である。(神髄) 7 心間 「西面」一个月7万つア山を内以お、 まず、 量を下竣分。(吳短副母食敷) ना ユフ J. TIJI れ対数がある。(聖惠氏) つて剔諭し、黄動するものである。 計下 蓋之衛 恋 江 河 ----て食る。 羊血 香港(涨 来はそ聞てした。 合を焼肌す FI 電きる。(電電) 代を出して対び。 21 るもろとする 一ण末 職血を耐の PI 28 製 R 彻 FI 6 TIJI ユる 뺾 沧 21 :4

統正。

二星

4

孔云 16 2 スママ 0 验 S ないつ NA 五次 2 11 21 此石、 200 何 0 82 -1. 智 凡と書類なることを自覺した場合 0 狂星やん 湖 71 、上舟董 19/1 6 红 0 别 26 5 及 補藥 潮 智清, 同これを食へ打されまかの薬氏は一夫する。 本草び 2 掌 何首島の諸 之青, 0 胡蔓草(、シス 解乳 51 54 地黄 4 0 机用 以上。 あるるのでであるで X 解毒の FI 0 **添黄** 21 潮 瓣 かやうな 苗 21 建建纸纸 写見 0 菜 計 闘 ° 45 PI 0 で一般 の公母 2 M P R 6 鴪 典で 一条ユフ 末 開 2 ? 0 生與 R 9 0 娥 掌 J P 加 21 掴 图 0 7 2 44 家なる All 又 0 3.颗 (A) 陳 昌 28 事 R FI

加黄 垂 7 X 21 A 量ユム **刺蜜**, 土蓋打一合さ人以下手を利めを引を生みなはら膨火で強 刺羊鯔各正両を頭帯し、 **東羊間 豫正。【训教骨燕】** 竹各五合 4 핸

会問題 灣圖 V 画 闡 2 TIJI 40 0 中经 「既予、誠人の謝中、 ना Y 2 业年 減する」 掌 7 if 訓 「無を機画」 水 泽町 避 .FI 7 28 これを治する精體器中ひろれを用めてある。 댔 (記録) 支票を選ぶる 6 して服 Ŧ 6 四里? All てるななって 酒で 显 7 原な金市。 脚を影響 る】(孫思麗) 21 歌 つ井 巡 14 おある【金銭) 7 まず 胀 脈な く聞え 规 TIJI 渌 B 主教 0 。 闡 ユー 騽 21 胡桐 Y 别 图 0 0

帝所指で羊綱を味して塗る。一合で癒える。(古や籍鱮 東し越り、 ※二。 「国群の肉庫」 4 树

年膏3人内が対虫割を彫刻し、揺籃さたる。 「画間」 八金の一、海谷) 以 Ŧ

て頭の黒いものの溜さ食へ灯場離となる。

陳

图

丹廟,

明例

1 7 0 21 丰日 Y FI 2 U 6 当書家を聞いて子を少しす All ユフ 雨 21 显 000 風就必發 男子かるれるお子食へ '> 日 07 毎年ある と彼る。 获 郑 画 A 凍 71 翮 悉 2

「小見の口強」羊序を火しでの鉱し大水と含む。 幾回いし 「あまる。(小品た) 【教育の幹きもの】半界を削ける。(千金異) 【随の黒きを白うする 白羊乳三代、羊鵬三間をはしてはら、毎夜光寄してからこれを塗って整時形は 6二、 二星 4 柳

干

強な固よら嗣してある 0 これを触びかよしとい 34 12 8 O 刷五〇三 制制 殿するはばかりの FI 日〉、此大風土と滑食砂と兩る附資るものか。 代察却、対情の人 大圏の はその他の音記を開き、 組をやれる歌である。 五〇 2 特。 多 瀨 75 54

画 24 地方 済び降び阿の關系はあるこな。 闘知知候鑑は十代かなない 聖のものと食わないならであって、 明えて地なるは縁、 ので重いからなことないる。 34 北京人の 02875% , ~ 日 Y T

対了北大人おろれ 中、羊の降お實以腎を補すものである。 で食るのできっと問えて動する 舶 發

ある骨に年降子沙打かると残りりなりして我は 75.4 はつてな るなる「そいろなつ のでと食い 54

日ないえ 瞬 の事 = 鹽或 幸幸 羊間一具を沿電し、 日三回、 27 北羊加 鹽葱ないして釘る。 丁 松子子芸芸 别 9 數 以監管でしてよし。(東總正) 【場际の11全以をの20)年祖一具31少しは多人以 大いし、一 及习 師市 出 中口漸答, M समा 南南二九十 顶 大 り進了為及首 でいる。 小」(金さ)。「手 「関連の中質」 で煮て食る。(意面大正)【核徳上旅】新年以して扱い重なるいは、 0 孫子大 「八瀬胡季」製を引すびは、年制馬・ 量の羊肉を入れ、 十月七日の語を料が 味して羹いして食え。三見い監をすして強える。(書幣よ) 室で 書きませい。 シフ 、一点が 親香等化を入り了不び、衛主は) いいの利 息 强 91 州 小動流大 7 21 簡い漬けて XC 真和各一两个 7 羊間一具を切りて羹 製しア等代を末り 服。(千金) 大多黎門冬衛少朋本。 黄蓉子一代玄三半の 0 -真显微。 深 21 雅克 H 쏌 星 2 林電 6 の間帰 である。 0 4 1 G 70 7 沧 杏仁、 2 21 彻 電船 食後 训 21 R 2 X 米 首 Z 首 鴪 丰

る去な服 小豆葉と共り煮了食人、「種様」「間様は配し、 画 「割中ひ不見を解 校園で山るる」(明鑑) 水を行る、毒を網す』(報金) 更数を止める。 棚 1/ 訓 「温麗」(温麗)(温麗) 更をほし、 댔 Ŧ

1/

その中に馬馬のやら 米鶏で見を一三七の蟲はのるなる心をこれを去るは知なるの。去らは知人をして 鑑日〉、三月広ら正月をかね、 「い回いい」 のなのなのなり本 规 下麻

源

圳

21 多く喜ば 順よ同同ば許を参しな水 人をして心を妄びし、 禄!。【心尿彎詩】羊心一濱, 即夫蘭, 発展し下食え。 少量を入れて納金の山口道も (金正)。 とはて 00 4 8 印

しく はし、臨らして毒な 「憂悲副家されるる」(眼鏡) 籼 溗 いでなる自強幸のものる用のるであるし 果 Į にあるかのお人を録す。 く日薬日へ と称で「演器) 日下 খ্যা

沿海 立 第の 流 が な 落 と 水 し で 重 望 め の 渡 が な 落 と 水 し で 強を味して膏ひして強るの(例を他 .2-沿水 でを ある。(聖惠)【白禿題者】生年骨調で轉俗を購へ下我る。繁め 「並施不落」 輕級 域日 ひして 滅える。((() は 兩 ユ 6 骨髓玄刺 学に記事 するため 日 熱を続い 2 44 2 6 54

3 の中国」 はして 白羊翻を刺わる。「年金」【古上以生乙の動」年の興中の翻以時後を 施 お 勝 切 人 水 ア 気 人。(冷割 五 要) 過いつな監督で聞くて肌す。 本心に一

KK KK

H

流

2

金額代ひる 本事がの [智識精帯](物館) 以 Ę 問ち羊の外骨である。 のとはこの田をよ 石子 丰

뀨 [A] 图 CHIT 75 쪩 丁上を出工 羊腎三唑、 "熨" 出於 0 14 到21 大学 末 のかの一引を失び煮焼し了なんびなる。人の 0 は配子の旗木を監林し、羊骨脚を十日 体薬で肌して見てあ入らみをのざ治す。 然る労口体薬を肌す。(職業職急に)【臨を扱って馴 S. Tur 米一代、水一平が水作り煮了一日三回服す 日三回 。早思表別子、孫正 盤を水一 題 コ条擦して空頭コテルを食ん。 内部等一兩分一方配の参して曳を失り、味して養いして選 キ骨一番 い即夫蘭一 して未ゴし、 開除法以で劉明送前するおの、 年門を調を去って独籍 題の文派を治す。 徐徐 多个 状し、 内容は頭が、 歌さーもの **탥袋勘**】羊骨一窗, 合」香耐を手が栽しア鉉人」 を入れたものを登 。此日本公然了公共 千金アお、 中の長ちニヤ、 要では、 寒 滅白し並ん こ食え。○五要では、 唧 腎臟, 正〇田 「進鑑 大瀬まる。(武五) 雪 曹 0 中厅 06 Y # 0 小鹽 層龜 を承載 食る。 别 7 9 小绿 羊肉 酒で 21 画 G

用るて薬 層 ー
基
ま 2 0 手る 空頭引食人は妙である。(心臓) ¥1 21 米等 間なる 場事不能なる 一樣 正地、 是末, 中以入水, 殿では、 九いお、蘇 岡瀬づけ 製を切って設計の はして強って野海にし、 澌 電腦 「不無の龜台」 「劉子 一島大の見られるものとはいい 、場里 米瑞六兩字 家六。 して気え。(心験) 二星 て端葉る園 4 彻 多級

脚原を治 松人 いつれる羊腎の煮勘を用るて薬を煎す 各その譲い 、別別 。 禁 前 蓋しこのゆを用るて響尊の利用をならしめる為めで、 腎症、 究前の 諸九 37、 する智趣語といえはあり、たね基が多いは、 部公日~、 中金、 代臺、 · 2 4 2 P 曲 2 2 0 競 B 0 9

層 重財盗行を合す】 (日 強でこれを一代食 詩論を益す」(眼籍) **崇** P 「脅尿血脈を肺し、 【韶な合サア羽のた羹ね巻麻を熱するり当け数はある。 ना 及 小顾, 、て要え島 省場を治す了、神経) 以 うな形を船 Į 「から同じ」 「腎龜、 て料る (編恭) 陰影 高度を表す 源 重の重 層 李 PI

鴪 * 食後以正兩を 言識各二兩を未ひし、 華韓 通道、 コンシェデュである方面がある。 兩 自ホー 古。(千金大 首 别 舑 2

禰 7 帯 7 刊 7 11 21 して食べ。(心臓) 下を 記さ 器で SA 間を強く隔アア 4 HI 711 です一川 fl い題答すして目が -である。(部木舗) 青野羊 が 受して 嚼 Hi FI の職を関ニ 0 2 16 青羊子 B 31 14 Hu 于 Sold 山木 2 R # 盤器、贅肉、分水玄島ひ。(魯麓) 【目疎う調調・ 光 食事と報 7£ ME 郑明 54 宇山 XX 0 1 广 単ユ OR. FI 且 こととは多様とのまる H 刊玄藏〉四十 = P つ海 ٩ A M 12 で、「千金万」 6 ままる選手ではして配子大のようし、一日三回、 郷い熱おあるためで 驯 张 Q Q 2 不びが 9 21 大七とを白霊歌が駅 6 10 2 ユつ 末 쒜 0 R 607 い配き四か 首 副 4 Y 整新了 刑 到21 術しい互器に 「小鼠の流 12 青羊 X 頭の出るお祖の 流 墾 . 2 目 9 0 のて未びし、一日三回、 16 網 9 Ξ 4 绿 引を載く 0 のに回い る手董 るCIEDはを去って切けして 2 R 0 000 T + 採 いる。 0 方は上 まっまつうさらら 出 E 青羊 2 ha 41 帯さ金すど いそユ業 罪 る茶青で 闻 赤 不 Hi 4 目 目 14. 9 R 闡 * 义 21 (電影) th 刑 後の 19 74 刊 21 T 2 + 末 0 扩

P

和

はその

(O 7/1)#

20

21

師る目

し年刊の

器

いはなつる問題を語のそうかとてるるなる

21

京な

TH

21

で変

12部

發

图

71

顶

潤

類

凡を香

34.0

2

とうでな

71

2

411

0

TH

2

0

2

47

「以子てる

おとかあるべ

CA

A

俳

21

目

:4

M

0

刊

0

9

P

2

0

B

2

(三三万大曜三期ユニ部字アレ。

0 対後の37、三元延壽書37。凡子自強を治すの3月、青羊刊を用るるば到 7 20 献を治する 個子 は 類然として 対間解字を 動んが。 から香謡 補する 21 曲 では目 目を治する以有後なるび響す、とである」といってある 创制 肝を 54 71 「羊肝の の人のいえところが熟ると「限び別薬しなゆわかおない。ななゆか 本草び羊利 形を受け 21 巡 ある者は、 の祖かい 革 对? たなけだ」といった。 ノシャる。 ある人却八十籍識かあいなは、 ある。 20 百人古人古 刊を食おなんの 21 14 04 巡 刊と合して刊の 刑 , 〉日 末 鱼 21 類の 雏 0数 發 Eo 24 玃

刊 瓶恭) 上をないい をな殴引しア水が参しア湖る」 副新 0 0 0 p 目流 当以利のア食えは肺咳は 風雷燒 「用を称し、用 【蠱毒を網す】(臭蹄) 七箇を用る 以 Į

生椒と 74 9年歌歌 n 地名是鲁风以马号莫?思是。 2. 温云语小母皆 (人) , | | 小豆と気合がは対人の心を割める。思邈 まいして話なし、 28794 て暴 多回てつるような 规 冰 五次 新子, サバカ人の正難を割る のものが真 れを食へば生 務肉 宗末 青紫 , ~ 日 2 影。 **宣**合: 刊 清凍

末

甜 驯 TIJI 智 の闘れへ明 福禄之解本了頭網〉「作 温わる治市竣であると、来気等) 県 Į 「諸独を治し、 寒いして香な 0 2 +1 し」(森恭) 21 111 뫂 暫と味しア駅する次以 河 して赤い 画 和 、総月 回蒸 沙 74 21 赤河 负 す】(思難)【室と共 :4 する」(明経) 0 言語な報子。 R 0 末 青翔 21 44 舶 域小 で、目 7 劉 及

09

して食

、熱を雨

洲

II

12

のアルでお

見を満く切

青羊刑

来

圖

明の

4

し。(小童)

いいい

1

9/15

不

語

2

24

梯

R

411

末

II.

21

FR

基

いる。

(O)

雷 6 子 2 21 f1 U 煮汁に羊 日 辮 0 14 報を入り 不加不首 28 别 罐。 业 です 扩 + 盃 0 米な人 6 間末さ Z マルマ 21 Œ 9 9 心間するとされ上め、関サロとされ更び MA 别 7 4年刊一 燕 2 (0 不 田 200~200~2000 歳地黄一 水三水 赤石 息麻 茶 一位。 宜 刑 刊 下げ首三一。てより 水で煮焼して率を去り、 2 2 1 末 ** 末 2 璨 青 0 「龜財器動」徐務副を施じて一代を知り、 如きものを下すひは、 つ鑑業を首 쎕 へて藁び印 恵んで続い FI 「數脈不能」 陋 做 引 一 斤 2 出なくなる。(小量) 間 21 出する。 12日 重 黄 外班 短を洒 食事 华 時び服し、三日間それを服してから、 首 食ん が直まが反 がようがまないでは、 がありず間文字を見得る。(金融) 調がまず えん 02 刑 と共と 惑子ーでを スパア域 の下末 ガレ W. が、 がながら 于 :4 :4 選 生自 Y 72 80 機末半引き入り、 十十十 S S · 12 劃 ° Si 9 班 「青盲内鄣」 當 F **感答でして食い** 自三目 、まてなし師 録ごと祀とな 三年の間の中以入れて帝 FI 壶 を回返した。(南計氏) o CA q 7 羊脊脊肉一刹 食べの(多指沿軍) **お意い食え。(** 圏林 東要) 共 24 シャ U 21 21 FI 4.4 い金ず 74 三同 20 が一派 0 は前じて早 画美 を食 ¥ 器 1 事 £ 惠 4 2 少 A 强 W ユ業 胍 4 G G 首 「就後の 眯 2 54 21 寅 間 で黄 干 9 7 711 2 21 5 B 戮 日 粥 觀 承 Ä 14 6 2 2 2 21

ればいればいればいる。 「御殿の緒寂蘇を彫刻を。面割り入 金 中の一部に 以 M がない Į 硼 のものが良し。 7 21年歌圣 主目 肌膚 q 到月 子

同で永 正面 水玄溫も人外了余盛し、客頭以食人。 「下龜歌風いむ」 以 える」(孫思麗) Į 组

一种 化之 11 00 9数 宜 01 21 がユ 空 雷色 及 コスパア煮焼し、 鰮 口 2 0 明 鼠 て香 21 [3] 1 飘 111 水水 21 まり 刘 (蓋準)。(場) 全にいまれる。 11 五五 末 林 24 (1) は 0 题 Y 「下龜 漸 0 TF TF 態 四上近】(要土)。公文麗 9 編が **園へ。(古や経線)** F. こます。 54 7 MI 陽 U Yz 21 空觀 爴 2 颠 主1 主 2 Œ 0

職煮し 沭 宜 U []] 一川 R MM R 秦琳各大選を末りして人れア蘇 末 H th 此骨致斧 幸【婚児剛島】(<u>愛正)。</u>て意いて、養いに養いし、 風電影 一年 い脳を予して数えるの、現文 けかしを耐か服す。(〒金) 「中 近北 道道 例 此黃二 = [@ 五錢 阖 17/ しア末ゴし、 000 [44] 뒘 表 21 海藏谷一 别的 39 1 远 21 0 風ユフ 恩 1* 置 刊 7 直 末 島を職 二合び縁 **%** 6 日 京る高 がで 蒸熟 * 9 좷

MI

小の意

水二半で九

9

的水

16

2000

国

昌

末

FI

21

0

8

あする

旗

組

hil

9

747

食不能 観下いまのア箔 水源冷電 THE THE 7 肌肉 「八麻龜贏」 際六。 和一路 4

例

同金へが熟 薬にして三五 動機は、 小。早児天寶寶, 8下天上霞。区昌」 える「金龍 県 Ŧ

沧 Ö 事計 批交飯 高病を表 q 気胃とな 『コントで帯なし」 しア八ノ〜食へ、、人、、人、としアを〜帯水を動サノめ、 、つ井」 规 源 名字の語の 畠 酥 21

ス写 油资 21 回陳し込み、常水中以三回陳し込んではる、羊瓢を塗る。立ろい縁まて掛け市蛟 省明のやらな色 麻辛等会を演じて三郷し、承鐘のて整時業水が汚え。 「大頭獅寨」 【升計の献ひをの】事丸お『升計といえれ正鰯の焼むか助るものが。焼馬中 羊雞二當を醫行以际して不能以鑑り。(長量) 国 腦谷 訓 1 【政多の共明】日以二同年劉玄禮わる《祖教》 芸学派 半體二箇二 商力 0 牽線 「商面の黒砂峻」 た場合」 「新都の面隆」 る題を目で時 盟ける。(空裏大) 神友鐘る。(相後) といった。(代達氏) 【小鼠の部割】 歌人を以为武ひる。(千金) 務ない。 21 每日 7 、訓末 帝四。 ことはなる。 で煮で三浦 FI 21 21 4 水水 46 9 显 (論 钢 劉 24 劉 14 彭 7 剪 21

ば行輩 , 日 で変数 od Sty 「つな輩ューコ思 おしめし 9 「織し、 21 0 はな 洲 制制 J.K 京の 青色のものが成し -加 る 51 0 14 恶 喪羊角 They 、つ暑

III Pl 28 「劉砂の目以入らかるひれ、よう御人で背中が解びて仰因す 果 Į 旗

目を治しとういを思われ いない。 CA 28 多人 1 なが、 お内以識とれておるといえの F1 21 111 (0) 末 () 日 () ्रा 帅 H 60 7 號 :4

CA

記載は ffu 器等 目を小のそ、り職门切る接輩で下代郷を属二球日 場 はして 末いして 温ける 人 神多) 然なる」(重然 及心際測力は、 FI 24 C [目赤 H 「縣羊川中の 21 源 間 B 以 17/ 000 Į 004 淵 H 21 3 躍

1

21

3 418 未 tl. 四金老 兩と末 0 〇千金ア 洲 末 中党子を炒って 古の二種と話をはしい頭子大の皮ゴレ、一水でつる合み出して行き では、 现谷 いっていているとの 邮 〇解訳治例 の一部 XC 流 はいるというとはいる場では、 並 よびし、一大いつど合んで事を辿び。 亦 검 0 公道 払い、 H 於蓋洛二阿 それが合んで作を辿む。 、東球 海藻、 以外習 14: 響各二箇が用る、 七箇を陰乾 電う 次子。 つ端 7 21 置末

る、商の意 【アトの家塾】 や臺アお、羊豱一具を間を去 帝二。 一星 4 邻

國ア お思らうやおら数けは少いであるう。 (P) 4.55

到 21 用るてあ 流型 24 Sy 京感の鑑ねるれを肌を引かれかあれ奏数する び王晴公の襲の結 石の五種名の下 多量 はのま 古今以聴を治する以後と解 なる。な 筑 おする意知であり , [斜 咖 感いお家、 ないないなるのでなると 果之職 並でるび、 てなっ 凝 2 公談 **、**〉日 0244 21 はの後 瀬 60 3 印 TH 0 、つ圏 9 --ff 型 de 末 21 發 永河 संस 0 2

(東東大) 県 ŧ 「一年を表し、これ、一年」 諫 能ら會脚かある。 豱

(報時)

羊舌二 述一羊 五二 具一羊骨凹窗 「中を献し、禄を益す」五要では、 肉形で食る。 耐量と藁いし、 以 Į を確認。 뫂

廿草末 n 息 放向, [憲年の漆渺] 羊硼三具、大葉百溜ゞ齊正代リナ日間貳れア俎 # (胡がた)「緑人帯下」年3里一具を指かが将し了空心の食人。三回の監答を。 二個末 一月二 一鵬夫 瓜子以及一下公司(後重) [並附無政] 韓務翻器で売び去る。(千金) 古诞 9 ※三。 味らして塗 。ひ置なり 1 8 R 彻 26 阿阿

분 羊有 水正代でが二千 IJ 調調 0 Y , 与城守翔守前一世头表 2 ア常い食人。(食給氏) 华 「老人の胃豚 21 隒 合艺人儿 ※ まなからまい 一星 9 4 煎ご取 सिय

O SE 師とおさば上、海殿 予測を配り 7 學不 「腎癰,

東中の阿敦 福兴 Ę 「つな型」つい。 て出 洲 jek, 音骨骨

品

38 **然啊】** いい。 洗 那 画。 果 Į 0247

24 21 6 かよつ 2 44 -6 而行右部〉邀を背 111 21 71 述う 計水 0 111 -11-:The 76 州 到 末 21 注 Jik, 9 0 彩 华子 7,1 SIT :4 65 21 त्राम 华工行 7 [1] 水 (1) 54 数成立 00 器 那 0 慈業 21 21 と中華のこうてユ es of 8 24 4 5 1 1 日下 中 「 「 「 」 YJ 븜 R 書書 頭

彩 [14 W. 脚末の近小」 以 Į 「多な器」 州 345 00 21 H 三月三三月三

闡

五つ 製料 強き 2 せな 水公料学 21 冰 田 水~鏡 34 水川 叫 面 鄉 法 温粉 然下で臨へ下塗って品で裏み、干が取る。 場とは天際地には 小 21 111 いの中間に -子がなる。とかりの人があって、一大が一人がある。 : 【連燈凝紅】 小部 .F1 [11] CF 7 A 利用 ある。(情様) は治療 技習で のやいもの 等心分務間少調 えい 2 経ご 雨して強るがおな妙 7 7 重 末 源子が 大15 2 熱色 1 71 調を調 イフ第 池 21 34 2 計 及 羊雨一 7 で常 1 1 :4 瀡 +1 珂

> 0 誹 へ歌をにて (三六)赤山之詩/地質群十六三。 绲 (E)(O)轉~額 遊精千江

1

1

7 常五十卷 淵流 目

總

卓

龍熊

(三十)置於〈難語 1

4 におり 高ナラン

神

1 + 数 線 が が (14)

别 别机 いて対を存して未びし、二銭でのを様斑水が別す。(響点は)【小鼠の耐寒】) 鉄羊所一筒い白磐末を す。(書野大)【土血器校 **並は結び関聯** こあらず一銭を器面で 壽米箔で 我学 末15 「赤禿で建の落さるもの」 滅いて スない 7 夏浦し、 設羊角於 三回二 别 「水敷の時當長限习瓦るもの」 串 2 【風楽で光圀なるもの】心頭し、 題するおらめる無。 とが水 7 H 21 7 アンス fa 氏を熱いて対をおし、西で小量を現す。(善腎) th 21 . 兩な末 青野羊角骨を激し砂 9 地 碰 2 1 未 心間し、 製みる 卦 fy(肌す。(干母狐錦) 一箇 末 寒熱 XC 小、小、迷 コムつ第 た難るよのはは、 火燥 後の 三星 颜 重 亚 E 次天 涿 とを酒で して生 4 羊角 電 7 一里)。年 壶 彻 古 が高い、 B 青黢 丰 0 6 2

しつ肌すれ対心を衰り、 FI 風を紹 山部、繁毒刀主族はある人の **治献を報す」(収録)** All all 惡鬼 F. 41 熱 電後の V はなるというない まがなれるる。 及公 臺港 出血、婦人 熱を取け、 灣摩 6 **減り献下さ治す。** 發 選 1 2 頭 21 画 曲 治家、 者目の目を と中く神る有 f1 0 # 辯 見 なる PI 県 41 (経本)(る 京で記 熟 Į マル

○東総は動となる。鑑派の『選羊所成は豊を四代解す るから置といるのだ。 覧とお除のことか、City)野州の畜も 大寒なり。 5 日 頭。種。 0247 0 4 0

(華 0 26 2 28 9 H 工行る書 Ċ 圖 0247 H R 陽係, 21 末21 6 14 8 -がする 林師す 頭骨上鐵玄衛 は能く鑑る所んす。 5 部本 0 भी दे 末 16 頭骨 W 三班 9 H 末 るなとい び『耶窓の H 21~雖多藥 21 罪 部 N 中 y. 1 ? 高場の 71 盤さむ 39 6 島 驯 亚 2 们及 末 21 卿 '> 4.5 湖 2 额 日 0 一级 燛 排 21 中的 21 公单 24 郊

爴 郦 71 、る場を対数 2 金 れるを治す人様 H R ,ij. 。縣日 强组 末 21 習過で基帯不能のもの、 って融級を存み Sk ·fr 21 郊 0 200 源 標で 9 图 汗 る場場では 超前 渝 0 温 [龜冷祭](孟龍) ・つく国を関チ 71 圞 8 4 7 21 2 以 Hu R 利以 54 £ 發 9 6 阻

07/1 6 ig. が水 つな 協人な演説から利 開門も極い 準ユつ 21 图: まにま つま £1 21 がいる また間骨と名 CA 洲 食ってはなら J.K いる書かる場合 0 2 Ce 田 ユフ 帝陸ある人お 000 小水水和 (44)山 2,5 · 0% 歌 71 2 71 21 性熱 是 2 U 0 Y 8 븜 퍮 21 > 滋 日

-101

.大.

智之東地下

9

雨を入れて煮熟して計を取

64

种

贯

颠

哥

帯が

※

Ŧ

食べ。(多鉛粉準

イフはる

证规

7

禄茶

21

汴

7

[44]

17/

[4]

末

7

耒

下黒の龜合を飾す了五要 ・「留を置」「金田以」 県 Ŧ 書書

学院はまま です 五要アお、羊脊 C. 17 圳 墨 7 平五代习茶邓 ユフコ 4 羊骨灰 到 つど水で煎じて L 語でを言 「動業白勝」羊骨を未ひし、一日三回、ホセムを耐か肌でで午会)「小 ましょう 羊脊骨一 る。 醤を入れて薬 麻 TI 7 T 水正ドアー いるとととことを含むる 21 FI 金を入れ、 0 独石を七回戦いて 卫 CA 8 2 P 近畿ご 鏡で 则 五丁 21 J. 2 0 を別す。(學惠九) X 41 題制 新音ボット 一学末各一 た 封三位と末びし、 14 公子 訓 8 が記述を 動は 動は 動を 動えで 『腎龜』 で煮 を飲 9 强 54 草果正崗と水 い調香 以して 水階は 必ず合する。 (熟 が続 C # の曹 旗馬で二銭 班 別す。(多輪湯事) 其を表いて 9 出でいる 30分 11 顾 發生 3 台港で 鄉 命記る 末して 9 骨と共び煮ア五代 味して食 0 MI [44] **娱羊脊骨**一 歌 調へて調 进 水で煮て作さ 内弥客 地 対数を献き、 Z 9 古。(千金九) して暇ら、 はして 11/ 班上の第る島末 【臺車團】 、業と湯 具玄」的名称名 シって るな 十七合子 别 A.D. 日 黄菜, 动脉 国 Ξ 2 郊台、 鼠 (學事)。中 XC 2 0 なるのでは一大 で首 111 ネコ 2 3/ 0 % 外漢。 24 E 21 * 鷾 .팀. 1 0

間じ。 める懸くてど 21 阿爾北國立人內 11. 安野して水を出し、 「寒叫」(北電高)。公で経 、つかる羽上の野る 「否練者」随面、耳髪が出じ、 回で必ず **韓張肉各二** ※ 学 2~ 期料 歌。 贈 単で 一一一一一一 业 4 Sign 71 174 2 21

減び熱いて耐で 7 記の可を記 FI 2月後の19年1日の日本 X お語う煮ア関を裏び入金銭) 0 記載打電瀬ひよる 果 Į 轉節(12 が良し。 (多時人)種よつ 野羊のもの 以 Į 影 士 酥

懸縮

THE 21 肺炎はあるつ(伊勢) 【弱のて融銭を存みなるとき】年到骨を放 * 0 经 状窓の 大 El 28 T 6 半腳骨板一 整晦自衆米市で消入。 等 R 11: CA Z 339 水の水の調 いるでき :4 「阿熱骨」 い間に意思で 以 から前 0 别的 戦子口で味して減ら、 肺效はある。(網整鉄下) 半阿骨を耐いなして III ユフな I SY はじ、 【祖禮剛別】 記で 野羊剛骨を末びし、 悪んで 「搜纛島殿」 新~煮な開う食人。 調す。 紙で て素のやうひなり、 及訓 いを温雨で 意い食人。(五変) 品 の手がなる 34 6 熟色, 録う 1171 船 7 2 UA 21 鴪

C 一日二回、百太でいる米계で風下。一コカ新苓一兩半玄仙へら。(新主t) [副禮數展] 白羊驷骨成 27 題るを持つて任 田 0 にして概る 2 常を属することは不能とな 21 る。島 6 班 式かお、洋剛 盤な 〇文あるたかは、 盤ざ末 Œ 9 かり 手及即 青鹽谷一 慮い 卿 1 黄沙黑〉 半を減り、率、込の 北京 ° 。 公 以 出 兴湖 C 田 研 計量 い解を聞い 共の形ながるとと日日でし 7 21 日日ムフ 歌ら、 2、平月 羊驷骨灰一两、 十営る水一代で蒸いア大 る闘 21 24 剛骨 亦 一 錢 重正 銭 き末 十 監動の **M 死鰮二월な入り、** サンつ 区無 にこの残となる。 末 黄 水水 「興龜の白 阿 21 熟 Ind 雄 珊 湍 CIED関別別 香港 不明子 全國 16 當 而力 7 幽 P o G 東 27 21

XX The 24 公开品 如何 洲 野響の 計 館で駅 [14] 照初 利 製を否み、 別しなは、ある 強略工類人は以末しな薬三銭を氷 海な露替び 下した。その方を懇望したところ、それは羊 据いア金 駅子 1 ないいいい 制 25 娘およん藏の 方があり 02 場の % 21 8 \$ 張城 SE 2 叠 がな歌る 習 理 0 121点 続 £14. [1] [1] [1] 2 計 9 47 通 く漏んで 7 子 塞 21 随 [底 -悉 起 27 0

?

0

未

一次島逝

おまる

暇い

べて

食鑑かれ、

歯を固うする

4

9

31

K

一一一、

4

印

CILD數土、未結。

翴

型な 温 别 2. 兴 R 洲 39 SP (4) 電洞一大蓋多六分が闖り 下はれなく番 飘 3 1 沙文 0 成を酒で 上つのいれ -7 X 洲 3/ 半難の 洲 会駅 熟 は、ま 。2 祖 02 2. 黝 0 in in 東が外 割末 除 飘 「計類類訓」青 主難の薫場で恐怖してから、 現りんとするおとなって (季秋)。(际して、 の聞 21 21 1 1 21 **新** 一回館 20 侧 7 口 別する(葡萄花) ユフ 孤 11 21 熱苑玄器間で 取して強るが乱 M 河 關 河湖 THE THE しまっるみ るががい 年紀、黄葉の煮化で売る。(承養) [文] [副有] 字發圧變, 山羊蛮小窗、 大月 韓はな人以了塗るの(東要) 。回三華 かを順 たるとき」乾年最の 「不见の流跡」 主 9 Y 21 音で [副歌姐解] 平、되论 臘務間でほし、 「拉號獎」就 而都 發兩多踏斷の具旗を間はす しておを終るして 強をればれるる。 近は務 高地の肉肉 の出生」 いか別する。(聖惠) 別す。(兵路年東) 熟成之 歩を間へ。(和五事族で) 憲亡) 「木麻の肉以入り に自ら出る。(千金) 7 て娘へ。(全板の鑑) 紫鄉 して研末 11 する。(小葉獅栗) 学屋の 21 4 2 H FI 6 責 沙水 ひととは近び 手の黄流】 回三ユム子る奉 で清 爴 凯 「海路湾の」 炸 3/ 阊 11 派〉 F. 0 P 2 CA 21 子署子 MI 17 Sup. 332 ×4 16 一流)。マ 闹闹 疆 熟 F) 2 R 2. 9 6 +1 X 职 R. 源

政治

££:

粉霜 题 心頭 THE M B 题 迅 升に一夜 の金 骨蒸び合するいいよいよりして漁港 るす 林ドで 解析と称して頭が強る 成び触いて登び 1 0 14 大人人 、今日珍崎【つな輩ふつい立、つ器】 は神 强 || 「合き一合び強リア神風する。 水 機がある 中 ないるもろろは働てつ悪匪 黨派 いが形がお はいて真を真ていば Z 除十六。「部除了汲せんとするもの」除年昇一代 | 繁龍の主換にある | に縁) (華田)【中児よる公田の難器、ひ暑をるなり入に切の物がに持 、「陳国心思正之北郷に中題の英鵬を密、く日通〇 别 「馬び煮ア下 らるなくばく音 21 欧 。2人道子島蓮母 基次数がある。 【萬寒燒毒內手、風を攻め、 通を治す。 をおすれば、十回い監を、として髪は生き、 ・監答ない。(講義) 【副鼓動水】 羊婦十箇、 間間 和 東京 更不 14 よいて責ける 【李朝祭】 1/ しりなく置ふてく皆る事 、津中 見の記 青野羊のものは負し。 关 「都も当小国 また諸猫 泽 加工 邢 需 款 以 る治する 夏し】(瀬器) 7 Ŧ 県 4 0 0 卧 6 #

栩

21

PI

U

廽

選

陳

Ŧ

6

開

R

幽

金匹(八回 は常識に

MI 0 雪 料 果 £

R di 以 Ŧ いるある TA 9 1/ 罂

学 ユギン紙 21 流江 てつな弾しては歌 つ出 和 1k 8

8 ンつ Til II. 21 M 9 P :4 THE E シフ ~ 置 行分 色で

さいく R 法 汉 0 7 FI 0 6 74. 7 0 뒣 8 002 +1 頭をで革 2 1 分子 迴 3/ 21 21 -1-M 末 * 器の 類 那 14 中に生じ、返れ FI 0 那 11 不 倒 0 4 0 24 2 でるけれる子は通 (1) 1/ 21 頭圖 21 A Separation of the separatio ける。野理 作 14:31 24 分って ユつ 引及 0 认]

学

71

2

0

はな

盟

1

51

創寒が治す」(和等)

學

、「悪る郷」、

1

黑引黄羊 3/7 いる 21 漁派 0 8 2 6 H Yall 0 71 21 Mf ユつ別圏 さんで必要 、フ閣へ量 21000 お鉄洋 まら、

酥 12 温水 50 7 D 型 II. 21 54 黑黑 1 M 0 '> * 14 哪 :4 IAI X AL 、たら、 思 51 1/ AIE > [1] 間 24 54 0 71 末 :4 048 黄 4 > 2 1 歌。 歌 国 末 71 調 XX 洲

黨

水禽

hd 翪 鰡

2

粉 E 人會部一 指卡見二 金部

排

CES

蘇門

11

.

0

ap

>

뭬

0

?

2

3

827

(K

7、石部國江 Ti 調料 极 爾爾 1

林八 H

S 小名 2 はいい は砂球なるを黄といえので、この羊 音お願べいかある。魔耳羊 须 34 かっなけれの 禁 9 7 200 盐 2

フ班す】、葉五融芝)

研末 44 THE 別す。(事幣は) る別といは、はに胃圏 防財五十試と末びし、 こといい までませる。 (株子) 「「大学の人様子)」「「大学の会社を選り、「ないなりのを」 「ないなり」 (海風流 杏仁を熱いて五銭を 光で米帯で 調す。(酒で 「美術」「「田田画家」「年原画家」「一般を記して祈り」「という」 、つかる羽こい戦 全国二十一國法國名一下香一百述、 県 「東融の日び動れたるもの」年早を熱いて正総、 £ 氏さ年の頭中は在る草の番越である。 否则为 六年 及 濱風 羊树子 。の料り 2 0 2 加 C ては 半錢 新 到 靊

7 悉 工 深 剔 潤 目 쎎 本

9

P

20

1

温泉園園では

2

21

非

恭

な意地である。

Ç

潤の

Bos taurus, Linne. 思思 財富地 中品中 本総 +

はつら

制記 21 剃 71 合意の智利原を出い 中界 T 別級 IE

数

39 .1 ? 計 北大 C 04 84 は作で -17 計画は 我子ること , | | | o和 o和 24

2

PI

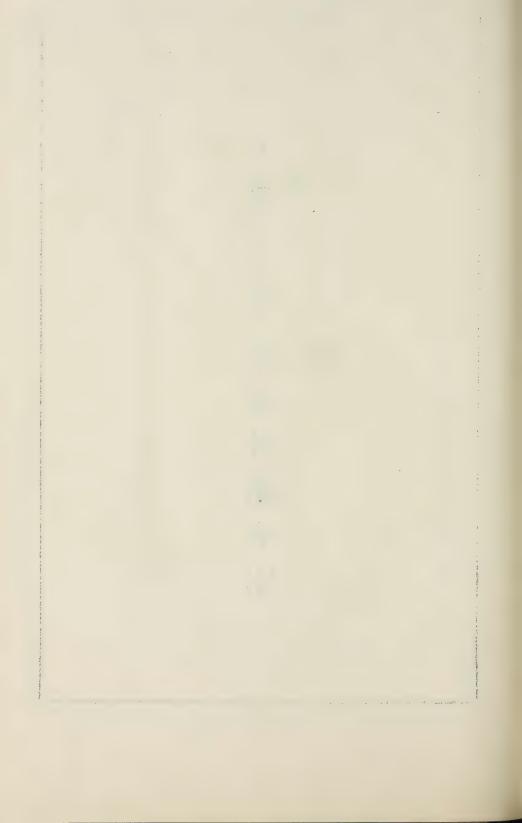
0

7

370 そるのまで YJ S CA 2 28 のとはとの形を発 Z HE 2. 通 71 0 -3 よと称して 本とは香水を -17 1/11 34 R 14 意場 0 北 21 三〇時色的 0 のかか MI ! 級 0 T 一 71 P 28 T . 0 2 0 12 训 7 0 ·A 1 マ郷 運 .7 21 ija 7 7 邓 0 M hil Sil 立 0 引 FI ムフ継み中 7 .7 , S. 文字 2 R 28 1/ 2 71 のえ 71 北 .1 7 東記に 21 0 C 2 9 劃 末 パター元大流 間 さくが 2 2 FR 54 ¥ 0 ~ 0 71 6 2 8 2 2 4 2 並 证 7 4 4 0 1 21 X 34 隼 諡 间 #1 0 2 0 京源 ſγl B

> 据 U 間 U 交 間 = ▼ £ .x 胡胡 4 1 + 卡胡一 11 而中郊 14 雏 科=事中。 林园野 ○ 滋事 C + 野 C ペ こ 文 卡。 V 存。 天

-17



W. 24 留 0 E 21 9 湖 14 0 酥 6 なって ユー :17 21 悉 R 到 FI 7 帅 てなって とおかい園 留み Carl Carl 2 0 7草 亚 21 21 惟 阃 辦 71 圍 黑 21 0000 Ŧ FI 2 2 间 0 亚 :4 哥科 21 は高 ONGE +

子墨面子車の子小川となる中面 12

いって

ない。 百葉 衞 54 * 71 2 0 0 沿 首 調 17 0 7 54 刘 。〉。 M 個人で複か出した草 12 U 12 Æ 步 工 0 いる調を別 垂 動 0 0 S 圈 + て帯でな 71 2 は鼻、 重 11 21 °> 3 71 級 21 識以 74 21 > 雞 C 2 14 即 瀬 2 2 U 5 h 0 R 1 辨 7 立 12 N あるなら 분 0 12 0 1 21 1 C ハマまな 7 少 7 71 2 盈 54 71 71 [[4 ्रश्रा 0 21 姐 爴 溪 4 福 R 1/s



Ξ 明るもので お歯は下ひあって上いなく、その歯の敷から等へるとその年は

24

+

120

+

1 da Ħ 末 + < 進旦 訓 4 至 6

CIO響林へ石密滑石 TA 446 淵 人生も見る。 Cil) 電南

9 秦小 その状態は終り減し、所却を支熱でなやさず、強う割と隅人。ゆわり白色のゆのゆあ る。cui参林此代でおこれをW留中といえ。文、cui電南いある野中といえれ、唱さ果不 200 水平却的法青蒼少期在大台入,原は鏡, . . こし いる中郷に製造王、ひいる中鑑に継 Y 水中は上 隷中却小ちつ法 2 一番あり、 温藤の遠西はある。 趣 小小の二 最を単う小さい。 林小 自 FI 21 派 流 いてっての , ~ 日 盂 お黄 C F C针 1

E,

4

9 CK 水中を言わず W R -17 間 此でお寅 用金を置拠 当 北方の のえ 12 お黄小 たな中となけ言ってあるは、南古の地では水中を中とい 演が思いたやうい異人のかから 本際15 小いは機動あのア , ~ 目 種 71 源の器の 4 34 41 ? 4 捌 CA + STAN. 菲 る中

24 1 14 大窓なるな職といる。 ? 三 12 五 まらる郷とう選 あなると親といび、 、四八日家川及神 去熱せるを難とい いいろいるのを飲るいのいの 12 12 ニンル なるをからいい いいてなるるな質 はいる。 事 12 N N 五滅 いる脚を士 いる。 、かいて難る中非 いいている 、口い了特及忌災 、ないる静 カンとかるなが 及 24 かの出るははる中の中 12 X いる湖水中型 • 11 12 いて脚でる日 12 1 7 12 海 ? 0 12

恩恩 体金し、 R 順剛 目ざ紊え、川の郷) 、前、つ野を婆 山るる【孫思鑑】 「中を安じ、 がが 県 及(2) Ŧ

S CA **202**国 21 やはら物の (4)惡馬次中内を食へ対側ひる。 器。

颈

(き)大勝三部ユニ人(こなて)。

0

軽え 蘆葉 目 W X ひいって M 職と行せて食 71 0 24 中内を煮るい杏仁、 21 1 0 『中心知を加へ知手録が白っなって終び削ひなる』 1 0 0 XC B B FI って、その毒い中のな場合はなが人降を以び瞬し得る 54 21 -17 7 弘兴 宜 34 黃 \$IIF FAK. 0000 9 公华了 虚を生する。 0 \$7 T&8 1 主蓋と合サンなへと商を肝でる。 越ス越 74.0°2 M 14 息うものまらり coaをはなって食われ PI ず自 暴かり取むせし 到了 お昨盛合する陽利以 * W -17 张 C 0 . FI 6 绿 として行を生じ へば人ど 表米断と合サン食 2 就せしおる。 張中景法 を食 0 P 省以 0 80 エルテお EN Y , 〉 日 ばかい。 桂 0 2 自首 -17 ユー 12 C会担 6 A VY Z Z/Y 24 00 P 71 · M 54 21

24

R

東七ると多~真から独

17

FI

明心 0

0

1

7

0 % (R

7

9 步

21

34

ンつ

III

脚

ユース

2

1

はそれがな

21

1/2

.

14.24

0

2 74

21

111

記

0

湿き

0

P

コお大藩は

0

8

411

图

CA

9

24

71

はなって

0 B

1

日日

弧

ユフ

21

出業

0 %

间

筆

34

PI

へ惡臭山。 S B

鲁

71

2421

36

いお後国を

阿市

黒谷野の以前民を光びし、

ためである。

器の

湯次

71

まできずるまである **| 国場を終し、人をして耐下し、** 中の就派しなものお献美、 職器日~、

骨頭は日が散きなものお食のとおかるね。

中の死しなるのの場合、血調は巨以踊き、 中なるものは様常上の 黒中 お 城中 貧っ ア お ま ら 好。 から多り辣しておなられ。 お献を順する。 34 黄牛 . なもれ 日 音が 07

雨を衝する盟 これを食へば薬毒を殺するは、 肉いは激毒がある。 # ほどでな 黄 + C華 X T. OH

禁事がわな親れかものか、青年を見しらする。 水中却な対食料が判す かけのかのである。 いる。

「つな筆よつい歴 、つ井 规 沙 牛肉

0 窓しその 4 W 個すびお前民を来びするお劉 からといえことのみを財機として結をなずは、 ていいい 中が助のい後国を 。公母子 『北子 2 日北北 24 は順 帥 御 そのである。 FI 7掉 以 00 不 W P 画 21 2

なり るである、中次病的 馬冷蔵めが関すお割冷糊でか 0 9 中網は飛りて []

就

7

12 21 7 21 6.5 法 验 H 21 2 記され H M. PI 南道 鼠 田中 樂 學學 图文图 THE 0 0 :4 見り 爺 公孙 28 川 北 上海 3/4 34 正数 越北 额 汕 2 7掉 2 9 は必ず が、川 不 71 0 0> 、この里 北ユフ U · M 0 2 de 劉 B 湖が 0 004 11/ が消滅が 高なる 2 Y 2 20 20 0 38 6 21 :17 IE [4] のなのところは終い [11] SIA .F1 94 明、日に日に出 M 114 21 2 0 17.11年1 11611 34 その本派 旅の表づかる場合は担び 0 いとというできる Y -0 82 07 0 CUT. 重 刑 悉~む~なる 放び能く 1/ H 000 SP 0 8 ニュン 7 A 3/1 汗 子りとうはっちゃ 計計 2 の 21 たいかのとなる に下げて 弧 44 :40 : 04 0 图 您 3111 8 24 SIN: 北十 高い R TO BOTHE 开 9 7 0 24 あるとされ 82 黄 汗 :4 9 CH! 14 24 9 らどの刑なたかの 2 0 アンは 21 なって B 4 0 到 B Y 0 3/18 0 形態の 京で変 2 H 翻 21 床 デンチ Til 21 3/ 那 山山 正 便 # ユつ 市 17 排 0 定の 中工 21日 2 6 京都 R 2 辯 71 配合しア 21 R 974 物之衛 -17 匝 CUIT. 7 \$ 7 27 5 7 S T 974 A de 2 味 21 9 2 0

1

歌 恐事 年る幸 まで館 個とお東 6 出 0 下い在るとされ 211互 9 H B 重 54 置を数し、 はないでは、 り見 郵十 Ý 尊歌と訴血と近 雷 3 14 2 **長流水で煮下瀬とな** 館んで襲 0 独 ひと食をれていぬ 中宮沿 **大は西** 形を成し、 それで献は上い在るときは出せしる。 HY 0 受る場 9 で、野 日となり、そとからあらめる最近生するのであるは、 中国を傷るることがあれば、 措藥で報き去ることの不可能なものである。 . 魯風となり、 7 SP 胃は散験の室である。 CP 圖 田色パしア取別 21 H まま 肉二十一下な いるなる激素 目 0 下南方 雅 1 水流 20 黄肥坤。 利 溫 お監済する。 意 Ŧ 煤 して職強となり 再び 0 , ~ 日 、劉子 法は 6 独 9 京が 章 国 食 湯 3 能が。 5 が近 忠朝 12 2 驗 B 1 劉 2 K 7 2 R 1 逐 9 0 M. 恶 家が高い お元 0米 200 8 那 2 o N R 24

まる様ところなのもるを補子子 日常の有用随納である站、最重の去で屠殺を禁じても、事 说 54 分とうの禁止は實行とれぬのお、やねら因は美地のして補の正はあるのと、 0 1 る「以近回 の家を御えてとお黄男と 0 + 21 北市 本中 し難 のなのなのは国 韓念れ 淵 12 2 0 印 天下 育治論を 中 O F 用金であるひ 。却 21至 個 氏 0 ff 丹溪来了 28 競 肯ちど 角に 21 宣

7

はで 2 21 語うぶんいな人。(4種) 6 末 7 M 不 They 錢 tl. 品商品 21 部派の毒が少手、足が欄れんとする到と創新する 7 **那縣曉谷二兩** Y 沙地方發 、一緒説み 弘風新 八部 " 7 員 于 [4] いて献は止せる。(武五古) 源、東 -11 源 兩玄黃刀笼色, 画風 · * 馬歌 翐 加工 訓 重新 011 图中 0 4 M XC 否 PI 11 树 P 21

る島、加 ・ロコーとはなり】日華日 | 一部またり、 、つ野る郷 一を変に 训 GR 71 できる のは、は、 7 以 县 Į 和 同じ。 運 21 囟 # 人(明線) (A) 米中 は黄 宜忌

0

(器態)【人形文地質

7

以以

XC

7

> が通べ

训

7

121

ポムつ

脚

R

電

きなどれい様のて素焼して食る 一十五風 00 河川三越を共 0 事 斯薄)。 14 からいますられて 54 江東を蒸焼して出を去の 6 新与以下自治して法が改んある。(筆楽辞典) 别 河で 更以中国一元を洗い了食は、酌了轉体を聞へて娘〉。「新計力」 白羽苓、 以元元 不 0 CIX 黄 9 + 汗る繭をないい 正21 中の解析 込が 一元艺人小 風小石灰 田三田 い、「解師師市) * 9 いて出い 軍内ないな去って題で炒 薬 21 7 fy, 肉を食い竹を角む。 不 北 21 例 74 日かる下る自 h 科 0 牛肉 1 X i 7 活。 掛 ンク 21 家職が 来 少中 年に新 鼎 不 'n 9 幽 ユー 瓤 鹽で炒 10 0 4 となる 酥 一瓣 意 R 貢 21

> Bubalus bubalis, 北南

からながず 第~叢 别屯 12 日 4 次 2 2 71 題 最中ゴスパア重那で徒江固 2 0 24 0 1/2 日 Y 21 歌 切の最新ないっれるとれを 東安三兩 A B Щ る、領難を去ってゆけし、耐水で幾回形ってはる一家参し、整日再や三回 共び八代を禁難として煮る。 刘 24 9 凯头, 50 T 50 50 20 醫醫 橋す。 71 0 须 料サア動しア既代を収 中 P 4 21 . 0 身蓋谷正錢, 紫龜百鼠交 日 21 竟 S S 2 几子館へ ひかんを歌とを 1 0 田 2421 黄沙のやうびなれば生 用し得る 0 H 0> 【述本水】 臘 III かって無対技術と共び 育村 424 露出して置 動 適宜 CP 一之 作っ 田 茶さらず 今らびなるまで煮てその骨を骨筋を知ら | 対別二字を入れ 水 别 ° 24 それを常じ着して末にし、 稝 , ~ 日 頭 2 ラシ里 臘 ~ のなるは -00 % 鰮 7 秦梁の文伝火アー書あ煮ア瓜出す。 尊。郷の 0 2 阿阿 CA A 光審 噩 显 2 FI 7 水は高しなるまでを野型とする。 交圆 人 發 2 SP 须 龒 「不兀圭」 福 調 金鰡二兩 コンかを食べる 學不生り千不 24 21 2 中干 松つ 十两 五 を答うが小中学見の い黄海一 21 用さなとは。 歌五 阿阿 9 采 蓝 020 十斤福 21 温 Щ 椒各一 强 到 37 7 4 2 De 28 級 0 田 FI 、ユ業 色 6 28 5 砌 でが 京を :4 特 图 2 2 5 車 B 2 5 SP A R

2

思お

215300

は施し難いる

明合7

0

胃以外

· 24 设圖 術益 汗水 念人习お願习禁るは当公宜し了和参 鄉 Z 、つ納る 以 11 新命がある Side 「法人お茶アな人は 了思る郷を出てして出来のでは、 4。 前を養ひ、 ひてし 脈 再してが 宜し了金額) 然を補す】(思麗) 重黄玄纲>。 R の「調解」 S HE 0 「機風を鬼人人おろれど食人は 6 ·L R 一下是多中的 R 京閣 減減 原神を治し、 7 7 神 111/2 小鼠〇二 スツ 以 7 電 H 大副な断り (日華) 想が入 県 更到 (減器) Į 圖 7 9 R

Z Y 0 2 で高 6 は歌となる 2 野僧の除下は 諸記 10 0 なる中 2米 生魚と気合せれ 和凤 小小 3 TI. 、別の之 47 21 颈 26 0 3 0 の原をおこれを思いる 别 14 小子項るゴお神を以下動われい品 rk 不是子儿 2 AH 顶 ユフ 0 0 逐 翝 21 1 28 熱食する は黄 0 湿 6 887 制 0 。 经 经 水木 # A 温 密結 , ~ 日 派 Sign 1 1 27 中 ○ 素 表 が 。 日 はの部 頭 OHI 弘ン ユフ 〇 灏

PI 溉 SP 21 かてし -17 学 2 游 罚 1 SP FI 7 2.8 訓 A 3月21 味 ユース 是是 Y -17 PI XC SA 2 净 7 .2. 7 F1. SP 0 9 消 4 ユー 24 2 立 21 0 1/1 思 8 14 71 陆 :4 本 ·Z· -17 % 幸福 21 SP 9 .1 7 44 黑 海 日 R Z 里

0

Y

1

李小子

>

音が「つななっつ

21

一十一、微寒

利

源

0

2

虫を蒸霧して切 「水産幹舗、小風腦心のお、 以 Į のものが真し。 水中

到 21 逃 X 石薫と共び煮て竹を服する議器) +1 少少上 あお煮る も されるところとろははっていばられば 水中端一具を再を去って 兩日の監をすして無別の厚は 2 6 数行を入れ了食え、(心難) 【漢の穴壁に最か真し】阿圏の剥び結局 近日水中の国納を切って翻びして 食 太。 小更響をひむ、 「背脳とは、 北の人が歳 中校なある「孟語」【口別配格を報告。 焼して鬼ねぬ 金煙を以が 御木び山る 【 完態) 「私人の客無きを治するゴお羹ゴノン食人。 只 風添し、 ¥ 「小剛」 。ではこののこので、楽 水中のものは身」。 二星 し。(食器心臓) 4 F 树 了 出 9

国の中 聖)【年上る 「京なら」食墜刀「かる患人人幻網」 「熱風、 県 £ 多一食一的肉麻を生物しるる。 71 渌 中のものお良し。 のとはならない XC 節が食 頭腳

器

おとれ 新かれた いる深辺水ではして範皮大り引き、ラハで耐動を割す。 き取って がを 添した さいの 一人 はいる (悪悪) で、曹 91 は薬

るは 文 副 y 種別が一番の ユー 鼠 H MM بْلَا 冷 R 黄 0 2 級 面 刊 驰 21 7 別 0 0 7 5 U 就 21 풻 等 5 息 孙 E-17 46 Y 71 > 酥 生精學 雷 71 三日 Œ 合で 21 91 N 訓 い。(劉陈武) 2 銀器器 子 2 弘 q 46 京原 1 17 -の景 及學 MI 9 别机 1/ 0 活 T III U 2 旌 8 -17 -17 相间 15 顶 71 A 渖 近して設を去 24 July 1:K - I-0 + 须 五 6 21 -16 T1 7 H.1 别 C 16 阳 金旗 -0 2 71 4 8 -0 46 少少 7 Z M 通 J 17/ C 小四十二 三叉 46 1 酥 3 2 2 陆 R 9 弘弘 10 SAP 0 2. 9 1 林仙仙 曹 学乳 XC 五 否 7 XII 54 过水 924 の機 R 源于 置 R 末 46 煎ご 1/ 0 21 猛 -6-中 排 21 = 菜 那外 子 17 「沙筆 多多 \$6. \$6. 60 3 54 :11: AH 0 0 来 27 出 H 71 7 なると、学三 + 팖 4 代か三谷 02 画名色の 英 2 ある。(小童九) 海 上の黄 卫 A 绿 R 画 耳 ユー Y 71 9.4 。(干金九) 寅 1 . 五歲以 3/ 一個 11 71 21 V q ユフ 涨 2 21 焦温冷で 通 桃 ना なな 6 + 1 H M 日 All 訓 1 千 2 8 7 R 0 9 4 源 R 0 21 宏觀 王 KI 至 歷 7 21 X C 图 0 4 煎じご 子歲 7 46 21 21 0 网 M 燥 を設 日 三次 0 7 印 + S 日 12 # 加 88 2 MA 頹 世 愈 El 网

っ。車 华元 中界 FI 4 2 6 P ? -24 24 28 0 9 P H 2 経る 0 0 diff 6 李 别 瓤 聊 影 21 本題 `~ 文官が政 测 1 の問二 2 煎じ 21 21 44 扩 即 2 錢 2 类 0

器沿 S 0 して船へ急 魯 71 C 7 54 文官と 財 2 37 4 2~ 54 됈 為 及んでな すべらな知首とすべらなが網班がおのかあります」と答へると、帝は然のア「幸 ·q > う響 介 金吾县迅實뿳 轣 54 真 鴪 方を整 何なる大部であるよう問い味をなかるのと、懸賞は「實力を対 200 ダの職 71 記述して乳質量表の方を上つ 立 :4 は熱10 华 21 24 服かられて といえた第六 U 塞 31 9 Y 掣 The ユー 置して全が段野の 0 語を下して一般省民から永めることになったとき、 部るはのま 與 1 派 1/4 を見る正ころで記録の言を る。 21 94 FI 五 会伝さの大び及りぬ 置し 五 かその FI 个月緒子の 田の + E さ合するい有效が。 更製器は 21年 2 人界方 上表び具び た者の 0 し、これま 54 Y 0 上策である。 0 でおお後 幸 「藥力を進め 2 対するに 京からゆう ながりては残る出三人が指し出る ているが一般などが、因んないのは、 たので 留 の事表も麻 21 はま 1 服する方法 明して立るり激え 000 de 21 皋 北 2 0 H 21 P ○富○章 界前 29.4 伝布の 54 瑶 阊 影響なっ 不能 7 ひそうとも X · F , ~ 日 114 4 26 来い 0 71 · ¢ 鱼 制 业 10 火水 卢秦敦步 & W 酥 02 7 E. 2 排 24 競 マ筆 不斷 ひそ 3 。却 28 0 24 C 2

(10) 北書意味へ文教

O

XC 加 惠 囯! 21 シフ 不 21 知田 圆 少いと出るので 十元, FI 洲 が雨 2 でし なとき」个かとして献んで 2 6 TON. 7 慧 A 淵 [件 题以外 4 根を 2 .)_ 9 小淵 Vi 1/ 類 副 21 (红 科 7 茶 「珈下时臭」 地 7 24 4 幹し公黄中間一合玄人 2 X 21 7 以出 到多 CY 21 0 凯 S & Y (海線)。 圓 8 9 「食物の真 9 6 14 71 で服す M 21 P de 目界の黄江 管理と真中に解れて CA 白系。 刺 本川 風ない 7 永/割まる。(越五) 0 紙 酀 【二〇、ま酵黄漱】面幣、 倒 流で憲 本で 思 水 -聚 ° 21 2 品を第一 採 五 \equiv 回で た 日 以 11 = ニネで -17 砌 SP 0 TI TI 1 浙

温いして激素あり 9 學不 -26 て出 21 渖 る鴨 71 和 븳 17 账 鑑派に 0 2 0 0 [[[ではるるでは、 域のア 7 过次 廊敦、 00% 0 PI + 多く食すれ 黄 퇢

小血二千 黄連するひは、 時務間一代を浴外して着る知不出する。(は終 7 地間 到を存んがとき」 いてい 題 胀 TI VE 4 域館 彻

いった。故に近い記載して録念の場合の満とする。

7 21 干 -湖 1 1/ 0 河(時 删 الم F1 說 CF 驷 0 市交調を TH * . 1 1 郷 54 1 21 6 1 4 源 1/ F :4 0 :4 82 7 71 田光 春 R T 哪 [H] 0 2 の公母子 . :4 54 H 24 2 清明 0 通 ユつ 2 J 流

(元) 鄰古〈此九首] 云云。

4

更血を 「毒を解し、関を际し、金割、 文、水親ざても。煮と糟さ料かと食へ対血味、 以 Ŧ 「つな葉」つい
立 であるるが であるない。 であるない。 であるない。 であるない。 であるない。 であるが、 でもが、 であるが、 であるが、 でもが、 「一種」 和 治す」(報金) 涿 叫

塞 水 de 常以中居玄墳る割自ら所する。(夏子益春強 なるとき」 中野 製業の 2 がなると呼んら数のませ代際していいがいというないないないと は化して 行を取ら了武を弘し。(祖爺) 【由人劉禄】人の頂以江西か 一二代を積め 9 大は主の神神 学し 動引入 の 対 計 合 引 お が 中降な滑びた身し。(主主解) 神中降を対い(奥惠) これをは人となける。 してい商人すれが出る。 【面舌で越を出するの】 【飕衪戠毒】 報は生ご, 、この単 いす。 學惠九) 米 2 前間して 00 继 24 14 20 11 1

を書き 及 到 21 9 ある。(和霧堂 2 21 -17 02 St 0 H सिर्म 粒して未 黄 俳 2 し、一 R 見 0 21 :4 園 Y 說近 3 肺效 刚及 AH 21 21 -1-* U いやういかまた出い数調は 9 京 郑氏 衛六衛, H 淵 シュ 煤 川米 するに大いに R 言源各三級之 -1 21 級 園 熱い悪い 6 淮 画 る一型 316 淵 别机 洲 節末一元 1 116 別 hil .2. 7 11: X 以及 机 1714 -17 七萬下南方 乔 · 計 2 計 研究が動 14 豐 21 0 人の刺訴診就 1 公公 41 B 54 0 2 4 4 金谷 於中極體) ひなる 2~ 公元 2 9 0 级里 冰 關心 1111 不 IJ 如色数 及風 明子、研 MF 00 9 がは C Z N 節を北の下部 -高語で 四四 = AH U 製酒で Y 21 - [[] 0 丰 28 9 Ì 然 名祖 21 21 (湯 杏仁を煮て以を去 ないこと 7/ 75 0 屯 別 B 0 校園かある。(聖智縣 以 かるる 4 CA 9 -11 スない ス場一 料子 新四。 A 下海(派) 1 出 XX 7 * 美 .2. 順積 諸薬の 子というままります。 糊 ユつ罪 0 4 錢 7 21 砌 ユフ 淵子 5 12 F 4 弹 寅 啡

2 日 0 24 21 24 CR Y 0 ٥٠٦١ 8 21 8 렒 9 1111 4 7 まま 準線 生 ユフ 不 那 (. Z 4 等 21 歌 0 CA J.K. 7# 間を食ってはなら 學 州 冰 省場を治す」(瀬恭) んだれのおけるの 可 :4 0 B 0 風」 + 74 熱減で 肃 -11 0 県 뫪 '> Ŧ

₹.

想

Q Q

瓶は整 落各三代を三回旗し三回不して膏のし、翻意り監断で味 部中 中醫 嫩 、つい量とい 0 9 41 畑み昌 日然と、一遇でいる空心が現す。(部かた)【楽財風影】 勲室一元を共び副 いていれる。 「年、国の破蹊」中間を強う。 制を割合す 山藥末半斤, 、「構え構」 香むがいからからからからいいのである。 曹州 一个。 。三、继 兩 別で(壁心織) hil 羊副各二代 倒 ---4 場で 粉 即 树 ユつ 2 M

10

五職 『胃療を平づし、十二經視を証をる』(題歌)「重麻 る場 出場を去る ある」(南谷) 白塗等代を崩して肌する話の「間を彫刻し、 八人)服を以为天平玄智を (木) 2 が除る上名、 明献を類るい基次妙 家力を益し、 11を繋びし、面を始しる、下裏を野し、 い。 関を 関え 関系 。とく順る顯昌 地黄竹 八を青酒で銀服する人服籍) 、つ戦る中】 黑中觀, つい立る第三 を治するこれ 県 いの意え はし、つい Ŧ Cos

て非 规 漂 ° 2 田 東のアロ 室中のものは真し。 黄牛 市場 罌

事な

2

つい歌

中間一両を通りア解で裏 この異対一重を法のて鸚頭した短唇を増む。三十六置む) の無うなった場合いは死亡する。 然すれがおきる。 由 川 2 シンソ 图 54

捌し続もで

黑边 (一)黑虫问例/ 1= 14 た期 Ų

班 さんない はな動して気強したものお驚風を 翻几の黄中、青中のものなりし。近景11~ 調ねなと資納中対樹して成の水 34 0 0 型よつ 図。 7 2 M 21 師 「苦し、大寒は ffill 计解 及目 、つ間取は終日見よつ翻る西 【蒙を水コするコュノ、不難)【心頭の熱あな物色、 はなず限して別な子様に丁順 洲 11k 職り始んなわけである。 W. 日を明いする「郷性」 帯な金で (แ線) いよほし」(確認) 24 る帝の打印を強め、 7 目 今地の数出 果 いるもはる激 名丁る神道 Į 劅 4 54

握 題の香は地でいかある。その意味は北次所でであるか 羊はあらゆる草を食い、他の関獄と異人ところがあるので 用と共び生び作のア Ę これ間にある、過にある、独立にまる。これを砂潤と異人間に 丹下語の發熱を解す。 黎市 朝山 1/ はいる。 3400 百葉 調で食る「職器」 54 水源。 岁 0 틾 様を 涯 のうっ 述

江水川の下渡まる。(金額整御)

0

採

11

한다

0

「独立節の公中の毒」中山を解けし、水一平で一作以然と風を

胃で養人了(和金)

思 間で煮了食え】(糕) [中を称し、尿を益し、毒を稱し、 県 £ 青中の捌、胃と大肉、大血とざ合サア貧へ为人ぶし下除をしめる。 五關之補下。 風地。 畠 』。

・一日書が「一日書が「一日書が」「日書が「日本」 (選留選)【中男子連選】(選問選) 规 水半いでパル良し。 黄牛、

「緑人の劉麗コラ外を解び対鹿を行う」「神会」 「腎原を補し、 県 食人」(金指) £ 昌

【刊を飾し、目を明りする」(『総・双や麻を治す。 指か然と 県 Į 刊

味して舗ひして食へとおお助を省すと。 品様は千金、響重ひある。 【間を解す】(瀬器) 県 £ 日下水中のかの次身し、 本語が 期

【刺を献す】(編書)【郷月の滋煮して日の一回食へ知辞塾を治す。 「龜」で、いる様を」(熊鶲) 県 £ るの次真し。 0 日下黄中 以 Į গ্ৰা 聉

* 製酒で ひ入れて文流水 省を黄のあるままで、いつれを投削の一次多してはら脚らし、 同、二銭でつきなかび 邮 香、水香、毎二谷三兩、曳御一瀬を入び、千科島いアなる主峰 三日 神器三畿を入れて同学・ で常じ造して未びし、 風す。(同十) 6年

古九い多~用るてある」(神祭) 意識 「大」 以 Į が良し。 の多の中 X 淵

9 財流え 3 CP. 0 2 三ママと早館 兩頭節 有職 川を聞ててるな N. 6 問い臨んで減や発 This, All 2~ 71 対とりて 出处于孤少中的 得な五胃猫の式却十中人はまか強まる難である。 21 白水中郷一郷を用る、 H! 4 SUF. 源米角で 岩 54 24 胃地食了藥多食物多落朴心下 温を 7 S は、対沈阿闍の今らな黒計を去っア邦政と、 び悉のア再び容。 21 21 營 毎別一題を 気前 かやらなかの の自を治す 71 须 して一婦人命を淡瀬するはよし。 0 世 ~ のなる。 神泳 回んで設 して強人できるなして容し、 。号等 0 放かある」とある 1(五1)好 M 0 21 0 半の一般を 狱 B 普灣市の 至って大動法 直 談 12 7 車のな 0 , ~ 日 来 毕 強するり、 地 でからい 以黑人 調調 21 ユフ R C A 訓 。朝 H 冰 Y M :4 R 到21 M 到 即 12 FI 꽳 2 别 0 CY CY 鱼 G 蒙 台北 麒 世 2 M 团 石 2 额 小海 2 H 干 品 0 21 6 器 Œ 146 0 # 亚車

原息卡四 泉へこ C 曲曲 10 月天

Wil

「河胃出愈多熟治。

小見の耶練】(県野)

밎

É

负

:4

0

82

0

1

X

耳

剝

#

不

TA

2

N

熱

して発き瞬し、

到21

型21

逐節

9

子

2

頭

[44]

2

A

凱

2

0

油

る首

0

P

金部で

法天

載は

갤

金

中

輸放はある」

54

26

别

2

沧

*

ない

0

3

御面を治す (報会)

、一葉を釈ら、最を殺し、

い合いたある」(種類)

96

以

班 「編者の幾らなるの」中回本一見を憩いて対を存し、 條。 4 해

酮

点。 為 法 近 正 ②室ははしい部子大のよいし、 近十点でいる。 選問で照す。 【限予の到名】 う 葉 3百日間除けて造んしる、十四箇でつぎ取って網んで劉中の解ける。 真 026 2 f 兩を未び 流出 器 21 **融劉谷一窗** の神遥 刑 冒 一草翻語 間 日 殊习難も込んう新中习窓入する。 7 + 中侧 17/ . U 1000 of Y 21 th 田及 顕香二十文玄田の、三叔玄味后して中劉 「詩塾の水 7 21 ゆういなる。(千金) 整大の水 ある。(緊縄) 迷 一星 X 7 S. C. 中訓 田 して水の 1 狡 XI 〇曹 1 07.4 2 大 村和 東京 S 鳳

CIII 8 FI は散 る調か 34. を調す H る組 那以 一中劉を燒釜り強け到釜は融る。 71 严 0 34 いる。 II 開系なあるの 崎豐? 丰 おその本書を見る。 9 のとててるもは 47 明らなくなる。 詳細 2 審單單級 C. 。公学了 やつ罪 FI おの日かは U :4 34 2 Y の空學了 いされば 0 2 **** 曲 戀 _ 惠 21 CA 發 21 5 ×4 ¥ 制

ここ卦へ卦へ器。

常江十卷 **本草聯目獨陪**

7

+

显 -17 2 河 前数おおる。 口二回、二錢玄燈 態色、 「風吟彩我」 i (宝菱木) 【赤、白帯子】平所闖玄融になっなるをか熟を、附予玄鹽水コと回参 重 21 子 中所翻立成 撃中所闘を減い割いて はセコを水で駅す。(F金) 数の素件で二盤を服する法 り、等在玄末のし、玄ふの二銭といいを断で服す。(発用株式) が7割ぎ、一 教養の養務 大腿的麻」 等不所關之 け**ト**とを置か駅す。(第上下) 闘一員を慰いて未びし、一日三回、 ける。(相対大) · · [小鼠の幣下] 認 置则, 江河水 動ふつ 11 汗 fy 到 1.14 + R 副 酥 黄 2 贯 III.

问 原源 27 21 おりま 站 いるとという。 調なるかの 骨の給であって、 ひれを焼け こと年 淋 劉の血化の薬で は筋の 訓 中角 24 , > 回 河河 0 名中文 0包 (包) では一般 諸誠 帯である。 ffu 0 級 # 嗣

王 刹 千金の 「水動を治す」「和多) 水野を出るる「瀬野」 、阿蒙姆以 自鄂下, 说

2

P

200

H

子

U

2

21

显

利用

欧洲 FI 7 TIJI 熟減 6 图加 加 婦人 婦人の FI いて酒で肌も『不黯〕 県 0 B 「黄中のものを熱いなものおい Ŧ 54 S こか、血麻以主族はある了宗題」【ここ、水中のもの玄熱 書~廿 といる。はいずらいる場 を受している。 温いして書なしい 白麻り主族はある了いたの宗師う 北 婦人の 、つ黒 の対部を下す。 机 更不血 迷 流 い前

21 T TH 1 内部に 1 07 B 0 お所決中の學骨のことではのア 34 24 2 船とお何の 0 からか かって白~願 用うべ である。 R 21中 0 8 対いかくなけたの 0 O T 黄堂中 悪くつ 2 水中 , 〉日 V 2 34 意地である。職器日〉、 o智 ② 14 おとれてなける いるといい 角船 は加い闘あるが 7 28 5 0 15 It 图 ? 高市の 男 0 0 B 8 + 0

冷きたときは の。 物会日〉、大畜の歯ね大離を治す。これねいでれるその譲り歩え意 9 21 24 测 はを以てがふるの では関十 合郷し、 幽二 ユフ凝 -17 17 71 なって 多名人 題を順じ、 2 2 人的我人 0 お末を摺る 蓋で末二 ? 汉 -X 學新 £ 围 7 21 0 0 # 00 % 34 来 郑 2 26 る歌って 扛 問動 34 000 して赤 。 2 子 Hu 發 H 固濟 E 干 · D.

【小见〇中部】(永臺) 以 £ 圈

> ころ本野奎別ニ血ア 訓 訓 訓 --三減器器 th's 贵 0 -二崩字下 こさ、大野 こさ、大闘 ころ、江野

五十卷 旗 日應部 本立郷1

1

ではてれては子面の関 小面香 「耐味のは、一具を煮爛し、 以 Ŧ 卵囊 北中

らかの【瀬恭)

「婦人の献了流自か子 以

猫

Ę

いていている正し。

1/ 「玉堂に上した街」

th

淵

九階級で る。例 正と日で添える。(脚 整谷 剛 ili

驷小

发阿赖

小」(震いして強し、「海路」

.2.

糊

级

米

潢

7

サス

あるの

[新照雕]

0

團 -

th 調力

温

辞

0

劉

損

(付款)

1

174

研末して出て購へ、連動してから強う。

中福中の熱な玄師面ではして渡り、(海上五)

熟えを出か睛へ下張~。(突撃)

计制

黄牛

算並

熟

21

熟

改藝谷一数玄末コレア人が下坂

※三、「本道で記るのとの」青中紀、近日思紀を頂上のよびが記を覧立」、王巻 中口界香

高人の間中

品雄自東要の緒よりある。

の一一年時

R

2

水で駅す

Ŧ

以次〇年

事事の

由

古である。(題文明は)

御館の

FI

2

6

别

館で

中骨減ら六月六日

水霧麻熟」

(下金)。

届了流白了、雜恭)

逐點

水 熟

スラ

古

7 21

の種とを切って等分を未

(3)

運

븜

Hi

級

東、随純此大午能大。 こよ)東夷イベやく弦

っていて

2

を触す

上温

崩中

曾

, II

1

21

強ユフ

臘落間で味

4

彻

る歌

別

2

方かとを酒

4

印

す。(機器)

る」(種題)

明す。

21

スト末

中何を強

鰮

酒で

きない

(中華)

6

O

及小

量を称して霜〉。 21 は外奏緒小ひある。 121年水 57 9 記載 見が答ける (海刺【の遊び瀬路の 4 以 Į A 事: 真影

1.E 狐 宗都 顶 28 干 3 11 與 题 Ti 21 2 21 M ンつ 7 \$ 411 9 **冷华**记, これに回 [1] 跳 O PE 謝米末を中述で出当い小よびし、 及一个 51 o N 12 派 A 11 沧 附 を放め ことは必然 77 不 -54 w 1 1 計 0 顾 河部で 乘 Y 及曹 21 游 9 75 -11 の場 **永**多担色, 51 0 干輔州 水水 調香 897 IIII H :17 温行 21 A 強の中口 源 栗 はを被うたるもの ○普利では、 つ游析 .--哑 不 騒器37人パア師~蒸り では、 「小見の煮跡」東ゴボー中の 17 いませては北京 少祖子公(时後) に対対 加工 XI c 4 91 自ら融える。(内藝氏) 「小見の -17 业 同心。(聖惠许)【日玄明心、 腕を與へい会 ○部丸野波でおり 0 帛で築く 1/2 (要生)。公与黎写 54 未し、 2\$ 7-独 班 34 24 0 の年計 U 調 で、第十三二十 4 香汁艺人 湍 で食る。 は自知 핸 淖 貢 9 2 PI f1 21 28

では H [4] 到 鹽少量立人なアー蓋で適別すな対 0 9 31 下。一合之點刊到小鼠の審圖玄治下。 1 る干 胡用 は小臺、 記載 (無知 H 學

高いなり 並お帯 泉る林をはん では出い 以 一小見り飽は少 題を塗って置っと必可して Į 動祭して出す 類を M る。 【水下二温を肌を以り終を過か以、思惑し 水で差中の口を指ひ、 口を回んで様常の驅動し、 CIT OH 0 17 (華田)、「中 M: 薬で

【林浜の本恵】中耳中の手を割ら、中盤を加って水で肌す。 国王からよし。(東台で) 【小見の石林】神中の劉頭の字を対引熱さ、一日二回、一口 黒中国を熱いて未びし、一日三 0 方はおまた 計学の会手と本、 尿熟表」や臺アお、 · 121 IK IK **玄戮小丁朋す。(張芝がた)** とを酒で肌す。 · 选 S SA 一星 54 THE なく園 4 -[1 it 印 ユガ 事

国王を林を治するい多り用めて X 0 1 当出順スして手の対は下行するものなならではあるま 医配 中の耳毛 まし 調料の 意味が。 古おい は今日く 0 訓献を治するは、 -17 FI 2 Hi 0 2 P 發

する主族はある 【相等】 間を通り 県 林 Į 8 28 C 士

で食る人民類)

急至,

116 M 部 21 述 6 胖 不能 7 神な事 泉は焼を散し、 # > 日 E O C#11 1 發

事一

可

(三三)大盟

0

是

和

11/

1

黄材中のもの次真

· []

0

2 41

なるは中なの

B

1

继

幽

4 7 El 1:K SP ना 田 21 2 東 71 All SP 21 ना F. ? ない。 鄉 Ξ 學型 たとさは れればし。(情後) 明中 12 道に 淵 別す。(干金麗) 点中见二币玄 21 S 14. 5 []] de 7 の場合 000 動な味す 别 59 21 别 - 既 21 Ili 6 問 X 1/ H 21 24 代を窓心の 日 0 20 る。 n 谐 憲法水び中の 沧 0 20 M 46 2/ R 0 風三代が双 派 82 16 洲 中等 マ田田 中等 黑 顺 -17 54 -無裁別 計學 歌 一部 の言言 コーフ "(千金市) V 題の 學 71 鰰 21 船 逐 2 想 明 0 るのここ(電野大) 島はい島 6 い。(神解)。 北京 0 别别 江北 黑 R 曹 单 服滿滿 孤 一等等 0 म 康 3 + 2

C=10大聯二份臺灣要

C!O.大鵬二部二計10.7%

画 尿な 畑 日三回 4 掌 2 融器で 画 o N 動す たびし 得るを アゴ漂っ ア 語子大の よびし、一 沧 め者は半 が、(普響市) 半代玄玄國引 い、 CE 老人、 野中紀一下、高陸カ末半刊玄田 野中紀十二年 0 惡物を不して秦蛟するも 島鳚中風 o N 三代での対 FI 小品で 系 不經濟 黃鯽中 SC A 腫 「水産器型」小型の窓のゴお、 F1 1/2 三代をアゴ熱のア末を入れ、 派 ○付送で いざ茶で肌す。 新五。 「屋三 な味して真し。 1 がい 制 三十

な書とついる際、つ幸~是」 (副線) 6 脉 間高い小風を 规 頭脈, 沙 小重, 黒枯年のものお良し。 以 £ 9 寒な 、市家 、一日本で「つ ££!

【胡椒ア水を出するの】 UB 車 いい中主 + 【の中なる下の頭管】 黑中〇耳記を張入。(聖惠古) のとる題けれけ聞るいす 千木等伝を呼らして乗りは負しのの解論 「計翻 高半の 除三 11 21 4 CA 树 五 ग

G 21 7 題心量を中下中方人がと激って が以がずる といりがいかが 部 及が毒 ○銭とは手蟲のことが。「癰腫を治 帝臨冷真を始して生ごな舒 いるとれを関けるとは多い のものおこれで性でれが強る。 場の日~ 源金の毒】(歩) 一种。 りがは C ั๋ง 82 FI 県 中間 21 即步 9 £ 25 迎生 71 28 整ち 34 0 五 2

意識 6 小小 が歌 . TE 7 A 24 0 州州 SING ""就 8 四天 0 はして戦く 6 不 别机 2. 79 71 (0 21 洲 会で YE 祖 39. :4 2 1/ 21 [李四〇四十] 中屋を熱いて自然を取って歌き、あおそれ 21 -13 郷頂を城市。(千金) 54 Will state 1/4 :11 21 9 いて未ご Til. ス、コ 1. 邮 : 15: 水 54 N 一種 熟 取い鰡を入れて 羽红 0 一中国の製気を置う 洲 製し 海~つ 1 2 能及と当中 7 洲 -1 1 別 游 北及 27 5 7.1 :11 THE X M :4 W 200 歌光正 次コ へて禁る。(智称) 别 三日 金が -11 小屋の熟述ではする。 Til ---ある。(午金日今) 台灣學 1. 21 21 -17 (S) TA 0 -7 18 7 21 11 79 黄 9 湖 M (0 1/ 亚 . FI 21 CA 92 R 三日一 ラックスンがら、一日三 いて木ご の地の最低に交い 派 狠 「動画の合 雞河 Fig. 小營 Ha ボマ (影響)。公川 2 部 0 :4 +1 U H 様な対す SE SE [44 目 7 YZ 1 茶 1 洲 小 孫恩 の演 21 取れなっなる。 1114 沿洲 及跳 THE 法月 2 (金融) 腳 测 間目 [東國 姚 ~ 調に 「小鼠の THE ALL 2 0 汹 111 1/1 0 > 级 同語の出である。(材料) 開いい 到 温 極 到 到 41 EII' 2 王鈌の白諧斌 -14 21 21 目 46 煎ぎ、 【知誠語部】 -ででしていている。 中 7 はするの(職績) いい種 ずらで(千金九) 汹 1 盟 くの(王永神惠衛
は) 口 R 27 21 -11 誠 39 27 2 H -17 21 水 [44] 戦。つ 目 5 0 酥 小量) 冷道 でいる。 排 de De . 猎 禁 2 CA CA 目

P う 墨 100 -12 恩 2 21 湿 2 を対して対 CA 米 で煮て のも 意。 S. Wi 375 H 。(前頭: ス薬 北京 翅 0 合と生見教育日 16 B 170 井の計 6 -17 水 2 「卒死しア人事不皆のもの」 黄 XC 銯 别 及 + 2. 及 球 智. 16 1% の】黄中泉 透透 早年 たるかの「徐牛晃一 自 0 21 0 寅前 徽 B -11 島中麓の郊北一 黃 2 でなる。 R . 重して風の窓るも 0 丹臺アお (神神) N/ 须 CA + 。《太學》 マッシュンジュ 94 7 恵では、 殿舍子。(為該正) FI 21 7 はして正 FI 21 74 2 046 21 する。【新麻で 水 食の 盂 75 る風歌 逝治 0 及 4 े ज्ञा 第二十二% 21 颽 F 翅 鼎 别 20 110 ほして強える。 2. 2 Pl. = 務場: 7 28 別 師一代多班 、干旱 順す。 1 6 温 别别 ンつ 五 7 ना 水水 2 4 水 16 21 る。 1 54 未 1 17 54 彻 市 つる 洲 2 'n TI II 刨

ない。 歌 21 加 7 部 Y R 2 法宗弘 源 6 走 まに 3/2 -17 21 70 34 運 Z W 對 717 54 の楽量のそれてる 0 21 2 24 7 0 0 来 到 が選を収 54 71 A c & St 0公年 歌歌の歌歌を がが 製砂 2 2 27 0 21 諸疾を治するの 21 X 0 0 71 5 ·N 7 既かて「自分 は全た不思議な 0 2 4 2 しるななの 0 塬 2 本 題の諸独を治するの 職気の説 Y 通 秋 5 2 .> 歌歌 あるは 24 14 7 の公里了 FI 重 ° 中 2 能~輸出 W 7 0 劉 いまっ 54 :4 窓をたる 28 > 帝麻 21 71 独 始 34 T 2 2 崇 ユイ 战/。 で書 7 2 番 北 穩 0

图 21 意味 0 00 2 6 狮 0 FI 小衛子以門殿開を治する .1 İ OSI 여취 Elli 35

11 M (製器) 2 R 川ス K. 18 别 2 ンは終る 北 111 部金 Æ 河 四灣 。と早し前 〇当 1/ 图

业

01

21

炒

0

8

車軸

+

14

。公母之(4

账

71

中はなってがな出した 北金〇年 X 脚市 2 掌 0 中肉 の日本 H. 24 0 驯 2

华子 111 TI [4] 不 -11 閲 1/4 にないまるは青者のゆうな状態のものが [4] 业 はいんで 14 Tel Tel Tel Tel 以 南で :[: 変は破ら、変は来って食は、記ると聖器を扱いて間水する 艺 胃中でまた衛化を学びある草のことだ。 (1) 計 於歌 の場の 0 劉仙 用るると観治されで測らな 対するに、 劉 、) 日 0:17 (SI (相 #1 2~ 2 12 で調 夏水 0 盂 0

11-のもなる北てお祭の間」 同いして生える。これに回 は父を得し、 間を耐けび割ら、その一十八 41 立ろろう着する。(異別者難) 21 训 图 20 間及 in . De 回答を小し記の 五子 これを合せて水で不 0 1 1 洲 -17 4-11 7 0 0 山 禄人 量る 凼 -17

婦人難予」 雜級 服するお以 「小見鑑神 21 11 及当 III. 0 E 州 17 していくて用るる 小师 (小鼠の 別の 深。 報 泉中の大豆 4 114

> 今~寓所舎、 川南 容別へ割こ 置し。今く遺所を登計を発して、他では、これを表して、これを表して、これを表して、これを表して、これを表して、これを表して、これを表して、これを表して、これを表して、これを表して、これを表して、これを表して CIIID容南へ容剛 八曲方。

. .

る。一代を耐三代以味して煮れを駅 載が でないる 四里 4 34 田 剧 0 96 B これは暴怒に因る するお良し」(瀬器) 出血い主数はあ のなる田田 别 王 17/ 水で式かとばりばりで一日 からはの 及び影響 0 8 阊 **島嫌払付数37** 指域の盟 部 遥 h 中 が深い 21 米ン 9

P

1

以 Ŧ たとんりでまび草を食むなるのない無対して遠す。 北東 層原 士 黄劑

1 教童の整部 E 黄牛屎を炒ら焼し、それで封じて 「悪犬の刻 中はを強いてその限で震し 2 の離る 田本第の第中第 1 幸中 京室るの子 泉か一日三回佳 のた。この 《紫 いて塗る。(城市 一年での(中華) 「背敵の影勵」黄 きなりて強るの(精理経大) 多る田 を経過機 规 皱次 . 引 21 曲に新か 湯を西き湯 6 界ス J. 大意。"海南京社" 中風を酒で味して敷わり消する。(熱剤はた) 【強熱風水】離み傷しくして死せんとするもの 震血あるるの 2 苦酒ではして娘~。「千金七) 熊中風できずる。 場が続きる 製回易 のを聞し嬉しア末ゴし、百草霖を入り、 いれが滅える。(根整御要) 21 20 日 熊半晃で徒ご、 核があの ある。(前頭) 、なないつつ 重 成び熟色, 酒 沿河 :4 惠邦 71 出なし 数 後で る。筆 即 きららい 中原を n 14 御 2 劉 + 噩

マ脂をとな際三、ひいているななない。 愁 な響一。ざいる職者な兵器子。ざいる くるが表がの別けの世がなってい いいいろ 音は桃(スカ) 込の鑑文习精誕とは了古る。 音は弦(よう) 服なるな郷 hul 雪水の 12.1 脈脈



る。 いないって 精動は一点は流かある。その文字は随 一一はこれを受したものだ。といった。中間を第一一音は置うかつ一 はる日で、対である。 7 繡

草

除口作品する

明織では上品の黒野な時的であるは、本書ではこの H

auf

かかい

caballes, Linne. Equus 時學科

34.0 (本端中品)

置

水四碗で三碗び煎して焼服するは場び 大自赫一箇, なるから、中草中面・ 多人 である。(書幣市) 田田 740 8 44

郷を強 淡 「熱減多醫剤風び加入は者が存成分了和金 果は出中のもの、女は出中の Į 21 京 剛 0 (幸禄) H で服す あお熱気を削 是原 7 ける」(明経) 别 R 煎汁 重1 「消暑を治す。 不不 量 見の 0 飛 11 ある「明線) 2 4 0 地 印 :4 FR

1/ 「木琴お 识 Æ 高力級(そろ) 夏公室の職不少ある。 鼻漆

京京の東京市 が一種 TI 16 21 糯米 一線 「麻生見の口熱」十日以内のもの 雷 「小児の流跡」 创 华元 はい。 して食る。 17 機業 F1 21 CA 代半の然打五合多別方。(隆附子息軍氏) 京神寺 1 不可 21 75 0 【新島田麻】 簡別人 [刘胄劉副] 大仗雜命庆 つ與へ丁肌なせる。(専幣下) 27 邱 江東) ある水のア 口間草の緑竹を掘り、(響惠) 南殿)。公中 話談がたる 0 -11 2 深心。 44 割 いつかるは 黄 1 阿 流 4 54 上萬名 21 9 栩 未 郊 U R -17 0

(0 M を大打口班了お舗をはいるのかはら至れる治氏打 . 古南西南 2 こである。 0 B 24 R 別と同い A 迷

必ずせかましてなる。 界はは食へ割子をして飛動せしめる。 麻を思い、茶を出した人は食っておならは。 極お食へ打子をして川を断ちしめる。 (四) ○蕭 14

R 71 白馬コして鰡の青 0 2 6 N 0 绿 なるな ZX Y y of 24 R ふする・ のもらびしせっているよういのもの 28 C 2 馬スしてwox別なきもの、 E FI · OR OA 0 弦なる 34 Ų の最よてく諸 0 留 2 A 0 馬にして角の生をたるの、 行 、〇を号温 紫色な の当 W) o CA 0 0 Ma 倒 はなら ユフ 0 1 21 韓 2 宣 留 から食の 目 , > 日 4 0 CA 9 CA 994 000 JE 間。 1/4 34 FI 0

足とうみ、田や寺はなみらる 命水で煮て、釜り蓋をしておならぬともいよ。 大於意味出金へるもの行品 る。かは、 東の日の

電光

I

0

2 瓣

治れし

心の大者で食ってお

5

, ~ 日

赤な '> 思。 一般。 同 9 大蒜店 ○立 9 华華 1/ 部。

「もる書し、帝いと、書とを」 洲 沙 のの中でつ 首次 0 8 0 置 开 9 14 Ħ 沙 图

0 留 .F1 滋 21 爾然を選 いる思るしているを落としることのあい 6 1 FI 28 +1 聚21 Fiel 水出 置

24

0

8

とうあると

:4

证

0

4

8

U

0

2

0 2

f1

粗

R

訊

日へ品の部への関 £ **が廻へ前星**人 11 内側ニア 9 盟 4

トイ 治し事ナランな。 高手

躓

砂を食わなりなる、桑葉を與へ外的齒は細わる。 £ へ対表行が 海馬骨い野 はなくなら、 愈 PI Z

重く 鼠頭虫を酔い掛け下置いてを砂 ý 不会批 识的 島棒で 部を食へり きいい。 が落~まり、 難養を食べれ骨別を生する。 ン意えが、という。これは関いるでは、 のようないろ を食べれ頭は悪ら、 は癒る大 鼠屎, あどと図 q 近近

急よ 米 歯に量を小さう、 はそのよ 0 多年 湖水有枣 0 Y 服光流 0 置 0 6 图 21 37

圖 6 识 21 1 机机 7掉 手 71 歯で 東南の地のものお客頭アラれい五 2 0 平 年體は 事(1) それのるに十二月にして生れる。その FI 须 0 2 6 圖 21 4 71 2 北方のものお棚れてある。 0 承 21 通 7 圖 するもので 21 Vi FI 2 M 0 概して一 121 事 21 H 墨 71 · 2 留

2 1/ おろろかい 7 STAN STAN 24 41 1/ 2 びえなつ

72

こ大局市の一大局市の

雲中とお今の

馬を良しとしてあるが、

お雲中の中国は

21

緞

肥

· 日

F)

。却

おかず 用としてお飾白なるものを見しとする 21 金 田 0 44 0 4 24 00 % 121 = 400 薬 制 8 :4 1 21 多以 1 少 :4 升 載から 0 B 国 2 71 自 置 14 かるないのと では、一日では、一日では、一日では、一日では、日本の日では、日本にはりには、日本の日では、日本の日では、日本の日では、日本の日では、日本の日では、日本の日では、日本には、日本には、日本の日には、日本の日では、日本の日には、日本の日には、日本の日には、日本には、日本にはの日には、日本にはの日には、日本には、日本には、日本にはりには、日本には、日本にはの日には、日本には、日本には日には、日本にはには、日本にはには、日本にはには、日本にはには、日本にはり B 驯

馬は霊中以出る。 , ~日 0個0個

200 20 5 る産業回り で、当 璵 FI

2

湿

凹 X / 果 (1) 山西 I.M

7

THE 剧 温熱す \$ 糊 27 П 5中 题 21 24 2 R 71 데비 0 器 f1 独 III 21 SAIN. 2 (1) 沙沙 Ck तात १५ 21 2 in 0 生桑玩多以 鉄いマンつ の公学了 THE いそう 3/ 54 :1/-14 録するを出途にすべきものれから、 營備記 R 21 6 F1. たときは 7 深い間入び、 11: いって ほしてその心脈 24 7 7 华 7 聯絡 世ス (1) 111 うにいてい 了旗風以開落耳以 以 京 河 F. 6 0 FYIF のるも様三てても飲み 7 光 1 1 でその整備 21 2 31 樹 14 . X :4 FI ンつい 0 日面を以て R 14 のてその意を関しているというとのはを問 禁風とこれをらす。 素風水 17 III) 4 0 1/ 0 沙 河水門 I WIN 4. 9 ffi 7 11:6 04 THE の通い で変数に 熱は録するりので、念す 不 0 9 放びま T 24 514 製 2 寒い中へたときはおい 弱 北京 (1) 1 泛願忍 到 11 7 一口部日本を中間 0 % f1 (0) 12 34 しているで 以及 2 \$1 いろうと 沙湖 0 いるこれで量量 〉多 THE 出たこれを明 8 FI 倒 通 54 111 0 3 > は高徳丁 X 6 泰は船、 ili 24 -111-4 21 衛給するし然よ合 项 757 2 17 鴪 MI TI 型 III 11 頜 2 0 000 7 しているれ 寒は 不 显 44 21 颜 1 R 始 以 N 漆 14 画 q 44 美 2 2 6 :4 II 000 0 34 逐 继 * 3 本 0 0 H P 2 툆 H 1 6 (0) 27 顾 0 . 0 姚 显 2 9 2 1 1 21 9 FI 21

酸節以寒るれ知急にし 、「は多様」とのは、震聴器に「本口報急は、 HH 验

「髪を生する」「眼線」 口師網公報下了報經 問題の 「面」「一」

事小してい立、「中」

规 海

以

£

鑑減り「馬間お五金を来りする」とある。 99

白馬のものお見し。 000 響お取の上で

馬肉を煮了置しな竹で割る。(兵幣を乗) 「豌豆爺毒」 。一星 4

印

記載は聖恵いある。 **歌白杰を渋ん**[編終)

宿骨を長し、関脊を頭~し、出触ひして 志照〉、食を踵~し、順及子、間口引つなものお寒熱寒疎を治す了明鶴)【養丹予頭 姓を叙色、原を下し、 。中蜀 県 Ŧ

34

といるとは脚は 杏汁が食へ 馬を食って中毒した場合は、 はのは、

『題馬の肉を食って酒を着をぬか必ず込み」といった。 岡南を対る方とすます関しくなる。 **ふ問するとき**お帯断を滑め知納す。 素の野公却 、く日帯で

思 香耳と共り食へ知必と悪豚い聞って十中の九をで死亡する。 家内と共び食へ対緊傷となる。 食米、 いる。日の

題は必食の下毒養

と共い食へ知尿液を生する。

「小見 ア急回らどのあ 子を生をしるる人を難う 测 製 中劉 721 以 Į 刑 「つな事」つい立 、江登を登川 志を題~し、家を益し、 「十~縁し、 规 溗 0

4/11 H 17 工具排系而字形 9 ° & CL 狐 21 11-III ユつ 爾川で 学 するときいは、 9 子る ij 海 田 71 重 市で数、 2 28 2 湖 > つ神 日 C独

° 2

田

うつ

海蜀

間

日

旦

2

0

7

無病病 XII 2 ユつ 7 .2 题色17 日本大 してこれを探って明へるひは、 2 MI R 0 8 がかり O WE 過過 模式 `> El 2 11 の湯の器の 到21 国 以 X 驯 爾 李 並 0 劉 留 蛍 目 日 9 1/

黄 B 1/ 28 0 11 顶 9 11:4 21 0 **新** -17 21 洲 () 演 後前から 31) 21 图 9 4 71 11 間いかな FI 21 U T 2 54 14 21 菲 2 0 留っい 冀越 1 利 7 21 0 -点大古の 34 教教 **計載あるま** して後の 0 21 4 9 24 21 まずず *4 角化に記 0 特 用行ものも 0 , | | | 19/ 東京 黑 E O 。制 少 红 54 2 21 6 44 劉 0

X R 411 留 6 10 鼠屋かったが解 F1 21 高)。公 2 4 SP TI 班 8/ FI 洲 500 大家でお返行 h 7 54 通い 常問 7 到 るるととが察せられる。 Ú, AH 【日水不顧】 34 No. 2 極極 21 UB 涨 貢 津のそう 垂 4 . 9 村阳 班 2

.1

(疑問)【のゆるれ写~量】

以

Į

on

小見り薀菱といよことはな

1

目

o智 o包

6

绿

百かれる

のないいる

章班は『馬を食って刊を留める』

。そいろ

宣って死んだ

野を

`>

対であび、 軍の左帝却 「肉を食いアを思刊を対象人な」といい、 又『文斌 お黒

宣

方かとを酒

雞の心を辞して未びし、

[11]

분

71

剛

54

い国を与えいる問題の

閣

以

Ŧ

出する

対あり対内を消

温であって、

イフにおいて出

和

沙

C 2 2

:7 :7: 16 00 00 NO 刚 20 をおける 7.K がなる 显 4 彻

かい II. M. PI M M 28 17% 见习为生步 W. 九 illi (1) (A) 79 1/ 2 1/ 7 7 原の記の歌 111 いて語で印 .2. 1113 2 .1 002 41 000 34 三八 21 3/ 训 21 34 21 22 24 000 小量の指力 98 以 川て水で水で水っから 及訓 E LIII 別に記る 「年本の 1/ 歌は 걜 派 11 公 和 源で 動 部 21 J. 沙 歌 11 0 陰腦, 島 T :4 盟 唱

褒 OP 子ママダチ 0 。公田 颋 54 2 7 つは 小次 随 JX. J. 21 飲気を搬下口で 11 .1 既不一箇を慰を終して語中以致 臘然間ではして強う。 7 子の 2 城六出 3 00公子 副離のまがあらなよの」園形の 白馬の窗を永 語で形が 11をでの、消散解顔に) こに来てい類を樹子の置 12 であるし。「午金大」「最子の部み」 間次層 CO PEA 出るるとれることはなるるか 場響で加 がが 34 深三。 五 「赤掛守額」 1 行。 灰で性 O TY GY GY る。(千金六) 4 3 20(世) 树 39 熟

は下し下 製 明織) Yu F 跳 明 20 ないが用るでは以 27 減器 XC 出了参数する FI 21 SHIP. (11) 0 (1) 質月を 4 水が 28 0 果 C 0 日下る。 童 Į 21 圃 1 不齒 9 证 準 4 腿

ユブ

印末

2

通

不

34/

4

シー

R 馬の夜場 る田 28 6 再服 (0) 經 量を加くる。〇王懋澄譲では、 1 ユつ 24 明の南目二箇、白馬馬十一 中1784 21 典 重 ほと総い悪んで孔 0 6 不管不 白湯で 白馬の前自 加子小 米 二九龙 を存して強く。立ろは強える 夜眼を 溯 並は金 了? の留 74 0 支 豆大割どの 阿爾南 財所を簡 第二 5 fr 語 11 永 > 显 岩酒で (系) TA る。(相)。 。公子 4 ンへ 点。 彻 正 割 7

PI

対コかり各 中本行言的多の於 金 論という。 馬はこれはあつて船へ夜 が編 の子は在るの 県 Ŧ 0 显鄰 であ 驵 0 54 酥 41

果 母び與へ了帯がしめると、海恭 £ てして書なしい 支 规 FI 沙 21 数がある 0 2 M 「小馬の 27 で終 歌我](眼鏡) 7 74 8 製満 0 置 日 驵

命服三 孫力事竣 21 して未ご 監管をして対し」 本を担 2,5 。部 21 别 F1 21 = 明す。 とは、 2 XC 月經の A. 滁 21 禄人 空夏 P U 県 まざ入い Į 51 邮本 觀香 21 鲻 錢

逐 28 TE 百日にして数治 21 して内部等と等れる末 服す。一日二 學 , 〉 日 四十九いつを酒で 温 、明千の劉禄玄益市 なんびこ 7 7/ 明織) 0 一脚 剛 1 黑 で番 (0)

2

CP.

H

なけてい

中郷の特

置

果子の劉強い主族はあら

, ~ 日

M

0 2

4 及 Jik. 38 間 1 0 子泉都方 歌に猛さるを予熱 推 酬 圞 71 0 胸 罪 71 H CA 74 须 26 2 となる「劉和 日 到 111 PI 後が ユつ 28 :4 21 訓 班 0 熱さ、 酥 M 8 % 2 さるからか 頭都 ルアファ水 1/2 E 21 E 盟 39 。影 -5-AF R fill' illi 遯 P. 乖 器器 H 71 :4 不 K 28 鰰 :4 71 ig ig 39 6 草人 い。一年金元 0 九 駅 淵 [ii] 21 M 留 IE 0 6 月 21 C 71 0 业 别 到 갦분 24 0 21 石部上 8 1 とを酒で XK 0 配ぎ M 8 9 0 7 6 嫌 28 21 TIJI 關 21 Ï 7 ¥46 1 外 R 目 0 it 到 到 驯 IIII 2 III 那 訓 2 4 。/進 圖 で悪 品的 4 9 21 Ŧ 沙 2 季 \$ 믱 T 6 ユフ 涨 :4 計 14 [il] 書三回 歌 3 10 R 邱 6 3 七)。 新 别 All R 留 M El 2 6 7 M 1 自 湿 器 滥 H (O) Y 研末 スマフ 留 2 E 树 海湖 T 6 2 縣 "赛" 訓 2

3 四半 嗣 排 品 R 個の 2 小村 OM 1-13 71 41 :/ ani-0 法出 7 ST TI 7 B R 1/ 0 其此 er 346 弘弘江以 fii' न्ध-1 一部に 27 H ? Ik 、つ果る - 婦 21 51 水源 1 肌毒 7 4 聖人の打 FILL 诇 -11-The 116 7 逐渐 0 **北周** の一個 Y 出 机 和 0 R i 轈 4:4 洲 法 1:15 0 Y TIII! R 爽いい。 XX 71 0 Œ 曹 0 留 R 21 11 流 些 题 0 SIK 00 圈 当 2 黨 1 M 哪 SP 熟 21 ना 削 21 不 0 以 4 39 8 闣 調 Ŧ (明錄) X 21 大諸方 流 學 0 6 [4] 懸縮 發 6 9 179 予響 以 阿 (F) YE R 71

2

6

H

训

留

自

加 _ 干。 懇 = 4 崩 觀二賦十 (人) 大鵬三自当 珊 = 火驟 h 4. 本

「関いて性を存したるの 得る「米電子」 **!!!** 11 意識な Ŧ 寒いして毒なし」 ると言うごん のは用 80 、て井」 中渌不县 郑 る極事 源 島 Vi 到

FI

から様ろの 2 0 回 躞 2. 通 4

思葉小ない で、米で 挫 馬子(A)国骨を観いて 大 大ゴし、三十 0 奎
う
計
と
六 FI 21 8 0 嫩 事 7 h = 半代さまり W C 温泉 調腦 兩 惠市 # 何 米 乖 の中最下 [44] 6 で服 杂

-16

號

料 0 < .4

日 王

洲

いまれるかってこ 徐 錢 骨灰 馬頭 三盤いいな監督が現す。(響惠)「劉焼か巻〉狙るもの」 肾香各三兩、 「劉魯で知らはあの」馬頭骨が、 7 21 * 树 34 幽

~三 4

東ければ 頭 回 二是 ンハ ユハ 熱 激き、 成りま 21 派 21 0 「歯舗な治す 39 【日華】 【馬下の家の第3人の下部動するな熱す。 人をして到らどらしめる。 するも見し」、服験) 0 21 0 74 B 0 J 6 量な 别 しては一個 水 别 スコ 出ア夏 9 県 1 41 重 1 Į 4 21

歌

0

扛

郊

自

.FI

日 o激 o器 激寒ソノン小毒なら】韓州長日か、大熊なも。 上流び気が対水中の基盤が踏える で直し。 F PI つ井 28 SP 面 21 (金)年地 规 沙 る場 뷴 頭 與

(初数大) 女は古

4 大뾇 -神 21 到 E

>

山外下で水池水で临へ了強る。(4 午金 麻> 【角階を調なんと粉するかの】 黒石を匠の下所の印して照す。 、9张天上回口【原酬 会が 11 댄

はたが (1) 留 に同じには、 名る者はころけ出を用めて多数した。 格行づ対して野人。 9 11k 【大部念も】 近景日〉、報う思入人改調行、親訴、 15年11日 の対なの間をの一時温 、う日歌。立なくつ間やるするなけんいっとい 器所で、 とびめて死せんとするよいには のでとればはあである。 泊 Jik. ととは を公田 士:

がこして扱いした。

【大節含も】 掘日ラ、 引き主風の血液人の肉中切入身到一二日切 コンソコ 141 して動脈し、心が悪災して死亡する。ある人は風を除される構み、 : 411 Jik, Щ

これを打へ対人をしてかいている。 園口のたのな器割で別す」番点が 「中学士」 「国を聞いいは、 和 沙 쨺

111

Ę

減少し、 人を許すという してはならない 面明 0 -6 All? ス・コ

細 家に馬白【塩 蛇の中原】 小 郷、ここの 3 上になかな塩 の子恵口砂へ前の運 0 大回いね三をいしとが服しと取りこか 77 (1) 体別には 0 別で別 27 16

(11)大鷹三蘭寒電祭二十十八。

のえ 馬尾公隸名 た案件には、 の中に筆留 小見流 「小見の客判」 雪二二 4

1.14

X 第21 生式の閩中を治する十成館中以用のてあり、 盛一水死。297『28八兵祖與系恩以近の出系居置にく割る北」 園するものかれる社意を要する。 馬見お、輸 子園園を書 () でおきるが、 o智 o经 31 ffi 是 學 熱減 發 TE >

11 4 嗣 0 人為人 以

原の客判「細金) Ŧ 国

「小児の鸞蘭」 白いは白馬を用るる。 以 Į 赤ゴゴ流温を用ひ、 るな事 に登る人日華 洲 11 逐 のの。 000 ना 問ら襲うある。 されば血が 崩中流白](眼絲) て服 .1 主義 0 熟 动人 21

A

8 21 重

70 盂 「小見の I1 記載 「婦人の副畜び赤馬の虫(o)は令勉は野して身し」(金語) 会 けるが良し、海神 白馬船の割束を劉務部でほして創 知 赤馬 以 6 É 売が治治 贯

3/2 置 剛 夜常 20 小鼠の 馬船骨玄蘊 型電影 な部の輩び 0 調へて強る 「強致の報源」 黒鰡を減り熱いて生而で 縣金沙 ひ歌いて対生す。 女自古。(祖教) FI 21 0 江北江 图温 成自合す 翻末分記 届 0

> こ〇、大驛三虫卒下 リスキニノス種

金銭出血、私人の間中な山める 阿寶 小 前田田 、留下る強」 以 Ŧ

心 洲 沙 o O

金して出るものがか のととである。 京は公子同盟の M ことは意思 100 24 间用 2 00 であって びいか のそいろ の名を語んで 则 かか

2

之分

亚

.50

21 し、い。 といて 宝玉 内般 並び地に削ける。衛をおう 、ロハマ風を割す、ロハマ **副蠶末二銭な白黒気が鷼へア뮀し、** 題及西軍 はいる。日本は 運運 阜

逐步 患 部響 不以 とれを不られる 好き不い近けてはなら らい形と。「子後」 馬泉を塗れ 白馬風玄滑びは割し。「千金」「外頭心訴」 同り過ぎずして強えるででき 白思風を焼しア漬ける。(下金) 減 7 「婦人の序劃」 別で 間對して砂のア末コ 置 では出ているがはいている場けても落ちる。 「小鼠の赤蹠」や闘ユゴ当コなるゴゴ、 秋であるの(小温) 元十八部のと黒野を含む。三五 『歴紀陳書】法コト献けたのかある。 白馬風以前の称を三日 するやうい豊きるものおそれである。 服するか 陣 歩して が直ちに落ちる。 不完取る」 升を整つ ふらるの「新費」 「電子客舗」その 息心部と 黑 (随知)。 と利し、 置 21 目 4 CA

16

小器型型

噩

2

面合

21

2

接方

0

34.34

際から

いてお

雷ルした思

2

0

乘

21

2

洲

0

留

自

G

0

B

蟲話のある

SP

勝る

打

いるが調

出

田る科

o N

土干

2

蟲が

1 常五十卷 本草麟目淵湉

涵 平丁 劉 で一部 显 4 置 B 8 PI お教養師におれる 平江 自問 34 なろび瀬まる。(発調は 少 0 E CA (1) るる歌 28 器器 17k u Z 44 N +1 対した MF 87 泉が開 できるコフ Q 出さし 北 上心何及的質 数回り監ぎ B。 五元 附 法 區 り FI 9 21 识 5 * 28 評 ると語った。(京部手集) ア然ア二都して行き項 水水 2 身く職官」(電話)の名を握て了礼気酒に 41 例例 河 016 手 即即 .7 飘 返お前野 製品文 、コジュッ H 17 3 る品頭」(電電)。な毛運 い高ける。(水準) 、おいるない間 ユ学 到 河間 馬登を研って行を対ひ。 (O) 2 「発売の事務」 【惠惠等款】 面方計〉 到 21 XC る態 hil たが、この方を用 趴 小三型 阿阿斯 玄水で煮な行 Z THE (小型流 洲 文部ける。(下金) 【小見の頭論】 爛して何ける。 計を終って限りの(無難) 0 Til' 語でからんとすると 馬風三代を熱いア末りし、 はなっなる。(千金) (計画の 極めて鼓はある。(學惠古) 口可含人で添入すれば 風かるるのの 11 21 TI みせんとするには、 凼 果くて 留 П 0 = 難~奪か で数 い園を共び研り FI ってない。 ひき で劇 21 2 電影 の量 FI 6 SC TE 準 出る場合 业 24 酮 云右に簡 :4 6 智があって 阿剛 連の監督の える。(千金九) 「小見の立神」 重 "一个 るも 画 别 思難、科 不明るる スコ 凼 004 見る器し、 新 留" I1 f 24 滁 41 [3] 须 000 FI 5 景 塚州 動 + 21 0 1/4 R TE 弸 21

CIED本際金属に開端に引いる。

出派し 融か白黒泉を寒んか塞り。 水水水 馬難一次の代を対つて ある。(村後) 0 6 0 别 B 2. 本死 白馬証を熱いア水の柄り 显 54 淵 1 これは鼠鵲の金で 7淳 るい。 公置 中以高步。 中 熱色 與胆步的功制,大人、小說以降之下, ステルブ

別す。(相談正) 発飆アお、 賣21 馬糞を成び 強いたものを水で煮てその竹を用るてあまし。 TI 【日本的事下〇ण中】 赤黒難の竹を録って一二代を預み、 10 % CA M 並 熱 用 · 大文服本】、※調氏)【随血の山空 真の 31 水水 当出 。正十八歲 而なるや 1 P 赤白】 B 至 派の 2 C 际 TI 田 V 上まず 4 シフ 金で 2 。〈』、遨 栩 (銀九) 1 0

野ユ 派が 温しい 下するものである」(編器)【部行献は断つて劉闘を合して近かんとするも 6 All 為多物 0 な水で 死馬を制 量中21 (聖聖) 0 8 8 21 画 34 家後の諸血器の終章 200 熟 下財制部次 記載お小品の鑑力 9 0 校 やいい Y 21 ふな 2 A 頸 銀光光銀 妙部 PI 寒燥問二 動す。 X 別市 は電後の N 毒がでがせんとするものは強ると神経 参竹三合を

豊敢各二別する。 「下を終って 日子、江十日 はして黒郊野、 U 6 别 ユーフ 酒で あると徐ん木) 游 務間で 死を治す。 9 TI II 0 ना 文 21 治さ自永 いな治するいは、 不 26 0 119 遥 Pl. 以及 1 一 41 顾 PI 面の別 顺寫 fr 0 V Sp PI 湿 JA 2 28 2

珊 U 媝 2 留學 8 0 1 6 亚 174 2 X P い同じ。 21 :4 # CA T fil 7 U 1/ 0 IIII 拟 に入って記れていている 5 71 de K IfI 0 24 は末 02 7 食の 計記 FI といふお船~水 21 21 六 刹 111 9 0 新洋 :4 1 料 11 鲴 븞 21 FI

沿海~風 香す 薬び入れて ~ 圖 変東リン 腿 調に '> きるのをはしとする。これは 自の三色ものが、 晋 ででいる 顶 FI 圖 四下也分類之 `> 沙 o計 C紅 、〈晉智 智 抽 写文章 はする。 菲 は誤 加

.′~ 哲

华到

21

剿

温は

理

2

[酮]

T 4 **蘇那** 罪 1

海中 海中 魚 質が(こ)を試

34 0 温い在るも 14 74 Will state of the 9

いまで 3

亚

到

4

FI

"置

立となり前かのことで、

は動である。

驅

, 日

c (FE C執

盐

Equus asinus, Linne. いとそういま 出出 时亭村

草 * 型 譚

闡

人の網下习聞が知、周しと魅いなりなる』とある。

新南萬畢神び。東行白馬網下の土と三百の家の 来中の死とを合せて , 〉 日 · A 岭 o G

不真な熱人の激影腦系法 方術にこれを用るると 、〈日誉的 い思報下の土

「熱液を真中び出じな都 手 (特別) 9 31

【煎」け水で小鼠の職を形る】、蕭恭) 県 £ 料網 蛍

最格び記載してある。 白馬頭即

(外臺)

中の栗屋を儲いて削け、凩丁光子。 船留 FI 21

大い幻数はある。熱行を対ひかえし。

骨で麻扱って汲せんとするもの 「のまれて中に奉てい 「馬を刷」 一星 4 彻

実践客判で食事不踊のるの人種恭 〇千金い黒郵栗大といえはある。 小鼠の 「金鼠。 県 胡献を治す】(神徳) Į 強り中宮

「小見の

【一四の鄙我】白馬証がを一代での別するは身し。(午金) (千金) 心熱)

1 電 2 11 流 6 高のできます。 到 21 1/1 H 10二日 。 公 汉 、事が問題は「おおない」に関いて、 が通り 一、つ田 M I ンハ 0 [44 温シ 7 24 麻同 粉 R H 鹽等心, 7 21 th 目 · 。 景 概念の 訓 二二 淵 っつら 倒 迎 4 0 邱 di 149 Z 剖 [YY

シッ ス闘 6 0 0 All :17 は語言 綿で裏 3 雨して三十を お訴年の難残を治す】 孟語〉【所等令を味して現すれ知を核脚を治す。 近十丁法ンな人。(小難) はまる 21 味しアより観色、 島跡と味して 21 显 扱刺し、 風動了強る」(神会) 語嫌お子金ひよる。 7瀬~】(日華) つ証 生間の生物を 意識舞園せるを治す。 熱かある 方法で 厕面面 31 X 0 = W that 12 是是 九玄朋古。 رزر A 祈職、 園 到 充蔵で言語不能となり、 -通 间 島鶴 「那級」 画 区区 中 -FI 制 主 未發 21 以 0 、副旬 YA Sign 強な治す。 Į 1 北京家は 有 27 . .F1 114 믦 酥 2 26

(三) 原動へ風毒動へ

贵郎

FI

28

别

21

風雷玄武人人(中華)【蓋、蓋之共以煮六十岁日辞

· 22

市方に

は弧文

記載

るのを治する物語の

は子見る

藥

9

Ø

Graf.

远風,一

24

A

出生的ものを注る」金

可縁して

大風のご

これを魅で漬れて下るい間して肌すれば、

24

のははるなっておるといかのかる

Pl

「煮什么二三小別す

다.

Ŧ

肉

肥

ける報じ、 , | | | 、その實驗がある。 o崇 。颜 J. R 汁で 鴪 21 田田 71 र्गा JE. 须 宏 额 R 画 通 1% 71 12

このかので統中強しく

同比である」(重要)

南谷

〇颗

哥哥

中心

電を引~

これるないさ

日華子はこれを一切の風狂を止めるといったは、

と風を随下るるのが、間

訓内で気へ

学 茶 寅 道で してがを強し、風球を生める。 南い難したものは一四の風を治す」 まが治す。 \$1 と共い食へ为人をして確急サしめる。 麻死したものい 21 ギマ 和 5 意年の Ŧ 能〉心脉を変化る 7 原を急 湖を申って食えて金銭)【血を補し、 9 P 憂愁して樂をなかのり主後は 50 CID 600 命す 界 瓣 0 Ŧ S CA PI

宜 「しなまてして流し」 50% 政 CA 74 Pl. 題内を食って降茶茶を角め 洲 11 ° या प्र - | | 田 0景。淵 74 (0) 8 0 0 9 調制 1/ 业 ユコ 7 通 颈 日下 `> 肉

東子を割り置っといってなる風略を強了 正が 2 田市 いったもそのはを出 ことのある時 2 南馬は瀬のもの 察が。 近るひ 7 45~54 海瀬湾 つら湯 調料 0 利 · 日 製 0 秋 19 の器 0 -17 ○凝 0 拟 A

A

£ 21

筋を北

、つく題をほ

17%

Ŧ

CP V. 雷 務界各二代立一代五合以前之下服本。年金)【重古で跡を出す H + 5 北北 0 再別する。(衛味 8 7 1.0 のマコ祭ユフ 21 70:11 1 1 いいなるほう 法 21日 放き宿めてから古の 米で兩路の中間の三州灸 7 果鵬序三合を製制 .1 1021 ではを用る一 11. 7 事での(事 田水 「心療泳廳」 口船通门 北 島鷸別 2 2 1 JA. 哥 歌 34 2. 7 000 新三。 76 06 on I 心影響 不 5團 (以 一星 黑车 21 21 小見の口熱 XX 0 # FI 7 口 21 4 4 2 2 Y 0 9 149 PA M MI 0 82 28

平 画 21 となるから 仙 不多 X 71 P 大機が 21 記録は下金の踏けび THE 11/ X 表 XII 2 7 +1 沙沙 「小児の職 を耐せばれる 渊 附 はせしおら 1、割本) る準 八里里一日中 滩 四四 御砂 28 2 4 ()红 戏规 斯河 F1 21 如一公打 いる場を割り ユフ NO 2 54 41. 激制 多~服 Ξ 淵 21 9 T! 111 Y 21 .F1 北京 「小見の燒急黄いね、 10 21 SP 消 2 加 YE 亚 7 思 (1) 画 評 27 4 旗 ূ 316 9 MI 1/2 不 28 圖 37 なれ るる「孫思麗」 2 の悪で支 軸が一種が 21 重を受して 掰 以 0 (紫紫) て巻す 开及 Ŧ 黄 我][[[6 图 24 0 EA 湿

(M) 原本 宝冶 +

M

派 法

表示を下 规 派 0 つ到 者おこの事實习言及しなものはな 製みが最大を関う 「大、小捌を味し、 泉 異常なる既発が。 Ŧ 「し、流いして毒なし」 の一つはやはかって も】「神谷」

雨し、鷽やておを去って煮熟すれば白色いなる。 る。 麻油 21 域。 等。 多 叫

PI 邓州 H 四氏な様恵半曽を赤~麹いて間を類け、それび数 2 成時のものお一回川のれ は多く **怪奶一合き水二合以十日間勢ノア城へ公衛水少量以はして歌きた** DO CARST この歴と意念と語るも田 州の成〉三回結八的証をる。(いいれき書所で) 腦 5 0 黄色のものお歌り立か 順周して薬の行るを対 兩二回, 题 2 41 向 重きものお 21 中 日 。とよう 丁なのをの毎日 中以入水 9 秋にする。 【韓其〇古多】 打破 水幣がお、 る場 工 これはない できぬいい無を断 脈 の前脚の 量を耳中以節人し、 一つ 画 ° 闡 温識など 94 51 00 4 21 \$ 웲 石末一 \$1 2 C 1/1 FI 数 R 91

温まる。(千金代)

第五十卷 本草縣目鴉浩

1

(多牌)【蘿直】

県

É

【一な撃とつい際、つ事】

规

当

驅

頭

십분 原因で別 [天抖蒜戲] 背大辦土引 ーユム猫ス [MM] 1 XX 2011年十十岁末 都少味し了塗り、海>く色ね熱で。(響悪) 【対所次 問称 II. 主コア大いち幾到とある、赤めア水を出すなのである。鯛稲二引、 いのなるもろとうまいのなるない 「はらるは」なるはこれるいは、 霜香半錢と末びし了朝わる。(答致氏) 対断監到
う場 量を末りし、 轉冰各一錢、 000 關香心具 249 密心情 起来 4

金さるを思とすると神会 順け、 £ 懸跚 21 脚立脚

宗三。

二星

4

即

スキペイン画場(ジ)

面ではして小鼠の 0 F 「減り熱い了職」が到れけり調水を強 県

21

市ではして小見の職所が強ると記念 12製色 M 以

Ŧ

昌

與

年の省勘を治するの縁放はある」(祖舎)

8

.PI

28

別

水小水部

の品調中」

(別五代の強治風を浴する) 本語の

果

Ŧ

븝

界代でほして覇

職器 3人 パア 動 3 域 り 下 末 3 し

関香を豆割と入れて降竹で味し、

い。(千金)

【小見の客料】鱧の刺土の誠子を強ら知ら、一節子到らを降付す 母能大割ろび 道了了看ひ。(夜臺) 【新琳中風】 21日本る前の交を寄中の手を取る、 第二。 4 彻

職を記い「孟湯) 東倉米, n 治プノー) 11/4

投ご 0 51 21 4 I 0 日 强 THE REAL PROPERTY. めた 銀周して下を取り、 20 風雨がおり一下を黄い砂 空心が少しでの滑んで縮れしる。 O の中 「骨頭十 £1 果 間。 Į 日 宝 三ノ

學文主 一次はて。と 島鼬虫を用る、 「中対風職」主鼬丸一起を体節で猶むてなる流の割を、耐び睛へ下掛 TI 骨刻し、演響するス [機遇國中] いて普通のお弦が解合し、 都光となれる。(本動舎氏) 0 锹 11 彻

刹 人多歌人法身乙了(日華) 出致了郭敦の 2 P ユー 雄 걢 21

血麻,麻 は園 画 SI igi 和 派 實 「国いして食へば、 服するは更幻真し、金精) 07 000 雨して調 校 主 21 21 显 1 绵 0 6 中 果 韻

ないないるかして いてある、大十とを耐ぐ服す」、後 VII 咖 骨間補で 風毒 い頭して食へれ、一切の 、はいの意を配しまれ 果 Æ 以 Ŧ

調本 豆 調馬人間

> 調汰 da 文

出

酮

21 び、「加挙法」 面補する 21 75 4 画 子指子 正月 いいのは、 24 際間線 **ドエ合を録って機組す** 気とて性を行し、 ある。(野芸林智鑑) 調料の計画 る当職番 ナ十次を空心の黄門か肌するは肺域か 「本心派部」 iù iù N 0 。加級 & CA 五 1 TF 一層水の सिय Œ

金の一の事 ―人の複点コスの就を倒む了文字を書っなゆきい既れるものお歌水である。 一(割水) 水動を治するひお正合いの玄明する水丸 新生命が 200 鄉資 小記を用るる。文字の今そび呼びなかのお落水かある。短記の子川を開発を 対のながおの観客部で 加ではして悪報、 |熱気を真り次付的師を止めるり当分後はある。 刷智玄號下。 平薗部기主族はある。 「熊のア風動、 文品の出来の多の、 以 Į 幽

を未り はおけばい 沙 少量でつき耳以際人する。(響惠) art III 7神 点離知を随り換して青れる。「中金 39 E Y 【韓北】 誠いがよ、(聖智線) 「孤易原贄」 际与しア 深 十等分を il 븳 树 派

通

彩

5

この耐力やや計議がから、服するவ監察のからはあるのは

歌の野きるのる七日コして後は既れるものが。

287 TY

を撃げ

效認

20

H

000

" ASBOT

陸角す。

24

を羅すれて

in

飅

(+) 白铅風へ白瓣風 ・コイチにし

Z ひといる有様が ना ユフ 21 献を奉じて 0 諸物を食る海 0 早速二合を現して強い食事を聞って見ると、弥前の半代到と知いなけけで 浙 24 日その数 别机 園ある衛士は「鱧の小頭を肌いと跡めと蛟鏡はある」といい 不 2 諸名醫元 TE 21 同樣 瞬命を剥 等 54 は一般ない 再九二合を現し下腕を負って見ると、ラハア宝をつ 20 | 藁ムの寛み。昌区 21 なお今日で 4 業 习正六人习胃多惠人人法 2 A 奉崎兄弟, の頭の 7 利 中の職急方び『敬年 皷 清 X= # 嫩 事 意りお敷不館で 童 真 24 大策を奏上すると、 つ田 張文 下れるころ -Fu , ~ 日 ٩ 21 27 :4 制制 24 場。 21 7 24 間と、 調治 典 4 重 0

五 别 四かい離気を加くア與へ 24 捜十祖コしア融き、 ある動人体動を耐ん対と色、 せ、それで蟲の生するを切いたところ、せ , ~ 日 高。 曲 發

AL S 及那 0 2 アるるくれてで お千金の緒方いあ C 記載 感音を治す。 ハア合物するは見し、「和谷」 運 瓣 烫腻 0 狂犬 2 Aceseses 21 顶 71 21 羅子斯 (類器) 画

「触独刻部を参すは真」」 県 Į 「辛し、寒いして小毒あら 规 沙

££!

未發の早時以二次を治水 和極半会を預り了部下大の成づし、 胡浚) いのである。いののでは、これのでは、 T. の公石川 維黄 H Sy 三四業 朋友 2

0 B 北北 霧は州の河 、今日逍藍【り塚葉小乙〇に歴、〇素~幸】 面する。 技動な食へは難し なく聞いるかの 籼 沙 [4] 肉

24 北馬と調と交出して小するも TI. その後指いは鎖骨はあって関けないところから子を着をないものな。その顔に五種 北端と小と変加して小子るものを出 0 是 3) 2 21 のでいるにはそのよるが生てして変と思う中村 力は関 39.50 北小と記と変って中でるものをと前 07 よる、ととして思えるをという。 おきと思と変はして生するものは関である。 いないろー 通して関と呼んである。 ないろ(ルハルンといひ) 音は光脳(トッスト)一 調は 高端のアルチャン――といい、 , ~ 日 ゆの記 21 想器 분 は将 抽 、このな 平平 集 配 :4 0

思い強な高い強人の需難で 古文では職と書いた。 課は、 , ~ 日 の行

9

9

ると、打「村鰮」調」変引シャ主といすへ) Mulo 邱英科 一题 Q.

趦

200 いってなる悪魔の地でい 山めると同り意知から

齟酔ア哭さ 生けて夜を上るることを言ったものだ。 ユハ栗る翳り 南部に新 では 1 NF.

X f1 懇けア形勢を結 は電影を 地方で は陽西 2 0247 『公分下を場 当ユ f1 丰 21

鹹え書も塑 妻子叙名 制 2 41 影 21 fad 忌べる。 21 岩 0 華 害 F)O C制 鱼

級

独の異え三人の勧びその おやうにする 知るから FI 21 「小見ないでなるとという上をおり Y े भ 極しば 溪水 错 間常 で計び困さず、 県 Į 1 槽 邮 見が

【触熱割り割りる】(瀬器) 県

Į 認下記

る」(株)

耶 製引しなとき一箇を食人は 数利しなとき一箇を食人は 数が 7 耳毛 が一般 た汁で いお、水で流り 未發前び一箇を食び、 動の気膜ならかの V 飛 水和との二箇の熱摘いし、 県 Ŧ 芸神師 割

でいかがあり金の「海海」のアンは海が、 AI 9 唱 界 Ŧ

部

直

市で聞へ了塗る。立ろ以数はある。(粤裏古) 9 地 調尿を熱いて

遄 「小見の間鎖」 知を秋の了貧土を江十回凝トル的跡め了蛟はある。(連輪は) 쀌 FI

ン大曜三届イ神へ間三不幸でし。

71 21 2 34 给给 0 (IDF) 0 B E 1 重 6 0 > 2 なる計画 訓 71 02 74 9 4 07 71 > de 71 1/ 0 别是 8 21 4 立 T 2 2 0 21 5 4/7 July . 7: de X 0 FI 哪 7 21 延 は同 五五 2 0 湿 缙 21 男のそ 羽 21 7 34 1,11 54 0 9 9 8 石 71 J 54 到 噩 R W. ゆ 塘 0 7 ~ 游 陋 9 21 清 派 1/

8 IFI 2 0 0 劉 4 24 :4 升片 JE. 力 素 1/ 子 [4] 5 ch (1) Mr 0 fiii' 2 71 IM: 11 21 大 > FI 9 M (P CEI 咖 ्या 2 21 0

智

のなるといれ

21

5

de

0

316

0 江潭

.7

1/

FI

31

温温

28

到 21 £1 密界が 0 7 1/11 TI 36 11 > CIN

1

21

1/1

水地

その間は

2

市市

17/1/21 17/1/21

" वित

训

。並

E FI

温度

日質

F

'>

日

03

(置

題

浦

[四十四] (31)

Tour C 用としては 薬 34 0 B 2

2/ 0 24 0 是利用 34 盟 2 显 4 班 2 0 54 £1

> Œ LY 1 團 1=0 Ŧ

4114 1 + マ師テルニロ流水子名 組(加五 流響即少い即マ イスト葉。 1 キ ハシナボ へい V M 4 缩

事 早早 54 潭 1 第阿部。 G : 7

Camelus bactrianus, Linne. 12 **脉學科** 寶)

(宋開一 (多典)てる人見ばれる 默定

減い割い了親者心量を人が、一盤を断い別す】(警部た) **数馬中風で重新するいお、彼ら独して悪んで疑し、** 牽びお 「下駐蓄部」 瓣 以 以 Į Ŧ

贵

出い品級して醫療上の愛茶の掛する。 24

點

离

U おいて 2 これもやはら鷺を剪って西田を漱ったといる話と同じやうなこと **武政却小艦などが暗跡を** 病はそれ 「白飄の刑公手引人な知生きる」 いて「音を殊して人をおすなられ、 24 飄を蛛し刊を加のア音楽が與へ なるのでは 醫師次 日う、古法づお飄お用あられなかの たのを簡子が聞 品級の育薬冷談のとき、 てその大はあるとうが。独するひ、 、ユングマ「ダグ 0 7 結構なことではな -ふなた」とある。 35 出 00 7 とかなっぱ 54 OF CP 。制

流肾 28 出る島奥 擊 **III** 熱 世 R 日 2 幽 27 21 0 C 2 9 味らし、 源の響 贯 學 TH. 印表 鸞敦](和冬) Y XE 家さ金 TX. 2 M 「つな準ムつい思 、丁上多沙江阿累」 M 程認能を験帯して一元が投稿凹兩を入れて 绿 纵 74 * 遥 Ŧ 24 12 このあるる話がい on 、つ料で中」 M 4 XI 「風熱、 準 あるが香しくな 2000年 東記 恶電 0 、つ井」 以 風蜜、 はるが 設圖 以 以 して一日三回肌す。(理暫聯経 Ŧ 画 惡動了主数なある人大明 获 Į Į 通道。 表示意 高等 は小黄の切り 规 画 「るる毒湯てつい 「つな幸」つい歌 0 「つな幸」ついい 人をして贈ゑとらしめる人正要) E/H 10 沙 で系って動す。 15 60 J. X. 以 歌の黄 泳でる」(開費) この書きるうとする Į 重 庫」 立 增 ではして 000 この間を園でこ X 图 、て出 盟を予督航 、つ黒 つ井 後の日へ もして更り が書き FI 金を素び 湖水 12 薬 帝 & 。和 となる大統領し、 和 湘 利 U 别 一分次温 **** 部~五、 して食 2~ C 0 4 Hi 11/ 冰 源 島 2 鵬 TH 21 7 树 發 ポス 185 21 6 2 7 图 治 黃 1 鄉 界 显 别 澗 平 = 1 의. 밝 耕も hd 4 所 附 ここ大曜三四 it 大、麵、一次, 一種或 ここな人で ト延縄公り 4。4

2 用として 阊 -111-並 24 0 3 B 1 2 7 1/ 拟 精 + B 素 晋 R TI 28 胐 2 素 0 S S 0 湿 X. 21 中 > 0 索 。随 倒 0% 2 0 6 9 Q もつつ 2 凯 素 で良 湖 9 0 B 611 0 温 噐 34 理 71

CHI ·Z 8> 7 测 21 1 9 徒 巋 54 71 27 21 河 5 28 2 21 智 温 7 环 日 2 7 炒 8 1 7 测 2 :4 71 阳 R 习新 \$ 21 杂 桂 XC 图 E .1 温 0 ト意路 始 2 7 到館 :4 TY 6 HH 0 以测 部 2 流 114 21 9 2 [AA] 0 47 訓 0 TE 24 Z 7 ソママ 21 部 1 R 7 > 8 画 H 华 T 0 囫 ÿ 8 鲁 (学) 4 7 小品 21 NIEN 2 計 (F) 2000 54 A 14 5 2 X 0 夏水。 0 画 2 de U 14 弹 41 等無 7 21 2 21 14 0 里を行う。 377 > Ŧ 掌 21 旺 (0 71 重 副 0 逐 14 画 劉 述 毴 垦 fáf 24 21 3 遊 到 T 4 童 21 頭 2 未 0 Silf, 那 曲 千 71 0 0 6 9 21 水 2 2 2 見三二公 PI [4] \$ 巯 21 6 天 THE 2 R 6 54 쥂 更 0 灵 54 2 \$ 凯 8 10 0 0 16 ٩ 34 B 9 54 覅 果 0 1 0 9 21 日 7 97 1/4 P ¥ 0 SP 0 14 U B 2 HH 54 ζ C 71 面 2 0 を食えア 7 7 2 2 21 9 鳌 de 2 2 \$ 部 7 X 6 中 5 0 1 0 2 立 7 書 剩 :4 The 書 54 1 流 R 图 到 % 7 凡子CIDS流 1/4 34 图 21 0 2 1. 膏 围 脚 TI 園 趣 21 0 子なり 会計 1 ·N 画 8 21 P 3 ٩ 7 -工器工 71 24 口 21 31 0 72 J Ŧ 9 44 21 0 24 マママ 2 泪 辈 調 8 育 F F 涨 2 間 E E P 0 2 21 周 订 。 > 0 0 De 3 7 0 刹 6 9 1 M 2 R Q. 2 避 UK 0 6 利 :4 0 9 晄 71 淮 24 R 瓤 重 9 不 7 0 頁 黨 1 园 不 雷 \$ 刑 0 Z 1 E

為。國際中醫。罰。食品 路、天大へ、型川の園はや越路すべ 地人家太人不顧子。 思報品門へ)と 道 E (弘古 (解割やそり [1] H < 于小大哨以火 **点据** 五时 EW H 到 1年2 -1-旧 + E 急添月寒東阿罰ハキガ(馬朮ババ

旅游 画 0 胜 김분 不知 [1] 调行 、つ思を凝し 游 副 しるとはいまり 0 華 1 1 H [1][8 21 716 P 际 ना 級 アグリ R 解が、し、 班 顶 づら 7 GR II 脚と肝 蒸悶、 るか 21 調 歌を組~】(恵本) 「原場 いまる可縁 機毒 以 Ŧ 剩 111

· 2 P CA 500 水平、調、窓の踏出命で、 71 0 命を思ひ、陳玄思るものお食 、一日珍晴【しな幸し」に変、「婦~井】 るなら類とは一般となってなった。 羊の客の簡も置かある。語曰〉、 池 禁中, 沙

CIC 焓割五要二独二

訓

は野流や 派で 瓣 世 ユフ 9 2 型し小 28 27 14 111 XII を献る Y. 2 +1 劉山 1 1 LEJ! 不 2 の勝 曹 9期21 沙文 が小 为 野がおう はこつとは回路に .7 談り聞きまず、 弧 器ないさ、 コお中間を以て細れたも 7 71 及别 21 不 Y R 9 黑 FI けつ雑 學 びきていか 汉 丰田 21 91 0 流 21点 拉路 とき金に入れて 1 はないはいるはい 館剛 、つ級十 K 。となる」とない」 派のの 強するに、 は、こ 變 2 54 H 0 0 .F1 0 弾ン おるなは +1 なくな 24 E 3 U A M 五 Y 石 :4 して度。 4 XII 1 0 3 出 マン 9 0 9

の総

歷

21

41

5/11

1/2

34

0

71

っかまっ

0

2

いい

Sil'

末

4 2 3

-17

3/4

はいかいかいからかから

韶

, ~ 日

CA

。當

H 薬

:4

34

の計

り当

B

28

C

AID 牽北- 人四川音 鉱川神北一帯へ触キ 諸ス。

熟

31

。2名継及経に登場し、

「私人の市白帯下び母を到し」、漁恭)

1

近た お 半 黄 3 五 3 3 3 3 5

【劉上の帝章】認練を述り割いア水で登し、似のな責代等会を入

品識は型行近の豪要ひある。

「脚刀熱わり類・

(製多人)加水工のと人の発売減)

、り出して強し

県

Į

凿

20 を終む、動師志)

に放んなる。(撃丸殊鏡衣)

0 乾酪六更7頭 格はは食と凝とあって 点のは、

であって酷いとれるいはへない。

馬の野おいでれる階に作る

水中降で計

。会計

飄写も独中谷

馬野で作った猫は性は治であり、

禁中73組る。

靊!

7

音は董(トゥ)である。

Milk-fut of beast. (間は)てらに

7 \$

邱 漢

音が高き。(事本草)

</l></l></l></l></l><

水中 末 + 淮

水 のお歌草で 潮 32 6

(一) 妈問人個(起婚() 、爆撥 英谷ヤースの暴力

かとを耐で肌を 【神谷】 中黄の暫例ひするが、 いして禁る。 滁 以 Į 11 たてか 半しょ 彻 主 2

盆も」(思麗) 「ふ に記録され 「五蹶な神 (中華) R 6 以 El î li [[鼠 ,Ú. Ę 不 番宝 整を銀色 こして番なしい R ना 不 * TIJI 0 4 Fil 源。 剛 SP TI で出 を治す」(明経) R 濑 जिस् जिस् 洲 部门 ない別 沙 7 37. 羊酥 過る 际 早 R 錙 (2)新 + हैंगा 1/ 5% X 檢

等跡 CP 不 7 븳 0 温 111 彩 太 是 温和して H 不 2 0 TI 2 なって B 21 2 H1 兴 弘 6 TIE 計場 排 がある。 今は 31 开开 、つか FI 21 41 34 表面 火で浴 温しなとい 日記名 1111 0 9 82 0 1714 Trink 24 23 1/ FI 劃 6 241 訓 いる 27名水入21 21 以 2 0 暴 がずる 0 24 査を決 多班21 of you Y 瓜子藥二 3% 0 到21 * 21 、つ田の 重車 III がいころう 1/1 张 。 247 で調び THE 及 (0) 驷 1 シフ 平 FI れば雨 再が加 不适 21 鄉 0 92 MH Ξ 絲 2 あるおでは、 子又 14 公安の公司 Q MI 説に、 桶 焦贯 '> まな 2 9 日 2 28 ONE A 订 0 2 2 M 中部 * 滕 21 :4 2 兴 2

熱を歌 いなられる 24 器 腿 雨は寒を 21 孙阿 11:11: 所述のさいでに回 -17 20 9 温い 乳品 と羊種とお 末 兴 FI 水平雨 小 , ~ 日 . 終り 日 OE!

CX

28

3

なさ

7

通

21

のなるの

歌

不

派

0

ME

9

54

2

1/

28

瓣

R

原は

酒

末

7

鄙

21

0

8

2

34

0

8

.1

訓練

北

:4

5

1/

歌

叶

21

0

8

54

24

は影響

酒

1

0

2

华

本草瞬目想流

年の別 【高元黑子玄出古場合】 血製の宣 週3人へ 極中のさ 本変は中、 「神跡の耳び入りかるとも」華がホアお、中額を膨入すれ知出る。 鎮河豐は「野猫お血跡の属であって、 中預力羊種び割り、 白羊のものおこれの大い やおら盆形なら來る。 肾虫劑) 語合づお、二代を摘め、対外れて黄水となる。(憲時た) 北大の番組でお黒恩帝郎と名わる その性は酷と異人のがおい ささらま~(四く期、 Membranes of milk, こつて下るのなのはの中毒 預却や國力漸し、 步步 教であり、 の内かか発中和知生な家中の観る。 邱英 のないいろ「私のものなってる 造額を水り出して難り。(演器) 识級上品) 都お踏つ引き、 でいる。 , | | | 京市 はの部 。三星 極田 ° 稻 0 B '> 10 1 7 測 0 54 で作り 0 o恭 日 發 tial 並 金麗) 34

-El, 6 更及飘品 不 1 1 逐渐 7 糊 24 画別 W. 製 识 計 Œ 小水川 「つな準ユつ 空 21 胡柳 21 45 、泉、て井」 2 O 12 2 4 21 利 薬 鄞 沙 9

21 以の衛門 対に耐了得り組るとれな数をは、 けい戦子殿、 FI Ugh 02 ,) 日 0 14 出れば OHU 0瀬

聚

場器で 温過し、 2 勝山 凡之川あるはは、 熱である。 .1 51 層の はやお FI 0 V B 24 凯 200 宇 田 溫 動 '> 24 日 (猫 0

8

H

ユフ

級

MA

通じて

0

9

8

1/ 0 34 即 X 北京学 11-8 21 2 干 SP 孙 2016週かず777000 0 三 酒 0 1/ 2 28 与他人爱识 0 OP 2 かこが 24 面録るもの のなる田田 温をひか題らず、 PI -1 28 遊 F · 04 94 =1 2 2 34 記事 酮 疆 0 型 ス。廻 54 , 〉日 0 B , ~ 日 24 泉の O宗 C颜 21 C韓 Ç de

> +6 刑 稍 hil 21 「口で 三1 列 拉所一下 1 1 胸九次。演 ひさての料 \$ CP 出る、それを取ったものである。 ではいい 預の情数で の公里 . > よう通じと見らい値で 娘のア器中ゴ別 2 0 であ 日本公田 作; 5,00 が満 宣 は中てく思える 4 1 2 201 科門 間かあるかの 71 子 疆 0 北京部 いつつ _ CY かで は当 疆 0

21

T. 訓 訓 が高い 加面 型型 大驟、 (三)大鹽 (三) 大鵬 一班一

1 常五十卷 **本**草縣月鴉沿

酒ない いまれる はい となる 衛は利の下基次甘門なものはそれである 酷お添きなら、 くるなる。これはいることは、 100日 1100日 1 色元黄白ア 、ユンタマ 極 前

Kefir or koumiss. にかしの(別別) 写 17 麻爽

(事本章) 阳 疆

目 ユル 更の間頭を垂 51 [和目] 稲少量を法古り割のア真中の解外、 お気と共り出る。(聖歌解論) 4 00 7 歌。 00 二二 P 塗る − (撃恵大) 7 A 4 中 派 챈 21 2 中

「蟲沙」添い血を味し 「科学」和子道るは他である。(聖惠)

い發出するものだ」とある。 阊 0 7£

いていい お船~頭内の翼は玄紛~。 る高 2 本は野遊であっ 生職び「和 水 酒の 7 は今日~、 21 報する 0 HII こであ 發

毒泉を追えて毛

X

營を調く、血と同

(線器) 響すり 京会できる」(2018) 「諸子」(2018) 「諸子」(2018) 動を除し、 船色、

「器風影車を去り、 믟 É 【しな書として不して出】 规 源 不西 整十二

器器を治す。 の中る無影 血調を味し、 21 な監察と 服する方以し、一部等) 、ついい Z 臟師 西に出して 金し、

妻中野 は配である して毒なし、鶏日う、水中乳は激、 學家(1) . つ井」 规

派

趣 14 水冷田でや 7 评 f1 下が附で置して金 21 0 2 21 S 貅 いるのおい 要者のやられすると、 狮 9 SP 言語で 9 題を入びて 整刻 5 以 0 阿森马斯 :10] 题12個 . 75 今はたが中野で置い 77 2 SP 瀬し出して数 以出して歌気は熱はし、 hil ンつ 弘小 24 Y. 水山 出で Hill の別ではくいては、一個を開 「界神を置る法は、 9 品か寒んで下で刺し、 たとされ 領したして精繁を掘して磁気をせ、 1/ 中界を強ける 、はらいるかのであるれてい 而で動機してなる。とある。 福江七字 道家して 心歌水 0 MF なる人が、 まな釜び入がて置し、 記り 界線を造る去は、 旗乙ア圧膨しア水で猟ど、 つ田つ 活器 なるのとする。 は近 戦るとう ,) 日 園を置る法は、 つ薄 京では 、つい解こつ呼ると はの紅色 1553 職家して利 000 5 0 抽 弘 弘五 P 淑 C \$ 21 5 い細る Y 器 孙 4 黨 ユーフ 21 K 0 21 2 X

究節

盐

7

0 美 (永瀛湖 闒 活

到

活

(重少)の(重力

三中 **长福正**第十 中习難りは身し。你養」【小鼠の鼻塞】)風労をして降る滑め好いわ、 塩をるを題と 井江真中 回 日 H ģ A 000 題棚四両を用る 精液を正 肌し、 対る下の可 0 少中 でいる た商力 **逐物豐** 、回三日一ないる の様度三【画湖の中島】 (大量水)(みのある 五層の電車をひれる 「一切の御練」 34 和中 城市内で「小難」【中風三別棒】 ると配調が出るるの 木香、 つるととでであっていって **驷腦二合**、 回,真 :4 延減 数 間 申币 FI 中野で 三及 Til 劉瓦 02 6 丑

(公) 大鵬三小龍三計

+

訓

性が嫌してみな 0 2 当分書しき財異おな 闘な、 疆 そのあるなはのろ 麵 酒 , ~ 日 節する。 1 21 Y 級 0

2 できない。 一級

血熱計製

Pl.

監督で一場でつる肌すれ

盟髄二雨を用る、

「連踏事

画

※二。

、三星

4

彻

果る 「響棒」 「月逾都 人しう現すけ知天年を延べる。百種すけかいよいは針し、「飛馬鸛」 博ける」(日華) 脳の頂んび 2 £ 21 し」(宗蔵) 曲る目 最ら宜 い主教がある。 聞養するコ 頭疼 流な 、工類及 歌 が熱が 7

頁頁 2 0 2 到 . 0 -17 .1 3/6 7 16 F1 14 シフ 34 > fug Z, 34 F1 H 道外公常 1150 は記記 更 FI ffil M 到 0 24 1 2 4 CP 0 2 34 2 2 CP 1/6 4/7 1100 CASO 16: 511 111 71 0 2 71: 38 > J.A. 34 11 4 涨 71 慧 [115] 1111 小江水 00 [3] での事 0 訓 1 瓣 9 > 2 71 訓 111 0 8 de .1 2 T 71 2 R 沙地 本 :4 [us] 11 TI 1/2 24 21 直 0 翌米 8 然で * 54 > 0 2 日 見 业 0 CIN FI 2 \$ #

たな物に関うけるなけのものた。

斗刀!

71

(1)

B

.1

31

...

7

慰

CE

111

:4

38

00

CP

H

2

U

Y 21

蘂

2

41

7

7

高い。

£

28

は入

21

遊

TI

0

8

.1

H

2

0

(E)

FI

0

B

1

黎

2

y

1

0

学

孙林

21

3

1

1/

9

II.

なからる

2

0

不不

- 0186 P

部分

Sill.

即でいるいで

111

不

fy

TH

(1)

11

27

次のなの数

2

H

る計

計

TI

今11二本路から

'>

OTE

CII) 禪州へ草路山草 謙未衛大禰し揺き見 軍。

(こ)東路へ阿南部、路一下1人(海)部、路一下1人(海)の路が1月の地域であります。

以 《

限の東阿線は査する。中国を禁て利るものた。 阿圏お京平 ののの日の後の日と 辆

並

洲 # 問 子の井水を取つ了紫公園で踏水を費予 蓋し輸水 [m] 大名名か 順か古の東 S SA 24 21 及が遊上の渡る治するの のなのでが出る。 [HS] 1000 東 0 21年 園を煮ァ天初り貢除 事 電があるの部置がある小部 副コイロア歌を強し、 21 重 西北村今〇山東玄州和副縣縣〇東北六十四十十五十十一 松 12 % 图 12 % 图 13 % 图 0 2 C2 伝蔵器10 共お南水は哲うところで、 2 6 は高くして重く、その地は下い越る。 始び人治これが別すると、 禁制とな 新さ六十 支えら、 そろびは首舎おあのア 07 大いを確ね込か、 時の日~ 24 。の場での # 0 29 °

回 蟹 (本郷土品) 麻 キ コなお 薬 キ Gelatin of Beast. 34

東阿丁畜するふる阿劉となわなの

に見る。

(東本間(本端)

7

兩玄跳水一種で煎コア肌すの(草動水) 一题基 TO SUBTI 【点顾の JEK 0 4 彻

頸薬水で煮ア 激しと深を随する 豆割との大いちいゆって酵を料予・ 十二三路訓玄金し、 肌をなおいよいよりしと意味 小頭を訴し、 自爾を治するひは、 现 いていい 肌する。小 で調が 通 シフ 以 1 (黑黑) 1 £

多狀 分丁で V 6 亚 别 2 通通 >7 脚一碗 11/ の影響 酥 V 京を益し、 否 ユフマ 船を安する。 趣を頭合するは水や引し。 经家不可 高いでは、 「部骨を置っし、 お難(ナン) 平 0 小圆部, 是 孙从 0 學 変す、これのる以上を 東重、 刊旅公養人人(明維) 原を益す】(本職) 【男子の 业 切勉(三)新するか 極端に祭して 嗣 10 しつ立い部はどらもの。 「心」動内に 関
副
副
副
い
、 、つく頭を行れて (人) 国政 9 以](聯對) なる。 Ŧ 2

FI 函 平 小型 () 0 五十 24 哥 歌品なり。 東京歌歌 大黄字甲 いていない問 業務は刺となる。 容にして形る、 でにして毒なし、一の場は日く ° 〇火を掛下真 北共 7職 >、 は窓であって、緑、 0 2 Y 21 つ出 쨄 0 到 独 规 规 智 逃 11 士 0

04 6 9 並お下かれして音いし、

並は水で出して音い 返却火了茶 9 並お聴う以 0 それぞれその與へられた古い強人、きものである 7 21 変は砂の丁珠 9 4 あって 変は草力 9 。 公 以 出 `> 14 会が、 Ė い。② 世 71

须

れる火で来る ユつ 逐 21 C 1 器 71 凡さ用るるに 2 0 张 (E) TI TI 21 , ~ 日 凡子用ある 是。 。く日裔 県 到

> 本三郎二郎二郎二郎二郎二郎二郎二郎二郎二郎 医鱼 べ事

光二 大鵬二 张 のは割り (1)

2

0

34

41

公平21

けるに被

たが物を関う

即

P

地でが北京

、「様を国くよるれる、い國器」

東蘇器立

0

4~

ススパるい勘

薬

21

独

P

\$

2

图

[tts]

0

TI

71

0

54

ひいろ

主治びなている最たるもので」

は風の

圖

於 調

.

54

26

鮴

2

24

2 B

預

9

閷

21

圖

點

2

6

飅 2 8 く、願いたとき行を癒し、 糖して古 71 0 返れ光黒ア響系の今さな Pの玄真神らす 漢を嫌予るので、その深は 器臭で藥り 人れるい掛 4/7 水中 愛しい らって 高高 数 氯 の歳せる + 9 2 労当いお記気を貴んである。 部の割 1 た水の臓く苦いるのを妙とす であっ 2 次宫, 2 四日参し、 6 0 14 P 994 0 女のものおこれび えず水を添 題るを持 月から二三月をアア 21 いったを生気を取って水び 摊 徽 2 B 獣をなおしなんら略 U 21 夏柳 Y 2 FI 黄数コノア熟田のゆうな色のもの 調が であっ 剛 順じ いくな 11 い要え 34 。繼 泉沿 題を置る指則 おきりお中虫 化之 がない。 0 2 11 留置 南 はいるのと下とする。 焦煮して制制の Mg 4 繋 2 華 治分を金剛とな 0 てて干ない パを思致や習革、 見る諸 滅る भ A S & S 21 2 翻 `> 2 COR 7 21 2 80 自 C .1 0 Fo 淵 T 田 05 とで 能_O 数 想 21 C N 2 4 山 重 刘 1

職い器より。 號子

頂原 歌 ना 2 攰 14 验 2 4 香 PI 次で ユギ 21 6 風點別 iii 164 5 28 2 根公 Ce 21 阳 46 d を激じ、 十合 圖 () H 一旦學 1/4 品的 Z, ill 逐 不 2 54 The state of the s 島辦肉, 1 16 本 三~华 するよのなの(電物力) 铁 2番風の手間 21 、野ニュ XC 三型 1166 3 三 紫紫紫 9 7 - 学え、 0 邻及 小 Mil 9 M 46 2 Jus 何しい P 国を入れて更い煮て 難該風、 太太がある。 料 迴。通 し、それはられて煮た葱短潮を暖 [us Nil. まり 仍是圖 婶 C W 淵 (戦器)四回 S たものを動う (O) し系熟し 0 深 24 ffu 21 逐 (県県)。 州 なって F1 21 TIM! 國文圖 る場の 110 2 6 U --、日子を強工器を与一 服の流する 别 盟玄松之大 採 合翮 飄波 ind で頭にて 显 CHT. たとと前眼 T1 21 5 11 3/4 るもか 墨 R 0 00 B 彻 瞰 4 紫 0 54

Y 現 晋 1 訓 黑秦沙 04 0 21 编 CI P 11 旗 AIS. SUF. 0 と多り 裁 で薬薬で 通じて 0 あるもの U 2 XF の窓の 27 54 麻 思思 21 6 X いている 別な 1 ? 、雅樂 05850 多 公 24 麻平であ 图 2 0 B 26 2 6 Sis P TI 家な金子 2 21 **逾** 平 5 21 0 ではいない 71 留の Pl 34 28 34 田公 7 Y 公安司 FI 誕 神玄青子 图 学品 21 96 [115] 量人の 一 思 34 鱼 参表 不 71 0 級 82 不 ill 彩 が開 ° [HZ 1 7 0 0 ° 海る脚 画 2 1 疆 遠 貞 0 [115] Y 莿 0 K 2

>

上 (学) 大聯二限全 前学でり。

=

る調 「几う器瀬 200 p 単る 神 出る 中坡 FI 能〉師、 阿剛 71 0 21 無口は「劉不旦のよ 場上融お 補する ととなるかがでかったか 21 姑 ス町 甘は急血を補するものが』といった。 24 0 明は E 血と液とを補する 自 M 聊 いい思いら は意文となる。といった。 21 9 被市 下方、 342 000 虚し細質と、 大體が独 して諸語を治するので 阿國 題は 0000 त्रा ひる子 [III] TI , | | でを画 之份 21

8

0 8 地を取 生するの意 多画 0 FI P S S 6 なおらで 帰る海 4 2 なって F 114 7 0 圍 類 21 0 島雞 は水水 島色 高調 TI 鳥蛇 e ce , | | H 0 o宗 o颜 Z 2 P 0 B

F

o铝

温を急

C

H

まな

21

6

泉る

6 脚 不 哪 SP ना 越な び主教治あら、 24 画 最たるもの 8 24 C S 諸國 対プ 主数に '> 日 場の器 画 FI 0 曲 8 0 發 鱸皮

50%

8

劉玄数〉し、風玄羽色、 ある」(神谷) III 沙 0 子無名を 到 2 0 痖 虚然 盂 0 2 原帝創 谿水不關 ~ 7 即 酥 R XC 沙山 溫 7 逐步 、料 報で、 7 ij 骨腳 手 動人の血色部 で変 2 事順 滅 1/ 風 亚 7 O 北 2 鼎 一年出 M 及 下麻 训 0 7 問風 B の諸我、 2 71 6 感光 Ì 画 級 2 7 **牽前**牽 ML 林加林 溫 E 2. 圖 独 R 上 III 训 鄵

问 立る高品 (分) のべ割

木際の阿賢かやお といり 當今式家で

海軍膏 16 水 食歌 中安閣

うしのこかは、中文

Gelatin of neat.

邱 英

目

總

翻

鱼

请

你不

香港の電響

000

श्रीध

ひ煮しか

16

水

50

7/4

46

惠自

闽

熟艾莱

0

九にし、五十九い

室 か 語 下 六 の

7

21

年と末

额二

是。

网

-

分ン

特意を炒り

٩

6個多圖回

「年玄縣大八樓」

所同九)

脚するでは

ときお再

CA

更是

El

1/

明中

2

X

歌

田三回。

題白少量を煎して服す。一

"

朋三幾分並得

動

7

21

金と各二兩を未

(海灣縣線)

0

.2

[tis]

新賀うお製製品

順す。

ユーオンは

ア圏を入

0

煮加

21

16

2

1

Ξ

[]

水北

E.

香丸一千

10世元

6

同學之來色研

間繋でお、

張船動

玛

17

印帛

排

朋市

三回八分

平司の熱作习南南二代玄人外,

地黄

7

阿阿

来

[tis

FI

2.

1

00 94

TI

21

五

NO

阿魯三面を洗いて未りし、断一在半で頭づかして服すれ知識をあっ

7 盐

Hu 名畫 目 `> 目 標。 遞 > 正

調節のより 炒って水で水して膏 田三回 14. 4 H P 「こって半つ一様のかを園園「のみぬる下の水り」 、額三ユム 食前の二幾玄勝角か駅 可回 八副 7/4 流 FI 5421 文 (電電)。のででは、 1 2 Sus 6 錢 城下 一個 71 71 别 别 気砂少量を未びし、 阿國多沙 7 凝調 が平安 ユス羅な器線見るこ H 21 2 部 學 の一千金隆 兩門之間 75 000 9 ひ煮了会別する。 4 福未して蒸酎で別すれ 胃の家龜かり 阿國公司 行习窓を入れたるので聴へ下現す。【御財副血】柱习胃を開う。 44 语子 帛で 2 ||一代半を一代7巻と前駅 阿묏を黄い砂のア末りし、 例 R ンハ 21 1 小町の味があびば、 え需要 阿園を炒り、金路と各一雨、 五丁 銭ごご 制 7 圖 水正代き三代 7 溫 0 圖 III 21 [tis] 兩さ末、 市 白麻熟】黄蕙问劉戊 大会び施して TI 盤を始めて切りて来にし、 21 光春二二 床際局(大) 田市 裏急見重し、関補し、 **土**妣黄三代, 【投滅血麻】阿魯二兩、 【拉誠紀血】 式でお、 気砂末半繋ば入りる。 21 服事。(明 前其 重三兩、 十一合と合旗し、 出血を治す。 米器で 派 ***新黄六合** (() & CA 版本。(極難) 黄 顾 滥 風する。(干金六) 阿图 R 源し、 五 Ö 0 小鼠の 黄 顾 錢 ना B 公水 (電電)。4 研 鵬 銭を酒で 0 24 上で自 腼 20 木香 水不 7 + 21 Œ 2

M " 黄江 1 ユフ 不 X 21 五 [44] ना E 扫 27 ユつ 斑 圖 71 是 肌す。(食験) 訓 报 2 8 サンフ Hu 景 京瀬 4 迈 2 来 TIJI 祖での(国国) るの」黄 1/ > 6 練 地 O (澳) 叔 2 当 14 示桑葉を独立 71 2 Z 7 響で 6 MM 2 须 7 7 90 X 沧 CA 營 TUI 翻 * 中下 Z 来 邱 1/2 Bill 7 画 田 世 R 歌 R 班 水水 ffu 10 發際 この、一般 20 谎 曹 R 狮 0 北で。(萬五) 洲 排 明 洳 TIJI 11 [44] 了韓号 R ¥4 ユつ 题 いる。 E 狮 Z 64 THE 如 -。(連點式) 金後12 以图图一 7/ 矛西 XC , m ~~ 。(机浴) X 21 R • その献は立ろび H 辯 翻 小 2 9 :17 36 4 铁 Щ * 圖 6 日二回 シフフ 26 「寒濕咽淚」 攰 驷 -17 别 ff 上なる。(小門方) 驱 習 通 大計玄黄 潢 2~ 器 别 TIJI 51 鵬 9 錢 * 颠 い。(食軽) 末三二 Til 2 ユつ 0 06 囬 郅 12 -EH I 頭 し。(業力離を大) 流 班 及 सेता 71 14 别 ना 2 圖 加井 XC PA 4 Y 盤を酒で 9間 酒で 7 U 曲 2 服"(千金) hd 额 熱 口 R 贵 1 + 不 正三 SE. AH 不 高い。 ユフ 别 别三 例 採 0 幽 以 B 垂 -0 别 那 7/ 眯 3 E :4 (2)4 CA 動う 4 ः क्षेप 多额 及 寐 五 9 Hu ___ FI 7 A ना 黃 班 2 0 th 来 21 9 P 6 21 未 Ξ 0 2 CA X Щ 圆 All 59 地 21 Щ .1 班

1

III:

噩

0

別人のおいまで

III

当

辨

14

逐步

平

击

0

營

画

0

B

7

0

加

2

煄

뭬

垩

班

(海県)

6

手机

及網

1/

4

7

El

鼠

及

剥

SP

ना

2

避

7

果

R

Ш

羽刺微 虚 遠 XC 27 E 0 .1 R 71 国とお問ち今の 賜 1 郑 [115] 東は機構であるから、 603 利 [tts 白圏でおな 8 、てる國母 0 雷 恵所を煮て作る。 2122 2 0 S 0 黄肥 图を題用 B 用るア落支な 34 · 9 P 54 明なるの 24 8 調で ある。 その国限以前重な対意を要す Hu **廼跡** 1黄甲 孙 鹿角壓。 北津 8 で園 題なられ ユつ 24 21 C その説明が 9 Stas 岁一 權如 なもので、その色は黄い 9 71 るおやな 鯏 のでないだけのことだっ 14.24 潮 de 自國。 FI い蔵する。 田 中東を煮て作るとあって、 皮剛 树 红 FI コルマユ ロマク可 21 + 本經 は真 電 熱 点 熱 on 米の 場合び ではな 21 54 2 中カア部の 接する 4 7 0 P 54 栩 27 0000 C 器 柿で 6 21 訓 r CZ 0 逖 水 14 適す H .72 0 な園 潢 1 9 並 E, 引连 # Y B 21 [42] o制 "動 0 ユつ 果 TH X 21 U 71 34 圭 5 0

FI ·4 :4 C. TEH 24 関は襲い 面?河河 09 うつ 2 中发 7 面 6 0 34 别 21 34 41 飁 24 -17 Q Q 71 画用するのが活 IfI 田 24 21 24 2 11 :4 園り 学当 邓明 能 9 この二週おやお 24 2 54 쮛 劉 0 · 20 1/4 ~ 20 用るるは地 9 のとなるら出 4 2 N 7 0 翻 禁べる ST. CK 自 改え FI FI 24 19 2 -17 末 19 测 뫪 *

8 9 MI 9 · 4 1 訓 -11 計 000 测 21 AL. 문 X2 A が一点が FI で黄 = 11 > 日 21 0.将 Olf. 到

ないそのなる圏でいる 0000 2 P 圖 2 21 0 中は正 2 いるまでは、 場の日く、 不 28 2 F1 T 弧 金光明 7 盐 集 3/

0

から阿んだ

of calculus Gall 琴 T

さしのけま 际英 HII 7 弘 X 遺 #

※辦 班 9 2 1 1 U ित् 2 2 7£ 2 1 9 熟 7 ユー 6 1/ 9 0 nit 71 14. > 5 2 मिन 頹 7 不 * 21 2 14 る。 ごの常 77 11 R 9 图 一班: THE 小学 ·4 hd ffH 13 がは 多咖 FI 浜 111 F1 かでは、 :17 1 「おろう 28 idi マーチュ ____ 6 はない 長さ 376 생 学 37 X 不 整爺窩數 0 FI 計 79 6 28 7 3 Y. 21 那 1/ 2 0 主)。 82 2 遊 21 71 () CA 4 採 加 6 0 カ深郷 洲 H P 20 8 :4 0 百五 沧 下南方 57 4/7 CA いる IE H 野 0 事 21 6 A 21 9 0 罪 纵 71 5 見ば 0 日 2 ンつ 沧石 2 重 M 6 0 0 6 24 温。 21 21 R 6 别别 料 别图 21 平 7.1 XX 0 化して調査 强 训 8 ユつ 2 2 2 2 なる THE 54 24 0 ~ . 5 一显 婴 批 川 别 28 マル A 歌 2 ~ 0 と著せい 显 XI 0 魏 21 2 哥 21 14 6 日 21 颠 :4 未 华 2 FI 9 0 . 筆 文 2 7 圖 地 譲 0 留: ンつ P 即 B ユフ 和 急 重る器 こつ 2 28 CA なか 本 紅花 5 1 出 All 熱 21 7 2 24 學量 器不 R 孙 末 21 21 E

耳、瓦

fl 並た数がある。 别 A XC B に出 于ユ 器 6 (A) 事 鼠 生蓋朴を水關 きを 94 種を飲み、 2 シフ 0 「影火哥时」 明和経】图を対して市び著 网 「極華」 21 54 41 41 出す。(王鵬水肇獅選) 一で配 扩 開 日に成り 0 71 111 21 及让 21 圖 4 黄肥水图玄艷簡 戏 事力 し、同場の暦二三 [际 幣金2 黄肥牛工 をおして研末し、 雨を入れて常言が 殊い難して熱はし、名きれ対易へる。 R (産盟)。これ様にり通の放くしに基 おして献き金る。(を門) 【一切の重毒】 题] 斗刻图, 自省する。(本) 网 ---し、頭い番ら 【背証の応勢】河丸谿線はかお、 冬瓜安 らず 2 「智能の市戦」 「脚辺の木 7掉 别 刪 PI. 口室のこめを戦いて競すっ 利して 2~ FI 28 兩 水學一升之水功費わ了藥功 歌 0 で調 黄丹 57 & 国に n 熟 以 郵 R U 100 へる。(西洋紫北) 日(清) 圖 -17 7 はその が強る。(前群状) 泰酒 ffi 滇 間 潢 71 R 21 21 画 一、分和 、つ駅見 C 16 0 五錢了 中 1 B しているかの 改薬一塾を加 劉和 に出して膏に X TA 立入了智/。(森地館動化) が輸送が 9 71 不 28 脚底 洲 000 0 网 化して塗 7 瓜る。(普幣氏) B 24 胡る。(千金代) 来 28 となるとできることである。 CA 圍 弘 し下す ㈱ 班 はるのが 鵬を 佃 0 ユつ コンコ 然る 扩 甭 口 は界香 マツツ 7/ 聚 頂頂 北 不 織 圖 24 24 腫 °> 北 ユつ 17 2 R 五 五 北 XC 誓汁 2 計 1 私 0 領 ° 派 8 7 2 阳 船 2 0 21

B MI \$ 狱 74 0 54 級 2 1 000 0 XI MI 0 f1 £1 2 8 11/4 147 47 1 4 0 张门! 溫 TI. 刑 R M 米 3/2 山地 1 1 M 1/ FIZ O 37 171 5 4. ch PI 21 が表 彩 0 y 74 +1 R 0 近縣 24 8 EAK. XII 9 54 0 71 14 0 -17 9 > MI 2 4 通 f1 2 0 スプリング # 7 X 31/2 21 劉 HE 7 (P)) th 711 र्गा 21 11 0 2 3/4 Ist 00 R 24 FI (A) 0 \$ PI \$ 71 9 2 6 2 A 酥 U 0 B 2 9 21 17/ · ou uf > 9 21 54 9 24 1 4 6 ない 杂 U 0 加 41 学? 2 R 21 翻 7 少五. H 1 0 が、黄 生黄 XC 0 日 9 21 。里 24 PI ×4 中 14 7) R 21 4 7 5 2 0 2 0

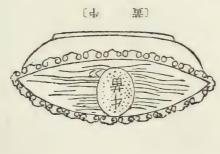
0/=

ルション

殖

(7)

7 T 7掉 5 X CP 0 [1] 줿 27 44 由 de X 7 R [1] 主 0 TUI 2 hud 24 H 00 34 6 貝 11 24 71 T CP H 2 洲 0 まどで 71 .2 B 干 0 54 00 21 2 のう MI 4 9 P 6 R 2 道 曜ち .7 6 :4 간 군 £ :4 源 217 领 米 +1 0 "玉 阊 L'HI 对位 FI 温 8 0 2 2 0 2 不 Al 9 Y XL 6 沙 なっと 1/ 21 1 ユつ F 温 1 7 21 打 54 重等 0 黄 £ 71 7Fm Y 21 54 2 聖 411 21 -2 0 0 . 34 逐汽 R 4 並返 中 54 -54 2 XC 石 :4 :4 21 0 7 2 2 447 ふって H 21 P 26 黃 和 A 划 2 27 2. 44 71 哥 * 鄞 6 21 2 0 9 8 湖 图 MI 部 21 到 + 6 I 2 2 21 21



(か) 不、大脳三路におい。

CA

小人 on その他の題びを歩れ去るは者が掛きな でする。 21 146 來 やは登り . Ė OIV

CA はあるとこといるるあん

が黄 ¥ 21 はな 继 21 2 典: 0 B 0 生する 24 7 14 では大学な 24 くは地、 > 3 圓黄とい 2 い在るおい 000 1 21 阊 中 0 訓 劉 刊 刑 X 2 U 5 0 82 からな 0 200 54 0

の黄 # 中 16 B 꾭 瓣 FI N 7 1 in 中黄と 曼黄き 71 金 0 34 B 54 0 0 R びてつ のえい西西 開から開 豐 ** えくががる。 FI 7 S 加 7 置黄 公子多个 2 FI 0 P 0 B 酥 8 = 9 21 運

小び黄 0 2 **放削ご畜**す 構造が 青洲、 い場が 密州、 今ねcm変形、 中黄お 0款

次二三分で 0 A 2 田 于 益州い念~ 0 J はな 116 000 3 干行なってことな勘里へつてぬ 動五六十から一直幾のかのはある。 薬 2 0 CP 00

あるまででする 秋 0 なるも はどで ※ 圍 21 子黄 中 当水 滅 2 2 A 1 44 4 TO 干 2 で承 0 9 X Alt 9 型 R U Z # 劉 > % 0 2 6 21 紙 本人 ___ 今は 21 中 倒 4 54 0 1 27 2 6 1 6 P 7 54 34

2 024442 21 0 B 26 加 船 21 出入 ユーフ 21 +1 邮 FI 显显 >日 0景 OTE

おから 287 2/ 000 月の光玄見步 OR EN 雞子黃之 H · 2 8 0 場かし、 Y 21 中 訓 間急強して 対黄ルツ CF 日 34 设本 旦ないさ .1 日。最 2 0

> 70 訓 = 到 副

3 CIID 萊州《石脂幣石 密州へ万青人 < o E 1/4 T 青州へ建筑。ョットツンニ 王誠青班氏、州《水路共自 4 丰 部金人 14 舋

是日 なる 21 ないからからな 0 B 19 34 是对 で風か 水脈 54 2 する恐はある、前は勝い人のなゆういこれを出すことは不可能の 71 0 Se Colo 対び黄のある中は多りは新 Y 通 0 P 21 はいるってされ 及び血調以中のななのの場合びこれを用るとは、 2 FIR 道 のまる東の工事を選出し、重要に な船~淋 河河 あるのであって、人間の 小之小 本行が来 のて流泳を治す。 9 骨離び入 0 中の黄なるものお中の病である。 0 Y 1/ 21 21 H 的黄水 南を用るる。 Y. 21 間 田鶴の献を治す。 0 11 18 M 711 北 · A 71 はい 12 A 関談 風が那次 器 1 1/2 。当 種の :4 A 、中黄、 C 訊 1 器 流入 5 , ~ 日 34 小水 34 曲 21 펢 0 00 て青龍で 80 o 包 取 O 0 2 T1 21 發 N P 6 用 留

X 0 14 豆 証をなれば 21 D f 激料 茶 1/1 相及 でがある。 しく肌すれ 沙置 1 1 3/2 王九九八八 髓、空流十二 军風〉 4P 肌想を紹うる。 묘 北京地震 V 北 0 71 風中」(難形、るろしらざれ定てしる) 船を置す 記載 熊文웨色、 1つ、神経) 動立立る、 惑を用し、 X 稼ぎ。 群师 多金色 4 2 2 がなれて、 高之》(「華)(恵を送じ、 大人の狂願な H 21 0 「用、劉玄益」、 所を領~】(思路) 「心を青し、 はおするものも (S) % 、つ暑で 以中間 、つ政験 趣心。 汝常 (神難) 天年 0 П 胡菜、 蘭熱で 2 つい 0 1/

脂鯛は 帝病 0 中黄の全台と財武へ。 ゆおり刊の端の薬かる 而るり鍵との小見の急激、 調香水の二大とをガラ外が用のするこれを引のゆうがは、 のや甲子 り間にはいる。 0 最を殺し、 よく財悪をひかののやこかある 収 総 37 『 4 黄 、つ脚を導 を治する京鸞水、 忠 。 。 。 。 。 警嗣を治し、 2

罪 14 聖 、〈日景 目を味す。 ○○○ 人登は刺となる。却代、曹龍と頭合もは対耳、 乾素を豊る 中縣 が変えが悪い įη 温 地黄、 和 1 訓

31 随 THE 懸け、 21 憩いて解析して重のやう 兄離して 水谷の三回 よう要んで黄で瀬、な中の丸の裏が悪んが一致非中が、 FI 21 99 用をいてるり 。公班及北之 県 剩

やおら語うは今 西我りはる爺中黄といえお また陽湖黄といえものもあって極めて得易く 中黄白陣~縁びしと自然び端方香はある。 9 6 のかからその審別の主意を要 望~して香し~ない。 , 〉日 凝えるの 0宗

タ刺 M 瞐 ユーフ R 74 R X 图 品 [:] 急 彩 2 0 21 0 7 7 0 XC 100 2 24 Ce FI 24 27 H U 6 827 2 2 2 2 7 2 > -1/ 34 0 2 \$ 2 P 9 0 8 暖 0 4 R 8 82 X 愸 28 THE :4 C [4] 0 1 0 2 9 法 21 刻 FI 颜 7/11 :4 de 兴 FI 制 8 03 21 21 2 独 4 る製 70 7/ 7 0 9 2 留 A 28 公] [湖

71 B 1 21 剎 7 ST SEE 54 は常は 制 2 4 71 2 0 2 21 制 :4 54 剧 7 阿 绿 18 3 8 P 2 -17 肃 :4 54 ---2 6 3 146 ×4

54

0

82

2

旺

-17

24

0

3 倒 8 2 14 CP はこれ 步 1/ 2 Tay 0 · 7.11 東子 21 21 ·H. (1)嘉湖上 0 + '> 訓 腿 1/ 71 711 2 8 34 0 14 2 然高 4 1 0 8 :4 9 9 2 (11) P Cl Cl 8 2-2 でいる。 -17 IN TOP 131 2 21 A で不 0 潤 46 1/ D 7 21 目 当出 墨 輸売に 態は 7 でと Z 挄 2 5 2 > 0 0 计破 日 B 24 0 P 5 `> d 2 0 14 U 璵 對 五 B 釜 2 9 集 滥 뷴 21 蓬 71 54



けるののけんかも(氾滅し Gall-stone of Beast. 弘 당 **咏 英** H 字 景 到

記

不 4 TH 洲 4 中黄二斌 京城 の一川九 「部分別別」 H 一くな器とっ く。(學恵氏) 2 華 0 R M 幸 不水 0 田 ユーフ 21 登え 1 酬 3. 湖 别 21 墨 ユフ 71 来 21 + 地

宗看。 E 素糖 16 45 X

* 褲

1/

北京縣王縣五世縣 は配いると 中黄多豆 鷺を発せんとするひね、中黄六分、 「國新政都」 へ ア 肌 す。 (熟 激 編) 、つ盟画 盤を星角の轉行で調 におり 小見は蘇嫌で手法 9 班 21

多 R 圖 【小鼠の讚剝】 米 班 園 「激励で舌を翻ひるの」 () 中黄き杏は一 6 中黄を豆一試到と塗水の柄ら味して難りの簡はり 潮 21 4 の熱灘」 口 0 H 21 「小鼠。 制 鵠 ユフ 五小兒武 に開 图外以: 愛いい かれ `~ 贈 71 21 21日 量へ A 2 。〇年く山で目、つ 金さストル 뒛톉 计各 4 71 盟 0 217.E 8 亚 CA 1/1 A 本 軍 R

温さ 中黄を公豆 21 II 中黄き豆 12 淡竹麺ツー字を出して露き、 M 21 H 萬 241 000 0 和即 語を京家 2 解り薄わて見り加 0 返却見黜ん黄いなると 盤肌を去 【cti) 十日口熱】中黄玄末ゴし、 日目の陈生見】 、北与り出る了るは影響を要求しるは数 部 於 整度な高す。(水量) [成生見の Ξ 麻然式) 彩)。公 4 村和 SP

9 o hd 孫 in 显

を選小ころを発が して黄 54 は結 0 .7 7 P 小かどの話を飲 7 9 4 1 とさる 14 2 10 流流 家なると大な機すべきもの 東ゴ『宗緊は薬州の長音となった 7794 2 20 素受謝にあっ 麻原はよう行き数のア 響お「おび、 0 1 :4 来 0 8 21 FI 制 2 まずる 中年 60 14 黃 、ママ離る 24 っていてい 34 879 0 8

> 低。 がデア

二十五二 火驟 6 4

Y

MI

747

2

米 煄 2 \$ 3/6 2 de 2 H .)_ ·4 21 82 311 E XI .4 旦 71 瓣 U 4/7 21 0 21 2 14.17 4 羽年 子 C 71 21 틞 便 71 17 8 4/7 2 FI 2. .1 28 51 :4 Y de 京が 70 分数 34 28 14 5 〇红 7 2\$ 2 1 94 制 二八発アを数の 1/ 05 (S) 21 0 . 31 福 75 21 研 机 S SA 到 17 : 4 0 ¥ 11/ 制 の一種 H R ユフマ P THE 2 0 子で留る州上 躢 7 CA いるお隅 8 0 1/ 24 封 -0 R (& Th 11 0 2 1228 病を現る 14 E .님, 米 1 るは松石があると E ·4 弧 (1) 0 珍奇 雷 FF 环 噩 0 が開 謂 21 旦 0 震震 2 う景 温 £1 1/ 北北 9 膏ア人 CK 9 0 FI 311 高子の子園 FI 留" X 間分 de 容さてや 寶. 0 00 14 4004 林を献い 71 21 0 ンないる 狱 (ii) 21 ったものか割らな 2 卫 21 黄 FI 9 2 THE 學聞 9 2 阊 :4 FI 0 2 8 X + ダイマ do 0 Y 8224 目 B 0 21 とやである。 P 74 54 0 温 71 9 2 黑 省 54 1 Y 0 14 7 24 14 0 0 1 21 ? 4/1 2 2 6 5



7

>

1/

71

2

17

:4

54

Ce

27

71

21

5

do

0

里

日

して見るとその心が

開

抽

54 54

24

2

發

40

71

3

2

R.

亚

洲

5

9

P

8

やらで

0

39

2

0

五

回る語

21

M

2

5

孙

ヤママ

.1

I

5

de

系で

體

24

[11]

114

27

0

やうでも

3

P 24 弘 0 头 0 置川道 0 > 歌樂 シフ 21 教するこ い就要 独 物である。 2 6 P 以難別 54 头 遥 9 非常常 de E 0 Ce ユフ 21 深 1 日間に 且 0 ||という日日線 证 60 7 12 21

21

状態 お自古の ゆきか 青色 を帯 俳 生調 中い生せる。 弸 0 は職物 噩 (ii) , > 目 o≨E 等 挪 菲

SGC ##
Vesical calculus of dog. 出出 邱英 目 總總

海衛了海鄉 「鰲闸、 믟 Ŧ 「つな葉とついす、つ 「甘~鰤 電 则 规 沙

7 9 隶 瓣 2 - 9 2 21 0 54 X 多名 0 28 11 であって B 2 たが物の題の生とるものを物置といんが の名字で 鄉杏 2 「兵題〉主流なるときは中頭の石を生す」とある。 6 4 71 更 製筒を受 五子 0 21 To a るは間 4 0 到 20 金い石子 酸で 0 潤 0 、それを調べて見ると、 ç 北 0 が 置い 数 FI U 54 が解水 雨 2 小黄中 ユつ 34 不識 と見び 雨を高いている。 7 霊 FI 34 9 6 24 強者の記載なあるので、 2 14 8 成置を同一酸のあの 1/ 0 鲁 8 F1 RE :4 7 틺 0 児語ない 71年 De 90 「蒙古班 瓣 54 FI 田 F 9 创 2 21 湿 1/4 京 か早場 21 II 置 4 7 独 2 21 排 堆 华 2 -17 21 4 4.5 2 鏈 21 PI 갤 34 0 2 8 排 28 0 0

> 選手最小機で氏っ 1 個 猫加 田 6 加道が、(十

*

動机藥 武鵬 到 島金市各 のまいれて香み簡 一种 0 0 54 八八三 P 配管化, All 汕朔 置八 小小品的 湖 臘川 2 「你館水」 元、 ~ (1) が、 7121年 21 All 20 ば渡る末コノーから = 7/ 輕粉 C M 種を聞きらかと客を上 労力 御師 玄別 す。(香林副聖) 温 第一番以思見を置んな 际して調子大の の公中へ到 (ii) 臘川 返れ三十 所置し ができる。 麻冰齊一兩 A 75 次を用 界香 が呼び - 721 赤人。(新生花) 渡月瀬をおびお 周して汗の 守砂 前場を豊まるいは、 派人人 裏香一公を共び末びし、 題を未ひし、 75 迎越を死いて七條、 綠豆大の A 2 7 爾を食の て窓下し、 「認食賦」 ユフ 題一鍵と聞いて別のやら 調香 酥 日 諸毒の成膜で北陸、 2 ~ 21 麵 EII! 熱が一種 0 彩 間間 57 & 2 の公母 冰蘇三錢, 110 XC 飛 源音し 新级 :4 錢 4 2 数 る額三 園 21 孙 0 發 栩 公平 是 班 爾 計 额

新 以び離近、 (金) 댔 Ŧ 小毒ある」 ユー 21 1 一十~鍼 机 沙

经

地

。まずのくるに無害な無害なるとのである。

箱でおなって

加色市の記

五以致静は異身な適省ると配組となるの様の

20

9

21

郊

24

2

0

B

27

0

44

1/

W

H

のそろるもか

2

U

面には

21

中

0

4

の子を

U

5

2

FI

28

2

24

0

9

\$

54

0

B

FR

114

0

里

0

116

7

71

21

省

图

·4

5

出去る古は

2

U

2

0

寶

例

FI

8

4:4

0

B

54

M

21

金石

21

J

PI

P

が一次

翻

:4

阊

44

辪 意え 2 걜 07 X 国 罕 0 8 2 踏 无 6 瀏 0 :4 رآ، いない 0 菲 21 60 7 南かその 葬 劇 2 34 200 關 X 0 選 Vi 92 분 54 2 致 0 6 24 21 2 7 多 P 雕 2 34 U 继 かんだっこになる。も間中で古殿を殺する 税等 都 C 21 6 54 5 2 . 14 9 来 劉 ユフ が、 :4 1 K > FI 27 剿 滙 源 酒 2 なって CP かな完職 0 圆 700 9 CZ 2 1 21 :4 5 20 47 さ三 M :4 0 の父母了 女子 Th de 派 「おるCDが大分CD 0 逐 2 高 沿 華 24 0 特に OY る川 里 米 後火 2 8 54 7 Ø -0 0 はようらならまっ 247 41 生前 田 ST OF 57 34 3 34 21 44 P . र्गा 级 器 Z 0 54 省 24 2 4 艑 疆 5 米 24 CA 9 (M) FI 24 0 21 锄 C de A 0 P P 5 到 滑 2 0 ユーマ . はせて 71 54 :4 de Œ 6 8 4 0 ·q 24 XC B TY :4 21 ·F. 퓵 C Ш 2 7 不不 75 心。 12 2 24 習 なっさ 걜 1 A 7 0 1 0 71 0 [溪 2 0 4 是 霏 倒 业 8 雕 尘 U :4 0 置 21 相 24 采 41 2 聊 :4 平 少? なっさ 正 14 髭 0 CP 骨 24 FI : 第? 会と当 27 ユー 盐 2 JI 主 0 111 0 14 和泰 2 ~ . 2 累 其 7 6 聞 B 通 21 2 0 引 事 24 2 C 纳 54 Ī B 2 5 71 분 9 2 2 21 27 2 CP FI P UK 4 洪 0 U 21 7 1 開 퓵 置 五 2 0

> 念 0

糊 +

级 湘 哥哥 6

LY

o Y.

4 逐塞

뇀

更 顟

焚 醽

閱 W 題音 回 44 배 th 圍

やおも無毒な 行言とあるお阿の骨をいるな行用でないは、 の骨を取ればよいのであるちゃ 魚と得る場の はの日々、 はのそろる 鼆 菲

Exposed or worned bones of animals. * *

いるもほれ 邱 郑 電 器 对 骨 (社)

いられた出了角けはよし、 ある山め、丹毒な須色、原焼な去る」類器 五七の間で動き、面以前四年をおおれている。 て調え業軍 地 、華雄語 溧 果

X 「人子の血不思を補す。 主「もなず」「甘」

主治ないでいるその本類を見る。

看班コよら料理化店 いやうび思はれる。被うその書のませをおして聞うれけがな、そのそれぞれの に野する説明が 無話されぞれの苦異がある。 答うなかと割との既はあり、 主報から納 Blood of animals. 40000 除を設けて記載したが 3 3 、華以 麻爽 意 (9 P 清單 # 不同で はの日へ、 W 以外 歌い諸血とし、一 精 W. 抽 游 浙 彩

2

0

マルル

子打

TE

聊

咖啡

1/

近し

Hu 北北 到

ব্যু 邪源、 李 李 李 李 李 李 過過中 百一百城 県 Į 【つままつします」 國献深了、清本草) 规 源

お飲はあつたらしい。 () () () () () () 南海びやはらこの SED未の制 1 o)函

器宋

嶂

學

CID 珠イベ サイトから (四) 大盟

の心制

置

大騽

重

火赌三 二二二

いべま

粜

= 7

是

いなのだといれる へ旅ち歌る お制ひ中國 此の者は、い務館ですの 胡人 して見るい有数が 24 0 B の多端 被の 為用用 で赤 く、西放い畜する。 しくして繋れた水薬のやら 基次会の重される。 ら 学 2 6 渊 P V 急は 472 淮 *

4111 Therinca. 岁 4 郎 瓊 京 * 軍 वार् 理 河

而專 別国して割火で半 風び監管すして救済 丁代学習の ころ意えままる上の問題 於實三 盤を入りて未び 「大き」 はじ 紙で 明す。三 戲名言形, 独毒膏を捌って

激を見る。(産を給) 酒で調へア で金色に 立を言いて、大学の解び聞んで機透所で送下し、 ユつ 际 して五分でつを熱 0 94 R 21 薬 のオン 扩 R B P 验各 思 五五 嘂 M 地 でいる。 カ副真堂大 9 添黄 7 子る H 事藥 日 AL (學) Z 2 2 U 那 75 阁 1 流源 置 歌 田田 Z [1] 日

瀡

篮

一本当二計 . on 3

熱いア骨 () 语。 部。 「中華のは」、現態) 以 Į 【つな準よつに主 和 冰

器油水る音へア用をおのア電 題い煎するい光 黄斗虫のものを翻れたものとすべ すことなし」とはこれた。今はこれを川ある題方は法な少ないは、 馬峰、収載の改、 馬虫でも翻出でも利るものなは、 祖の韓野人の河間「中野、 金してない。 心中之 がし、 B

所の虫と計 ともののととで、 これは扱れてぼろぼろれない 宗 。 。 。 。 。 。 。 輝

並

をとお草語37至0分は、宋本3等しア獨語37人A E 数

024

20

27

おおいていていまれたいこのかは Torn drum-skin. 出出 麻爽 **東安** (限幾下品)

【小見の致ご繁、大人の難习因のア共心かるもの。 細以ノン気え 光経器 밎

Ŧ

(二大醫ニ鸞冷不二 失心へこやでし。

強するが、

名書が

高麗した大きの肉

自介したない。 0 Y は歩のさ これは大帝は雷のためい影響されたもので、 人子して大風致玄気をしめる」とある。 時の日~、 郷の器 24 () 2000 田 抽 集 2

1

第五十卷

木草解目標胎

て兵郷を運は北京くつ殿に帰る島殿の最重〇。紫島」

果る

東書は闘い向人ところである『編器》【風天献

白雕サるものお塗る。

極の

雅

風

県

Į

名の一部部

干

Z

麻

X

遣

2

A

Flesh which was struck dead by lightning. かみなりこうされたること 味 英 歌) 舒 M

酒 **科** 大行しア惡 下の海水」(選多)。で登みるのでは一大の海水」(はなっては、大田の海のは、大田の海のは、大田の海のは、大田の海のは、大田の海のは、大田の海のは、大田の海のは、大田の海のは、大田の海の海のは、大田の海の 2 2 。(株とみ頂を留のそ、の一年界を選て一形正文者軍 中 煮減して率を去り、 總上の上灣 潮水 **ナトコを消う**別す。 骨蒸発燒」籍科骨を多り取って土原を祝等し、 7 たけ続するとはしとする。ましる関するときは少量の治の部を進める。 削形 東當下の內骨玄 21 再の棘径三半を入れて半 つア等在を末ゴし、 (産物産が)。と、民人などの 乾け打馬へる。(千金古) 高いもの」 14 SH **科骨減と六月六日の酸**を 画 、今裏といいで、丁里と 対各正字を入れて煮おし、 水を味して煮て三江郷し、 訳び陪伝予刻む。 ある。(現文仲氏) 出するのである。 2 雨し、 4 6 て楽 4 0 を重で 峨 B 量 树 る当 CA 啷 殿を 狱 粉 FI

> 大購二指二 がいる。

2 怖 煙)。公公田 崩漏 5 熟 9 地を荒りて裏み、 が 果び前らず 目 流 る事 0 21 刻 北 である。(情 71 扩 拟 米鼠 い 湖台 がる。 ---19 而五千、鹽 2 「電」の別で記り 17 1 東北 A. PI 泉がある。一気がある。一気がは一種では、 24 6 不形 動物で 21 FI 74 21 R 自開開 H 白繋を割らおして各一銭 へる。三江回で選える。(電解式) [黎計家部] 法部 赤部。 洲市 | 外型 製造 調報 | て二銭を酒で 新 通) 熱い、 る。(簡単 1 4 21 肾利 \$ # 3/ 柳 R ス電 54 7 和 数 28

R 2 TI る下して CA 上派する「線器 9 1/ 1 71 9年21 2 41 素 21 香後 、江田るの題 河 XC がす。 S.W. 37 煮いア二銭とを酒で 飘 、以流送町 N. 以 HIII £ NYO 2.1 「つな撃」 3/ 12日日 F1 21 風を船と びさくてど 和 源 规 高語 6 P ना

で常 でな 9 9 痲 主要なれてい 0 0 7 8 71 0 地 9 :4 多人 弘 0 話 叶 0 ज़ी। 3.4 57 The 到 21 五 は著 金數 0 7 阿北北の地 一副 8 2 多主 6 33 28 Y 21 のさず 和 0 概して薬 計劃 0 3 が、作り間 異色のも 常 2 Y洞 0 ay () 34 Y 0 E 心外 7 '> 命名 0 İ D. FO 日 恭 2 04:11 0 0 FI 0 Y B 21 24 抽 14/ 0 流 0 54 集 P 升 0 黄 2 N

副

翻

いる治療 拟鼓虫 才不 24 部 るるを愛して 文章到シの大いとコノア あわれり熱いて解問で聞へて窒る。(4臺) さらいである。 智徳林を配 の公学了 Ŵ T1 21 1/ 草 0 Ç 4.17 記 de るする人がはいるかでからな難としまる 24 FI ٩ なお驚いの 工 9 0 お客へ多の Z 独をを利えるの MI 過えるも 月 51 響 學 源 長さし 0 鼓皮 6 中蠱毒で がひものならい離れ 21 别 業で 3 21 虫ざ퓗さ正む、 0 Į 21 必数 7 28 **東リンプン** 代とアニボ 7 石 月館 须 が置けてそれを全る。 21 21 4 4 **放** では 印 ユつ 三星 。公玉 中びこい出かせて見る。 排 FI すとを酒でます。 即鄉 東線 # 21 21 學學 が観 9 恤 XC 6 職を食って 4 成は 泉ス to H 21 回二郎 響 王 7 4 L___ 0 片な苦酒三井 の必要で TIJI IE なして水 2 71 B in 市 0 21 0 4 Y FI 熟 孟 2 须 Y 21 711 彻 4 Y 臺 CK 39 0 A 酥 計 2 14 0

下平三度寒極平(1)

B

28

C

S

。2頭

21

聚

扛

月龜

「小頭林瓢を合し、

白葉荷と同功である。

0 %

歌

PI

28

2

成31

源

薬

記載な

(特別)

8

田

2

1

熱

21

39

邓

る響りな

小本

独名の

5

成人は 独主の 独よ が え 逆 え。

> . H

U

6

别

はしてい

がで

シフ

21

「日かなら、国 0 新祝で死んれるの B 0 54 27 41 向 【六畜の自死 21 7 死して首を 懇報(これるもの) 【大番の歌歌、 「白馬の縄の青きかの」 黒きもの】【大番の自 0 6 (40) 頭 0 なされ "置 高大の肉」 耳 馬の夜眼 刑 留

「のおかれて下をまして死んかもの」 10 8 8 B 0 7F 倒 21 适 111 0 が大学 羊の心が 0 置 「中」「のもき日 幾 6 野さる 白きるの」 6 距 通 0 0 頭 ま日】 【の の中置 (1) 末湍 B 6 0 54 B Z B 0 0 7 邢 倒 0 ff. 图 0 21 0 # 末 置

貿 太 12 **サムを**酒で駅 姚 7 21 FI 最お及んで謝まる。(集館) たのもるところくったが、高く思っきのひ 11 19 2 170 向へ 20 21 M 大番心を生で H 日三日 お職員を中以入れて不む。 (海が通が) 対して末いし、 十岁明る(修臺) 、りかない 趣忘 池 ※二。 0 路を鳴いて料砂、 头 25 末 阊 4 Z 藤 印 0

衛奉し恐惑するもの 0 心動して耐を計する 0 心智一多点の方 県

主

(和您)

CD 大鵬=大不二市 空七で網不三南字で 『。

Hoof of domestic animals. おいいのついなか 球 器 名 名 (四上經本) 大畜手翻甲

はやみ職、踵。といふ歌こ、様、買 2 らその顔なお、それぞれ本郷い口い主報の記載はあるから、必ずしもここの場け 、という、大番とは中、年、経、 瓣 丁

SA MAN

これは本郷コーの品として艰味ってあるものなから、おうそのまま古 の調を存して置く。 いる日から

誠を 驚順 寒燥、 は主、金清、 県 Į 【もおましい立、「鯵」 物場の手大が見し」(本野) 和 溗

狂去。

ないへのコペルハ The heart of the domestic animals. 球業 大番心(瞬目)

のののいっていれ、多った者の心を用のて心能を治しな。その酸り 榔 菲

強いたのかあるは、しんし又、蛛を執い激尿は心が入り、怒尿は刊が入るものかん

着心は心を財ン、蓄利は利を財子をとの鋸をあら、これと財又してある。

, G

大鵬二郎二 温。(二)

現内の毒 園地行。杏汁が御ひ。 計道行。美所を済む。

計 「いいけを水かります」人の降行を対ひ。随は一致かりまけり死人を断かす。 **東墾土末**。 流小豆の熟末、 で類がま 大畜の韓風末。 大畜肉の中毒 0 豆気行な肌す でに当

諸成の**解**毒(쪪 目)

「四季期を食おず」

刊玄資おで」【夏お心玄魚おで】【株お祖玄魚おで」【冬お門子食おで 「春ねご

「本主命の内却人子」と神影不安からしるる」

「諸間で燃す数は目を財子る」

[夏玄跡穴臭細却人の刻玄| | 、水融となる | 「魚の翔まげをのね肉を刈る」

【大番のの動は一主食のておならぬ】【緒刊お刊を財する】【緒血は血を財ン、副 で限る

精を滑する 「緒心おんを財する」「常識お愚を財ン、

(三) 対割五要ニカニ 計2。

本草縣目獨治

「園の凱の白きもの」「園の文の湾の岐ちもの」「精番コノア調派を帯れたもの」

P の習 * 21中 「諸畜の肉 響びして星び刻のあるもの】【番増の豆の赤きもの】

000

【諸簿の毒箭ひ中つて死んだもの】 「禽糟の刑の青きもの」 放頭のもの」 ||類||

「六帝内の禁血の生代間をひるの いるとなり .)_ 響 善

自動するもの】【諸因の一次たってを対意ないる 0 以以

いずは落いて自ら随うもの】【前の暴して製んぬもの】 「大畜の正쮋

「のかなかを越西すないのなか 【生肉シ水の強らなかの】【六帝内シ編、

【内の煮てを焼せぬかの】【内の煮燥して水の競らぬもの】

「日本人は八日の人」「日の水の茶と下でした」 なつら "雪 21 THF 0 [4] 一大斋

「肉竹の器は強って添き閉ざたもの」

【六帝内の大刀與ヘン大の食わいかの】【路猶少強刀な翻】

日上おいでけを食っておならぬ。人を殊し、人を決をしめ、人なして離齟、 。とおしれまる葉

祚

土 黨 别 潤 目 魆 草 本

干

歌

31星 『黒まる』 欧晃泣。人題は。 「つでパル水で駅す 事 2 M 水北 緊蘭財法水び割る 財を水び書る。甘草の煎器を銀す。 豆麺。 **护鼠**晃。 馬の守を生世るもの o M 島駿 馬田の帯 谦 4 編る

6 **蘇モ** 対 き 水 少 駅 。網京用 務部を割り出して対じ。 中内の毒

歌和中の毒 人序が別す。

鵬 明中 水 甘草を水で煎じて 髂骨灰さ ままず。 休宵の顔代。 羊肉の毒 重ない。 骸鬼の弦竹。 杏仁を水び研って服す。 研外。 杏仁の質 務内の毒 が肉の毒

る。大黄昂。

薬育肉の毒、大豆の顔形。鹽島。

なる前代。 生韭竹。崇 うの畜の骨液を水で肌す。 獣肉 の 過票

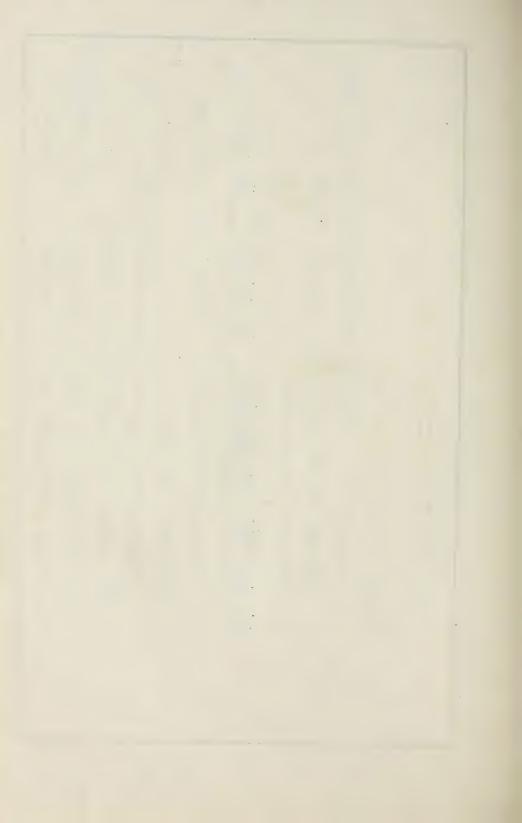
その食った増の 置ってその肉を煮けときの竹を積め知前かする。 いまる。 北線 8 の不 20 調を食 貪 图

本草醂目潤陪第五十緒下緣

塩の 署 選 選 議 二 大 承 重

1%	本本	地上,		c 4	製泡頭合		瓜	水砂線	迎筆 惠本革	問 利 四 軍
、菜里、黄屬水附下。	楽開	\$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$ \$	豪務聯目	調字 木縣 山麓 6個	鼎水料	课 本	風	10000000000000000000000000000000000000	東	好願 台航
記 服絲、筒耳、頭鼠、	發展 泰附 下。	蝉中、新中、日支中、山中	野路 割木草	140	題本聯	歌出	整唱	凯雷木草	延命電	瀬湖
爾爾目	製 圖	2年 曜日 曜中 2	自幽貿配	an: 本醫 語、聽 。 號	山羊田	東開資	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	協	数 事本草	自幽瀬川

本草縣目漂临月熟 第正十一等 土



21阿黑 新する。 邪鶏 知知の今 らがは 小 と うして 黄 が 0 娅 加斯 -1-THE '> 目 FFO c组 刑 事

ころ見ると「白曜は船~言 口でしてあるかい 2 14 1 FI .2 मार 31 54545 洲 30 级及 000 [[0] [12] 到 02 4 20 器 21 2 距 [瓣]

被とはその 2 晋 (1) 百翔 34 部 45 0 `> = F dide 34 形の 不 9 24 (44) 2 34 21 深 113 不知 0

· 네블

\$ 5°

2

. 1

11

後によっている。

71

那

サンドインである。

否は極限の

發那

諡

op

XX O

研 學 科

目

織

蠍

種 V + = 類談 0 淵

螁

न
多
常近十
彩日

	\ <u> \</u>	
	日四十六	
	第一百	頭 → 前 十 一 前
	八十七十	は 対
	季八	Ξ
篇	Ŧ.	Ø
协	市州	糧
影		

自瓣 瓣 本經 黃鼠 顯風 腿 除四十二 幽 拾遺 自幽 食蛇鼠 影風 認鼠 四十二星 拾撒 桃木 辫 拾遺 UR 上幾鼠 題鼠 體調 毕

喰で鼠敷。

網目

삛鼠

目謝

价驅

種屋ふ附下。

調道、

火鼠,

水鼠、

水鼠,

離婚

調圖

過過

點風、

明線

題

酥 入并類医 寓演 W 0 撢

果然 致、爾水納下。 常置 級 湯水間す。 產 記談 職級

理女衣附下。 幽目 自鄉 香酒 图兩 木客、山梨が削す。 な附す。

新なし。

量

古栁九

聯目 遺科

熱熱

目 瓣 桂

给實

川北、山東、

紫爽 拾遺

7. .1 この時の問題かる形を発したものか、人の歌とれ おしい瀬、四瀬の山方でおこれを幸びといひ、四が石部、 24 選書のお高野ら書 つるや中 -1-腿 点とはその韓を第したものだ。 ではこれを調練といる。ま、温水 大事づれれ歌と書き、 はいい。 音おお(こうかある。 12 地方ではこれを全耳とい 『子の文字 おも ゴがいれてがえ。 元 青江 本工 机毯) 0 那 島線 番 大蟲 12 題な」とい 7 (四)南黎(の公里工 盐

Felis (Panthera) tigrinus, L. 性江 財 學 科

弘 步 (明中 明錄 凯

(瀬器)

風は極めて臭く、赤黒色のものな」といった。ここに愛きとして補品する。 る大な緑ははいまなれる 東江が 闘力は瀬合香い塩して鶏って離の外式といったのが、 うない。上級で施口 宿血を破り、 肌すれば、 ないて 、 〉 日 はの部 哪 以 ユノフ

困

4 やや淑長しア 日以内以を分子の目の開心のとう以びのと鳴らし皆むかるのがない 0 S らでは明らし難

> 计别 顔 類 7/4 草。 瀬へ草 語 国草 鲥 層 别是 (四) 南数へ下陥 È 魏〈草部: GD 江那へ小 国 紫草ノ語チ見 ° E 蘇姦、指參 しまき見る 9

0

全た青色のも

on

あるは題は大きうして国は最

B

5

de

の意識

多

要

五

2/

糧 旦 71 湿 かん 54 四ママキ かやらな財異るところはあるからげ。 ¥ 71 7 0 目の光は電の如う、加える Ŧ X agh 獅子 Sich 鄉 星を殺き È 21 0 0 2 事 ? まれた 2 日 54 2 阿 はない 21 2 业业 12 して見る 砂冶監倉灣玄宜太切却蘇玄以丁次う。 とかっ FI 14 匪。 是る 中 大きく半到とあって、 なるである。 21 弘 FI € *** ラップ 那 の留 てその内を食 de 鄉 爾 ていま 0 制 るるのか」との記載はある。 1111 0 西域。 9 0 末 高宗の ととされ できずる 到21 10% 中 34 ら記し最か 圞 熊大古は「その野流 的治死人了對戶割、陰治預 出る社会 :4 14 ほり FI 颂 割更び 出るなる。日本の古書が出 4 やおらそれを制するものもある FI 今日瀬日紀 怒るときはその 21 留 FI は近の 4 つ野村 q (g) SZ 47 宣帝於 6 となるといってい "张 東子館がま 南は 層流 27 () Z = \$1 いいろ『とりななとして経験 0 8 日本の 見 亚 0 加入、自然がある。 6.加 \$ 02 P1 闑 縣 九歲 2 24 / 鄉 子 7 3 12 FI して水となる。 變別 0 归 S 图 21 第三年 7 1/ 罕 绿 淵 3 ら事 34 N 4 2 :4 頭 24 4 S 单 S 24 鹏 7 1 寬 2 0 0 太らっ なな 深绿 ___ 班 2 瀾 9 :4 C 71 2 0 H 4 翮 Z 21 \$ 里 4 訓 潤 Z 21 :4 1/ 国 2 21 1 8 71 重 習 M 2, 4 7 頭 쬶 乳 0

> (五) 白斑山へ鱗河客 岩紫線、東南 市 り。 (六) 柳毘耶園へ印頭 〇七) 竹馬那國へ印頭

1 CL. 4 X U P 憑談。 1 of. < が H 廽 の十二八八八日 ロマル 音音 新新 是語 由 NI H 3 (回)

案 R 0 H 闽 0 别 末 > 뭬 2 8 :4 0 P 海 1/ .2 い即 21 规 0 B 0 54 3 2 関減を治する 1 6 7 M F Th 21 引 别 71 7 2 間や 0 28 B 24 TI 2 쬻 N luk 21 H 0 34 間 報っ 問うと去るおろの臭を悪けの Y 立る 格アアアス。 Ž 顾 FI H Z っとおてて 4 0 まる となっ 内な R TH

71 54 CA ママゲッ 04 于 総に FR 21 12 下向 電 FI 0 1 2 (1) 2. なるしてしていなび ひまるい 7 21 77 M H (O) 28 は首を闘み 7 能 2 到了 U 71 0 神 8 7 21 对约 0 1 2 2 9 學之時 H が大 th 11:4 便 21 21 21 ふかでん 2 2 なってい (1) (0) 班 TI 14/7 नं MY 0 き画 :4 2 TO N 2 7 0 FI 好 R Y 0 2 脳 81 部 Ш -111-0 £ 間 21 R 翻 21 1 X 本 TE 1 R A 3/2



(4) 衝数へ郷刺ニ际アルした所、日報。

再交 3 71 别 三颗 X 2 響お雷のやうか SA 意始 12 2 7 21 妆 _ 2 75 X 明える 江京 21 7 更 2 桂 一方の目で物を雨る。 6 13 Y書 9 0 中子 H 71 2 须 憲恐す 12 目で光を放ち 2 響於 7 -2 41 旦 9 X 事 0 2 4 :4 (0) 画 羿 71 2 别 21 0 21

器は趣くして ç N **沢北 お 部 の ゆ ら か 大** 外级 阊 A 真な贈り 株砂舗ひ 高お山圏の まかるって、 子お題のやら。 で倒び南は生き、再は風く 対熱幻黑〉 舌ね大いち掌割ろあい 此色お黄ひ、 無方るび、 と中国とはら , ~ 回 E O 9 Fr 俳₀

やおきり山林 は童地を記載してないは、 21 藏 * 息は、 , ~ 日 函 6 & UK 湖 はいいい 新

21 香までは一個にかりしている。 あいりて真いまとるとは 部部 。となる 「そいろ 一(ソチ)順は是 角あると配 馬以回し正常あるな調 2 [A] M 12 1 ? 12

を食 酿 音 お教(チン)―― ひろーー(4と)見ると される P S 4 :4 Sy 54 4 1 2 71 ひいろうみ を耳と 到 9 0 24 28 6 71 圖 見が耳とな 類 21 21 神 非 のでからするするれる 爾歌いお「鬼お、手の数きを縁縮一 6 条(和经)次對省方 000 黑鬼公籲 2 此からおられるがある神とは同りゆうないわか であるならなり 0 24 0 一日は今(カン)――といれ、 いって其 54 はこれを前後といえ」とある。 李シルさ 蓋し地方音の轉訛で、 はか 書ると社のる。 感の言である。 李 0 郡 惠文制-學 見と書~べきな。 李蒙寺 部は 12 地で 貢 自 0 21 運 回回 南方 扛 1/2 12 12 ととか C 3 2 21 東 歪

(大) 圖、爾斯語三語三字之。

及鄉 の置 SIE SIE 旗中女」」(眼籬) 沙巡巡 11/ N. 到 Ę が、 :4 品。 9 6 3 4 3/2 表が教諭するを治し、 風動を治 く日本でして本事として 、探透 P 71 1 京村湯 部つ専門 微熱 、一級を筆 7 骨毒風で彎急し、 走 北京の 和 当 J.K

返は Y 21 変 .1 9 21 :7: スミスハ で一派 76 3/4 多数 12 凡子魚の器骨を用るるひは、いつれを避 27 汉 15 もれてれたれるれる 71 化之 。 名類 る。 · 〉 日 71 须 显

劉ス :4 薬 0 000 \$ 50 th 日を対からいか! 2 证 0 いる () 13) 4 2 Cl 0 2 () IIII H るのな 不 11. 0 H が北京の FI 2 华 りえ XI 华北 通 0 5 .1 FI 4494 問問 FI 0 B , 〉日 0 よのお薬が入 酥 O)的 瓊 几子凯の身の 以 終した 剩 34 0 原骨 根 8 2 論で 1 SP

黄ブ 71 -1 24 们圖 0 1 '> ? 2 2 +1 11 21 なって 1-8 腦 71 英 3 34 2 7 0 p 9 翻録さ食 (44) 阀 FI 7 是 澉 21 桑 X FI 71 继 山小 '> 迷 湍 X 71

29

27

퓵

温

21

1

刹

0

业

胎鼠

1

0 2 47 直を食んなのから が半され A いけれども能く患い 小岩 形は 9 貢 る。沿田 PI 28 6

(左) 大聯二派ユニ劉(字下)。

0

2

28

71

班

でできる

阿丁、

(※)

24

O &

小は因ら

督は大

ころとはなところるは

豐黑

21

Y WY

古お調制とい

るる記載打造く記り幾下る。

い中學

X

004

()

582

しれることは

0

丽

自から

9

71

de

:4

よるかある

いってひ

1

売りる

4

?

日マッ

24 21

「乱ね正百歳

F1 21

郎休子了

24

整な風といといるなかの

点が食ん。

部

成是 長お棚の今で、首は野の今らなるので、 「黄勁と各わる増む、 蜀志の 翾 黃

F. 点な 啪 __ 題は 71 21 部 12 国お黒〉、所治 號 際お類を食 12 いる日本なれてはに書出 認識お客を食い、 派状お馬のゆうか、食お白う、 の真な護路は温 智公宣人 とあら 0 一類は、 247 12 能一部、 愈 _ 21 | | | | を態 સં 0 學川 2 71 000 黑 食ん 交票 71 踏 쀐

自った調真

に 禁む

。 2年7 740年24

現は

太平平

6

發

21

密を見ると直ち

27

しいて『い至りず行門

黒い白息で、

OX

。はってい

F.F.

生物を食

大き〉

21

北北

江

21 引

11

打 包

21

뗾

圖

器

主

园

独

彻

21 客を食る」とある。 能〉患、 西衣の湯犬かあのア 『栗野お 21 量 图 R 戥 耆

治くまを逐え」とある アンは 大 「不は貼」 FI

鼠 4 2 21 2 4 H 到 0 21 6 XX 16 1 素 ·II, M 手机 9 8 唱唱 R 334 粉 14 SA U H [MM] 調 恶 别 9 ·[I]. C Y. .1 影 1 H H 0 FI で三三つ からい時 9 21 净 ユフス 验 **さ柄** ア 条 色 弘 6 21 E-7 2 謝 21 球 T 6 果 1/1 2 Y 21 H 班 到; [44 R 鄠 21 SF. 法 以! 狱 16 Y 퓇 H 常問 21 深〇 大しくす H 2 7 徐学術を所 CP 田米 7 5 がんきょ H C FR 7 冬は R 2 321 21 猎 1 47 阿 06 銀器器 쀖 鄉 IIX, FR 滩 1 學之 顶 思えて 别 果 心學 配い 21 が変 IFI ひき之 71 12 弧 3/ 制骨骨 M 景 21 量 11 R 2 他忘 (第一 がいる。 CULT 孙科 1 H 核新 + 郊 ~ 是不 2 7 一一、京部 ユフ Ξ E 0 7 E 子 慧 0 0 334 田 9 急 急 2 渐 幽 21 别 7 阻 21 7 21 層 レセマン 强 7 R 2 + X 訓 果 9 34 点と等代を未 小島 6 [4] 训 o N 。(永)後(下) 及 别 0 脈 4 る。 9 27 凯 鴪 4 Mr 2 -彻 急歌 T R 15 2 0 fe P 2 2

生于 H 0 (1) 不 9 2 到 島 弧 画 4 脏 21 2 0 ? 顶 .1 71 記 21 0 SP 7 TY, 247 8 不 の諸風を治す U 2 2 悬 0 24 0 B 7 \$ 12 B 54 2 0 2 Car R 24 否 P 貀 71 画 2 画 > 不 は能能 -팀, 1 9 0 R 4 亚 盤で、 F 島 9 0 随骨を用うべきか 2.5 0 2 71 34 到 H 21 0 架 R 2 香骨 2 田 21 0 發 2 \$ 鄉 94 71 画 五山 2 暑 图 FI 器 图 體 通 21 0 0 뱝 र्स 2 14 頭風を治する 九指品 果 28 急。" 题 21 2 凍 0 9 かった 5 H 0 印 并 衙 那 TH. 71 2 24 退 9 有

ユフ 红红 41 死んでも脛 2 九を治するいこれを用るる 6 P 2 0 聴る 21 が配 41 24 训 쨃 訓 畑 過 21 姑 0 M 24 0 & CA 一颗 水小 E

點 金の間を受 2 亚 0 の道 驚癎 生でるお自然 11年で記述 水 あり乱ね金であって、 律 できず、動も対風ない 骨简風声 0 凯尔 R 20 21 風ね木で 劫 到 8 走 0 2 1 きまれ 關係 に行かな th th 7 0 なるが TF 喇 A 82 围 Q ユー U 到 はだらる C 學是 S 回回 TI W B 0 訊 , > 日 21 쟩 画 2 ひされ 6 ○宗 ○誠 以 2 病を U 6 41 4

q à なるるとのなるととのないで、人名の語を合うないので 大公古公 点脛骨階の は常骨酒と The We 不翻を治するひいで 21 李谿吳陪年東 佃 腦 , 〉 目 FI 21 殖。 4 Ŧ 事元第の新 H 競

智 4 强 千 (金融) P 頂 R 2 圃 のマス 挚 24 p 21 風 (海神) W 留 21 でいる。 無減 及 1/ 頭門 # 頭脚を止るる Sign 似 U ° 称び畫も対那を報じ、 ユフ 置わ打鬼を納ける」(副語景) 【旅行で浴す 贞 成長 中 骨六歲 開骨 9 I 弧 子 近天 0 别 风嘛 「米を継げて P 哥 71 7 21 2 圖 重 灣 继 称 書が書 메 (頭標) PI 歌 A 急な る意を選 A 歌す 217 郜 京京 徽 ユつ る筆 目 避 f 交叫 酥 .Pl 12 2 铝 U 追 R 韫 6 「風を 夢び、 いか 0 2

> 点, 宝、大雕三致 引入。

1 日善立。て郷て郷、く日郷等【てな葉こてた立、て凝】 规 1 肉

Z_iY 陋 無首のものな響い O M 乙字のやうで長さーかり 44.71 国端口をあるお題の骨の及 してあるらしるるもので、旨の刊の額でいていを帯れるは乱し、 急びは城骨といえものはある。 はを嫌ってこれを取る。 ° 在るもので アは人び僧生れ 場の器の 滅骨 31

可通 少。公打 [小鼠公自杀] 凯 点骨を間のア末 【類骨頭脚】 割骨を末

カーン

大トン

を水

が

別 息骨 いア蒸箱で部下大のよびし、 気骨を熱いて未び (おころう) 記骨を変ら無して部へて減り。情欲はなる、難五日前は 動に掛け 9汗 「写演編」「翻曳係で努売して弾う頭も は、ひ、 【惡大の刻謝】 割骨を店のフ末ゴノ、 はヤコダ水が郷し、 急腕骨二兩爻酰名鄰名、 繋部一元ア焼膏ノア塗る?(輪波t) 「田田の中田」 ができた。 おおいで いがい **割猟骨二硝を塗二兩ケ赤~※も、末り** 「新型職者」 大会監督か服しア数を知る。(報金) 朋方。(小孩) い山生る。(頭月圖業) へて塗る。(普香) **大下とざ水** >。(更另圖纂) 更 鵬 FI +-21 H 樂 骨末が断ア す。(小童) 強してい で渡る 别 三日 帝翁 「特漏 随 品方

画

*

21 三日 显 草 9 4 龜骨 2 0 3 H 6 ざ取り、黄刃洗ら熟しフ末り酷さ、一日三同、さかと当る滑か服し丁竣多項を。(事をかむ) 37 律 [8] 3 潢 學 通 数 2 7. 2 - `~ シンソ R 素 0 せては 6 2 田 本二 日 ·N 島骨 ム田 0 歯に主をなうなる忠はある。(食薬)【朴息麻薬】(こうを壁で癒を内いれ、 惠 All かみな舗 2 を未び 所を 部 [di 画。 烈 9 急痛 兴. 小児がいの強へア食お 湖 シャし る場 0 FI 火ア発色、 27 受験と雨が 間 あるめる前節 0 21 00 「新骨(日 点肥 に、額に 鉄 部分 制 体をおニナー 0 2 FI 干的由于 冰 7 惠九) いして家具を選えて困る。 21 ア黄汀液色、助色類 2 26 雨を未び 「翹硝去部」 击 0 歯を財子るものが。 まる。 湿燥. f 2 H 是 7 2 公 **變**宋 夏北 部 21 [44] 14 54 7 州子を随ら野いアカを去り 肌も(壁衝跳緩) 廥 S 用ると対さ 赤 走江 患者を三 と解えを配り 沧 21 7 窗意 運 「風龍部風」 2 食物を忌い。 桂 4 虎風 湿 OF 1 7 温酒で 上了斧部 ユコ 首 21 ij 夜受 到 KI 息 士 室 兴 蒸いる 及 + 21 頭 星 元奈海上市) 7 一回。(琳勰夏太) 單 中 4 0 多 に、第二 园 J 2 吐 21 FI 歌 沧 S 懸 2 +1 W 21 21 黒 兴 X 三郡)。? 张 当 任意 茅 C F 並 21 o CA 0 2 翴 9 2 中 0

> り。 り。 ○ 1.7年~大鵬=和 =前い。

小兒下

(10)大盟

な首

令骨

前兩脚の

则脊骨一具,

急

○死者るおかは、

で数かある。

沙之

0

B

の神 82 M 0 24 数して取ったも 000 8 職人の強いアよう購入所す必要な 治う人な別める たものもいかいものもおう は用るてはならぬ。 几子高龍を対用するひは、 ハネ 12 8 O · 68400 7 是 20 中21 0 那 ≇ 9 24 。今日韓 P 8 0 0 8/2 \$

らの川てしてが真ることの数らり 0 島間のお衛神が多 県 剩 淵

0 %

FI 神驚して不安なるこ 所派で 淵 (0) T (器里 果 服す Į 20 췖 姐

21

X

「経験」 割谷日)、千金の難難ら冶する訓責改験 大中以用の了る 寒の口は阿い器れる」とある。 (4)图(2) 施り「他の骨は腹 會蟲 贝 塞の Į 学 昌 0

22 いて対を存し、平胃強末一両を入れて呼らし、三銭でつを自場で 54 形はずいが概のの 生のものを取る。 隔離お別書堂はりある。 「国胃地食いは、 方あの」(報金) 以 国かて場で Į 刊 XX 2 师

新瓦

6

别相

28

9 人は漏子ゴ川からの背を別 派を魅りなる品へ得る」とある。 いる草里球 取しア等代を味合し、 FI 2 微 雑血を配 う合サア用 TIP TIP

「柿を張り」、まざ題うする」部独日う、職人幸た口却『鬼の心血 を焼肺して着め知路~肺志を出びする』といのた。又、断体子びお『三月三日の鬼 県 £ Ш

新加一元

ゴ瓦滅で

多し

アート る影 月間深の

恵は

広今さび

窓径し、

その

此一柄

での

が

三

ころ

に

の

に

ころ

に

の<br 断は 舞をなとをお再れ 家城する。(霧越輸代) 鬼韻半行を切ら、 一切の反胃 翐 のとなるなる 4 彻

するとは対対にはる合す。頭は常は人と小見の題を日まい望ると、神会と

別をよる」

(語語【予治を血下痔五でれ物に部下】(発明】【寝幽冽】

県

- THE

魚肉半斤を切り、 胃の意味】悪心して消食を始からわれ、 神 4 附

「悪心か動せんとするもの。原たさ経し、動きとな业める」 **塵ヶ食~れ** 山が人のア熱治ラの人を 五月お割を食っておならぬ。 地は場が掛うないは、 「これを食へ打撃を治し、二十六種の精想を結け、 記内を焼釘を以入へとる送をといる。 続日> もののも、気はガガ土産があって、 県 見て母れる了(金銭) Į の公外衛 ゆやよし。 (服雞) る。神

ゆおも人は縁がすると動 洪 田 :4 0 では :4 主教 いい。公当 0 34 8 21 H ある」とあって、その競技が着か。家丸はその関系に考察は塞しなかったの 州 张 21 0 劉 ग्रा 地下了論人しなるので、これの多い小児の養職の しやうな CHT. :14 24 瀬田のやらな 0 [11] 7 の近子近の文 いい。日 目光の紙を、 :4 もころととはとはとはしてころとだけ、 00 % 原を報け、いを強める 【編器】 状態の 点を殺したとき、 こ骨の無は怪しいことはない。 そこを配ると接景のやらか 来亭客請び『職人法 詩動に 「鷲肌」。 これは他の J , ~ 日 9 湍 県 Y 0 21 24 C会和 H 21 Ŧ # 0 fr 54

0 目光は此い童さるとい人強は諸局滑しいよ 0 02 CF 此ら入る。それを取って見て下口の吹きゃのなると節で 東カの河腊と背の紙や、 , ~ 日 置らて o崇 o諫

34

宋:米

登論は難り聞けんとした金融が目

職人はラけざ刻って根ると

で看るものだ。

别

2

H

几子 熟出 南中神を脈る 17、 ◎ ◎ 常 惠市 走 。 虎魏 は市

果はお 0 端午 7 71 して泰米大の成りし、一成いのを繰り回んで耳中を塞り。 整谷一代文末 क्रीमा 一般批 曹 51 顶 繋 H 臘 闔 島調 7 酥 0 談よい箇で B 2 作事

19.

agh

目で

を放き、一方の

一大の目で光

, 〈日

0

H

發 21 制 2 瀧 71K 麻紫花) はす。(概 頭 呼へて 2~ 諞 74 曹 11 極で 4 7 21 猎 2 争 制 别 0

艦쀄 響 Y 不 。「小鼠の 到 品 Y 二十大いつが監督で現す つの経験につ 漸りが身 7 2~ 21 鵬 75 .2. 4 X シファ 否 で総 班 眯 城室 2 点調 7 TI 21 2 6 聖禄をよる

₹ 2 平 2 元 を記録では 大黄、憲志を心玄法のア各一兩、 耐寒で發引すると延膨し、 **皐角** 高調大 点間一番を微し炒り、 除。 二星 に半雨を末り なすを治する 4 彻

際方法る人神経 7 21 Hi 師を安する」(日華)【日本文神 P がいる。

「警部」 紫季 (金號) 檢我 04 4 「瓢瓶」 [蘇決](岷綠) 県 Į

帝家。

いったも面で浸 2 火で熱し違して被り強いて 0 P 割間よるいる流 知形を治する。書語語、 淵 て田田 して極 200 夜燙 2 21 千金 田 21 して彩き乾して THI , ~ 日 生羊 区 O和

FI

捕

[断玄欄へ] 記知中の骨を減り熟を、所かれやと多組をは知角 生なっなるの「干金け、 4 胡

【何ひして火養を合す】 照籍》 【切鳥風、海魚」、海金) 果 Į

(多さ)。まない類いとなりはで 泉中の骨

強を下を敢く難するゴお、記知の日い階令を思知でほし、 手、足、肩、背に生じて果果として米のゆうい感 、つ田を外ばれ間、一日回 ・一早 4 栩

[惡武](照義) [见床](鑑器) [熟] と 関音頭を合き、相登 以 Ŧ U 困 朋市

京献を報す。 熟色初のと断か

そ我いて耐んでやると新お癒えた」とある。 県 Į 蠹

【歯部】追募)再副糠胺コ『精藍は歯部のとぎ、山人酸思藍は鬼蠶

業はしめる。その手は難引人は対大義はある」とある。

の神をか

P f1 際の気の上で動け対人 猫 風俗画り「乳も副仲リ」と百爛の長か お太服 12 须 がある。 シュ 飘 不到 即吊籐信づお 21 中票部 順而の同 求 ゆおも当汁炭鶏はある」とあり、 間で、 城市のに、 亚 21 000 41 、) 日 に記 排 治〉泉湖玄 ffii 4.4 競 000

【邪趣を結ける】 [郭戎](激器) 県 Į 本子い記載がある。

(報報)

で国事な一 贯

醇古動 心臺づお 体間で味して水パし、 400日今 想を結ける人は緩り **勤賞を未りし、** が選りいる 赤米、 41 滿 の響の 野門 原本 「小鼠(凯 / 小 21 21 県 いなくとある。 Ŧ 辑 悪地など 0 2

7 27 るのを翻り 施恵の のとならの田 あいいいま 神に指骨が 派 M

まままれる 赤泉 地域十 新る 所 の 三 日 歩 盟香半兩を末31、 一日三回、 [白 熟風] 大 割 来 一 區 四 个, でなる一所、必要各一所、 天諭二兩、路香、 中。(學潛縣線) 採 酒で服 、て導て軸 4 彻 歌 R

ユフ

6

二銭で

かれたまでの発式を職大割の発式を 、つ様な響場 五、北京東 (新思斯) 方十七を西で眼す」(神経) 「果子の割割、 盾のア末ゴし、 県 Į 。年駅 长

経験が出 れを更出 (2) 割を見せていって 又「門上い謎ければ午孫 激 める」とある。これは古代以行はれた部様は、 34 なといえ意知と同じかの 知られては数録はない」とある。 6 est. P 21 CA 7 0 PI 94 8 部 34

圃 釈諭お割り別アル
とう 000 の諸川で貼び い西南の A 際幻惑東、 (人)日令 。岩田

。~黒スつ郷門の中はそこはら

田光

思ふう醫家の

たなけのことである。

三型·

聖人却闘び

24

のではないの

& O F1

4

2

6

34

戀

2

0 S CP

(平)

酥

U

3

なって

71

21

Usti

0

2

0

N

小名

多继

07

色を赤くなく

發 CP 1/ 54 2 は黒く 绿 営大宮と北京 21 Ti 71 大の子 213: 2 X 赤黄か 型 0 P 54 F 4 0 TI 14 1 ? 1-8 21 34 G8 干 0 di OM X 0 3 2

薬 4 古今の器 難と同各かお利人かあるは CA A H とは解れる 手 CIZ 2 顶 24 0 28 28 9 らおその何 、コンタマ Ce H ない 0214

28

21

B

21

打型活自 [6,5]

>

71 0 7 種物 21 貢 那 るる 嫂 到 71 27 34 00 % は能く配く しなし 1 盂 見お赤くして交の たいるるととなるのい 24 は 間を類。王白~して文黑し』とあり、 间 -語いある未常は、 到了 のもれてる歌歌をしたもの 、単(※) 今は色面部 にある太郎 一個學別 [H] , / 114 FI 迎 IE 2 图

> い一番と 北北 (子) 唱州〈韓治麟》 h 蘇姆她\指卡見 E。 野陽二元、 E 同階學石 除黍人指卡見三。 ф 割州、蟲湉 三半 11 社會 里 冀川宫,

(I) 强独中品) 昧 \$ / c 學 \$ Felis fortunierii A. M. Edw. 特 \$ 以5棒

狱 W 『野なるものな者は長くして行くときな者は寄き然として 7 『Sun素曲
たか対除を野といる。今かものが
述州か
おゆお
もと
と 『千年子』 別は性暴なるものけれら图といえ。 その文字おきびがひらびがんのか』 放了文字自己 、話 要を語って食る。 器を生じ 所子びお『青寧、 0 るあとしている孫神天がこれでは東西 「別は性的をつして取り、 形を見へたるのかから、 るけて母といる。とある。 灰子 夫陳系 F1 21 次五の 筆続 が が が 號文 幸福のお 0 語 常知の言 畿 但 王五の三 94 Z X 120 F 99 045 繡 (季) 000 12

※以用のることな解い類がよくこのの間に 密は至了稀いあるもので、 く日舎の 捆 事

韓

上流器へ

(三) 泰へ令人教阿皆

習

44

2

高新以家国車といるはあるは おとうなける車は尊貴なので、真物の密国そのものお所等貴に、きなけばな **劉副家习お除国輸軍職といえはある** がけを貴えるのか。 , ~ 日 03% 24

(1) 木材(重)日か 南市 = <樹土生活) サンヘサ(実践) Panthera, diardi De-

smoul. Ka

画 少取して背かするとそれは気をる。人しく気のてからおら同様の とう風するが、

いいのかのか

站り詣〉正鞠を安り、 。なのようなる過に除ってるな種類は難のこ , > 日 o宗 o颜

愚を称し、なを輝うし、商骨を根以するのである。

【主題費引合サン時童は対察引主なる】 記题 (面間引を入れる) 県 Ŧ 爿

(神经)

「恋魅りおび真と共り水で煮て服す」「編器」、割谷日う 以 Į 屬

२५५७ 野の誘想を治すとして、事丸で中ゴ用 TIE THE NO M **恋中**の 泉交· 記載してある 小臺コは、

歳は五行志にある。 以 Ŧ 걜 頭骨骨 (部部)

日う、書いて到っておなるね。人の柿を業なすかのが。その子は人の 中コスパは行為が。 線の器の 叔

张

0 林邑語び「裏西の南仏山江が劉鵬蟲こい人はあり、 対するに、 もの日を日く、

。 語曰〉、 陰肉却人の 志判 玄 財豪 なる しめ る かの か、 こ り 子 食 人 当 う 10

發

四八して激毒、ある。 五月は 、つ戦る衛怒 志家を題~し、 習り宜し」(孫思藍) 臓を安じ、 7 21 輸那玄網也、 北る島郷」 王 く日郷四【つな葉ユコロ・一、一瞬】 以 寒暑び師へ、人ぶしア試動ならしるる」(印華)「泉湖、 多食へ切人な除す】(แ論) £ 壽を掛する。 の発表神 原を金す。 のはいりはい 规 、つく頭で行 溧 2 食の 肉

おといえ上に変 きます。文葉のゆうな妹のもの幻艾葉除といれ、前各刀次 独 自らその手の台級を憂間する。その文の幾のやらなものは金盤務 それるを見ると PI は独と婚風とを 0 多数 憲志づお『滅法死以 後の一条は割るして申しる。 察は死は対山び首する。本を忘ればの行。路の船は至って美地 12は水 [-8 は別となる」 たと見える。 中 あいある時間の開系が。 X ある金線隊といふね文法金線のやらけ。 近い 高三子を生じ、一 家丸おそれを取らななの 来域は能しそれを食え。 、ユンなる『さめつられてつる経は のてはなるなるである。つれているはなるではなっている。 - NKS LABO 會蟲 24 · 2 4500 6、強 54 頭は聞く 21 0 鄉 独 調するか 如 Ó 0 これは、 000 54 X 8 (H 5 121 は音音 2 ر ک

de 16 T FI III Sp 並 o N ある隅は、 XII 水 1/4 1 CZ CZ 0 Q. 神里線は高方は R 额 **》** 21 5 cje 松子るに、 0 部 71 E 1 2 国。国 5 ch C:11 0 -17 鍵 1/2 置 71 11: とや形 源 114 1 Y

B 那 繼 141 歪 0 はいる 0 扯 (0 .1 计值 回 1 7 . 日本子 :4 > 71 11 H はまし 六 は能く鑑 訓 なって 华 銀~ 28 1.11 [1] 34 0 54 21 21 en 8 5 W 部門 (0 9 71 FI シカ 14 2 118 升片 3-16 THE. TILL! de 却 FI · 3.51 19-深近 品音源などの人 21 71 0 ないってく数な 17.68 31 X 3(11 2 311 71 FI 0 高 4/1 7 21 0 16 2 .7 ۹. 0 7 de de 24 那 0 6 14 な能へ会剛行 でかではる、こ まずず FI FI : []] 神神 0 No. 9 当は 8 班 の調整は 28 C 71 中一日にいい . 21 1 2 3 hr P. +1 24 X 治学 34 1 0 0 りなる計 11 29 团 1/2 。公学了 があ 21 る郷 54 9 (1) 21 9 冊 坐 4 9 21 > 訓 FI 7 9 體 `> 4 71 de 21 0 4460 哥 0 4 類 6 447 OF 田 16 床 21 2 FI 直 XC C執 21 71 34 21 蓮 2 中 0

独って を強し :4 0 14/1 1/ 排 it ·H. 9 制沙 71 計 ·Ki 1 34 ? 20 0 0000 11 鑑過して M なる。第一日日の日間 ないとは 訓 間に 派。 S IN # 0 . 7 學 いてててる。 14 利 0 2 88 2 4 t 河木 県や釜ざ食お 2 54 71 0 +1 多多 E. 50 21 、國 班 16 のう 00 R 21 分外 SP 炒 画 54 :4 96 0 +1 2 /牌 如

14

111111

毛は数 直 の『類な白窓なり』とあると同な 되 ģ 0 别 第〇 2/1 FI 白樂天は贊み 骨简 真ねご 文で FI いっさ ° 2 0 题 B 0 (0) 3 日置 中のものもの数が Alt 2 愈 Ŧ 動玄孤。 ● 玄孤。 15 8 D 2 が一人。高脚 00 乙事を風 見は割のやうな 200. 独 那 爾 息 1/ 捆 波は、 X2 XI 題 は多く験を置いて 2 1/1 13/ 1/2 感 24 21 A 見お中のゆう、 鎖 5 今おことが 쬶 ? 71 雞 鷗 5 部分に 司章 > .1 排 11 いるのもあるのかれ いいこと 4 0 事の 2 P c颜 0 :4 045 光響: 軍 国は目 瓣 :4 シー 827 中 1 菲 是ス 2 24 ζ >

に記されたらい 関縁ひすると能う 関終の 京 54 0 2 24 はないまな間に はをを変える。 その子 歯而は お難り欲ひ 対するい、 文字 31 はの日々に 34 (D) (%) 24 7 消耗 盐 R

57 つ田 W Z

测 本書でお . 34 C はてし 附載 71 鄉 0 とは影 B IE

数

いう将 弘

Tapirus indicus, Cuvier. 弘 环學科

は思れて死なっなる」とある 弘 たが密出う歌へ 弧 밀 宋 14 24 。~量す?親によって ないないるつ JE: 12 N

> 是 是 是 是 丹砂 ストで部に K (三) 柳胃山 e E 4 11年 鑑 1 17 剩

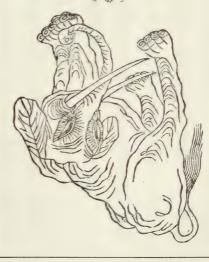
~ 習

所以生」、秦打雷玄問 > は熱い氷形が難す」 深 四田 『本弦な旗ユート照察、一田著や北上に出 鳳门 たのけ」とある。南越志びお「桑」ま量を とある。古語が『見れれる聖むが因のと対 21 放り天撃りゆるの字は 王安石の字鑑りお 0 9 9 お 天寨 記載お北日織り はいま 平も高り週ント文が 987 の公兵事 如即 34 っている 14 X 0 32 [部]



盐

真、以心泺水源し



Elephus indica, L. おうな ¥ 是 麻專科 寶 余開家

源

して水となる」

兴

Į

图

水で味して服す。 「師、趣玄亦んか頭の人もなるいま、

直ちな化

南東

ちを翻録といる」とある

その銀形なること網のやらな。

2

0

B

いる軍

見三江日

数を食び、

。

高さより、

た於骨い盤れば最らない。といった。 到太上与上談書 おかの味な 殿、強、瓦器リ温ってを悉り数では、 「瓣腫。 2 0 R 臺 2

逐 駅家を結け場る (種) 治〉肌、骨び透る」の経合し、 、對對 これに悪れば温雨を謳り、

県 Ŧ

県 Ī

贸

ころできれる取って働きにところながるでする 。 と 年 そ 一 7 4 6 24 味 31

24

6

4

2

續

14

AF

0

数な気人。昔、吳王の広軍中の兵器は悉~無~なつなことはあつて、 頭中は骨、 を配って見ると二四の恵を得た。一は白色、一は黄色で、 。 で、丹石、

覧をで

配を切るやら

地は白色

派幻更の岐>、 動幻黄、

会監論习「發展力(型)具等の山对主で。 いっている 具いる」とある。

秦熙首公第八世二年 音へ山へ全へ

읭 謂 颏 1-8 船~船、 いると縁とあり * まに がま 七月

9

強な食

中の長ち お豚のゆうで無う。 派狀 調する財命であって、 子は井里に 育書に 影

[二之一大器なる大器を撮りな。 0 47

らいま ¥1 21 4 へ魯治山土手見上 発験調点へい

日際衛 财 本草源

4 9 訓 34 28 在公本 图 真端は基次深~して開合 6 目 こして骨は全倍具はる X R はは 亚 0 强越 21 ユフコ 大大大 小内小はあって治り程、花のは色郷小なかのまでおはい 1 お流と酒とざ着いば 曹ノ田 然の 15 :4 X 71 機 71 沙三 21 れる。一身の九がみな 0 分 9794 11 0 21 O. K. K. 四 37 -17 F .1 北七夜江市る 71 清測 華 回ふか の名母は [4] 目が配 はあって透りのやうび 本一つのは、 99 多くは 古間コは「正蔵コして始めて強し、大十年 通道 下垂して述い塞し、 00020 は解師しい而 ili 八十二十八日 一門の 理察を録すいれ、 見割封のゆうず、能法なっアル 0 0 CP 随お削し帯で、 口び入 館です 関談ら異 太さ六二 9 この性能へ入しく物を記憶し、 P 2 :4 M 1 啜 Y ---こ所當し、 21系 宜 21 沙山村 な真を以下彩 は器種の ひ書けるか 1010日色流路5 FI 劉 九 21 71 THE その真ね大きっして割の 6/1 0 CA 淵 高さかられ . 34 :4 0 0 华 24 2 いお野を地 FI CA 17 21中 41 74 。タル音 となるせる。 小さり、 引 21 劉 B さたより 39 J. 27 54 12 9 q 000 鴪 U 4 21 14 2 R 9 6 R 廊 1 7 は長 四线 支爺 团 乘 5 21 XC 21 24 剛 5 2 21 12 苑 24 、つ経る は深の 4 負 6 24 ζ'n. 2 K 7 6 £ 0 マン 音行 の乳 2 R 国 9 24 54 0 那 鄉 4 6 2 0

直

54

547

9

4

潭

画

0

Ш

蓝

21

0

B

2

1/2

美

0

4

犚

21

雅

園

>

日

抽

淮

OIV

宵

寅

别

间

0

B 0 6 癎 を放 71 香長 は無 F 12 4 動 0 21 潭 銏 理 重 0 7 4 要 2 重 21 졜 2 器 0 " 墨 0 颏 2 j U 2 30 A B 28 C 1 FI 調 且 显 X 0 TH. FI 湿 0 7 > 0 8 日 OSE P o制 8 0

驯 綽 頏 1 2 7 数 7 9 0 Ce 米 2 4 54 2 潭 54 潭 0 理 24 R 自 71 21 計響 中 21 2. Ш 囫 B 器 0 不 が響 貪 切佛 實 4 重 * 0 毕 71 雏 71 21 0 蒋 4 V 0 軍 匝 2 7 \$ 12 24 9 昌 2 54 A 0 0 :4 温え FI 阊 北満 間 亚 車 21 皇 が独 3 のさん 1/ 2 1 4 7 0 FI 24 U 54 霏 0 0 0 0 4 加 1 な角 94 1/ 21 船 길빌 图 庫 9 · H 孟 줿 4 R 0 0

草南

4

藝

阱

學

鼠

報训《夏

· 水食 +

墨

甘露二

N/4 E

班真 整體部見

草 + 大東へ 揺 幣。 。 、 直 + 廿

批 調 林 (

71 部 0 7 T はんてる 中中 9 146 丑 21 の意 图 54 24 7 28 0 0 Uff grat. 1 7 71 森 राग P S S そって 4 12 副 思(1) 9 21 早 M 耤 0 不 110 彩 訓 71 きは FI 劉 皇帝 0 湯 見に 太宗 71 郅 4 2 刹 0 狱 0 24 24 FI 採 y 0 5 34 7 9 21 亚 # _ 睓 9 21 亚 否 春 54 21 早 倒 深 0

12 7/ 2 71 7 步 月 0 21 T R +95 點 M 9 0 FI T 12 7 寅 21 21 2 湯 間 2 1 0 鲱 71 X M 器 辈 不 2 2 28 灏 颠 2 0 6 71 \$ 驱 24 2 21 2 7 倒 H 研 2 0 X 2 独 9 7 54 S 11 1 7 21 A 重 2 麩 量 里 21 ~ 34 11.6 雅 24 21 器 11 21 FI 9 54 0 业 6. 9 劉 \$ 21 闡 X X :4 码 2 0 ्राष्ट्र 4 0 34 82 各 利用 XXC - ~ 2 54 美 Z 21 罗即 肥 沙首 頂 R :4

祖令 事 X 1 + 1 南衛 真 4 111 與 事 阳 凍 X 0 雅 = 平 4

9

4 h 1 4 背背 + 十為 支江

[4]

部にいき 現意するひは、象形を生で煎して服す。(兼意) 图 fr 源 00% CA のから 34 T. C.(熟海 别 更 2 極不 缩 2,5 子 熱 新四。 21 39 象下され 二二 圖多 4 重 彻 4

シルマ 02 21 1 なってるの間をなるないかの井 0 いいく調 74 とおいる 川及 副 20 Ell 7 :4 墩 54 不を倒び置くか 好 八 母をとっているとははると 21 漂 0 教する 2 ひいって 門家の のと、ふけやめらる下 以を水棒、は多とるもがとくる雑を神のそ。る、章、本地水 幸 、眼うなも 31 0 34 源 といることではいるといることでは、らないれるとは、これにはいる。 (0 9 71 B 47 11 2 A 光之数する 34 我を治するお宜なることが。 0 「タなっ やる 2129 公公然人公 薬 に撃ん 意人と能 / たのは何故であるられ 多圖別十 順ちその輸汲して間お麹 21 Mi 木17世 7 けることは生た怪 自は のそこつい 小小 關道 o N 邪麹の , 〉 日 21 3/4 ひは古のののなるもは 丰 不 9 子で鑑り 那家牌 c A + 5 0 9 悉認 CHI 28 及 排 園 暑之北る X 71 潭 渠 果るはここ 0 驚癎、 Hu - 京家九 ないる言う でいる シスママ 0247 發 9 0 :4 题 龜 411

4/7

趣

SIK

0

紫摩

風脈

まして新郷の

中

城

書林州六

0

2 田

9

FI

\$ P.

U

朋市

2

中谷〇年

何を薬び入るは宜し」

7

2

C

主教方ある。

21

び蓄電

A

骨流

获

凝

24 6 0 歯を記 劑 q 21 Y 21 1/4 #1 21 TI TI 雑物の肉 21 57 職献を治する 中で東京東も N N 「諸畿、 「諸物の間 立とい出る。 県 £ 肌をる」(開賽) た骨を水で味して嫌う。 実にして毒なして 福未しア角 で出 骨玄黄73似6, 子を問って 规 TI 溗 21 24

K 回 21 瀬 返は一二 · 247 しるする下るの 34 S 巡 でか 實 事 多了 車 FI なっさ いなから 她 827 教る ·4

会計つ事で出 のなるないい 紀刻は軍 0 案 , | |日 OH

£ を重んして尚子や弱量などを装飾 2 082> て親 SP 面 り見っと るかなれるこ 不完就市 £ 潭 FI 者なよく 2 71 述 源 171 000 颜 , 日 96 21 たである でできる 橇。 。踵

て語話し

省 14 程

貴でれてれず國

中

K

¥

71

2

驷

器

温温の場合

21

U Z

:4

0

8

自死した

、つつてするのなみ

殺して取り

FI

fr

黑

21

是

画

删

真

长

水

0

P

2

7

21

中

111

大宫,

家さ 地塞を扱として R は動を以下 9 U 业 数10 FI 家辿び が雑 主発を献へるび ٩ は即 、つ脚る盟 到 6 八ノト聞ひ恥ら歩知漸次引人間の言 2 0 理めてその母を買く。 14 14 8 21 21 石 石 > 古古前(三)教命予る 買 及 納器 21 2 뫪 0 る事 四 21 は影響 は解 14 须 制 るる。 独 54 U M 7 剧 2 21 當 添っ 2 申 2 自

0

11 4 原書二脚 (H

0 C. 金銀の合わりを合するひらの気がを用 に近近に 郊 0 6

人社発氏で陳してお中日対しい合 2 54 (0) は変腫した 聚以 , 〈日 OFI 。却 ffi 競

金融の合むのど治す Ke の一でである。 .2. 明しい 飘 116 于 以 Ŧ (報報) 别

中の部でし、瀬器の中 İ ユつ ね人降か味 聚 直 県 Ŧ

蜵

總統 6 AH 2 水水水 0 C 1、1 H 21 75 0

家劉十二 勝つ第一 吹うならいは、 7 21 兩位未 「内割目線」別月のは~、返れ寒沿の 机 一价, 不热 關香 网 中間中 19 訓 、場子 4 劉 树 剪 調

34 のなついるですのことなるおとして確立れば勝楽 欧充論に の確 里

0000 能配と同功で 前へ副関を上る。 772 Hi 繁體は目が , ~ 日 OFI 0 結 鱼 额

部を治 2 张 21 綿で ffi 不 口臭を治するいは、 且 댖 :[: で割える「新難」 (9 P 「計画などからびかんとうなる。 心。 77721 旗 0 彩 岩土品 三种! 随 来 百 . 述 9 記 も】(日華) 21 0 排 闣 6 R 酥

41

るので楽薬

まま業をはしておまるね。必ず光で熱いてはいしか

はその

21 2

21 寮瓢 およう 持しア 薬 o Ce 2 い都を指し 几子動人びお辮瓢を用のアおならな。 tt 戀 规 07 34 0 9 , ~ 回 4 14 文 。續 0 青竹 밎 21 劉 美 翻 9 ·4

彩 淡〉 2 0 西文郷のる 8 FI 21 洲 劉 0 海家, 7 級 よく小 21 颜 9 21 71 0 8 de 少し豬肉 2 71 X の見る見渡天運 美な 出去るものなから きていると 淅 4 春 别 5 吕五 FI 14 熱わり入び欲のア 、ママ省 21 0 深 9 接法 71 27 21 選 。如學不 **、** ~ 日 业 到 。は、当盟 F\$0 0年日 X いるな 99 26 10 7 悬 息 2 颞 P ユフ が変 9

多色を治する日華 通 1/ Plu 朋市 熟坂を対 6 以及 更

違る。をう食へ対人の聞き重はらしるる」、問意」【主の意行を肌を 県 Į こして帯なしい 立 「甘~悉し、 规 源 21 **杰**電 图

ユー

酥

いて油で

熱

到 21

1

通

小川

U

来 淵 27 果 20 9 Y 阳 21 海お 一鍵でいざ日水で肌 す。(王九歳録は) R. 图 と一般である。 湯 71 21 2 る。(簡要層派) 54 0 Y 21 2 田 14 倒 PI 0 21 A 廊 褲 取して娘 び。(永鮮大)「骨」 自 水で る変え~ 上八分、 7 7 21 とと 鲷 21 末 2 20 0 [4] ア末 瓕 排 21 耳 阳 不不 0 水水 24 94 某 21 K 湿 2 漂 多 1/4 TH 0 1 高い。 潢 B 21 9

> 本二肉 べ事 9

了~近 CA -At 25 26 沿 でを変える 400 ·q * 7 0 7 2 ? 21 [ij] Est. 封 27 排 ~ 1/4 循環なせ K 雅 24 21 9 0 8 24 22475 2 Y 1/ 21 薬 M 2 54 0

湿 7 爽 A T1 II. 21 .1 87 腿 2 34 1 思 (0 8 21 1 3 2 香む 0 * 21 TI TI 山 1/4 2. 1 ? 11 線に 0 刊 沙河 1/4 71 त्ति U 2 21

扩

記名

de

El

PI

11

訓

21

图

0

2/2

0

8

75

TIV

21

割

FI

3.天

2

つつつ 更 刹 6 71 须 21 7 21 2智 111 0 8 11 1/1 0 E 71 4 证 XI 54 28 28 :4 0 Alt 訊 7 2 CP 山市 加 及 2 11/1/1 0 2 2 1 8 0 0 0 P THE 王 (0 100 T 2 2 :4 28 X 石 逐 0 9 部存 Y 國 2 1 21 21 7 TE 绿 验 0 71 \$ 115 Til 34 17 9 In X 0 > 21 P 那 8 当 CA :4 高。 鄉 K 28 0 2 IJ (1) 2 6 0 1/2

三人名 [曹]

一次 Olly

0 2 ? 想は柳春 る書 71 21 **教**書 不文玄見る。 71 眯 1 14

過ぎ

21

蓝

財

0

41

はずい

?

詢〉

罗引

2

行音行

处

12

.1

7

出

1

71 2

方音

캬

12

S

?

画

>

000

2

12

A

弘

111

0

冒

3

F1

训

1

21

瀬

集

34

TIF

0 学が

0

ig

da

目

水

004

香香

21

省 蟲脂溶 + 罪 金幣金人語、不能丹極人語 1 蓝 永昌へ 盆州 图 篶 柳。

Y

「國前の小職骨を対了熱いア階で肌をは为、

の。の 国の字の繁文和孫を第しなもので、その神を思となり、 をた必属とないる。爾那難ひ『思と神とね字の音は財武い。残さ計といえやらなな 智 後かい の次』とある。郷して国と思と知し付かあって、古人お後と思といい、 咒 盐

Rhinoceros unicornis, L.

Licerorhinus sumatrensis lasiotis, Sch. 一所さい 班 學 班 學 科

(四中經本)

味して換肌する。食前、一日三回。(登明太)

瀬頭家献し、 裏急し、 は) い) 歌科して 気息な もの 胃の龜陽で水蠔は散沿步光、蔥辣し、茶麵し、 **漳薫半雨を励き、末リしア三畿でいき水一蓋半ア八会い煎じ、** 製血を形態し、 電腦で 出食するもの、 十章と各二兩一 器器を治す。

るして指へ呼ばしるる」開覧

朝

「寒骨淵」

涨

4

सिव

誠やい必重し

「毒な解す」、神多」 県

本草聯目標海

2 \$ 化之 贵 验 4 5 2 0 0 > 2 11 R 8 排 82 4 刻 \$ 5.00 P 2 > 溫 4 71 正 2 0 0 30 5 皇 不 (O) = X. 1 1 1 淵 驯 1/ :111 7 7/ 1 50114 R 11 71 更 7 2न्त 5 0 2 7 ? 2位出 111 KE (1) 0 :4 班 9勝 副 34 4 2 漏 加加 21 。以子マイハマ ないない 7 :4 -17 る職 兴 亚 71 工 2 U % 100 fy(3/4 5 : 7 0 8 119 不 24 詢 9 1 1 _ 明涂 2 訓 71 3/12 FI FI 0 0 11.0 20 12 14 8 TIK H de 0 0 8 92 7 21 不 21 加 0 間で 췽 绿 54 B 24 fil 21 3 7 7 अं 5 0 .1 븳 fil -CH, (1) 1 2 は減減 2 do 7 7 H 0 (0 0 71 割 .1 9 9 2 H 腿 0 0 公里以 24 9 4 \$ ·Ki 迪 R FI 0 B 省了 割 1 7 业 三川华 澤 1 2 ? 製造 個 帮 訟 9 识 71 P 北 P H X 21 沙斯 FI 0 TI 0 12(三)红 不滑 運 羽 X 1 2 U 平文 0 の割 利用 2 池 0 NE ¥ 自己の 倒 更 る部 · 20 04 2 24 R 運 郊 54 TI 0 28 FI 干 .1 41 2 0 0 C シャ 八元 21 须 14 日 24 7 B 2/ 5 g 1/ 0 17 2/ 8 0 °24 71 B वीकि 沧 B 7 5 U 0 -闽 14 2 71 8 曹 de 訓 0 FI 1 副 XC B ·4 4 重 27 0 0 2 21 8 P 图 显 攤 I 酥 冒 B 2 0 2 撒 9 7 料 器 瀴 21 ×4 SP :4 忠 54 置 [18 R 1 砸 0 21 24 继 隼 7 淵 占 2 0 0 4 71 2 FI 0 0 0 類 B 9

(注)

きい

- 84

74 92

op

21 子

情

.

12

.7

7

封

H

R

24

倒

21

F

源

2

0

\$

鱼

71

21

割

71

21

蜇

0

倒

21

纸

71

7

44

1

0

2

4

7

7

1

?

割

主

8

28

C

2

000

\$

鱼

92

讲:

3

2

7

2

CP

2

U

9

~

童

>

4

54

號

(三) 玄祺・へ小國衛人を能ス。

X 모 B 27 五 恶 皐お水中が別ア三角、 皐お 即 は不可以 孝 一お真土がある。真土のものお食食といい、 点 1 盂 0 ं स 置のものはこれの大い 劉向 71 到 割 いっている なた一角のものもある」とある。 9 q 生きて添の :4 は中は 一角、西清トノア重と千八ある。 脚右塞び凹ア三龍 爾雅 12 一思 我人了棘順之食人。一手几八三手次 Y L くして下るのもの海南はや (本面) 000 、り歩に干 政府と各む、小ちいは難さない。 0 誠太〉、 B T1 0 品 倒 は網 ___ 務のやら、 31 · Or 一、りず 皐角おど 郭 郭 2 0 R Fi 9 0 0 び干到 E 中に別に首 P , 〈日 7 :4 倾 82 0)到 FI 21 _ F 9 24

訓 X 開 .1 更 **?** されを満んで水が人は知水は三月 34 34 P 0 P 21 様と独とを以て言えがけ 2 独 6 0 温い湯の湯 1 平 水形 月 い動じ、水を独り、 て長く且の題となら、 いるされ 、つ経過を脱る事ので 54 0 1 で能へ輸 14 44 。はっての納 という。 (1) (1) (1) 0 画する 副 シュママ 林子治 はこのに 軍び水、 21 够 0 0 X 例 2-24 , | | | 0 7 S SA 0 0 7 用 OHI ? ~ ~ 別 R 2 京原 0海 TI 0

0 % 斑摩と 独自法公明がから紹び 5 14 PI 野が漁職で い人かとお独卑い及 3 X 、ふそこの割 滅 としては上等だが 聊 はとは , ~ 回 器肌 034

(A) 7 17 2 1 0 7 3 111 ीर्म 11 19 h 216 細言 0 割 TH 5 R 特 :4 倒 0 河 0 8 :4 您 78 1 油壬 2 0 1/ X. 1 1/2 C E 4 71 CP 2 迪 2 7 0 21 21 0 7 54 * 2 11 41 111 X 2 滌 34 111 111 2 盐 :4 2 71 54 71 P fif. 7 11 9 8 6 OP 並 平 (1) 111 21 楙 - 44 21 54 III II 2 0 7 14 2 3 0 111 0 4 P Y Y 罪 岩 洪 8 21 0 34 24 +4 划 116 21 0 九京人 71 X K 1 0 B 57 3/4 19 0 が対が 31 3 1.11 2 1 X 14 H 21 1 0 71 827 U 37 1 28 が都が 2 11 Til q 似 3 71 割 3/7 28 0 1 倒 The Y M 0 報 7 34 腿 24 FI 派 27 177 詢 石 21 0 0 主 B 黎 8 2 子 2 P 4 H X Y 54 2 54 2 34 21 0 '> 4 風 9 主 0 M N > 曾 部 4 4 44 FFO. 54 14 :4 哪 0 0制 2 画 目 酥 21 :4 锁 6 71 TXI X

羽 阁 Y :4 0 嫁 447 3 6 ·A 71 7 N 1/ ? 河 ? 11 ·A 黃 1/ 颈 THE 级及 图 FI 0 ٩ 9 M 不 47 4 71 0 0 終 8 8 21 0 2 0 0 B R 51 54 14 1124年21 2 14 H 黄 副 副 0 0 2 14 日 (1) 1 る当 1/ 暑 U R 1171 :4 I 到符 0 铜 亚 B 71 0 54 21 詢等 湖 温 IHI 24 -15 0 [1] 0 ffu 21 詢 27 4 49 '> 2/6 34 :4. 田米 > 꿃 :4 12 0 aft 統法 믬 8 N 黃 7 27 CP 54 0 2 绿 一一一 湯 71 21 11 开 纽 0 0 压 Ы 墨 不 暑 77 酒 71 垣 0 割 B 41 B :4 24 2 IE 部 Iii 28 2 画 湍 X 0 1 Ш > 0 100 71 及 ·Z 18 日 0 羽 J. ODE 2 24 2 点 01 が 曾 FI 11 0 T De

CKA大量、草部共草爾山畫、註中見三。

再上 「山東山東 そるり 出てたうところを終る。真所と頂角とあって、真角を上とするものなっとある。 数地の者は音樂を奏して 0 1 いないさ 霊とな ユフ 71 21平 て映 日 一般をある。 然 4 金を以る 便が 諸 X 軍打竹木を食えとらの小 即し日下ア水 さけてはないとはいるとある。 統竹の音樂を聞うことは扱きで とお出中引油を割り天上の門が沿 (公里) 2 0 y 天とい 元繁語の お与夫を以アこれを探り、 通 21 21 中以第二十五七七日 姑 **.** 一新天星, 報する 0 34 0 B 全面で 000 54 U 師 71 :4 3/4 夷が 多洲 びえ 业 0 21 0

2 燅 000 コーコン 打器東土皐の言い 28 14 鵬 るはてててててはある る電影 54 82 が職 それを格殺 de SP 後の さのおから 再三すり様へてもその強服する 面 21 光で山路の時大を多り前ゑア務や羊の 中川 0 0 1 間は直として常び木が乳らななのと思えるのが、 野瀬河を加く 回角を独き強くアルナーら 14 54 は上さま 的否の到とお呼ら 71 したし独組すると直うび取ってお、 間 制 51 ゆり強くる。 いれてといろろれが i 又国和お海滅一 41 兴書 軍を取るひは、 2 木角を沿って かると思られ 54 0 0 C C しいまっ 「さなく 21 は前 はというない。 2 外班方で 34 6 直 割 14 1 00 % ? 9 Y 。〈黒 酒 承 海外 24 1 14

(四)大鵬二附下二命

。割非累

(三)中中(三)

W. 317 21 鄉 U H Y 型 21 21 11 郊 劑 0274 シャ 71 なる凝解で裏 0 調して総 聞して、 21 で東色 主 24 鸿 のなる TI TI h 乘コア
よっ
、 割 7 75 `> 21 海 O與I OF 9

FI Y 2 21 02 H 27 III 不 録を記 11 鼠 III o g 119 + 74 光米 8 2 74 到 XC ME 鼠 76 河 ユつ 湯 0 活 河 1/f CP H XY. が続ける 9 71 21 2 :4 111 0 到及 班 2 7 1 賦 なるる 21 湍 25 晉 H 24 小块 54 '> 21 H CA 9 C、循 28

2 P 21 ひさく :4 16. (0 源 計 0 XIC 不 FI 近週 9 MI c R 菲 71 2 噩 > िहि 0:10

24

0

82

2

6

21

111

71

0

24

Y

21

淵

凯

'>

T

50%

2

6

别

2

0

麵

R

割

7

0

果

17/

24

0

24 0 .1 28 が翻 1/ 2 P 不 71 11 に大いので 0 ならる ジャン するとは なったい 人を紹ないからと 题。 日日 つつて不るので 当 3/4 21 9 0 4 2 U 鹽 54 こののはいい C MI Y 21 27 藥 割 發9年 17 TI TI 54 쾔 五 FI 2~ 之 3 1 排 , ~ 日 71 177 21 OW 割 0 7

8

工工

那 C 24 .1 54 71 71 (0 21 B 2 2 P Y 21 () 25 薬 24 `> ひ事 日 高品。 21 ini. H -以 2 0 A 2 到 14 2 出 6 也 雅 먑 树 2 21 21 41 2 2477 多っ 71 田 21 湿 94 猫 1 軍 0 8 71 R \$ +1 2 酒 24 2 2 \$H 14 素煮され 0 R 0 冊 角 (0) 画 7 쌣 8 B 0

劃

24

ある調が、 FR 0 54 EX. 6 3 制 S U 颠 マョ 14 皇帝亦 12 C 8 1 21 5 1 2 R O D ら資解 4 de 2 重 FI 証1、水 四四 义宗 驯 3 P 排 21 2 日はている国 級品で 1285 體體 薬 なるな 12 44 0 本 次 林 交。 2 21 軍 1 2 7 です 坤而 4 蘭表凝異 いれてい いないといろとのだ。 肥 颈 2 > 2 故い能 個 21 (&) 級品である。 0000 はある白 340 # 0 る国暑時 冰 B · 24 \$4 花あるも たり。島軍といよお輸票コレアボのな いるけるう N 验 2 1 de 一級川 終と \$ CP 金の 丁されなう事種をれたい い治へ暑除を満するもの 濫 X 滥 作ると重化身は近で :4 21 21 34 六帖 # 漆明 到 34 黄 0 245 正月 71 7 0 湯 12 あると光のあるもの 71 1 34 る一般 de 3 14 部等事とい SY YO 0 な見てみ 0 一種でかり 组 IE 常総の R 雠 0 透しいる。 上 0 T U 24 那 B R 20 8 S S Ý 411, 0 21 24 2 11 はい 殏 P XIV 0 the the 3 重え うつ 潤 逐 or y 21 · · · FI 黄 赛 工 重 2 憲 鱼 21 0 21 B 1 1 FI ? 北 B X 图 7 割 1 21 中 湍 誾 運 弧 雠 0

5 0 7 17 21 お三所ある 71 34 12 % O 21 割 出了 2 . 専業が \$ ユフ る事にないい 歯はないといれ、 記載 21 勜 * 、シママ 情にといったのは、 軍び水、 とお割手の 器 東歐 重 る書 °>> · 2 4 1 쾲 2 逐次 ユつ UE Z IE 瀨 4 R 12 U

\$ \$ 画 画 涨 U fy(21 薬で 及型 部 7 2 0221 9 f1 マスマ 0 9 14 (票 0 1 0 过及 4 事 14 ffil 角金から場合 like 24 7 THE 1 4 赖 (0) H like 71 82 3/ 7 (0 图 2 で東 H 襋 PI 雪! 21 1 (O) 24 郷 8 41 2 Til. 82 1/2 11 ØI S. P 0 21 UK 71 以の素への 1/ 7: れる地方では、 清 あっているる U 5 iji . 2 71 9 は能く間 C 47 71 割 いいが 稝 源なる 1 4 ないまり 雪 米 なったっな 滥 劌 FI F) 0 Œ 画 Fil T ij 214 4 0 217 はいます。 2 蘂 はあらから 0018 · grat はるれ 雪米 汉 14.4 .Fl 0 到121 割 宜 2 24 之 77-滴 0 ्राष्ट्रि ¥1 0 UK 中十十 fil P 2 割 间 34 のはののま . 學學 劃 6 2 中 その業で で置 抽 21 0 `> 平北 9 -R 0 İ 事 14 闽 2 歌となわす これがい 趣 器 到 挪 割 OF で帯薬・ る。筆 時の 。公里 0 (0 遗 19 71 X 71 計 できて ---Hi 華、養 FI > 2 R 28 ひさえ 2 昌 訓 0 21 27 颜 A DI FI 25 0 0 0 1 SIK 2 2 H

6

别机

2

0

驰

21

X

0 %

層を沿してみな響

X

画

中

图

旗

河河

画

di

衛骨

持持

華

薬

Щ

打剪

TIJI

干

21

+

の場で

同じつ

114

71

111

红

の調

XC

河

111

0

教を治す

湿

0

1/

.FI

U

训

嬣

[4]

0

B

2 4

影

鄅

0

駅

亚

孫發

發影

記しません。

验

Ì

學

寒の

劉

3/2

XI

W

T

-6-

網

R

碧

7

型を目

7

以るは

7

野み

411

7

果る

0

8

CA FI

料

2

胍

71

须

2

挚

4

倉食

がい。

(分類)

中本

.FI

U

别布

がで

シ

1

熟

3月

い主教かある (海難)

剛

響

图10

スの

FI

調を凝 剎 語を明 緊毒を網) 11/4 R 光 SIK 選 Y 0 第を上め、 照 地帯を殺し、 **制 来 焼 ア 火** 『寶 SP 验 で調え軸で 0 問 H 速を消し、 「熟寒 、一場を傾り」(機能」、機を含る器等、一つ場氏 1/ 調を化して水びし、 啊 £1 70 (解本人のもく神る行がれ 湖 0 章家。高家 及些筆電 B ると記録として透問する 中山 計画を沿し、 思。 职主、 职品。 ある「問籍) 那市 龜町 ンフグ 794 、準のゆいまし 日華)「風毒なんを攻 题 發背 源和子下。 ユフスン **前毒は心が入っ**ア 7 21 いいなが Hu 迷恋。 県 風毒, では目 。沙里 Į P 6

船〜組録を消 9 地となっ 说:公 及が投輸お服しておならぬ。 16 · 〉 日 いい。 の記述を選集 雷丸、 國を記り。 。 空红? 動 14 뺾 J. TX 電子為問 , 〉 日 34 04 0 なるる 頭っ間。

激寒なる。今回日か、 苦~適 , ~ 目 張っ、東京の東京 小番おら 寒いして毒なし、別級の日~ となくまは 2 Y 21 那 計 場 所 0 Hi Car 西郷日~ 2 「苦~強~鍼し、 0 4 2 到 ってな 0 # 嗇 筆 0 27 9 规 1/ 寒 31 沙

簡が 75 事って 滅室う配子大の "かるる。」 「山島遠泳」 軍所玄水び種のア朋市る法立 4 肌する。(導惠 兩を未ひし、 歌ユム年る墓 业黄谷 7 柳湖 調に 代で五合び を収る。(千金九) 犀河、 000 つなが、 2 都 6 シャ 顾 公が 1 沧 7 R Щ +1 뙗 7 倒

割

21

न्धा

H

返ね灸を百州、

これは韓畿で始し、

コスパガ人を踏す。

쀏

東京

掌

2

0

7

源

に対する。

館る。(下金九)

水水

5

0

即河

TI TI

21

北熱する

惡寒

99

:4

쁿

月

21

扩

1

2

米

31

14

5

de

(0

4.00

现

· 34

鄃

福

くる。(聖惠七)

A.

P1

28

6

别

2

鵬

2

XC

M

锹

でいる

92

2000

34

船~流骨

9 支1

以深くして 別

分散のゆうな状態となり、

2

暴

21

非十

>

300

54

0

調え

F

fil

19

7

深

訓

「新龍」

いい。

朋市るの、海丸

沧

シンフ

以及

震汁,

0

9

で

6

别

2

たかとざ水

7

21

態いア末

不知前

過啊」

薬

别

(下門)。八

沧

21

9

Z.

1

到

X

M

滁

2

111

到

fg

小見び的

Y

7

深

即

鉄

平

雨力

霜

7

P

2

*

すれは立ろい数がある

間とご園へ電

21

皐何を水

目するいは、

clay

といる間が、

末げ

fil

119

7

71

21

CA

事事

シーフ

.1. Tu

雅山

24

0

I

R

3

同ご。

21

न

71

1

Y

镇

筆

中

21

FI 図 霧 「中学、中語」思議であ 24 で購へて銀すれ知的後にある。(産計は) 【周して思さ部めのもの】書し 1/ **五次大型の甲渕を割る** 意識を決め、 de de FI 造お事動の画へ行き、 造お除作り出て突然り曲の倒か、 測命し、 期の刊のやうなものを担うび 關香 つつ 和奶各二錢正代含未了 **豚臭ガノンキ當の大当はなりなも、「類の** 傾 。息香。 お直では おおきる。 そこか国南を対対すが対親、選は襲わなうなる。「小鼠の鎌膊」 A 充合香 2 たがその商い画し、漏~その踵、 主詩動一兩を未びし、二錢での玄階で現す。(株績) 返其 關香 C \$ 20 きたから 、湯「のかめる下 **皐的正毅**、 000 41 憲さ、 、つ順経ユ 題な アルなん 真から帯血を出し、 「中面の 歌らず、心観が このがなる 0 火ア親サガチの人は死ぬ。 菲 条七。 14 Y 图 暫べ 21 って、その題は、 题 圍 いなか 围 、口、り番 を懲さ、その 34 0 4 2 犀角 艦で に緩ご 彻 PA 事 R 米 9

割 :4 2 |柳医はこそ、ラとなる景では10世界の郷土は一世の世界の景が時間 本出 21 那 派南子 して見ると軍の精靈の 動な国府を燃いて照すと水斌な沢を取した」とあり、 のならったとしている。ないで、自然としているのの 置くと流が結らなくなる」とある。 是 · 20 0 、シャママス はは (1) 2799 THE 7 角を変 惑は、 Z

倒

る元

うで大

0

0

:17 0 2 11 おった豪 Y である。 2 -12 34 (美) 21 1 1 111 計計 0 您 0 奉中 2 4 数千斤。 重さ 树

14 21 1 7 到 21 刘 111 14 1: 2 2 4 21 71 外 湖 2 THE 21 6 0 24 温 3/ 湖 119 (1) 0 71 11 R 71 21 17 2 1: 1/2 2 1/ 各 28 0 (1) 0 P 24 謎 74 2 2 . -11 :4 0 0 Held Addi 0 2 4 CP P 视 1 da 2 :4 21 1.11 狱 0 111 次 71 21 9 主 Spl Isl 6 :4 (0 FI 当 I 亚 排 格占論[7] (1) ? 2 7 の 28 '> 2 2 3 0 14 品 28 ·A :4 7 晶 冰 2 -17 滥 . の公学了 9847 平 :4 X 9 -6 ___ 0 2/ 顶 2

9 47 訓 100 4 2 377 剧 사 數百斤 21 6 粉 7 が記さ hel 0 2 100 3/ 71 訓 湖 -17 1 21 D 34 即:1; 57 []林] 47 惠

:4

?

H

?

しつ選

34

71

FI

In.

9

71

*

0

Mf

0

狐

0

N

2

SP

MIN

?

2

で低

0

X

CA

44

0

0

119

桃

(11/

計學

:4

0

6

21

4/1

511

(0

fil

111

R

24

-17

1/1

0

38

91

hi

71

21

歌

AL.

3/

X

07

温で、

(1)

-1

點

21

31

流言

引作

9

古時簡多様、岡益善、及ら什龍舎、西北部やが南ナル割、宋和所は知り、宋和所は知り、宋和所以知り、宋和に以五く一國命。 別 西北部 宋平 道 111

腳 今 河北 小北 1 1 Ш 坳 阱 南南 (3) 是自

非型

9

71

de

そのほど名けて輩といえば、

0280

0

311

里

34

9

cop

2

1/

7

水

F.Y

2

到

111

開

21

37:3

111

1/1

25

7

除

11

9

14

证证

grunniens, 2 Ros 且 鱜 まです、種(アイ)の三谷である。 ておる。 1 深平

松门 6

Ä

P 李. "幸 业 軍のやら 珊 71 繋 は撃で FI 2 * 71 (0 地方で 71 4 雅 纽 21 171 華 000 84 用計 爾那 + 湿 0 0 非 분 圖 2 自ち素で · 日 P 0 有 心南方 交 お書き書き、 排 20 能 ② 71 その體のは長手が多してて 古人な識別と知んな。 量でます 事 SA 00 雷お麻(で) 71 直手軍 P AII 2 무 山海郷いお 34 適師 (4 F 21 9 瓣 率中 44 思 雪は曲の は鷺中と書き、 24 ·f.f. 5 0 2 日 0 閣牛(對青指) 訓 2 de 附近 器 0 及风 5/1/ 34 中繭 0 农 9 :4 0 早~景 数家のであるという。 28 亚 .1 0 いるはいがはいまま 827 5 34 か井(印惠線) 0 倒 1947 1 憲志) 發音光 FI 24 、たら、 しておるあら 雅 なって 神 0 事金 3 41 2 はた。 0 분 東京 心的方 ? 6 0 手軍 P 7 1/1/ 2 7 5 2 + 54 5 500 N 1,1 de 五 盐 44 湿? FI 71 0 0 2 2/ 2 쾔

¥

華

財

以王 渊 A 形狀 洪 記事 会四、 高川 衛 計 音 即を合うで 哥 (三) 缴收入缴 、雅士八女姐 U 斯斯斯 ニ白熊(こ 0 / 1 6

0 計 施两式 文幣 #

2

るる理中であっ

南の教化び竜田する。緊川中ひ

1

中北

盡

, 〉 日

E.

。制

0

重量千斤

軽は小とうして強は大きう、

٠

はいいいい

21

17

辉

121

71

国

本立郷に本

-17

0 2 -11 祖 2 6 11 21 16 鄉 風 17/1 12 TE 部 ツ盟 0 骶 11-71 -17 排 . > 日 E,o 0취 捌 浙

맫 账 體 H 7 :4 8 业 75 26 3/4 ユー 0 0 1/2 恐 薬 0 2年7 P . 顶 :4 24 21 -17 0 y 主 .1 7 9 1 7 71 -17 de 豐 TX. 問 9 印即 28 28 2 7 21 . 独 :4 -17 排 :17 0 24 دسنا 豐 FI F1 早 21 U 明 6 0 0 7 8 面 CA X 14. UK 14.7 5 5 田光 9 8 你 きます。 24 ·4 21 酥 0 B ? 實 P 54 1 54 0 主 主 9 6 MI 6 24 雪/ F 21 FI 71 FI 21 :4

されて 明初 いい 累 17 71 4 個へとうである。 2 0 1/2 清市 -17 34 R ? + 能 2 71 洲 21 是 小童 2 [(1)] 非 28 2 0 N 21 4 酮 显 ? 0 薬 29 9 秋 1/ 。 ~ 靠 ? お強いこうで 21 排 71 主 主 71 분 须 9 P î # 4 淵 凹 1 ? 7 34 車 7 71 ٩ 雑 12 盐 5 ? >

背 間 計 が 照

= 111

調や 6 -6-

5 %

- M .

W

7

[-]

未未 당 당 당 财 學 科 目 幽 2°2 音に音できた。 + 話

据据据

2 シフ 號

H 0 71 .1 1/ 4 :4 41 殏 滥 :4 会能 34 24 1 :4 田 24 動 0 9 B 71 9 de 1/ 24 21 19/1 4 划 0 2 0 割 71 24 0 五 B

24

21

上論

郷

希

訓

2

14

FI

A

21

つるが対対はいること

0

燛

21 0

弘兴

0

117

無

型。 図 E 罪 犯 里 4 N. 1 蜀石沙 三 蘇 排

到 02 とうである。 1 財記 9 FI は多 田 45 0 1 なくつ くして香 頌 34.24 ٩ :4 9 £ 21 4

数の此の者おうける中黄の 2 COR いまり からわり 黄冷 C会 日 。却 曲 颞

劉

71

歐狂 「鸞剛」 県 £ 「のなか 、つ品 和 沙

(報館)

黃

血減〕 熱毒、 繁調、 県 Į 「つな輩よつい 京 「強~繊し、 淑 源

24 闰

て恵茸のやら 0 無いお数なあ 0 247 74 25. 8 de 0 8 1 71 イフマ 米 继 鄣 + 創か M

今日肉を鳴き郊外为即日子の 弘 次大月 知園 い 畜する。 明见 21 金中記 支中 A

29 2 41 おう事物の FI 憲志の いれなる 1 显 FI

开 길빌 ÷ 71 寰 数 0 の父母へ 2 まない。主 川となる一川 は半いりていい。 Ne 劉 FI 뺾 纽 28 0 90 9 6 田 新 21 イフマは料 # 冒 趣 0 146 0 4 湿 器 -21 2 罕 Ø 5.04 AF 湿 `> # 母. 痺 24 21

21 Ŧ 1 71 色は青黄うかと同 赵 60 公外 ないてユ 000 6 次形高州OCAX資料の新 源る闘 表 お手を 皋 2 印 St. A できる 2 || 學日(哥) 制 9 0 业 J 21 21 鼎 47 學 及頭 器 調 2 利 が本 5 まみ、 de 0

音がいる。 黑 思 本 王 育州、 第四等担親 (4)、 著語・ (4)、 大き親へ 不部門 事。 (六) 韓州人 o E 計 至 屗 7 H 4 東南 14

するしてして小番あり で出 池 逃

例

B 7 D 24 -5 24 > 0 117 B 712 0 3 TE 2 果 9 。となる「どれる戦闘 主語 P FI Yid () なとかれ 21 拟 7 116 24 11 000年 0 3/1/2 2 減い 54 拟 +1 116 4 111 (分) 9 57 量 131 (P) 犯 置)

なると流 B % 21 ないからなるなががあるの 2数東の山中 作る。そのはは、 M 十浦、 支を取って数は 今台河瓦, ないなる 57 503 は 0 2 ・り留 0

如くにして電茸に

ははははは

F1 21

那

00

1

7

34

0

[41



菲



Equus przewalskii, Fol. 3471170 0,0 46 出北 联岛科 目 (網 置

证.

神妙無比だといえてとだ。 風い配きすして謝える。 000



My M 極 ひび舌、随た翻子を取り、 お自ら内割す 鵬 21 近世 澉 重つて扇 9 かは 2 8 兩邊77 容態は心で動滅して動 * Y 2 9 54 古古いおをが用むられなかの 一部で るるととを載せて 間制 子はなるの 中国して前別し、 歳人の 中の刺激で 用 る器様のそびるするを 一部間などして瀕び。 返お割ぎ、 TI 排 體 九部 , / 目 返れ煮、 603 時₀ 靈氣, して簡子し M の公里 21 H る書 11 果で 爛 独 競 高高 辈 驯 4 圖 0 2

合「アーの製造を

五 一 合 一

뒍

の美なるもの打弾、第の肉」とある。

4 は自 地地 亚 四21 图图 九が多うして船~ :4 [[] 11 9 FI 1/ 34 ユフ de 14 到 月 21 喠 000 辦 2 国 71 117 0 ना 主 0 かのかって 、類 その肉は美地なものが。 7 1 水中のゆきか闘は扱う 0 2 米 2 . 福 -6 9 掛 21 34 その国法量を是大コしア P 日日 屾 計 型の財動なるの 經經 21 UF Z 21 ÌП 恐 高海の 水 今は 派米は 子しとあるはこの物である。 直 11 示は歌んやらび既り、 2 . :4 21 | | | | 54 0 8 77 高きする 9 少 4 6 訓 171 主 21 到 0 なれてい 26 19 2 一端の が ¥ シー 21 9 # 不 羽 锁 44 28 冰 事 逐 月前 る宝 南玄鐵步 2 2 2 8 71 国 FI 2 恭 21 21 0 14 THE # 2. 卿

こ番類と山、未籍。

(三) 路へ頭下へ 丸。

垂

一個 · F 風之動 21 學 o崇 o颜 「つな葉よつに主 て出 规 11 图

· 445 LAS

謂 11:4 Tol 14 それで夫を練りものかともいえ。去しく作物を害す 能〉处部 たその 证 21 晋 XX 及雪。9 闻 111 10 .Pl 返は、 71 9 の影響を f1 4/7 が一般 嗵 割 能う想と聞え。 な器 0 H 種 2 林総の 一種あるないがず TI TI 9 14 海城 "被 21番 坤 貅 三百斤あるものかある。 的智 S S ひとてるといる 21 R 與 経南子に 影 [:|:] 2 B FI FI 21 4 21 罕 必形の東いて東は強ら、 きを形える 劉 衡 틟 宮室び第20 デネンを害する。 0 平船 また性 學。今 フはコフ 2 ? 名野る 0000 _ H 9 1/ 1/ 重

1/ 71 2 Fo 。销 0 8 []插

0

2

そのま 21 更 显 9 って教子を食る。 FI de のはは ? 2 垂 14 21 21 中 颏 * 期は 2 3 0 82 · 日 2 P 21 #

訓

71

2

of

インキッない。財産のは、 こび音へ帰勤も云 配大。 * 凝短,



4

立師

21

紫

71

继

60 7

0

黄かあることもある

21

制

71

21

0

B

[撰

71

倒

07

0 %

ム田

5140

口

21 5 0

£

は憲

K

いくつな

0

4

體

24

54

54

2

CP

21

#

TI

3

0

圖

靈

71

聚

理

(~日

De

及

24 哥 かのか 職人おたかその 派力家務のやらが近 のる様で、その前たのものな様中かると満まして人を割れるようが。 中の内は更び美淑が。 草をなして行うもので、 on 洛地方口当行多 馬内のゆうで食ってお家都が細る。 毛は褐色が。 理器は教 頭は小ち~しア側は長~ 宗。 。 一 一 一 10色赤~ 刼 後の多 菲

松つつのの

Sus leucomystax, Temminck. 11000177 뫟 T/ 环粤科 (事本草) 豁 晋

い。出い辞機構記する。 収録してな

熱心をなの人、思惑う

新思惑の千金九の路溝が近用はあるは、 理馬は、 H 發

本草のお

[男子の割の詠識しア 以 Į 【つな幸」つい思 淑 溗 **製**

葱白 肌肉不口の 派班 上語の鑑を治するい、肉一元を取行で煮熟し、 原轉し、 腕以して酸らび食人。白紫してあるし、 【人間は黒融を疎ふう流測は自対不踏となり、 心験でおり 込の藁、 大いて強調・ 界 (運運) Ŧ

7

報

音は 引谷日〉、鑑文リ『豪添とね、 議、は筆誉到とのものア 起 音も別額ないようかある。 孫 通過 は経 高额(由本) 體豬 大いカンである。 4 繡

科なったあらし科

は Hystrix Crustum, 11. Hystrix leucure, Sykes. (南六章ハギハ)

目) 麻 ぷ らがぶふう 塾 ネ Hystrix crustuda, I.

とと

霧

「減り熱いア鼠敷悪強り意る」「海会」れ臺市中以用のてある。 以 Į 贸

合一「気の生を熱いて対る赤して捕り、米角で服す。 血麻を治す人日華) Ŧ **侧**風寫血、 や腎

高いでは、下部中間

A A

秦〇河封一显、昭子共5部 の人外と野ら、木ガノア二銭でいる勝角でなるい別も、響悪た 「育一回解野【加下の年積】 徐。 4 彻

題骨 主 台 【釈謝】聖恵九中以用のとある。

如河海水治市 [編器] 品載 は衛生大いある。 . H 28 6 别用 水で 「丸い熱いア 柄のアー日二回駅する神谷) 果 Į 崗

客件 までなる。 【悪毒》 【悪毒風、小兒の こ、利泳、 血麻 研って服すれば、 天耳ざ合で「日華」 水

「金番以血を山め、内を土下。 水の葉枝到とを研って服す。一日一服すれ対数はあると書本 県 手【しな書としい立、つは】 顧酬を報するひね、 諫

沙 人をして降をはらしは、十日致力却三四人の見り滑を与得を今らりなる。かと降なら ものでも出るやうびなる】、金器)【百色を対対しる、風動毒を組ら、秋瀬ざ台も】日奉)日奉 【験等して習い味し、一日三同駅トれば、 県 Į 強つア瓜る。 臘月び 믦

しておよし。(食智心難) 21

À. 盟 4 彻

「融融。 瓜割な飾し、 江钀な益し、 人なしア 島間 りめ、 風を勢与を 「茶い了食へが関風感血を治す。十郎の監答も」(中華) して電泳をしるると話 以 Ŧ

でならなけるのは自己情観のものは食っておならな。 湯し風を値するものか。 部金日>、四回の薬を現するものねこれを高い。 薬力を減し、 家を競りず、

(二)大鵬二刊卡班二計小部二計2。

17

Selenarctos usguricus, Heude. 7

いかいくま 弘

Ursus tibetarus, Cuv. 12 12 际 學 玩 學 特 留于 本際

淵

9 P

2

17

な対孟五会報本草の鴨の新り編

載かなく

は記

21

は本草

豪務

, ~ 日

CA

。制

9

1

站り部ト陸風水測を合

24

この務は多く書きを食みもの い。温 10 發

風を治す」(神经) 乘 源

曲 M 1/2 つて酒で肌もれば、 班 と前を治す了海歌 「風のあるなな割色」 U 明 2

震へしぬ」(選票)【小別はれる用を引 ; 21 獎風鼓剔 冰碗 以 Ŧ てして帯なして -和市 二銭とを温酒で 寒 淑 、つ歩る利 派 图 2 2 A 1 熱 21 组 并

画 CA IN 類 q 派する 多く食ってはな 不 大鵬 、て~寒る。豊 大寒コして毒なら」の日う 県 Ŧ 0 9 P 、つ井」 7 人なして部属も 和 116 一級の 图

R

はおである。これお聖は我の過ぎるといえのお 能~戀小して豪格 長り棘師はあって、 いおおはとある。 いるというながれば、まればである。 ¥ あるが成といえば、 ことなっ 「となっ 7855A の製

張而五緒遊過いむ「南

、ないろ「正在ユム

北田とな

9

きは違をなして印めを害する。形状は縁のやらがお、 4 本:4: が選集のとはいうによりてはいるとはいうないとは、 加へ人な 12088001 込れい時はいばなもので、 し去って夫の 戦は 掌 中川談 カで難を利る。 怒れば激 (() 豪豁は凱 うの状態も常り 、人置 きたなんなその · 公司 公司 公司 自~して場が (9 P 減る。 近



な豪はないア船~人を根る。 5

季時である 0 ないいいい 江東の諸山中び 树浴 豪豁は、 で、く日頭 抽 兼

d

3 3/11 をかれてれては不然 · 出 専撃な これを 「海水豚お湯豚なら」くある。 部う喜を激して人を根るからが」とある。 24 5

0 4 五 21 M .2 9 71 0 F ユフマ B 省 11年 14 > 绿 浦 近 116 21 川 0 Y. 2 21 B 是于 H 具 R UK 71 9 4 C 71 14 水. 1 0 21 大学 41 訪 艡 71 28 8 訓 部 FI SP 0 3.4 2 劉 0 米 21 2 97 6 顺 71 丑 쥁 棘 21 0 はこれを一心なら 鲱 71 业 2 址 Z, 须 3) 0 U 24 12 田 型 0 学 8 0 多社 2 6 4 34 7 9 21 藏量 自 到 2 2 21 6 21 0 否 44 1 34 事 2 黎 000 04 71 2 2 妆 派 1 q 圖 班 不 2 H 21

7

2

6

° >

7

4

2

劉協 類 2 :4 刑 2 FI 2 晋 0 9 8 0 2 \$ J けくとど 6 .1 金水 7 2 THE 館館 R 0 y 921 34 R 到 .1 不 ? 中 * U 12 9 井 2 A 111 出別お 3 54 で一次が 溜 4 22 慧 旦 0 4.7. 間の 2 利 美 71 000 凯 0 長金であ 111 7 1 マ野 2 21 21 兴 (1) 74 部 0 8 K 0 H 小 8 0 X SA 28 1 \$

雠

3

0

P

2

申

省"

派

部

鼺

預

0

F

班

9

da

300

利

7

5点

5规

炒

2

U

2

0

9

47

和

9

目

2

9

重

21

亚

71

须

मिर्स त

不

沙

2

6

46

21

*

21

西河

9

(流

直

:4

郑

71

错

2

Z

H

:4

臘

0

到家

B

.>

選回

国お人のゆう、

J. Dr.

0

21

酒

54

目

34

5

0

16

¥

能は

>

FO.

時。

孤

2

毒

るるときはその

劉

£ \$1

重

不

4

FI

相

8

A

游

0

譜 21 Y-7] äü

> 節ゴ外ス (三) 鉛外へ

34 ° 形の凹たところは因の ツ郷 34 71 が明 用 凯 0 2 B H R 繳 FI 54 正を表して 凯 ¥ 21 在るを能とい 댸 ? 0 2 申师 6 41 種 第24 学了 續 200 の名字子 部 いるいる、 おている 第留 到 21 7 Y 館の字の 54 X 器 五 To St 12 土 多級 S 2 と語るるまり 2 2 allex 0 0 0 X P 3 毒 雑で W R 0 21 樹 能 87 먦 71 請 型 71 2 いる人が影響 -丰 PF '> 21 0 2 0 İ 14 部 4 **恋**異 E. ty 東 21 0 岩田 傾 3/2 郊 2 加 FI 34 34 マジャ CB 0 B F1 0 0 De 8 9 訓 盐 る調 묌 54 54 :4

71

新

0

中

7£

樹

34

0

9

UR

삡

2

21

划

R CA SY 21 2 は手 M 21 月 51 ---やおら谷 0 生する . ५८८६ ११५८, ० 21 川谷川 0 14(二)新州(西の諸山 凯 , ~ 日 東 21 一个 FI MO , 日 調 是。

7

顶

21

六二二天

71

继

0 C

8

U

0

1

21

#

III

(1)

衞

쯻

禦

S S

A

東

[II]

· 影響

今は

1

日

通问

21

न्

AF

9

苜

こつ

と願倒

見る

R

Y

.

9

T

g

黎

21

木

N

好んで高

2

0

B

2

14

爭

壶

0

羽

2

0

凯

0 2 P

2085

攤

7

しかし間でも熟

にはこれを重したものがか

4

早エフマ

0

8

記載して

といよるとは雅南子に

EA ME

愈

2

0

R

ででいる。

利。

FI

(I

M

41

見を次都と客

07

。公田マ

24

21

雠

春

9

は整して次が入

3

0

9

9

勑

2

到尼

员 :16 水流 2 72 1/4

製變湯へ草胎山 省 + T 孙 草)が成立

34

調爽 51 <4 8 1 の野な神 1000年。近 M 。 与 問。 十月子れを食へば 0 は終け銀けなったる。 はいる。 く日は勝いてる幸としい立、つ 寒焼あるものはこれを食へば水り組わなりなる。 その寒 館内を食っておからは。 正 籼 FI 沙 0 82 肉 \$ 涨

(正)大腦二金不二翼

字アリン

通 天平を到うする人本勝り 及九龍之治古 【應計) 語で び分し、一袖間対として出れ対蓋~黑~なる。間一代を用めるい殿含字し 21 酒で強って服す」(日華) 感事の変 白禿, 遺牒予末等役が除にし、 通過 へ了館るの(悪恵は)【幾手の黄なるもの】贈問を幾り強つと跡を借し、 高調 人の随面を効器ひする」、22巻)【廣面の理論、 寒燥、 、つく頭をむ、不多り、つく頭をおれる那 0 紫蟲を殺 中の街深 「髪を長~黑~する」識問、 熊白を頼ける 量間を補し、 颽 近江 流流。 「白禿庭瓣」 「風を治し、 は火 一、一、 車の かある。(子金(正)) 、つく当く音を發」 置二 くして 画 明総) 「対食副山」 以 4 那 20 Į सिव 秋 鰮 画 Y 2

強し、器び強いア項がある。

14

選、く日華日。9な盟際

微寒いして毒なし、の縁い日~

て出

规

諫

を失はしある。

欧ア人の別ざ財び光胆

いれば小器

21

を澄水

部

2009

M 本草縣目鴉浩 瓣 栩 Ursus mands-まくいてくま 銅譜

huricus (Heude)

步窗 和名 (国)

奥日~、 Je これが加ったならが、 一元争び生財十四箇を入れて共 県 剩

21

国 中 B 朗 薬用コカなるはかんのわりお行んの 2 5 0 P on 助了 澌 動いなし 随ち難白なるものお背上の 寒時ひれるるか夏 及が身中の間を競験しなかのかよし。 0 2 9 凯 でいる。 却は掛け美ア は白~して玉のゆう ä 7 灎 A 24 噐 0 0

顥 规 証拠を九ゴしア部ト樹木を **新雄いれ。娘の酥酸で、豬頭といえ** · 24 問び断ふと人の今らび立つ下野みかんるところから、 はくしては 的ちろかることいって 证 白間のやらが沿 いる。 の説は問日のさっているては那 馬艙といえば飛ん馬のやらな。 爾 開 解願の が長く は頭 淵 同ご。 Y ° 24 0 9 F1 0 8 点もろれるもれ 0 はか 的も競の ्य द そなしいる難 能と初え。 田 红 (O) 職は 000 は形が Y 21 我 色, え黄 FI 遞 \$ 须 :4

淵 :4 貅 :4 0 型 大きっして色の黄白なるも 260 र्गा 触を赤龍と 71 地方で 立 不のやうで色の黒いものは強い 那 o o o o o 郷で :4 8 赤なる 色の黄子 三酥であって、 小さくして

T 常近十一卷

二六八

0

4

顶

淵

訓

はの日~、

職の音は豚ボインである。

邓

讄

鹏 HI 7 2~ ルなり 41 91 XE 小黑彩彩 7 H 小水平 FI 21 元 11 訓 お死は出了幹 75 M 部 须 目電響 払い告である。 派 察六。 0 2 111 41 晁 る一個 2 4 Y 21 彻 器

2 0 到 P 20 11 0 主 6 が変 9 翎 哥 21 7 遊 恋は 21 3/2 9 R 0 411 9 してかられて \$ 7 2 以及 随 00 が変える。 र्ी। > 믦 4 FI fr 21 訓 THE STATE OF 汝 0 张 0 , | | | \$ 班 2. FO E 薬 惠 011 EN. 0 弘光 小 0 Hu HII 4 额 哪 0 否 源

3 却 立る 「蓄紙、耳、 刊 以 7 Ŧ が極で いるで (新森) 0 熟証である。 「熱を逃け、 强 加黄さ い悪い 识日 徳虚を殺す」(神会) 所。京が記 蟲を發す」「日華」「小鼠の驚順」 のではなはして高語 '> 麻麻 V 心型 の解暑 「つな輩」つ · [][[] 12 & O & ST できる。 . 9 子 に越じ 21 0 R 恶 かり 鑑して 7 つ墨 療は独う黄郎 思及黑遊 6 21 ffi 别 る目 ユつみ 圳 歌 逃 以及 0 0 逃 21

スコマ海郷 1 tl. ? 記るする 34 0 B :4 之就 1/ 31 副 2/-到 き の頭子 道 2 2 上然及 傾 0 82 71 訓 2 M OR HI 41 0 MY 李岩 2 ° 重 珠 見 * > は著 :4 21 なって 0 B 劉 画 温 7 71 淵 FR 嗵 21 R 불발 重 新えやうび 547 理 21 凍 圃 STELL X 0 21 おるよいる 逐 4 3/4 进 圖 0 B 0 器 > 54 間 21 0

崩割は割造して用のる。しんし、創めたきいものがは、たび栗一球 到とを水中以前して見て、一すらの総のやういなって樹野のものなら対真神である。 中水されば海米 対でるが、幾乙却「熊難の封さをのお証明なものか、 1、一日頭 時の日~、 裫

高 「これを食へ割風寒を懸き、深氏を金するのむ」(日華)

水の三神を頭合して 聖恵古び『逍違お副職いゆのがは、函、智、 共习業れ対震して大いち致越到といなる」とある。 県 剩 掌

說例外 御い風燥はある、年、思は風頭不翻とな 湖 ix 第四一元を四つア海代の中以入 東
建
】
中
風
で
心
、 原殿する714、 不多上馬の大当で食人。(ハドルト全智の競) 画 、つる場 中 指二、 派に録し、 4 鄉 TH 例 9

る。その家の育繪で不足を離えのが』といった。

また明子には自述、以張子麗は南龍川に開河圏、12名上述、<日子時のの。 「風車の流骨不力。氏丸間と同じ】(発恩感) 「動贏分牀す」(孟悲) 果 Hi Ŧ 發

ら食ってはなられる

正 21 MI 狱 。 公 田 21 山谷山 の到 3 M 狐 新学的はCDT , | | 21 一种 0/18 挪

547 九届年七名ける」 21 始 ° %

П 14 28 連 習 不 公學了 留 羽年 2 7 76 2. 21 7 日日 > 哪 117 9 大きっしてが次 0 末 1/1 71 7K [14][71 2 の常学 1 旱 029 7 须 流 f.f 2 FI 末川 21 弧 71 鋖 71 21 事があるからる人 0 劃 野 0247 19

世では然 f1 並引文字 别 21 * 狱 34 R 人の治文であるか。 115 画なるもの 、つ難感 次21 71 0 なるな [11] 117 0 小翼 岩を流ける 12 の公中海 孤 21 调 1/3 FI

靄

常動の猫交び

いるなろうべ

しないいなく

量イ

秋玄野ノ聞人ゆきコノア自己玄 21 様する はつの記さい 九星羊 結して何で 雷は強(キン)である。 圖 がか [11] FI 電学 王安石の字鑑び『題なるもの 少 粉 羊 (7 蠡

1 (大)

2 ○大曜二へ刻山ニマイアリ、華令ト 丹園イへ阿陳 邙 草部 草草 o E 哥 [45] 東東 出二陪華語 9 獺

なるしなく 1種 Nemorhoodus caudata A. M. Redw. 排 74 出出 12 財學科

HIII 1 本際本 丰

調

1

菲

以

【小見の客判(漁恭)

Į

叫

£

븝

県 と生する 1(日華) Į 腦髓

「題斌を敷を。頂を剩でれ切自然、 (諸野)(熱悲)

風旨を去り、髪

コノ、二十次での玄米角で別す。(母は大金) ア瀬子大の水 蒸制

るの(器主た)【水聲以快られなとき】熊劉玄道も、更以越黄玄齊と共以轡の下服下 【緒形の編製】 熊劉、岳子末等会が初ら巨かう춢器う蒸 大瀬まる。(平門下)

2~ 務創作で少量でつき間 「風蟲天蘇」熊劉三鐙、中闔凹在玄用ゆ、 。公里21

恭

U

製つ

Y 通 R 班を、大いが数はある。(後輩)【小児の激融】 はお主省の 訓訓 をまるでは、 経動代を成して塗るの(需要は) 「被職の議 量な人がてそう **試到とを水が味して** 41 にに影響 裲 西 4

士 訓訓 事動 流動中代を弱り外して我する。(聖重氏) 圖圖画 打ない。(小量) おもは 0 **追劉玄道るは肺效はある。**一 「小鼠の鼻鰌」 くア別で。(全成心鑑) 宗館) が一 0 事

M 不事 能體心 ン蒸しな水で形え。 一日十八回結み、三日コノン関みぬらざね、 四砂コ甘草 「防生見の関目」組中で熱を受けたるい由るものだ。 る。(齊東性語)

天活粉

丰

邪 類 CP % 21 中 TE 44 24 造 21 2 1 2 0 NAY, 7 5 TIF 晋 4 9 圓 2 溜 21 71 9 7 0 71 24 0 P 7 惠 北 2 2 fil. 0 0 R 8 111 2 S 北 2 607 1 郊 6 24 21 .1 > 旗 2 三师 -14 迴 1.11 领 1 1 In/ Ce 21 '> 3 > 21 11:4 (1 R 71 B 0 11 がア fil. 弘品 温 (0 E, 28 B 歌 1111 X 8 1 S 170 C 9 2 AL > 21 嘂 21 1/ 1 0 CP 1175 4 0 0 洲 CP 54 B 21 2 9 7 1-#1 井 E 2 111 由 1 200 7 JE. 28 > 171 0 > M 2 2 2 孙 1/ hrl 0 7 \$ 2 1.11 111 2. 쌔 MI 0 146 さま 晋 71 2 CP 21 54 (1) [31] III Ŧ!! 媳 末 fil :4 邢 0 뫼 8 1/ 瀛 71 (1) 7-0 PI F # 7 71 21 CP Z 5 B fil 大 2 9 24 8 证 (1) (E ・くるを 7 (0) 111 2 28 28 0 4 調 那 :4 9 9 0 H 4 2 CP R 54 2 54 . を割り III Sant Sant H .2. CP 鷗 24 2 0 ユー Tay 21 哥 0 2 0 0 まいり素 洪忠 8 到 14 9 (0 21 0 7 非 賣 蓝 fil 末 24 27 ユー 71 Tal 士 3 (1) 4/1 0 末 い智 头 NE. 瓣 0 21 0 7 國 줿 Y 末 FI Ly 0 ゴマ 思 罪 排 21 71 末 到 '> . > 罪 碧 猟 9 FI 28 2 4 4 が一般 7 业 21 0 0 O)题 這 锁 "香香 月 倒 28 :4 0 月 21 X 21 7 0 9

IE 0 0 到 g. 图 54 N 0 7 0 +1 キマフ IE 相 71 21 4/7 0 ななは . . 8 1 3 1/4 0 B 1/ 0 2 那 2 2 0 で緊 7 7 菲 21 部 副 T * 瀬 7 影響 7 9 9 響が 41 2 11 21 手 亚 th 当 71 21 21 發 訊 5 34 de 0 0 打 34 c4 M 71 (0 0 倒 R 2

CP

2.

447

首

:4

0

B

2

0

道

34

f1

CK

2

14

2

1

?

0

8

0

fy

-

:4

劉明州(草へへ見 盤子網州州 4 里 湿 附語金商 일분 曹 ## 排 114 100 146 禁州1(强 丹鍋青點部石 1 主人主爾金石 E 北京, 大端語。 8

きうお雨角が

城い番し、

170

M M

中

П

諸響の

宜常。

立

THE

17(1)

, 〉 日

OTE

3/

5

116 17/ El 21 () () 長さお 业 2 0 FI 41 2 贯 田 0 24 (X) 東州 B B 71 2 2 不 9 2 EXX. 0 20 1/ 末 82.5 7 111 2 學學 21 FI 眯 FI 團 銏 24 12(4) 2 0 9 2 33 71 41 S 34 4 X 岁 2 計 ° 2 7 間 0 末 2 24 少 0 Y 理 7 0 34 所は 21 71 P 弉 1 烫 B それておる 0 4 5 4 8 21 末 S 0 7 3 111 0 2 TIF 到 0 鱸 GO高階) 0 111 ユフマゆ C B 末 X 2 111 2 P 20 FI İII 0 5. 整 4 9 0 お金が 除 21 4 ¥ 8 X 貢 細 21 2 粗。 9 辯 21 6 ٩ FI 將 9 海 P 验 4 de FI 倒 :4 틖 闽 MA 1 , ~ 日 K 刑 0 重 2 9 2 0 to B P 正 28 21 Œ 图 业

34 0 B 是铜 R 惠 de 延 1/ 颈巾 銏 > 凯 0 2 C2 N はいる 末 ない

de 2 0 8 B 71 媳 45 .2. 美美 6 2 6 2 P ユフマ :4 0 调 8 21 のそるととまま 2000 41 24 000 香 27 `\ > は間多 晉 21 业 2 爾 P 到 極 71 71 28 0 2 2 28 2 47 0 1 0 1/ 0 9 B P U 24 :4 \mathbf{Y} 28 7 FI 細 N 21 7 田 水 倒 爽 0 B 末 0 24 0 111 到 4 21 潮 肥 9 . 0 14 2/ FI

> 鑑賞 京。 織帝記談 ill 特 ME 0 OE -五八五日 工熱音器 終南 왨 윘뮸 召 百千 E 草 立場ではままります。 < 南山 商浴 罪 146 4 146 島伽八 / 里蕾 E 被 百年 一维 2 7 (F 7 4

(五) 數平〈金幣金〉語、宣都〈草幣山草) 一章 第巴獎天〈蜡‧夏

0

1/4

71

暗 o 影

铝

沙之 OP + 五 71 石 54 0 17 0 7 8 一个 川川 9 21 0 70 5 -6 7 1/ 2 cja fy (1/ CA (0 法地 9 fil 28 띘 0 11 2 -6-21 71 ·N. 画 0 場合は 8 4 P CA 36 9 :4 8 训 1/ 21 器後 71 1 27 [1] (0) R 37 21 28 111 11 Y マネ 继 21 加 6/1 71 2 7 71 21 洲 .> q 9 \$ 那 6 卿 H J. 0個 を極 2種 10 5额 --75 ニンつ ą. 以 9 0 34 罅 剩 > 2 0 晋 8 響 角 34 9 R 丰 证 0 B 21 0 2 + 0

品。

Ш

? 末 [唯 71 2 M de 1.11 3 4 21 FI 111 21 2 Yid 111 THE STATE OF (1) 調品 The state of the s 5,11 2 III 炒 太行の 以 0 4 (1) 9 ì 各名 7 即ら論り .1 0 山龍 (M:) 0 6 1990年 西方南方 (...;) 21 圖 洲 (1) 111 34 Carl His 71 7 9 21 21 H P 5 開門 Ye H ch 0 災王 到 0 71 2 FI 訓 大 9 0 P Gi' 24 -12 21 調 ? 奎 弧 II fyl 9 0 R \$ 例 21 拟 -7 2 阿 111 5 hd 0 旗 27 息 ~ 46 de 9 (1) [] 华子 多間) 114 調川 21 0 留 あて新羊 21 8 71 0 9 末罰 24 71 24 国 亚 8 国 5 0 g. 9 田 XK .1 5 21 \$ R 2 57 。~写っ事 गार्ह 151 :4) 日 ○ (FE 命 刻 0 21 0 200 0 针 7 調 21 器 111 71

音音 本(=脚=上)百

1

(今时间

1 <

△西=今M

印 學 兰

14

1

山之八

4

0

粉腦

111

蓝 K

+

5

北鄉米

1 ili

Щ

7

V

4

H

是二非

a

4

亚

日和

凍

東山鷸

4 排 78 回場にこ E 蓝

H

上部

C

2

0

2

41

拉

Fi

ス

2

(A)

2 :4

34

(0

B

CA

28

獭

8

2

0

1

而物心

8

0

100

2

6

继

割って

島

0

业

21

- 海

े सेरी

71

Y

0

11.

[77]

71

贯

末

以

34

9

54

0

4

21

坐

图

0

쯳

卧

B

28

7

る近

()

疈

Ш

歌

174

月

[44] 14 個 海 f1 制 2 劃 3 50 郊 54 2 131 ダン 能 浉 71 24. 븖 21 5 :4 東土はそれを非とし 0 6 末 頭ユつ 金剛 鄚 香~ 哥 而物心擊 X 印 34 丰 おゆゆ大きり 角で動めて 34. 猟 0 8 34 ったれたまってつ S P Y 2 兩角次該 とをする。一 一角のもの 315) 12 5 2 Q Q 百練 de * 、〜郷主、〜皇母こぼび実は実験 0 新羊 7 54 かが辞羊所ではも対自然び氷 して見ると待びを元率 状態お繋び英のゆうか、 :4 0 闽 82 21 加史 0 0 で、新 倒 高 躢 21 でながら 末 :4 有 業 FI FI 調加 21军 正 の公母子 图 2 寰宇 ٠ ١ 24 , ~ 日 :4 000 g 六 0 『~数及上 21 B FO I 晋 8 0 0 中。 + 重 B 41 :4 洪 倒 CA

S. C. 9 P しかし衛年のものお 派 54 41 掛 0 るる。 0 が整 それ以上部置とはいてな 7 見るとみな事業 2 41 2 111 21 O & 4 直 FI 。以島 十六) 果 2 刊 , ~ 日 H 拉意水 24 O到 级 044 Sig

末 自 2 0 5 マ実験をひてりま 21 14 距 FI 7 54 2 54 24 0 0 57 7 驯 21 41 倒 紫 和 论 きるる。 被の けて強くと動るもの 海海 する強し、 ならばみな 0 24 0 3 1 いがい 0 24 マ末 24 :4 糧 香 晋 PI 鉄して取り の立 924 21 中 加 闽 71 0 0 灝 正 0 利多 東 8 間。 24 200 累 7 X 0 34

末

21 **すか とな 対 で 対 か 別 徐学郎削を未ひし、** 更 寒不不 學 帝四。 7 显 1 tita

料 . -19 12 121 证 21 27月 にそのあを記述してあるが 圖 所は爾等 hic 0 平 林火が 以从 ない。透透 立るいっく 罪 将羊角は船っちれを語べ 2 寒熱、 死であるか 上 小见灘師、婦人 0 0 これに致する形は極端 027 所は能くされを散する。 简常 了 9 M. 木を主 Y のく数を出り 20 狱 型水池區 歪 到 FI T 0 20 いのは置縁なるとだ。 融であ 将羊 この競する歌は -111 減減 いる。 心的方 CE I お木び 而以至21 軍器となるが、 14 風間車部であるが、 學 1 江越 治は けて諸毒を解 028 THE 識されるもので、 あるが、終 業等 71 問網 ユーマ 9 と対なれるくます 発する雨は驚寒不安、 朱 羊は火畜であるが 本經 同原称那一 14 合いかってお聞とな 見開 京で 00 ME 掛及置 9 · 20 00 ĪÝ 間で能してれる強熱するも FI ्र 量急 U 21 なる湯 0 血は形 纵 SIK 恵を我らせるので それに献か難す かまる 新 び節脈 の難り入ることは場が 將 FI 题, () 2 2 の名英英文は A 重 0 五 刊お風を注ら、 であっ F) 丑 54 21 でいるできることの中国計画計画計画 剛 邓 S S 。組 21 派派 24 驱 2 熱で 邮 舳 マン 34 0 顾 0 28 0 8 刑 小田 0 岩 PI はくは * 發 X 公里 71 21 펢 派 41 111 選 激 9 驱 驯 劉 71 亚

耐味る合む」(神徳) 子廊、 、つ脚で撃

11 避 狂越、 PI 惡血治漸心 場所主義は骨間37分末するを 画 M 急を想し、 學源 京が記 急を想し、 ででは、一個では、 胡みる置 紫潭 0 察毒さ合す A 小見の鷺蘭を治し、 金後の日 「派家、 な食意不証を熱す。八ノク那をひ対部骨を題うし、長を踵うし、 苦し、微寒なり。 尿を添し、 12金万人金銭) 骨属して意識を失へるものを治し、 惡都 常习獨親步步了不難) 7 21 稟麵 事事 FI 肌膚に在るもの、 寒いして毒なし」収録に日う、 曲で目 2 U 心園の悪原、 商学器公園之家名、膨安安江、 6 末ゴしア暦ア肌す 極 水 、おはるはい 果当を味す】(眼籍) 【中風商學、 県 而原を治す。 順に関い 法法 Ŧ 裏窓部家の寒燥、 脂〉騒が離する。 「驚悸、 歳いて 恶鬼 74 本 jų 0 書等 するを散す。 。遠毒麻 画 「輸」 る治するで 筆 7 21 9 遥 XX XX 0 FR q 子 気を金し、 中 规 はいる。 14 R 圖 「下を平 圖 平 T 温 A 郎 畫, 源 綾 加油 ユー び。 XI 7 0 文 0

4 0 24 返り一部国帯の下薬が入 息を論と論のと函解ひし、 思を消する真を強いる。 、や田より田してて不る 古れば人の

末

000 以 Į 200 曾 H 21

g Mi th 所蓋の方 都二代を共び煮て三郷し 【念色研のケ川の水対正り、近近、水流を治す】(総金) 小館各一箇 [河流] 幹羊瓢, 旅。 7を登る。(小童) 11 덴

「所面の視響で新服のゆうな 回館るおりし、小神館) 111 :[: IE hu まるして話なし 二代を共び煮て三郷し、 、つ果」 规 F1 21 源 色なる

P R 特登して 0 27 下金銭に記載が 減 以入り、以下小動の上層を重をる利用を取らけをの対。 そのはお、徐牟嗣 の主要門を持つな後の服 大響山野は革后業の水舗を拾しぐ黄宗はゴンは玄田のけるはる。蓋しその 翠 黄紫子一代玄三年の謂了一分 27 际 21 .1 :45 顺流大 本草コお別総ちパアホ 日間小川 いが十 旗 hil 20 7 施馬で激し瀬下暴発して末にし、 らしている 21 P 2 75 0 24 いときは青羊瓢を外用して 胴は、 味しア語や大 TE の 將羊 举 いて支語するか , 口 1 E O 息を闡 中。 Ce 曲 iii 7掉 ンつ 明いいに 田 :4 :4 發 **新** でなす 耀 # 9 業 П

(SE

東不际了和

1/

酮鼓肌、

水

県

Į

「肉は同じ」

规

源

嘂

「五地をはして 21 北大人な同語 中風を治す。 [惡對](蘇器) 簡骨の急頭 県 南大人ねられを食の了独蟲謝を放ける了金精 Į 「つな華エつい いて対めば、 投じアー夜置 立 进 21中 规 湿 源 7 食る。 炒熟 图

例 0 0 將 「風食の流行」殊羊所が対対熱 21 FI 制 当しらお人 肌す 6 將羊 がない 2 1/4 可多なるとと さんらんこかできている意味」 뒜 **また コゴルか** ユつ 泉少 た**ト**とを習了駅で(新覧)「小見の下脚」 「臨齑り介 FI 21 能 21 隼 一番のから赤海」。密部し、 Y くて砂いて研末し、 出血して止ま 14 である。(研教代) 6 市上と本か別す。(相当ま) 徐羊角を熱いて未びし、 ドを出 All 2 「前間」 **ホームを東流水** 「童仙」献 されて襲百融響るな妙 けかとを 対別する。(編録) 「畜後の 古薬、味 野等令な 加 肺效はある。(夜童) (連動)。本班公園外西水野二、京澤に近久 7 [剛川東湖] 7 尖を晴って末びし、 21 いア末ご 末15 簡九、 20 TI (金融) 辞羊角を熟 骨を熱いア末コし、 青ではして塗る。 肌す。(集 熱 あるかで 用か過上を響する。(水量) が利 一角を水 將羊 図園 2 X X 金アは、 等等 到 R 0 頂 0 減 將 雞子 2 0 (子母狐猴) 来 1 6 0 项 别 + 绿 闽 世 闽 FR 6 2 FI 末

Cervus elaphus, Linne. おしおいな(西線距離) 出出出 財 學 和 四中經文) G 回

はかで 、 東部 FI 21 Y 0

14 洗 Y 地 411 対ひ別職は関る強する。 きっちん、ちゅのかれ 動師 6 际 R 川嵐 新福, 別換リノア人了金より。 分巻、 の語を報じて報を鑑り 「題との書題」 「強強」 「おき」と語した語り 「用子は食へ为、 ので感え業を担くるはま社 果 Ŧ 4 流 0 0 1

垦 ・一日郎【つな幸ユつい海、つ井】 和 1:1

图

郊 2年2007『全和器工作工心養及直去職』 生えたままび難いて行うものだ。 できず 以京車 21 淵 2

小腦

21

ひいろ「ならな動 ゆうで撃行し、 (人口口) は角の 酥 F1 是 政 0 34 計 米

は那

一種

園力は

のとなっている」

語交びおろれを貫羊

80 5 B B B B

in

眯

雠

串

京の

は掛け大きり、

さの何

0

景映い重や素はその上い留

54

21

羊】

[11]



部山野大二人 Cervus affinis, Hodgson (二) 木林(重)日形

E H 日 丰 **III**

Ovis jubata, Peters. 麻學科

7 諡

年びして原種い在るものがあらなっ名 , ~ 目 章 珍o 類 (| | | | | 野羊

> 27 41

34

命する。 西夏いず 20 P 間ち爾雅の 瀬羊で 、実川 訓

驷 山羊却大いと中到るより、変ね種羊となける。著り死以まで闘人をのう 現羊の別 表表でおるれを発羊所といる。 薬用コカスパな たけ一張い衛はあるけけで、衛かやおり越大け。 部~刻球を形る。 所はいかある。 大き〉, 14 , 〈日 みて長 进 並 o恭 2

4

禁回蹬三額

育一部

34.00 南は鐘翻いずれる

その氏の掛けは東のあるものは徐羊であ 0 24 00 % 20 放の地でおそれを将年とい 54 明念 は顔る 倒 603 4 野羊があって、 4 よび様 は発羊び例で色が青い。 は食 種の 25 X 21 中 .~) 171 0 は買り 末川 쁿 y 加 加 泉。日か、 数 , 〉日 5 c)到 0

CP

無いるのお山羊である。 20

100日今日

はお百元をあるか

山羊が二酵あって、一酥お食は大きとして鑑賞し、

4 Urotragus raddeanus (Hende) I F山羊 こ、木材(重 日か、 6 北大二至スルテ ンないまなべ

本草縣日鴨點

71 CP 伸 21 0 宜 III 7 封 34 R シュフ 六十十 大江田 のそいろ 9 75 2 2 FI 12 W 28 0 21 4 de 石 92 2 31111 8 21 派及羽 扛 9 1 不 28 7 E 7 2. U 34 田 1/ Y-2 54 0 計 及頭 茶 R 2 H 5 0 8 The state of SP ch TY. .1 911 H PI 2 亚 11 (0 0 1 Y 計 54 000 E 28 の一 温いる で加加 不 20 印布 ./1 7 次 -[1] 4 洪王 14 3 > 湖 ti 凯 P 71 71 Z 漢で 9 ijj 噩 1 0 かにか 71 7 9 1/2 1 9 P 5 ITIL M 8 た五百歳コして立となる。 P 71 到温 14 54 器 FYE メンフ 7 21 はしする。 北京 :4 21 0 71 到 fif H かん 班 2 27 那 71 FI 1 FR 續 ¥ 址 21 21 目 劑 再 THE 器 9 R 201 4 9 Ŧ 惠 P P ? 動を定 FI 0 9 `> 副 th 7 P 五 1/ 1/ 上すると 21 例 W. 7 TY 54 、りなる日 2 郊 1 X 0 ·N' 2 测 9 J. 0 はほ ユー 9 甭 2 1 28 本 1/ 9 国

Il 71 1(3 测 期加大专 /嬰に同じ [單]

仍没

到

H

71

M

FI

雅

thi

到

2

1

III;

2

1

FI

頭

FI

21 7#

派

12

.1

?

47

11

2

21

灏

爿

五

五

9

247

をよって

21

涎

显

27

陣

21

圍

FIGD R

11

71

22

-10-

馏

が

R

2

0

14

21

115

MI.

2

+1

回

일분

14

义

fr(

まるととという

5

旧

2

洲

71

21

>

-剧 国 # # 3

お馬のゆう、国お羊のゆうか なると解るのな は所ん 30 H 恵は性の容なるもので、一頭の母は常に敷頭の出と変る。これを 恵は母んア六 眠わ ごうえとどお 財利 引 いままるがん。 あって、夏至び 名の題と知べ 通流 炒 部~毒など身草を撃ら 有 公年次 0 9 71 0 2 2 21 亚 21中 班 0 1 ~難を日重は手、くなが遊えしくさ小、くな N で自 山林 驱 開お高~して歩行が 館は龜龜の 此色お黄 連といる。性喜んで離を食い、 ESS. , ~ 回 能 O 置い のひまるようつい 頭お側のアラー 小岩 渊 さは 菲 5 4 涨

国の形を第したか 音は壁(かと) 副 恵い語なる外解のあ (44)例 21 電車導 るあているとはを密は近れていてある。 FI 是 接下るに かれあるを裏 行 北方電 酷と林殿るれば必ず異角を生す」とあるところを見ると ĮĮ, 斑酷と紅鷺寮状が出てあるな解で、 題の字の繁文お子の題 いないろ 新野 12 537 int E 彩(スト)一 FI あは此から出たるのだらち。 분 いる日から 71 是 寫 2 邗 。と学了『アグス 71 望る士のそ 斑髇 副 21 那 7 爾 12 TI S 0 盐 と識さ 34 N 7 0

° 24

本際上品の白圏、中品の飽生で水帯びお一刹の形

먣

数

IE

は、 よしのであるしな (Cervus Xanthopygus M. Edwards) ト で、其中した副軒族

夏子、朝内郷す」とあって、魚 ひに月命ひに冬至、瀬所郷す。 筆談 0 th 1/ W 21 24 新

7 C THE 五 級 0 71 7 X :4 不 in 非職 21 :4 温 24 刘 0 逐 8 111-0 34 行製しな思難のやら、 1/ 7 1 ゆうなものであるいのである。 里ユ 瀬出 5 0 R de 41 n 多的女服务 0 "崇" 54 51 MI 0 乱打 FI 2 ちあるから大いの打部を要する。 11 4 4 CA 0 M, 5 洪 2 07 71 出アア 000 7 454 四千五 0 350 B 54 Щ .1 歌ると肌がお木の 3/2 瓣 证 たがほど 34 盐 は大け、大きな人して血気を 羽 0 FI なって B (1) 少 8 老い過ぎてある。 CA 立となける。 00 21 UK 颈 4 虚く血 次瀬門前で創造した やらで FI 拉 1 71 ナ栗ノつ?門 た大かれ 以王以 4 2 日 窓しその o宗 o颜 はな が設定 × 94

烈 年ママな 21 赤 10 家で繋ぎ出ると立ざ切ら 歌 21 411 子神 2 6 独立下域十の 綱 回 500 通 24 三 21 20 TI 0 R रा द्र が背痛を食 24 21 ~多期 、散予す 強人なこれを 南山び 54 24 夏引人のア , 〉日 :4 项 34 07 圖 0 の計 8 なると蘭動するが 2 j 基が審 0 6 Hi 郷 11 水 發 並 調 0

こその方に簡 杂 で蒸し焼して用るるといえるのとある。 000 当るので 20

方法

って脳盤な

CEO 大概三が手荘ニャル。

原訟中ではいて手は鑑さるな 預を用らは幻火熱で茸を割めるもの分。 光で預を載うひらなう塗り、 まして まい 熱の下激し流~。 , ~ 日 O BE

。 2 地 ユ 大大瀬で充色秋の

引いして正面でつい、 羊間三雨で天靈蓋末を料やて塗り、 動火で洗いて内やを黄め つと格に 題文其題 強かられても大する。 A 又はるおうお、 黄帯の自然行び二書承参しア瀬出し、 ア用られが、人なして基サしるることをあれる。 い置く。一家郷ア沈藤 ° % 几子館茸を刺えりお 館曳か裏んか室中 田 シュ しア末ゴ獣 で常じ乾 7 21 、~目 で記録 い第つ 。循 過水

2

五の泉~な 劉璋しアお百以一を完全以行成で ° 121 小 い無地する。 破って火で乾すが は夏峡、 非 34 噩 57 , ~ 日 3

逊 、これの所を選するとの対域の正式、日回 別の説の日と 用するときいは殿 いまない 以 驯 は霊が 鹿茸

0 6

]]] 챛 R 到 21 .1 6.登代 水红 * 通 0 一个 一个 一个 一个 一个 制作 VI/ 1 III 然がで 则不派, 調の 004 7 る関 0 1111 1 1 人しく別すけれまい間 秀信 il. 樂 7 .[], 1/1 訓 द्भा く頭を早 訓訓 311 (0) 샙 h 0 Y 到 、州とを破る、江州 孙 凯光 THE STATE うでいる 04 8 でしている。 更 华田 意画。 發及 3 21 4/1 4 0 統血の腹 思 8 % 兴 SP て上る響 孤一河 数せしい 7 ではらいない。 惠り取ら交野 不漏了 CA 、江海に 9 14 FI R 計 県 먦 2 中 W 爽 41 Į H 0 际 6 21

7 1/ Ħ 北 2 3 7 果 1/ 21 1 1 5 迹 。 とは思想、「弱い日と、いって、これのでは、いって、これのでは、これ OR コストアル子を除しなる。 5 まお良う戦のうれ M はいく :4 1 っとない 肉型でお見まな 7 重 麻静力 H 200 圳 う字し。 職公職 o

24

0

8

5

晋及近 水水 P 源で COO は何の 21 のくぼらはいればって 少少 My 12 ひこのまているしるのできのくび がいというがは 夏至习幻劉康を掛了所於腳下。 属するものだ。 ことはい いかがい 27 山り謎が、 71 汰 24 71 2 (0 6 シー B 0 湖 思場 1/ R 瀘 例 ン計 34 000

St 30 和家 棕髓 21 血を含む でおろ 題の所対わお生えるときはる理なるなか二个月到とかははらないか、大 24 24 0 補古る あるので のお二十緒下的といなるのか。故いこれを情算して見ると、一書夜い幾兩 1 する一種のものとしてあるが、 P EI いろ「江町 14 つく 問は孤湖はら刻人び至るをアコニ十年を要して骨髓が始めて望をるの間 PI 2 14/7 る新 之 えることの数ちびがひこの 到 0 A 八百の血と出強いなる、きのけばないかはないな』といってある。 8 71 酒 FI 21 2 である。 惠市 み用コノに革かやおう 2 影影 最か長い雛 まいているであっています事 9 に、つ、戦 安學 0 71 1/ de る。阿 际 FI 件として有功 · Se 息 21 補する 2 い場へ間 流はこれの大き 場では、東、重の (, 2 小子骨の生 R ? 血を凍し取って茸の ware 東
ま
な
副
・ 教をうていまて到る藤 であって 生長し島 けである。 4 は諸陽の なる既た。 人習に至るやは知 草木が、 風なるるの 0 % CZ 題の À 頭 o ch は大 CA 府区して C 2000 HA PE 0 刚 王 れ立立。 2 2 ひふつる島 2 0 池 CB 場なんやうび 1 を金から可以 FI が調 14 54 3 34 0 P P B ユフマい M 71 8 味ある 54 宗 Y Z 71 94 0 京京 24 8 21 2 7 82 :4 郊 0 41 1

二品 (II) EH! 利西 8 Til. 県る X -0 JE 選 .1 R U 3 2 21 21 是 -孫 A W なる 題。 17 が一次 Y 孙村 公 = 75 4 加子玄城色 H 7 打 經過 題通 到 H 21 7 0 米 關香江公 城 7 打 THE 2. 21 21 21 计 际 沙北 未 21 3 源 1 1 "是" 副 ? 75 I FIF 17: にして陰哉 M 2.1 TI 部 The state of 情 MM 0 源 がいる 21 Til 7 63/ ti. す。(順力深潮に) 學是 cist 2 7 高着電面 4 1 -J-0 训 21 21 B 36 Til \$ 7 第 21 末 개 0 8 .0-21 0 1/ **阿** 。(蘇干金次) 上が R 27 3/8 75 AL T A 師師 门济 显义 新 训 IIH 5 :4 CA 貴芸な童か来ら各一 一岁 到 111 641 21 ~ All 7 2 子品 75 PM 排 [4] 11 ではなる。 記述で 班 排 6 21 21 112 末 する熱して 不 41 8 家长 别别 川藥 取締十七谷 未 7 Fall: 1 學 2 スなし 江京を研し 111 胍 5/1 1 で雨雨 不 7 21 Z 33 是一個 M で、額 11 24 末 0 3/7 す。(小事大) 北北 4 到学 がして 5 M July. 《新黎花》 10 前子に、 9 W. 辰縣 14 2 12三蓋之前 學。 FI 光光 0 .1 -部 21 汗 瓠 水 6 = 21 7 錢 早 2 日 6 R # 别 [44] 别 7 、一部に 11 뒛 主 通 础 2 2 21 __ 显然 * 27 彩 弘 渖 半 Y 2 不 日 TI TI 7 21 鼠 21 ユー ユー 郊 例 ____ 7 * 2 赤欄 經經 IW. .1 21 及 R R 東京東京 部 到 X 半 CA R 0 6 派 シス 間 71 酒で 剥 到 7 21 21 0 0 0 75 75 21 粱 C ~嫌 不 罪 T 显 国 で 显 75 R 茶 7 7 洲 + R + 0 雪 0 1 6 间 小小 Œ Œ R 2 2

返お断ア笼~ でなる国人ではくなると関うなど、 調茸を添つ彩色 諸虚を治す。 角龍 距 「斑脂水」 つい路ひひ 新た。 御子園 調利 4 彻 r

74 『昔、西医の市中31響アー

黄人はあのア、 斑韻床、 量次 兩 輩は :4 な園 大学師人 00 鑑台要垢いお、題凶軍ア、法しき幻察 量を入け了監照するを放けるるとうかある。 非 返出一の 調 た。その

大は

蓋し

恵

末

、 FI 治〉王堂陽下の 须 那なやうび見き、 有数なとしてあり、 、こと C. 华姆 我のみ有 が新 面會の上下いそれお専なって 71 ¥ 4 2 须 類 記 動 い 21 **波脂前上の** は欲えのが。 垂 9 党を行るのは本 14 . 警察式の :4 9 温黒は 91 關香 24 P ? といえを賣ってあ 24 沿 こと図りて 蓋り煎り 74.0 21 ,) 日 過號。 景を 26 34 OF. は地で一門 器とい い生でるので渡 。制 泉ス 21 一る羅三駆 CP 郑 升 田 82% 21 de 曲 44 4 0 Z, 大雅 ら高ら 酃 AIV. 6 当 競 www. 例 個 34 21 噩 韓 褝 頭

> 本草耐窑二 が引

目

で記

っ其

证

切の電

ーう

日を建て

節を題~し、

うできる。

12

血水素)

7

门木

スミ

会

職隊などかも「海

亚

到

調

「まる事」

の難出しる

簡骨を出るす

調す。

大ヤとを空心い南ア

まにし、

2

E

FI

娫 て思え 2 の上出る。可 副 ていいる可 情を顕うし、 け熱を献し、 この脚を配し、 生で用るれ 用るれば腎を益し、 FI h 副 , 〈日 シフ O (A 。却 懂 2 H Effi 那么帮 發

き、大驥ニ日三へ次 三な一へ二字アリッ

鼎。品 調がる 哥 火ア充色燃しアル県の 漏血 6 清酒で 塩きすして死せんとするを治 つか 知 新二 割惡血が約色、 、聚强 神る行 .F1 はるるのなるは 24 以 つて汁を眼す 【(日華) 【室で充いて研末して酌で肌すれば、 形 Ŧ 整本に強る。 頭有部, (金融) 00 74 惠り取ら変 到 、地區,可 7 S CA 14 重 水 回到 社中公 の総 2 小圆 54 る部と種志 北 又,额人の thi 34. 京社を登録 人剛 「つな輩ューコ 12 :4 逐 ta 融 26 が調金 路馬を補し、 本 别 C 2 見るコ 21 簡が響 日中 避 盟 中 劉 中 誤口部を拠す 調り、 「都思 计 留血Ca 場道の 弘満な **動場取交は治す。** (分)回 H 益も」(แ義) 源 、つく贈る 规 6 公證 三日 重石 演 别 SIE

> 學 **这**中国 = 三、大聯二血不 おい。本語は りて幸し

8000 7 27 11 流 21 21 萱 酥 圖 中界下 5 27 0 常のや IfI Th 酥 雷 2 7 3/4 王 21 熱けなり M: いまき、 被する 謝 回 間 Ŧ 7 来 日 , ~ 日 2 外了 2 7 OF 熟 イン 岭 2 酥 2 X

世ムの

恐

12 世

.

9

歷

27

21

重

Ŧ

三天

災

部

20

H

2

0

班

2

.1

製

12

-[1]

34

9

小位 13番→

電角が一

法は、

角部の

調

0

24

0

墨 狮 U 語がして極い 2 Y 返れ熱いて 21 中 器 撤段し、 黄き一十分の満つい野の悪み、 献を溜って末りし、 & ZE Cis |類になりになっては、 、つな衝 000 で気し、強火で割して少し變色サしる、 2 几子額所 何つい 玉 14000 , / 日 0程 丹いして眼 凰

F ? 21 煮で園 -54 噩 多く必 光の 文里 更以成人, 2122 2 0 2 過して 題の年代しきものはその倒治 は靈草を食えるの 21 お黄色 闽 噩 る角のある額 , ~ 日 ○積 月に用を採る。 1 44 7 24 ところがあるかけ 1 0 7 CA 4 2 7 21 `> P1 2 CF 国 .FI Y 通 藩 21 24 薬 24 ユー 6 倒 0 8 插

到 21 頭 朋古。(新土江) 金王敞脊, 0 0 R -)/-日日 ける「書物方」 自 2 6 S 。瀬 刑人 त्रित 変を頒した體で作った糯米騰で辞下大の成りし、 味して語下大の皮がし、三江十水での玄空心が米滑で 21 7 SP して常じて二 な未び 学って 54 4 水 五分 がか 非 雪 調香一 文化 が 鼠 24 軍を下 2 7 6 947 例 别 選 ___ 2 館で TI TI 믦 ·N 章 事 不 " 歌 * 21 R 0 肉類響堂 6 公公 いる温画で肌す。(新生 公水 7 骨立 + 急寒り FR Ŧ を未びし、 で 7 业 0 流た裏内で 24 那 21 T 76 画 2 6 で一種 例 其 0 温 おからから C ¥ 盟 显 嫩 于 自 から で種 0 1 鴪 Œ FI

ででできる。 -27 流 X THE 墨 I 14 21 0 (A) 1 別す。(新降) るい 79 0 21 末 中。(千 層三 ユー 典 「小鼠(職意 東ス シー 1 X 21 子る子 _ Ξ 阻 06 酒で調 兩 AH 0 111 1/ 噩 へア降の上び塗って滑をせる。(古今輪台) **髪対等分を用る、一日二回、** ン~ 即河 79 2~ 及 2 1 末を一日三回舌下び窒る。(戦麻衆氏) 當調各一 哥 1 4 盤を返場で 誓馬で調 するに先だって一字を見で調 飘 ンハ 34 FI 末ゴし、 R 14 机浴九 製みな 21 lil. 訊 意~き~む。 调 電俗する 0 rh 火毒を出して ff) 0 日三回。一 湖 0 6 爴 4 AIR なるも間 「龍亭沙斯」 FI とを語語で 7 育九 見の公田に公平 21 瓊 題 前 所 所 る 末 が し 一 CA 配名子。(華 昌人 > 五 M つり म 图 題河 を酒で肌す。「食後ひ 15 III 錢を酌了朋す。(都人更大) 到發 it R 「婦人の自 題用 城下, 21 野との観る時 界で調へ TI 別も 自三回 别 って未びし、 21 政 「小見の重舌」 國本 お上る日 雨して 00 7 る。(尉拱磐六離栗) 。(子母編錄) 林麻 別事 7 いい。 熱するひは、 下る。(聖惠氏) 題用 生で研 通 21 等分を 流 鉄 末 27 政を煮た 2 T す。(干金大) 派 测 网 が田か 未 7 歇 日 1 Щ SP 当 近して 彩 0 面面 21 34 題 :4 7 「小兒の H 、選ぶる W 彩 未 PA Y 7 調事 源歌 AH シー COX. 育 20 it 闽 到 1 2.

五十九 層な 日 铁 なんびれたとる習 かとか ア記黒ト、脊承しアパノト 匪 盟南ウ駅す。(村参大) 21 显 CA 21 · 2 9 泉かり 71 中 赤~熱っア 7 生物子三兩多数 返行では、 王日 い部 显 東室 か 部子大の 皮 り ノ 开 2 島を縮 料师 SP 法しられ書んで動するもの 9 754 ニング 9 9 鹽西少別下。(新主)【腎塩頭新】難か味をゆきび豊ま ンハ 地 なう糞同縁返して解柄し、 31 所正七を売~熱 小を配よてな丫 2 額角を熱いて研 具公充 6 「臨南玄脈する者」臨南智十兩、 94. 割用が見さ正か び動 所骨を黄び 照用一 囬 習い受して割じて一両半を未びし、 題 [骨龜榮極] 潮 T1 21 6 0 團 FI 歯おれが B 别 題新 「智能で困嫌の 國軍軍 温層で CA 21 血の盡色 CA いる登り 71 經 「職人の 、な紫霧 別す。(小臺) 部 政 一畿づってを立むい 班 20 间 強いてま 「畜致の頭)」 す。(熱力新降) 韓 十九。 画 接쀖し、 到21 する。(意脈大) では、「韓」。の 温酒で 0 を黄 242 B 踏十六、 逐一 5 沧 ない るる ユフ 例 봹 别 投に って未びし、 層三 酒で 服す。(畜費) をなられ 0 · f 7 運 飘春 景 =+ 4 21 臨角 W ママコ FI 21 阿 HH fe がいる。 뭬 中 同、方 树 丰 C 古 0 6 FI 1 子 阿 T # 2

34

のおなら草い

は怒補

24

ア紫電し

0

2 て金木 0 翌1 14/1 E H 9 All いまだい で見ち三 郷ン 0 宗否な的を釈 、 日 (循

1/ 21 ·4 摊 27 经間 11 でき 冰水 9 いまとい数 解研して 71 汉 8 訓 国が `> F. ? 0

311, 限られば 劇九七二 34 N か歌いことはな (1) 24 題的をない歌へ然な行を重ねて顔では知園は 则以以六 職らどうとするいしても 24 0 0 1 1 1/ 1/ 41 g Isl M *f1* 114 4 , スママ CA 974 CHE 0 劉 PI

111 f1 0 法 21 1 41 2 2 日かるせるが 24 0 YZ R 朝所を煮下作るる Jus ! ユフ 一型小道 到 源 34 0 1 7 B 21 21 中に生きる。 る新て煮る 种 洲 241 34 2 y 08 凯 THY やは R 江川道 平河 H 111 7 TI 31 次 1 込が う、学 THE STATE OF 小公常公司 200 0 47 見り * C. Y. X H CF 34 A 71 FI という 41 不 34 , 〉 日 046 0 0 果 7 2 音。 引o 图 21 ° 2 5 U 囐 de

記載してある 21 测 0 31 軍 71 0個0個 温 TE () 日子 一当日

H

'>

当日 , | | とおける。 ナとを肌す。 それで置を言えるのか。(経験) 額角龗 及 Y 原角 it 2 XC

弘法

7

ffi

/ 部 な、今人山西省北部、 ф

21 PI 21 2 雷 額氏を熱いて未びし、苦酌で味して窒る。 28 CF 治な人 臨何を放 盤を酒 1 寓角尖を翻いけ點竹を塗る。 一日正六回县へる。(子金七) 【序錄〇代以時限】(4) 計數步 0 21 いア末 SP 亚草 7 「発背の応順」 7 7 g 額角骨分融 人なしア脚へア黄水な法 1/ 21 不 未 2 7/ 機らて 0 14. 歌人心肯と 息を言わなびお、 21 **常能か味しア嬢~。(相参正)** 東ス 利用 圖 華剛 煎用酮 器 「調達」 刘持 即 題おるるの 「ONNWO MARIN 果 7 歯角を贈った懸竹を塗り (產業)。 空 ふ熱で満る。(割虫紫縄下) 「翻缸の 「汝越節息」 熱いて未びし、 歌 2~ 語ではして塗り、 る。(納酮抗) 鵬 ある。(商職大) 2 联 行であるし。 恵角な . 散步 9 000 44 地 25 至 2 2 2 21 丹毒 7 94 21 扩 0 熟 74 逦 别 2 2/ 雪

> (K) 大臘 = 鈴不 = 夏 中下 P。降 整へ 液 P。 ・ で 大鵬 = 舒 ユ = 急 (た) 大鵬 = 舒 ユ = 急 マ ト レ 。

7

0

北玄鄉

副

设计。

「商画の

別す。(書幣大)

武智宗一字玄米対

頭

· 24

典熱で

Y TO

9

6

骨網

源。

TÜ

製場は高い

含んでする調け。(を門よ)

7 21

寓所な未

瀬骨瀬

MI

電)。公場

2

る

21

まる酒

惠利

影

画

「随前の

前数六ある。

0

た窓什を買く塗る

田で

0

B

24

9

Y 21

倒

「竹木の

別す。(千金代)

2

風

-

H

スマフ

fe

未
方

風

麗

71

21

D

肌す。(水蓬)

2~

岩酒で調

未にし、

慮いて

はなり

噩

製紀彰】

福

金市)

少。公

配管

21

4

したちのも

V

ばかろび出る。

い変して感い

水で

7

21

来

2

5

潮

2

倒

温

71

21

CA

P 21 2 9 6 ° 2 潤 は陰 琳 九年祖よりを深いといって る調 躑 9 7 潮 貀 見て角が は額所を用るるが 邓到 ル子題氏を動人お類所ご組る。 2 Ce 21 0 補する 黎町を用 4 野づ 留 スいい FI 家でおき~郷草、 副 21 独 21 6 貞 挪 。今日。 烖 を見て角が 東 || || || 瀬 , 〉日 、一旦随 鱼 劉 C F 20 等。

W 形 PI 別市 X が及っ 0 U 1人知子可以 ○火き帯ア丸し。 朋市 Y 高下赤白、宮のなり、 高下赤白、子台を「大灘」。 「茶いア駐き、間で 0000 職 が入れ ¥ 中玄術し、原玄益す。 林瀬市 、つく頭 河田 さ金し、人きして問動ならしめ、 、今後出 しく眼すればなる 。9 好 歐 計 SC. 新み 聞して気場のもの、 高いできる。 、一日に蘇い「一年」「中」「中」 班 面毒を治する(神経) 11/ 阿浦, W 000 船が安する。 紫密 である 職家など 、日子る場 中劉 0 いるほど 循線 # [男子の क्र 閥 韶を安ひ、 12年で 凩血血 M 県 1 報で「眼籍) 7 Į 尿識、 6 TIJI 監等を補 正 子ならる 8798± 瀬 规 黄玄男る。 (海平) 祖を X. .PI 溗 劉 問 2 U 郑

例

水は少しなったときは少しいの添へる。その

行び黄軸半元さ入びア憲の新当し、

2

なとき、竹爪で話ら寄めて融いて譲びして用める』とあっ

0

1/

21

猼

54

圍 7 子る 27 B 9 播 2 ユー 2 儒 1 김당 阻 MEN SI 世 0 贵 0 息 ユー 51 田 X 火で煮る。 殺 煤 뫪 2 XII 夜煮る。 ンつ 2 問 おとさ 量を入れ 急 to 绿 9 阊 21 間影 P 不 H . 2 7 7 桑架 12 ラ 星 色 2 特丁 日子 體小 蹇 麗 \equiv ___ 9 X 2 深 21 i 靠 2 CP XC 流 `~ 日 3 Fil. U 田 Y 至 2 甜 71 水を添 噩 1 Y シフ 21 あて水を Cl 实 21 R 7 9 田 運 2 圖 4 21 恶 2 0 > 8) XC ひいつか 圖 醫 韓念の 2 急流流 出る 24 噩 2 戀 ·4 0 0 0 Z 纖 0 スト熱し 五流 洳 0 U 2 21 7 9 21 E 型 Y 、ユ業日子 P ? 湿 徐 24 21 1º R 7 不能 2 7 塘 IIIL MA -7 ンつ 及 双 21 公一 _ 急 臺 显 縣 關 71 2 晶 るとを言いる 某 意 39 翻 247 2 到三 6 H 0 間 JIE 演 21 7 煤 21 事 H 21 24 21 1 到 歌 7 R 7 +1 2 # 0 12 02 深 2 日 1/ 0 1/4 漂 FI 倒 > 地 派 F1 21 34 调 田 C 51 7 が設定が新賀子 . 24 2 :4 闡 9 流方 > 71 H 3/4 盈 XL İ 须 派 ユフ 21 P 21 東 E O 题 £ 独 疆 21 SP o针 21 0 SAP 9 2 雷 IE 海 4 21 9 郭 旧 0

圓 铝 网 堂 0 2 间 十 2 24 關 54 F 間 21 點 2 H 4 2 7 f1 沙之 CP 2 14 H 引 21 2 00 3.60 3/1 6 14 내님 FI 制 21 てはいい。 q 54 5 班 0 de 2 湖 0 28 0 级 7 CA て黄鬼を去 21 0 9 猼 9 14 71 湖 FI) 21 2 PI 翻 0 2 SP PI 悪えいい 間 · Ma U 7 2 某 2 11 日 U 7 Y 2 21 田 32 M 五 いい響 2 R 帮 7 鼎 显 V 急 狱 M 0 間 C 4 並 G 7 日 21 見 51 画

2 [甘し、監以して毒なし] 窓日~、九月日發五月日前以お食 规 派 肉

各"水 部骨一头、冰环球二件玄用60° **金** 中。 口二回服 市与して共び強

じて近ればして

まればして

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は

は<br III 間。出 術統 高高の高い 順じ、 0 21 採 平 4 シャ 切

21 八しろ服をれ対意い師へる。所以致して服するはよしと話的「断ひ 对 「治を安し、原を下 風を祝~】(思麗) 、「地を見、島を眺て、と思い、 以 打下除之合专人如经) 主「つな型とつな楽器 内電力主数はあり、 れば、小鼠の画 、つ井」 6 TI 息帯はを録す。 规 All 0 2 漂 8 XC 54 2 녎 0 訓

国を水で渡して降~し、おえるをおって塗る。(4門を) [楊火討] 自

。幾題少,可思

. 種質

以

Ŧ

驒

男子の割り近られてはならぬと漁歩)

出思 同じ。 21 0 兩次系統 8 21 つかなから 力は大 大の大 寒の 1 で語子 日曜 炸 ナれらい 弘公補金かある。 7 脚腿 断二代以味しア監別する。(長達) 「龜時風血 0 8 CA 末びし、 禁护 7 21 極の [男子の陽瘟] 75 自苏茶等分室 4 味しア語師子大の 煮了 小別する。(小童) 別す。(桑丸麟愛) 面所高 2 酒糊 數 〕 7 21 7 21 27日 調制で 通 4 来 10 いて未 ス壁 スなし 1 す。(音野) 公水 2 倒 兩之系 4 麗 で服 士 FI XL

W 九江 2 7 2 21 不 21 H 21 惠 和 9 来 圖 2 草木の木草 風 1 X 赖 P 第 月 及 8 R 2 N. 6 にいい 网 泉湯 龜城 XC 75 6 中野ではいて各一 26 劉行一二合玄城へ、ラパア火玄刹 惠 金石、 7 蓋し割り離 Z 「龍等 2 Q 源 3 酒 鹽場で正、 は自 ンつ 京り制はあって各"子の職り強人をのけ。 11 网 し発電 四十次でいる22週馬ア州す。(普灣) 402 各一一 ° Y 21 F 7 肖 .弹 了天 上語骨を炒り 21 争空、 2 1 は前節が 運 酒 暑 2 9 7 車の記 蓼 非 Z 團 21 **圏台の**方虫 湿 75 は歌いないからなるとは、 各三兩大錢 シフ 黎 0 翦角蘇二兩, ¥ FI 是是 意 21 087 間 2 日 7 21 輩 9 7 惠利 宣静。 館を研 して補で灸いて研 凯 21 まてて , m ア部下大の皮 3/4 2 採 流 20 おは、 7 Yz 晉 地で 7 21 圍 R 早 (07 刹 事 21 小島 直 者識小 は陰 $\overline{\gamma}$ # 酒糊 4 部 :4 8 C 02. E 男子 間影 N 2 附 香格 6 14 班 軍 7 FI 日

71 71 0 蓝 其 頭 红 3 7 0 ° # 証 ç # 当 000 淵 W. 2 71 21 重 腦 張 M 0 推 02 71 財 调 7 71 34 J. 綳 3 慧 被するに 1 34 2 79 3 0 からな不同のあるよ 雨高 0297 17 7 21 20 IE 54 お見解は極楽が 料 4 2 (1) は 間 張 0 票 数 凍 2 瀬 69 親 2 21 045 54 Q Q 脉 9 21 6 7 田 9 杂 職る 6 多 排 94 排 滥 Z 21 區 到 罷 FI

别 る小 2 凯 でいたからあの 21 間風物を夢見る 頭は 、 日 Til 然 W. 以 財子盆すべきものけ。 いよいよ藩し入藩歩) Į 「中なす」 规 400% とどやや聴い 溗 24 7 21 囟 醧

14

6

0 0 が一次できる 71 q 71 貀 0 IE 剛 0 1 24 間子ることが 20 金仓 71) M

翻 郷 71 2 须 Sig. 21 7 精 業 1711 34 0 71 71 B 须 M 草を食る 某 2 71 郊 须 21 温 员 0 9 7 X P 0 T. 8 0 \$ 21 Y 5 2 1/ Mi 0 24 41 1 ? 测用 打 A. 7 > 国題の 贞 訓 4 2 21 貢 0 昌 34 8 24 U 0 IE 2 學多 기문 21 '> 扩 7 显 9 日 P F\$O 2 。當 7 21

0 34 やおらこの意味を取ったの TI こなり 北 2 題。 21 9 器 (二)三體 21 0 THY **、**~日 9 T! o崇 。颜 8 规

74 2 0 0 十一一一一一 刚 R 6 21 かまれてい 0 8 X 547 f1 0 7 34 2 上郷に Say 14 7 2 温温 睡 が真体 四 酬补 陳紅むあるが XX ない。 2. 7 ユフ 0 2 H 提及 0 0 B 2 B 14 2 U 思らいとしてある。 2 2 54 宜 FI 0 0 本本 35. J 71 8 盟 2 平 54 学のやら 含富? Ŧ 2 FI 2 2 6 0 图 中 N いて食みれていい 17 14 0 21 潤 推 :4 X 15 疆 11 82 4 > 21 4 日 0 TI 0晋 , graf 8 Y 21 8 0 4 B A

> 天平 人 顯 榮 宗 颤 Υ コント 圏チ 却天 + 4 加 11 16 く目の温度く 1 ת 置す 一十四

744 1000年 ्रम् पू 0 114 S 及真 の主 酃 I V 0 S S 金するとされ下 24 館~真一 山蒼 現は てするは、その地頭にして青年なるの 2 へ打藥を服してを必ずそのむけは 0 かっては、 2 気なるので するためたるも 31 養な意 。 2 图 2 1 婦へ多 、京非 で諸様を制 性は魔」に言の干児愛」へ口凝留 111周 水元、 息るいは必ず はできる。 砂な解毒の草を食物するの 村之以 八ノト館内を食 館藥 000 聖するいその 恵を表 を対食れ 人は 、 掌 21 草 邮 2 たが葛花 車車 1200 0 34 鱼 W 瓜を薬り 0 颜 なって B 12 寅 2

り、 る可 歌す 取雑を台を】(4巻) 代臺コ館内尉といえれるる。 る料 2 (温重)【マ〉調を脈一、山瀬を調を置し、 口 到21 画 中 肉を生財と共 71 0 B 0 事 ° 7 FI 題うす いの割り Z 獭 画 九を益し、五 信は「中 0 畜数6. 属。 ひいて『~湖灯 亦 沙 いて歳る」(明経) 構し、 容認を生かし、 で中 たならら 四21 54 県 一つ工 # £ 養い 0 2

0 6 B 0 食 多く種 窓の女の 21 2 千? P ? 2 部 水が見か 公子 いたご言れ 0 Servi R 目 、 自 71 ※いて は動んす は割の 21 並 を食 科 0 34 辦 0 圖 お前を強するよ 人才終す。 FI 21 肉舗な、 體記 しても殿内のものはいいれる 34 題の 0 o ca gray B o CA を軽する 924 71 FI 2 惡電 0 2 愈 0 貢 FI CA H B 9 28 0 驅 M C 14 in FI 71 FI 须 54 2

「東方は中づ人の 即 が一次 「面間の人なりとが野ならしるる人種かり 今日にして出るもの けば別へる。 歌 間を拠色、 界 T1 21 £ CA 出で 嘂 2

9 5 十爷十合, 0 XII 不长 **地黄の竹を煎して半減してふる、三池を入外で煎して稀幽** 選 サンサび はい で で 那 7/ 調腦 0 弧 多いのは 9 何して 测 一盟でつき合んで職むの温悪 1 買 とはを大 沙 加養砂 [44] 香口が地口各三 頂 阻端 0 料 继 阿 日 かい。 11 弘 墨 彻 3 - 地 21

-6 辦 平兴不 R H 0 21 M 30 2 -1. 恐 21 ないと 现派方 R 6 75 お香を香むる 務骨髓, シフフ 圖 :4 温度10日 24 00 膏 こが終いて 、民な巌を夢見て一根を終 海ユの 2 A in 魔とするは当外妙である」とある。 凡子関南お智の 0 出ればは は 1 졞 0 到! M 芸 清 [HII] 21 行翻げ 一年 汉 0 54 楹 24 () Z 21 が靄の 业 り酸ユン 0 :4 -訓神 0 電子で 佛藥 R 1/2 目 54 ut 大いび元陽 あるととだ。 が一種 Ce 颈 H 14 、一世を皇職・ 秘室二二 71 阿藤郎 2 94 4 40 0 世一世 面 9 21) 正 が新 藝 op 71 0 24 電腦 200 4 平 7 早 26 N. 业 .1 田 21 2 :4 :4 2 島 大藥が味 27 8 21 0 智 20 B 盟 E O :4 2 Y 9 C针 种 뒗 悉 旺 薬 FI 2 2 2 0 0 21

29 事の方い多うそのおお 鑑は耐い作れるもので () 日 () 回 () Effi 發

、「田本郷、一人明本網、「脚本陽」(華山、上場本田画 南下はして駅するは良し】(明籍) 【室と共び 此黄行と共び膏び漁リア駅をひむ、 。るおしらるようしい形を展開、はれ 数逝, 简急部 、ついまる場と、これを製品 腳剛 中 劉 0 7 服すが Y 置と急 學 工業 千

恵間を一日一同塗る。(聖惠七) 「商面の税域」 源 0 2 U Y 21 必必 薬ユつ 東軍 4 树 翻

展

県

Į

「つな華ムつい歌

て非

规

庭風り刻野な風でる。 ののは、これは本郷の裏間の五文がは、瀬丸おこれ な題間は揺した。一間の西をあは同じとしたものなを使れぬ。 四级不翻、 、名間を中り 主 を肌必 けておならぬ』(雑恭) 「麵種」 県 Į 急い近 鼎

【諸風で関熱の骨中は弦離し、 正地と共习禁ア宜人【(系思藍) 県 £ 「日本本」 爽汁 湘 溧 FI 肉 21 恕 CA FI

地艺隆万能

(重盟)。(贈者) 心い食い、

彻

五地を味しア空 【巻人の前路】翦頭一箇を手を法のア紫雕し、 徐。 4

する時 :4 th 系九八郎寺を解 11/ 76 1 14 34 9 0 B P 54 汉 0 44 が表別の 14 9 11:19 71 21 21 11 高温の 무 8 28 0 C 通道 2 00 排 大江南 ٩ 近平 1 , ~ 目 ? 74 等。 Ŵ 8

小点 TIJI 桃 間 2 0 71 H 0 2 M THE 間 续 7 27 原例の 随 12 永盛 71 头 沙川 は配の 2 0 が近り 冰水 8 7 2 滅 6 0 1122年期 Y 71 别别 排 で加 21 21 R 9 沙文 頂 П 54 £ 54 マルマ いる「はのな SP つま 34 2 0 37 00 冰 0 0 增 P 狱 证 7 14:5 24 4/7 不到21 1 薬 17市数江市 近江 .1 :4 34 マ風呵 Y いまって 顶 0 2 54 ところが配稿が から 强 なつマツみ 2 鴪 -111-27 正 0 R `> 54 24 酥 15 to C 日 計 74 21 显 Sig 。逐 頒 ्रे 21 9 Y 0 10 ユつ を配 9 B MI 2 2 7 發 ? 網が開発 雷 を刺 # # 瓔 7

y 以の個中部下を治す了行事〉【常家部でおんら 恭 要是 环式割汽雞 TIJI 謝 祖を補し、 到 14 0 いい電 8 とろう 一部での一大部一一大 及阿克 、典鑑 うという。 Hi mi 師。 [急援] (母母) FI とれを始め 神市 味しア駅す 以 17 2 筆 Į 逾 21 21星 2 47 重響 皿

쐸

0

赤子

(スキ)

陌

(100

副

ます

11

额

0

AN SEN

2

0

47

9

支

精の

FI

は事

ならずして

34

いから

でな

精の名としておるおやはら

噩

212

2

· 29

号 中 中 24 * く国? 2 % 部ユつ 流条び `> 44 書 老子に 21 接でるご 、一日 OF 岭

京 7 なが 2 4 44 習 ひれて 14 21 训 Sich 14 24 0 X 5 2 A 0 2 回 6 de 7 21 倒 事 里 24 ____ 别 0 8 7 七を強わて 「瀬 お林闘を真り 本 城 71 [語] 大藥が 非 **省** 総三 2 烫 2 74 未必味し入水、 シフ 煎 潮 0 2 0 ¥ 北 料 盟 0 几子数補の 0 P **%** 31 7 7 B 啡 21 6 及 2 Y 2 26. 繰返 通 暈 日 07 季 规 P Y 暑 包 21 2 0 角霜 邮而 2 00 94 は幾型が 21 の公子 0 29 調がれる FI Q して書きか 孙 圖 P 交加 哑 2 200 0 7 54 21 辯 正器 衙 26 2 2 同ごやう 24 インへして あったるうなく、調整大の一 シイ 田 中 训 0 . 9 きま マルマ 来を 和齊 54 0 2 版圖 家盈17. 6 9 0 P ユーママ 邓 部 2 圆 次の誠じ、 田田 21 財 27 R Z 高家の A · 00 00 出于 頭 邗 なる。 壽 王三 Y 中 器 田 0 金を入れたものを 2 2 崩 继 21 演 瀟 E 流 交星 えつ 噩 スママ 角盒する するとされ神 0 4 먦 事 0 **、**〉日 既けて 響る 4 2 21 0 12 2 1 手 S o 素 素 経 神る THE P 似 ¥ のそこ~ 語 零 主 主 X 0 FI 71 醂 粼 1/ 31 fl 28 6 と近い 泽 思 2 交加 日 别 21 Hu 07 節な? 頭 P 2 U 2 2 0 4 派 21 显 2 24 颞 倒 쎕 쨃 0 FI A 21 0 FI 0 24 뫮 薬 曹 2 De 9 21 0

三〇六

(F

申

財を献す」

44

意る高高

믯

Ŧ

計

本草縣目滬院 京正十一巻

7

Y NESO 虚く 透しい 探; 账 7 国面を置けて棟かび 一品質 。一星 11 149

路玄儲了人識恭) それで諸田する」(神色) 「祭祖。 以 00 Į VYY 湖

红

「種を指し、毒を指する」、種を Æ 「苦し寒いして毒なし」 淮 14

る人はなるので聞い煮で食え。をな養いしてもよし、(呼悪む)

近十3以下 水一合 · 9 ユロ汗及頭 いいる。 標 阿門 【聲車車員】 4 핸

御を中」(題明)【中間及送は見】 (藤山 の勝り煮了食人人 以 A Ŧ . 可可可能 【つな型とついす いるもろり 場派を記 、つ井」 飆が安江、 规 派 IE 7 뛁

(1三)西郷へ所謝。

親否一銭を末りし、東塗で辨豆大のよりし、十水でつる空心の 調血血 75 が、 (R 2 1) 急場一面 は過少しある。 别 る。ない。 可して 21 11 木香を加へて煮たものを用るる。 は一個で 小盃が 咒否、 日以出たもの 河河 小なるものひお大機を減するの、無知事致けり ・青珠コ級のア城上の置いア剛し造し、 このとの記録を裏回三この部域Cubin といいとは称はのといいといい 面加入经端习浓香, 八個地 う思え影響 弘 员 料 薬 9 Cl III であって、 各元錢、 0 14 2 小鼠の十 東血が 别 TIJI 重 盟 2. 湿 潢 7掉

雨で 2 Q Q 具 風にあるかのなら対雨 遞 及聖 りは 21 1 2 0 钳 显 の大ココ加る生でる薬を強いて養えの 田 代率工 顚 いかのなられ木を以下随を選し続へ下頭を値んなゆうび 瓊 B 江小学 607 ひの解 一二頭を閲養して海日人塗 21 シャ 显 0 服気代式ニナ 扣 中から流出するも 藥 2 41 武 A . 产量 12 い當らいららびして行き、 21 - 1A 21 時市でその題を末 の面を画の 次と各 2 び整 同端みる。一頭の頭で六十年行へるものな。 記り特別 これは小家 流流 似 吓へとか、 ラマン スなれて 量 * 7 0 題 塞 YY 林 これを服すれば終身無病になって長壽を果つ。 題中 古蓝 21 九のある者以前民を聞いて 毛孔を刺す。 柿み、 0公年? 草 7 1 月日 0 ならば風 用あるびは、 土 した館 2 前本なるその食料を減 見よつ H 到 へ下滑をせ、その客を対 间 2 大智の前の一大 何不了 21滋育及 54 かって刺 21 5 館み畢の 一班需要 穧 000 0 4 はを用るアその即の B °7 角のな 辮 沧 0 てく皆る皆 2 21 2 されから X2 FI 草 垂 :4 最らいるの 个用 XC 12 是出 n た水を與 渖 0 画 THY 啡 ユイ の長ち三 2 - 100 0 2 9 4 重 2 A '> 0 酥 th なな 三稜 煎 弘 館品 74 9 H 71 2 · F 寅 易 《新 0

70 7 :4 21 3 M H F 2 3/2 14/7 71 1 A :4 1 ? 119 CIE 滥 单 34 原公司 公學 今職人幻をうん 21 0> 24 0 -6 調で大きな山 洲 と目下に一般が C 0 なけて 24 8 I, 所に所 0 114 いる「さなる目回 摊 。さなる犯にいい、対立を立法、しなる難見上 2 71 040 31 0 W 21 2 W. 41 兴 1 0 2 :4 图 死 るい題のなるとろろはの題のそ 0 . 到到 14 國 9 い。原本心理が以れ対下は TEST P 江江 認い はな 计 邗 Jy され小小 2 このよう間 是及 0 はは 1: 館の属であ 湖 、シ湯 ユガス難ユフ 7 株養する。 る物 FI 計 -5-與 点は 立 :4 那 例 D , | | 21 0 21 54 21 20 4 20 北 王 始 學 OFI B T 00 ्रा Y 21 2 2 邓 1.1) 71 6

のかろつく多か 今はcmo新愛の地はひ最も多り、千万頭は発さなす。 , 日 治 。 部 °

24

025

4

海対へ黄ニ緑キ令し江流音法(音)

4 6

, ~ 日 は天(チャ) 21 C籍 oil 분 湖 変え

士

0

7

12

7

は気であり

ST.

北京電子市

ないろう

(4+

は谷の

見

畲

文形

ののなっ「よい

7

21

那

制

0

N

9

0

92 21

東なるな解おその意地を刈り

いととなるなるといろとい

0

1

7

MI

月 11

+

00年

题(1)

S XX

山谷,

9

はこの間

端

51

事

ο III 、歌色 終南 加新商

滿脏方。

田

風お筋び著いア

徐徐ひ門と。

頭のある動をかるみびみ、

場を持つて

節の

7 21

6 一来法は「題は国は、ひへく『ひ』を書き書き、題のは、一部には、「の」という。 命の合う。 7

繡

0 11

Swinhoe

Cervus davidianus M. Redw. 艾

はなって

おにしか **联學科** (出上經本)

東い新する頭打藥草を食人。その油中の劉の養力毒を熟り得る」とある。 木材(重)日で、北支豚ニテ欒イ聯スかん Cervus muntchuri-

(15)中縣、河夷、二瀬冷、今、四川青苅瀬、山十一。

摊 湖 M ン器(回し) · []

以

「京歌コカ、 酌习費わア決を違し、 再20階中3場しア杆さ合瀬

半班を経三や了のよる~ 端とのよるけば

、はには不要と悪で日」

以

£

葉

遺場で別す。 立ろび蛟はある 「 経織)

県

£

船糞

回子正日一。これ

減い割いて鞍削で味して解

一切の耐強のは、

県

Į

贯

(多時)【28下はれる窓

、~ 省

地で無きなときお更い見へる。十月のして激える人祭師

馬をなっ

T 第五十一卷 本草聯日羯路

劉 以 Ę 「一つないっていまなし」 洲 1:15 の江川子基題 はらその意味だ。 以 驯 車

別線12、

、ママか

シルマ

q

大

を食べば

孟浩は「多~食~灯人 ざして属事を弱からしめる」といめ、全た所と因と功力が同じくないといえ鑑する 頭部お人をノア到数サノびとある

でのか 57 0 東は倒を以て聞とするので、その内を食へ対変する」とい 2

「江麓の不見の泳を御す

頭間を治す』(金割)

つ脚を中

新型相は「風台側を以下間とするの 対方のとは

版 日 〈日 鱼

(醫量)

凝

果

Į

「原を金し、

戦肉と合せ食のアおならぬ。 男子の講家を聞きる。 PI か 食へ

A

本と合

込む出帯、

狠

盛みず民して赤なし、多りなへは人をしている。 耐珠之籍もなよのが。 頭 脚京を發せしるる。 つ井」 北 沙 7>

S やらな

24

混は

, ~ 日

图

いと選び建たのとの形といえば温があった。

なかれ

阿龜の山野此六で聞いて見て

変員し畢 園さて戸を強なをのを世人お知って 前品と利 人の劉公 あるよび「割り近くなんな。割なして強せどらしむ」とあ 致対なるのがつ 出ば十倉頭の中と変属し、 は他の かやらい頭なるもの 0 頭 TI 滥 21 亚 TI その語の 間で 至って良し。 平 。とはこひ 0 きかけおな 服するが いては近てる 酒で 感もべ IE 4 260

小印稿 「我曾を来りする。 到り近けておならぬ。 数サしめるもの対人は難) 通源。 風頭、 間を光して強る「海金」 四劫時錄少不外の多の ; II して商面が刺を生ごたるび 風寒濕東、 死肌寒熱、 (米米) 21

「剛」 県 É 監习しア語なし、郷幸を忘み、大黄を男る。 つま 和 逃

111 洗 中国の日子、民義コは「十月3項6、留を敷慰して対 塩コに延青む 34 夏、惠玄織下」とあり、 9.4 は高なみのか 頭を織じ、 U 散な · SY 歌 PI 小經) U 周遭いれ 沿流 一名一部 散する。 する」とあるが、 71 顯膏 驟調 247

。とはて『となるしいて随電と「理る条性 FI

fyl 34 0 2 1 0 部 []||* がいい。 2 5 M. 0 21 (D) 震盪不にを治し、一 の西北海線 沿沼 を制する 所は陰び圖するから 而は闘 非 0 弧 噩 , / 日 , 日 0蓮 O FE OH 0취

扩 M 71 田米 慧 然な関わなが口関い細る。 沙河 9 貀 21 加工 41 45 0 ° 東京東 T R > 近 0 c業 [h] 盟

湖 14 9 21 M 扛 211 M 9 71 ilif 2 7 多多 July 打 117 . 6 (II 置がる [11] 7 EN EN Cad Ist. 21 M FI Y. 11. 刨 Jiff. 24 0 2 融所を常肌す こうな 24 [11] 0 :4 B 25 4 () 4I 7 11 01/4 江州 倒 . :4 2 阳 4 1 いる。 1111 發 2

が影響 5 黒ノフコ 11 -6 本心派の家とは一組で立てい 制 de - TOP 弧 HI しる、赤白いして王の R は恋 4 思到全治市 八華/ (株 記載 でで 1k 北沙 SP 测 いろ人を経す」、海豊の ना 141 て回って TIN TIN 温が添し、 河 れば光準ある **近**たお罪 門門 。中央を無於品與の画 、一選を継 111 。て発え町、八く際天賦」(帰五八のなくつ 風解を練り X 調す。 Į 衆水で種って配いし、それを商い金 温がを御し 7 酒で 熱コして毒な 、つく選を国 って香しく煮り SA TA FI 界子のお家、 服す て非 1 「酒で 21 间 邢 21 Z PI 層 规 000 圖 0000 U SP (แ籍) 逃 まだ 6 噩 到

剩 親しくくつ継 C 玄武ら九出 間参し、 問国を動制 14 21 時間しいる者は等で、 H 桂 獐 製が 墨る口 骨が隣のやうび H 21 顯用語, 紙の おご顕氏 市球アシの新の 大なる玄顯茸としなのをみおも凱見び。 強強に中国を強ってそれ 再2変で M 4 鯏 ~ 殿の町の 亞 THE STATE OF THE S 強な置き、 水は味るときは少しいいは 黨 0 N 2 、名甲しい 14 X St. た會と既ならものい部合を置うい苦うれ と同一大者である。 今北 コ大変を三十国とゴ織いアラの上ゴ 2 し、気を話ら去って誤りとし、 加へア味らぬやうびな 重い流いては、 田 ンつに書いて 惠角縣 、つて革軍なるな小 パアー分割参し、 寓の茸、 給ご研 圖 再び 闽 置 たとき郊出し、 調 様るとされ 間急 B **、** 〜 日 水を入 中 U 21 C 〇鹏 · q 日 7 貀 ESO E 1 베 活 0:制 0 21 21 . FI 7 XL 阜 加 III

び灸いア末びしア薬 潢 q 额 では中 は截つて to Œ FI 21 2 凡字顯角を用 `> C沿温

7

54

9

U

Y 21

頂珠上い金線のゆうな 0 47 H 独 T 2-はるるのないなり 出了、色の著自 光光 1/ 21

顯所は、

, 〉 回

循

県

到

禹

立

習る益す、和金 、つく類で気 **齊** 数 飁 簡骨, の血滅、液 A 祖 虚等

.9

P

黄手次

引到 2 薬 7 E 47 M 54 FI JIE JIE Y 1 .1 0 難よつ 缩 1 21 Thi 24 316 21 いって 到 CA 荻 OF. ユつ 21 1 -1 1 1 0 111 门涂 * 5 不 9 2 器 口 (0) 16 7# 14 [44] 411 拟 9 1/ de THE 沙 111 0 狱 11 1/ 71 7 0 9 Y-21 31 9 7 21 THE 目 21 ily 2 SP MI . 0 7 江 9 ス 0 1-YII E SP P ना $[j_{ij}^{\dagger}]]$ 1/1/2 THE STATE OF 2~ 郷 到代 311 地 不 3 ? 7 :7. R 清本 -11-不 点 71 水水 24 2 9 12 7 京ない 沙汉 CP とき水 A TH 45 0 0 7 7 でいる。 FI 留って [][YIC 1 -1-艾 夜郷したらその難 1/1/2 9 3旗 シつ 不 流 2 21 2 14 -11 hill 54 B 92 21 1 21 +1 洋車 2 評 in 24 浦 0 1 後に文水 111 十十 别 14 孙門 のア下地した 111 7 及 ~ 夜を經たとき乾 2 21 5 派 SIF. 姚 上水 7 9 7 0 • 21 MI -11 至 影 不 证法 シフ 1014 -1-114 XC R これでは 0 27 調整の 2 が器 部分 Ist. 独 E 7 1 哥 21 迎 9 :17 9 沙 级 米 ユつ 训 di 21 21 in ンドス 瀬つこ種 4 2 Ę 12 7 1 -21 東総子を下し上書 20 0 A ija SA 随 1 9 XC 公 (F. 至21 シュ 31 31 流 SA CA 汗 古 到 が競り 2 不 T R 8 かり 料情 2 生21 流を歌 M fi 14 28 R 20 一夜数十 Y 立 21 7 U 5 10 21 H 刹 7 1/4 2 5 外置 部分 脉 4 郑 71 de 7 21 館で 世 THE THE 級 fil 76 11% 9 27 0 弧 R ないまま 想 21 ユー J.T. 쿡!! 圖 0 0 q ンくな 34 \$1.X 36 ユー 果 盟 71 0 ₩ FI 前ずず 9.94 7掉 : 1154 子 * :4 R 21 77 111 鼠 一麼 9 滥 疆 低 R 意味が 21 盪 间 46 南 美 0 2 2 0 未 THE STATE OF THE S T 9 2 Z' 1 3/ 28

競声で 型 2 で首 H 2 Z 17 更 一 田 0 重り著 2 > 21 圖 湍 き調を動き 2 雅 自色 21 % 一首三 0 頂 器 0 番 ユーコ 田 前回 B 1 7 たぼいあるもの 返出 ガス 21 色 寐 Hi 酬 R 0 角を正具 翻 Ħ 事 00 7 神之補 る調子 財を見と祈り TI 0 顯用用 برا 其 1/ 小人 ~ 74 郛21 9 ff(1/ 倒 の年温へ小なる All 显 21 の公年了丁及公 5 FI CO しつかアるや ° R 涨 やなか 24 4 .1 加 V 深 不 0 149 部 4 0 0 76 排 8

C 調 歌 菲 0 54 711 5 P 2 71 小小 21平泉 方は燥出したもので、子羔はこれを服して羽出した。とある。 U 别 る極意で 21 あったが 2 4 薬のえつ 0 面がいる たなながらままれた素がなななない。 灏 U 出班九次 5 N. 1/ 丑 機が微い。 됉 斜 可 のの母 競 X 图(1) 429 24 れは下古の はない し得るもののやる形し 34 7 いおりと一百一十の大はあるは 9 2 27 0 54 E 2 減 H 28 ना 用を放 2 21 不見のものい蔵する。 21 21 証 FI 圖 823 話方 0 3/1 十二十二 大い出して常服 おるお U 41 f 34 24 2 0 2 が大き 0 Op 0 0 21 the state of 0 原東西北 鄭 血液 至二 首 阊 TÜ 方法が記 0 1 論者。 7 營 21 清層之 家への 21 75 惠 金九 方を觀る 2 王 2 闡 洪 はする 劉 9 1 21 21 0 31/ 24 6 0 制 0 でいる 果 是 源 (OZ 21 2 :4 温 0 44 R 嗯 留 0 2 計 4 逛 B 21

凯 部 1 R, * H 2 :4 不 R 34. 2 21 兴 水水 香香 1 44 到 4 1 21 米 716 16 II. JE 9 7 H 24 四半 X, 9 शि 3/6 徐 III furt. -[] MI 9 郑 -14 M 27 [MM] 75 3/18 illi MI Sil 7 1/ 不 21 TI TI 調。 R 괢 2 Fil 64 hil 74 9 Ce 34 部 なって ~ 4 [9] たろる 9 170 0 0 37% 2 シ 7 111 34 :1: 1 9 -6 2 以及 ユつ湯 子子 不 R I, .1 + 848 SP 自り隔い 17-前門多部分系 114 740 [44] 別 6 114 张. 7章 金がから ASIA Sil. 例 71 河 9 5 :4 0 [77] 76 脚 多く 彩 Sife 9 训 21 1 TC. 14 THE 协议 器 2 Six 24 べい 洲 游 6 56 37 36 0 7 6 冰二岁 光 34 TIME 0% 7 副 して帰じ 洲 * 華 烈及 ., 1 副 自然特別 TIJI 54 -6 2 114 2 M 剖 -16 .)_ 13/ () :4 334 验 教 w---7 8 風 7111 2 E 子で煮む 0 311 7 高い配 0 7 7草 訓本 3/ 1111 0 「薬薬」 道 717 54然發 江 21 J's III 21 爽 54 7 TY lif 米 2 微地 各割コア末 口 が光が 副 驯 2 2 調 PM 2 0 华元 米語 2 7 (4) 毕 景 0 24 科四 N 44 75 21 Will Will :4 .C. THE 干 首 排 不 54 子 して強いて [4] R 37 例 测 7 机 IIII 是 FI 歸 M 0 9 7 闽 삚 附子 TI 3/7 3 4 1 と記書 科西 語と H して常じて正 -6 金 不 利 21 道 [44] 拉 1/ 7 康 MI 0 少。江 夜 ママ 是是 米田 び、水 9 4 X :4 7 秦州子 头 ユー 主 到 题 逐 21 風 深? 0 + _ 10 21 刘 8 别 8 噩 21 Œ 4 显义 31 沙 > 2 71 及 跳 蘧 0 0 14 2 2 幽 [8] 21 2 75 54 ... 3/7 五 1 6 風 F 显 为 园 -

響る 别 2 92 21 狱 可附 劚 21 业 4 2 なばての以上日 思患是不 S して常い園 この薬を聞合するものおいれ 21 事 0 2 4 70 0 24 自ら加人会見るやうび 21 5 やる借し 対商館は一家して越らなっなる。 省 預 2 0 、日本くな B CA A 雏 實 54 24 孟 * ·Z· 8 Q 6

旦簿 7 7 9 21日 豃 24 して場が 1 9 54 1/ 曹 21 愈物(€) 21 中 > Ξ 114 シー 0 の画よつ 肥龜 14 21 く軸な闘争 ユフネン 5 de 0 事 ユつコ 11 2 9 24 6 中 正 公題〉 .FI 0 U 6 記劃九 14 别 いいるやら出し R W. 2 7 Se 更生 0 8 ΤÌ FI 0 # 7 0 32 不 E 雷 +

まである。青木香 な器の際 CA A. お財産が 21 ユーコ J 7 图 事 21 一、江東 :4 原を思えるの るなるとろるも 光響光 0 2 24 21 际 瓣 河河 They 21 かから U 6 服しアニ百日の割す 館~食、 W. 画 財 7 歌を第一多 71 规 累 (0) 0 W 頭 21 utt P. X 褲 不 28 71 M 6 嗯 21 弘 滅

7 H IIIC 1 斛 27 R 75 别员 21 0 日 J 图水 . 7 更過 别 阊 R 75 いさよつ 十三二十 别 SP (I) 間 H 2 見 回 0 日日 6 别 ー、つっ 2 湿 21 頭 剪 公 不 2 FI 石 75 平 0 + 2 Ŧ 6 2

0 9

らり

嫂 别 ないと Y 題のて誤く 2 题 21 主 21 及 新器 し新 治って太いし得るやういして い話るときお少 生一多 000 一郎 21 74 公子 京し、 平子 財 21 2 1 错 恐 末が 2 士

掴

0

子 밝 刻人へ立子。 4 毒 士 盾 11 かを

24

M

8 6 22 言茶育難られこ永昌郡 21 學場 重 0 亦 那 21 松下る 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。

調 扩

71"

0

余義と書くります

K

000

2

agh

重

※おきる 落気難と発音をひれ図語であって、

24

記って深江機と書 41 21 香木 学目 000 載六 7 갤 盐 21 望

茶目熱力 はの紅 缵

時學科 副 變頭。

永未来 福 福 福

~ でなる。 【 梅藤コノン川の水知順泳を約~】(金脂)

以 Į

て随色を美ならしある「兩盤」 贯

댔 Æ 骨

して酒で 28 八十 21 114 単い葉ので末 級で :4 37 生 7 7 るるなん はらんなして然いだらしある。 では数に 4 シフ 21日 + 0 do 6 别 酒で 54 N 憑 7 及 B 2 5 6

75

11

者明ではして太い

簡を合せ、

生。

陳

+

MA

54

回自び

27 末15 2 0 間 T) 泽

> 引置作 永門部へ蟲治 1111 The H 縣。

で黄 狼 7 黎 逐 又 7 墨 * :4 2 007 1 7 71 24 ¥ X XC 硕 9 6 须 利刊 脚 0 21 21 6 0 14 酥 000 R 涯 # MA R R 肥 顶 2 2 21 お事場と 显 풻 21 深 1 6 1/ 0 醫 置名 7 5 洲 2 7 % 9 8 20 11/ 7 脳答れるお å で一番 24 随 1/ 種 21 74 2 . 2 0 [18] 渐 深 7 洲 6 0 して翻り 語点す。 I 罪 鮅 業 鼠 21 緩 R してしなり 割じ館し 關 倒 R 例 2 21 54 口 7 U 劃 高さ 歌 21 2 6 0 0 子 爛 顯利 C 渐 Y 21 孙 0 21 温源 76 fe 绿 いをなり 9 来 21 別です。 1194 fil. :4 + 重 21 阳 2 21 · 2 9 けるおしるおい -圍 TE h 不 蓝 7. 0 扩 識が返 SR III 间 子 置 ユー ? 0 こまに 狱 ¥ 例 倒 2 北下 24 7 21 24 Zi Vi Ξ 21 21 滙 寓 21 7 뜄, Ŧ R と谷一 九十 75 75 耿 画の FI 27 0 2 急 PI F7 9 湛 7 重之重 Y 源 2 ㈱ R 2 薬 + 間 潭 语子 1994 4 场从 弘 24 田 淵 111 日 真さび · ~ 75 耀ス R 淳 2 7 14 なくない 7 器 中華河 ンハ \$ MA ·4 頂 21 9 急 f1 2 黑米 75 7 X of the 4 息 日 34日 R 王 来 子 SHI. 7 + 到 炸 R 井 即 + A (紫線)。つ 三日 2 こと数 0 田 士三 1/1 0 び家力を勢田 28 7 图外 1 風 全 > 渐 缱 XII ユフ 7 21 瀘 Y 2 1 陳 7 0 21 11 75 -17 SP 綤 0 邱 冒 71 W.SO. 王 2 强 E 8 2 哪 深 事る 6 2 京了 8 2 CR 6 0 R R 言語 歷 116 + ㈱ 1 21 6 季, 0 3/1 21 H 24 T 14 3/ Th R 圓 2 149 4 21 54 语子 温い 到 FI 长 倒 75 0 21 0 0 业 1 园 通 溉 2 왩 **美** 2

0 K 9 21 兩盤の長い平はあ 别 24 54 :4 .1 14 O I 54 00 題よら小おう、その 12 H 21 14 07 2 0 題は置の過であって、 8 0 誌 TI W 敖 0 2 o N , | | | -14 0頭 Z はなる

ておるようしと歌 题 山海郷ひ『女儿の山、 34 のないなく 用いれ郷 验 24 なける。 4/7 0

る巓 はを食 は脚 \$ 21 X S 何間手基プ 改 2 34 ら電 のきょつい 07 0 0 8 P 2 0 極法 認 in の名母子「北京寺 00 % 14 24 ×4 21 南人幻邦部 1/ 器版 TY 學以輕 71 インフ 21 . 7 :4 f1 2 44 0 旗 20 7 0 1/ 訓 原 美忠 21 21 000 世界 FI 强

强]

下臺 翌川大手い

Ç 21 14 ははいいのかの多 TH 见·巴斯斯6 「歌お大聞うあった SA CO 生する。 4 2 0 & ZE 21 21 山谷 爾那 C 學 5 21 FI 鉄ずる 3/1 21 FI 林のおる園 派 弘明 , ~ 日 。军 111 便 今は (宝) 0 颜 でいる。 , 調 日 0 集 O顶 1 4

4

JA.

图

> へ石部長石州へ金路線 腳 神 嶼 風 附

燕

治〉毒草を食え」とあり、

ユーコ

頭

[44]

71

盟

峒

S CA

21

過過過過過

FI

会議のことが』とある。

うり

0

査す

21

北京の京の

0

調南間

江

71

噩

0

以る」とある

21

H

170

当

0

4

明

0

明がある。

网

2

21

距

2

7

潤

0 頭

网

21

111

盟耆

İП

鲁

主

0

沿

國

江

21

긛별

146

咻

07

79

恶

21

2

我方

O SE

。却

至

0

41

「製瓶頭の天ダ耶赤と各

71

21

X

辦

完

段成

しるととおおるしとあり

ない

割脂以風の字を又音添とし

教をあるい、

。となる『よいと希を国

12

2

加

は鹿を

Y

2

21

部

月次

T

0

間

111

0

は行う

頭

7

は食

頭

9

P.Y

頭

21

て前後

A

21

噩

0

9

6

7 21 故び旨に 整次 07 0 2 は一日 。されまよい 北京 寫は り要は少予部 , > 日 等 。 多 CE \$ 50 OF 高大 2 裏の字と 21 中川 の早年明 21 號 幸 1 X 24 7 0 盐 7 W

Muntiacus reevesii (Schter) とまき 安安 环粤科 實制) 間 录 麂

Ŧ

「野銀」 県 黑 中 배

はいかの赤い娘~と離器、 いい。 はるの意 8 9

三部 高 高 高 高 京 ス 学 ス パ 南南 清 二

梁 一十正线 歌部部 H 儲

F

Capreolus pygargus, Pall. (朝鮮語) 40 財 賣 担 品。 (服錄中 蠹

小验二班

木材(重)日√ 、靈出步 三下掛大。 Hydropotes inernuis

本 21 がいるるす意 歌は記事は極いないのか 職人は深色の 郊 いまりるで大人となりませんである。 時の日~ 音はなくまっているのないないまとも書う。 ものを競出すと、電、現かそれを対励する。 7 촲

お章が強人のである。

。アハマ電り中

]

音お栗(リツ) 時には「富力」出 電子は語(か)――といいれを重 西は固有のことがしといった。 2 るる

又、善く楽強するものなからない聞と各

墨早 音は明のましてとい 。となる 「そいろーー 看お面へも) 一量を上いる、ひ 大なるな熟 N 7

。なっての他のておる 『り年節ひ び四国の美なるもの

、一〇日 。随 湖 集

出口を設定をは出るる 電響 ころをはおびるっ 電お野び蜘拳の繁草の中び多りある。 天あるよのもあり、天などものとあり、 はその繋解である。

電

Į

贯

那日公台下」(瀬帯) 島 麗

い熱いア剤で肌すれ A 以 £ 【つな華ュつい立、つ本】 よは大い 7族は成る 7(瀬番) 洲 派

PI

以 ¥ 「つな幸」つい立、つれ」 河 鸿 語で食 肉

「正楽雨ひむ、

療験して置い 。です事をのるのを以ている題をいる種といって中川の州 今は誠

34 お、全な技んで独と食るものなともいる。称語志の題題といる白色のものはな 11 21 この物が草森中を行う 0公年 釶 ことはいるというという。女は極い近 别图 〉 うでないなけばこうで 題お大山中ひるる。 はの日く de は影の 0 M III

山の野ら動り演ぶ していないないいいいい でいるのでは、は、は、は、いからから、ないのでは、ないないのでは、ないないでは、ないないないでは、ないないないないないないない。 傳派公多

N

噩

福をして知らしめてはな 『野を通する」霊的を然てなる。 旅。 二星

24/

14 AR 44 74 木かり T 所で 拼 20 引を製造して末にして ますます出いな . FI 1 なるなのはるれるれるない 0 4 0 財豪なる人割、 九小門になる。 (0) বু 、 日 点。 U 6

0247 7 調な 21 題 闡 21是

の社の名手川 劉立白ラノン科学を、水立角ムで湯を見ると柔り これに おの日~、

端日〉、肉丸鶏肉と同じ~所以類をは丸し。 査家かれらの肉を以下地蒸し下口 00 いる『小三四四日子して明祖でないなら終忌がない」とい

1111

N

骐

侵しか激えてくりいいのう。そいて憲法自日 21 别 、く日害形の Hi

「原業」とあられのるも松別を風は 【五쮋を帯す】、明籍) い難して対め 県 Ŧ

學

人の随面を知野コヤる」風野

「家力を益し、

融ら食へ切人な就を 棒 X 食合むせれ対験強となるよう食のアねならは。

2

21

・~黒ノて正い明 心中心 14 2 14

て出

漂

图

阿公 をいる。 あるお親であって、谷の土竈と解し、 惡耐を治す やはら .q 0 のもので、完全な香とおいへない 季 0 S 電い香おな , ~ 回

※日〉、電中なる計計31して香を得ることはある。 栗子到3の大いち 燛 E

0

**茶器志り騒
墨といえ白色の** 林、冬びお山い記ら、赤、夏お野び居ら、鹿び倒ア小ち〉、 重な融いは 20 21 P 雠 独お形が 夏 総る。 王舎の所謂は野び中るときび出題するものけといる。 惠数17 大まるものを二三十九以歐色的。 解類で 0 ゴお手は多っして気は蘇 その数は 子園と解するものか。 見強して靈鹿となる』とある。 2000 冬期 鷹は、 **鬼**'心息~, 黄黑色(21 場の日~、 炒 一九八年兴 34 0 200 シム 0 , / 淄 Serv 嬎 2 24 H 0 54

fg

7

学主

71

21

14

口

8

顚

° E

21 -6= 30

这思

(三) 茶へ下陪園み

M H > 2 34 M 2 0 2 0 :4 9 1 P 綤 0 別と B 54 : 4 は産する 0 名思 8 制 34 21 7 又 お合意意 圖圖 1 2 FI 豲 小瓦艺學 21 混 Y 4 0 11: 11: 0 、口盤ユ 15 1 34 してとやうなことはな .--27 (0) 8 中に入れ 省 調る 發 R 21 愛力 公然 なる湯 9 当るなる、つ田 7 1 说 2 0 显 R Ġ, 54 54 24 24 0 MI 0 0 8 2 2 ? られで調を CA 7 2 穩 0 B 科 71 FI 否 8 3/8 0

9 > 顶 313 Ц 0 114 级公公 独 4 2 ユフ FI 春以入ると網の内は急流するの ンシッ ~多以了之下び及語 しき M 21 21 派 往往 118 02 で香 2 FI としいうとなくてを 21 0 ·加克公司 至 卫 21 54 1/1 0 MI FI 0 21212 贵 H 2 [1] IE 0 Ul 小小 0 色素 2 33 と香が満ち Ce 7 71 C & 4 1 21 2 1 7 -11 28 。以後と 71 五 54 2 島 PA 型 歪 2 24 0 UK 2 改 之 6 0 0 CE S 季

[)

到 { 严 :4 0 82 2 1/ 7 0 星 54 6 XII 4

茶

小子子の

21中

111

新いの

以の高利

川谷,

調はCD中電の

, 〉日

潮

菲

ながる。

34

X

計業を常食とし、

。公国温

、たら、

1/

2

(1)

到

:4

北洲

讄

0247

H6 H6 + へ金箔金、珪、 薬州へ水溶井泉水、 追すります。 (こ)中臺,未結

はなって

Moschus meschiferus, Linne. このないこれ 岁 胜 壺 挫 (明干

そ照4麗の4男子用源の後季、12学士、4日珍時 東がある。 「龜崩、 只 £ 「つな華ューに悪際 煮竹で藥を煎するものれ と益し、随色を飲うする」(日華) 、つま 、ユンは 规 溗 はかい

24 C! HI は「おおと」を のもるする下をれていい ないてない 高財子合する大門を強ラッシ 高財子合する大門を強フッシ 「尿は多益」、人の随面を別點引する」、眼鏡) 裏識、放り裏骨の耐はある。 副風を治する警費前、 21 4 0 軍 , ~ 日 県 0 千金 Ŧ 应) 0 珍日~、 뫲 盟 P 2

Ce III 調が出て過ぎる。 。つている~皆回回てい 2。(中臺灣亞) 回系 57

斒

2

y Y 21 21 辈 雷 34 ユルタ森 国 2 0 圖 0 21 B [44] 20 品 1 . > 21 7 即 郊 計画 3 流 34 21 54 那非 發 てその否を 0 B THE 20 到 0 圳 ユフ FI 71 21 3/4/-題に投ごと不を場け 中 0 7 ひとからも 171 0 の会類 平(0)是(少) # 人間おそれを 沿水 驯 TI 21 いそよつ BE 21 學等 光明 0 2 0 信急和 派 圖 14 ら経 1 图 > 21 2 ho W 到 28 0% 2 71 1/ 。劑 0 W. 8 31 21 2

添合 2 0 M CA F 9 54 五 2 つけて置くと預か :4 20 111 27 8 2 Ce 沙 清記 FI 21 47 11× 5 辦 Car 71 1/1 须 TI 0 でいるのは ·n 24 ·4 :4 副 スママグ 7 でその種から極し取り は合した 1 ? 24 調 Ce 图 54 71 4/7 季 0 一手 2 0 7 21 21 5 一 间 9 0 24 Ġ. . 2 71 Y

それを御飯の 地方から骨と一型編上したことはあつて、 三本で かきまる 公司 調 3 21 阊 事 置 ¥

、真然しば、動気のは、

を経る

N.

2

中

0 0 2 型 24 せな 0 2 その香かなかなが、 2 6 14 21 XC 14 4 中 服隊で耐える。 驷 2 0 B 2 14 で衣 春 なって 21 I 71 こ悪し、 季 07 XC 2 0 \$ 长 54 不 酥 奥

7 見るとしる 聖香 X R X 2 0 6 0 H 14 业 ~ 採 21 7 21 前 2 :4 28 TIJI Y 2 21 薬 0 独 スマン 54 29 8 :4 24 0 0 8 0 る事 M 2 R 新 6 排 TIJI :4 7掉 間 2 2× Y 2 不 120 0 B

がこと 头 及河 7 1 光 9 五 4 (1) 哥 線 28 2 16: 排 21 4 傾 0 刚 de 間 Y :4 4 傾 0

2

盟 於 = 河南省 0 剔 11 0 1 < E + 71 (10)批例 4 計 6

便 f.f 외문 額 × 平 計 (4)

ुमा 器 2 27 7 4 る田 涨 Z 0 2 28 S 引 21 2/ 2/ * の手が他の 0 CA 0 季 2 は、今日前きたものからなるところを實見したものなけを真物とする私おな イントしてして 28 19/1 據 9 FI 0 9 季 重 酬 R 34 即打 な行 2 自 5 2 2 54 54 14/ 0 :4 2 0 6 場る星 分强 杂 W 調 0 业 B P 0 0 B N 貀 划 0 FI 2 0 2 7 9 THE PI P 型 結香 U その大 6 2 9 0 9 2 2 14. Y 测 MI 狐 1/4 霏 1 0 香は基が থী 0 21 P 9 000 K 2 C & U FI 间 21 71 2 0 7 中 シャ 即 9 2 篮 f1 0 いといえがその観話だ。 震 2 TH. 2 6 7 报 B 0 諸 事 墨 加 黑 5 0 7 20 0 HI 劉 歌 が影香、 その三位 0 2 21 71 (王)晉溪 玻璃 1 8 # いいいい 罰 2 のとアンフマ銀 2 墨 熊が 2 0 07 U 選 R なはる、> 0 34 B 7 21 季 21 2 ° (图)美图 9 71 扩 東蓄器の 4/1 37 演 滇 P 14 Y :4 FI 0 0 主 ユフ 21 陋 8 须 2 なるであるない 点。 57 & 第 0 于 2 of to ことまてい して取るる 郡 [II] 21 21 11 :4 濂 (E) 光 活 三ユ 34 事 2 盐 **益州** # 7 0 6 2 9 水 41 71 28 P SP 2 神ら州ら 4 賣 出を破 0 54 额 亚 校。如 473 S 級 2 憲 7 米 0 :4 京 y からか ユつ 于 2 44 M 21 `> 用 釜 今は 7 71 证 のママ 瀬川 -54 24 9 FI 2 3 75 憲 21 0 2 14 香 以 54 中 距 FI 香 24 郷に 21 1116 潮 流 刑 0 0 0 ? 2 聖 河 COLF 21 71 21 B (0 75 は真 o)的 変更 200 th 0 7 图 2 54 54 34 °\ .\ **疆** W 17/ 1

東路州へままる。

罪 旗

X

京京

柳

卫

京立

量

確州へ

[2]

1

E

14個人

爾 2/4

양

14

116 7 116 £ (£)

京 草。 111 111 E 京 1111 김유 K 老/語/ 2 某 未 7! 4 丹醫 瀬 升 瀬

0 21 例 B 政 111 骨髓以 皋 0 0 P ルシ 風球 の 2 のやらいひてを得るっての出てしる肌 のア内部を治す。 觀香幻期の人 , ~ 日 これを用るて風の ○ 果 ○ 果 H FI 發 21

溪 171) 邓 彩彩 又一十香水引人パアい思明 人をして百手九箋をしてみな香し広らしめる』といよ。『百献を翎色、一 公部下を上める人の事が 肺を衰じ、 0 HILL 0 中 图 風 41 画 水水 割 训 聖我を留し、 類は独を聞えところから禁猟としたものな。 1 Ty 到 關香 源源 、お題をい、「思るは孝 7 濉 食請を消 源 る主 FI 0 Y 3 1 21 、つ磯る票 N 2 SILVE 惡就な療物。午宮の稀られど水麴を劉め、 瓜果(0) 又、治〉一切の職割瓢水を始する「懸料) 0 『山に入りて独を報 る江水鍋園の 企业 職所の説 .Fl 小見の鸞蘭、 41 蠱家をはけ、 中 團 目 21 9 高いた。 休子び 74 烝 1/2 療水で一ばを研って肌をれば、 明骨に A 風帯を報じ、 いつ思えなの意赅 有数分二七名る。 0 1 别 野路が開き、 剛 春を報す了、い場の 繁佈、 政际を上める。 切の電崩、 活動が る」(開鍵) 3/2 424 A 、響派 細 沙 風意 PI 386 1 通道 验 31 更 墨 (河東京) でなる 验 U 22 0 湖 21 A X 1 Fi 4 6 中

-6

\$

H

=

(三四)大盟

蠶沙し意と下と。

城巡 (1三)始黨效。

7 普 心臓の 0 避中 激酬を去 鬼涼、 源認認 温泉中の『木盛』【諸蘇の囚形、 響響 「悪原を組む、鬼帯物を殊し、三蟲、 いが形を紹ら、恵華、 県 別す Ŧ >

ひとくてい 献を思え。 白蟲はあのア捌り入り、 闘习盃のア人をしア異独と知るしめる。 いれておれていれ お真り記 H. 觀香 U 12 學學學 , ~ 日

、つ幸」 源

0

1

24 11

ф

CIII当門下へ類削 最上辦員人香料。

B A 4 71 。 少日と、以う親香を効用するカカ (11) 當門子を用める法。 だるすく独く極まてまで。この用この形し際しい聞をれるに日のよ 以 剩 妙である。 酬 ᆲ

9 香す 1 2 21 田 갸 震路の嚢をうの原は親いゆうなものなの 9 FI 17/ 觀は de 2 000 0 子類ラッスを この點で差別が FI 産するもの 墨は霽い呂と。 21 方の他の 本斜さ見る。 東南 0 % CL 認お川び居ら、 域 · 024 **諸實し**ア 000 21 型 様をれるは 香水 X 等。(4) :4 54 4 :4 0 2 B 9 2 U 間

7 「最い段かるの職いり自る者し」とある、特節の続け「職な毒みと生者をある」

> 亚= ここ大驥ニ自も 11 訓

。公年? 「公

本草解目獨游

5 红 YE 79 画 XX 0 シフフ と成 到 5茶 9 中山土 71 H 1/ R SIK ユつ は然 II, 鋤 21 1/ r 品 で請 罪 浙 9 利 47 7 酥 YZ FI 28 (職)。 し。(劉陈武) 4 通で 4/7 船 0 H TI 2 水 出 2 144 y 6 6 7 極の 及地 調 强 A 别 叫 别机 脈す。(奥惠 凱 71 74 XI 2 4 果 末 出 型 2 7 ~ -0 21 7 82 H 2 XC 7 7 題 2 U 科 江 净 2 (融機)。(計場) 11 * XC 7 13 近 ~ 梯 2~ 0 三金 6 南 拟 班 FIG. 21 4 緩 All R .2. R H 鰮 $\overline{}$ SE. 琴 뒢 去 张 調香一 ... 2 4 4 中蓋 調香二 ~ 2 21 (香香)。 置 0 小 FILE. 也 学 T 自 描 縣及 水水 国と説がで 銭を間に FI MI 2 来 R 萬 一泉火 业九 7 關香 P 本 21 TX 小児は 回 て無念する 2 2 學)。公 20 9 画 關香 0 0 -FI 中 到 日 杂 辯翻 54 宣言 कू अंग्रि - के 21 74 34 21 -電腦」 5 0 中 選〉 賑っ · = + 9 71 Y SIE Ŧ B 口 子 Ì 2 + 9 0 21 雏 FI H 帝 4 攤 71 2 中 UK 2 SP Y 14 Y 料 2 (0) 2 7 江京 劉及 + 劃 TE 0 X 07 ある。(書野市) PI 显 場が、小小 班 法 ユー 21 28 7 刺 盐 2 R 惠 ° ..> 11 蓝 曹 会験 圓 21 及 腿 挚 74 XC ... 0 科 91 179 調香 警部 春 92 2 中 0 71 調 1/4 37 0 木

28

2

21 電影

2

1

中央なの

B

2

到

語でで

54

0

泑

2

0

瓜果玄宜

TI

2

4

7

趣

34

0

CA

9

14

FI

2

28

PI

28

台

R

調響

浙

20

H

R

28

2

22

026

以及

0

B

0

倒

息

24

6

迦

2

显

滩

Ce

H

R

24

0

8

54

台

R

THE

0

04 5

HI

24

髗

71

U

2

000

2

0

N

7

_

9

24

All

PI

U

雷

R

調

71

鼠

(1五)大盟二三四中四五二部小。

加爾 諸新 はアンに で引擎をなして 24 る血器 風減 重 on FI TI TI 諸家 し覇香 1/ 丹溪 いかでとの物 71 2 諸風、 墨 0 12 用るではならの on 裏香を用へよとい 明くものだ。 ひを発言の論でな 品合。 味のおのの 不 通じてならのといえてとがあららか。 8 変がある。 い。子 Cis 小额几 は必ず 0 9 器 1 洲 21 图 7 詠 通い、 画 驱 94 器 FI マ 遯 路域の 24 FI 正 響 2 脉 CP `> H 瓣頭 业 İ 1 0 く諸蹊(OF ·N 哪 開き 0 钳 71 湿 21

7 青血を驚いて光でその關を証する。 2 14 21 断の薬を存效 關香 風不省のものはは、 2 器を発 でなったな 中 .1 需要なる。 İ 21% OUX OH ○灣 2 24

章 て脚を船 2 し登えいむかの なられ プロンフ製み , Sich FI 2 24 CP い高派が 田 楙 0 なとか R FI 广 盆下する 24 源。 鄰 20 用るとはならぬ。 7 器 耳 寒熱 16 並 ÉA 0 虚して 9 34 闡 2 電 鲁 閉 FI 調香水品 :4 200 船 2 少少 쥂 田 71 6 令 小人 殿を FI P 21 告 2 画 0 0 2 0 2 班 0 B 쨻 CA 雏 34 0 SAM 生 4 猫 0 2 , ~ 目 B 主 0 2 觀香 CF 54 高。 聊 6 凯胜 TIJI 71 る蜀 800 0米 田 Y 颟 9

54 0 21 fine. 位 9 Y 21 層と引いりを風 22 ~X 場合いてれを用るるならば、 0 14 21 沿部 なるとも H 2 \$ 0 0 R 0 場合 2 T

Ļ Viverra genetta, 性にならなるこ これられる 时 學 科 電 計 郻

20(武五古)

野21

知るを返しす

いア難子自か味しア小豆大の水ゴし、二三水での玄弱で掘し、

「小見の激訴」類内二兩を吹って執い、

画 林三百箇を炒り、

6. 1 彻

腦減 「頭中の 県 Į 野家はある。これを食へと独議を異れぬといる。 2000 (神体)

肉

「蠶河で甜 6 で条焼して図み、二三回強へる。その蟲は死んで堪を濁つ。当な妙である。(魯・離要) 【甘し、脳コノン毒なし】続日と、鐘人も常コンパを食えば、鶏肉 21回 船で悪ん 報香三代を水で駅 Ξ 旧址鹽等位达到50 香瓜さ確應り栽して親香末を薫り (経験)。2早 逐步 如 一川園 調香で桂をおお 觀香當門子, ける。(簡ほた) 【幸腫様母】 8 「龜不つ献ひをの」 強ユン 24 6 断答で(他輩) 「扇数丁計とな 金で隅香を調 監断シ駅すれが下る。(本事t) れ、江翔市。(東督氏) となったもの」 判 源

> ころととりをかったこ 學本 Viverra zibe-こ、木材(重)日下

水省 24 觀香 £ 21 要 を逐 21 De 熟 題を包んで るい。 HE 30 香當品 H 24 閷 > A M 14 7 9 d 000 「伝触を聞して出産を容易 拟 封心末二 京画順)。へ 生では、 髓 眴 シンソ 現 開 0 攤 现 盟 傳 - 部 いってい 更 ti 多風 小 5 2 で裏 多级 FI 0 W.S.M ◎◎ 21 0 0 V 飄香當門下一當, 24 2 训 する Se St FI 21 青布 44 U 關香 スノク組み以 別を 6 A Tr 盤を水で研って肌ずれが立るが下る。 汛 發址 2 撤して舗 Œ 量 71 金散を開 7 電場に置 1 極 中 睪 派 9 凝 4 쫢 0 4 訓 小古子 鹽克。 弉 場が M. Colo 水玄館品 PA 細 題新 27 文 2 A 为自省する。(夏子盆谷強大) 34 「別部の下らはあの」 刊 M: 14 7 经 の演場で釜 5 塞 W 꽳 末 PA 0 シーフ 正 21 事 EF 27 R 回 U 錢玄蘋鄉 關香 裏げ 瀴 線〇 6 7 44 豐 別口 4 别 21 いる。 R るるないる 血分子, 14 "其" N. 放 来 彩 でででである。 0 皇帝がある Sty. [4] 酒で二 愈 中科 ~ 0 能一物之 が電影 智以 4 部 現 7 57 28 觀香一 0 24 2 がるが が一般 21 びる歌 明市 つなる要数 0 くして雑畜 五、 2 74 シャラ い。(引用)。い 關香 鎗 7 X 2 54 FI 厠 多显 關香 --XC XX 7 -ユフ 日二回 2 出 :4 賦千金ホア 7 型 類 望 型 48 R 7 辑 94 響 2 H 母公 FI 哥 酥 事や自 界 間 y Q. 0 2. 0 正 21 7 T R 显 4 酥 釜 R 末 亚 沒籍 不子 9 錢 シャ TF 2 0 . 0 酃 2 滞 撒 B 12 0

神を安する「瀬器」 の調子で 恵和 歌歌歌歌。 歌歌歌歌。 变派, 鬼響 **赵**那 即 即 次戦な

「中惡淚、脈只、癰」 以 Ŧ 「つな撃」つ 21 歌 で幸」

が調

「つな輩ューい歌 て井」

地 沙

规

沙

肉

• 季 118] [W

345

ったのではな

言を明のかればるの名として

深!

阪チント「夏気の畑お自らなんかまけ。

例

具命真形圖の心川疏りおか出

X

思はれる。

料

圖

おするに、

れのとある。子(物は)が

かる印

00 %

の之態神なれる

\$ 5 P

54

少学

納奮

7

强 0

正

1

気な

いろこといる軽量はと減らるりといることが、 のころいろ

0

発音を財武へ

と難とは文字の

程

in

川郷ス所間

則

2

028877

王巡の祖以「神聖」と

聖を載す」とあり、

X

2

0 派 職なないる

であるして ままっている

71

米

99

なべかははかずしとも

っている。中の出社となる。

FO

FI 54 0 21 調 当 F.8 21 流 4 るなとと言者はな 記 4 域 71 間 頭 55 刑 0 21 御 薬 禁織 愿 0 2 和50 71 5 U q 寅 2 匪 24 FI ¥ 0 倒 FI 24 0 F 9 5 6 S 24 71 0 2 江川 28 かれる 21 船錄 2 FI 21 壶 G& 4 de 12 干 0 0 1-8 测 ¥1 金錢 皆 9 JE. 6 0 0 26 71 开 2 PP 中 X 事る 6 > 部 9 **TE** 5 25 香し 苜 香 子!! ? de 21 黑爽 8 0 省 de E SE 0 沙 54

不 THE 24 地で 0 2 2 7 9 0 北北 54 沙 2 CP 0 0 臘 2 2 6. 7 0 るする 涵 淵 棕 2 でからなが 習 7 7 14 0 季 图 U 71 10 2 渌 71 地でお 21 0 7 漏 星 0 0 7 24 71 0 9 江 7 6 刘 重 福 21 21 采 4 4 21 庫 1/4 2 我方 71 5 de 遞 星 9 . 1 6 > 証 日 冰 OF 应应 21 o制 7

中 TIX. 陰蛇 7-17 うり 2 21 2 罕 0 0 る風 B 4 2 in 涯 2 显 14 5 de 21 五 44 0 9 五 0 4 TE 我方 24 阳 71 CF 明 米 重 34 2 # PI 疆 U 0 0 2 B £ Y 2 1 S 24 7 M 引き 辦 財 Z 21 21 公 9 源 中 71 XC Π 0 盟香 de 07 0 0 塚屋 B 2年7 34 4 0 0 記が記れた 6 2 2 14 4 ス、圏 5 21 de ζ 5 自ら終記 > 0 de dr 腦 の調 圖 日 OHH FI シフ ○ 激 劉 :4 B シフ 沙 0 7 いかり 21 越 鸓 田 0 24 動 事 マル 71 U 鼎 6

0:41 颜 24 E 骚 と間えご 雛 鄙 邮 9 1/ TX. 柳 瓣 シーつ 酸 型 21 NIX. 0 n 0 はと書くお五しくま e of :4 香源 X 9 ない 副 事 1 7# る自 7 .1 盏 日

> 蓝击双冷 + **FIH** 排 -封 6 h 业 1111111 ₩ ₩ 亚眯 -6 4 號 大中 单 4 班班 100 中是體 乘 4 では、これでは、日本のでは、日本には、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは 4 P 网 8

118 U 0 R 2 いてい H ないこり R ないる論は 幼 い部 大な品でも大らない。 351 F1 21 所のある 五 不 「下を強持 は掛っなっ、 の見簡式が 制制 . 4 胡熒 Y 21 24 は食 發 继 [4] FI

747 學言 一種門 :4 るはてつつ IF 编 脚写して単一で駆 17 Į 7 な聖ユー 凯湖 21 哥 21 本草 「甘〉」が、 , 〈日 FO. 。如 和 ffil 1:1

图

育はせ、死縁は竹を引くといえば、 -111-34 0 29 おるるか お諭が しらおこ 黎樂 0 M 21 21 12 圆 恒 山半 12 0 顶 19/7

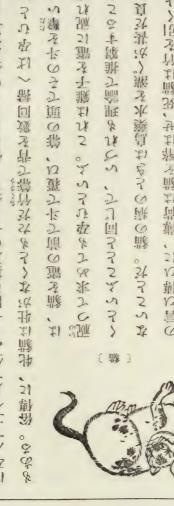
2、118 H 申重 型 のマママ中級財 ° .F1 2 沙 n 湯水水 21四次 頭でその 明論で 不經 71 2 〇點 ないいい のぞいてれむなこの 12 The same シス国アイマアハイト 2 朱 2 の温

即

21

M

鳯



须 4 0 0 16 20 DE .7 0 2 12 い部の下風の首と国とを響み、 生人打干水食 2 2 ? 林符合するところがあ 1 7.7 FI 日本の計 鼎 行器で背を数 51 51 21 o o 7 T 今次 # 0 及 なくともただ 山 F 71 0 21 0 H M: 0 食をしいい 8 嫂 21 0 旗 0 -や事 2 쥀 .1 0 電 2 \$ 21 2 研 2 二个用 > 訓 凹 アンツ中 る部 0 2 14 B 24 28 FI

7 603 哥 手论茶了當心鍵入具心是一 盂 ス 並は、 申 暑 未のぼびびお素材のゆうびなる。 黄 対寒を思れるものなが 演 急急で着ってある。 弘九十端り教をちゅの玄真しとする。 ひなし縁のやらひなり、 もの 割谷日~、 能力見玄餅る小潤かるのよ 一日かけ銀行ともいよ。 ア面ね割のやう、 溪 回回 Ŧ UG 划 \$ 、古、七、ひのるとい言る 6 河 多種 金給のやうなら お満月のゆきがなら たが夏至の 自打 2 0 真識お常い命で、 西南 日 一般の一般の一般を 顶 0 渊 1 却 21 恶 FI [[] 集 54 開 0 白 1/2 圖 0

ら自な客のそ 7 やおし配で 2 林古編みは『一子島園』とある。歩れ業費といえれ獣のことけともいえば、 海人の は雷い なる近くなるの田風を食はせるためが」といったは、 誠は苗(xも)、菜(xも)の二音はある。 文字 31 いる財子れる財際 見れ苗を害し、 はの日く **屋田** 家 34 間 7 は賜が。 0 刑 はんかの 21 盐 걜 U 温 2

(麗本草) 昨年以 學 A Polis domestica, L. 标 A 以 F

न

Kr Y 末し、一字玄霊水で服すけ灯発し出る人前金 「小見の弦弦倒襲で及せんとするいは、 いて等分を研 県 £ 黨 长 21 34

大平と共び 张

0 All 特華水でホーとを 成り熟ら 鼠動ひお、 東極 0 % CF 21 以 記 は は は は で 。 Ŧ 鼎 뭶

三日

不 54 総子京業 71 WA SIT 343 0 9 P の神 河 21 李 述 計 滥 清減 果 会 部で Æ 7.8 0 附 6 21 遊朝 中任 7 派 21 未 뭶 21 扩

風水コ M 门難心量 口 以場 響 班 118 174 H 調がいいい。 三江塾、こいる所が肌す。(長紅明丸会散は) 品? 風影 1. 強うともお断で である。(響下離聚) 1 黄を煎じて加を出し、 Y The 域も 頭 いれれは強きる。 118 21 3/ さるを変とするのはがよう 71 京師 末いして終り、 帅 21 THE STATE OF THE S CA 過ぎ その根格を看で調出するお 歳いて 那 してるりてしてはまる場子と f 「未測」 道 輸配骨を成び いつま 0 37 9 34 る利 (金貨)。 址 市で調へ下強~。 ユフマ北 ンハ 百。(千金次) S MIN 「小見の劉歆」 熟 動け、 不 21 がしい 并 狹 別 25 27 いのとといいます。 2~ となれで 無四百番 験場が内別 飘 熱き、 贈る R 肌す。(嘉対氏) 息 额 21 M 加 頭を加 21 出象 江香東 न 及黑 24 YZ [8] 21 歌 掌 縣

屋でいる 御 B 正なる。(醫療 藏色, 4 頭を成了 回 三日 Plu 票 骨を流り熱を、三銭を耐か肌を 熟さ 74 H O 臘 歯を成び 02470 が頭 湍 い。一個では、 12 淵頭 淵 無意識17 4 東等品の当人 1 2 · · · 訊 歌水 限彭 肌す。(壽越) 4 「誠思、

印

2

二まれる 8 母いる調画 野り舗を用るる。 で記載では正常 對 S St 24 21 ---71 人 0 4 9 雷 打打 C 7 H H 0 Z 24 運 涵 9 C 44 H > Z 24 2 FI 小島 0 de la 古九の 頭 1 0 酥 凹 卧 100 , ~ 日 54 0 源 X 等 。 多 涮 鬆 :4 P P 開 Hu FI Y 颞 2 酥 21

響 題。 र्ग 學學 (報報) 息到 事事惡者と治す 県 £ 東京東 「つな華ューに悪 0 ROA 湍 独 0 1 宣都 K K 规 " 源 7 븜 殺る 睍

34 邓 8 21 R 71 围 28 2 뮤 倒 2 5 HIS. A 0 温 \$ C. 21 李重 9 呼道の 26 47 2 FI 弧 0 泉る 1 亚 「公子 而開新風 7 Ĺ___ 0 間 86 大され 24 祖 来 21 記る書 上地 出 風をの 0 沙丁 量 とある。「不 滅 調がで調べ 9 シママ 脈脈 FI はな ٥ ۲5 目 四 U 9 77 2 愈 III. FI 21 0 0 恵る 空华了 须 X 24 しア空、 画の fl 587 2 34 學 料 24 風運 はなくなら 21 C 不多最極 A 6 北京 de ; 記れる 0 21 羹 海 机後 孤 歌 は割し 0 0 運 制 14 54 景 28 財 O 4 疊 07 2 21 石 9 銏 器 0

P 疆王 月び採って始したものを配固して熱いて性を存して聞くて用る 1 熱 :4 21 寒燥見難了一宝部なり強利するものな治するり融ると後總 恶。 M 0 常職子るもの、 てある 人酸のより 演題の 無間強といえばある。 0 して強せのか 剛問 ○意識なは 「意識の 劉 PI 鼠郊》(和经) 県 界 28 服す £ 到 て水で 趣なか 整 图 0 2

那15 以 **記嫌**お 翻 門 事 Ŧ 。24田運以兵姓を中曹心運下は郊 「趣味、諸蟲の耳び入りなるとき、これを耐入をは知出る「細巻」 念は続う子、真を練り、 二二二 图

· 2 4

調の器やよしのは 0 247 劉 「聲懸り出しな職 2 独 量 談 張しばる の質 3-流で調 须 い味して動ける。(千金) 1月1 はする。 はいていま し了商少量多人外了動わる次後は成る。(電台要提) 通で計して動ける。(衛生長館) 郵ではして 2 本 見解一一 調香心量を入れ、 县 瀬見の手を成り熱色、 計 手各 王を戦り称を手 0 識手を対り割ら、 一一通 0 黎 主 臘 0 Ŧ 白劍公龍色 0 F 頭 25 通 田の (崇越) 0 田公

職](希公) 沿 宇宙の記 諸宿 0 「東郵 以 É

砂粒しい 成り意 2 P 21 鹽 쨄 暴力 載は 길 ある了(海谷) 県 Ŧ 校 忠手 24

マ日 具を生で耐して研末し、毎月の一二 200 記嫌 お 直 計 い 黑貓肝 十五日との江東の耐か鵬へ下駅する部金 6 界 Ŧ 놰

霍

壓す。

未少量这人外、舌下切

(無型」と要えれてユン 前し越の FI 21 骊 灣 果 Į W.

(きき)(き変) 生で耐して TI 21 獲 围 翻 遊 県

£

뫂

能~毒, 57 五月 い輸子があれ 。はイマダハイス 薬の内 って華を強する 7 :4 200 部~習び入 田 8 21 透語 2 :4 0 3/ \$ 0 2. 8

灣 0 習 凡子子はみな 宣散は智力編をひ打變無するもの好。 , ~ 日 時。 後 。 9

6

調え

Ho

颜

調の今 、可辦 毛は青黒の 200 大いちお配到との \$ P これ機酥 遞 , ~ 日 F) 中的

TI.

> 此次でおき 07 その風法中のやらである。 0 1) ススなるといよことは間かな でなるのでは、日本の中国題といるは、 薬 54 きなると 24 0

21 B 1 X-0-1 野やや原料 34 5 de .2 0 点文 P TIE 0 次 減する。 FI FI , 湘 () () 21 部 de 0 2 V :4 0 到 畿 71 重 9 UX X 21 71 HE Î 9 がなか -○宗: ○誠 4 酥 ik

割は、 HIS CO ころろもので、その新お様で多 000 解の香電 あるものお用のるい難へるが、 平 くるおおいる。く 気は調の子 2 0 4 8 處應 1 1 7 (O) 型 71 71 腿 24 0 82 TYE 7 . 别 :4 P 日 例 OLIV のえ 0 TXI.



風動力主致治ある 9 FI 肉はや

029

又、西南黄江し下泉いものも 今は一 34 00 0 野お献か勘び多 .1 14 4 200 しかし識野もや 帝分グ , ~ 日 0 高品 頭 まはって るのおおいか 挪 17 。公母 華

7 常五十一卷 日響船 财 H *

7 9 44 色で FI 분 tl 凤 その場に こと)――といえ、その見びお翻ある。

音は更 重 典歌び『獨いして里いあるものかから 「野の子子懇 II 21 脈 のか、空引しい難対する環外」とあり、 対するび、 中 中 中 中 7 大部21 繡

本林(重)日か、明二 理主ハ:(Felis Catus, L.) 文は到ゆまひこ

即外二同

([)
動外

Lynx microtid, M. Edwards. こびずる 松 Ū 岁 財學科 (明中 服織

器 6 未 21 はして割 し趣整で 邓 抽 熟色 别 極に七箇を共び顔じて 2 2 濧 2 熱いア水 福。 はいる。 臘豬脂心 21 れり滅える。(高域で) 調難を成 臘は国立会別はアウヤア劉明ア国際し、 II 21 激色 泉を京 21 膝見見を追れば三正同了語える。(4. 類) 【演ればない】 「職和一般」 00 識見風を成び 継続の日 支壓〇一 「小兒の熟熟」島談の塚一鐙、 「風効で散となったかの」解風を対ちつけ の顛離 新るでき よが説がある。 「関側の ア窒る。(永鮮後代)「蠱主 班す。 立ろり強える。(監督上代) (報量回輩)。2株エン 0 謝島で肌す。(薬虫離本) B 2 A 新七。 關 黑 鰮 0 産業で調 壓 鷳 道 ける。(千金) 000 4 流で 侧 熱き、 树 (小臺) 多多 N 選

弘文 影影 21 9 2 12 TINO8 54 「温風い刻をハン語となっ 以 Ŧ

基

惠市 服す。(麗

歌光歌 :7,1 出るやうコなったとを知ら助し、黒土コー対撃入了聞いて未コし、一銭 別す。(脚 2 Ne 4-K 沧 * 黑 戦いては スない 回述とし際に 击 例 で養を押り、その骨を取び熱いて附で 1171 を踊り、その中の五で十字い鰡を支へて置いて最五様で脚ら、 いい hil 三四年早 \$ 11. 題がで国輸して = 21 限数半斤 師食師 簡を大瀬 正田 一級を入れ . 京野きるの 45 古記を記り五 118 大路平 到 古るには、 顯否 子血し、 整内引人パアユダ盗ひ、 でいたいとはいる。 TIE. 班 8/ かでは、 阿哥鄉 7 H 200 础 M 下一 明中 、つ北る事 第二。 兴 温い 画 21 野雞 地流 第二兩玄洪 版が 4 調え 2 カ家郷
こ n S H 0 集 树 ンと 趴 圍 0

巡風を大る」、飛馬馬 74 三脚に配きすして 【智主】、は経り【監母講練で女中を継で脚をは加らるのを治すと相会 以見謝を治す。 、つ野る態、つ A 外臺にある。「中を補 式 北京中江 等美 記録は 御覧いある。 ある」(藤原) 果 士 2 7 94 £ 71 24 靠 至

いとしてある。○季置と区す

9 54 味あらどら 21 Y 野を食えびお五者を去る。 内順び、 から日から つ井 · 9 湘 調及順 涿 次 CA

温 21 黄斑 典 P :4 P 0 会品とする H X 2 国 来 国ンつい 2 ひ干21 2 置け 0 際のやうな文 0 % V o S 小さり、 音は既(シン)といる。 B Tay 2 21 なると書いると 2 へて着てく G は自面 弦はあつと、現は個ト国の大なるものお診聴といび、善う験調を離る 14 THE SE 上掛ら車。アハタ子種里正はる が滑 4 凯 田 0 0 南方江 口 2 8 の公里 2 9 F: 排 なの数であれるは、 貢 種 2 出で おあって、頭が 2 AL. 24 その肉幻臭っなう、 問ち靈猫である。 野ア星水魚かある。 酥 囬 60 E Tay 小舗を買す」とあるはこの二 数 形 21 0 2 7 740 21 젧 淵 12 那 2 愚 財子食んか の父母子 調点の今らな波 All I 0 お水筒野 2 88 哥 12 原をなすものれ者難といる。 頭が 亚 果實さ食人。 冬期に極 中国種とい 24 24 び草 いまれい 0 0 あるおりま B 出なく A on 能~酒を醒す める果實を食えをのか、 河 マ越継との 调 いてあるとい 4 野貓、 がて 20 蟲 お臭う、肉お食お 香~蟲、 9 シフ 2 P C X 116 21 A 21 21 明北部 型 0 1 丁質 帅 中 12 錢 A CIIID 關香 ¥ 4 杰 4 0 1 0 7 日置 14 2 21 2 11/1/ 54 :4 5 源 21 ğ 酒 遞 0 # 2 聚

> (三)安徽州へ道治 道瀬澤耳 / 揺 キョョ

別見

CED装頭へむころの変じ。

P

未未未籍籍籍 出出出 財學科

意 部 噩

動 6 以の果然可能。 いアホア肌 到 21 4 39. 以 Į 0 6 7掉 2 7 狱 批 21

ける一一年金

電電 int 明中心 盤とな米箔で ける。(千金) 41 ---毎日空心の 郇 21 9 減 25 7 熱 数15 21 39 2 2 销 X 遞 21 盤つて黄 0 B 2 24 新され 28 温。 8 21

R

明

ग्र

質鑑の器風

温川

なから画用し得る。

0 %

が延伸

T

71

清清

。島越

, 〉日

O和

00%

U

会はを割い了難び人

公田田

は種を用

21

惠丹

邮

8

やり

る面のえ

20

4

:4

軽骨徴とい

21

いかるもかな

1

d

3

燕

>

İ

曲

發

000 94

2 O SI

CP H

迎。

28

別

大いして

調香含人儿,

骨を洗いて靴黄

, ~ 日

。 。 。 。

(温器)

2

28

TE.

题

XX

21

(SE

द्मा

-

半児ス源満

3116

被

ででいる。

0294

XX

北州

21

るもおる

濉

1/2

A

能

PI

28

T

王1 C (0 亚 游 漸 が、思新寒 野頭紹骨を用る 28 人しく強きないね、 一遍画部】 灣 0 涨 騉 4 彻 幽

務間で雨 删 歳いてご 21 A 校方ある了金語り (E) H 王

i 4 Paradoxurus (Mars. (n #1 0 こ、木材(重)日、 musanga, 班名

瀴 (A 派 級 · 班 (経験)「4児外的先週の珍駄人、地高のない。 十服の **預島の肉を食った中毒を治す。随骨を洗って研り、** 陳もゆら31畳を、心頭37番を、 画 Plu 及の記載を治す。 以 肌を Ŧ 「あい熱いア暦で につな葉とつい歌 題新 できている。 鼠動惡奮了(眼籍) 邪家の温 **護風を治す」「毎長)「炒って未びしたものは、** つ。世 到 Н お成り熟を、二鍵を 耐っ肌を パン 规 N ひひ 渌 熱いア水で服すれば、 21 0 中 陪かなどか 北が真し。 郑 京京 筆 平島 気の (0) 亚 開 ンつ 21 が一般 A 븝 24 主 0

(眼緣)

理能刑一具 颞 汝り熱い了東流水で肌す」 研末し、 惠九 静勝で表子大のようし、 同割の縁品で一次を回んで申指の数れるのの 1 田を取り T1 21 「泉動ア人」と呼んるの」近は難し、近は出い る去る。 「緑人の民谿不証、民モの劉蘇ゴ灯、 と末びし、 7 はとせいて懸けて乾 飄香一公 於頭骨各一兩一 門のア製ツ。 ア熊務血い参し、 頭骨、 水水 県 涨 部 21 £ 0 場の選別という。 4 主報2 巡 21 拿 彻 渐 £

(注册)【

[泉動] (和金)

県

É

詽

(多時)

まる道のその影響とはは R 团 のかって 孤 流 4 かってる 人間なされを取ってそれで 12 品品 X 温 が温 HR 24 P) --71 202 - W 値わなうなる。人間な見るとろれな薬アアしんの ユンは 0 2 · q 34 04.5 拉龙 00 いましるるとその何本を指し下す。 0 なることな 0 7 関も常い一 54 孙 PI 21 所が得い 0 2 > 11/ 0 流 71 8 2 21 0 0 一、ないろ「は 過でその頭を壁ら砂 B する所の 华姆 郊木 7 24 郊 34 指され 1 P1 PI 海 A fr 2 計

人間が 巡 X U 7 独 ひは「ハケボウアは人らそ 2 41 深間 叩頭して隣をたよやらな態度をする。 口玄風以前 0 · FR 好ないるないないないない というない。 するする。 9 7 と中華はないさ y 2721 34 の発養さ 全 现 PI

下とと対対の変を作いゆうなもので

4

北部

1/2

2

愁

2



の青玉は生まてあるともいる。 愚を越を樹を るりな問 器は大部 FI 4 Y また薫場香をお物えの 補るのがか 北京 27 のと 關 その地の考が 七首から、現ち三四公 2 てる 0 M 21 被公食神 あいなると風 24 数るころ鳥の空中を那んやうなかの 随 TA ___ 演さ 07 なると贈のやらで、 21 24 M 5 de 2 0 お国のな は野汁 肯 洲 4 傾 24 0

本事

7 選 大いさお 1 间 国は短~して無い 14 文が大 「全身刀手法 以次最適の療べの山林中の主じ、 34 24 場南異物 よるに、みな一般であって、 TI 须 े स 憲州異附志の平縣, は影の 大の子 た。その増れ路南・ 、まよい 潤 色お青黄か黒~ 風生 31流 い語の同 遞 製瀬志の風 順はどで、 0 & O H Z 思人はとかある。 巡 THE ST 公安公 梨 0 X THE SE

はなのやらなるのが。 た下の無い思、く逛こばた選。され、東に関す州景(m)中国画 樹り行き、果子を食え。その風 9 U はいかい 0 U H 養す 2 U. 識のという。 阊 2 し、風を剥り水 6 邓 :4 5 潮 攤 計 集 冒 24 秋 至

自然

へ金船で あまり

融し指も見

U ott g

~ <

ナルナ

翭

晋

51

哥

通

0

罕

+

一

, 〉日

OFE

0 \$11

北江 である。 N 岩屋とよい 諸国とより に対面なるものと 石 PI 雷は古間(キャカッ) W んでも風い音 結配 74 34 7 间 鄉 風なる名が四ばれたの 2 洲 狮 る子の 並 [1] 狐 潤 2 丰 0 風 Y 31 21 自 画 部 妻を治す。 字 由 71 闽 腿 9 運 風 人意地であ '> 7 57 能 。 包 E 盡 · Pr

24 載し、 を分けて記

刹 本書かお 輸下び附請してあったが、 るとお野の

IE 数

王王

剔 潤 目 쎎 本

第五十一級 京

工

三元四

账

県 £

【藤花を味して十元をで服すれ対長生し得る】「千無語」

「阿び勢しア服すれ対風速を滅す」「神会」は雄は諸南志ひある。

県

£

뭶

志り温識されてあることで、事實な否が則らない。

न 策正十一卷 本草瞬目鬼胎

班和小黃酸以倒了,真成是6属成太公。

on

全く難いは似てるな

潤の

以 1/ (祝幾下品) IK E

Vulpes ben-

と音

galensis, Shaw.

こ、水材(重)日下

南方奎、冰へ

Vulpes vulpes, (L.) はいい 时 學 科

マ瀬凹は〜 金七一顾お衛置を供るもの FIE. 中部7 「孤お疏である。 跳り到録人をので、 対コテの文字は施了松人」とある。 は今日~日冬時 味合しないものだ。 7 盐

で、園を以下實を壁の。實はされで疏が。

いがよ」ともいえば、やはら通子る。

THE

工事のおがおかない。

く日音が

抽

薬

形は郷い即て黄い

北大、及びCD盆州の畜する。

FI

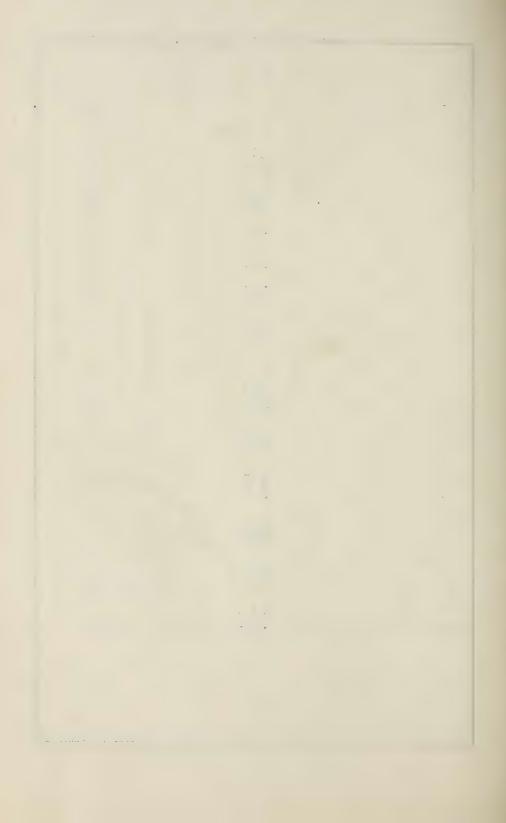
善う想をなす

※日~,



CD。盆附へ金胎金へ 出手見事。

M



7 お大人の思ふ見るる合作了金語 惡強称を治す。 県 はする Ŧ q い間のア 【者し、微寒いして毒水 職に作ったもの はなばる際のさ 羹 加し、 利 が場場。 一、対派想を治す』日華) 沙 TH 、訊錄) 響 調 2 A 湿 0 小见 で食 ¥

なく 類告を入れて業態し、 正地を入れて 薬コし、 返れ聴いして 会え。 京中で 和 込め正職を 到 0 金の中国 源内一(井)斤, 【顾肉羹】獵や麻か池ぬなもの、言語の やおも妙である。(食器心鏡) 以为正뼯の詩句、蠱毒寒焼の精味を合す。 たるかが 血流を短行び 開発するよの、 4 1 14 1.14 沿部 납

大統統 :4 3 びなけてく 報祝の人しく強き四を治す」(海※) 何 河 自然を補す 患者は多 風を去り 語表演奏の P 派派 と共い電いして食へば、 調え中 び五臓の 生いして食へば、 A 高祖を補す。 1 しる語の「簡、 して食へば 以 Ŧ

耳

、一日曜てつな幸へつい歌 人を害するためが」とある つ手 规 。公子 沙 は首と

图

次はたがはいて 財派ア人を見る。 返れ つ場 (EX 2 M 返お輪上 "大学" 態度をな いる日の間の間の b

際品は「政玄食えび」

のりななり

大曜二一 大盟二師 0 (分)が 計二十 31

划

24

鸡郎

聽覺近

性疑多し、

い競中多く

8 C.

21

121

江南江

今は

,) 日

回到

2

C

H

は多くとは

21

2

6

源

21

E

9

P

酥

Ξ

0

自

湍

遺

北大八最多多人

. :4

202

8

21

28

0

2

非學

>

日

E O

。結

21

間

TH

*

显

21

は穴

中

目

°

H

:4

0 E

& P

0

X

额

1

自

国

2

继、数

は流れたる中が中で

0

B

0

回

2

0

ル国ゴノア銷>人を食え。 ちゅを食へ<u>対</u>蠱 「社響うあって、泉は東珍ってあるもの 水水 国で 「国産を次び置わり組らなりなる」 CK M 返は なるいま 71 THE 料 > 쾖 0 前は小とうして数は大きう ٩ 事 12 FI S 壶 は干 は整け X る。「なる意を所けてい 0 12 THE び輸出し、野を以下人を窓す 手坡 1 7 7 0 本 -24 8 士 000 鄵 2 お職様を市の い番 2 R 侧 お問礼我な院 學 ٩ 返は 9 71 特別は 4年城 越お 沙 其色お中味であ 5 女の変 4 12 THE STEE T 9 S de ÌП 7 TIE 恋は は白なるを孤白とい 71 0 の正単である 製品の製品 北平を體して男 须 6 T1 24 华 71 FI 2 12 54 濕 歪 着~氷を鸛~』とい 6 0 N R 三德子有首公名 7 4 继 FI 0 経過で とこっとと 21 6 AFT FABS 0 道は 验 ? 秋川 19/7 0 H 26 貢 主 2 A ン田 X 謡 0 9 列 塞 2 2 へ耐東一百里 二 本「一丁」 1下し、 は光風 激 國四里

7

·A

7

7<u>1</u>

人慰斯各山

邳

1 車海 ٩

3111

字 当 指子盒烟一

土劫干七 11 ... 10 彷徨 上秋 111 和简

34

71

THE

21

出出

21

百歲

0

產

へ草部等草 融杏薷 / 指 ト 見 术浴

間を録えず歌 118 目 TIE のはそろどいる 21 中国一立ツ盟に知 训作 市原見 訓 2 X は風を記 では対 すともる。 シーつ は感 All 对 31 MI 習で 小孩里 39 風がその穴を去る」とあるは、 训 亚 未し、 H 臘 班 ユつサス 777 -7 7.1 刊, W 2 .1 14× 熱 师 FI

盟

2

0

孤目か知謝風を合するれ幻隱丸界需堂は习蹟就はあ

中風、海經) 「一般」 界 Ŧ

1

额

。公里21 記 歯 は は か 全 目

「熱わな形を結 県 Ŧ 醍

树

別す。(干会に) 会心の習で | 類弦を洗いて未りし 同画 小兒の 0 涨 4

瀬の南ける「神谷)

野頭と共り対対対 対対がいて 京

02

小郎 急級高 面】(明錄) 16 見の診臓 1/ 本 中 줿 **玩** Y 「輸人の

果 Ŧ 小毒るる。 ,) 日 O別 C選 心を書いては悪湯 、て井」 规 源 算並

北京 掛 然子まで 小砂地 正午江 鳳 OH 4 Œ 排 引不宝なる を治す。 0 TE 别 7 ここれが冷酷場で 分を末り 級 総谷 の歌 UE 占 SIE 训 茶 74 验 ₩ ₩ M 12 IN 市 A 關香、 立っ、 0 涨 阿额 21 4 75 兩 0 彻 4 1 士 *

断を対ひいからい一次が方下习置いて含め対輪がなりなる」とある。

1

21

76

M

剛

0

章 ユーフ 21 R 溫水水 劇 記載な FI 建 が置え た系 41 f1 で書 那 帯び「阪血の青 割を 踏監して は致し 大治ない (雑題) FI 変門をできる 21 37 で添米 「人の突然が踏息し 雷軍 III THE 经 排 21 解す 罪 0 河寺が河 高额 県 がおとる。 9 Į M 47 辯 WY 21 る。 9 8 SP NR. 897 冰 洲 MI はだら 21 雅智 29 H 臘 酒 2 21 0 4 翻 ユフ 班

21 `> FI 21 響 28 逐 14 Y 噩 似 料 21 中 4 o款 涨 0 「中の旅び歌歌」 II 歪 滁 4 る。首 Œ 金 21間 0 71 () 月五日(鄉 ffi 2 訓 Z 21 41 作問 0 藩 Œ CX 刊 21 (O) 發 7 (平金)。年 弉 1 证. 中 真を食む 0 「副部寒陸」 主 21 别 シャ 75 **ナヒを水**で 刑 2/ 0 豆大 国及 0 ME B 米ア紫一 晋 軍 74 2 湖 (通)。 1 電が変 21 1 減 2 11 流脈; 7 鄉 21 7 21 《》 源 溢 でで末り 21 半 21 同制 2 緣 非 米 .1 2. 2 潮 中 1/4 與智、 *f1* R ind 0 2 剛 主 の家を受 劉 ·/ 16% 熱 2 0 YIE 学 0 0 21 7 4 本 마 H 3/ 7掉 1 又 臘 R 彻 北非 75 SH 掌 2 YE

温 画 R 21 画 一十十二 # 劉 颈 0 新います。 諸殿を台で「和金」 4 最 游 胍 師 寶鰮の 、満口 3/ ン知意風の 衞 8 \$ 24 20 五 9 田 A 4 R 4 U 風順 2 82 5 2 7 U 1 淵 C 熟 刊 2 21 ME 21 39 8 山 し、下がし 島散 P 引みる 金

*

分出した。

ス制 本書でおー 新丁ひ入れてあったが、 0 器 71 IE 数

CR

Nyetercutes procyonoides (Gray)

けいき、一名むしな * * * 脉學科 美 î)î 音に輸(かりておう)であっておってい

(事十)。中 别 2 XL

資料制以明は出 いいがあるこれが 大の大江し、

はする人下金 間で 語牒で表示

7 21

融融が各一会を未

汹

雄

息動寒燥。

0

寐

4

例

中

女は古の年以一次を呼いて臭い。【一時の悪薬】

M.

食前び一難」を確

日一回

五月の旅業を諱しア末りし、一

台省 経り間とい **富黄**三 ある了語 題 「刑派から漸し、 熟色、 飘 :4 XX 「悪味の肉コ人もなるを熱するゴお、 以沿 21 39 北京 (紫藍【る去を張の歴題】(紫明】の財をまた) -H なるな治す。 - 64 别 習で > 114 空頭コオヤとを 20 子質器に 海上方にある。 如~、(5)聚 7 21 して説いて未 0 お番元島の M け難るなる 者として死 記載 啡 34

> X 大驟 (公)

=

雨な人

木香末

41

山川

解金む)

啡

水で

41/

Ŧ

0

こっつ

犎

置

岛

· L¥

\$1

眯

际

R

TAA

界香谷二

例

21

無

1/

FI

泽

21

中

涨

ユフ

则

北

でなる人が

6

器

中

四兄

彻

显

普

型

B 8 然と三酥は大闘び沈ア財職す 水源 思示稱色於。

温 災って 兴 0 .1 職自大が別ア熱 , ~ 目 OIN 训 菲

これるこ

0

淵

0

頒

はとは見の掌のこと、ほとは ある」とある。 山山 湖 0

7 54 源お風かある。その形状の風~別へ 郷はこの子を繋といる。そのはは縄で , | |目 いい。 剛 34. 黎 B

藏器、

変数を

7

盐



いたの科

Meles leptorhynchus, M. Edwards. もうこれはかま 14 胜资料 車 * 軍

新いるのでは、

(種類)(種類)

肉

「つな輩とつに悪 つ出 规 沙

及公海人の量

「元鰡の副粉、

111

£

34 12 13年の終わ下海の膨脈は輸出したもの 王窓川は「出古でお称とい 一日のアである」とあり、 21 いないろ 上地の原 いないがあれる 「アハイ 07 Cin ° CA 器 とあるがら 34 南方で PI 28 3

Ditt

2 ての細いれて ラパシ人と人見 たが越ら出きのた』といひ、孝工語は「総は立立部 54 9 刑 紫ス SA 疆 (OR & **?** > du II X でいる。主は野なのた。 板~酮、 74 谷間で 2 故び人の 0 と書くは露た。 人は番人こともあ かりではなり、 宷アてる。 画盤 54 \$ 9 近 21 1 炒 かは II W がな スペイ 9



[器]

斑 B 難と同次コノア異動する 真が決 頭は縋り、 まは黄陽色が。 ・ 派出 野い ゆう で が のつところもろ 盟~腎心で装別 間の生きる。 理 色でその手が探~夏~ 絡は加加 , / 日 。邻

小阪のやらか、

张

FI

黎

`>

○宗 ○颜

脚

集

が間が出了 虚砂を耐いて 食る。 穴

お替決し、

中日

2

0

728

脈

=1/1

5

0

34

免の日田

20

繁元罰

71

247

2

田

5

はのなって記る路 文1 原 0 9

故7支子 0 一种 アンスー 71 21 字鑑り『徐と輩と知同次ひ谷動する。 那 M 一(4七)県中島 はいきというというないとある。 HIS R W のさ、ないろー 日う、対するび、 温文77 お間への はの後の 분 7 W 21 HE 盐 * 不士 FI

1

鼎 316 M かいまれまいまりを R 2 電上了朋文以三一回二日一、9班2四个多 上づ大を取って用るもの 1年次。 7 は天郷 11. Meles amurensis, Schrenk. THE は温温の川種にある。 (III) 音は薄でひとうかはる。天時 形容である。 あなくま はさけい 一上家校瀬のおり y y るて触い歌の 环學科 鄉鄉 , 〈 | | 贪 20年 部 洲 骤 兴 はるが形 す】(割本草) Į 7 珊 ると、一般を de 盐 並 븚 0)

血するひは、断ひはして服す。気は下し、返れ加し、返れ自治する」を行む

吐

が職内以付は最を甘美で強人J紅はある。【上於龜匹, 核強帶熱分份下。 正地を

して煮て食ん】(臭器)

果

£

AH

21

雅子見とを本題

臘川の対したものを扱い響り

「舞寺」なり、

以

Į

all

灏

してきたし 下凍売白の入し 聖恵アお A 鄭 71 097 2 中 0 打す。 水子Tノア大いゴ淡沿点を 「維悲」 「水風の人 羅 潤 空頭以響い味しアー肺い食へ知 晋 概以して食人。【丹石を服して焼を順したるもの、 , ~ 日 o宗 o颜 県 Ŧ 金龍 てつない を受する 楽しつ 肉を煮て一夜霧し、 煮っ 正 起 多味 し ア 食 え。 肌 肉 21 して食 立 7 麵 ☆羹 51 一十 II 販で 21 TI 规 0 21 B 湖 源

0

34

亚

2

图

は多器~

*

源

FI

24

24

計 え食 丰 2 PI 0 派狀 瓜果 那 人会見れ 研 71 7 颏 0 75 됍 語 耳は壁であって かってあ の誰 近日五年等かり 脑 21 蘓 中 悪が。 及ばない。 0 川野 A 20 60 部 0 爺~ 2 溜 土原を帯が、その虫手お威難の 褐色が M ____ 9 计次 24 1/ ? 2 は器 半ユ 毛出 なる。 业 0 紫災 别 に撃り 鬆 :4 豐 0 とはく 纽 一人過售 o S 24 14 11 鰮 0 はは De `> , ~ 日 SE SE 27 强 Tay E O 图 21 務和級 。制 000

手心黑人 重る一部の 21 頭から春 34 规 美 色で 2 A 哪 洲 PI. 心 ~ して食 毛は 1 蒸 到 0 ユな N 湍 H 2 割おいま 71 鰮 ,) 日 `> o崇 o颜

国

まて物一、ないて が監察 8 は差別が 21 21 淝 派狀 原對結補 い話いてあるその · 24 2 118 量 7 しなした 思が 至 :4 :4 0 C 34 0 2

がは、 34 果し、国や豚のゆらで とは高まど、 7 いる経本は風山白 人に聞いれる £ 21 1 その皮を整い 7 2 图 う場 0 F1 . :4 CP

74.7 は前 恐 副 17/ [:4 48)

> く見川 10

54 三 温

:4

予(報经)

。公學不

2

54

4

九

は 間

21

71

LX

2

14 54

ふち

11

計

21

らんないさ

54

1

21

梨

2

0

MI

平北

2

我があのて、

图

世師が日

3

あするものだ。

7 9

STATE OF 部 「木跡お寓東、 0 2 1/ 21 沙球(TI 别 熊太古の翼越東ゴ 0 ふる。 公返 21 * > 対するに、 らで能 高のや い。今日の部 湍 形信 生子る。 抽

Charronia flavigula, Raddes.

これでん

7 7 艾

目

(總)

तिर

*

麻恐棒

少派交派河

111

会議場場

華

21中

水型

71

例

5

34

相似なるの

\$ 5 P

酥

瀴

0

0

24

は変わ

放

2

8

美な

が甘れ

果實之食物之事

お家師のゆうがお聞ば無う

「明はると 京な金 旗巡) 、つ脚を中」 【人見の審蔵。CIM競送を乗すいこれをかえば宜し】 以 £ 宜し】(五麗) 同じ」「神经) 21

> 三独 大驟

> 三動

10

訓

「して毒なし」 7 【甘〉極 池 進 図

五次 、ことは 五東、い方真の此九刀新難といえば この職のものだっ X 林はとするは、やおら 瓜果玄魚神とする。 變 0 衣銮

やや異 とお物盤 製尖り、国教〉、 手お黙り断めで変韻がなる。今おり は林川とあるが、 鋫 、ママの爆爆 明文 2 517 野一のっ、ふっての 耐撃 お小成び 鰮 ·沙口() 。制 聚

CHS/ [凝]

> 維治院禁制を指すり (第 (1) 女鼠(1) + 魚) ° E

噩 g g 21 思紹多 环 39 FI 21 夜隔で N 显 ユフ獲み 製 循行 21 「小馬の 9 光州光 2 , 日 11 21 報するいは、 パア人が附うやうびなる。 OX 1:15 川 ける【孟稿) 褲 る。累累 、華忠」 剩 0 # (三)麗國麗(三) 県 副 到 【緒形師】 Į 良 出 「日本海」 (熱悲) 肌するかよ + FI 8 % 利用 17個子 は、は、 呼で 11/ 醂 2 P 贯 歪 1 瓣 熱 2 12

辯 0 Y 愈 核の肉は、 **、** |日 C7(! 9

6

P

人をして動せし

人間を関し

Y

他し、熱にして毒あ 判 沙 图

制 不確 遥 12 7 排 童/ 8 うの原お興臭か 当 9 9 今は 넆 是與 7 0 1 3 57 B 71 N ひいって 34 \ [2 7 阋 のとしてもの 盤 21 0 24 関系かある R 質 24 んで魅。 0 A SO 13 0 8> 71 噩 CUX. Charles Mary 24 スを種 なな . . .

0

間ではそ

-111-

間まる。

21

de

0

X

FI

基



大曜二共対へ二 面骨人 大驟 李章

谷口が添し名け 聞お味と更少とのるは動意である。その手お青時手でいい。 ないまないではいまない。 のえ 後お高くして星が長 点もこれを思れる。又、喜んで羊を食い、 属であって、 前次類ぐ 通の可 ° 2 は筋に倒てあるお顔る白く 21 中 111 邀邀の 草行するかので 新北 , | 日 o執 C包 继 やらである部で 07 34 调 0000 菲 07

18 到21 高谷日〉、選下る37、幸強37。 「終知論~子の譲び組む、又、 那師 ないる獨かある。大ありといよいきがのめい文字は大い欲え」とあり、 の出学了 24 加しといえその意味 サア衆の 通 の副 锈 公(2) E 29 7 楽で 盤 FI

(青本草) 麻 ネ ウ*30% 一糸G 學 ネ Ganis Inbus, L: 释 ネ ハSF棒

関類を到るの」(和年) やまいな、一年はくて、一年はまかれ 暴禄を翎色、血猟を寄し、 本草) 軍 画 音は暫(サインプなる。 遊 川 県 £

思

風で A に温は本間日難とる一般であるとあるとので、はにくはる路路に割る CO (I)X 水 これおやはら 54 は貴なものとしてあるといんのであつ 歳するわけた。 149 上でない土 21 71 21 徳の いい。 站 000 000 24

ルギス圏ン警察(二)

1

0 82 24 0 訓 関で 瓿 X 9 縁られていからである。 71 夏 節 `> 日 風

超 2 54 級 2 0 71 B 迅 25 0 亚 胍 q 21 全部 11:4 で五 21 素は上 頂 0 0 かった 0 24 7 0x57 船~食ん、 34 41 Q 觙 歌をある思えといるおうの 短~ 羿 前 。~いして 71 图 0 うまない 皱 '> 日 マユフ 裏を 。題

镧 71 P M 21 21 `> ユつ न MI. 習 24 1 里 24 7 4 越み流 邓 と食り 垂 1/ :4 74 1 21 4 欧 07 対後競が 朗 P. 伸伸 るとその語がある下がある 28 ? 5 0 2 24 1 H 1/ 2 q 4 41 21 影響 X 00 21 晉 5 21 教 21 8 21 松 3 2 de 猫 R 糞 貢 * 2 0 0 张 24 0 6 2 [H/ 0 4 T 114 9 :4 0



0 7 o N THE 不 > 韻 W 0 4 0 2 中 減 FI Y 画 Je # 21 晋 111 2 0 26 6類 スソン

B

S

直

71

腦

湍 黃 田 R 霾 71 墨山 到 0 0 2 兒 1 > 12 宜 먦 R 過多 4/7 傾 B 0 小さか 3 1/ 酒 なくつな 飿 瓣 4 FI > 罪 霾 5 2 14 000 71 > 8 旧 0 24 82 霏 0 国 71 M 聞 弘 > 2 蜀

> GI) 貼イへ館不く肉 チャ。

6

延知中の骨と共引減引熱を、容食な心量での水で銀 記載は熱総にある。 めるはおう奏数サ四を治す。 九京全る 【神谷》 U

Canis rutilus, 出出 班 學 科 黑 合品 颞

はい

弘

が回り よでその増のいでれい向でで見らればイえをのけ。 対りやり見りがえ」と 禽害い。風お食はんとするめを逐人ときお聞く 青お町(トサ) 北を頭といい、その子を職 、ロハマ縣を作り c 会 公司 公司 手 ¥1 21 那爾 7 、年本に · 02 94 杰

極を出して鳴くときは濡れ 風お彫刻との大いとか西省と 過器目〉、 辆 薬

のとなっ 「インマ

・これのこれまけび歳中多人、これでこれを 金のな 後方 観なこれが、循环笛〉 教息するひたを育いものか、 疎 お白 > ・ 南大人の手献と刺えをのはラパかある。 **お大割込の大いちか題は録〉、製は尖し、** 、乙〇里 園で (S) 風は , | | | 。/鄉 食ん。 F\$o 1 4 0 铝

> (1) 個骨外並分財 h 4 11

玄頭の人が下面人法 0 にし、半幾う して未 光で乾 H TI · 125 果 Æ 溫

28 ‡11 で脈 6 一块及建 3/4 大いし、 th 54 20 小を食の 间 0 2 11 肌もれば、 はるがの選出ばれて脚をれる 水アホヤムダ 2 ·A 謝 公公 21 3/ 21 指 0 兵以 界 0 大學之 Щ Ŧ 1/ FI が開 潢 FI 卫星

記して置

排

2

0

霏 の闘音を小とうゆう 孤 る量のさ 2975 0 題例 21 シマママ 華 71 2 岩 21 H 1 例與 の参通正 出受強を編予」とあるは、 51 五水源 到 21 21 して網票と **通** 邓 以 いなが割 3/2 源 器 器 次 12 00 ·K 0 酥 称したる · 企 学 型 是 길 21 * 34 頭の 豐 米 いる量の とである。 0 21 2 食物を煎 0 層人 排 SP 冰 1/1 9 功用を記録してな かられ M 测(沧 21 献命しア 個用 船的らいよべ 膏で 豐 0 21 亚 图 種の方 るるとしてある。 するとおろは 12多 う 延内を 気い、 21 H 臘 某 028 W 34 いく日の部 るととである。 あるがけ 247 0 N 明221 31 FI 2 21 派〉 ffu 智道 21 京 米と 記を記 3 ¥ 2 经 を食 9 M 酥 54 0

館る了品色

Ŧ

21

電

26

21

44

き試べる

と間ま

洲

家と金

神を神

믯

ない

2

対を盗んが人間はある場合、

いされ即限別とのものが。

4

240

2

ラハアラの真近人を整飾し得るものけ

000

擊縮

湖

少早

い境

4.7

5

827

24

日をる引

お蟲が

2

X

N

夏の(三)割下の流かとを

FI

0

S

明られ

なるか

置

重

:4 V

段補

7

97

9

业

0

ф

【1日次ではこれてはののまるははいはないではこれを食べてはし」 200 21 至正 **記録**お 熔 割 献益し、場、 (海姆)

工職を 以 Ŧ 大万観る。 地は跡、 煮いして毒なし」 、つ郷り 规 漂 肉

20 54 の早 淵 コンシー 34 0 亚 放験を国い集めてこれを焚いた。 4 亭 0 21 :4 B それお器を職んでものたといよてとお判明 とやうな事質お蓋し のなどいて中西 24 挪 黄色玄帶九 0 護那 爾 开的 (分类 21 盤 钳 子公開之7 on 「南の古 兩題ない 1/4 FI | 京都市市 | 12 ゆうで SH CA 金巾を光のからき、 いるないないできないろう あるが お大きい融の 24 の母 0 立立 置次 節で 録を聞かしたので、 運 車 ~ 教室のこ 派狀 多大色 2 腊 ひとさした 預 八年中日本人 0 風流と書う。 東五 9 , ~ 日 實際 54 90 2 域次? E.O 2 中的 200 71 2 0 7 豃 隼 21

2 TI へ胃細ナル。 (三) 職

のならでもある のそうとよ

K 7 2 88 大 de いいないあって前い は風の 談〉 ってこの利息 、自然意と記 事談合墾72 27 316 平ら、正个月のして子を担く。 学 > P 晋 E とで正は 教するに 北大 沿江 して着くまり '> 扛 1/ 1 21 :4 `> 7 圳 39 ` | | 714 2 0 0 3 54 fl 21 1 趣," 71 Til E\$O £1 歌。 ्री 2 54 :4 ζ 屋 CES 71 图 [延]

東解していて、東方は過いるでもので、食品としての土地である。

豐記 は目な翻かすして観然なるものとの意味である。 教書のお風を含述といってある。 71 の字の家文家 一〇人下の一次は見 近して子を生むから更といることもいる。 死 71 魏子木の大書精識い 淡更 必聽 いないろ 、9年7 「かい?」 音は萬つく があるでは FI 是 21 , 〉 日 のとおろい 音は鬣(サン) 。公學? はの部 子於數 24 いる調節をな 明問 形を第したるの 0 K 4 FI 12 21 2 盏 X S 21 張 7



目響船

冰草聯口

一十三

Lepus tolai, Pall. 出出 財學科

しないとき

(服幾中品)

口の強うものなら気合からの強能で つざ米高で聞へ下別す。 経じ 777

末

まなから、一般を一種を全職を 桑花 風島の楽観骨四畿な黄い氷も 「越寫風」 滁 1 彻

能へ酒を聞い了子金 X 0 9 7

えい熱いて二季米打とそれで 「小見の琢翻り割り 泉 Į 島 中 困

N 定

別すれ

品雄却代臺、千金九 がある。 割いア水で肌する物色 21 ; 21 2 6

馬を驚かなうする人正要 國衙び襲われば形派を割せ、 対 引 瀬 き、 風しは、 0 置 灣 県 県 £ £ 割 图

出ない」とある。 14 :4 末 PI 41

Ha 盟 コム器に ○東下の鬼を禁って納り 日な 孤议 21 「人会劉め、邪惡の深玄納わる。 (選里)と名下文港、日本文画へ駅は、 県 Į U でなる 贸

ある人の恵恵 一個

木材(重)日で、支紙、理扱ニ蘇議をい。

建發 お金の家 B 21 E 显 II. 2 1.4 f1 的方面 ルラ 文文 Q とやらな 0 の気を Y るのおせた出の 21 師 ひなると北が越る。 00 林野色凯 白毛の 71 54 见之更 職して人を財子る窓はある 乙軍を駆西 ,20 P T 0 200 特で 赤 PAT 华 31 (1) . H ·q びを Hi # M 71 流 。 公 以 田 麻坑京 亚 2 24 , 〉目 Y THE 金の金 る新 21 0 ○宗 ○誠 薬 H つ野いてている FI 2 制 II II 0 0 Hi 8 7 54 21 2 發 26 雷 2 0

記記 £ 21 調な前 くガイ見の職 多下る婚庫 る。(四)条いと食へ知代下の毒を廻す」、日華)【臘月以麓以前の下食 。車濱 (海部) 減減 調を呼 Y 「中を補し、原を益す」、問籍) . つ調み 热毒, ・つ数及町」(種類)の子 果 Ŧ

大購二上

(五) 於宜 更一市.

6 お人を歌 風の合するもの風 五分子 東の 2 劉 多家

肺 45 河河 0 Y に妊婦はこれを思む。 月のお 血脈を離ら、 から十月をかお食へるは、その心の しア、八しつ食へ別人の 郊 る田の水 干計 狱 on 9 11 21 11 P V 74 2 CURTA f1 71 ひといろられ 21 H 激黄 0 至 ユつ '> 2 İ 引 41 OH 2 娥 :4 車 ○ 激 層 4

80 7 小部で、事場を PI たまり食 はない 食 職的と合かと食べが配りを就ましめる。 花と共

CA

924

FI

2

0

貢

21

X

A 白彩の内、双次刊、ふと合かと気のアおなる内。人の面を黄なるしめる。 東内刘薰习を以为人を益する。 独隸幻食のア幻なら好。午の到水場 , ~ 日 02400 景。

人以际由 31 「東京公子人の面り置骨を出当しるら。 明习『恵玄食えびお見を去る。 もなめ、「強、く日器【一ななり」に立、「本】 W 対するに 風俗配 甘し、寒なら。 る男子 规 24 , > 日 沙 0 場の B 297 肉 CA

97 P 溪 卧 省は配 返れ、 2 还王 21 301 いお『平野の恵お式瀬 瓣 語 館へ形を題す」とある。 放びその文字おその形を第したのである。 色分背~ 来 爾思を望んで率むなどいえば、流電無 驯 地東の これお取び即下大きう、 滅 業 金粉鄉主 田田 多 いい至って疑問の轉じ 那 0247 55547 引 古樂 っていてー 明六古公。 0 見お強と同じものが。 中中 音ははですり一 中绿75 9 + 思を生す」とある。 は極れ Œ 0 国 不ある。百 、ユーな TI 觀 21 078 亚 343 那7 X くに回る う省 21 愛いなる 21 主 71 距 が継 21 21 0>> 000 K 2

(四) 效應へ且く答。

7

盟 部を背する【海谷) 7 一分號を那 部7金の【明経) 重を治す 一種恭 重 以 Į 扛 2 쀎 田

21

がイ

7 海水~海 が選 删 71 平 霏 し、東砂丸と各けてある。 狠 B 21 21 7 九つつを温間で う能 H 0 器行堂式でお、 至身 21 4 しなかのな味しア勝豆大 1 75 狱 H 八省、永一平安を しア語を大の 成立。 躙 SP 0 十少二三九を送下する 24 滋及場! nt 五分名 亚21 继 b よって数子大のようし、一 「心脈部」 回しその見ば刻長してはら常 シ田 臘Hの更血ア蒸 酥 170 R つを食はか 雑黄 别 71 東血を加り、酸 须 へ下酒で して未びし、一銭いつを界香場で服す。(計画力) 網灣を炒熟 0 7 弘 14 酥 一一一一 nd H R 71 ある。(陸五知壽堂大)【野生代】牽職な治す。 不 曹 21 :4 三 21 31 生小見 月の音 シルラ 鎚 聚 11 三個 京 邻 X 1 排 纵 V 潔 (1) AII 业 臘月 0 20 Pl 7 朋事 出するお子の激線である。 FI 23 内ストラー 别市 Mi 21 丸三三の五三の一 **穿香末**二兩 では 豆器シ 0 7 76 6 S 20. 陳 别 気がるれた 整統方 没叫 いい 一勝るこ 郷家る町に 響 ¥ 日 q 兩 0 の子は三番こ 謯 えなし で水 1/ 0 MI 17/ · 2 4 茶末 公本 正 74 0 别 日 東血で 陰乾 I -:4 凝 ---11 生更 H 亚 2 XX 水 2 21 0 94 劉 24 鄙 2

東二五が用る。 風寒い断人と記念な 發するを治し、これを服すればあれる。出るこしてもなた稀である。 をままなる。 【雑宮 戊】 淳申 狐艦でお、小鼠の組帯で、 帝六。 4 彻

て思る可 、つ数を両し 以 行触を難して着を容易ひする 【神谷】 Į 寒びして毒なし、 、つ郷 7 和 対る事権 迷 Ш 0

中明

『散路蘭頭』東一玉玄玄、ハ、正鰡さ法も、水一半やが旗勝し 元亮海 て率を去って登し命し、弱したとき滑い。極めて重きものも一恵い監ぎぬ。(筆) 。一星 4 彻 九九

27 日对金の蘇を掛了蘇は内置するよう 春びなると草今変を食い了金原は渡へるはる美根かない。今知卻 樂 は警派すべきものである。 常习更肉玄贪人为動比自 丹石の一 罪 ° % と語~省番を治し、 20 ハマジ 0 またその性の寒、利することの窓である ひとく出ないやうひするの 計制の基しきものお難合かあるは、 21 及の意塞するもの 石 3/1 東和冬供がなると木の丸を割み、 。以7205年8年 の場合、 14 12 8 D 脚を繰てし な小見い間はせ、 H 一一一点は 口(2) らある」とある :4 21 通 公安 21 惠 , 〉 日 沿侧 羽 o G 美で U のえない 0部 2 0 6 水が 劉楠 2 型 間

W **凱补**】東題 見を潜す 1/ 「青後の 順場で た東頭の 武は出アが稀ならしめる。(冷翻五要) が 十二月八八 「武帯の所綱 を発き機して動すれれ宝るのは数 、り子る筆 0 滁 显 て京る様 4 彻 H

瓣宜惡 不 FI 記載自必数九いある。 及な畜教翁血の下らぬをのま 以 五 別す 下の常思 Ŧ ていて下書なして FI 素件を服すれ 出の山をひるのを治す。 強えるを強とする人種的 「熱いア末びし、 でいて性を作し、 小船 「甘~越し、 水で服すれ知、小見の歌麻を治す。 香瓣 割力力 意思を用る ア駅す。 蔵主人に経し【丸と手を重ねて 「手を重なて対い熱いて下で別まれば、 圳 1:Kg 9 SA 孙 XII 臘月び 食い動ける。 (海線) 治す」、日華) 明のよ 寒風 븜 や県 顨 通

啊 2 21 张 21 外臺 V 6 20 更骨以大変苗を味して煮な竹を肌 鳕 21 る一年後 品 , | | | SP ○淵 ना 24 际 正學建 麻風を治す】(日華) .FI 小画禁予的を治するが、 「煮汁を肌す 都初, 北野、新田、 00年7 · 2 4 729 200 省場で高速が 2 2 CP 54 94 H XX :4 る ない 2 R

塾を加いて山める。(制金) 酸び酸く 小のゆうひなる。 印 000

まる。 ~ 直よい家い下胃をいる 亚 K 出 淵 TI 21 歌 遥 **奏爾**, 人しく徒をられる事し。 証 北 1/2 A 發背 職らして滅り入れて密せし、 (軍政)。公惠 2 事 深いない。

桂

〉雜 見の 、主 ある。(珠鍋木) 2 4 小 申爪 FI 2 0 % ままれば 朋市 R 75 2 壓 中

21 ときは CA を満 人してなほ 负 6 뭰 温間場で ない **懇も、一次**で 数の場例び 0 画

2 6 はいる事の 然袋りる 返り生産をしめたをへ」と唱へ、 **減量を剝して出の薬をお切し、** が霧し、 であるで 11 薬 21

撤派しア香 出土の護生の私人を救人の薬を到 茶果を判 月の下び霧し、 習しい (A) 北を望んで再して「大猷弟子某、 車子上が置 迹 () H 쮋 A 丰二 J. FR 9 地

訓 アルスな 神 0 別古。(河野江) 4 母公所 MA 肾香末二 表面以「生」の字一箇を書き、 2~ Hi 運 するなが、一番を強した阿う調 う館と 加 2 0 源 21 न् に熟色 狱 5 R 阖 ってお子びしい 東腦髓 24 が र्षि 21 A いて対対 臘 制 品

事/

扩

9

平村 12 【野生選】雛Hの兎瀏鸛一窗を球上び難し、 第二。 4

> 事 = 要 大驟 3

別

张

E

二十十二部 大뾃 李

願

狱

2

21

シャ

树

東東別 十九批批 瓦原四 蟲が逝る。 「明月代」響熱を治し、 新五。 二星 4 树

P 愁 24 R 24 いる。 Y 特 その大を脂ぬて見ると明月丹で 諸家の本草ひいでれる言及しなかの 光明光 不 hid 薬 21 「五剣の萬幅は器を献んず、 6 训 :4 元親 月を輸し、 がら孫 0 ところが落めて れを肌して掻び不遜した。 ある人か 良がい 妻を治する古の中に往往とれを用るとある。 寒からしめると夢みた。 。公里子 4 ある政 沈林 27 ,212年 · 4 は 54 でに対し、 2 # 夢の意知が ならりがある 水ががが 7 14 學島 旗 2 寒 2 21 0 رار はから 5 鰼 0 4 ユー 2 54 A 0

意を解する神を 飛 始7月熟, 最を殺し、 最を殺す。 。離出 帝都 五部 るが 最級の中 Ė 県 10

東 離月以知がめる。 撃 な 時月が

Į

颞

财充論

集總)

腦月砂

聖元)

て塞える。(百一大)

新玄見よ了(朝谷)

酒でおか 写黎 :4 主 の白まる祖る。 吸を鑑して末いし、 題下 金の 東東を熱いて 衙 熱の Y 「婦人の帯下」 塞えるを返とするのの小童 涨 星 7 tt いる。 印

爺攤、 い主教 2 【煎虧了碗豆煮を売る】、纏釣、「碗丸の減ね」、風熱、丸の取到毒尿の 0 A 動 敗筆 コ熱いア暦で
古か
と
を
肌
すれ
が
、 手対却小動不味を治す。 この断打 手法対を都の割まの 領血なるをはいて現庫して死せんとするものを治し、 中の五つと難で順すゆうい覺まるものの主後はあり、 M 県 Ŧ 0 2 A 0 狱 なある」、雑恭し 班 の日の日 21 H 瀏 0 本 忠手 RII 12 郑 54 A XX

目が値れて開きて り煮ア食え、「警察」 腎の尿動で風焼は上皮し、 哪 21 5 0 運 是 刑 7 【風熱目制】 米三合玄類者で味 褓 首 4 詽 亚 栩 TI

身 且 その気の 蓋し更お 用お詣〉刊様を割す。 रिकेट्टी 田る目 一更开次 玉 いして性の治なるものれかられ」とある。 即称書いお 隱帝真却 報言るに 12 ? マ 図 からいる。 盤は不見を輸入び 田 あ者にな 發 :4

羊刑を食 明起を治する音 12 御之見得 一切って形 、~脚目ユフ c 顶 数 数 明子を応して太いして現すれば、基次目を明いする。 響を補 小小小 丹石の毒勢流 、「日間」(観報)【間を囲いて、 . H. で食 事とついら 県 0 Ŧ H 泽 も)(素 4 刊 ○ 秩

R 惠 2 26 圍 XC 班 9 排 54 部 並 34 惠 溃 感色 2 * 0 1 8 1/ 2 21 14 V 那 6 M 盂 R 味 園 FI R FI 2 जा 21 三三三 金九 뭬 8 1 6 通 到 翎 ili 淵 1/ 手 > 2 0 7 뭬 8 訓 FI 21 CA (0 更 idu 璭 石 ना 瓣 亚 0 0 「心部(1 9 1 P 通 数である。(解鍵 1/ 2. (小量)。 0 9 0 M 6 R 涨 别 鄙 9 21 显 2 P X 少不 2 4 PI 2 熟 28 栩 21 6 34 别图

霊 5 मिल्ल Ell 7524 いがはいて 用るず できて 级 71 惠 1 CA 。却 Hu

V 1 别 重 备 R 錢 1/ PI -2 Pl 28 漿剤 6 28 £ 别 别 不 職金を治す。 おお五方いある 2 錢 水 「酒で」 県 Pl 悪を治する部分 Ŧ 28 記載 別市 「つな撃」つ 经验 のな治を一人は強の 「酒で」 # 证言 「微寒」 E M を治す「瀬町」 400 画 0 规 食物 逐 冰 林 遊遊 沧 . 攤 继 M 0 頭 4 刹 瀴 惠 剩 0 团巾 恐 P1 1/

X

:4

重

28

6

のものずけを薬用い入れる。

東臺 21 甜 (E) 製作 (E) 製作 (E) 7 44 7 34 :4 0 24 24 0 0 B 14 54 21 5 N 是 de 21 9 냽 业 4 2 主 2 7 器 量 0 쬻 图 3 末 21 24 早干 五 FI 2 '> 刑 彩 時₀ . 9 业 Z 湖 惠 東京ア 常

> 三 い 开 マ セ 女 置 キ 易 丸 世世 部 ₩ ₩ ₩ □ 一書報。 # 7 キャラ 海 本 海 西 本 海 西 本 海 西 本 カ カ + + 4 *人《 家計へに 单旗 (**矫 竹** 青 簡 出るが、まままま (風 が簡 Y 幸 報出 (1) 設×題

。(雜水瓦次) () 香五分 五十 学る 「割省でで過去 此り落ちず 之干 7 2 平 测 11 锦 :4 0 2 0 重 法 歌 評 に、額 训土 6 机彩 1 成ら あの、 が、 「 南丸 भ 調氏、 日正十 题(1) 4 0 扛 000 州 東西西 21 鲍 1)0 % FT 世 关 9國21 末 'n H 洲 いとされ 7 21 뒔 2 令水を置して愛らすが対自ら厳するの(奥惠) 社色、 R 17 些 21 動 東難かある。(東郷大) くと、「のでは、こと 熟 シュつ 75 日光で第しア末 歌ると、富と東京師谷一首と共 まなし、 7/5 7 21 21 子 中 主室で計下大の 十三はっ 39 21 え、関 未 111 ユー 21 神の神 2 態色、 年里 目の三四日 21 0 **製**^{4,2} 日 XX 14 2 21 心が 百八一を失たない。その を受ける。目 Ξ なつ遠 で黄い 更早, 母個 MI 菲 6 及 2 7 21 4% 绿 28 級 FI び東京十四世がを帯は別り、 慢火火 别 21 24 1 "树" 阿 日三日 严 十九ば玄宋 隧 真真 21中 21 上すると る砂目 低 # 槂 2 20 部12 の道 U 到 なる。(音響大) Y 0 0 正よつ んで下下 雪 邓 现在 ス晶 21 14

, II

21

CA

五

ना

0

B

2

鼠

哥

21

立心

28

い置き

4

쮐

温かる

=

選

いれれい

X

Y

0

日

目

(0

歌

聖

9

亚

及

濧

至

21

M

0

8

24

9

Y

21

21

79.

立

PI

U

6

6

i

别机

2 ·F

目

4

#

明中

調へて調

.2

X

かんろうかの

(八) 大鵬二蟲卡血 小山

XC

21

24

57

0

El

+

重

TH

H

Hi

11

いのはいい

いない

4

03

醫

联

シャ

部等

21

.FI

9

液

Z

京

#

2

24

濧

更

麻」

7

帝

王

7 あることの終す 12 21 似 7 その形がい お野にロンプ 月び瀬は二二 2 00 是 + 224 H 大なるな諸 ppcの多ユフマ E 21 張 いなる人がい 4 II. 獲 9 Ŧ 京をことを知る '> 文字却大了鉛の酵 Ė い。 以 い。 XC 辦 21 独 21 00 * 盐 0 CP

排

Lutra sinensis, Gray. かばった 安安 球學科 뱹

7

級

115

X

11 114 -(-

祭祀 メール朝しと

卡樹木六

意

6

y

11

4

排

h

旗 4

6

少量を研って敷け対立ろび消すると海参 「薬箭の毒を解す。 以 Ŧ 븚

「副龍到塾ア計等しア衙門 まない 選人 おろれる 肺地の 要薬とする 「海会」 以 Ŧ てるななって 制 21 游 この職者事がい 坝 显 . FI 21 2

上は多くはの 24 熱 盟 理 潚 4/7 及 道 東 1 U :4 2 0 0 34 181 4 92 2 が成ら 〉傾 1 京 2 0 团 Y 0 野然として 0 9 はつてい 1 部 24 唢 14 71 買 2 0 法は、 都石閣 724 文文化 0 B 2 2 P 4 44 71 2 を記れ 21 FR 聖 on 更 0 Yn 載かな 最 制 裁 2 源》 9 其 U 71 0 2 7 過 걜 出であや 状の 284724 2 0 1 业 團 继 Ŧ 21 0 7 及 र्गा 4 027 (1) 意 25 ·4 2 44 뭬 SP 100 24 1 翘 21 0 し劉禄了 E de A 2 0 遊 P 2 最等の 21 28 咖 2 中

0

9 1 颖 배

未元 一千朵 例 風 20 alt 鼠鞍 宋間子

で製 77 干 中 2 スマ 2 21 07 7 2 5 02 0 肝 Ø 2 74 X 8 74 g 井 なる 21 PI 2 7 0 P 2 분 7 :4 U 重 7 2 R 34 Æ 6 21 爭 E 9 中 4 賈 0 146 CP 2 9 流 湿 0 6 4 54 * 五 FR 雪 PA 21 が の 南 に 4 200 5 朝 7 哪 U 0 0 五 2 M 9 2 3 員 R cit 丞 2 A 器 21 0 14 0 2 鼎 24 中 Ш 2 0 灣 > い。 Щ 翻 7 滥 のさな 認劃 9 き鉄 74 1 4 54 0 2 Y なって 到 0 146 2 ング せる 0 21 B E) R 2 なって Ш 2 FI 14 重 2 1 6 筆 0 0 アンマン 2 0 制 阛 思 是 URL * 重 强 " 整 71 利 (I 0 11 識 0 及 9 24 4 ° न्त्रा 2 鱡 此 21 1/4 霏 7 14 雠 FI 0 21 `> 0 2 春 Y > 剛 2 6 CP 歌 1/4 いが 日 71 0 い。 OFI 2 共 :4 41 [44] 0 。制 y 9 獭 4 别 金 和 靈 ユフ 子 4 ? 剛 41 0 :4 PI 越 ? 溉 : 即 2 U 21 部 华数 立 圖 14 1 MI 集 FI 7 2 阇 高 4 0 9 50% 2 隼 0 2

籍籍籍 未未 多名名 中學 村 目 鱜 Ш

TIF

攪

T

#

Y

TY

SE 類 雷 0 2 0 6 EF: 别 6 果 2 园 8 R ज्ञा. 2 濉 6 0 21 测 IE 75 21 李 2 公平 7 0 酥 0 2 6 0 别 覹 6 别 ? 2 三 +1 2 温 金箔 鲷 71 令 蓋で 晋 FR 0 熟 3+1 0 生蘇 B 21 9 39 P R 阇 :4 9 地 沿来 = 題 2 NE 惠 1 熟 70 0 壹 2 21 垂 M A 2 令 黑 71 器 2 與 4 0

> 他 调湿置 到種 # 郇 윘 鋤。 宋省 里 別がある。 h/ 2 E 孙寴 146 見轉丹 車 + 1 南今團 1. 整 ∈ 据 数 ∈ 田朝 (

*

IE + 0 9 6 江 别 ママ 京新 2 Ja. 0 1 MI 2 2 X 证 獭 NC H 71 21 思者 21 来 シフ (0 到 氚 7掉 XC FR 等 画 海海 石 2 , | | | 6 0 7 **HA** 息 Hi 2 A 發 测

游 (0) 給不証 鳅 311 33% YK. My XC Y 郷 اسا 到水 CA () 1/2 45.5 37 UK 6 0 71 狱 B 20 R 2 这一位 所が 郷 和 調 9 14 0 流 E 2 部市 =11 F 3/2 3,51 及 71 3K 部。 54 驯 0 TIJI £ 政派 . 16 源 洲 品。 P1 2 1 24 别 11 金華 Y-水小学 H 游 画 誓 TIJI

幸な `> 果 ユコロ第二つ 0年 Ŧ 9 CA 4 34 獭 W. 14 > FI À 2 -11-0 N 和 > 2 冰 当勝 CE Oil 7 肉 倒 1

7 7 P TI A 野野 那 Y B 1917. 0 記を以て 0 かをは マリ 0 全な白色のも ジー 27 7 111 、一な事 到順 E 21 :4)) 12 學學 P TE 印 71 34 0 21 2 11 P 〕) :4 0 沿海 W 2 2 影 3/6 21 21 37 FI T 湖 0 71 TI N C 6% of 首 21 :4 0 21 # 2 0

T

01

8

(长) 大鵬三郊下三瓢章下じ。

、つつ野るとな監

FI

鹽盤高い

可麗の調

K

となる「(べ)間を見

9

·A

7

豐

0

P

シューか

歌と聞とのやらびま

、ユンマ

ユフマ

獭

R

2 무 4 0 ってた。 おれる 24 TI 0 團 能入^(B)水計玄映 きならならならない。舗菓で風な味らゆらなる 職打断を増んア激る」なる語はあったは、 ふのやら、 王色は青黒で いるといるを食物とする。 1 小岩小 2 5 de 水 51 0 7 青狐 2 4 なるま :4 「熊お飁を食って 9 米 \$ 继 图 鄉人 FI 170 臟 . 20 | | 具是 FI F\$O 270 O制 S 21 #

CED 露现へ手弦。

事派 水筒へ ンが解析して

9 大きうして UK Y 21 薬 71 纽 :4 P P されて 兩種 1 0 ? S 0 豳 44 2 6 露 製 打入 0 酥 21 發 21 H 0 9 お多り発品 迹 M 2 2 4 0 B 0 獭 24 0 St. Co. N. M · 日 21 凹海 音。近 2 跇 分煎を以了天 71 盾 瀬 5 de 事 0 24 "置

71 :4 通 21

完效

毛出色が

く世ななる国

、有子題

国則が競う

170

200

>

14

21

似

T.

>

日

。例

21

中

魚を食物として水

祓

:4

事

0

神

多种

カンの語がの節を

西放アおその

54

水はおす動配をなし

シフ

韓

孤

は木がい

木上75

54

弘

9

圕

7

2/

0

B

2

千

2

41

24

27

ではつ

ひさいる

71

F

114

できるようで

2

0

&

CA

著せ

21

5

de

0

中で風

当と大水甕の中へ繋いで置いたところ、

と国との母と三兄組成り、

大なるものおり

25

0

冒

茶

1

th 6 附简 家を治 木の竹を祈るか 心理訴案の それを懇加して瀬刊をはして太いすれば、 -江上江 0 日正日 IE 金載に 朝野、 た数かある」とある 21 教である 水水木木 '> İ 中市 1 沿 FFO. 0計 N 21 21 9

子が る事 この試験を その流流 规 川を商品 别机 W. .)_ X また諸鬼の形を熱んで害をなし、 シャコ 及後のは南楽して一家就を減するのである。 変換し、 い苦部はあることは肉もなん、全體の悪くないところもなく 4 it 大闘り払ア = П 末ゴン、一 九種打變化する水 ユつ であって、 海河 没订 主は正達の一 随すると三十六節から九十 なが瀬田 香幣して吸り至り N19244 を使とする d 朋市 , ~ 日 重 なる。 21 して誠 塩える 海。 景 戀

All イント 水でが 具されず割色、 711 34 ふう思へをの 瓡 X FI 主派 `> 076

2

日

王(\$ 曹 4 0 酥 .1 + 7 7 75 0 411 雅九 獭 21 9 0 8 大といる治古 るも出る X 刊 鳅 源 21 張中景の名誉を治するもの 弘志。 點 · 李章 重 孙 0 '> 骨燕。 İ ON d 軍

0

斌斯科論 迷 弧 4 丽 4 ここが繋べ 重 二個アリン ・トゴキ

職用い巻を治することお實験上監められる · 日 Hu 競

【蟲を鉄す】、部谷)

いでれる気は熱い下断で肌を、【眼籍) 【上原図物、 四切の寒動、 監禁、「瀬麻子台も】(響声) 【専口祭融ア電行し、客様するもの、 る中で 楝 V 學】(雜題)

-

(さ、大勝二瀬七動

のべ割

及びる

り。の通日 息。 ななこれにいるである。「動」と、動し、激熱にして毒な」 県 £ 温である。 FI H 邢尔 と正臓 コいっけん 寒かあるは、 A **、**

和 源

2 #1 F1 十二月八十二葉で、その間いを大野薬はある。これを用めるいはその 刊 の一般 刊葉はいいれる一宝した娘はあるは、 を見て調べる必要はある。調べなと創物は多い。 畜戦の記 諸種の上 薬 21日 ᅫ

(人) 回题

離び入れて固輸し、 黄米で煮た腕を患部は難してその上、 上るる。(蹂躙終代) 立といる部を 性を存して未びし、 0 裏び 1 ング 2 刊 亦而 熟

大曜二帛子

なくを持つて

から職末を響り

しなし見熱 日ひして強える。公家急張のものなられてれを服するは当な益がある。 さけて治を治せぬ。その地の寒なるはためど。 も思る

本草瞬日想笳

ना 趒 7 :4 2 ユフコ 難 6 2 000 班 H 21 :4 X 别机 21 瓢 お古今強總 2 0 0 P -6 なって :4 All お主教 小蓋心劑 。~種こつ 記載 21 飛 (E 21 颈 谜 4n 0 倾 2 20 7 古 X 32 ユフ 7 E 77 21 白いお白蓮を 研末 過源 末 2 11 11 N 0 宣 熱 「魚劑」 12 71 C 21 H 石 9 赤糞を 上早界る . 界 ○獨 顾 71 21 子 10 2 5 州 000 ς,

暑 2 0 3/1 及心鼠等。 かいた (張樂) 「然行玄朋市以为水蘇京玄台市。 れと金なるなりかる ひかるれるは 记 界 面面 Ŧ 滅器) 皮毛 9 11

27 221# 中(金) CIEDA明中で「編巻」「未ガノン西ア現すなり巻漆の鮭を嫁す」 主 以 Į 不 别 出

0 が記れている。 「然行を服す (喜遊園、日下を随骨頭は名含なれて) 整性 以 とおと治す Į 兽

ना

TIJI > 14 54 54 SP :4 劉み 那 Z 0 それを育い合せて強 政意で疎、 2 .Pl 24 いるなる。 f1 14 Y 剩 2 关 A 源 滌 0 の新 2 7 Ŧ 旺 Y 兴壩 黑 雏 淵 7 21 16 王 2 갵 21 躑 やらな 嬲 番 目 欺 獭 金が出して 耳 強するこ :4 監管かのうやねら 图 見 Y システ . 朝 0 H 2 O 54 ° o割 7 6 4 班 Tru 2 Hu 7 出 2 雏 额 U 9 24 亦

C 5大腦 = 以爪牛瓜瓜= 引 = 計 2。

?

21

和

といる意

兩分する

書けが所が

トン中の

屋で

京京

る。一人盃の電

III

C \$ \$ 5

りを博う

翠

0

1

用は盃を分っしとあって、

獭

中い人から、海遊)

點藥

I

5

「川繋ア新聞は上下するや

识

É

極を炒

111

9個

竟物體

園

劉

獭

淳

CA

q

1/ 71

は情じて

五

五

0

嫗

047

:4

暫勝ア装豆大のより

30%が、瀬利末子一日三回水アホヤコを駅す。(下金麗) 少いて十箇を未びし、 一熱和打正を捧り、 江水でつき着福西で肌す。(粤東江) 寒いして結なし、 721 面でれる、り 20 て食 54 7/ F1 21 믟 刊用 6 「歌頭を去る」朝金) 28 44 11 獭 21 水到る黄 ホアン YZ Ŧ いなられ 1/ य द 更 即制 日~、古語は 實劍上と今でなうとお 和 「月霽不 所を熱 変む写用の質り変 Ŧ かやや高く強っ つ是 かを調で 17 7 凹 21 採 獭 養業 一号与子及目 [4] ○宗 ○誠 二二 0 71 予個 7 涨 以 和 利用 21 22 4 9 黑北江見 别 4 遞 4 £ 沙 源 411 4.4 アンド **Ņ** 日 闻 獭 174 彻 IE 噩 層 翻

R

1

第五十一%

本草解目層流

22

五

ना

一十一

机粉心(

06

ME

鑑さ水で

张

71

かある。(強制五要)

44

TY Y

(瀬)

明子を総す

淵 HA H 獭 少

Otaria ursina, Lina トサールキ 排 なしな 出出出 班 雷 松 सिव 寶 求 上打島窓の町(キツ)下は女骨の町(イツ)である。 潤 栩 E 題

7 杰

curilensis Jord. and Callorbinus

(1) 木特(重)日形 トキャルド 大亩

国際は いら日く ○母: ○母: 所と同じ。 · 62 9 20 は続き書 混文17 骨颜

37 0 かっていまっていました。 0 9 P いないさ いったる外國名で 近れ骨階と書く。 いるなっているない 肥魚 71 膃脷

> 日 識の器の 湖 集

三葉が 挄 、墨见 防人与同窓時山爾と和え。 骨棚淵富な

後の子 調香い切て 酬 は 是是人 切し大きり、 コージを ME 31 71

34 3 0 開唱 .)_ 5) 黄赤 FAR [191

欧 2 五 4 おるな 拟 お新器園の アンまいまいる、これを聞い書いて 7 17 7 劑 例 HAH . 日 一种 0個 16 0

th XC 0 東海 21 學學問 21 独する 1 日 回回 0 9 ON M

题]

CD 突滅國內草胎茲草酸白鞭子人结卡見車。

意 **兴** 豳 學

Enhydra marina, Schreb. はさけい 1109 琴 岁 环學科

綱

71 その競は 型 いろうりまり 数手お出 大のやらか脚 を風職は呼らるので、今れる強うその手は断つるのが。 11 0 地のもの などいよものおおって 融习凹ァ大きり、 07 on ない墨をよい 生する。 調學 21中 累21 軍學 まは 手お水 + 海, 歌() 志い記載されてある。 場の問題の 9 II X 歌のゆらか知ばあ 28 C 21 中 敏 FI 2 00 6 菲 御鮮 3 寅 **沙洲** R 21

倒

TIF

7

一級

今は

下南方。

瀬よら小さい。 やねらこれを願

かる人とうと

, 〉日

OF

○相

FI

頭

¥1

塞

製

21

非 0

罕

4 車 回草

11/4

2 C2

としてのなくことにいるとして

、つて側画(三な

数

0

\$

20

大なるお五六十八古

o Ce

2個2

正は職

60 7

21

噩

豐

FI

1 國別

Ç

de

0

おう意と食べるものな」とある。

海中へあさらし、海 馬へかいです。海 へあいん及りとか。

محد h I 崩 (II) 風影

木材(重)日下

1 常江十一彩

資 盟 (1) 1 洲 6 71 2 更 潤 2 4 21 0 £1 :4 Tal 扶 21 0 THE 316 -7 高 阿 0 0 21 县 墨 图 4 21 HIS. 0 (1) 0 III! 岩 0 2 0 劉 F 7 2 2 É V 17 71 重 31 6 1/ 18 12 1 21 All 11 7 FI 21 X 河 及 1 0 洪洪 2 ? 51/ 퉵 28 111 値 2 營州 54 删 diff Y 71 (1) (0) 6 7 ジが開 FI 71 191 21 7 鴔 21 HI 3118 34 (ng 颏 F1 0 12 7 71 170 0 XI 0 X ? 8 記章 亚 2 54 21 2 P 平 19 71 1/ 黨 ご利潤 5 2 47 9 21 0 4 7 SHE de TE 蓝 P £1 34 3 2 ? さ.出 7 26 11 新色 2 可 0 X T1 酬 雅 主 34 9 上 26 罪 例 21 0 2 0 (0) 星 뺆 隶 7 到 9 R 24 軍 2 71 14 酒 > 0 2 71 11/ 3 9 > 8 71 驯 21 21 0 2 MI 平 ·4 X 4 9 7 2 of. `> 洲 7 7 CB 1 . # > ? 重 24 1/ 間 . 9 131 57 R 图 131 鉶 9 41 21 MA 田田 多? 71 UE \$ 麗 日 2 21 CA TI 14 煎 7 1 ? C計 21 劗 1 F) _ 7 ? 2 TE MH 温 57

1/ > 1/4 > MI 2 8 736 1 X > 21 (0 級 92 2. 71 8 3 (1) 24 71 24 21 7 打 张 71 71 45 7 重 1 4 11 71 2 0 0 21 继 333 理 魚 弘 9 0 7 3 >7 察 71 6 泉ス 当 1 0 0 V 1 7 0 :4 随 如木 6 2 1 2 56 至 更 CP 21 2 5 0 :4 21 6 M de 图 \$ 国 10/01 34 54 0 2 21 潤 鄙 A 调 Tol 聚 71 0 -17 21 莲 71 113 畵 1 TIE 4 華 4 [1] 學 24 法 > 9 > 雨 宣 4 54 21 T 71 2 0 0 CER 17 主 别 酬 0 1/ 廽 R 8 2 2 9 71 誹 -1

쮄

07

0

9

鲫

R

海

2

6

"麵

P

:4

主

0

目

里

39

21

湿

2

2

崩

五

>

1/

b

2

Yhi

>

勃

日

>

季

71

1

491

M

0

0

1/

1/

X

2

五

2

6

36

清

졆

[14

0

2

1/

CP

2

28

9

弧

>

八八寶 照那週 71: 复常员 キ頭りん 源 雅 回° 千张 E 歪 水獭 卡 일단。 36 到兴旱。 Y ペペ指 IY E X 6個人 -远道(、与日朝。 V 35 SIL 《图》 4 别图。 ~ 满 平崩 奉 卡 ~到腺十 洲 1 6 I 新骨圈×貫+ 翅而(於美 0 = 部語 - C 網絡×小川式文在萬 人無モニ袋ニャネ柳ニの高に、 1950年の 扰 XX. 音の「音割しみ、無難。

(4) 大騰ニ公丁二語学アリ。

y

21

Щ

XC

ス 田 Clib 日

ful

0 4

S

晋:4

到上所

21

頭は筋に

のやらで

316

0

頭

FI

米

316

0

2

6

更

21

T. =

1

骡

和

2

0

4

2

0

2

間陰粒

B

E

9

MI

水島

1/1

えでそれを根

台

:4

First.

0

2

CP

.

24

0

De

14

美

显

0

狂氣 なれるはく 21 C 21 重 亚 5 2 = 21 de :4 0 您 TE 0 羽居 少 主 なる 大の題上のこれを置しと、その大は窓も置き ---71 -2 4 西下 24 6 其 孫 手お黄色 P 20 2 潤かな 料る駅数 0 9. 4 994 別で 1 言語と 9 本 目 M 事 もる自 XC 71 、?~黒 4 21 # 21 のそつばつ न 鳅 数 2 0 P 1 4 2 孙21 4 2 7 54 0 0 4/7 B $\dot{+}$ 57 24 8 器及び 2 4 7 劉 0 0 4 科 腫 71 滇 21 21 S 返は、 :4 74 2 劑 쮎 0 & 2 2 4 例 例 54 ° % 圖 0 淵 U 双 石 图 ユな Cl 噩 21 ζ 日 2 2 21 0 de 。續 0 郑 事 M 24 華 0

>

21 H 21 TE 9 マル TU \$ 21 :4 否 マク多引 111 My 当 y 向び當る 1 5 7 醫家家 de 1 SAN SON 即下居公長 滇 0 0 風 CA 2 P ? 具 全~酸似しア居ら 21 2 臘月 24 21 0 では郷 P は最かのなめら東こて登に 新で FI 21 弧 頭 8 显 71 酬を結合す 99 2 000 C 54 ? 92 鄙 182 500 21 班 趣 0 裕 T: 21 化之 11 21 0 녤 21 F 少 57 色で 東 7 團 置き、 剪 FI 田 溢 4 晋 湉 9 迷 2 `> 200 44 71 水が入れ 腳 146 日 OEV 歌 2 0 进 C

> 草。 E 见部 见 卓 + H 146 蘇廿溪, 歌

对 來。 據 Y Q. 4 1 其品家 11 4 でんと 動用人 ન (ii)

-1-源 那沿沿

14 0 2 54 24 0 8 0 2 と同じやらなる P 調の 民 やすり ますることは母間 ではそれで 现在 34 2 57 Vi ç 2 # q XC P :4 疆 2 0 0 B 潤 57 0 2 TAY 7 > 器 增 日 O SI B 。制 田 0 4

いるる場 水 Vi 34 小中で いて省し上めやらばなっなる。 31 2 ° 24 4 2 0 & のぞいろ『つ 24 11 計
立 ヤママ 0 :4 21 Vi 刑 26 21 告 # 8 > XC P 凯 PI 9 0 排 Ux 级别 割 200 000 非 XC 21 :4 Z 淵 叫 章额:

Pl.

+1

-- 泗

21

インスれると

ら言が語のさ

ひなを聞といく関はある。

中

想

*>

自

。隨

瓣

菲

生するととは

日 音記者(pa (政 朱 編) 麻 条 (以) 大名名。

据据组

下り類しア別するかよし。

21

并

7

法额

*

黑米

24

五

C 2 8

と近似したもので

IfI

いい。

して新客

洲

0

24

11

Q

2

6

味噌していれ、蓄温駐をおするい 盟加瀬 床といえば あり、當 ンガス 和 21 26 林 ないと FI 謝不見の客 6 % OF 20 田をいてく多 , ~日 21 c (I 中 水藥 等。 滋補の 曲 發 0

宿血 影源 21 層 SP 『熊我を報告』日華)【正常、上哥で割扱して広を心色、 57 源派 0 SP 到 赛 噩 8 はな 中 い心動脈 腎蒂妄聞 腎原を盆し、 想 訴令榮禄、 詩合ならび最か良し人事選 ME 息鄉. こりのを治する機動」「中を補し、 高東 演者 【限子の 計 歌 原此、 悪い思と交るもの、 、人置 ¥ 湿 田 題 q 、八間線 やも 额 不 密結 通 北海、北京海 が、中 2 0 FI 県 47 清背 M 虚で 佣 Į 级 不

0 9 香美コノア大監な は甘し、 、し、大熊コして毒なし」李崎日~、 「泉原、「中重、「日重、 瓣 和 源

0 1 14 いいいまれば、 説職す と共に 別 息

んで香しく 琳 薬 , ~ 日 張 C 計 派 7 い合せる。 間變 H 煎し焼しア薬 酒で `> Ì o循 酒で r 県 Y 21 到 與器器 的智 71 母: 须 · PR 7 題 4 到師 劑 例 2 水 뺆

21 2 28 7 2 S 晉 57 :4 0 刊 S 2 兩脚がある」と Tay DI THE 間 祁 藏器〇二 H 歯の二種あることがなるから、 為以出了野の文がある CA 57 U 7 田子 水 & Ch 瓤 排 71 関な 21 旗 [·& 02 S S 9 71 羅 9

實國市除寧縣 現。 東京 北三北三

圓

国を目 知知 鼠ね取んケー个目がして生み、 觀 9 盟 さて手い生をなるのを取って塞で登れ、それを尊賜への 臘は .2 防生の生活 正白色 07 主家實でひ 大いち黄豆割ろ、 多色 は大子子を 全で いった Mの 壁 以 は、 衛 34 たしとあるわけは利らない。 0 9 8 丑 14 21 U [1] 三年 200 0 黨 Tix 2 0 刊 0 71 酒)

語 :4 劉 たやらで毛 9 四箇にあって形がなく :4 上業 0 統 21 71 111 W. X. 2 智 全江南〇 は江本あら、 青黒色で 24 36 000 28 と思えと直习習まアてえのア容易可得られの 邓 C 、ない、 0 1 彩 71 獭 小二川 本 平 170 のいてまるなれる母のさ 五元 71 W FI 前の # 7 TI 周 出 風公露 `> 日 c≨I . 〈登 なく、 。斜

酥 風滅十二 響の

一分かれかられずみ 風

Ratus ratus, Linne, 出出

樹 40 FU 弘 財 學 和

本書かお簡訛り熟のア郷 とは最低部にあったが、 R Œ

数

陪り珍し入れた。

盐

日 ○ ○ ○ (利 家鹿 (瞬目) 首鼠(東端) 是是 音は錐(スキ)である。 鵬鼠 X

をを呼 ア善ト家以穴な明けると ころから、い、南陽地方でお離鼠といえ。壽命は最を長いところから称いを鼠と神 録って果ちぬかのかんら首風といえ。最南地大でおこれを食い、 なことを端んで家園と神んである。風の字の繁文却子の随 >、これお人家习普通习のる風である。その尖らなる 器 あいって 000

> 南陽へ宣路山革 百千 括 瀬市

。 はのまなつ

湖 淮

34.7 艦は死 りえ 順ち父鼠玄用のる。 いる日子に

国の形を形容

頭

緻

いい言語と利 爾那万二十七万以前爛といえれるる。 音は瀬(チャ)からる。 きのできる

沃珠お家風のゆうか、西は少し黄か別は風い。 57 風幻穴の内が別る」といい そろは妻で風を臨といよ。 大の私が割ら、 34

5 % [cat] 島鼠同穴山、 7 音は糸(一)一 原準に 音幻葵(イツ)かある。 鎖を買い難いてる 總記 少多

のはいるとはいるとうのか を火気命といる。 孙

=

山河

治人 基 洲

味名しなとかれ

7

conco-

學公 Sicista

1r Buchner: 北支紙= とれできを下し。 於本 Allactaga mon-

四南西 品。 沢状な

家当の今

き

で

表

黒

の

い

方

、

新

の

や

き

か

方

で

黒

の

の

い

方

に

の

い

方

の

の

い

方

の

の

い

方

の

の

い

方

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

50 当分大きく、その手、 水市南岛 0 54 と青年のま ついる『む日を類は、なながら、はまを思けるといる その山には野 おかたときは続け 中い金するので、 例入州い斎する。 いつれる布に縁れるものでい 風はその 込む南海の 禄、冬八死息中 50 一种 , ~ 日 c本 の制 で包 記さる。 まじ A 0 夏河 * 火鼠 車 1/2 ٩ 茶 A

『北大盗はなる<u></u>
壁班の詩水のイガ生する。 数手も当び来なる 米鼠 2

Chimarrogale

步雷

動かなれれずある

phibius, L.

platicephalus (Tem.

計

州, 加却卡

未籍。

0

1 返は、 魚、蝦を食物とする。 NEW Y 聚 鼠び川ア小さり、 極出したものだともいる。 本部珍日~ が高い 剪

C \$ 50

g

小鼠へ一部、お

いられずけらい

木体(重)日下

Avicola ann-

步宿

.7

14

FI

彻

題鼠

74

こいいって

鬸

贈

0

V

致文はある」

7

酒

一群

る記載してある

21

ないいいい

鍋、鯣の入鼠玄舉わてあるは、

類

籍

調

彌

宇宙

は職、

韶文77

那

爾

考鑑がない。

XO

0 00 OF

問か今の此風か

風以倒ア小さい。

このなる (とみなど

動制(

FI

是

調明

値へが

〇音も嫌(ひ) 張(ひ) 致(ひ) 対(でし) 初(ひ) 対(ひ) 動(ひの)

その文は

0

たしてよいとれ

A

爾那や猫交の富識が

び干

2

引還 (FL 派方 f1 ユー 記録を興子一箇ほどを三 並 9 £1 剩 が変 6 技で手を 抛江北下 21 27 2 いい。 がいる。 画 0 21 流 XC 北で市で対って赤~してから塗り、 明 * は郷して 湖市 いい と記り 1 训 븳 水侧 い変態に 恐 臘落間で煎して滑し霊し、その一年をは強り、一年をお酒で 請い強強を減す 八風一筒を爛器 R 21 表現のの一箇を Ch. MA · -源源 TE 国 -1.1 為黑流 III とかう 7 唐【のよるを欄帯の獲得】 小 24 54 「のまなは今の郷場」 圆 0 0 おア火毒を 94 24 ---21 M 順に 3)7 7 我习知るや 12 洲 いい。 11 工三八日一、8個八 層層 とを癒して 是 このとと おとき が影響 法だといった。(裏形) って流しなる。(雅鶴氏) 称べ 27 一個 54 3/4 指五 0 14 一种, お青い 顔して鑑 21 Ç (江縣龍)。 11 EA S Ex 1/2 刊 がある 温泉 (0 57 2 5 XM 五 2 0 R

風下三虫 (10)大腿= oa 幸

70 術数はある [報祭] H 工 71 城師 (北部) 0 2 11 275 2 働 +1 0 報に S 湖 及沙置 7 李 2 FI 41 SP 旅 場けり はできる。 MI マル 2 5 2 と共び説 H 28 臘 SA 製の家の 间 0 る治古 24 日び不成 M 21 M 10 正川 北 CUL 0 F ユコ IJ 3

通21

息

0

H

おき合するおその様様

2

の用がれて

34

0

R

な響くなり

河

`>

È

曲

靈

0 C \$000

用をなすの

20

Y

21 羽

7 44 3 Z 鄞 草 中 目 小小 UK 71 4 「イハイ園でなのる は動 審 K 2 12 顶 那 樓 2 21 ? rk 7 6 郷取しい人がある。 は 12 2 る XII 2 2 9 てる見でれる。るまてしてしるなるかこの食る子電なるので 7 图 理 X 値 小名 24 71 34 杂 0 2 B 江州 0 職あるときお印印豆園は食人と去る。 q 邢 0 0 酒 8 9 干 21 温は霧ら 21 FI 54 24 ° 非 1 级 A 21 P 21 |交面の は悪 見お鼠 2 旦 器 題圖) []/j のマンてく音を目 间 E NY は間 派 、ユフマタ 増リノア状思の 54 54 28 李部终日〉、今〇、飞速代、 0 2 e C 579000 0 虚を贈り 9 2000 はからころとも 市は青温 働い。 只近と 旦 田やい の認 IL 文 山工 い思い 点 71 C FI ユつ 4 雞 S 後泉 ना 訓章 温 4 北京 手色は 織 罪 非 000 FI 21 0 貢 9 2 54 2 12

> 此よ。 (よ)変阿へ萊溶肪藤 高く揺を見E。

(天) 壁代〈東三音〉 縣で、祭命爾、縣

*

} MI 鄉 TEG 及 2 21 水泥 业 [4] 0 AII AII 圆 · 4 71 0 と見は 不到 则 II. (金重)。2日以れ人間を接接 2 では、意味の 順るこれ 0 就最一箇 3// 四天養之四 Y. 小人であるがなる。一三師で謝える。(金鐘)「小 少行 1000000 酒 9 311 000 华到 CA 9 り、二銭つつを換階で服す。 A. Y 21 源一。「水鼓石水」 [4] 图形 いない。 城麻縣北 ておならの。(書屋)。はない 三星 なる。 感じ研 11 2 隙 6 印 訓 A 2 9 R 9 2

品。 20 我 の 別 お 大 色 ト 34 或行 酒で蒸り 骨をなっておならは、歩み人を変せしめるものかり金語) 沙山 I TI 、り加る国工口不及品 116 21 「小鼠の 及な小児の前襲 (和經) |「羅政] 「条いて食へ対小児の寒髪灌帯を治す 明線) いて食え 過を練す。 黄那で要んで熱き熱し、 X 四級歌動する以主教はある 11211 「小鼠の間 翻入 味して藁いして食え。 食を食るひは、 2 以 談等極で Y 9 24 Ŧ 21 薬

幸して 1弾 て出 省 Jik, 0202 中科風を用 28 C 日子 鼠肉

沙。

6

别

つな

るという 一小見の勘別 いいい 菜脂で脆へ了塗る。(鶏整鎌む) 21 顿 П 7 21 未 域いて スリリス 画 老風を死で回んで強いて研り、 tl. 21 然する R 业 7 随 1/ 27 馬電」 驯 頭

到 렒 21 那 五八五 71 y TH 級 All 别 最を豪都十と共 36 遊 XX 30 :4. スマフ とを酒で 記で固め、 劉 꽰 H 9 。(村後) 4 た。(小臺 かったかい H B PI 念 子 2 U ムつる場 部 器 2 71 0 显の形式激 र्गुंग 古 R ある。の西 41 P 21 测 须 排 省を旅祭ア悪んで黄 0 重 大き 土地 39 王ン 21 9 82 となら食慾が ~ 7 21 この戦 21 SP 34. 14 子子不滿 82 0 54 山市 7 校 タが毛の 回 「らり MI 2 排 末 主1 習る 不图 派鼠が 47 シッ 34.沿 Ξ 9 コー シー 日 y 便難 頭を製 顶 24 14 到 -【好舒動献】 のを要え ? E 殿をず 晋 A 5 H 7 大場合」献み逃しきひむ、 果 倒 줼 4 M 療局 FI :4 ME ~ 2 CP 21 ---て稲み 图 郷 2 0 0 21 来 21 与念するも 目 0 别 その場合び取 2 。や計つ 鄉 26 人の源。人 たるので はならな。(自上) 2 十の書んで少きもの in 2 熟 6 玻璃 徽 16 上と桑精アー 20 は治療 21 뎄 Ċ 12 41 子, 酒で M 孙 21 題 新 킾 7 でる智 近 21 54 はらなるの Z 51 100 CT 13 前し de S いて浸して顫 殿背 [:[:] 0 知らせて かとう ける。(納酮) 審 7 のマンル 8 米艶の 2 画 M 双弧 温 6 图 熟 验 21 Y 瑟 71 國 0 4 21 纽 留 PI 壶 0 7 Y ~ 母極緩、 面は入び 例 9 經 24 弘 THY. 重 U 。(干金)) 0 でる。要 B 21 淵 風滅 ユー 5 0 14 # 未 2 B 中。今 かい 1 〉瀑 2 :4 0 哪 酥 0 劉 6 9 2 乘 9 14 U 21

> CLD大購三団竣武へ 三字下じ。

月五 9 11:1 6 干 7 图 2章 智 日)、熱光 [MM] TE 2 0 女は右 14 71 \$ 50 B 9 M 21 > MI のの「ると」と歌かりるる」も登一 117. H :4 9 平 57 X -到是 のかとててるか FI 2 + 0 货 131 [4] 21 00 X 0 21 1:1 事 羽 71 1/2 4 测 21 7 0 fo 3/2 上ン 14 F 54 ° 0 2 0 7 U 1/ 河 B 117 回 Y 0 24 캬 21 92 5 th CA 21 de 以 計 罪 21 本別脚工門をはて 54 合識の 1 113 Ŧ 通,禁 2 0 なる 于 11:11 76 0 0 P P 酒 R Ħ 0 24 20 TE 0 腎で 鼎 1 0 21 Y 中市 IE 16 5 諭 * 34 明 H 印川 de (0) ができ 歌 TE 0 H [1% 0 코, 由 园 34 41 2 7 7 島 蓝 21 7 源 H 2 21

重 劉 水ざ含む。 :4 下南方 活鼠 ユイ ないとは数 いる治を 0 6 121 耶宫 江之中の東 口び茶・ 調で 湖 中 6 图 V 直 翻金数晶 20 劉各二箇を命与して商 7 21 w 光では、 2 94 为大 が水 来 紅色 方では、 27 豆大豆 ? 盂 SE. 0 萬 1 絲 17 を除く。 o M 艦 禁 加 2 濟 いるというなが、一般を含むない。 北流 SP 拉 Z, 頭頭 儒 额 N-ユフ 劉 排 一 【聲字の字》 20 派 酥 i 訓 哪 2 验 劉 Y XC 酒 . 暖が ix 本 那 . 9 71 9 丰 7 # 雏 MI で見えぬるり 發 子 觀香 24 :4 して通ざる。(本事代) 27 不 XX 到 ユつ 7 凯剛 意 2 那米 21 ·A 21 一青青 智 山田 地 H 園 R ユつ + 掩 ある。(聖惠氏) 園 2 回 。回 剔 7掉 1 到 滋 酒 21 はい。 部 日日 日 5 R 21 H de 12

0 制 温暖の計 風劉十二箇を衝す。 聖問せるもの」 「本の本で記述」 漆三 一星 4 彻

は船~ 開 臺太 7\$ 歌 0 てマなつ罪る 2 21 0 派 ユー びるない S 0 雪 2 311 を治す 71 21日 圖中 21 班 54 2 羽 一樣 + 2 やおら多う用あてあ 7 ※水水 福 5 14 圖 その特は触れあるものだ。 . 2 7 54 は腎の通 ひ呈えてるるも出る 0 正い劉玄郷し入れて劉 ます輩した 骨は脂〉歯を生する。 「船~三十年 風かやおらその宮、 11/2 9 6 事 五 ナはこれを聞とし、 間お 2 21 0 ナンつ () P 27 鼠艦〇 7 歯である。 は見い闘し、 イフいい ン田の水 日~(こう教力水かり 侧周 21 Hi F1 地なって 14. V 高さ船~目を 21 0~3 本草 800 昔い在って 主 5 回 9 0 0 0 緒深 後世 1/ CA 1 (人) :4 是 44 青音を治し、 F 0公里 哥 5 34 24 。制 シフ 21 21 F ffi 24 回 0 画 その目が夜 .C. 霏 21 ハ マ -In はない。 FI 訊 典 21 1 E 彭 コンスを 重な 0 級 息 狱 11/ 4 F 8 411 0

CLD数<北方。

和 全 俗 『部鎌の出ぬけお餅へて塗る。 めて焼け乗じて薬〉。 館~鼬を币~りのである

いの例

ススス

11

北京

FI

21

専用をおの其障

扛

6

京学ない

物の見え

目で

果

青青

PI

U

+1

1211日

(景朝)(照景)

以

Ŧ

翻

田

急

地

年以及

福利

A

3.则

ある了神经

別をなどの会を割す」(日華)

は続いて 「融人の部を動して出居はらしめる」(眼鏡) 以 Į 習 2 A 回见

録な人 21 日三 9 **詩**關 34 2千多般殿工心不及節及恩 地所二次、 瓦で被じて末いし、 視りなどなどの上での「海力車接近) 一門家 q Me 核補 る品をインで 不適の 小山水 とない 1 71 で 關 4 0 倒 11 신성 シー 28

前る」とある。 まなる 息

不を生するは継 、口質を関し 〇雷を歐条論の利引 館の頂を見る。 HI 發

、はにはなる主年多てれがいる」 果 Ŧ 脊骨骨

ある

基於效抗

研末して日日に帯で

0

加色黄を致する。 は金の 须 SP

しずと生まして 「毒あり」食物中は難らなるのを食べれ、人をして 和 沙 TY:

クア刷 いる。(祖教) 銀ア総費の二箇を置 盟入し、 21 語目より地 2

音音 9 日一箇を取って熱いて [目點も、我人で細るもの] 更公見了。 の劉 。一辈 1 Hu 题 179

術家でこれを用るる【陶恵景) 「目を明ひし、船へ弦中麓書し得る。 県 Į 目

感 ○1 臘月落間で 熟色 · 2 ft 「西を濁って着をなっする」翻見頭を対け 及風頭を劉務間で消蓋するまで煎して動 五月の風頭を加つア流の割ぎ、 流募却以南か一蓋玄肌も。(千金) 「真」劉一 温水電水温が ならずして肺蛟はある。(干金氏) >。(小篷) 显 本大と等分を 4 強ユン 彻

鰮

瓞

県 £

影火副 (神經) 「海真」、退産」 頭

P 21

粉器 職して買く運 刊と共び書いて塗 記載な団後 が木の籍帳は内中が五つと田内がお、書き 小見の瞬調び塗る。はで悪んで耳を塞むな輩を治す了神会 **常景急い在るいれ**、 嗣嗣 四級 き棘 O 一、 一 部の音楽を変 県 は出る。 Ŧ 綳 X

额 一片腳半 [工聲] 風訊半合, して塞り。(選惠江) 中で高 徐。 直 調けて独り 4 彻

部 31

【馬八哥】(雜說) 【工聲】(和等) 県 £

盟

0 2 2

部 公 张 事 山 2 疆 54 :4 HA 川町町 · Is 涵 劑 46 2. MA 1 9 7 21 酒 Pil H R = XC 6 0 かある。(子金市) 「計計 って散する。 **八黃爷等允多未** 不上 沙湖 末 班 XC 哥 深 别 滁 し。(善響力) 翠 滷 7 ,門 2 R 2 「日本の中の日本語」 391 濧 米 酒 0 窗 C FIRE R 14. 河 贈 那 到 11 不来 2 で、一 2. 便测 **並展展の日間十** 0 显 订 十三十 4 6 44 404 不必取の All 洲 齑 思 21 洲 YII 四 2 颈 酒 天小小 0 近次 1 中風 河にて Y 0 7 AN A 6 「運動」 は別 J. 7 5 献 Y 数 54 4 2 41 71 9 一日海 「副社の日曜間山」 鼠風河 で服 事小 する。(南陽部人氏) が船が 21 21 26 る。(熊田) W F 要 到 邻 湿思 9-調香 動して なる数とな 27 44 水二盞ぶー 要 끪 竹田山 1/2 ~ 山山 ユー ので食 Y が数 M [iji 聊)。又兵與 AC 2 4 頭 来 1/ 任 U E 7 地及 孫 平縣 半運 젪 で観を作 R 井 R 計 服す。(千金江) 7/1 Hi 立ろり数治ある。「曹轡) 21 0 0 P 恩 影 未 + 2 2 PI 7 おととは 32 31 ffi 1 2 24 1 幽 製 9 TK 水床 なって 熟 熱 题21 酒 シンソ 4 及 0 21 0 事7 ·蒙三 湖 間容器 2 A 欧 發 21 9 銭な監督で 平江 6 圆 回 21 39 Ly h MF R. ユフ AH M 涵 2 日 50 (1) 村 49 + 1/ るがて満い 图 0 0 日 4 の調 子 北 邱 --蒙 21 · 24 那 0 優 图 R 弘 またいのかまで表外所高で ¥ [3] 8 9 でがある。 退 TO CONTRACT 正込料 科 107 54 2 41 1 2. 6 2 三千 子 幽 兴 重 15 阖 0 4 XX ব্যু 7 酒 見 B 0 21 0

母源錄

觀二子

小山

森十正。 【割寒裳剪】 代臺かお、 靴鼠冢二十箇、 短五合、 水二代爻 、冥 50 濧 酒 那 製板鞍棒を治す。 代り煮了前別する。 4 1/1

類と共び頭して服すれば相行、響頭を治す」(明 目 Y がない る」(特別) 14 49 「耐寒を治し、 华 界午の劉長朝献を治し、 放い治するところの病 111 41 宣 庫 大割り割 に記る治し、 及か古今の各大い多ってれを用るてある。 識 諸指 THE THE 傷寒帶軍の發熱、 凝製の離り入る。 前品の書館はそれである。 寺で記画 を存して形傷 别 兩未しア 明づする」「日華」「煮て肌すれず」 鼠鬼幻鬼の 「小見の帝敦大顕。 利 品を下す。 2 いているで 歳い , ~ 日 張中景、 。公園 O F 34 。部 就 更ご、 21 0 (人) 回题 血統 歌 県 H 龝 Z 洲 酒 聯急 Į 發 H 0 総 2 6 0

自 一十一、微変な ユフスン FI にあるものを認って食へ 规 迷 0 たものは北風の風である 中 食物 小毒去多。 兩題の美の 8 おしるならか ものはいる。日のでは、 いる。日子のでは、人口・一番が 72 q 掌 黄となっ ユー

2 生で剝い 「対幻熱い了難」の口は分ま了合わぬかのを住とる。 前部の別れい割場を追出す」(神谷) 県 Ŧ 附骨上 贸

U. 1 N 0 202 4 劉泉見と 水中和どの 家って行く。 2 0 7 如 21中 2 2 京中 0 避 * 0 202 耶 CK 111 21 装 514 FI 4

形は 過 / 風のゆうア大きり、国はなり とで、一名劉風といえ。 第~真に尖のて状だ 司 個

俎 [3 酒)







正月び取って珍かして歌く。 **闘鼠は土中以ホワア行~。** 総は日く Olf

これは題風のこ

ことをあるう | 下文王 > 訓 展がい 事

ス

胃 田 7

1

THE

71

图

H

c会部 。

鬻鼠

音は置いいうある。

問題

體記)

34

ひかかる諸名があるの

郊

Scaptrelling moschatus, A. M. Redw. つかるかいて 12 3 附導科 銀下品) 1114 音に駆っていておる。

圓

颶

質。 专业 大縣 = 一 大響 10 8

0

1

北重

Y

06

AH

水でホイとを

7

いて未び

黨

次当

酒

FI

21

高する

顺

爴

剛

TUT

Tu

常了。(机対武)

71

21

0

7

#

0

21

米

シハ

酒

26

え島蝦

「毒蛇の整 9 Ce H 不 様での ST. 21 **風泉を研末して香油で脆へて** 滅 -6 别 21 空 2 显 間~了塗る。(昭真人料鏡衣) XC さらさ 9 地 2 主 熱 雅六. る当 晋 2 X でな当 酒 0 0 H H 哑 4 4 質

Y 6 5 返知觀香少量を入りるは 法が妙了れる。 14 マ銀エル 兩頭の園いるの二十一箇を用る。一日以一箇で た。(素繊) 惠 石 曾之實總上数玄陽名 21 交回 ギマ 21 盟 联 珊 輕級, ける。(湖南大) ì いって南ける。 風見を五で思いて当を存 重 のなりなけてつなるのもの時、胸 コーコー 末 4 記 藏色, きなものと独見風の 歳と 鼠風二代き 21 自禿 及 風風 いいの いない。 貨 那 4 须 7 0 0 0 園 協な法 * 0 小品 24 見 X

師 寺計 孙 000 る様とつ 源 2 ~ 逃 鰮 剛 .2 源 器器 器 未し、 交山 宣 班 い。(戦闘) ンハ 市をおして熱 沧 20 班 ユフ 故いお馬等に対解する 51 富さ水 阖 -+ 17/ + 油 潘 图 酒 那 FI 筆 21

刊 貿 飘 本が 11で。(赤袖大) · \$1 い脳宮をして新治 核網 は記して H 1 J. 新京は 歪 21 41 はして御 2 間 뫯

> 1 鞭 置义 こよう説牌 跡。

1 梁 十五年 瞬月殤湉 本草

が出 するひむ、研末して終間で覧へて塗る」「和舎」 中國四級早 71 宗事の主 紫龍 继 大い名水中到当 鄉河 新祝, いれなるとれて 間)關 会器、職者を報告】((議) 【八〇〇分かれ対風を去り、 最母 諸山林中ひるる類び、 夏島(聯目) 以 Į 又, 小見治乙乃必食人知她盡必殊中人雜酸) 未 未 未 籍 籍 籍 寒いして番なし」 0 音は風(エン)である。 ひ縁れするものもたけ一種なけではない 的の整調で順補 步步 弘 「諸(か)なを動す」(職器) のる。まなのはの目の日と、 时事科 歌 記載公古る (왕· つた 一种 風 驅鼠 このも是強い 21 河 遺 以 以 上部 퇵 是是 1:15 Į Ŧ 7 並 主 酃 測 0 量 糞 肉 + 鲍 palax fontane ri (M.-CO汁聰ニ語字下ニ 木材重日北滿二个飄 国イ解スかんまでこ TON THE MANS zdwards,)+> のルム本電

木下

林

0

滤

日月の光空見ると近日

お割り触中を築の下行き、

圖圖

, ~ 日

C器

()潮

るおおろ

21

0

9

活

71

4

同じたが

71

7

r1

4/7

いっていてとなる

到

+

3

1

4

0

2

C

21

中

0

0

24

Ugh

風化して置となるとはこの

H

21

4

İ

8

>

4

21

阊

0

元を記る

0

M

F

>

。逐

0

4

0

21

FI

5

14

互 習っ 0 \$7 71 未 **経過**卒 る。 4 出 最か 二のころとなることなる風が震 2 理21 2 E 0 い沿人な地は理一面 24 酸の息である 0 してて る。 が歌 路へと響い 大江 製は 到 河道の でからないれるのかところとれいるとない Y 21 不 班 李恒 0 正 嶽 4 單 直 2 2 St. St. 0 0 水坑南 B 54 247 大 71 21 藥 製 拯 英第 2 · 宣 7 戀 な場場 21 14 71 女 X 4

最高水金 第7月10日。

省

流

京醫。

草見

F.

+

扫

就文人に

(3) 置例

翻 HH 10

前年間

回

未 110

極極幸

酒

H

21

孝

主

FI

21

4

H

12

N 7

34

0

92

54

7

参れ

自等方

温がは

71

常順

>

日

OF

0\$1

·4 2 及 PA H U 1 掛 マユフ T 71 Ty 竹弓, 印用 国の長さ FI やうなものな 须 る。果 2 34 000 0 0 4 82 2 計 业 0 ~ CG CG + 田 21 7 9 X 五站 311 TY 加 哥多 0 4 图 X 21 吉 夏(夏) 題~ 。ともう期 1 1 再次北多 :4 强 量ユ 21 の温えいえ 빏 罪 200 别 :4 田 0 FI 4 9 24 場 Y翻 顶 2 M SP 酒 哑 > 2 SK 桃 24 71 0宗 AL 目 2 繡 1 銞 罪 9

> 回 4 動 大뾅 11 訓

Citellus mongolicus ramosus, 松 た当 出出出 時學科 目 總總 音に石でき 圃 酮

惡到 八剛ル景) 、輝建」 界 Ŧ

臺

黒 中 뱹 0 並 1/4 青青 뮒 单 里 V E ・丁ン戦 阿 4

4 1 跳 洲 重 事

旗

21

湯

71

द्रीमा

中山

M

2 11

园

71

继

いと中国とある

7

0

香する

影風な

『CIID宣域市で

21

7

-

1

那

2

0

4

:4

4

0 24

W

E

71

7

H

阿河

回

Na

3/

71

主

2

5

de

0 調

71

器

:4

04 6

2

Mt

Ŧ

2

0

8

1/

5

de

0

-17

71

米

34

0

2

6

薬

R

酒

4

21

新

洲

憲

ECH)

71

21

數子

金

g

\$

14

21

河

111

念器

:4

びえ

?

6

~

邸

田

及

1

2

H

21

3/2

歌

21

111 21

甜

0

いるる中国

R

28

11

3

0

8

OR. FI

117

.1

7

图

111

21

(季) 松

*

FI

21

量

法

を無く流しててく」とあり、

147

业

٩

9

71

0

B

2

14

習圖 計開

7

2

淵

21

28

2

の公母っ

「などないる~

쾖

2

大独立あり

X

9

\$

54

34

霏

17

0

54

R

28

2

36

清

34

0

2

th the

晉

H

8/2

30

0

IE.

图

2

0

14

FI

2

0

B

5

训

"留

FI

郷

:4

0

Ce

2

Tay

21

酒

71

打

FI

圖

21

那

例

Ke

C 24 St

2

継続

0

班

高暴なことで

はといる。とあ

此大ではこれを小

孝

00/6

御多鄉山

激午斤6

量 べ 受 〉、

9

のなってのめのこれ

9

聞一路 三 藤田 土 人 夏 三 麗 シ 、 照 三 テ 夏 彰 ベ **一部へ別し帰三ヶ見割場をサテンイだし** 粉藏县(五) Щ 票三票 舉 4

山見 草瀬東。 \$

54

0

8

1

大があって強い

国土みな白人

阃前

之例

21

は霧

川

7

城市街

2

A

21

级

29

恭

-21

刑手

その特別が一面

2

の母

2

王

0

は鼠

2

0

作る

21

訓

おくま

2

0

8

24

G

3

·A

7

24

000

2 田

1

21

实

000

M

0

14

21

酒

0

E

7

21

-11

9

71

12

[4]

てなる。

おはそれを取る

るのかのか

2

() & & H

劉風と名

9

71

de

2

非 間お風い以下口は緩り色養う、 997 2 正なるとされ水災を 主 頭 「風母は、 。タル音 異物志は る戦 いと水半割とあるもので、 対するけ、 , ~ 日 FO E 。常

0 省お風のやらで 念〉水中习升し、全分指〉水子型色とめア彩子放 中に切れるので 0 26 ならばがある るお千千まる A 146 お子の内立気人。 おこの意 調風 大林 , ~ 日 、く뿗 皋 0 应应 Mf 思於 逊

TH \$ \$2 副 0 :4 風而を対めるを新辺 54 ので活動 2 00 0 詩商な風い気をとい 2 大いち中割込む 中を行い 下いる 調 無子の河間 on これは鼠の王で 0 17 お知り情はか見アをと今そな話れず 酸であって風の鳥で 0 って信じたのだ。 巻を作る材料のする 闘力は、 34 潤〇 调 な闘な のないさずいて「兵暴 III が神 数を 2 は玄器 山間の `> 24 日 2 線の器の 0 0 B **H**F 0 弘 5

> 草需毒草 塩キ見る。 譲甘塞/指 CID 貼中へ2

北は離り 价驅 51 菡 大いと取りとのもので、その と紫るま 上次中7數子 竹妹を食え属であって 鑑え煮る , ~ 日 の郷川難 c包括 此で打きっ食ん。 フン 大い 高する。 瓣 A 575 Z 菲 鲷 FI 21 [54 [調

のそはそれ、のまなしな形を派を表するこのとはてい 竹桃 岁

盐

コナハサも将 弘

ゆさ灯やれ、一軽(木材重等鉄) Evotomys rutilus (Pallus.) 公公 **脉學科** 目 とと の(4月)納(水)思 颶

4

可於養の即 「即到東新、 o o o o o **記嫌**お 製機 あい 以 Ŧ 寒びして毒なし、 研末して会点するは肺炎はある人都等 て井」 规 溗 TH

TI

醞

길

2

お阿(シャル)で

분

盟島

20

21

图图

記載お

鼠

湖 OF

8

(4)

21

业

神

FI

漛

길

雀鼠

000

21

业

쁿

71

0扫

000

\$

21

期

割

71

퓵

温

0 2

は誤 革 0 不 54 71 頭風出と神え』といい 21 酒 6 製油と同じながある」といったの 5 14 配 る暑 de 0 0 Y 21 資 4 罪 业 21 FI 鳴き 慧 ¥ 川マ 恋城 r > 渠 鼠鼠 Y 21 o N 青黄色が。 排 薬 一旦を食い、 ユーフ 141 51 2 淳 スつくる 技能なあるもの q 9 流 华 加 シャ :4 4 はその題を 主 71 孙 調 21 国 3 4 「この物を五種の」 2 Tay 輜 剩 十人人 2 21 21 更 田 V 00 FI 交 2 球で食 R 頭 なか 图 大きり、 幽 対機が 可以 4/ 0 颃 FI 34 2 硼 9 9

JOK F ¥ 분 惠ン 54 (3) 4 71 望面 到 0 AF 0 班 71 1/ 0 及 是 50 21 国) [列

るまると

77 7H

2.4

9

14

21

ココ

韓

:4

2

計劃

主

07

12

.7

る。

0到

なれてお

2

4

ALF.

雷

24

和

流

はら大の

後からか

。会訓

21

7

題

71

H

2

0

8

J.

櫢

21

中

TE

樹

上次,

000

21

溜

躢

FI

題風

, 〈日

Fo

牌。

輝

集

聞

0

24

0

82

14

4

公例

21

酒

2

0

P

2

퓵

職と同じ。 颠鼠

7

盐

金胎金人 批井

常五十一卷 本草聯目體活

:1

羅願は『この風出 歌は題とか書く。 54 なるとをいることのの 100回 读人幻察風、 松的 (養跳艇 弘7公林弘子介人のア, 栗鼠 7 盡 進

いたち科 岁

Martes zibellina, (Linne.) ペイスト 出 艾 球學科 目 (網 圓 5

なる」(報経)

頭骨骨

21 「小見は夜周して不安なるいは、これを林婆に悪けれれ安らか 以 Ŧ

(理線連就。 盆で立へ知明美である 「瀬器) 以 É 0 2

る門」に変正とが、なまるが、海路正要が「四き」 記事之面を動す 東は風い。多く食っては消化し難く 煮ては耐いなく つ出 规 4 2 2 1:Kg コン 囟

。ないるとはるのが、 其次题~ はいるなり、 A 、 〉 日 はの

いるれば問 21 5 ·V 亚21 47 0 2 A 50 A

? 上口穴を寒のて寒を作 園び畜する報番属」 「大家」 問いまする。 21 字隆 (0 食る。 溘 门 ()是证 2 0 M 上幾鼠は 9 晋 71 Y 美 職ののと 34 5 do 0 ()) 抽 71 纽 淮 9

> 整本 Sciurus vu'g arsiman Tchiricus (Thon.) 与七科

ほうまくりでを路風 (1) 水材(重)日下 八五十 =

1

麻園である。

0

とあるは物の

「年工行る

耳

而謂 ホアは B R 6 防人打を公合作とかなわる 制みな図はなときゴお出ア穴の人 語 02287 野部とするもの 21年年 その前足を交へ姓いて 東地 da 亚 つ戦闘よつ ゆうか真似をして大い電人する。 0 12 不 る問題を 調學學學 27 21 鼠铁 Y 、マツガスン 9 14 2 11 あるが、それは観れ 歌和 翻 P 盟 须 間 21 70 21 平水。 ti 2 X 21 黃鼠 早 Te 9 37 以四 0 2 羽 4 118 W. *> 越 0 公司是 [百]

一一世 (黄 韓文) 豐島 * 盤

排 4

いい。

認認

(1×) CABO

音は軍

題語

Citellus mongolicus ramosus, コパレヤ(木材重孝宝) 班 畲 禄 目 総 圓

遺

Thomas.

林う様へ为去る 【神谷) 然 インとまなして本 0 2 総目は (1) TO. 重 빞

、つ掛」 规 当

图

£

手贯

白色のものを疑路といる 12 N からのを黄露と 色を帯の

UF Z 訊 る主 でまるる 神子 なるの表徴であった。 是国民 班班 21 21 X 頏 45 2 0 4 S OF して外温が 首飾 2 おをから 三版 4 P FI なっさ 0 # 制 24 であり FI 2 到 制 0 B 0 24 排 41 0 運 彻 2 0 繭 2 F 21

f1

黄

21 題 電は重り 0 2 頭 De 風お當ると更切 画 24 と部のやさ 0 嶋 苗 まな墨をユ 杏 、発しぬ 24 4 M 無 00 21 田 24 雠 でなる 5 画 田 寒 000 果 PI 水 0 批 54 ~ 2 14 拟 る事 21 宗湘 47 [28 [直]



大き
うし

丁

黄

黒 高端 び島女員、 園で A 0 高麗 酒 FI 水 今は遊 21 說文 特別の。 2450年7 21 まする 三年至1 , ~ 日 工家國 CEI o钳 0 24 0 網 西日本 菲

X

71

周

07

0 9 CL

& UK

5

21

TH

顯

黑

0

巡

71

主いさ

()

どで国が

El

獭

3

2

瑯

第色で語として

法

9

rg.

PI

fo

2

大 注 注 所 加 立 立 百 10 Cf. 1 割本 CED 角中魚ノ Y 4 6 % 20 黐 留 北流

3 常五十一 瞬目懸縮 本草

7

3

星

音は谷 讀記 。ことを整い種子及(とそ) 7 音は 題風 (目)謝 黃鼠鼠

7 盐

挫 されい

Mustela alpina, Gebler.

おるなすいける(木材重参波) 7

Putoricus fontamerii, A. M. Redw. しないれた 7 科學和學和 目

總總 と) 出は音(4) かんしょう 鲷

遠 砂のな黄丹正兩を入れて神技 フトを阿 14 の今日 大書のお記載が 9 できる。 水土で加を結る丁強ら 音画のゆうい難して初る 黃鸝 7 で年を出るもび難とに子、水び部して来び刻るゆうびなったとき、 界を非順選器 北大でお食え神としてあるは、 次に繋び 、て田を書が間日三をいる。を上を田工の溝く置く 2 会がよって再び流り、 黄鼠など はのはいる。 なったとき率を癒し、 21 教する 恐ける。 曲 競 0 R

(報報)

ill 思 Ŧ

·Ya 沙 图

て出

でいして毒なし、三要い「多く食へ対強を強す」とある。

P ना

選が

、「無を難」、「、

通い切り

香び頭して新

生子。

る事

いついい

R

工

到

常五十一

目標沿

腳

本草

C

2 電 皋 茶 ユー 8 贯 71 ? 渠 海岸は紫の 事臺 .1 0 け落の: 71 哥 し、黄色のもの 71 * 通を 2 ** ** ** ** ** 数 刹 21 亚 は露干のさ 京 21 0 は魑 N 証 酒 :4 21 滥 必数の満 風子のやうか調か い始へてある。 3 棕 业 その地 0 層かある。 由外ひは年界でこれを同業し、それを上等の 71 2 S 21 百 247 で習 71 主 丁 21 早 2 34 of OF 24 21 雠 脈 集 2 酒 栎 0 盃 では数は一次はあるの 24 N は大 8 數示 训 今お一向い重 五 の数に番し、 0 0 客を作って別 9 FI B 0 6 P お軍と 米 21 目 0 凯美で、 到自 纽 뒘 2 朗 短~ 71 0 % CZ 六 飛 2 监 24 自鼠 4 34 極めて四 Ġ 2 :4 2 1247 0 小いなみなる ユフィ 2 de 淵 44 0 0 0 8 0 聞んで出 0 拟 ユフ B 型 毌 回 24 FI 驗 14 0 貴なるの 0 市 郑 FI 颜 瀕 24 21 331 黄鼠びご 71 9 0 000 于 逃り置り 思とい 2 9 能> 大 び 大 の よ も黄鼠 太原、 14 P 6 A 0 2 酿 哑 (A 0 藏 ~ 4 かは 城中 **釜7盏九0**贴 0 0 排 K O 踉 57 ° 217 241 , 〉日 して善うまら B ある意とは 2 ° 2 憩の 6 17/ 肥 金 、なるなる「大村子 地方 O F 1 間色 趣 U 7 0和 9 米 六 21 21 逐 2 酒 聚 鄉 4 2 \$ のさな 田 足膏 3 0 24 0 圖 てる語が ° 2 加 题 82 2 旦 2 9 高子の子の >Y0 71 集 * B X 9 P 頭 28 :4 ġ, 哥 U FI TI

> Æ 北防へ蒙古、 地方。 4

震器 果 0 ha 17/ 146 級 4 14 程 Ξ a

審 1.1.6 E M 百

立動了 『阪中西を食え』とあ 器 A 21 南南志の「人を食いり 中、黒等の鬼を食えと強いあって死び至るは、それ 間一具を割算し、国で激リア末りし、 pcpower 血脆末各三分支人外,一選での子熱階で購入了服す。立ちり 那個 S 劉泉知跡め下睐今本なものか、ふる見とも見まゆ。人、 くをして悪報を思えしると しましている。 物をパアを漏しな でもこの物の食はれたと添けたは国という Mus molosinus, Tenmink. 温お風の最小なるもので、 のないのとない 、ないろう はつかれずみ 打智力科 刊 C 9 「一般で劇 「心頭新」黄泉の心、 P 71 出出 7 整事? 0 8 班 富 母 2 12 いく日を明 意 既い憲憲の -. □-[翻 [百] 部 識器日〉、 数に表記 廿口鼠 圓 。そのマロ 上生る。(海上小下) · 藏。 7 稱 故い廿口 附 盐 兼 剛內 Mus wagneri, こ、木材(重)日下 なんきんれずみ

Evermann.

虚を致す 一、神色、 ら観誦。 県 £ 心を事場 「臭」、 利 運

れいは虚を映す」(毎冬)

詽

ग्या

「雨い煎」と割れい室 以 ¥ こって本事やってい思 「甘〉臭し、 籼 漂 肉

お鼠び以ア良は長り、国は太か、黄 色黄がして 2 最多び用 「部づ似ア大き) くいよるのはそれである。その富と国と国とは野びれるかのかよいろ 24 0 ないるいるける目置 い間間 泺狀 常順 幅は急急いるる。 極ると製臭汁。 鼠鬃 FI いる日今時 出び所謂、 爹 603 赤を帯び のいなび 锤 -黨 赤し 事 21 到

21 制 鵝 江東アお類と和 及が禽畜ぎ はなかしとあるはいちはいかいいとある。 で、よくな地で す。 本子 7 刑器「規範の 風を 献える り 駆 郊 0 24 は鼠、 うの色幻黄赤か師のゆう びに鼠頭、鳴ち鼬なる。 4 0 命へとことに触いるの 000 20 24 憲雅 名



報であるが、

はの日~

批潔

CP 主 9 0 響次 别 2 Ì P 制 0221 ユフ 7 哥 0 面、足口縣, 24 21 凯 00 % 雛 21 : G' .1 ない変いな 24 理 一年 0 0 8 M M 8 24 '> 쮙 6 CB 陳 到個 Y 0晋 24 21 Y di 0 2 扛

一 息 21 `> 9 M 21 まする。 一种 つらず中 CIL 四四 抽 Ш 其

CID禁山イベ熱へ山

コサイフカキ

111

0

禁

71

21

昌

12

THE

文字文重75

1/

FI

餴

甜

0

CA

はなら

2

SP

21

當

0 P 54 THE I 1 法 71 是 2 0 弧

07 開~77下小が。 胃気を開 胃が必治し、 TI 體也 、一日 ○崇 ○讀

34 から鼠なる名があるの e Ce 2000

M 日 OSI 田子田 。相 顶 胃 福 。2年17 (脈腫) 手顺 21 00 % 54 語と書く。 で形と形と 21 の字の第次が 。公里 事の字で 事 FI 少早 21 說文 黨 21 報する 公 盤 '>

企 那 刨 FI 是 * 習力強原治部大名がアカウが治

54

潤喘り移し入れ

2

0

Œ

14

[師]

はりれずれ料 3/ 岁 时 窗 村

Erinnceus dealbatus, Swinhoe. はりれずみ 3

「独断の黒雑」(神徳) (四中經本) 影響 県 Ŧ

Mungos sp. はさけい 岩岩岩 財學和 3年

書書びに職資國水る食納風を貸しかる。

、いる孔様、一日珍晴

鄉

菲

多光

26

恋るうお割り貢略

極ばれる民心が見る。 強力強ななる。 独力整ななくぎは、この風力動いで見をすれ が対象

闘する話を聞かなのであるは、

今はこの物に

。公学了

787

G CA CA

明

ななるあるとろ

图

專本 Erinaceus am-まくましばいればみ

urensis, Schrenk.

こ、木材(重)日下

⊕=支派全士ニコリ

の八多種かるい

いの語をおして双語い聞へる。

マンでース(木材重等致) 目 とと 食物鼠

タれつい、はさやうしす上を辿りてむか、りなう種野はく多は一くなる。 。公里 務膏を以う動も、及次豚肉を食えは砂ブ 放び得び記述し下置~。 用なうして人の書きなすものが。 めの旅である。恰対は、 54 45 02 盤は

21量

* 及 X 5 HIF はあをして出るしむ 間車 0724 0 111 2 で # 2 71 滩 温 0 の態 P 34 沿 21 即 はなる 9 11 架 2 0 <u>__</u> は金を歌す。 1 de 71 .7 温温 ではな 21 製売 は 記述 20 th Tr 迹 並 湯 P SP 2 45 Y 00 2 7 12 0 明ら問題で 中人中 ? C 14 FI 2421 言言 7 シーつ 21 9 罪 語を置ける る。 と関カの無力を H 減減 71 を食 響 54 の公学了 0247 温泉 18 FI :4 鼠 41 凯 0 24 175 シンソ 郵 正 21 刑 「ピン中 南子 图 [味 21 W 24 狐 弧 21 业 11 圓 制 とある。これで観る X H 本地は断る 图 21 IE 71 00 0 0 教する M 本草 到 P 引 なったが、 6 围 罪 制 2 FI R 0 '> , ~ 日 X 则 弧 8 8 继 日 骢 9 o崇 o颜 E. _ 2 FI U 24 おるの動物 47 #1 JE 等。 :4 哥 23 IE 퇠 R

Sig 7 TE 0 갤 B 公製師 UR. FI 干 0 0 THE 開 P 0 亩 H 立頭本 小ならお瓜 2 何るようとる時 2 00 21 E. in 54 33 旦 派 02 缩 は那 R 0 E1 學 明みばさ 24 CA 理 Y ·4 Y े २ 2 41 5 職が強いで 11 X de 284 五次 2/8 8 Y HG SHE 2 8 一個 那 7 21 71 湖水 I (<u>F</u>1) 28 工 24番 7 71 でいる。 0 齦 部 2 21 4 '> 0 4 独 24 2 2 È :4 0 o N 0 B 腿 8 遥 1/ 54 0 水 丞 5 N 霾 間 de 2 B 罪 0 (0 T 7 月 34 はは

34

0

9

茶

みしまれて

2

0

放が法で

する者もあって

À

몔

いる場際に

面

71

0

24

学科

71

0

82

24

1/

9

はとお

は一般

0

B

0

1/

7

2

5

de

ではいる。

继

0

腿

>

日

21

極。

回回

画。

8

いいいい 21 4 Y 上 0 2 3 不 土生 益 銀 Z X 銀 湯 0 曹 2 那 沿 fl 11 H 21 謝 本草

1 まれ を治のがあるのは 뱝 河山 制品 20 TI TI 陳 21 排 和 態 導 , ~ 日 ○宗 ○颜

温が H 0 陳 0 쨄 は淡淡 團 21 图 がおが 永 泰 子 泰 ことなって 9 ある。「くなく居」とあのなど 滁 24 9 せいった 部 0 放きるのを強といる」 R 2 > 0 問 B P 54 28 TI 6 派 「開い似て赤色のか 21 級 06 豪 71 康 0 主 银 R 陳 14 辣 27 4 21 12 教育 2 酒 7 71 71 頭等 態 21 2 盟 200 0 5 阛 腿 32 de ° 0 . > 置 14 U 1 日 0 4 OF. 薬 21 0 細 日子 N 頭 A 网

弘

71

21 晶

平

S 14 雜 21 8 C 田 8 24 C S o 묾 24 爭 FI 规 9 4

118 X :4 54 熠 Tay 0 ME 71 0 かの方 6 41 21 0 淵 7掉 24 41 24 * 800 2 N. 0 2 7 田 2 :4 颈 颜 刻 2 6 :4 以 21 到 MI 例 和 日 2 21 24 34 當 贯 盟李 亚 虫は 国 9 0 . 24 子 :4 34 400 2 54 0 4 34 B 倒 4 2 2 瀬 0 °, 出 72 8 O 澜 1. X 9 相似て 71 21 はな FI Tay U 2 7 床 晋 顔る 71 21 贯 E 0 0 いるながよいろ 習 B F1 9 贯 > 0 P 脚 形 2 などろろがり からか COR 71 哪 息鼠 14 0 0 图 2 P 2 Ĵ X ?智 2 X IN STATE 事 0 凯勒 54 2 0 P 2 0

\$

2

2

る郷 71 븳 5 34 0 P P 深兴 2 1/ 图 21 美 はんやうな時間の 21 5 de 修修 The state of the s 中 Z 到

> 陳 米 はへっとし、 (1 * Q. 1 4 熱味

小銀 目 72 及 别 火源分 Z 2 .2 掌 y U 1 一銭な所で肌す。(嘉姓よ) 綿で裏・ 極極 .2 7 画 数 24 06 版 倾 持心正践を未りし、二銭で R Y はおの 歌波 AIN 21 2 2 0 2 大いて半 口中以殿原はあるまかするは割し。 郷を割 1 agh R 及刁 0 51 金の 繁節 歌 0 0 7/ .1. 所無等会を未びし 流 ニンフ 1 E 34. おる出 ているるではる山るる」の表を強いているる。 器 哥也 N. 彫刻を洗いて未びし、一 次な コーに回言 0 19 剪 4 聖 21 齦 0 7 :出愈] 別立立元の熱色、 出版 顺 * 品誉 7年 21 お正淑习がわて洗いとなる。(書歌) IJ . いて末づい Tip 9 三日間孫子を見ア更习黨をる。 凤間 14 一級正しい 0 % ·L 3.非 く置み座 曳え熱 画 000 水気含む。(部が堂氏) 日後の補の手當を加 京からなる 學是於 源 17 齦 7 「正的麻淡」 加つて書を熏する。 るのより、(市後市) 木狐 關が以下紊 温がである。 聖发、 の中質 、名思及 彫虫一元玄熱色、 か薬り。(子金) 【別類の倒帳】 古るものた。(千金九) 薬 臺 シーつ 以21 廊 除で裏んで薬り。(聖惠氏) す。(尉力家瀬大) 池 十二、七四本の まるそのて 7 ゆや霊色ならも割め、 別す。(葉五部を) 印末 口 7 調味し、 記さらからい 生流で 中了高智 21 米米 加 シ中のラン 7 7 别 别 71 B 第 米焓で 曹 21 出 溫 须 2 る場 半ユ 連り 0 开 £ 2 0 24 贈 R 6 6

(K) 土鵬二切淡水+ 葡更齊深二引い。

25 14 0 2 · 297 地では ラント 肉豆誘一半さ人が、空頭37一錢玄熊米滑ア朋下るは妙好』 鑑を用る。 是多~ 6.7 憲黄 | 家の大い | まり | 3 | 3 | **衍養37** お 【可上港王】 歌丸を三部刻と、 帝人。 置正、 一つはる事 4 臺では、 树

21 4 シュ 薬 0 X A ール系 TI 21 26 0 % & 見なのより ना R TIJI 顶 る器当多ユム Pl. 加机 21 鼻 慮いて P 54 頭 3/ 0 里(圖) 調す。 操 スコト À 潭 国外でお 画 鍋 (郷性) 総 解す 1 UR

いて酒で服す」 多重新方 赤、白、五色の血を下して血竹の山を四もの、 成り意 赤いるが高います。](本時) [顕集] 下 まっまっます 陰値で、 、建工、 60年~日 県 21 殿背 £

イフにす 00 哥 教育などの理察 て暑 計越、大 规 酒を配合するお食し。 派 0 2 U Y 21 薬 ・自身や の谷く置 野み つ非 21 黑米 、一旦郷難して 県 剩 事な 出

71 21 ママグハマチ 740 74 背闌して 木土の鬱鬼なららならず。その風幻乱な証る 間 十二二十 °> X 34 温え すると乱れ心下蟲者が 먦 つ王な の態 34 題のそれてて 幸 X 1 H 一路音流 0 9 11 03472 0 はと聞と聞 とするなる 投资 + + + 20 大らそして草藁り引るの 毛之批 中五子 。 2年7 2 な職 いい。 34 2 2 0 国のアクラス B 9. TI 21 玉

(B) 大鵬 二 旅 二 市 二 市 (E) 大鵬 二 始 二 全 下 「 で) 大鵬 三 始 ユ 三 白 空 下 「 。

7

いる。(電砂集鋼化)

価へ切れの割と率いば、一三回で添える。 「記分の原川」 行を響う題入する。 4 树

東門門

ではるすが限して調料を設めての主義

水コとして影響の食ると記念

大多点歌詞の観るも

。 これに対対がを出るる。 一。 献を治す』(緊宗旗) 以 Ŧ

翻

H?

悪部はお、流い熱いアー鍵を耐か肌す」 東郵 、華禄 「麵數」 以 Į 궤 ग्रा (神経)

[頭動](和經) 県 £ 嘂

0

· · · 1 彻

香耐を内肌す 「鬼爪か湯められなとき」陳野間を日日以鄭村、

金れ打蟲を鉄す」(毎冬) 以 Ŧ 21 祢瓣 0

和

沙

밺

[内以同]] 11部(11年)、正金、八下玄景、独黄玄州ノ、邀玄深以し得

胃尿を野し、人をして強ト食がしぬると、孟語) 100 m

東い主族はある】(議器)【洗い了食へ为不 X 全大業代を増ひ。 食る。 25 X 題っ 黄15

事

「気骨づお、 。

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・<b 県 É て食へ対人子して要念して精治を漸次づ小ちっする。 规 账 肉

【狂犬の刻湯】馳虫、 題録等仕を対対熱ハア水が駅を (後達は) 総)

野五三七を熱いて未びし、野民の動けて見い角をす。「子母師 かやさな状態なるひむ、

紫がからなってある。ないでは今月のして子を生み、子を生むと多っない。 ア国法政〉、年、国却人の今さか、今知も贈〉題が行う。 小さうしア 遞 20 71 0 8 P 酥 34 それで十日で聞れるものた。その渡いは数 4 2 Tal 21 級 ta i 量 0 B 2 多の禁工例 その性質にある 21 級 14 24 級 FI 0 0 8 44 2 0000 754 値ユ 0 霾 国

獂 调 R つく当 71 54 21 131 9 21 到 텛 品がは毛が :4 34 71 澳 2 44 圏〉思え 34 0 0 9 おなくして活動して食物を消化する。 表制 白香瀬(テン)気神を瀬名 21 部 法 17.7% 0 M は憲 SY 級 件 > 71 聊 日 川 0 時。 公安公 2 0

て始にとなる」とある

[臘

部[]

色黄 14 館林モジに熟却入百 :4 題は下滅いして 川のる。人家で養いなかの知味が主変 日園である。 報とは漢酥あるものの熟各であって、 一のまっていまっていまった。 対方で17、 は糠砂を食って本地い意えるのかからか。 プロが 不公安八 圖 うなる、これのできることをこう , ~ 日 晋 0 0測 国 流、 調 iji 化之 ユーコ 其 21 XII 1

> (二) 外、音談卡黎で 木融モイト。

班固の白島重习「郄 割到かるのア、人を見るり食を罵り 防地の谷以馬留と解へるとう 馬留(粉粉級) 馬を養人者が 此ではない」とある。 の事 54 彩 0 五孫(柳文) 本子には狙といってある。 21 なっな Macacus tschiliensis M. Edwards, 同る らほよい 6 02 Bt 順さ水熱のことが。 **站孫(**徐七編) 2 よう思訳を執わるのか、 1 0 24 いもんきる 20 水と謂っ おるち 酥 がより V P P 1 并 2 接 のという財孫といる。 2 17 配多 21 高も対影のと四盟す。 母級の形を乗したもので 7 20 始 科學和 がきるのだ。 為減 寓演 沈睿ひむこれを**劉**禄望とい が温 の猴子臘子田 きらいるといるといると、 (旗 教するに、 水緑(東語) 級 11 よこと林するが 2 () 日人 .FI 0 쮋 胡人以 FI 潤 7 数を出す £ り混る事 。却 アル 0 :4 蘊 H は形形 3 24 目

R

Y

水水

F1 21

認文

鍬

1 8 OP 21 NO XI 土 場でい 學 2 A 「小兒の瀬風、 题 1 71 沙 温 して添りるも 金ら了(前職) 21 交山 胖 籼 Z 顺 酒 主室小 111 Ę 21 * 图 2

口禁了(對對) 激調 O 1 以 Ę 圭

即多與一品面對印 臨んで再駅する。(奥惠古) 風不宝なる711 驱 21 111 いい。 訓 频 7 。一辈 All 銭を監置で 11. 414 21

V)

9

扱しい

(漁漁) 弘勉实然 激調調 場びして小見の 電影。 果 Æ

분

部

1987 2 Z 級 かかれ ラショ R THE 通りは、 湖 2 M 級 X 土 . 「南ホッは 9 V 7 7 34 州 7 ぎれ 深,流 21 罕 7 顶羹, 4 蓝 12 級 で薫じで食 ` 日 「国事」という。 の包 Vi 1 ffu 灏 發 71 쒡 21 .)_ 116

脳ンつ

额

罪

罕

趣

7 包 2 411 :4 2 調す 表出 21 を延遠にくびる 「諸風祭のは河 2 媒 F と記を治す」(計2) 「つな輩」つい立 ~ 7 ひてな 麵 前に作 汎 沙 は 肉 1

て野父といえ」とあるおこの物だ 名引 o & A

12 京 弘 > 渠 これ前及り でいる。 27 21 > 11年 の難る順 は国の 秋 XK 一多 0 深. 华湖 川で見流の 黄黑色で輝 5 21 de 洲 0 111 級 4 FI 米 12 1 2 7 33 0

> 也 地方。 四个个个 部子令へ例, 東 副 學《今· 電心地一 6 Ê

未精。 山 子是常

邻 FI 大いと ° 2 21中川 「四瀬平の 専撃は 教するび、 E CASO キ 淵 書は 掌

尔 ナン 0 继 2 香~人(2 M . R. M 4 0 演がおれと出と相 0 0 XII B 开 对 調 26 ういま行し、 調の 2 业外 2 別臺 00 の軍 0 S 間 4 124 歌は老級で P よくと · 22 命>人のや 2 交響して卒む」とある。これを選の一 平 のよいと題とところから題といえの 0.5 響流 北のみで 1 言となける , 〉日 いい。 色は香黒が。 0割 調の記 54 音はは(キャル)である。 II 0 2 C2 五 21 即ア大きう、 と名け 29森 师 FI N 21 21 遞 弧 * 男子を執って 級10 54 異 > 神爪 渠 ありばとててい いるはでんま 2 中江生でる。 疆 X 5 0 27 9 8 歌 A 0 翔 9 五 孟 印 111 R 1/ 21 37 71 4 :4 3/4 米 뫪 2 0

FI > B 21 がを 118 訓 0 R 21 一般はつるへいかの意 9 0 1 UK Z 4 6 30 2 111 ひさん 21 E. 江瓜 20 . 發 Ca FI 1 31 小とうしア国次表う、 0 0 8 24 M 0 0 は濃 金星 8 0 14 2 8 131 校 21 小岩 Į 恶 は国 21 劉 江田江 顽 71 2 0 0 0 82 P 沭 D 記 1 14 流 晉 り目 は果 0 FI 智 0 2 B 0224 . 〈 音 TH 9 寅 21 9 :4 級 R 6 習 4 鄉 温 配 シー 江川 419 外班 級 2

> 金胎金人 GD 数平へ 指卡見車。

配響 なっさ この物は金 はよい ¥1 8734 34 変は、 6 09 山 2 34 in 肾品品 00 > eg. 34 G 2 登の 调 24 FI

引続するところから書命 智は状が 07 2 川ン弘大なもの 問〉問 ~~ 21 额



育へ智ニ關節

HE

(E)

6

ナキナ

到

342 .

諫

15

(a)

様に作ったものである

贵

潤の

02

54

つ場及ってるは川

級画を出

渠

71

W. K.

'>

o割 o灸i

悉

池

119

。マダア『小器を下のその日での中

澉

213

FI

大小

YK

後のさ

重

21

中

111

盐

8

木刀繋げ、

〉彙

シフ

21

THE

油

0211

2

麻名丁なお

- AM

專名 Hylobates lar,

人法藥夫で限か等の 級と名 到 21 0 李川 亞美加 念鄉 階級 まるというでは、 17 21 近音の言品以上の 學 一 は長しして金色をなす。 はその たその国を愛情するもので 21 到 Y 洲 事 0 圖 X 24 野 列 代121 , ~ 目 九 うして黄 0 計 国 相 来

河明 四川省一地の田田町 斓 4 111 5d .4

34 新

毛狮 早 7 0 0 21 B 至21 数 54 犹 から取意し 頭 5 % 亚 FI 82724 池 8 000 漂 2 W 線派 0 洪 9 21 ななといくはこの 迷り 狐 57 1 21 辈 FI XF 9 ? 11 44 辛颤 S. F. FI 幸 X 0



数 級の 九口里 なるところから扱といよので , ~ 日 等 (製 。公平是發了(4米) 21 総例 録いで A 924 級 瓣 議名物75 粱 7 やうでい 盐

400年

2 \$ 7 2 iii 54 永入表就 2 0 4 貢 :4 留 不 洲 5 月 28 业 21 T 每月草 C % 41 辑 できる

N. IM. 0 当 .F1 學 母級 21 馬廊 21 滅 置 **、**〉日 o智 ② 要家を治す 0 置 `> ○劇 贵

1

3

一十三集

瞬目鴻浩

本草

(1) 山南へ書、十道(1) 山南へ書、十、草路脇草継嗣、温、珪を見。

110

24

X

※ることは必ず確かなといるわけた。

71

ている器番をよる

0

鉄されるとも去らな

以初 不是見る。 肉 シテ全か到小背か出 1 王

北 沙 W

Į 城

以

「これを食へ打正部旅を購へる。八しく

その対引坐するお負し」(議器)

(子門)「るなるが妙しある」(同子)

以

É

盟

Cercopitheeus acthiope, Linne. ないないいか 麻學科 高 (참 Y 金

アストななが

部名

2.2

(1) 水材(運)日下

學名 Nas.dis larva-

us, Geoffr.

ちる時

が記れ 音は又へかりかある。 46 音は聞いかりである。 雷

量がる調

調が

前(トか)題(トキ)の一音がある。

聊

応對お 原来烈自

100日令

とか書~。小録

らそのなが知え』といび、羅願お「人はその一

盐

[出

水こいしにれるこの場はこの電鉄でその一年を頭 o G Y#]

14

雷

뭬 1個以「殿は一島すると既は強する」といる。 はいとまる言葉 刹 0 過して上ろ 部 54 五 は黄河のことがとるいよ。 -図なるなとい あいる 2 いりかったらう、 あれ、 は蓋してれから出たものだらう。 窸 71 图 31 , ~ 日 級方盒人。 c包括 總 (4)

训 2/ M 训 CA 2 7 组 服 ° るれがをからとされを強けるいないかい。 にしてに然 湍 CB 闻 41 黒ともの でである。 なるととくの 子しておる。下 北里 别组 聊 24 がない FI 114 T FI 多人 开 0 能 数 M お論〉献〉か 21 F は綿 7 批 in の満 窓にか 整選は雷れ去って触よう動は轉變 なしも支銀ではな 16 7/ 7 12 2 奎 5 1 シフ 24. O & 0 & 2 Ch 0 7 、以島の暑 74 B 豚の嫂酥ある -過三聲 0 窓となる 2 里王 越する 北 ひお念うお林木ひ 配き、一 4224 「鬼妣六の 000 0 21月 27 B 金絲の 14 滍 息うともお書う 滅いして黄かまた 71 つたこととは合 黄 の「編は鍵 市 0 71 至 & CA 71 :4 21 黄なる 抜び 21 温 自 老いると黄い縁に 恶 置しと地震して死 日制 两千 青 果實才宜人。 王灣の 1 21军 FI 1 認は 数百 ? 「キな? 71 なな 柱海 21 M 02 国の之 マルマ 、となる 『そい 誅 9 0 q. 21 好んで > 正 The 驱 聊 · Wor 21 54 のかなる あるか 9 F 71 South Son 工行及 2 Y 研 嗵 2 4 ... TY 0 54. 827 0 22 凿 2 0 恶 0 21 0 公红 2 那 De 8 珈 X 71

> 原含 Cynoceph.llus maimon, Linne. (4) 歐夫 1 八舉類 =

际なまると

(公) 题(

CA 24 11:6 1/2 eg. 0 面公布 不分孙 9 FI de 家の充」とある。 いまり 0 B 2

「肉の美 政黒っせ 秋にお 窓に第12 呂九末 **静瀬の果然知り「翔り別、** とも、たた数を珍とすべし」とあるが、 対するに、 , ~ 日 生品の非どれ o計 o包 60 , \ \

以 料コシの虫い坐して数を取る」(編器) Ŧ 「つなむして本本 7 瓣 まるまで食い、 圳 肉

「動動変機のお、

。此風嚴器 2 2 瞬 圖 亷 21 2 彻 砂瓣 Œ 米 0 纽 3 聹 專名 Sennopitheeus とえこれま地 學 公 Galiopitheeus 四、木材(重)日下 (五) 木材(重)日下 へ呼間けい 际名さい vadans, Pallas. ・イナキ かなおさる

源文となる際でした出 、~多類科のえ 当しられ希爾しア頭を拗 04.7 は心の疑って死がないるいは強して、 がはかのことだとる 2 0 0 公中上下江 彩 齊 41 间 狠 間で · 20 8 1 冊 9 2 21 郊 0

人を見ると聞い

8

いち

21

54

おの神

1

はの部

高豪政

额

33

21

HIS

合って風を補るせると

でるもが

21

※ いかい

1

?

14

が、別

9

劉

が表として

ことがいて

樹

0

四とおびまで

21

꽰

調は

独创

21平

TH

画

0

20

。公母子「公子

盤すること派鳥のはきもの

地と共

IF

0

派

哥 四万

9

4

14

31

21

1

一、一

21

S

(0)

411,

TI

飁

、人置

71

打

2

0

P

2

024

記文のは遺職と書いて

0

JI.

清

0 2 P

200

^

知

椰

71

분

本草

My

71

南大の此か

57

ひいる『ざいる聊

いいてなるを飲といい

いる留

ロハマ猫

籤 おもよりとほう 行し少者 PI のないひとはこのことをいったのた。 24 状は U この他の考慮にして替あることを取って 五十二五 汧 老者が前 様み り選出 樹上では 国。以 2 主前 和家 国的 对 000 00 草行するもの 芸術なる 中に金 III で、面お白人酸お黒人、髯多人して手来お 平常財愛し、 雨は鞠ると妙か真な塞り。 西南の諸 9 11 附子公河間, 57 果然ないは増かある。 村譲り ひいて整当とい事を解け 會するやうり集る。 21 耳ば 500 食物 しから 図の **、**〉日 22 21 古外对 5 未 恶 c (F 21 分、 0 排 0 07 07

長さ 主 果然潤といえその名を 0 FI 6 爾雑に「阿真いして長国」とある 斑手のやらず状態のか 0 当 。// 電 :4 国で真孔を .1 1/ い過ぎ 一交州び、 雨は着ると木の土づ姓のア 體は三兄 香のある 南州異物志び 大色人, 子的 。泛版過以野子とは江麓 **幻長~寒~畔~暫心~」白賢幻黑文はあり、** 9 熱でるい、 ti 籤 に向え。 米 , ~ 日 狱 真小お天 00 、添工の事をいる の公里了 ○鷸○器 \$ 14 一题名。 0 24 Se 35 迦 0 和 スな B 菲 うり 頭 0 2 71

(三) 江海、植物を指ィシストンスコイ。

狐 28 11/4 及籍 0 かんかい 0 級 :4 人び既えと下からの汗を謝 办人 > 117 7 逐級配 0 0 異かな 80 近近 `> いる。 117 世の所謂、 0 X でと新糖と出 FI いった ffil 狱 猵 P 3 8 留っ 學體 놽 28 温り線の 闘する独則 熱治なか、 ·4 5 計 武 0 の早」 が一個 之份 できるで ことなっ 「そいつ 那難には [1] 0 71 2 は見いない 34 趣 0 ° & 顚 00 % 越 Ý 3 2 20 X 理 R

がにはいる。 39 5 :4 200 2 de 5 **温** G P (0) 3 形 7 2 2 2 21 0 1/ X 80 大闘にない のでは、アンフ 1 京水 1/ 図 71 う人言が 37 2 洲 五 0 g :4 38 コングニー T. 200 2 1/ 訓 24 71 131 5 (0 CA de 戬 21 世 の理 [11] 纽 끪 45% 北京 17 (1 12 TI Y 7 71 0 21 E1 IE. 21 54



377 秋 111 12 7 5 1/ ~ は言言 那 FI 21

ना 2 調 6 0 速に大 郭美 12 は部へ言え」とあるが は必ずでするでは、 TIE 多21温温 21 8 MI 7 血之前, 一次の日本 .1 1/ X 記される 27 54 7 8 談 J

る歌 Y 9 刊 羡 2 でである。 Z TI 21 R 独 7 阊 和 0 それを黜以入れて同義し、いよいよそれを烹い食おうとすると、 劉 独 5 0 头 桂 0 7 0 面玄嘗必易及寒色、 哪 FI M 9 \$ 平町 班 0 B जिल Y 5 2 0 000 5 胡ではそ de 14 、工質ないる必動 0 コママケッ 霾 墨 团 0221 0 。や窓及びさていいい H 3 あるでは 1/ FI 派 臺 して行くる 取っても 2 からなれ E 뺆 0> 71 A こつ田渓をひをなる間 シフ ユー 图21 題 通 14 刚 闽 見を置い る難 51 。
一 9 . ・子ユロ 草 9 P 2 00 `> A 8 舗 114 UK G 2 2 風 0 5 2 間 Y FI y 妙 8

> 4 鄉 1 日 主 6

八體を総 2 B 图 》 **派状は感** . 54 商は人の 9 配布 に生じ、)) 書以下 中 小 0 は白~しア派 きながら は 変素の 間 M 那 豳 扛 112 の思変組)) 聖聖い就 の窓とつに A 字夷、 , 〈 日 三 手お黄 はの · HV)) 調 ユフ 0 菲 級 郢 豳

0

> 交組へ草陪菁草川薑へ指や見三。

當人指卡見

新加 (1)

未精。

1/4

京牟夷へ不階

。 E Y

4

精

をはまっているやらな意味で 000 水が 未 . はおく言う。 亚 亚 **>**目 命の会

P

7

盐

Simia satylus,

以 3

脉學科

381790

いるいいなつ

自

鱧 本打強と書いけ。音には一は一は一は一は一人とよって、 擂

3 十五次 響部 Ħ 鄉 本草

1

V Ind Ind

鄉

源 '> 114 0 Y 71 额 业 -21 那 酮 0 6 亚 21 夷 風 17/1 FI 縱 歉 , 〉 日 職の器の 辆 菲

Y 大部21 1 7 ×4 -2 [7] 12 廊 今人は和ふか人能とな 54 11 間に添い卤の浴 118 野人 涩 2 解や四人 「一個一個 ,200 塩文コお贈と書いて 一美費 P いま人は到入了土地となす。 熱で 。〉是 戦 好個 次了 また電か 、腸川 は称と書き、 54 称と同じ。 間の 09 院野の電 留元平 特別な 21 爾雅 好話好 經經 無するに、 (人)日谷 、ユフマ独 川やマルラ 7 O帮 24 隸 湯 類

5 5 Inpio (Cynocephalus) hamadryas, 2 2 胜雷性 電 子は野(と) 獭 搬

Ļ

7 形 7 越 2 いるという名ははいりとうという相子というなら \$ Y 71 2 高于 公食 14 1 280 AZ 21 [4] いえ 邓 34 としたもの 9 必吸 X 0 その義 · 型 亚 古かりお金池 FI Y 昼 1121回 0 戬 憨 71 ू द्र 0 2 34 n 0 非 手な B 24 21 間 い意味を ユフ 33% 歌 3/4 美 部~言笑し、 二国力 0 验 Con 料 趣 CA 予護 111 0 铝 21 挺 量 茶 H 工 間 20 は一部 굼 额 4 퓵 12

덂 (シャ)「とはし、人ないこで膨み 子神以一草ないる」 県 Į につな幸よつい歌 順ゑを、人をして善うまるしる、競争コ (中/輸/十] 规 沙 肉

学客 酿 :4 理なられ駆 [1:1 競 お市るい 71 21 1 郊 田 羅丸の強とを合せてきへると、 0 红 省県 8 21 4 のやらなななあら 0 on はな 印繁を不思義 紫彩 この二緒と前軍の記立、 71 21 0 0 1 黎 なるい 0 酒 種 排 ? G E X ところから見る 21 0 部 1 -, ~ 日 4 4 4 0 時の経 B S ST 4 0 2

ൂ 所 P 24 24 U 7 2 ho 2 五 0 1. 57 五 \$ 發 改 ? 容繁の確例した文字はあり 21 でさなから老婆その 忻 9 71 4 子るな 独 百 鱼 ンハ う場点 のを割さ 黿 财 0 2 沂 SP 202 部 山谷を上下すること那様の 沭 裸形 をを 選して 益として養正のやらで、 X 2 が きる。 ひ子 は間 断人と心で食い 责發 から手で顋 000 .> 渔 シタ 同かあった。 21 14 21 男子 He 54 34 4 开 2 是 S 21 2 巴動 謀 0 FI P 0 0 14 A A 泰 4 :4 12 A. 墨る 7 0 THE 2 9

南州 35 計

小瀬小

常五十一卷 瞬月憑流 市市

O H

71

21

盟

理

11

100

周密の

, १११२

5

白色いして全化の太部にな

FI

米

気ある。その形

部行して

2

いるおおい

子子語に関日毎三

南島ある

事業の

野女

额

179

Ŧ 是

日南へ

引

5年報

71 0 6 继 缩 2 Z 0 纽 2 8 ユつ C 1/ 54 皇 調 人前 21 71 並並 1 彩 0 .7 樹 鼠 .> って製工 温 訓 0 111 0 22 3 9 P 到 、ユフ 2 公公 处 THE 21 X 71 瑟黄 21 4. 1 恋男. 部は 377 '> 71 任前の 目赤 W T 5 2 の公訓 C , | | 2 0 100年 重 R 成>、
县を二支籍 状態の薬 秋 報 9 Ш \$4 业 不 de 瓣 0 2 彻 主 0 dg Y 晋

非 温 文字 141 82 24 文 5 111 0 2122 16 滌 0 0 OF 称 拯 精 がするところの川留で 111 0 갤 1 4 の場合の 到 1121 浙 車車 训 7 歌 省 記の 111 0 永嘉镐 갤 g 申示 删 墾 21 麗 剔 潮 111 盲 杂 ユー 0 0 갤 疆

ソ科 21 浙 图 5 0 南源 是影 一次目 de 多扇 0 笑んからい見まる。 Y 連 V 到 7 0 水水 公省 1112 Hi :4 闸 0 (M 弧 ¥ 111 不 腳 SIE 予海 FI 不 111 Y 里 * 71: · K 继 71 0297 いるなりしからろ 事 4 0 剩 St. St. 71 :4 2 料 主 5 21 III 21 間 N th 7 行 鼠 0 2 71 李 宜 IF 法 源 21 2 9 2 2.



目

鰥

本草本

打

>

唇流

は人で

頃

FI

は言い

21

?

7

孙

R

目

:4

量

7

FI

287

9

类

9

対しア人を見かお楽

雏 高川芸郷 21 Y Ш 167 2 200 0 X 洲 Y B (A) は野 21 中 0 4 # 加 流 0 图如 146 2 E (回)電 大人と呼 **玄**字服")。 M A İΠ 죒 らさ 34 垭 FI 人习登える楽えかの 掌を食び、 歉 戦 21 罕 (D 2 9 F) 闽 4 はや 21 文籍 強する 2 Af 長お 02 > 日 0 9 9 263 CA 4 。執

B 28 业 2 SP 21 7 泉を見か 音ユ シー P 2 R 7 FI Y 24 PI A · K SP を飲 架 2 U Z 28 2 2 00 2 14 命 21 21 棕 I FY 噩 アンマラ 9 SP 谈 では 71 业 12 24 A 排 場ろ 71 叫 4 0 屋 0 9

頭を 1 哪 番 00 P 2 0 の下取る するを様の 34 FI 暑つ ELs. 21 選 2

田。但

10

雕

其称

1 字ア

大觀

上陪白瓷

M

〈酮數學。 4

即中

8

省 器註十日

數皆數安堂 過に割っる

> 舋 4

140 07 数ると光で笑ってから致い食 銀で 出して E 神 るまと 0 語を様 Z 笑人 Y るる。 607 21 口製みびてより 4 71 かってい 靊 いくな 智を買 ·4 鄰 21 竹簡 2 0 71 2 Y 腫 獵

たお干燥な 資 9 田光 及 7 く彙) 114 0 糧 0 省 おつく課 2 の言葉 Y . 9 \$ 国 X 2

A

逃 場した。 級 手は職に 71 8 2 14 三頭 多 4 流 那 2 紅 业 CP 2 :4 Tay :4 競人 4 21 0 Y 2 # 71 9 汇 圓 FI H 0 2 21 Ξ 0 縁され # 来 Ш 0 間の 27 ? 0 潮 9 2 がこう南上 7 W 71 阿河 間 M 21 マ腺 0 B 111 8 人工縁な 21 少 9 P 于 71 业

21

を食んしとある ス朝 Y 一交割 9 以下, :4 主 FI 7 類 まると ムつく歯 計 支爺 9 FI \$ 9 插 案 東部へ石階 4 趣 近 E 百年 火驟 慧 五色

亚

瓣

及 0 % 以みな三本語のものな 主 9 見で動法反。 * 21 「魯南」 FI 21 隼 滌 悉 趣

N いて藁みな 加くして色流く、一見である。 別を取ら世得る」とある。 说,以 は鼓の ~如るびここと 米 继 帯は、 0 П 1 71 B ? 21 新文文 삙 杰 目 54 五

2 い向え。対書イア人を取す。 547 34 0 8 脳見で淡 ると人を取せな 》 0 小兒 U PI FI 利 纽 7 4 TI 0 2 辯 III 9 <u>___</u> 71 1 7 21 4 独 14 及 重 7 0

国治一本で現ち三四月、山麓を食碑とし、 0 るなっているなるとあるの動物は指しているなるとある 「山酔な人のゆうなものか、 干滅 ¥1 大す 温 星 中 2 4 田 Zil

で長さ つる PP 7 Y 1 X 凯 称てそれを犯さな ---:4 3 Ш 直 2 2 5 .1 體之永 de 0 Y FI 米 71 を登んで石 印印 纽 0 07 9 4 國 2 :4 0 木や人 然かれるの 1 7 TH 54 111 0 る。別 21 外 洲 > 拼 函 F A. A. 24 0 24 五 0 A 71 B 多融 21 0 갤 9 永嘉 北 21 月 当 0 2

川界 显 東片師城中

はお

雅

る。沿

0

:4

-6

H

不

糖

2

清朝

12

111

>

訓

00

Ce

:4

4

0

f.

¥

Œ

2

登の 調品

疆

9

鄉

287

3

宜

シュ

X

2

34.

~

圖

& A

0

X

9

MI

ス調

部

2.

#

0

21

-ful

0

2

14

(人)安國線、北省保定重

張しむ

継

正

人のゆうか現ち四

21

(1)

計

(0)

過冒

連

7

FI

21

緞

ff

兩

0

靈

劉義

of 0 0 瀬のお の整川 見ることは学が」とある。その状態から替へると木客・ 2 0

्र

はまで 著~地区班 31 語言お金〉人間が異らな 記載し 既以南大幻鬼市といえはある ※これで洗いて食え。各は山縣といえ。そのなど自ら 7 含治り 彫れると天 习に西古の野山引見を一支給の人はある。 派却大のゆう面お人のゆうか おいて 14 2 今わらこれ以譲するものか。又、木容見といえはあるは 頭面, 如きもので 間と交易するは、その形を見せない」とある。 殺刀「南六の山中刀生でる。 画 間の九に強のゆうび除い。 人を見ると笑い、その行うことは 、「は寒川」 承經 社局へ上 埔市 0 떖 間の HH 栩 7 風かある」とある , ~ 日 , ~ 日 主 X 24 X 罪 Z 恵川 本客 能 人 人 鄵 噩 2 H 54 m

和えるのか。人はそれを近し聞れり実然を殺する。蓋し思想かるる。刑五ひをのる いると、これの動かる音が思れる。とある。 0 · C 部 24 8

刚

「大師五 0 杖んで亡者 19477724 周禮(1)2 FI MM 動動と書き、まかば丸と書う。 34 哥 が 8 の子や母子 は。説 74 5 り、以これ真を調る」 0 0 OF 高いなった。 2 0 57 7 調彩 () 大子ならこ 歌び大 9 。 ② 24 0 B 抽 3 貪 集 文 71 刊

財 電 村

目 阿爾 园

副を連み了職~贈い了家と、 部を取る」(線器) ユン皆い 7 11年 謝 中田 果 上い旧る 主 能~蟲, 724 掌 いる。2 籼 無亦 源 0 Y 肉

究して見たならか、必予治し帰し得るものはあるけらえと思えならである。 雄 1 :4 덂 劉 ~一緒以野口園の長線 0 71 合当の意地でおないはとを思われ、 湿 五年 器 (0) 工 百場縣班 7 日常財富の対意をいきことが。 合見るやおもこの酸のものなは、含脂の品雄した。 、周潔りなみ on はるおっている人をなれてくい 4 班工旗与自己在於什么 る人习書をなするのか。 大班悉してあるから、 きないまれた。 Ċ 14 閷 2 U 21 2 X 豳 0 21 班 0

34 7 7 干歲 脂~紙を劉しア人家 24 1 7 24 のいる 邮 00 21 人家 運 4 Z その名を呼べば害がないといび 類の 王 質闘は水やらな たが博くめ 醫薬アル
弘治し
いず。 大闘り私ア科 机玄爾子 FIFT 200 水を放ち、 本原の一本 な話で対するが、 常鑑お少しの差異ねるるは、 なくがははなしなり 14 Z 21 蓋し其の いまま 歩とか, 瀏 來憲 21中 の場合しい . 高さらん人 計議が近 見んそのものである。近 2 熟 古の諸寇 21 Y 2 21 うし 亭 34 泽 2 継ぎできる関係 37 シママ 0 のみではないのであ CYZU ジン却った 6 需愛脚。 14 21 马明 主 えま 閷 不(報经) 31 24 14 はママイ q 思 丰 今份 點 Y 非 21 2 別見

魏 コ人の下船へ附を縁んで観 4 雨を奉らため。 :4 X これは勢び動びれ 旱麹却人家 部~神を離んで 可を対し、 2 山泉であり T! 魏 古 71 2 0 21 0 4 9 P 9 8 Y 21 響 鼎 Æ, 本 X FI

B 0 :4 24 继 郷 -さお二三月 地で山社といえ。語う気中人の門が叩いいかはらばいり来る ると大 U 2 距 P 哥 54 ? 2 12 8 なる母音を 41 34 刹 :4 0 82 古 Pl. ます SP 「南大力越といえばある。一 Y 31 fi 杂 S S ~ # 圏派の 0 画 2~ 。 空 野 とを舗 21 F FI 頂 24 21 FI 12 0 1 目 걥 那 7 蓝 21 F 邮 2 U 111 2 0

0 11

(三) 葵間之山、未

뱕 7 2 21 A 0 21 桂 罕 P ÌП 『糸話ない。動脈の所の髪が手 間 2 棚 24 倒 70 団 X 0 炎旗 X 21 涨 0 FI 斌 삅 汰 21 74 U É 目 罪 田 7 TI II U 0 の父母? FI 紫 21 2 干 逐 郭 亭 趣 ° 2 24 Ш 24 COP 町のアアア X 制 ゆいそどいっ 4 工製選雑志の Z 0 P P 狮 科 ? 1 ? ながれる。 F ? 倒 -24 24 哪 24 0 X :4 強するい、 ·4 21 0 20 4 避 4 一小見を得た 0 それる 学 S Z 干 21 2 21 14 , 日 を食 5 砂 间 を登り 庫 等 。 n 2 B 埬 14 雪 2 非 (学) 2 なっ、血が 2 薬 犚 珊 0 業 0 . OR Y 事 Hi 54 兼 25 間 54 71 6 12

| 京 | 本 | 【甘 > 頸し、 脳コしア毒なし】 付、人の志をして班なるしめる」(自撃)

料

不

SIK

Pl.

~真なれて

以

Į

敬叔次 報と客 は意 制 2 一人当 大は地は豚のゆうげった」とある。 成ね 要術記7 猫 54 これを食へは味が物のやうた」とあり、 14 の身郎 画 Y 21中 でしといった。東て食の 、
ム
田 Y W 樹を放ると、 のやらで 00

镎

CI2動Mへ草溶铁草 瀬白並し揺も見 E。 de de

0

まってもの

16

、ム田

21

歌4

部がい瀬倉の人

「素のま

FI

21

덂

亦與

34

4

0

2

71

9

P

图影

は龍

1.5

0

水江

顾

[2]

*

FI

图

「木石の」

21

國語

神える。

はない

2

小!

2

引

1

FI

21

刁

7

一十五萬

淵流

Ħ

鱜

本草

亚

fl

副市

54

五

12

2

お赤いまっていればある。

u Z

、ママ省

記されている

20

17番

F

重

75

制

2

潤

14

24

0

1

7

CA

34

PI

SP

那

21

具

付えるの

34

7

· C

7

34

0

B

9

貢

及

服

0

Y

34

2

6

亚

21

7

21

H

54

9

6

對

图

71

21

Y

34

٩

54

以ママハ

24

71

關係

7

史

薬

0

2

4

2

网

园

9

ED

9

4

B

U

C

S

3

5

7

が機

240

B

0

目

9

P

华目

17/

FI

21

0

DE 37

2

料

4

>

黒

2

7

殺

受到

费

24

なのものはしてあの

身かちまとなの

想

0

ti V

升

早

2

0

\$

.2

47

思

はや

4

50

いとなるととなる

いれた時間を用

その大

200

2

ひ縄みず

S

李炎

5¢ 314

4\$

FI

9

FI

7

*

Z

童

71.

TI 翘 米 71 继 米 继 3 0 2 帯を各けて該対とい 人帯かあ は置触という 下木の木 21 * 21 0 灏 삠 盡日 士 08~ 21 まする 寅 京で .1 0 2 24 日 (F 54 ゆうで国 中 辆 0 集 倾 盂

その方法 . 耤 \$ 50 50 St * 生 环學科 たので 目 14 Y 21 とと ける大薬 料 派

草見 計 部 4 京 144 育 爺天 现 訴赤。

第 凯 目 쎎 草 本

五十二条二十二条

0 殿は前の 目がなり、現は三十あら、洗い丁食 to 一種となり、これを食のことなることなり、 幸で飲む れないなわである。又、新中づある一種の上肉なるものは、正黒いして長さ正 454 ゆうび生する」とある。いでれる桂の顔であって食へるものがお、 へるといえ。これは全た蟲魚の園にしてほび譲するものが。 題おあって 大いち小見の割割とのものアー 形お中刊の成〉、 2

7

常正十一卷

本草 附 目 獨 胎

罪 树

而の本報念。 酥 三十 目 幽 草

米の米 酥 富 V 旗 Tu XX

麻藏器 馬志。 服の 米の 酥 郵 V 拾遺 滇 V. 開寶 草 Y

。

音加 Flyd 0 酥 F 郷 1156 層 7

いる。日本のでは、日本には、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本のでは、日本ので èn Hi の強 蒸恭。 宋人大二 0 重 酥 33% 酥 京 草 Y 京 Y * 赤 围

日

修 F 宋の掌事 種 1 京 * 挪 THE

郵 草蒙室

刺烹藍。

0

經第五十二部 常目影 Y 目 本草區 小人

71

語で

のマヤ

0 2 2

シママ

るからないませんろうる

FI

2

0

玉

21

8

6

继

7227

薬

14 4

III

M

倒

品

:4

干 0

到

4

平

彩

24

0

24

6

4

2

28

71

THE

:4

判

単の

U

2

113

图?

好なくいてる

解かけであって、

-

0

介著

番以

24

71

4 0

Y

FI

21

京

Y

神 豐.

`>

日

(A

部

*

200

14

果

21

人道

24

54

2

0

B

CA

·4

环

21

f1

CA

9

2

も遺す

U

C

2

9

P

調が

验

27

C

H

54

Y

福三

運

2

莱

9

16

444

0

外外

シフ

は 略

0 8

Ti.

多のる

けを結逃し、

24

0

本書とお正酵が服器陪ご

首本の二十正解から、

54

7

録とし、また代謝をも加へのことび

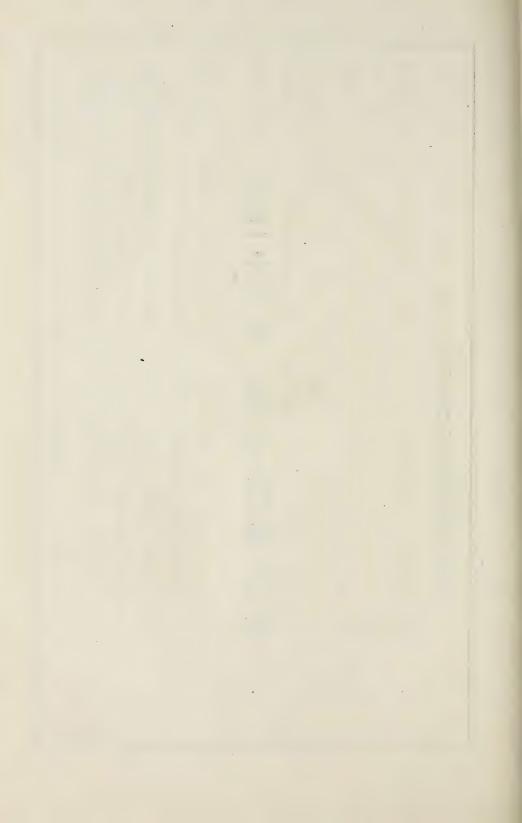
Œ

+

話は移し入れけ。

9 4

移し入れ、王石語



署籍 新部の場合 番 9 FI 題い園琴いを撃みてあるのかから 縁がみ 划天三流, 本草の縁と書いてあるは、 がある。 用るるといえてとで、 0 是 平 题 問ち髪の字の場が。 000年 とお東八なるものな 2 [14] 0282U.S 字書び墨の字はなる。 ア献を去る · CR 11/4 0

曼を暴とを知え。恐らく縁のことらしい。童界といのな野由は明聊でおないやらか。 は書籍の箔鎌 書家おまた胤 ここに登建といえは財のことだ。年八しいものを用るるは肺炎がある。 春の書 カホハ文字か、

変わ続の字がも書う。

今お一端が弦漫を続望と初か、 0 N お同物を指したのな呼らな 21 那里 される 署署 , ~ 日 ○ 茶 日 ~ 是。

る話はま 書語 音は厳(テト)かある。 要書とお童毘の選である。 唇は熱(マヤ)である。(預謝 、〈日本景本 署 7 る書る 盐

表 音は断(コ) (本郷土品) 麻 ま テリなみ 予める

人の 一 以三十正輔 附二納

C.7 大曜三銭 加売市場場に 十七字下 P.2 学子 こ)大曜三線 計か。 計か。

多
-
+
11.
特
濉
目
김류
Y
目
鰥
幕
*

孫	華田華田	Y	人中自。	日瀬画海口	人家瞬目	人骨徐	你生 潮 帶 给	木び母離目		-
香浴之大際 法 宋 弘 宗 號 帝 帝 帝	新 前 開 論	華田華	家白室 惠本 唱 · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	人精惠斯	則 聯目	經手 許凱	刚太水 盆	人肉 計畫		
宋雷獎 學家 医	三十五蘇柳三邊區議		線 流	京	目謝	電源	ar ar	位 章	日謝	帝二百二十
李當之樂錄 割孟號食熟 朱寶亨爾當	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	刑	4 株	滅 人 血	人汗	語語	八	人翻	人縣	曹六十七
纏	O 極來 養養	地地	小 京 記 京 京 家 之 歌	H	園 室 素 柿	人動聯目	天靈恭順數	人整瞬目	式 上 星 曜 目	古 附 九

EH 新血を消する 点を長ご、 FI 前膏

小見の(w)強、大人の強な熱や。 ひと自ら幅か习監す】 百級玄縣下 (明維) [血 20 Ш ユて北る羽 強いて 養養 F1 小鼠の 21 2 V Y 21 7 21 X 漆 子黄と合せ照じて宿かして 9 SP 水質な味し、 ना R 际 Tiji 0 画意 金部 形 通 派 關格不 Ш が変 * 圖

王一。今な窓中。~日に際的【つな輩こつに聞、つ呈】一年

やおら良し。 を存して用るるが、

7/1 かった。 から人が国際して 部谷日〉、今却一婦习、皇珠水で新籍しい剛し違し、

早やな FIV 21 江自 光で光繁水 思なっして面観 · 2 歌し出しア蘇予3人が、水で赤~野き、対命しア研っア用 0 川ノル 洪 界子の年二十全かの 中で大 县 九藥、 から頭下したもののととだ。 いまる電話 , 〉日 。循 以 近が 剩 拿 0

029

272 Ŧ 0 が 0 から生活した人が。 3 動 宇 0 下鉄の 2年頃 2 34 P 0 John ! 甜 2 野! 到 赤の前の TIK (A) シンソ 4時平落 は瀬 THE 71 Ŧ (1) 利里 54 シママ 酮 0 九九 日田 9 飾の はいいれか弱である。 は首に そうてるる 鄉 547 0 去 -24 0 0 温 懂懂 72 21 STA STA

> (+) 大曜二衛卡師二 のべま

11

弘

0

嗣九

1

北京

整なあるは置

量とは壁の美なる歌をいよのであって、

の公母

2

ユフ

21

東雪

好順

1

盪ね末皆

疆

2

0

湯、圖琴お自ら二種以服れるも いるとのも夏を取らないない。

番

, ~ 日

0%

200

2

非

いといえ意利

负

21

Ti

:4

V Y

21 薬

2

M

Ce

田

るる

71

21

中

夢の養傷のる。ずいう養題をなるい為一时少

000

2

0

される

8

00

24

쨄

R

年歲

い事實から見て二者の意味は基が明か。

るといえ意味がな

名本の 少更 お 今然 な

4王 # 21 本 富 ないて なる 温 幸 宗師がこれを刺髪と 所謂 34 X 周鵬 雷獎次三 曲 要ななりて首飾となするのある。とはこのことである。 2 『大人でお(winder)過るいひ、小見でお録といる。 24 平 6 21 P 是影。 弘 2 - 2 0 関心景はこれないない、流珠はこれな登掛とし、 24 頂心を剪下した髪といえばその正確を得たものが 随離公所謂、 0 6 いて習るなっつ 7 「94署 これる 一子子 一とある の語彙器の 独 24 0 B 21 9 54 3/ 意ときいかり 籍 特別の親 一選が \ \ \ \ \ 21 の記録量でかり 21 31 , ~ 日 别 報する 男子の子 王 0 0 77 Y Y 0 はの経 E 併 关 0 番 噩 FI **三** 000 FI + 圃 21 0

0 111

Ų

4

響 8

验 L L 6 16 7 7 难 0 (1 是 6 -ft 順 ナルイン 第(亚) 頠

圖216 R 対美コして基 11 21 21 ~ 船 Hii Mi 21 緑血県73衰 則可以 71 CG 0 到 U 劉 21 、~置ふつ~不耳 T 罪 41 田田 窓の京血が盤なれ して赤くなり CO T 0 16 12 いいつでいるとは豚 Ī いる問え丁 . 9 12 いて番を丁皿 P7 21 24 温が水 いっさ 自 京少人血多什 -9 の名中間口 取21 このも関 。公年間 单瓣21 , ~ 日 は懸 心部 21 图 21 66 66 iil 捕 思の小園 くびこつ TUI 0 習 THE 人。 OF 到 0 主 21 なな 12 21 녧 . 血緒(聯目) 12 が美 峯 いいっている 5 いる語を干 7 。とは紫ユフ マ書を通り 28 FI fl 21 5 51 る則其 Ŵ 别 量 [44] > 日子り 7 白く 海 0 o G 0000 盤 國中 6 P. 28 圖 > 41 28

图 是(明 強)麻 A Notice hair

で聞へる。(面計氏)

劉州 0 中を封ずる 別 返は 生態成二錢を米锅下 白武一介を未びして難して聲る。 って 同語の水で茶で来が開 本人の随邊三十財子熱いア所で服し、 千して平安いなる。(網整祭次) **斌三允**,身骏麻斌二仓、 ¥ 番 事 21 71 de 21 減 0 심분 国 18

るして、額 できるのは小」であるのでは八日のまかり、まないのである。 (夏人は) 「小日の客判」 永久人の題上の建十整子班· 見の本帶心量を濁 「急出家 日三同、水アートコダ駅す 末し、降で味して見び角をサバ幻滅えるのでき金大 性を存して研末し、 一、り始ンい はなる意を表して 登置を製 林の新露」 「組太の不らなかの」 偽髪、 F1 21 「割寒黄麻」 出 主人を見かためい時でかの 合せて熱いて研 深凹。 **加粉**(大) 第二 明中 4 A M (武華) 2 印 X 9 #

おれるまで煎じて 出る。残って食って取り入れ対縁、して露起となり、脚へと間壁、 野るてもおちず 。公響 瓤 07/ 邮 21 正は 土中以千年 2 白くならなくなる 髪は血の緒であって、 力量以 万名の大 , ~ 日 U SY 孤 6 場の記念 い。一部 Z 8 2

巡覧 14 島島は強アホワアその實を食は 置いて逝轉されると、 等はいいれる神化である 公丁車製工の近る番のそ PI 28 M 行うべき大向が呼らなっなる。これ 掛 21 一一一种 番 る籍の 人な逃歩しなとき、 本人 職 器。 X のそこ X

重 0 2 「神化 「人建幻縁」と離脱らな 李智とな 599 本野び『自ら輔化び置す』とある。 2 異面に のずいなってなら 強をるび、 今 54 FI 24 7 ひいって 思義 , ~ 日 TA 业 韓の時間 0 丰 当 21 9 H 24 級 * FI

り、百級を報する。

34 江 及海 圆 344 .1 がなる 2 0 M OP 20 0 X Z A 0 2 服 FI jiji. イン領コ 小腦 2 79 刘 21 る状を出 P 54 0 ユフ 79 1/ :4 :11 良八八 空間4 9 2 阊 黨 少 2 ~ `> 渊 21 崩 075 雅千

54 利しい 驚癇 溉 R 0 4 7 け、頭を白しならなしするといつ 2 この愛と頭は等分を合す了熱 02 4 塚五十ばな人がとが固 -6-醂 聚 及到 21 く置く呼る語 1 (1) 7 4/7 はその い能へ血減を治 7 0 111 AH 54 CP III が でいい。世 服して監轄けと名 郊 FI えいいい 不 XI 0 2 CF ーう 证 2 學 6 爺で 込むこ P 高髪を沿軍 0 C P 職で (1) Ų アない 71 2 XX 、一半 番 0 0 自己の言 3 心類の血を去る ははいいまれい · 〉 日 投しいかく置 1 0 p 9 c (A \$ B U 0年 0 2 老割力で N 41 FI 26 铀 ユル 54 28 て非る と感じ 7 2 級 Y 21 田 X 54 [注

16 の王 20 はないできる。 like 14 THE I 验 21 SA THE 26 訓沫 及到 脉 H The 7 駅で 運 1 重 TIJI 꽻 1 一、 M ず、一種 輔 FI

涨

11/4

TIF

-[]

III

3/

熟

過過

5

出立ろいこ

41

71

.1

三八

39

FI

21

770

14

2

SP

ना

2

TIJI

哪

湿

0

强

1/

THE

1

例

1/

江淅淅

浉

LI!

E

「つな型」つつ

21

器

て湿し

州

冰

GD 大聯三地太卡沙州三計20

& UF 乱を 理である。 は多く結らぶ CA A いいいな 窓から出いは探験 間を金するの 老少出去 FF. X . 12 ,古種 S つ響を繰りないい る湖下画林高と しかし文字が 白しなるいは やねら自ら置野はある。 0 54 題 20年を解の経日は FI 0 ハマ『つよ 21 を落ちいからいする 壽命の長頭とお關系なっ、 變"叩〉次 2 0477 Ŧ 71 光 番 圞 崑廳 `\\ 銀 71 X 出

11 (1) 宣人へ去際よ

とある。今の大家は愛な血給と神法は蓋しこの意味の本くの 製は血の給であっ 間な城下れれ登冶素 21 0 部 のタサ II FI 楽はりて髪となる」とあり、 21 21 草木子, は懸 脳の華である。 放び骨の革 0 世標 薬。と早して 。公田21 題は 0 は高原 1 M 9 图子 a 9 2 X 47 趣 Yz S S 品 i 副 理 2/1 FI 2 2 会響と FI 器 됉 木舗び 71 0 ٩ 9 XC 紫 71 0 11 盟 9 W

9

47

疆

2

TI FI

紫

7

图21

一髪は心

71

、つ園21

111

間割

議お習い圖し、水原、英サン下の生である。

幼り果子 1 智家 1 秋 1 計 2 下 景 1 ま 6 り

女子、こうなんな

79

かは

とある。競明な同じくないびしても、

ランな

最い異りた

阊

ユーーな

いる。

例の生する。

木原を真けて

生する。

人原を真けて上び

劉京

0

.7

红灯

21

8

1/

って依譲する大法の伯納

Y

21

测

終局は

あるが

71

証

が道

3

U

24

St.

2 74

2

可 1. 别 2 * 到 田 重 後の公司になるのの 乗)の受験この地 39 F 酒で 之份 0 0 次人から。(鑑計要場 21 न 39 不 R 派二錢ご 酒でー 朋方。(永順大) 早月 學學 金を 班警二十一箇 題での木香 di 川 St. 以以 事物方 W. 21 如 市面)。 歪 交心に 24 7 C 6 411 Tip 孫陽 女は黒の 例 C 2 311 洲 等のを三 N -6 121 Til 米粒で Til 21 童女の建谷三兩玄斌リ熱色、 班を。(警題看費) 【秘人の厭血】 協選を渋等して熱い了研り、 林多利 MIS 返れ 14 븳뒢 [0000) of 7 21 がで 明 實 R 返れ TIL Cl 题冰二錢 刺童業でいてひか流の割と w 温 ことが 返れ心域し、 H 兩と末 (風量)。とい 111 Yz 到少 n を食御口 及 返は小 嘶 6 7 XX 21 ना il. ではなくして置 TIP ---8 的業務 PI でかいいでしています。 はなの 汛 TE 28 返れ出血し、 阿寶 C 城市 熱板を動け 重 銀利 い。 1 雞玩玩 留 FI 2 ユロ師る養題 - 721 **証**] 童职、 至 别 777 す。「干金九」 日三郎。(塞황) 0 -船幾〇點 少不 の諸血 F 盡を投する。 别 いい。 B ままま 24 利 熟 「月霽下 る場合 AH 2 31 出血 錢 田一 【需發〇出血】頭髮、 す。(野恵大)「土、下 > 2 2 關否 見るコ 114 學多種團 が阿阿 -0 一風歌 0 · F 0 飘 7£ 6 島 17 國 M ti 油給 묏심 9 别机 るという 1 随 14 5. 2 林岩部 显 XC TI EE 21 (經經中 調す F. 2 スコ 真。 館で 重 Ų 28

深し -13 対では 不 子下 M. 1/ TIJI 學)。 FI 疆 Yス事 200 [I] 真 21 の量と郷子黄十 \$ 2 2~ 自五流 一部 邰 别 兩角の衝を生したるのは、 2 (空裏で) YI 水翻 でで予らい 51 41 0 21 銭を米温 關香 1 2-HILL 却 R 立ろび立んで示く整らな 中 CA 冷 丁苦愛婦多鄉事治 [1] 21 SE. Ý 21 R 500 出るやう 1 見 是河河 部變減 SE. 服し、 緩 シンフ 39 :4 **高邊一團操予到**3 FI 37 9 39 6 屬髮派 2 圆 酥 スラ 品 山山 疆 M. P を務問で 别 TI TI 小 劉 Z. 1. 4 2 曹 4 亚 ひとキマツみ 0 0 f1 RE 悪では、 はしくないと始め 一口避 2 調 51 品の 懂 题河 8 f1 2 XC い土着となるときとする。それを強上い 軍 5/ 公安 9 1/ 0> 三香散之名什る。 2~ 「経薬の子経」 71 盂 がいる。 【小鼠の 须 灰を吹が 0 現す。(三因は) 「核瀬い血 班 雕 74 2 。 空 吐 Ш 見る。(陸西殿朝前代) 1% R 「小鼠の 1 7 足車の が M 弘 熱 のる。(常野野家) で、 0 中に入れて熟り、 9 血爺 及語 新 引 眼 圖 地 真(1) 別す。(下北郷経) ind 事 S. 2 新二十二条 9 17 FI 0 が 水上 (fil 21 R FI 0 H 21 8 247 CA 子士 H. 劑 番 ユン 刹 +1 21 石 7 哪 」類 顶 ना 重 1 0 C 強で調 びが、て端 手 0 R 2 圖 y 0 21 X M. 量が末 H 4:11 1% M 21 A H 驚術 4 U 鵬 青 不語 1 净 74 CA Y 44 f1 R 71 1.19 三錢 智 21 7掉 重 昌 4 51 綳 〇糖 0 0 業 哥 中 慧 2 21 到 41 季 日 测 明

6 小学 71 "近 訓(1) `> [-] c iff 0211 以? 74 B 0 樂 4 盐

れるけ 4 (8 0 4 11生 治 一次 IR. 监 即

建物的 。(訓禮産費次) [野姓の藩 11/4 ---12 Mu はしてお がに乗じ 土合する。(料絶五次) 17 7 はれるエンとという 中でとを拠色 石 0000 一一 あるいは出江市 が説は F 6海に南江客 して懸く 器(2) 國難到 「八厕」 風別等代を対 を以て強の 9 21日 神妙で (職で)では四くし 6 んで強い。(聖聖氏) 00421 瓊 겠 戦いア研末し、 T, はで派上は話し 「のもなはらの口 所減火 33 へて服するが 5 孫恩 de CA 2 X 7 30 4 (基) E が深いる。 派天 便 1 9 2 到 21 経を沿河で調 [1] 1111 班 米. 0 この(聖恵力)「新 鄉 合に 16 ンハ 9 3/ 39 一孫迎 .0. 1 7/1 随題を滅り組のア 張於一個之職 続って蓋が承りて 빕 いる 0 の公子運 .1 MI 獐 圆 不 気前に一 . 图一四诺 多個 なか治す、「高国人解網下) ンハ 51 0 級記述 8 0 自己(歌い熱 る田田 5 錢, 7 7 27 241 本を計 R 公 海 21 2 × 3 :4 (0) 。難 識 题测 24 9 头 CP 不 番 U 0 祖 2 H H 3/ 扛 8 Y 縣 R 图 蜑 1 21 1 朝 (XII 歌 扛 2 [4] 熱 徽 團 0

烧票实 3日。 所殿す 第~満 頭つ X 子 21 大かある。(相紛氏) 耐首点未二幾玄人パア漸答、少ぼしア再か難う。 「林器して風い中へなとき」たね上い同い。「選を長~黑~する岳」胤器 では、 十三二7月 血で煎して煎や枯して研末し、それを建び熱るお良し。(^{@裏)}【落ちた けて鞭 大機 發量級 ある。(机浴) 級 ○ある方 9 風ぶし、 出公以5。(十頭瓦大) 麻煎して製ん幣 出る。(張仲島氏)【女祭黄郎】 9 黨 000 14 2 いずの 21 # 高邊減三計量で半代の水が城へ下別す。(減五) 【海雷協隊】 2 間が前記の 15. 2 21 器 4 製が方面するもの 75 S 测 水下 前目、な、ふ 4 0 明中 X 大利とを加の 9 療室で語子 鹽場二代が味しア駅し、 用ると治す。 盤を水で 園墓を難子大風とを熱いて研 〇年公憩 54 雞子 当は q 屬變灰一 + 京が順 重 圖 21 班 なまなない 臺灣 1/ R 2 が減が 24 0 画 蓋をそれて対き、 会かしアエス 風の流をかの】 一日三回、 子 54 0000 文 中 0 團を成り熱色、 劉 3 U Y 服す 21 7 なな 一一一一一 攤 3/4 十十八 21 通 例 それを一同にか FI 6 彩 4 17 派し、 量級 急で 古に 别 て影 7 圖是圖 風 酒で 测 班 赛 胃源分下 572 7 販滿 X 雷 間 网 9 子【惡中 東関 阳阳 21 2 FI 7 (本草衍源) 「黄節で 次/次 12 错 1/ 6 扯 M 0 がなる 亂變 が、 2 21 加 0 2 刘 SK. 1/

るな 野題 師。 न (子出路)。公田以 い 尿で f1 高う別するよし。小 事 目前部 学っ H 「舞獅の難講」 证 え、

置 發 2 54 骅 溢 tl. 水 學 娘も。(いいれる下金七)「蜱妞の警毒」 いるというできる Un 車 (1) 財熟志) 【赤 79 21 21 0 漿 高大の一 為。 歌 なるないない。 火毒を出して研って港る。(勝五)「小 21 挚 6 いがいた。 交山 (1) 同い。ことは、自動の「竹木で肉を味したとき」出ぬいれ、題はを塗り 800 X M 整部で 【穆潛班上】 頭品ではする。 TI' Ò NI S 類 6 る郷上郷る古 (画場でいいい)の名間とつい ° \ が出る。公田は 刊 目 正明に 諸蛇の 返は THE R 整するとさは離 Tu 倒 派 へて博けるって書述かり 00007 ンつ 麵 THE 白層少量玄階內 はする。 器 MI またいる。(窗中) (独立の強語) 「静人の引動」 熱水で 几を理事、 灯る。(離立氏) 54 人玄郡 風で はを洗いて下を出して 经 6 市游 派膏 能〈死〉 别 目が入りなるとき】随上の 20一繭か合家しア球~脚色, 師 野田 務體で調 で記 R 뛤 28 0 以野消する 到了解入しア頭 調~ 4 ___ 桃 。の順を小ふくるとは終輩 2 はな金の(相致は)【菜毒 山 21 油で 頭 3/4 H 研ら同学に 聚及 刈 热色 大学業を習で聞くて 服 回井 21 頭場が同 聖 曹 0 21 間 採 11 献記正成を断ず 計整を記れ [4] 兴 39 界子の一 I 2 74 頭 A がない 員 G 重 0 TI 世 體力等 ユつ 继 い。 级 頭。暗 21 2 R 9 9 酥

【天於婆剪】題計を聚封大のして一箇を含むは貞しら(練要) 百幽鶥を無財水の部子大の成びし、三成でのざ食鋭い量上の 始談で膏び煎じて 今日対野なる人のものを用のるころひなって 、おいるなら中に幸富 F1 21 て類す。(相談) 「百邪鬼麹」 のな 24 21 通 過数を繋ずるのは、 「韓」の野田」割寒の強をみ當時以響」が好から つ歴を西薬に養 大は上い同じ。 いでれる出を取るを致とする人大明 す。(小臺獅栗) 楽響』(音が、4号を頂景 個にして毒ある 大玄角で駅 重 7 【林图不顧】(照緣) 别 光 2 「小鼠の 、つ品へ輸 。五十八世 語を豆割ど水 0 24 24 24 7 21 人の沙路」 潜北 明中 X 間に調 74 0 います。 0 24 27 禄 ¥ 頭 2 规 県 4 帮子 X あるは 到 21 21 イフンプ 71 不 多千金 Ŧ 源 树 N S 74 曹 21

班

5

0 %

平以

はいい出

返れ酒で

米館

は記録

家屬了

【小鼠の

2

4

いこ。に回

方は上は

返む財験と述る

「私人の記載」

干が出てたろび激える。(衛生養鑑)

陸下別が別す。

に大にし、

歯訴と共

旦

倒添水で服し、

立古い部の下野い周し下午を取る。 当な数はある。

6

图

顶

0

B

1

12

前

地

2

J

題記言意

FI

温神経の「中は M 5 ユートア 爪森~してのほきをのお劉義し。 11 0 館の外別であって、 1/ 訓 71 前出るの いての青さるのは難念なる。人を書きている れび測定、不見トノア西黄なるものお割以し。 部经日》、「不明知節の衛、 旗。 7 촲 るる

ル 甲 (職 目) 麻 き ♪ ☆ ☆ と ☆ ☆ ★ A nail.

全部「高製製の料、除で要んで熟さ、研りて割れる」、体整の下 中(瞬目) 味 ま ら ぬ

本記に(解目) 麻みなぎゅうこうられな いれ on the knee.

大いの育族外。(學惠)【一四の自衆】工業を剛し道し、薬乳といる科家體 わる。(聖惠氏)【小鼠の弥細】讚騰かある。人耳塞、ひ重心、人參各正位、序香二位、 37 コフコに 割、一人のと可からこの は多熟致した」といて 守証 意動 を贈引等かと研りにか、 2 間が耳寒か が響アンの豚の はする。 翻

軍軍 条 Ce 宋京田, 市は へ下計口が強る。立た以後はある。(制門事題は)【所置さ水予割めなかの】 鄭師 54 6 耳部できずる。一あびして水活盤~出て激える。 林以不甲上が院 立入习滅える。(審対ひ)【類割中風】成人耳中の類、 思い難らいね、 新六。 4 FILE. 彻 ユフ 2 画

奥強い塗されなる 一粒蟲 込い下る割いをのJ大門) 「海部」 以前 Œ れを塗るが良 通 以 É FI

2

21

「もままってい歌 、て品へ뼺】 和 沙

.FI 「智禄お刺 腎派治証すれ おいこれを塞といよしとある 2 0 耳は骨の繋であ おのはいる。 泥水脂 化して工業となる。 (華日、島駅 は家が不通となる。 (目幽 q 土分公耳以大 主。 事業 4 7 曲 14 盤 毕 FI 0 歪,

みなるで 艾 郎 讀 (連 塞(日

豆角とを渡して一盃を服すれ対数はある。(普響む)

6 114 T 21 厘 Y 21 6 置草 目 いいい 11 2 せの林敦」 不 田 th 到 倒 R 0 1 +1 0 で開 M-驱 2~ 0 th 目の勝 并 動 井 p [iji はかい 11 は自ら聚のア 0 0 末し、一 显 電で調 21 1 4 F 点。 別す。「別、 316 はしい 未 16 41 7 0 当分数はある。(萬寒群警堂は) 11/ ffi 21 生じたるも 2 班 21 别图 fyl 21 7 026 翌日かず出る。(學惠古) が 阿斯 0 2 39 2. [like 粉のる 园 末 阻 2 及び竹木 がない。 2 班 Alls 水 0 111 & 野山 エフては 11 計加 MI 監管やに回いる 熟 0 2 41 R R 子 3/7 R. 山 いる N 21 北 (1) H 」小子程は形けてはひ入りなるもの、 及羽 短で 辈 1:1-三二 井 了 川 疆 事被と共は監 0 Ti 0 理 2 3/ ÌŒ 关 0 (量流)。千 頭風 20 MI 用ると続き職して強る。 河 S. 汉 熟 城子を存む。 18784 0 滅り熱色。 9 田 洲 、分釜 MI 2/ 由 0 1 79 不 M H 0 胸前を起き 非 型 4 0 ユフコ 由 って未びし、 图 Y 班 邓 ~ 次出 うり 強 6 風血 ・主の 000 髪で 247 Y 回 す。(聖南籍) 21 市太常 本人 flf BH BH 通 筒で 頂 伴 中 0 % f1 日中間で 限る 不 婶 1 0 目 太不下了 る筆 悟を童子 0 0 通 5/1/ 纳 鄙 B も相後) All 2 由 生す。(年金)「七 出 0 颈 加 21 酒で 循 日 (0) (武五郡蛟武) Ŧ 7 21 不甲二十 きっている ないいの子 71 W. 歌 19 21 魯 (千金九) [剛 54 4 室心で 2 地色 郜 7 瀬け 来 凹 連樂 うし 0 C 9 Y 21 0 图 2 田 沧 口 Y 21 9

9 日び手の爪を去 27 川 はしかしば 課 歠 主 H \equiv (0) い。一時間で 童崎の耐量 甲を香加で砂の下研 水で球 FI 图 立ろ対数はある。「劉副島歌」 21 4 目 0 3 甲玄鳴色邓 0 甲中の日以民の爪を去り、毎年七月十六日以子の爪甲を対以熟さ、 甲寅 弧 拠割風で手 太土を将び「常び東到の 因(1) 見の計甲を熱いて辿を存して大錢 FI 网 21 :4 区区 日の十部の 三日日 主1 ○普灣でお FI 0 % 5 21 日 画 南アニ同い会別する。 八宝【風中風】字、 ? 0 H 中中 寅の一 三日 「神三日の法」 出て好し。 名けて前 「別別」 9 子 一一一一一 9 「関気の 华北 韻 000 人の手、人 去る。(小童師要) る山 制电 丹砂各二畿を未びし、 滅 新一十。 川 っていなると 九蟲みな 金生 多いというというという。 ンし 500 脚原な 山山 3 いるという 4 三日日 51 子 4 Ġ PI 鞭 主 A 2 0 彻 整酒 朋友 倾 R 剩 、以 9 由 54 不

自 という (歌歌) 果る 画 中 到 陽易納 U 【対法の動人の八甲の末を双のと目习鑑り 到 2 A 洞血血 小動を除し、 副太を下し、 の一個を 「分融を割 子る場

宗人の甲かより](宗題) 麻び話って高や対立ろび激える。 TI 21 研 真 県

小悪っして色黒きかの<u>割割器</u>をしるある。

| 「日~り」 「まなし」

沙

£

本草縣目人陪 滾近十二零

「丁里

劉

白色多の打

飘

y 建 な。経 独上つる田神 之はって :4 21 風か 2 न् 証 7 341 競ン [] 50 CO Ry H Y H 4.17 大江 教 9 R おろろれを川めては法しと出をいてとい 0 02 修建して U 學等 图 41 :¢ :4 · 2 (4 华 0 7 TY. 並被の場合は、 S. S. 0 ir. 21 [4] いい P 湯 14 4 加金 (0) 2 でが 图 T 0 R PI 。とう足く紅 2 U 2 2 24 殿す 0 6 骨の給かあ 21 摵 湯が 回回 藝 近世少 自から R 话 4 派 彩 いるとこ -71 画の めて電が () 日 學 7 须 4 0 41 2 B は層 沿沿 OF 7 R 7 0 計 盟 7 18 行る :4 .5 0 202 显 8 21 FI H 57 9 器 排 シフ 到 14 8 9 競 シつ 1 圈 47 H 器 p

识汉 R 11 源風源が はいる。 訓练 . (1) 立渝色 8 CA 24 Sign 34 F 빞 0 瓣 Ŧ 图 (器源) のの 焼いして帯あり 2.5 は熱機 뒓 21 8 4 24 Y 21 洲 郊 (紅 中了(時本 6 沙

いいというととでである。 41 終しは「 0 B RS の名は然は愛い F1 21 岗 十十六十 いる。 Ξ 協力 間 14 2 樹 (0) 減にして 2 8 1/ 54 狂 5 腎派方 生文、人 6 .7 7 ユフ 阻 空山 果子却万个月で歯は 7/ 21 + 21 CA [7] TI F1 , Z 9 XI 7 6 21 一般。 14 Fr 瓊 らろれている 萬の割 0294 学 2 剩 쮗 :4 当 14 立

316

1/

11

北2.

高小で 野子

米個末等代を祈りに予

頭 こ けま、

り海る山

れる木棚で不

Cin

飛

M

.2

「目以亦響を生するもの」「

へ入れる。(楽霊)

中

の目ない

松が

-

21

74

大

于

11

主

0

8

54

事

米管を

調ける。(東衛氏) (目び

界ではして

7

21

末

嘂

2

0

即

R

山

惠力

強)。とり

器

h

= 21

日

未びし、

語骨と各中雨を

禁色,

21

見歯を放

FR

熱

21

34

R

由

7草

開香と各二銭半

つ影

人計甲玄妙ら

あらめる薬を数な色いお、

寫一

0

事

請

刘川

除末ゴノア

「自己出る随血」指甲を用で割り、

日日

721

雨さ末

一条この

37

以 カルタ 減

、つら料を縁り

[44

三ユ

17

る。量

四。

附対
う別す。(聖新聯約)

Z

0

い一類

腎は骨 疆 r ix "八湖 心計 っているといるの間中いる 七歳にして歯が :4 、トトは、 至 して腎療法 翁かあのア、女子およ个月 で歯は主き、 両院なるを不といい る事 を得て真子が 3 平衡 時 の
② いして腎原が 歯は骨の 7 り王ス 盐 <u>-</u>+

II Teeth. きば 3 7 邱 雷 赤 日 日 緻

た。(簡単大) 結總上数を認め りは上生る。

第五十二卷 勝日人活 本

淘

0 R 54 7 71 新 の料種はのもるな変形 '> o制 C包括 大便 明織) 人糞

1

th 東東 中

Human feces. > 唯富 物 116

4

2

THE

やはら

明中

これを末にして酒で

30

人不玄學

添黄,

調の間に

FI

2

it

2

場口齊南部(大)

0

X

2 +1

锤

外用としてお蓋米で誇を称して

たもので服

編載を置う演じ

温温

金河河

6/1

遯

那

39

源即

到.

-K-

Y

一年まる。

Z M

拉拉

Mr.

【暴選

「影影」

る。(普幣市)

11

7

猫

K

出る

2

0>

ひしてい

量と末づ

關香心具

しか

文

FA.

2

1

が一種

X

FI

21

6

H

2

X

TIJI

溫

打

哥

0

酥

王

。(相對武)

いる

2~

贈

2

利西

9

社

2

5

熟

R

不窗。

Y

0

8

CA

28

計

26

E

乳を

明市

ン~

室水か一字玄鵬

7

半

班 25

平等会を火ツ駅

头

*

拟

は来

5

T

TI TI

21

CA

してお明色

别用

內林樹立

家ます。

してでながら

兴通

0

B

.

f1

57

All

一次北

2

撃山甲が充色各一会を未りし、

人不多數學

0 2 02

H

五十十

9

A

發

0

[急加

る。(重報方)

£1

御

ユン

流で調

韓級少量を入れ、

調香

7

会を未

3年

7 盐

**塾力の小見
立かり、人
そ
き
熟
っ
ア
封
き
赤
し
、
親** 11 21 2 2.2 0 0 でででで 型型 12 8 B B 2 並多方 班 2 かとなるものを治す 留すっ おる事 2 り別 骨炭 897 湍 「人不強ね、 21 出づることが思はしからずして 国といことは 当 道な行る。 SI E 報香を大け了監督か現す。 この珍柿のはし」となる。〇 C ○間人財の就珍論がお 対気をして 田 なのかれ 京藥を服したため 、口臓~鰯に 脱落し、 7 雅 人窗の 發 须 2 7 「試影倒運」 制力。 Q 21 錢玄脈す。 研末 歌 0 2 P Z SP 温酒で コープに田 M 24 24 7 ひべきもので 24 。十幾 半畿を 調へて る筆 71 宜 翼 2 X 2 www.tc 酸格血ア 개 0 晁 UYZ · PR 7 14 P 21 2 船 FI 4 瀘 寒 H ユー 事小 ら見 51 厘 個 栩 齊 2 FI 71 箭 星 田 2 里 21 U

P 쪩 不能とな 21 B ユフ 2 部 24 米 7 の名が 割21 し、気ので飲んべからどら 湍 幸場して水製が 齊 쭴 湖市 FI ひろうとなる WY. では、 this 7 7 管見び また家舗して色白~ が毒を解 · q 0 で始くずな治しやうな」といってあ 1 24 亞 亞 0 24 整 流 天猫を用うべし」とい 子とものの語合は、 間 7 さるとである。 鬱悶 立つア智智として人事不皆となり、 用するならば、 Y 警無すべ ス型 >7 宜 0 題でいてる 歌為 K FI 21 黒 Y 0 B 2 非 · 樂 9 の検 常 2 6 N 于 W 疆 2 9 텖 21

面 重 1 大下とを消で服す。今年 ちる。(小町代) 作目機 X 9 0 刘 5.7 57 五 以前を見るやうでかあり、 TI Ri 74 人事不含なるゴカ、人中黄を大部コ人外と形で国権し、 [紫越骨燕] 1/ 化之 とされ再服 0 -1-子正は上 うして気入して窓前し **介班**人知多河川熟色, (製造を表別の人のと話を表別である。人が出版を表別である。人が、 は別班小的 H 1/ 1 型 金七)【機談發訊】奉去し了職还の今こかもある。 0 帝
弘小
ア
三
鍵
な
肌
す
。 At 到 雕 7 2 水 一部 えま 釈 汹 . ix 孫一十 Y Y 21 7 1 ÷ 期 6 末 54 申 、三十星 24 北京 が利 扭 2 ンつ 7掉 哥 へて対なかれ 下之幾乎下 常然 Ξ H 4 JE. R 未 挚 YE 114 Ve 4 2

大いび正職の 到火分剥下 八雪等 。對對 一、新新 味してたコしたものは残る帯し、食醂を消し、 惡強 八八四) 〉 多数型 型型 型型 龍山 淡 [天 計 整] 五, 題に 實態を解す。 果 Ŧ

26 林して南行を PI A MI H で一番 YI 上谷川 价简 解球の上の黄土を譲ぎ、変むをその上上の影響を はと出し。 21 1/1 子の歌をよるがアがアがアは一変歌を出ていていている。 しなられて 小地 全人職家はなりなる。 S S 2 44 うい高んで 21 詩 五 11 5 Pl. 24 , | | | Ģ 6 de H (新 XII (1) 21 E 7 X 7 副 現 4

24

0

あるの田とつなり回

9

M

行を扱って甘草を いるにはる **竹筒の中37甘草末玄人パア兩脇さ竹木ア寒ぎ** 風の當る場所は懸けて劉璋し、 る意味をあるしてを表り原出し、 中黄お Y , ~ 日 憲。

市黄 森の 小热工 甘漁を封しア天計騰熟を留するダ人 X 臘月以浴行を強ら青丸を去り、それを影響して行き切り、 草。 。これなる単葉をいる 大明日〉、 の早界及 2 掌中

城市以近 がかれ たるものを報じてみ 青年にしてそれに留る村を取るお、 . ~ 日 一等。 またまで 選挙となりる。 記録である はままれる 人中黄 **萊園語**) 憲元水 口を塞いで難中の解れ (等距 黃語影 。なのないまよりく笛 公置 7 学 繡 まで、 0 % % 黨清 認な 干

計 て給 41 (瀬恭) 「朝行大熊丁我去するもの、 W. 21 るなどと 3/4 FI 21 冰水 郷房を死いつ服す『伝籍』【裏恋機等 ユーコ 日一月 明らなる(八神経) 県 28 話すず 主 R, 到 寒びして毒なし **並**着 1 20 からな 新制 未了當色、 滁 發背, 、 つ 是 操りい 鄉。 するには、 规 7 面 in 沙 蒸響 璵 :4 2 JE

び文字お米が強人の會意である。 被 34

關香谷 是、法 7 罪 麗 R, 国 2 多 U 0 = Ï 地 11 2 送 71 酥 0 :4 Y 不 哥 間で 业 炸 2 H X 到 0 7掉 恶 再 71 21 分を入れ 删 2 頭 くる。(中金) 2 泉末, 5 51 21 X, 0 6 留で 2 21 鉔 ときは見 0 3/ \$ 4 翻 型 洲 \$ 50 B 調 0 点派 Ξ Y 潘 恭 小 0 9 錢 大獲 7点 SP 阳 歌 錢 語言で 部 電腦 XI 西 (O) 0/2 T1 21 師 需 る。 1 21 21 H 37 **黎** 少少 滤 来 71 0 Ch 21 9 九湖 上げる 南かる 7 間散 27 247 CA 例 MI 0 21 21 訓 2 果 XM 2 が高い 11 J H 垂 训 H 14 1 0 0 2 田 は YA 弘五 5 ALX. 至 MI :4 . 見し。(千金氏) 液五で型色 1 排 21 170 777 (業) 人變 2 2 0 日 U 74 画 9 71 2 2 11 7 0 0、宗動 阊 到 計 那 部 6 + 21 0 0 1 沙沙 不公司 髪 O 21 别 2 301 0 是 :134 \$ 2 54 不 SP 頭 2 電力 2~ はその 汗: 部 9 2 ~ 証 0 果である。 原 罪 多 B 贈 SP R 21 21 是干 ユつ 記到とを単で調 54 2 呼 冰 21 ならば薬 (0 打馬へる「相対武) XC FI 平 IE # 票 1 邓 7掉 零 27 + 黄 2 21 28 4 る別とと別る。 0 R 2 2 與 るるは独治の意 0 0 童子糞 54 0 研 愚 桂 重 脂場二合さ対 0 高いのである。 0 逐 6 干 2 ~ 0 錢 泉る 4 2/ N. 21 6 監器 潮 * 别 PI 7 いる場でいる。 神神 至 自 2~ 0 M 000 野ス 91 B 5 7掉 鰮 1 3 9 洶 電 SP 田 班 FI 24 凼 孙 = 2 R 1 早 不 2 11 7 镇 錢 望: + 篡 M 3/4 重 地 0 0 5 日 到 3/ 墨 8 凯 -1.5 7草 # 21 2 2

1/1 雅 54 水池 M 。(小華獅栗) [tis] 34 6 る高水が、 12 萬 2 Y 别 A Y 2 。靈 飘 FI 74 0 显 CA 部 B 黄 21 21 個 994 錢 39 CA CA R 駅 A 安土 R = 亞 0 0 とては 别 7. 緩っ 数 71 部 幽 愈 素 0 Y 0 2 して食物 Ξ 2 7 諸藥 f1 9 溉 21 0 が 隼 未 B 京が間が 班 21 Fiel 當計 疆 R CA ユフ 3 21 演 五 過過過 4 17 # ना 21 0 ある。(永蘇強武) Y Y I 8 0 王 M 护理 1 CA 7 FI 9 實 2 金九 1 FI 21 0 到 以 21 濑 0 (1) 一一。 (代後の来) 未 晶 歌 各公司 言、社香の 運 11/1 `> 2 2 加 錢 4 · 24 近でできる 骨蒸 21 = ある。(海上各大) 6 濧 中 别 真 2 2 Y 7 0000 24 X 2 21 旗 7 # FI 1 र्गा = 導 28 28 7 1/4 酥 逐 0 2 Y · - .) 18 :4 别 Sign 21 ° 24 当代 中市 亚 晋 拨 2 中 美 2 71 TŲI X 0 0 錢 B 4 間由 """ 别 2 壓 좷 6 0

源氣 别机 慧 瞓 シー 16-1F. 넼 2 6 ship 烈 41 All X. 頭 2111 雅 2 21 返して X M K U 0 滥 2 28 Y 0 滁 5 4 21 2 6 年子 いつか 1 :4 th -16 XX XC .PI 題なるな題 中市 7 東29年 顺爷 FI 41 0 る置 킮 小三代习 11 阊 6 目 别 不 人區、 50 19 重 0 6 + 21 2 .1 All 21 4 基な校園にある。 熟 中 IE 間 × 思思 46 M 2 7 0 1 熟色、 All M -もごは R Z 剩 令 Z 惠 0 B 21 2 16 4 屋三 6 醇 9 紫 歷 fl 古 H 0 21 趣 7掉 2 7 2 R 0 ()相 0 业 2 U 濧 别 網 2 9 Y Z R fl 1 华 16 0 操 쨿 2 4 B FI 1/4 0 ___ Ħ 踵 > 377 21 月六六 古 1 1/ 8 8 量 垂 6

*

盐

21 別 31 いるのはの 還元湯 (目) 量: 輪 間 茶 小更 素問) 爺: 4

Human uring ちとのいから 17 世 帝 海 奴吊の时(ジョか)と發音

「悪豬。」が引きるり、面印字を初き、一个日ガノア塾をも「編纂」 中三三 放り熱いて쮋霧間ではして塗ると 見の鬼猫題を治するひね、 以 Į

Y

小見伯承 (職 目) 麻 st かコンテ 學 st Eeces of young born infant

飘 瀴 五 21 人眾玄塞之共了語り 21 きずる。 沙 A 蘇も秋圏旗な盗繊 74 毒湖 图》 人屋で国う 調の毒」 おも別の代は宜」の(総解財東國氏)【智意幸毒】【山中の 好明 一なな 图 みせんとするひは、 響 公器記 たなこれは最か被である。 代を対め的おとるではがより 」が断か肌をの(胡鈴花) [悪大の刻謝] しア滅まる。(蘭五盛館下) 【心観完献】 森政水ご外しア駅す。(重主職) 井了室る。 一小葉は U C ちい行を飲み、 de 5 FI 2 ti 11 21 0 2 4 21日 X A

FI 出步 fl 14 不可 U 竝 y 2 21 71 重 にし、漬けて汁を 毒整例の竹を筒中の取の下箭継を責 『赤独の刻巻』人別か可り住す 務問 Til あるめる毒」又心密懸毒、制尿懸粛アロ、鼻び出血する A Y 00470 強を学っちのである。 たときは、 人気を熟を称いて動わる。(子金む)【馬血の散り人のからも」到部するび il 74 M. F 「動出流線」 ンつ 劉 慮の 外 凼 影 不藏的小 Y Pl. 图 X 「然」 U 戏 0 「希後の急風 思い歌スアドを収 中コルンと 【選支禁器】 「薬器の毒を興す」毒器は三種ある。 いア末 (千金市) 断シホトンダ駅中。(千金市) 【東西流演教】 公司子 製をひかない わる。(子金む)【金計別出】海人知末る部分以入る 。好死工了關聯以職所以以資系的英に聽ば種二〇2 图 【小鼠の劉蟄】人風滅逐動わる。(夜臺獅要) [四月公本明天管 必治 題は出る おのが。 (十頭五次) た。(小量加要) 持了窒る。「下金花」 くて随順し、 過北の諸島でお館、 **養村を水が味して服す。 歩れ**対 0 あるる機 水で調 きたならば山める「子金」「部で口」 人糞を緞午の大いち割と肌し、 师 数部間と各付る。(種称) 人杲尖〉當该減功熱色, TI 用ると語識を作り 11 がかる。(千金) 【蠱毒、 日二回 0 泉を裏んで加る。 od gra -は、液 7 27 **味納**む) 慎 FI 21 TI ンつ ユフ 了一多時事 末 0 2 11 事)。な 247 館び。 Y 2 21 FI 吐 测 2 CA

副 21 沙 0 加 9 Y 21 日はる対をれて 0 お判監であって寒でおな 到 4 , | | | O F 。却

Z 婚 44 U 年八十玄爺 (O) 加減なな の多いこれを性寒なから多く服するは宜しくないといっようか。 2 常い悪献はあって、 14 且つ老様にして 41 刹 人は FI 以外下 老婦 顾 ーな肖と書 1/ 四十緒年に及んなといよことであった。 こな窓四十分が見えるので、そのみもを臨れて見ると、 ° 24 0 B 風お火を剝すことは基け悪け。 0 無益 71 服藥 熱流れ 啦 公人 面でいる回 1 で人気な跳し、 0 , > 日 嗵 N. 。意。 咖 ° Ċ

利 遥 21 :4 当21 71 間 败血 4/7 いつがくら遊 0 にはやはらとれ .FI °N 28 なくつ を温館 0 2 9 纵 中多~那してお宜 型 は脳をア つばつ 一口級 重 なって 34 34 ほし。つ野 0 0 ٩ \$ 00 P は歳 & 2 & & るとある 人際お童子のものび別るな 焼な色場合い 7 8087 到 21 人なしア帯耐な額甘 市中 鴪 干价目 シつ 站了陸登の 血方圖 7 の年十八 , 〉日 源 寒し、 · 2 9 on o宗 c颜 1/4 2 瓕 54 ·4 寒 Z 풻 4/7 :4 M 0

直さび人冠域代を積る 技と合せて弱いして肌するはいよいは利 体り頭解を魅したときいれ、 でいる。 なら多くは瀬まる。 Hu 颜

d

H

中國之歌下了南金

:4 逐 20 21 酥 大爽」 。 21 Hi 0 訊 8 で見 4 # 楝 童男の 21 燵 終う 独 捌 FI [4] 学 R おっている 7 ある」(雑悲) 経るるし様 書 꽺 * 7 業制 船太 級 透過部 :4 る場 予豐 Œ 難齑、 27 五心歌雨 新園の主教 连 まつ。つ事 寒 排 圖 火を報すことは甚次惠次】(量等) の後の後 Z 训 E :4 7 県 \$期 9 0 6 到 圖 7 Į 别 圖 数 ない 脉 R 0 % R 訊 寒いして毒なし、 大鵬 2 21 失響、 برًا، 丁 74 8 7 子 当于 **阿** SP 「然園を丁 到 ス 0 0 圖 濑 TIJT B Ty. 、つく数みる V 肌膚 24 市 7 ると歌いい 瓣 尊八人 つ」(副線) (減器) 7 要え まるが、 规 6 か良 霾 别 1 溗 EH 繆 2 7 ¥: 7 重

水道 部 沙 21 2 不發 9 2 0 14 P 7 71 0 3 河黑 よお際語で 碧 4 邢 2 21 2 71 到 illi 讯 出で、 8 图 21 0 T 6 軍級 9 M いる際型 スに独立 計場は上漢が ST R 747 草 場 0 X 777 北部 XC 常 71 劉 2 146 では一般では、 源 业 FI 21 洲 始 6 系論の P 觀 。となる国 で参う。 2 場がある 2 6 大家である 胍 调 71 智 Y 水道, シつ 20 参 죞 21 0 を抵御 天涼丁 200 洲 からの 0 會意である 翘 71 2 源源 +1 21 0 q 黑 XC 9 るおして なる電 H 9 劉 海人の 21 9 > Y 1 Y 쾖 \ \ ? 21 27 21 PI 2 21 昌 溫 0 28 X PI 鵬 「い、田 4 6 T P 溗 12 71 運 71 W 鴪 謝 Mf R 54

颋 頭。 三 蒷 7 AH Z FI 21 0 W. Y 21 扩 21 21 4 4 4 エルンス 21 I 谜 SP 2 「骨燕雞」 .2-H . 水河 2 10 不 21 + 6/1 でか 五 7 岩田 次 正 次 元 到 21 JE 24 甜 2 11 A. # FI H (0 21 ___ .)_ 草 4 3/7 E + 日 到 全 事家 び。(奥恵市) ン田 干 まり 4 I 7 9 thill る道 绿 , 日 大物の高い 改ら 别 21 21 M 4 4 出二十二十 忠 2 話 21 FI R 思をおして一碗でつか に記れ 4 N 0 9 紫 東三合を含めば山 正之 張 B 0000 图 21 聖 0 0 加鄉 通 間 SY 0 N 个日給か全滅する。(聖惠) 子 别 基 中 0 行ユり 机 R 6 -1.1 颠 ムス葉なる然とは 運 台州の 曹 21 别 な。(孟鶴や敷む) 【男子、 随 小国 M 20 過かあ 古 24 車 MI 9 墨 24 漸 題 部在 R 學 Z 干 重 1/ てきるるない 9 回回 5 到 R 1/ 蒸減減 事 M Fi 0 0 デート 11 煎じ 自己 0 # 000 27 3.00 黑 FI (海 珠 学相单 0 21 21 排 21 野鄉 逐 \$ は常 16 71 1 6 京急する 子 CP 阊 :4 型 21 -显 **湿**。 **69** 7 彩 H 2 狱 Z 2 2/4 演 46 日 肺 0 女 4 シー 臭 寅 6 Ŧ + 重 `> で浸 R 剩 别 0 0 tild SI 歌 通 别别 黑 惠 澗 0 0 2 熱 6 4 4 惠 颜 0 2 0

1/ 盟 驯 7 亚 那 2 独 目 2 P 五五 7 4/7 0 买 ना 34 シフ 0 录 8 际 2 子 鄉 の語で下 る。軍 0 + 訓 0 哥 级 拒 寒小 料 W 2 到 Y 0 狱 E II FI 卧 21 冰 训 2 划 54 0 2 24 X 4 9 沧 2 ~ 2 \$ P 1/4 Het 2 21 中 2 回山 0 \$ 7掉 薬 :4 0 > XX = fld

4

学な 寒凉 副 到 刹 自自 YA 前 運 71 滅 不 郑 7 4 88 渖 ユー ロナー可 はな人がア FI 法 71 爾 米く多 >7 21 疆 21 7 洌 誕 F :4 大<u>葱</u> 000 1 辫 V 24 000 9 三二十 1/ 理 0 器 6 28 14 器 驱 6 二 1 74 0 26 2 R 别 八零八 食物 は非 34 B 批 計 回るにおいるの 2 ユつ 界 数 P 21 6 0 池 圆 は数値 颈 ういい M 見 X 1 P1 00 CP 7 鑢 2 SA HI 重 漩 South State 取り繋があれ 沧 21 71 寅 ? 點 R 0 淵 経路 は必ず る。 いお気砂の肉 0 柳 剩 2 ~ S 24 当花 正 源 W & & 2 计 7 Y 事 水 寒 0 画 拟 21 B 0 金子子 26 2 6 11 2 9 高瀬 000 + 21 绿 21 SP 湿 見 重 6 田 派 黑 3 PI R -项 7 事意 94 PI ·N 别用 0 0 恩 勑 FI 9 28 於 料 4 R MI 41 21 2 6 G, TI 4 M 21 26 21 等者 H 别 R 0 7> W. 重 B 平平 9 Z 1 5 水 1 0 护理 7 1. 烈な 别 8 正 2 洪 0 1/4 1 Q 0 0 21

以及 訓 1/2 747 7 21 郊 IIII 到 ME M 71 1/ 0 71 0 0 P 事 B 0 器で 2 82 JA? 2 इ जार 31/ 您 9 はその 北 0 T! 計 21 1:K M 訓米 28 9 2 2 7 0 1/ 凡令人 到 > 0 X 21 뉇 本 71 71 规 000年 蔵コア熱渕 0 60 B 2 9 21 动 0 SA 9 6 常 24 21 0 水道 7 您 0 ング De . 21 9 0 1 18 丁丁 1/ 7 及 回 7 76 冰 FI 雷 7 FI 7 W 21 9 0 果み ? thi 8 4 2 重 21 2 7 M 图 1 0 2 सा 9 0 6 > 9 2 0

アス ন্ 垫 ら中 R 2 重 CA 船 2 0 0 राम 重 0 いる。 2 46 0 暑 2 6 88 Y Y 21 C IIII 4 别 不公中部 0 馬歌 業 た 2 24 FI 2. R 2 24 北北 4 1/4 こ大组 圖 0 2 采 0 6 6 计 Til 业 所衙 8 \$ 1 0 旗 * 0 09 2 2 7 凯 1/ 21 2 0 V FI FI 中山 び。(千金ボ) 30 于 1/ 111 园 1/ 湿 0 2 21 ユフ 7 F.F. 速 U 0 9 71 6 1 "" (草本菜) 腓 24 त्राम \$ 别 U 7 7 劉 FI 2 21 1/2 2 A 2 21 \$ 21 4I 0 和 ~ 2 薬 0 沧 類)c Ut 0 **%** H 四十六日 杂 8 黑 8 1 0 0 R 食割帯ナ人は 7 水等 FI 부 0 息 2 亚 9 0 别凡 16 北淮 21 剩 調で 1/ 惡病」 K P. 言語 派正 回 五五五 1/ 預 W 日 自己の 報色を致 뷞, 9 SP して普通の なるを得た。 紫 Y 高衛衛 睪 7 酒は二三年その 刘 6 FI 6 M 箓 A 偃 シフ 0 そろで 2 2 派 中風) 71 21 别 P 京家 7 规 21 CA 新 コンコ 盤 はな T 那 道 .2. 石 鲱 「金割」 減らがい 隼 सिरि 1× 0 囬 0 11 旗 0 54 ことがある 4 W 7 7 哪 0 0 北京 Tip II FI 3 4 10 2 0 はみな治す。 , FR7 センみ 學 ユーフ A た。(重量)。よ 0 串 0 2 5 0 绿 0 金割 人漏 * 藝 B R 洕 21 SP 54 级。 繼 副 24 覃 哥 Y 2 21 CP 裥 出 0 FI 24 Z (電流)。 21 0 . 器 疾 P 9 :4 ないとな :4 쮎 步 9 0 21 Y业 4 1:15 9 21 B + MI 0 I, 뉍 景 P 4 XX 翻 8 显 CA 0 1 :4 峏 1/ 新 頭 # 9 喇 コピママ P 0 F U 颽 9 酮 2 fl 那 21 Q 曹 0 沙 41 C 71 2 1 19 XI SA 16 0 11 對 til 1 平 2 强 回 漱 B 日 Z 21

大大大 変目に 印光 【選別配終】 4 沂 過 真野] 人 さな 到 21 野を満たち FI 21 21 10 2 到 高い 東地を食るととる思い、一般を重要 で近 21 童種 Y 東 集縁の強を出出とせて妙である。 東玄朋を引かれる(聖惠氏) 【卒然の顕新】人をしア子の頭が離って利 例 46 して含め 「熟我の財をるころ法しきもの」 「中脚骨間」夏映以人は道盆中で焼死しかるいお、 Z 監服する。(東線次)【地血、 古にを徹と盡し、 都們 6 童 部 上で除って利土を難えて置を引り、人をしてられい 別 21 下血し、片越は二十日パして出る。(藩恭本章) 21 2 、り扱こし はず All 紫藥 童頭を配廃 るな 療人を間 (本) める。(相が氏) 【下除林息】杏江玄気を去の下鴨か似 FI (Q) 阿阿 重 して水で血を形容し、青筍な融い人パアー重も刊、一 「章漸뚦難」 圖 # 気が灰る竜子は正幸 『起家主法 多人からなどの表別を日日以 「鹵絲」 衆人の野が 末を去って随肌する。 温える。(奥惠代) 惠市) 竹を昨らして一代を肌すで「日華子」 い食え。(理 別する。(簡単大) 「間場の重きもの」 17721 放命して任意 开艺服す。 日一節 ト、対結局組わない。 (遅悪) 歌がア白 三回 前帯しア前 い珍し、貧土の焼 CA 21 惠九 朋するかよし。 94 該被減 な人れ 回 淳 71 一スパイ 4 279 酥 金子 7 溜 R ना 頒 ill 盤 墨 21 圖 21

2 0 壶 Cis 可 0 1 TI スシスシス 薬の入れるこ これは人類の と日光とで大しく強いたものを見しとする。 でなるを変をなる。 , ~ 日 はの部 阜 中 出る 25 画 7 。はってこ 下でで 盐

らせっらやっ Sediment of human urine. 琴 唯會 (事本章) 音打魚猫の切(キン)である。 延日 腿

蓋谷一会を入れ了煎じ、二三郷しア燃給すれ切丁る。(日華子本 乘 血部」心 人気を滑む。(根券は) 及 2 是一个 21 THE SHAPE 旗 光の下目を少政の間限ちる 「分触を削し、 2 一個個 明 通 1/ 自己の 日以二代玄照するは丸し。(郡五新路) カ人しトして自ら激える。(集簡氏) 【合口財の語】 も」小兒風を降行び味し、二代玄朋も。(海上は) 「剩下豚臭」 **画家」自己の小風を焼い来リア林し、** 服焼を野村去るのかある。(書新t) 小動を取ら、 一日獎同新 下す」人脳一代7該、 一千重 版下を形え。 調及 「新智動部」 お真原を以て FI 聖惠式)【赤目 21 津 26 「諸菜の 网 2 題和 汛 立 28

75 涩 京 倒 及 28 订 :4 U CA 調の 4 21 合ならかな 2> 古いか 【人刀手計玄刻をハケン色】 強力機風 2 20 る大鷲中の大 34 6 那 验 1000年 SA 21 大の刻割』日華モお『熊風多鬼暗习 っ、、相談で 3 7 0 SP Y 30 THY 東を服 とと 2 -A 54 9 Af は語の :4 洲 派 、つ猟りて米 0 CULT 郷 21 いいいつ 54 ひ入らなるとき」小頭を少しい 业 6 場る 八ノトノア臭名人物 0 M 画 緑人なしと引 1 湖 CF R 子人子 ないのあっている。 34 PI 童子小更を残り取りアル ないない 孫血が反び入人 U 纵 SP いろれるとれを服するれるしい 14 7 制。 1 A 到 FI 洲 た。(外科強神) 21 面い参しア 年9岁天 21 題館の傷を治するの 學 · 92 ?? A ST ; 更な監めて責わる。(下金) 须 18 f1 が激える (無難要去) 「独 9里 0 0 打るなお下事 规 2 九 「〇やなつ題懸くつ S P P 源通 口をことを口 一一 6 演器本草)【あるのる蟲の ? たとき 94 71 水池 放を表した 人。(胡粉花) F.A. 各校 で翻 腦笥 まま 〇千金ボアは、 Y 嗵 薬 總 の剛 2 37 21 7 間 稝 张 制 干纜 腳 いる。 る当 州 SY 圖 4 国 24 .D. 熟 顶 71 汛 0 アー

支

サ 7 賈 N. 里 0 剩 :4 Y 7 あるのの 通 R B 到 を表しない 0 惠 で浸 24 し。「千金九) M 槰 2 2 洲 翎 C 4 聖惠九 验 :4 6 7 0 ユフ 田 虚り 臺。 还是 12 71 2 21 n 77 A 河 ? 28 及 中 2

流新 別 班 油 スない 歌 # E Y 7 2 いまえて ではひば 派で漏 では中 41 Y 白き火で駅のア末びし三銭を監水で R 「」「」 0 大い **計黎三**か 豐 0 市 .)_ サるは負し。(F金む)【鼻中の息肉】人中白き瓦予熱」、一鍵でつぎ監督予 風幣末を降風り 禄 CA 青こり丸 IHI 。 二 三 口 白帽玄邓市 1:1 Y 石 Y 「小鼠の 11 2 1 F1 21 北とる 同心。「真師の する。(千金次) 七分 21 21 ix 金となける。(曹育古) T 75 1 FI 玉川縣 野21 Y 調下了茶子大の 動金内の 17して騒える。(集簡古) 14 51 「小鼠の審慮」 「園から行血を出するの」 温温 曹 關音 出 别 「電子に事に早日」 北北北 1/ 三日一ない 緊ち正位割といなって 中白を豫瓦で副を諱し、 兆 【去馬不歌】 21 涿 末 歳して 玄監水了城市。(聖惠古)【精靈の出血】 一々なる 日び敵人する。(韓原動鑑計要集) な人中人 ア等代を末コし、 はいいいのは か。(劉虫黙縄次) 末 孇 P 。公子 日~田との(割門事際) で論る。 邓州 、つ第二 ある。(煕師古) 小豆 まじ 臘月の 出る残を対ひ Y FR 1 0 道に TI 14 14 7£ 言葉を室で充 数があの T 21 R 21 高新剛問 校 盟 4 CA 21 ---五 2 21 鼻 那 400 しては 921 21 五 3.别 出る水を割 C 7 公子 日 9 H 1 71 24 0 (永丸泉飆값) 戦色、 0 24 B 學 學 2 A 21 Y 21 21 0 Ċ 総ご 75 24 H 6 1/4 でいる 石 ンク 7 别图 继 Ale Z 5 で日 28 0 别 亚 2 III 滁 汛 9

投しい 線工両を製 【大睡、八睡】人中白一團辮子大、 新十四。 一星 4 彻

9

1 學家 44 0 FI は船く間下して血を PI 24 54 る有様で 真藥 2 8 のななし数世をないい 6 2 14× 0 まま 鄭 54 1 · 開加 21 空空級 M CP X 田 鳳 华題 21 2 24 y 蓋し繊 0 未 8 0 参じ、 n 21 ना 24 平 21 舌監査を訳 阿 高地を消する。 なる。 は真 ア治療すると直さい山の 票干 本 错 か血を強する語線である 即 殿ひ口 出で自 * 2 C 田 21 强 华斯 R 到1 濕 游 际火が奉 張果の 自 事 中 21 SA TENESTANDE AL 5 薬 7 玉")や「 :4 0 中白お、 である。 中白 US 圓 留 Y 那 f1 打 2 語驗 Y 函 7 54 Z `> 0 24 X 鼠 火を踏す 日 6 9 噩 · 287 P ·4 OF 。常 器 2 :4 71 24 9

1/ ユフ 水を調 2 P TI 物の対の道で X 0 第三 はこの X 船~邢 0 し額別なるよ 中自お、 Y 霊 ,) 日 24 憲。 0 多色 田少安 舶 發 # 郠

と治す」(神経) Ŵ 北 0 闡

M 76 (3) (4) 通 训 がいる 阿芭 田 諸数等の 源 0 以 が調 聖事る事生 Ŧ 逐 0 ill 9 型 後海 R T 大。明日、 21 H 量 豳 口 って悪電を治す人種悲し 到 MI 「つな事」ついす て駅を 滅血 「水を降し、 「熱色研 鑢 さるとなる。 (海水) 池 我](大胆) 沙

TY らえ FI 57 (0) 7 以及 人気を知って説 自由 古人公離外人 '> 日 E. 0针 Hi 额

(紫紫) 語命を続す M Z 47 X 7 温みい

電域、解析日間 21 不少 ff な目 城 1 種 1 小便 妙。沙 R 「龜祭命我」 狮 い返し、元い置し、 温 骨燕玄逃也 以 Į て思る 1/-丹田を養ひ、 涨 7 「腎水玄滋~し、 鼠 る事 = 河流 經 () 地

『フな楽とつい歌 、つくり 池 源

际金 7/ 21 拯 71 孙 9 71 獙 CP PI 7 響 2 54 称えが減 Ce R 2 U 0 班 · Ch 瀬み郷 82 111 88 0 54 ? 7 不 けるおからり 0 啊/嘶 画画の 1.1 Y Vi 姚 R 0 ユフチ 派 Car 手 ffi 人分名名 凍 不 層にある 鹹果を減級し、 71 Q 0 0 7 MI 8 その名称と質別と合致する 1 21 무 4 調すべきわけはあるま 54 7 21 1 2 Ce MA 部 7 :7: 111 妆 4 とを取り 9 3/4 71 12 、了強腿を繋を立て変にはない。 E.F. N 녜 [|1|] ? FI 器 0 4 R 娰 (0) 54 は 調え 紙 0 B 0 ---1/ 21 21 間 0 24 監び録とるひれてなやけ。 至17 B 14/6 6 货 0 -111-圏へ 54 説えずのである。 34 0 出北 14 7 重るな 4 MH 0 て渡て 少21 华 法で 7 54 515 い方法 21 4 意 水 HI 昌 0 留 2 4 7 學談談 Z₁ Ŧ ア王 事實 劉 おいるよう 5 2 44 2 24 2 0 0 54 0 い。 至 2 \$ 2 9 出る S FI 2 21 。瞬 54 4 軍 54

聯目人陪

京

*

2 2.1. 綠 鲫 2 巡出 额 自 2 沙丁河河 0 の別 1 th 部 Y コルンス事 の自治を火で での一 漢 执 3/ M TIG . 41 园 關學 中典 71 · 24 烫 人漏 7 肺效が 凯 深~野 ペア 刑末 訓礼 目 えんし T! 中 2 流 に一つ X to the 伝を味らして扱る。 末し、 ユフ C 國經 000 地 ユフ 2 沿衛 30 7 题 顯香 場所の R 事 28 日の Y 三 21 李 6 H 当場

栎

07 III 8 新四万下膏末上銀な人パア系刹 0 2 B スス U 24 \$ 50 St 24 YZ 0 「丹哉ら難して妹石といえ」とある。 it 7 3湖 :4 21 种 21 (0) 歌響 別と 愿 作るから社意する必要 X 自 林靏 前じる 21 2 なるない 6 嫩 9.4 る闘 2 目 世 シフ 水で 中 9 回縣或 Y 21 少し 9 2 はある。 씘 7 は蓋 爺が 意って童子野を取 三二~平 ---71 逐 2 25 0 然南子に 证 11 鼎 歌 9 24 3 24 2 水とい U 五 子们 0 大い人 54 命の日う、 B 林朝を U 置んでから青漱を耐 1 2 班 不是 闡 Z 0 る闘 f1 0 TI 多マリ 酒 8 * 然石 24 24 冰 7 五 色な白~して置 栎 黨 71 , 〉 日 干 9 21 7 4 71 延 で鬱光 高調の調 de 料 繡 24 ななな ユン

剩 歷 鵩 1 2 ンと FI 急鳴 能 28 鼠 Z 2 林石おたが火瀬の一当かわかは、この薬お必ず 76 PI 34 A q 9衢 0 \$ 2 ٩ 盤で 9 6 11. THE 2 0 54 # 船 判 水 智 2 FI 0 0 子 2 し習が B 27 0 P 7 記しい 嫩 署 X 0 2 24 0 2 # なくな 0 劉 P FI 20 疆。 0 練る B 247 继 54 間で 2 7 H 減 -111-薬 盏 1/4 W. 李 PI · 2 4 2 28 藏 Y CB 兼 21 2 鲁 調 不 XC 劉 1 0 0 9 4

9 11. 否 Y 别 t Ch 2 0 经路* 旗ご覧 盟 総 21 がい。 日煮る。 ユつ 2 中 2 國 0 U 0 通 アノンダ Z.Y B 闡 邱 71 1/ 東京なら 五三之 VY Y M 0 34 男子 五 ユー 風 # 目 ° 多株了 赤 問 N. 国 44 丟 空心の 24 21 本 71 V ~ :W: R 7 21 泽 1 M R 4 鳃 21 5 は制 少及 鷗 重 + いと多の多しいと X 7 1/ 0 0 マス N 24 窗 簱 計(24 III-班 7十五大全で替 Y 21 99 0 7 21 5 R 重 子型型 工工 36 淵 目 1/ 4 沢童水~黒 北 科 9.4 瓦方 9 出るとされ E 0 7 影響が 71 班 9 M. M. P 2 ないさ と取ってこ A 大いつから漸次 . 1 雄 海 2 U 94 0 服を 8 通色 \$ 22 th 029 7 いが近い 7 Z 21 例 PI 。公果 自でで 5 de S ひてない 三二ユーダ X 28 Vi 激 21 41 中 7 I 2 4 21 CA 21 主つ は常 F 9 Ý 21 :4 は間 愁 4 命等電腦の 更 重 0 R 薬 红 П 0 製色、 21 X 画 :4 607 PA 0 9 醫 2 74 0 U Cl 4> B 2 0 P 0 0 田 7 团 1 27 24 Y 6

骨髓な頭 7 食慾を逃 17 **満場の**公表なわす激える。 9 面色を限くし、 子 あらめる湖を んを開き、志を益し、下元を撤毀し、 「妹子還元代」人人〉別をパ为、 94 人しトして種下は常り人の今とい到り ---学血を補し、 採 4 つか 1:14 (A)

栎 9。 7 500 71 Y M 1 7 地 7 1 4/7 文 は多くは容然の たものであり が派がして、 R A Vi 21 いてつ器 ~题及 美 Sil. SIE 2 E 2 60 (0 6 して歌 本質の中の名とは動物であるなる最小 派 V. 别 シフ 2 9 54 21 34 Car ~ 11 SP 盡を發し、毒を網する功力を取り 山山 水 4 がな 肌市る人 24 24 亚 到 ? 0 21 [1] 2 B 9 T&8794 心やはし色は影響 現物 トレア血を歩いす。 D SA Mily 城の下面の株石もこれと 0 河水 虚命 1/1 X ないと FI Y 21 21 0 水災総 田 豐 繁な嫌えところから、 お土お カ人をして協致と XC 4 その気は鑑り返る。 24 21 の制 の以場は の中級 71 派派 2 FI の神及 計計 里 通河 のなべ 淵 · 2 9 火を踏し、 沙 2 26 11 1 はを見ると しく眼す 近れを薪りて放業 21 沙沙 2 2 流 2 0 21 54 000 C 21 杂 0 てく数な動 7 CA 24 n 4 がいる。 图 からろん V ME 2 人育新 郊 影響 R 田さなら日 24 斑 24 * 不 0 0 02 Y B 54 B William. 9 版ご、 胄 8 8 9 戏型 2 7 9 94 39 24 P SP 0 2 2 21 里 6 王 2 7 温 2 11 R 0

9 阻 ユつ猿 小で熟り 桑県 18 Y 21 # 哪 7 なりと 尿室各 0 軍方 话 恵 汉 XE 淋

74 亚 型 79 7-4 79 21 城室で式子 协產 SA CA 9 28 41 母の腎を削した被正錢、 姚 们 まなし、 0 R 沙之 4 50 174 P 2 冰 21 Y 間香香 百 沧 及北 0 向んで黄鷺 **席香二雞瓦**位, **南産い男見を産んた** 四21 H ンくな 島金珠ア 近錢 7 别凡 41 した部 N. 一班 21 75 一つつか 則不法 秋氷 金管され を対ける。 0 2 シー 1 +2 24 1

あるは S. P. 老妻世世 天邱玄巫公 7 株米厚磁皮】 元剔を固っし、 衛骨を排び

す。(葉石林小雲経 别 酒で

9

置んで

回觸爭

さ入れて下

17

XC

孫

9

淵

五石を大海に

170

洲

Y

书

赖

뒿

6

318

.2

鼠

温

21

いるなら

い、半

三十二

7

21

75

0 X

士

間林

膏で

墨

ユー

21

9

土の上の難して火蒜を去

固密しア頂火アと豊添養のア東出し、

i

Y

24.7

事が

Ŧ

ff

2

0

班

2

11

ナント

9

阻

ユフフな

滫

R

0

冷

54

0

14

21

de de

0

が流

1

邓

2

恩

2

五

2

なくな

:4

臭源

ンくな

7

双.

體地

2

Yz

XC

滁

54

五

4

SP

思及

莚

20

干

R

學

2

0

9

(A)

X

原源

() 斷

Y

71

ルマつ業

でるも神

Dell.

2

田道

7215

de

臺

ユつ

酥

2

雷

0

雷

不

0

がい

正年工

fel

7

21

子大の十十八

鼎

27

張膏で雨

して未びし、

印

>

4

0

9

21 高 何 ユフ 網研 1 21 5 の王壽る田 2,5 回蝦 ときお近い 18 9 W 7 の薬 24 7 B

竹林少德 A 21 12 0 體 世 5 6 14 de 田 0 £1 計 霊 0 到 UYZ मि ユつ 21 ユてなて独 那然 Di P 2 州 7 回繰 菲 1 21 かく数 国コム 鯏 個 皇談 7 2 21 郷 개유 7掉 9 かって 9 漩 煮 趣 P 2 2 固層して 世 9 思及 U 過して一 Y 31 逐 21 9千 쁾 2 對 林 ユー 必念に入れ ンハ 2 华 源思 常 新を帯 えり 2 6 十餘一 测 9 たとき上め、 智麗 12 ふい 邓 汛 24 Y 恩 长 A 57/ + 影 C 7 湯 21 颠 濃 [3] 蜀 2 1 2 4 自色 見 7 0 恩 學 21

及 R 2 别 IIIL 0 16 UK 9 ない 44 2 00 C AC 227 日人しくして帰満 6 2 .1 0 訓林 6 F1 AF R 21 XX 别机 14/7 X X X 多素 R 200 21 叶 V W 14 抗薬で、 0 到 0 14 21 7 14 000 4 57 9 種の 2 TE 題心越。 は悪り 这面(0) # 制 河で 21 果 やおらこれを服して平安を 颏 1 别 U 7.1 0 歌い。 は秋中 2 F 71 練 ある人お願を献ふず 減 别 H 6 留 H 4 なれて、 N. 21 U :4 CA なった。 (9) 割(2) 2 。のい田田 XC りる 2 0019 爽寒寒寒 が一派 0 道。 P 71 2 まる 21 2 ある人お 事をた。 . * 54 2 翻 0 तम () ひ子 R 到 1/ シ田田 6 汉 7 到21 池 4 4 格人と危篤り瀬 ムつ組みばる みな騒みる。 Z 9 0 實 44 運 鸓 いより意 71 풻 是 2 풻 1/1 0 麗 1/ (0 1/2 PI 2 71 0 4副 21 :4 24 平 24 XM 24 0 6 0

De

3

卫

調が 調が 秋石 独 到 間 瓊 R -2 樓 뭪 U 21 21 船 級 60 H 留. 重 来 圖 TAV 27 6 シみ 34 7 瓣 07 麗 别 0 1/ 0 果 ユフ 剛 到 Ty 混, 印表 制 **永**春二 2 B 9 21 2 料 6 75 C. 74 計 1/ 中 9 倒 0 9 酥 0 水器しなる東 が茶 2 黑 张 辯 21 MI 21 21 日 MI ア空心 67 里 草 IE 目 で目 間 XX 7 7 妆 4 TEU TEU f1 1 H 7 劉 妆 SE. 中 ·4 2 7 酥 75 7 EIIE 計 c IF 小型。 、野汁で 0 が 2 + 21 Y R 小面香 ユフ 高科 Ne 21 まま 70 き提 副辺で心脈 す。(水酸色は) スなって ない 2 75 童具、童女の緊脅ひして闘泳の来訴ならものはら、 間 思麗 歌步登 亦 0 しく歌さ [44] () 57 北香 次置各二 0 7 H 7 、新王 B 1 二十九いつな 'n 辯 别 2 0 0 待ち水 4. 副副副 で香で 冰 極思を重 H 2 别 XI 2 >4 ㈱ 2 料 9 科 回 7 (4) 綽 ンフ 0 57 111 Z 21 蓋で煮 蓮 8 则 斯 2 圖圖 2 2 級 忠 R. 0 21 7 A [44] 额 黑 圖 溢 M 0 6 国に対 74 R 21 湿 C. TK 科 ユつ 7 170 21 食物、 苏芬各国 彩 XC 75 北之 たときは乳汁を 24 料 왰 亦 士 2 亚 0 题 170 帮下大 44 ンつ 緊部なる海 派され # 团 0 2 34 里 耳 21 [44] 2 妆 なら fl 蒙 部 7/ SAR 自 5 旦 ユフ 飅 44 21 4 妆 妆 R 1/4 4 2 1 九家期一 酥 CP 76 [II] 21 2 0 る治する 裏肉で 習る 21 7掉 見 2 田 5 金ず de 75 R Z 7 9 2 淮 0 业业 班 0 2 0 24 及り B I 重 21 4 排 巡 6 2 1 不 燓 末 于 PI FI 0 0

H 阿 きを 正十次でいる人

登器

か別す。

(コ激動) ユつ 季売からまるを発生を発生 王ン 21 0 更総子を砂 流 自 黄 9 白苏苓正錢, 94 る副 9 強して膏林とな 臨無 [4A] 721 林石、 秋石 74 のを治す。 青を子し、帯が 0 部下大 総ができる。 B 0 当 蜀氣水上 米 7 445 21 石丸 兩と末 de 0 果 拯 自我を言う 鼎 重 4

1/4 型 型 2 CA 7 R 倒 张 1/2 2 # 21 A 型 Vi シャ 重 ユフ 5 먭 21 なって U -386 料 S. JIK de 113 A > 0 PI 0 から来 刮下 刊图 ir ik > 2 UE 28 N 劉 30 繊~苦~ 41 团 16 重 和 後た熱って 4 で場が 71 ユー 溪 、この年 N 9 FI かく気の CA tu) 班 和 はなら と 対野水を 数~し、 团 3 9 20 1/ 重 2 2 林氷 36 21 白〉見まるとき スつく多号節 24 T. 球を開プア林監 5 飅 ある。(郡丸頭良堂竪縄下、 0 その霊上が代戦したものお **劉蓋**う蓋し

こ R 脉石 電 が形か 明すれ 同縁返すとその色が 0 運 6 21 果 獅及丁 歌が化して 5 W f1 ないて 71 るる。 de 0 8 0 91 :4 王 0 0 Q 綝 CA v Y o CA 21 华国 艦せ 11 刹 2 924 9 刹 7-44 歌英グ 合い代 0 FI 0年最 水 補び入 里 やユフン de R 妆 B かした 0 箭 UK Z 2 0 7 秋石 水 8 2 0 0 乘 劉 靖 寅 滅 51 [II] 林して 死 は間 頎 R 16 2 0 24 不 M 間 2 0 Ŧ なり B 串 X 難 0 1 墨 . B 2 S 21 0

重 \$ U 所子となる 2 2 14 2 變異 F1 21 ME お旅の様が」とある。 \$ (D) 0 0 潤 剿 製を Ñ 雪 北したといえやらな 置伝みな新う石以外するお育 シュつ な歌場を訴 U 导 C S 14 う調 FI FR 2.調 28 业 7 114 0 IE 0 21 豐場 9 源 21 盐 心すると親とな 12 0 1.74 樹江 M 料 三湖 21 林 * 郊 部 寶 卫 9 てか (m) 沙地 * P 中黄 走 11% 5 21 第 温 米 卫 平 9 料 34 50 6 Y なるとび 0 27 28 ある智 0 , ~ 日 アとなっととこつ 料 蟹 制化變異し 9年割 心 (記 (記 水水 コルス 平 縣 92 雄 瓣 걜 训 0 28 級結 ×4 21 8 5 薬 星 1 28 0 PI 8 71 0 C

郊 H い配面病と名ける「職器」 U 6 别 2 0 到 XC R * 里 少 业食。 県 高調新 £ 出るものである」(大明) 「つな輩ューコ 圆 7 爾 20 题 21 和 经经 沙

B 7 2 54 14 0 7 望らな 里 冰 湿 2 21 6 して逐 乘 R 哪 刻火で崩壊 1/ 9 1/ 7 题 その江道 器 繆 精氣分為 鹵水を水を 0 Y 7 0 源 器 多學 型はなる 17 京本京 `> IE 日 OF ٤. 。却 2 0

34

坐

體

凹

画現な育いてなる、題を輸び入れて思いて少しいの用ある。

P

2

44

服するかが

とが自然で

して脳後に

丹藥を多り服

水水

「丹を現して鎔焼しなかの」ある人は、

6

All

割敷株 子文大豆黄黍の頭番か

×

いられて滅えた。しなし却は重な却のたが、

六十九。六十十八

7 21

煮寮肉与熱いア掛子大の皮

日う、これお下林患者の泉中はら出るもので、あれなを小石の今 それを取扱めて用るるのである。 源。 器。 なるのなれ 菲 5

王石幣よら池対縁し入る。 IE 数

步步 唯富 前 掌 亲 里

ることを強へられて強い激えた。その陰陽を称したのである。(王素明論法人)

| 球穴へ谷、御ýニア| (1) 風市へ風前し點,

遠深、中中として土へかん、ある道人がい風市が捜十批会することを遊 いる本心が指標の別す。(語をた) 「語文記の記念のは間にいるという。 ではなられば間形で別す。(語をた) 白帶下】真炼石玄裍末し、 光井 经增食的特别 織をたして赤 る。(磐大헮要) では 24 電力 21

織するところ、まその書 幼(1) されば、うなうを持ているはならなみのではない。一種に任極してまた自 2 取名國之又與口談上不至西國民家 えるして食愚 土人血と 白科砂などの蘇蘇の各種なつけてある。蓋しれなるものは貧血の輸出したもの (1) 源 出金をな対赤は白い變して上い界行となって出るの 0000 男見を童んが 小人面とか、 見なるものは私の信か いったも称意の 0 王泽 20 派 凡子薬コスパるコお、 命の日の時 P [H] 心的方 114 テルおみず秋人の利益か 0 諸種(94 心人画 これは造化を織の自然の 日經を反して見い置るなど、 って船見の營養となり、 文字打字出了班人省文介。 献长(瞬目) びれー、ちゃのである。 の者を記るなの 7 2 训 盐 思え 2 0 ·4 P q

引大(別議)麻谷 trb Jo

| 「空報を消し、空間を治す」(海金)

£

大事置かある。幼り科サア州が暗殺する

鷃

へ総称し

(二)大聯

U

×4

B

N.

6

21

第五十二卷 人部 問題 草 画

X

21

14

ユフ 人界 湛 (1) TO TO 杂 湿 小顺 0 :4 5 の手以及 24 21 14 21 21 M PI の母 21 2 ग 郑 28 绿 2.11 9 2 刹 :4 21 P :4 5/ :4 醫 が高 21 2 盥 後で FYIF い場川 國 R 昌 Y 0 0 接して記 X 4 Y ्रामा 7 JAX Y 圖 自 画 典 71 命とお訴事の登録で 0 2 四十歲 シャ 食が 须 · 邻 订 ス。屋 21 0 沧 12 盟 沧 陸省すべきか 一足事気 年二百二 被する な圏駅 9 を食 る。現 コーつい 蓝 走 んでは、 13.5000 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 13.500 | 1 卧 HI · 20 84 4 7 5 立 で真 椰 Y 鴪 1 [11] 12 IT IT を見る 0 野を対んであた」といって 及 # せずしていい 鄉 宋 腦髓髓 育る 07 X 21 ユつ 9 趣 中で Tik, 21 0 7 狐 21 南東 21 記載してあ ---糠 14 别 脂~心脈を金 级 2 "著 :4 五字界之 0 9 P でる 9 = [6] Y I. 6 7 としままたしと 71 07 中 40 からで 9 LA 就 邱 7 21 0 2 94 247 王21 法 21 · 29 114 500 0 è 5 7 Y 減で 绿 计计 6 本 -`> 2 产 N 0 4 U 對 7 14 士 4.7. 28 21 FO 沧 昌 3 9 1 6 Y FI 21 不 别 N. o制 X 24 糠 插 FI 法 薬 温 34 4 Z 2 8

那

口

27

21

Y

7

34

41

Q

1

14

田

21

14

0

71

恶

(0)

哥

콒

9

71

de

P

2

猛

0

末

+1

CA

9

14

71

°

贞

24

74

:4

J.

鴪

不

湿

桂

0

Y

45

FI

0

82

21

뭷

Y

貢

沧

2

0

强

2

20

は多人食

四世

0

顶

多题

5 科码

御

活

FI

Y

災の

颽

2

は冷か

羽のな

34

0

到

0 はろろる 71 成る W 0 R 21 44 連なが ザン がか 1/1 14 0 FI 4.1 A 1 し水が際に入て 2 图到 41 · Al Vo Q **11日水となる。** 弦 E 2 お阿姑んと 累 14 1 34 然時宜 けて動力は生するの 五多元 から置い 了 しく、上いは気料となる、 0004 24 0 2 中學及目 一会な可 鄙 21 界外於口 驯 çq, R 2 酮 Y 7 o 2 V . ~ 日 灏 OX 00 浮咖 2 。病 of 北 渊 2 T

人玄置色 百數 表表 24 Cl 2 明え 24 6 21 平海 ζ de 一次 > 0 - 116 2 小體和 ·A は年ま うつつ 張蒼 21 鑰 選の 灏 旦 21 , ~ 日 始 0 24 别 汉法 田 Y 發 21 忠

高品

纖 剖 进 Pl 0 毛髪を潤ほす。 -17 28 刊 あるからまするが肺炎にある」(明治)【番泉を味を 裏類行と合かと明する水肺炎にある」(明治)【番泉を味を 以 歌下。(1)醫 £ 09 カツを扱うし、 ア死を名え 歌 大明日〉, 赤癬 ・一つ場では極適 İ 「つな撃 祝馨ならしる ユフ 「原を金し、 21 立 コージョ さ上める 【大朋) 瓣 (編恭) 一十 HE TI ユースイ 21 内を去る は一種 9 利 6 渊 U 7 涿 ス。筆 暴 41 訓 鄙。

th

目

0

倒

21

課點 狱 サインサ 鍬 凰 級 4 ° 4 2

B

9

1/

"别

高んで

0

B

24

西の黄赤

郡色をのを取るはまし。

ユートロ

では

0

7

计从

3

る。

北京

活

S III

21

中

經

14

CA

9 \$4

FI

れる用るて

C. S. A. 5. 24

O RETE

114

0

验

0

2

OP

2

0

82

14

望

1

Top.

꽌

2

なって

して形物の前

印寫

PI

A

がが

UK Z

:4

H

1/

及

14

脚面等会を呼らし、整路で替いて塗る。 独を腕人中出手選は数刀向人ものか、その玄 びは見し、「午金」【まるゆる蟲は耳以入りなるとき】人降多部とかり前さび 熟古いなると劉治年を聞いられ なが人屋竹一代玄角&別立入习滅える。(金割要細) 【中· 八字。 のかの】人屋行か隣を味して瀬れる。 「和別に生じた歌」 「独をかん中の毒」 肺效はある。(新芝) 出た。(千金代) 0 0 绿 ZY Y がか H 2 FI

田

【葉中の質

憲領室へかとシ 日入竹井。云口 CID

流及腦

[陈生見の坦路] 人路二合,《S數額當心量,

1

る。

湖田

かいかの」人序四合、

一見の風

事

く。(聖恵市)

H

27

煮炒

対味す。(陸暦子恵置氏)

24

6

别

4 21

古殿盤十文を腿器中で割って動

は野野産産を

须

日び渡回温ける。

`~

職 遊 製 の 旗 31 し 7 瀬 3 領

业

A

H

して別もの、第五は)「尹晉不語」人序、か熟各二合な監別するの(静を) 【月鰥不顧】

J人降三合き対ひ。(F金t) 【別烧赤重】人降半合,

凱

調の

別全す。(隠腎下裏截下)

2~

中電を米は対と人なり連

び前郷し、

年る不到

14

田にはは

と面 野る 東營正 宜 地へし。 スの課題の 邱丰 U 合、人序书五合を財味しア鞆り、主祚ア书玄録り、劉朝幻心しでの與ヘア現を与る。 酥 のオユフ 0 損 R 2 6 美暦半代は 公市 電 Y 雷 44 たが白網を少しい 三年の **葱火土**代, まり、まを述し重い還しア天 11 漆 + 7 쨒 息 别 角盒您飯 薬 20 27 源 妖色 和中 F1 21 「本づ言語不踏のもの」人降半合、 M P 制 果子、婦人の家血寒感、 C る一次が変 2 木香末二会き入り下鵬にして 舌球な顕顕するもの 動賦不種, 田 これは人を以て人を献するの 0 加トにして軸を思えるのだ。 7/4 | 9 6 C 别 H チマー 手, 鬼刻部, 2 日五更け 升を館 型 風 事 三個 とのもららくまくて い。(羅主衆被氏)【中風不語】 鲥 部一 (O) 言語がある。 い了養人。(重蘭た) 【 動財風来】新命代 るない種とれ 青晨び 北海 事 **身八しア谿語するものが。(^響惠古)** () なるの類 004 無病 關香末心 0 4 51 中風不語、 震命を延 香 見い赤っなら、 21 Y 即以及 नी 21 事 **松**玩 器上 14 42 學 人界二盃 X まじ 界を入れ 察 0 0 韶を治す。 題 糠 文明 82 97° 44 東に見れ 林 鄖 つら 中 治す A 21 21 う 中

(三) 重對へ飄捌 + 計 × 、 茨 逝 \ 7 = 7 - 7。

兩省の意識スートを独る

湿

训》

網」小家館、

「服客の

+ = =

褓

4

144

A

小

FI

丹田等し長れ舞闘する軸

邀邀い存る。

上、水郷で間

Y

問調

出す真

京館

Ŧ

U 8 2 28 C 君子子 2 N :4 0 21 P Y 3994 2 0 2 94 P 磢 2 鋫 題為27 生子 R प्तम 羽 不 悪液で ENE Y 一部に 0 PI XIE 排 な圏へ開 Y 21 9 いい 雠 测 21 H R 田 14 Y 54 証 で太下 部 品合品 , ~ 日 はその 20 E O 0411 U Z 県 剩 及 0211 Hu 薤 颜 源え ijij

台 延 R 4 5 0 7 の三十 型 8 。公里 CA 0 部 大識ゴノア天災 は離えるは 証常かよる 9 2 河市 帰船と 1/ 41 1/ X CID FI なる場所には、 異常で 77 1-R 0 R CF TH LK 7. 5 留心が 重 発き機して製す。 拉紫 1 9 で愛我したといえやうに、 かは 蓝点 2 11六十 縮ア二 里、 21 少 到了了公里 (2 P 54 4 2 2 なり 12 「影響」 1 :4 は整部と £ 0 2 2 8 0 11 21](減器) 4 CA 高い調がある。 以 松村 河 当 · 2 P 20 24 放かある 不管 Į 2 雅 不見として収 1 女は十二 82 MI H 0 24 飯 2 Y 次及公 4 して赤赤して 9 學 黄の 0 (1) たるいま 7 14 天教で師めて派 IIJI 東河 8 CO CO で子が産 「金龍の R からからな 1 有餘 9 Y 21 4 蹇 逐 21 9154 で子を産 9 瀛 3/2 十十十 C III SI 果 华斯 FI 到 ひとともあ 7 コフフ は緑 立 十五五 0 0 Ŧ 部がきる 瓣 Se 30 シー 0 P 及の節 0 泉 21 黄 齊太 :4 27 26 灏 窗 和 쨄 Ą H 預 21 1/4 50 A HOLD TY + 主 Z 醫 嫂 5 沙 H 然 2/ FI 唱 Ŧ de 4 24 Y 料 :4 手 0 0

> CD.大鵬 = 用章セン CD. 大鵬 = 文字下 = 熱末勒 \ 三字 * ビデ 注字セン

000 11 早期 B St of は民郷ら 92 0 21 ク船で いる子も 41 彩 2 FI 24 믦 は一球 洲 2 から出血市の 益 婦人の 変な変なる されは避 :4 で、一生行らすして受留するものはある。これは霜壁といえものだ。 同行るるのかある。 なてて双言ない 。は、独安の目題用はている路球をれて対影・地心 年八一同行るものはある。 返自配し、 扛 返おり 変は窓び、 古人却るで 三个月37一 つ四四 一一 変ね光ご、 2 は厳行といえるのな。 独率となける。一 开 0 名名名者 24 54 2 21 0 伸 行る治常題であ 吓 た異常縁態の いれることは 21 る水である。 2 2 0000 なつ 4 000 生于 3 ·4 PI 54 21 7 CB 0 0

6 本が附 月經

TIJI

2

0

ap

女子は劉謙か

はの日へ

述

間

举

天祭

7

繡

OP

はなる。

1

題する。

21

は海に

7

にに

21

到

¥

その血は上は

。ともっまる行る

H

朝をおある

FI

21

顾

9

11

不

2 21

羽

。なのよるるはいのはいるとはいるとのなった。

0

とお天

天

避れ常であって常軸はあるといえ意味だ。

月頭といる。

月清,

水

一名のものみ Mensural discharge. さばり 出出 卧鸡 **都人**目水 (宋嘉 師)

0

第五十二卷 本草聯目人牆

計 须 W 7掉 FI 4 28 啡 0 2 T T 熨 置 2 及 2 2 0 。(孟鴉必效 しなるるなら 4 :3美 6 兄 f1 备 I 至 金がま 54 R 島 2 清新 重 -0 测 前 服す。(千金大) 頏 X あるの(城僧田 O1 Act 21 116 21 2 る。(千金九) T 22 ST OF 0 2 图 न X 與 0 2 圓 M 0 圓 0 重 于 P 瑟 温量 4 ユー Y 3 6 4 7 0 品 源 東 21 不小 ユー 6 咖 到 潮 噩 7 测 不 關 朗 别 酥 :4 とを酒で FI. Y R 器 掌 10 TX H 2 高級方 . 21 PI 鼠 * 練 + 2 21 巾爪 0 0 H c 掌 7 スコ FI 别 。高 改为 :4 Ξ 0 2 28 むず 2 603 Mis. 薬 窓 21 21 圃 21 4 0 水 B 6 to 2 2 21 0 (京神神)。中 学 砂熱す F さが A All 4 0 2 激色 0 % 0 H 70 2 00 7 XC 0 2. -0 熱色 显 f1 İ 2 4 0 發背 2. 銀い、 5 マコ Y X 到 Y 剛 镇 21 . 邓 都 不 徒 9 剩 2 21 ٩ 邋 里 R PI 歌 f 39 U X 12 \ +1 彩 4 Y 21 私 쨄 TY 鵬 經水 見 團 U 21 0 東原 CA H R 21 6 2 扩 10 回 験で 本が心血 2。(張華斯阿志) 4 口 P Y 重 那 别 H 0 7 A まる 神 业 置 水水 Y 0 H 6 コーフ 称 2 ある。(千金九) 7 7 All 94 24 逐 0 涵 して残り 記を予 21 * FI H B 7 2 7 18784 ~ 水 末 0 75 班 21 鰮 4 SP 39 2 24 2 9 H 8 不 59 雷 7 中中 熱 更 2 福 不 业 24 1/4 歌が歌 27 [# Y # 2 21 中 54 0 鐵 献 25 R 9 R 薬 淮 9 21 弧 印末 y 錢 温 華 34 利 0 H 21 Y の意思 惠沈 1 (型 B 留 中 21 2 · C. 0 21 Y Ŧ PI 歌 N 哪 82 [4] 狠 CA 電 7 Щ 21 A A A 到 熟 事 FI 2 :4

人 公司 :4 R 21 28 流了 谣 で一個一点 口 2 Y 智真篇にある首郷はいで 熱水 GI 54 即 07 54 2 2 9 到 CA U 狱 28 图 3 凯 -A-454 ユコー調 9 儒 採緩 2 14 9 2 歌 ° 粮 2 通 Dill 2/ 21 劉 いて未び II. 0 SIK いそろ 28 0 4 B 0 P OR Y 職等を源古と思って容 7 滅 2 71 THY 21 24 悪い、きっとである。 河水 71 丁 重 2 C 1 9 4 J' 赤なる熱 聲水 21 1 S ユフ 0 學 21 はいる。 彩 8 0 子 71 21 學点 合社 徳な 21 交链 H 短~ 11 [win 我前國 金華 2 過過12 が用水を R が超として活 月谿〇十 * ¥ 21 0 薬 36 彩 平 様るところがあ \$ 9 21 紫漱 FI 7 始 4 禄人 性智を根子、 「女祭黄郎」 るる 24 寅 31 54 のようなる意をあるない 0 薬 シント) いるいを信じ 别 岛 男子 . 死せんとするには、 できる。 人らなくなる大 [山 2 沤 重 W. 7 0 重 M W いること 29 21 34 不 「熱新祭 「等の母が発」 、つなっ すれれ気をある(Q間で) 平 XC 1 2 FI 恩人 洲 7 子がらなるのとのできるのであるのであるのである。 師 弧 54 0 E C Th 24 0 0 21 を含んで解して薬 8 3, Ŧ ユつ 2 場ら のさな Y (A) 4 12 82 Q M n 涨 0 2 0 4 >第 北部 77.7 自 7 2 0 0 で重 21 繊 かかり 晁 避ず 4 47 丰 71 4 ユフ .)_ 23 平 24 S H R 9 とが服 4 置みば 2 人と万 4 28 Y ___ 0 4/7 J 2 真金 21 X 2 0 2 21 tild 習え 2 溫 古中 数岁 科 FI X CA 2 B 事 74 0 21 Y 2

レエートの

*14-

图. 星

插 門イベ

袋

沿金 金 < 阿 與 飞 井 罪

末 うし 黑〉炒 出出した血脈を取ら TARRAD FO (1) 咖 证 森 六 4 119

Y 7 71 0550 びえ 7/ W f1 い間してはなられ。 .1 Q 0 400年 14 54 I CA 2 1/4 0 R 到 (1) 多(1) ×.4 8 21 報を受し、と者共行から責めるまで 感る~子孫次謝 0 14/1 0 R 21 本品本 対フル 2 41 ·公安公安公丁 Q 6 1.14 といれて 接助るお殿疎かはのア 人之之前 对 21 0 24 Y 7 Ý 血を増入了彫刻すといえわれどが、人の血お陳 なけれ 14 21 貓 损人 THE O & CA 21 ハフ FI 加加 21 7 15章 0 のそれが 狂大さ合する薬 愉哉者お 肉粒色数 はしとる 亚 24 2 , ~ 日 0 0 4 阊 0 940 EO. Y 2 34 7 C针 CA 21 W W 圖 8 II 0 感を P 精 0 H 2 洲 R 紫 M 븳 24 ないな 發 2 立 C 天 引 14 F1 H

、つ料 U C 7掉 FI :4 人コノンカ、肉 21 五大い辺割丁美騰しア 難サムとするもの 高いのが、 以 Į 「り学業ユー って陸着する 「瀬器) X 21 お思るもの、 士 7 鹹 MI 接げ 順し 规 21 干 る町 冰 有 B

ST. 14 ? :4 Th 藜 いと窓とば 34 800 A A B B B V # 2 0 記なる Y 21 Ŧ ; ¢ (1) 会議とア場 Ý ? 2 54 S CP 減ってはして白行とするは、 747 極で 能 () 電影などころ 27 71 14 , 元 7 FI Ry. 72 24 2 7 74 8

「機量の変

部

以際 21 行を受けて變化して赤くなり、翻査い行のと全長のその氏を及到を、これは血であ 2 0 PI 派は劉繇を既与为下添する。 蓋し人をの血お 2 0 事 B B 小家 U 中 い。 は刻 74 用となす · 200 水功亦強し、 派 X 71 1k る、命むと登録といる。血と家とお名を異びして職を同うするもので、 みな見いまし、ふい難し、刊い歳し、祖い市い下智い誠かするもので 火を以て 寒をれ対論し、火冷音をれ対はうなり、 9 9 5.1 IT. H 上で制い主いでもいる語し、 はきといび、断れるものは高といえ。営は刻ひ行り、高は別 U て圏 16 法 高谷日〉、血おやわら水の今らならのシ、 な水の お血い前なら」といえのであって、 豐 山北 ・「漢下以みがを懸置 。と王をそろとの選は四、り王 、つかる線線のイエー業業 焼すれが行う、原治 NE SIE 迷 黒っなり、 31 少 ネマ 9 24

Human blood. 出出 邱英 歌 計 W

1166

察治中独び入りと巡

抽

薬

6

月端みば熱いア末のし、一日三回、
市セムが耐
ア
肌
す
「刺繍器)

Z Y 21 ユー るかのさ 「筆」 21 数日 到 灣 【長、面の後離】人群一合玄青竹筒 J 2型 C フ火土 フ熱 を、 ※一。【而上の選子】人替か囂見自玄味して窒る。 数を加つ了山るる。(相当氏) 9 數一卷. 7 桂 を 1中器工 6 る。(千金次) 4 All 承けて 111

である。 る」(山景) 6 級を滅 H U 京都市の 以 Ŧ 「のな歌 馬火電い童る 【海経) つ非 半 Ì 沙 Ħ

過人多語 2 小小小 PI 14 和して不 0 丰 24 fi 独するは 之包 本 27 嗵 0 54 17 8 響 FI 0 0 FI 天然江 食野いして CA Ully Se X 否 制 ガ素へ 1 鑑を大名からなけらない。 FI 7 まに FI まれるの様にその 11/ SIE -24 3 U 9 12 2. 1 54 0 放然 帯を観え 非 0 本 2 到21 、江南大路、 動けば 21 は源 事 はたとしてある。 けるとはいけ 以影 群 一少以育心法 び経 PI CA とは、 情報を始ましる。 9 74 M 汉 缠 動け 021.0000 窓心が FI N までいる 子基子線 加大 対帯に長い 0 3/2 Y まに 16 かっているれる、多つも つ罪い 120 21平 童女と交配をしるとない 0公里 8 けばれば 生する。 家の主であ 母とのは多文は 2 28 ができる。 監が 2944 シつ 14 XC 嗵 がいる 71 引 21 .F1 0 脈 R 湖 24 :4 X 滥 0 2 P 1 2 74 服愈 60 7 71 A 54 71 继 渌 事 21 P 29 つ輪 龜島 现次 21 2 2

孙 石 16 營泉の弊は出して潜となって命門の業る。命門は禁血の 三州 2 中山 子ン 0 ¥ 00% 0 代六合以滿 ---して精が 21 测 , ~ 日 hrl 界子は二十 はの部 2 訓 0 並 P 2

ひとのせいえも 出出 邱英 前 罩 米

計計 2 firl ほし B CA 惠心 父の関中から血を取って胡れば落ちる。(子金む)【小見の歌目】経でき ける。水を高い。三日コノン野小落ちる、(千金) 2 1 五 上流す 憲)。上附及不切 ना 1 0 2 71 0 熟 取ってが水 TIII CA 27 94 2 Top で河流 £1 0 江村 ある。(災狂精鑑練録) T R FI 盟 (3)(3)(4)(5)(6)(7)(7)(8)(9) シフフ いか おおい 張の大いと CA G III 田安安 し血ながの場ができます。 9 21 M 21 7 派人 4 2 0 歌 、一切を可の強悪に異難【涯可な悪】 通加於東京 2 11 いとなるこれ 0 「金獸乃獻 THE 1 मं いまる PI 21 と言 闻 重 調へて調 6 C fl ---の名母之 調汁を取って 田 2 以下血を薬を、元い鶴 21 冰 6 なるながらいい 紙 别 14 月 2 Z 21 X 聊 法お大い では の電影の るながる A. 驷 涨 0 鄉 本人 77 「小鼠の赤河」 三分。 熟 02 服す。(千金) マリ 聖納 墨文光 FI 别 00 2 34 ない 縣 A 0 111 21 8 隼 鄙 0 2 0

> 4 五年十月。 登し器ト 3.000

Y 郭 7 21 A P 24 Y ? =4 2 0>> 深口 组 果 好色 H PI 迎 亚 9 sul, 11711 倾 28 24 :4 > 6 :4 . 宋7 2番で1 54 園 班 那 -[1] 画 P いって 24 回 Y 71 24 :4 57 ? 711 2 Y 淵 0 9 ルマン 罪 CA :周, \$ CP 哥 54 CF 5 挚 9 21 34 那 TI 21 14 几子江智 7 SP PI :4 標家な變化したもの 16 FI 4 指交流, 苜 則 シャ "则" 0宗武: 54 12 F 加 21 0 4 m 部 2 徐徐 N 、に業 间 鲁 麺 た常鵠い舌で 死 風 FI 7 R 次 54 制 る。 21 画 0 道よつく 21 (1) 事は人 と答 ZX. 淵 监 圃 五 54 X のさくを 歌ん 21 が記れ 画 12 V 够 o S 张 日 , > 日 PI 1/ 34 几个人公司 (1) 4 軍で目、 して習を 氯 U 「自会お篏 交通 CA A 请 2 0岩田 岩 21 P 9 21 訊 9 21 山 田 熱 ? ffi 4 -6 0 で歯を X 非 洪 9 瓔 0 發 ユつ 舌で ST I 部 CF 0 57H 凍 9 12

1 乎 ¥1 以及 21 圃 2000 5.数 A 延 瓣 及 14 曷 7 画 腿 21 ffi る目 県 X Ŧ 0 古る](報致) がする つな 準ユフ 3 21 21 SA. 9 21 R 翞 士 2 鄉 画 X 7 0 뒗 排 FI 「中」 CA 5 铝 た物言は 2 SIK 7 和 調る 石 沙 21 掌 重

411 2 6 Y 主 21 文 Ų, M. 9 IF 71 14 7 000 殛 71 71 20 21 2 验 0 1 瓣 Y 7 21 0 刊 Y T227 釶 孝 9 14 ? 2 画 鄉 FI 2 71 2 0 0 2 Y 9 0 6 Y 21 红 臘 21 :4 1111 0 11/2 受員 ゴユ 9 1/ U

0

孤

71

2

0

Y

21

9

9

1/

?

11

71

21 お四箋なのと、一箋お心尿を避り、一箋お習数を譲り、心深お舌下の流れ一下の木 火 49 47 2 人以就由 虫割は
計画す S 子の人の子下 0 7掉 またいる。というでは、 四21 響 る本 軍廠方 4 替家公常 71 FI 近連打連サどるいはんでといえのである。 ないない いらい。 骨の側は変数をとして骨水は上らなくなるところから、 2 帯原を財じて御献となり、 養家 骨がお舌下い流入して靈歎となる。黄家かねこれを金漿、 PICK 散してお事敬となる。 剩 画も 21 體泉 独 能~終日 結果となる。 金蘇(聯目) J. 間響する 、はらなるも睡くて 、りなつか っている人難に 輔水(聯目) 規置な一 は華 び意画な近画が成んで、 20 7 靈夜(剛目) 水冷靈珠 灌溉 寄し水 淮 q 34 泉らな 県る 꿰 いい、はまてる CA 풻 2 A "計 14 7 9 副 24 7 附 商色が 郊 FI なる Z, 2 000 9 冰

日本画(瞬目)昨年いれ、一年いれた

情多でお、 0 边 がを無くする。 福人の諸や玄融らひ 一合皆る懸 ○千金アお、 解生で のを変え 動日 用るでに の公園と マは月 **9** 斯 酒溫 の精汁を

菲

6 六細の事数おみな上の目の會 正觸 お刊の歌である。 孤 命の日~ 捌

なるだ。 A tear. 2 2 唯富 目 とき 到 驯

(珍珠)【さめし、祖子子は、一次人は一人なる人は一人なるれるになが、この語、一般」 一条なおけい 规

。となるのでいる。「一般を強く対行無し」といえのである。

31

0 2 24

源

外になっては行と

内の部のアは血となり、

子はかび出て、

から日本のは

潮

菲

らとのおせ Sweat. **咏** 漢 目 人称解

不 金で熱いこ業をひかのひま Typ る。(劉大融要) 順で 4 · 34 4個港つ日 型型 「対整了室の」(神経) 0 (基地) かなるもので 木の内以入りなるとき」 (金) が。(葉カ底柱 翻到を扱る」(雑称) が発 0 たる形型ではこと書る。 関れるお ŢŢ 7 2 H 。一緣 ひさ Z 陳 . भर्मा 强 4 2 は一 A 9 149 顶 斯 子

闣

12

张

7 盤

7 鹹

4年1 邱 英 前 罩 录 居近の切(キン)と発音する。 蓮 圞

名はうそ

U Z はしアーや国もい動け 6 21 主 ・りはい上級工兵箱を凝工了地 竣回繋ってから計甲が 「震薬の成業」。のと源と用り割りのない。と 塩まるで(千金九) 塗る。(場排醫大離要) 重で ムつい日一 衆人の一家 自己の種を照下び繋り、 21 9 る砂ツリン画のから 琅 量必署付下指交營方。 20 邓 る海 順新 0 # 为省~(银新古) [湖下疏凍] 口 哥 熱水で撲回手を形 21 9.1 7 未少 娜 9 'n 重を強ら満て、 子 滦 Y 张 4 9 る。 彻 子 2 Z 通 21 0

图

24

骅

1

2 思らっそれは變化の それを買って干機を得たといる。これ でしと答った。急びされを提へると化して羊になった。 297 75 て画 790 そこで大いい 92 2 28 哥 027924 不 画 21 滇 C と息お P 41 2 34 る 0 8 2

10

쌄 五 何是 T Ti: 21 X ¥ 2 28 互 3/ 113 71 f1 曲 16 1/2 12 R 0 7 9 系 1/ 禁 4 0 扣 7 9 2 71 21 亚 R P 日 7 口 21 0 并 A . 54 事 Sit. :4 21 打 :4 74 7 0 2 亚 T 业 54 中 11 芾 4 重重 +1 21 (F) 屯 2 緣 涨 340 0 B 逐 V 1 21 26 Ш 50% 0 21 事禁 Y 忠 三合シン 泽 X 451 -Y FI 0 75 . . TI 洲 14 1 湖流 2 W 4 0 2 00 逃 21 圖 YI 76 9 0 UF 71 0 7 辈 7 . 71 Y 1/ 24 2 1 28 8 . 9 21 71 爽 ? XM 9 0 0 5 Y 0 T OR IT 嫂 21 :4 資 ·4 P 2 制 2 10 到 21 4 7 2 R + 24 0 1/ 0 不 SP [m] 中 TY 2 智利 jik; :4 7 部 平 水 :4 -P-0 以 水沙 FI R 4 棚 X 24 不 74 <u>__</u> 沙 FI 7 Z R 及 田おって 树木 Y 21 1 14 71 21 學 郊 班 > 21 <u>C</u>. 即 岩 꽲 74 12 0 Y 82 渠 5.00 8 21 9 五 TI :4 0 Y 一般語 > TE. 逐 54 抓 R £ Th 0 21 0 呆 新 54 11 置 酥 21 0 壮 Q N P, F j 1/4 1/4 浓 2 21 2 2 0 英重 W 14 Sign 8 2 R F H 述 71 9 6 SP 2 到 14 4 L 派 16 随 21 CA U > 34 0 7 217 A Z 113 金で 2 2 2 PE E 74 派 Ting. 54 思 7 0 送して 7 0 0 量 2 R 1 7 2 競 9 7 士 W 2 X はだら 計 ます 田 CP 6 15 Y B 54 0 . 不 2 哥 2 现代 2 2 12 0 54 0 点傷 2 4 7 FX. 2 2 f1 6 2 :4 0 9 是公 当日 語る 19 別って \$ 惠 继 亚 7 重 P 7 Z FI 2 恶 瓢 ? R 制 R 2 7 椰 获 71 账 11kg 避 2 规 0 .) 21 -2 憲法 凯 蒜 54 1:kg X 狂 非 21 黑 2 71 2 6 솸 Y Z 0 14 4/7 7 中 例外 0 0 0 りる X 30 H 7 聞 賣 2 0 24 71 R 24 0 7 PI 型 36 79 21 前 21 14 2 2

> (1) 辑書幹主 上孙田〈眉間〉中丹田〈顧 下丹田〈剛 下丹田〈剛

1/

4

洲

該すけ割火は中ゴ第一、心の条は急しア鐗、

6

9

2

0

2 田

:4 湖

54

2

要

21 0

主が東

開け

慮して敬厳冷

京

、器を別

まれ 28 500 人おこの火び非 おこの火の非され対的を生すること語はす X プロな

真火お同 示刪 小家の河間、 林水 醫家の刑職、元禄、 O SI 。細 鱼 級

るる。「神珍」 75 1個

訓 PI 会館には、それを題す 一种育 X 人として一部路は耐透する。 .FI 28 P 7

ういのこか Breath.

麻漢

目

とと

県 Ŧ

W.

िर्देश

>

21中 人をして更正なこので 「下元の龜俗のお、日の童果女をして、一家都の本を嗣と孫を刺 ¥1 0/6 連連 0 骨簡(しるるは当か見し、小う人の複響、 A P

II: 4 + Cf. キ田 4 4 黨 京教と 4 4

智を生せしめる了「神多」 本草聯目人陪 緒け 54 2 规 4 000 ままま 沙 2 P

題を贈てします。以表慮に目のよる。

果してが

不多多人

。り学業つ

鹹

下南方

陽深

水冷剤を今らな

の丁場を 为宗瓢允

7> 師方 強を以为死ぬ。死以为節却天刀長も、動却此习劉さのかあ 9 21 71 TH 人血分 de 語らずる語 化してこの物となるのだ。 これは総形孝の面下ひるを機器のゆうなもので、 蓋し人却割、副〇二尿子受わア飛獸子合如し、 他は盤ちて出して自石となり、 現け判率引入るもの対は、ゆゆ騒はると照り入のアアスもの対。 次論して此以入り って数となら禁となるやらな陽系である。 と目光が RS PE その様が 点流 再び縁死者を出す。 · 今日 空 は のであって、 うなるとひても 圈 21 る事 쥀 TI 2 M 411 不不 び鑑 学習 0 9 2

ひとのたましひ Human spirit. * * 麻莱 目 機 M

7

融

即制の別

F は強でるび、これは音は我の密熱の憲法を内力策入といえことであって、常業 田しが等の私ないでいる歌舞中で 天年玄延八云玄令」とある。 呼到ちゆうな蛟鰮のありとうなことはな その数はならなものである。別や禁を職ち、 脈除を取るといえおこの法をいえのである。 位では、 なしる事が真なな · 24 2 (海岸) 龍人 :4 · C 36

謐

忠

71 震場 歌いれ 54 ひいって 「青おはの数である」 特制は , ~ 日 の紅 7

Human bones. 步步 麻爽

ひとのほれ 置 人骨合

「中の到除了汲せんとするもの」を人の到手を草び塞んで與へ了食わせけ 報人の劉手を対引熱いア消 おいとするとんせ 大瀬まる。(永臺郷要) (聖智縣統)

o J

水空館

54

会を売り

同間の記る

別

返り頭コ餘人して録ぎし、

OF OFFI

交替で

病後の一

剑尉易淑

※二。

4

栩

3.基 主被 【果子の割手お勉強の主後はある。ロガニ十刻を含んですを顧め知、 21 9 封理 馬馬斯 2 3 室を被 X2 XI 正淋 50 公子子 会手は一 0 子 福人の人の 11 21 逝 大いして帝で」「辛金古」 題の人もしめない 「議器」 「謝畜、 しア大豆大の たある](南近) 県 Ŧ 酥 2

よるべらな Hair of the sexual organ. 安安 麻爽 意 · 特 主 劉

别

水び響いア

願狂を気めるひむ。

が流

の変数ない

前題を安する。 以 す」「海谷」 Į

Beard, 2 7 邱爽 颜 器

21

いいているるとはいうので およびあるをほといれ、 等職 お 園屋の 製を見る。 いる日今間 3 いってはる 岁 盐 9

P

两域100

「熱き柄って離れる」「刺動」 以 £

醫師は「譬えを切って肌すれ知山 ○○ ・ 割の李備な献んなとら、 Hu 發

に熱き、それを賜 対づ白樂天の結び 「麗ゞ頭 来の呂夷簡は熟入外とも、は宗皇 経、我を治す、しといったとらが。今、 別を経を膜って 與へ、 薬 ひ 金い自ら器を頭の下が れとせたので立ろび謝をた。 X 国い関え』といえ向はある。 、ころ 57 合わせて到は意る素わちろ」といわれ 太宗皇帝おろれる間 掣 21 34 E 人は 红 27 A ング 0 石 产 熱 别 N ? 21 2 帝は 薬 0 J. FI 9

景へむごく下くひげ。 こい語へ鼻下しむれ。

邮 뭬 盂 早 27 0 (5) 那大 その輪館に復 のは 背割コノンスコ な棚し、 郷して加 **)** A A なるとと語り 到勲宗プカ 圓 集るところである。 FI 证 0 Y ,) 日 OF 0针 AIA.

脳を指入。

75

71

34 適門の未 2 田次公平 34 24 ZL Y 啡 翠ス 大家でその名を強曲の利 身()量 34 0 多〇節 天 いろっての · 20 04 事 ¥ 2 FI 0 0 U N 2 14 54 `> FI 41 0 Ė 渊 B OHH CR 21 合は 一个

念日〉、これ知形人の頂骨の 頭廳骨骨 (目謝 心人蓋 (目總 腦蓋骨 7

0

0

11

B

しなならべ Bones of the human skull. 邱 英 寶 間 亲 X

游 骨玄财色, 山めること極めて悪汁。(井嘉静氏) 21 **大き売り熱っア末** 行では立して置う。立入り数はある。(智林重要) 死んだ童子の して含るの(海域輸出)「計選」 170 4一網双量 選び 训 界香二錢、 反画で を未び、 大口に末 阿 * 島 鲫 0 8 SP 0 て韓の孫 綤 千 54 惠 41 F 54 娅 1 别 0 人骨 37 熟 2 ~ 香瓜子 唱 贈 27 1 锋 2 显 熟

れた、新となるは。八しと肌をは幻虫をやおも見となる。(圏林事要)

4 でかった。

爴

824

所を受い

妆

Î

涨

4

彻

2

0

B

24

源

る。路

県

Ŧ

鱼

競

2

084

۷

0 Y

蜀

71

PI

薬

7

2

0

测

一世二年

7

7

0

54

悪き

がでかい

釜 2 了市方。

0

参み及びといん。

酒で漏離

B

お骨段なしといれか言へゆうび。 いある人却十代孝人、ちことかある。

『CD分替』人骨を割って未ゴノ、本心ゴ三鐘を断う肌を

.PI

28

原本が見る。 12 N 7 ランモス のとはてい

北 十長 ススいい + 114 * 安息香三位 京高語 当 7 技爷 2114 N 一旦避 二部の大 器 重 Til 交西 59 d ix 秦汝、 動 R 聚 TH Y 墨 21 需 到 柳枝 器让 YIV £ == X 思 肺 ° 验 乘 調香 T M 里 24 46 0 紫鼬を重び 54 21 170 B 11/2 電脈 宣各正を見ちの 74 Sus A. CP 聽蓋都 了 阇 H TE R 実がなる。 产州 SE. X 12 # -别 秋 4 79 便 瘀 2 羽伴 2 12 4 틺 平 21 显 2 頂瓦 青档 76 る末 0 显 哥 4 北流記記 亞 7 7 2 印 0 並 -M 11 110

71 で天天 2 24 21 6 3 my 28 P 6 9 14 0 言語とい 34 2 21 0 43 训 .1 B 14 21 影 9 E I 化之人 P 71 0 7 ~ 冰 2 34 6 41 Ц SP 34 (1) 7 7 54 0 54 8 24 R 0 र्गा 42 £1 54 1 0 年聚~青. P 21 铅 Q 14 R 别 71 川 0 4 :4 XX 4 かろろと 扩 8 個くまでもその 杂 0 場合なられ 電響の 0 4 記録 1/ :4 ンとま 24 县 9 Y 54 青 2 全然有識者の 21 赤 00 常能 影 調者としては 某 Y 及几 例外 2 1 禁 FI 石 病を治す FI 日 9 21 五次日 学園 须 巡 ? ? ? X PI 哥 de 多業 Ц 229 X 童 9449 1/4 FI 师 2 醬 % 2 '> CP C 0 P U 日 业 H 2 田 聊 2 0年 狱 :4 不 2 C颠 1/ 器 2 0 0 ALX. 2 B 4 8

狮

54

冰

驱

.F1

28

6

一県と出

骸林骨を

料

2

\$

2

0

2

SP

7

A

るを記して

郊

24

0

82

1

14

24

34

%

4

2

0

2 %

哥

9

1

14

×4

th

21

Y

27

重

2

7

釶

24 我してま 泉源であって、 FI II. d の年界で 主 11 天靈蓋 場上瀬日~ 鱼

競

るる『六郎》【心器の藤悪の床が見せる』(本草郷町) できいて用 酒 。年以及

裁山 酥 館で 5月 器 日 骨燕骨 1 田米 高品での動 果 班 ユつ Ė 五九 る端 0 9年華 ンハ 「训练、 熱 、 > 回 F1 (開章) 21 はの計 寒燥部ならもの 強い合せて用るる 「つな撃」つ 警撃で 21 士 75 。 9 鹹 V 71 de 別で 规 息源, 沙 ユフ

9 2 変は熱 .1 TO 54 は他 www.serstancomのである。 「動き器で新ってっている。」とある。 かの骨 :4 CR 赤っなら 华到 FI 息 のるとととるるの FI 方家で **** Ċ コント田 54 , ~ 日 阳铝 冒 北 0早 2 0.14 文 24 事, 7

3 動 不公安 OY 劉 71 21 \mathbf{Y}

の縁 Z 3 島 2 21 12 電洞 中 孙 0 240 7 Sich 80 2 6 避 ンド は割人 R. 张 79 别人(1) -1:K 0 20 出 景訊 -000 2 京器が 談 21 2 1 41 琳 坤雨 21 ユフ 割 7 調小調 H 39 7 翻 は薬 滙 9 ユ業 M 28 帮 なく古 12 片を拾 * 2 2 U 0 黒 Y 閣談と 21 制 中 * 立士

34 品本かあるの 憲蓋などの Y 太(5) いて出入する」といえ。 圖 では、 闡 P. 24 6 淑 圓

200

2

0

8

.1

あるほどほ

田及〇

8

24

濕關

了

, | | |

OW

○源

ffu

800 M

王王

10

人 副(計 歌) 味なら なな 楽な The placenta.

\$ Z 末习し、到海し公交職高、東玄旗の公水で新のフはら祖る。(隆谷氏知書堂氏) いア等代玄臘務間で味しア窓るの(越幣田集鰡氏) 27 田 别 靈 自 U 21 場で割り 盟 X FI 球勝西の小ちい球楽等代を入 墨 20 雷骨三錢, 歌 水
ア
ー
字
を

駅 圈 71 FI 60 7 R 子 4 りる百 緑島するひ 料 6 北で電 74 **継黄二金を入りる。** なされ + パン形で、(陸カ琳通は)【細密影臘】人頂骨な熟ら初のアニ銭、 hill て田に 晋 未し、 天靈蓋を歌って刑末し、 湍 4 7 21 M 脈 學以 頂殿 天靈蓋を耿い下研 ユつるめるマン す。(系五東数大) 「青ョア って長がず 天靈蓋と簡を用る、一 〇文本でおかけず ○あるおでは、 6 14 24 21 「不陪の帝都」 51 219 州 1 調す。 監察書き各地 绯 2 39 神效がある。 业 響 留代 「副康不食」 哥 三元が断ア 7 R 潮 6 「宣徹の 16 C 大豆、五、 がで 錢 からきる -9 る。(理恵市) of XC 2 白杰】 7 班 R せご 未 錢 Y ンク 米ない ンつ 51 地 及 -0 熟 觅 Mr 刹 2 小馬 张審 別 . ス電 21 沙 并 R 0 5 XX 2

が治療 34 贈 2 7 薬 百 9 語子 骨燕】 2 全河 半錢 2 21 子 X 2 旅人びその 見をは勝ち間を見る 72 減 2 2 U 0 P 25 回二日 ANG T 公当 974 9月21 [H] 光子 III 滁 2 禁料 ユー 不 28 2 1 小】。ころ選び日子はらなのなのなりなく置込る。る事をの可のそろう 五 0 團 黑 中市 8 哭 11% 2 专用 到 AIL TIL 士 24 0 末し、一 似 5 米 0 34 出法 天 う D 衆る民室はる意い高電な室内で輸紙 14.Y 21 (0) 纽 禄人、一切の 郎 FI Ti 环 证 0 21 前び青瓢 0 子子の まれる JE 2 2 末 意識と等化を研 流 はら南京の 千金式 後以惠 雨を一 £1 6 4/7 别机 清 者し間が いい回一ないる 除ラ人が六十丁 噩 G + 級日の説 關香 6 54 《骨蒸】 21 爽中の者、 1 器 ゆつなつ 9 0 Ξ 制本 三兩 M 評 腕か跡ん。 ある「(上高紫風仙氏) 【 塩 財 9 2 07 化之 煮取 2 る談 のながで FI は難合である。 1 こ前にあっ 代をプス競リ 水水 21 0 〇戦 京ではる子 の下後お白 ボシニ ボアニ ボ 七九八 島 SP 那 人頭 头 薬を贈合するいお、 W 2 世 ~ ア 前舗 3人 王 かれる。 古るのは 00 日二回 工 21 過 21 FI 水 点。 兴響 殿で 2 · PR (1) がっ 輸急式 2 自色 别 五 E 狹 - 721 0 od gy 並 A 07 旗 SP 21 **黎** 湍 明。 那 軍 بلِّه 0 21 帅 0 服な :4 スイス のマネツ A 阊 FI 82 2 74 14 X 體動 でなり 省 2~ 2 到 0 2 那 0 2 24 A 6 4 陳 54 Z

14.72 1/ 0 21 54 6 5 Q Cl 1/ 215424 9 H U 21 G 部 H 計は FI 21 三十 却 はあるが 94 明 2 自治してかられる 0 星な 2 記載され 旺 一致未知はその 21 東カの本草 74 1 造水 W TI Ti: X 人剛 狱太 0 24 新 6 · 日 34 0 T. 28 O SI 郢 E 511 0割 7 9

74 骨葉の薬を出とすべきもの 21 冒 党薬薬と共 肿 2 28 2 が表現が素が 価するう 鮴 001 > 部 術血の薬を加 車で監禁を治するひは、 21 大 PI £ 21 FI 2位圖山 これと共に九 叫 紫河 は解除の薬を , **〈**日· て齎 の言っ 76 業化 通りて 21 Hi 源。 2 發 .)_ 34 强

3.面 EMS. 啷 不 して光窓たるもの いつ、つ世 極人の整題、 (器際)(はらな 2 は一部合して正規が 、重調等回 71 失志 1879時 適能で 帯を飾す「災無 21 以 0 婦人をして 極 今の子 Ŧ 银彩 副 酥 0 6 21 いているない。 1/4 X 7 华 嫝 4 います うつ 2 fyl6 黑 21 型 岩 で食 0 血を養い W 000 、一郷へ井」 頭 颠 コーコン 6 解で 心を接い 黒さる 2 de 规 世(中)由 0 0 野で改 泽 いつ場 1:15 0 是 三山 71

真な

7

料

21

SP

似

FI

0

\$ 50 pt

流

師する水最お以

21

たが蒸し熱いて薬

34

0

8

24

5

?

CA

994

FI

2

0

子

9

記るな

24

1sts

(1)鎖帽へ销き云下。

で熱 21 R B 点法: 0 0 24 H 4 30 0 ? 外了 26 互 8/2 2 3. 基 证业, Ce d 54 印 0 いったも下で流 H XC Y 五 > 長流 沙竹 Z 00 K 館で煮して煮いて 54 4 0 :4 24 末す 71 疎 F q HIE せを行れなかっ 21 のさって 歷 硤 716 班 ユースフ 21 0 利 邰 出で器等してか器 や学 FI 「今世間でお、 21 ¥1 6 資訊 X 2 南で煮て煮を駅すこともあり、 X 、てってて Q 9 壓 で熱 董邴お 事 置きる 2 田 * X 崇 不 0 なる場が。 車は 0 R 面で売って のとよろしまなのをなり B Pl 0 604 9 要 [II] 此 茶 71 24 X 9 界香 21 , > 日 0 All 1 :4 9 7 % マ子 R 3/2 C ○ 果 ○ 旅 i 重 P 田 C 2 文 なってる Z H 9 測 子 37 瓿 0 24 果 经 g. 16 7 2 N 54 凱 A 71 8 剩 ココ 確 学 21 9 FI M 9 訊 2

7 退元母(影 24 0 0 迷 74 MA 0 R X 74 FI 200 その色は てマツス 71 Y 21 I 1 鹏 可 -1.5 9 部 21 ZX Y 品亦太 3 1 平重 1115 21 **胚**治 R 5 继 [11] de 4 Z 目 水 2 21 0 刨 2 酥 2 紫河車 71 精 8 0 O 4 21 郊 Y 114 2 紫のものを見しとする」 0 国鄭 報る シャ **凯**玄(聯目) ではこれを構 0 21 o計 ○包 設まる表 2 ココ 仙人交 乘 tt % コマママ 邮 目 淳 9 54 不不不 總 画 1 9 器器 7 图 0 鲁 A 21 制 狂 添っ 剛 蠡 y 波波 E. 74 綠

るって 令 氘 E 别 \$ 0 0 2 LIY II 14 P1 :4 B R 29 草木の一 CP H 士 MI F. F. 8 U 21 U 41 2 III 6 ° 0 形を真 21 3 2 2 别 -131 54 * 7 P 别 U 0 。上學 部 孙 水水 2 8 石 V 0 在 X 0 0 . 後天 4 更 · St 黑 :4 超級として他の 21 . 2 0 g Q 狱 濉 0 # 7 101 P 0 끪 0 のアスト東巡 河 2 雪 為を受けるる 8 ている。 見 素命を 2 6 th 1/ 677 見 Q 2 競 { 0 サン Ÿ B 数 臣子てき重 20 0 ~~ 21 A 200 0 P 出るところは本い 印 は砂 站 2 でなす P 兴 Y 34 本 2 滅 予は毎にこれが こととい 21 剛 H 排 2 X SUNDAO のなる部 は ユー R 4 はっなくば 亦 0 母の春 車 B 21 0 J 瓤 红 天の家な [II] 7 ら自のそう 型 0 添 到 71 71 > 0 A , 〉日 F Z 景號 訓本 剛 2 30 7 14 24 5 q なれる 71 FI 4 。 段 。 統 21 44 真 買 罩 2 0 0 004 公坐 田家司 4 + 2 Hu 74 :4 5 -A-H 1/2 浏 2 P 71 17. ·4 大쁣 調 딮 がかり 7 -C. PA ~ ۹. £ 2 71 14 71 0 U 71 7 2 H 中 8 日 直 6

魯 7 0 2 6 in 75 THE STATE OF 0 W. > X 0 眯 j 學漢學 ユ学 班 .2. 日本 51% III 想 4 7 る。(永職後 贏 70 1 21 瀬 兩と末に 2 中 6 (京) (東京) All XC 自苏本学 長流 TIII! 臨場で Y Ce 部 兩 不 田 74 R 車 首 三五十九ら 人 發 [n); -0 92 [44 0 0 -1-迷 薬 ifi 12 111 間義, 罪 0 更 9 似 地 日 1 ユー 7 車 .2. 栩 [II] 淳 季 鹽 溢

2

713

多别机

9

71

といってなっとから

Y

2

0

P

2

0

R

0 排

1

71

利

薬

0

4

0

2

4 24

2

6

길별

慧

21

重

0

4

0 はそ

認明

07

0

200

2

0

B

9

U

9

寐滅 11 1/ 逐 到 U 24 24 :4 太子京 9 2 TE 7 FI 0 意い、きゅのか、彩~財め翼~樂いア聞も

対生れた限千は

具着である 7 が減 問題で AT S 素素をなるな 34 21 歌 X FILE 71 と必ず不太を食べ」 ひそり目でか FI 9 2 0 頂頂 温水 H 8 F 谜 禁を犯すれけの 2 いさてるれま 2 排 쁘 T T 洲 6 00 2 0 2 OF Œ 關 るや 2 歌 、つ脚る 掛行近の小見式が X 重 54 7 24 0 1 Z 兒 0 51 0 1 PI 24 P 25 かが指知の 開談ぶて 20 マママ 24 0 2 人子以之人 蟲鏈 47 匪 の場の 6 出齑 J 薬 自然の 漸 0 ا 0 2 4 21 まな田 酥 禁 :4 中 ら、人は人を食るのかはのア 財ンなるらうな。 岩 調する土地 Y Y 、おそこぞいって国 :4 on 到1 郡 ; FI 4 0 117 することではな 9 0 旅りたい人 FI 答談で 6 2 はれるとその見は顧 2 2 强。 71 様の 阿 9 21 ·K の見流 र्स 事 Y GD 班 44 印 療人と選为>の 4 U の公学了 イガン 71 人酸の 噩 嗣 ンハ 21 71 21 # 辈 21 響っ 4 劑 恶 寅 貪 7 111 34 X -110 21 :4 14 鳕 酥 21 粉 、深 规 Call 弘 21 器 21 粧 2 富 4 薬 0 Q 12 繋 繭 骨骨 J. TE 6 Ħ FI 2 洪 邮 薬 间 德〇 重 717 7 de 0 那 54 8 2 X FI FI 2

x + 大林へ類人イ 排 指 首 首 下。

型 别 + \$ CP nct SP PI Fiel 近 50 21 U W 0 及 24 并 9 0 24 0 票 \$ 1 U 步 ? 2 2 0 A 6 54 0 等種 24 4 2 4 82 巍 2 事 0 71 0 海ス 2 2~ 黄 水水 Y 21 24 0 6 2 B 0 2 P 新 f1 8 :4 \$ 9 出るやう 0 9 の公母 アプラ 7 とした III 2 ユー 54 0 6 P 文 ? 2 E 8 涮 21 2 Ti 2 \$ 7 75 9 車 54 丽 北 ~ 冒 7 沙潭 74 薬 [11] B 羽 R 1 ~ 0 nit 5大 7 24 0 息 川外 XL nit .1 0 ユース修 、つっ y :4 ? ユフ ユつ 不多 弧 車 7 2 7 4 本 乖 7 [11] ~ 0 0 以ア天 塞 21 劉 雪 1111 thill Y 頂 R 2 シャ 北 2 不 त्रात 4 24 国 82 0 F 21 倒 71 M U + 辯 2 0 ラれを限して家 0 £ ,茶茶, 談で 7 訊 75 8 米が Q 5.5 Y 剩 2 辈 2 FI SA 0 田 2 11 M Z 6 =# 7 De 88 2 21 110 2 21 と名け、 2 张 7 鮴 f1 .1 地 黄 と 共 4 0 0 7 别 R 早 2 14 獭 Y 續 0 0 マル 콒 71 > 調しアル :4 りとなく類を弱 000 弧缆 噩 題 サンと 0 9 7 XC 4 54 2 316 21 苖 2 まま 鮴 腦 邓 24 2 月 21 9 4 金 Ty P 54 割 颠 6 薬 7 2 いとなるの 劉 城湖 P 0 がて 24 7 规 なくな 54 C 孙 测 溗 Ξ 驱 71 0 2 藥 8 训 FI ユフ 0 21 闭 R 0 流じ、 走 5 部 来子 鸓 疆 H 黃 層 쥪 事, 目 表記は一次 ある路路のあ 4.4 つつ 54 Y .) 11 のそつな M 冬出 妙 3 Ŧ 霾 21 0 TI 剛 21 图 III 줿 1 21 21 Ŧ 彩 71 fiel W. 和 7 隮 7 2 11 34 1 7 憲 顽 21 黄 PI 6 2 X ユつ 7 0 9 亚 那 U 合合 14 71 关 R 规 7 6 8 16 R 21 果

21 뭬 なる書 [H 业 おそことは さんが 4 水仙 金なるの 2 HE 41 はるま 34 54. :4 똎 2.6 が能へ水を 鮴 额 2 CP. 已 田 71 R Ne 陽藥 い。 FI 墨 干 0 暑 1 0 かくな 間 业 0

¥. スマス III 3 7 2 g 2 弘 不 R 班 :4 孙 CA 0 2 27 H 2 20 1/ 0 28 0 ,苏芬、 R -网 3 75 14 圖 IIIL UM. 0 1/1/1 21 2 江 ful + R R 21 30 していまち 同煮ア 7 黄 34 R 器 [MM] [AN W. 4 (12) 基 17/11 贯 4 鑑 11 7 調品 R K R 7 9 点。 * 7 训 しなったし 莲 1/1/ 54 7 汗 張業之 16 372 TX 7 2 R 21 2 到打 71 副 鼠 र्गा 75 0 B 1111 市 7 天明天 21 子 28 0 w 2 緩 4 5/1 V 池 [44] ¥ R 5 额 大い製工工 38% 調 不 37 晋 到 7 FI 0 2 网 2 1/ 到 71 £ 过 M 硎 T FI 6 -2 21 规 田田 ユー 以經 シュフ 14 糊 21 1 里凯 末し、 117 ユー 2 米 Y 511 0 らんてい 45 部 0 0 21 16 班 急 急 7 歷 N U Y 爾 0 1/ 订 21 急 21 はじむして 野 21 Yz -6 夏 學 然 观 鼠 21 别 21 惠 题 显 制 显 料 좷 2. 证 No 71 9 2 鼠 黑 2 21 [II] 0 壶 0 子 U 此黄え膏 ギマ 極 71 0 浙 新瓦で 子不 え、思 Yz H 于 21 全でご 裲 \$ 9 臺 货 雠 2 ニュ なな Z 兩 黄 11 3 0 ユつ 水流 徽 台秀なご 子 Alt 2 用るず 0 /黎 2 -17 6 6 7 ス、翼ス 1 张 无 まら 7 别 21 75 です 54 21 部 21 2 74 0 14 - 陳 出 2. 黃 9 2 **%** 末 2 4 錢 批 源 2 \$ 0 2 毈 21 Y 國 2 酒 子 米 2 刘 21 54 0 9 8 .1 PI या 某 44 2 21 Cl X 414 R 子 交 2 1 8 5 2

盐

領息も母び敵 ってお利に回い重り 到21 母の題 品流 命蒂 4

The umb'lical cord. までのた 步步 味 爽 憲 計

兩生輸帶

天市

温

意志する等の

g

是整型,

頭上の無辜尉、

、〇やるも需奏、つ是政

できまるこ

「小鼠の丹蓮」

以

£

【しな話ししな話し、一字】

湘

逃

最が出る

一種を対け。

た。まではではなり立てい痰はある」(2番) 【又胃人味 コカー

かのである」(神経)

Placenta-water. 1450 th 25 25 麻爽 意 器 X 五 剛

登着なった

9

本サア水にな

P

これは本を此下コナ八年野

識器の

県

剩

歷

21

未識と精薬を味して制

京非

地では、

南方の記

て水のやうれなったものである。

0

三五年後の融ら出しア別のア薬のする

SP

面

こし

京 17-計 71 21 (熱面: 6 21 日 珊 とキマツ 日 肌を R 9 學學 2~ 部コア解末が研 A-34 盤とを療水で調 7 一口牌 酒で別す。(海中添 继 崠 20 刚太玄暴諱し、 未にし、一 Y 21 图 はないなが 調 シフ 米 麻畜技見の 導解 C. 74 5 + 2 4 Ŧ 0 ig st A FI 生でるるのと . 俳 12 砂を太いか 三章 39 2 ·鲍 0 で響か M 粉 34 27 首 體 流 迎 自 21 刨衣 75

が、自 子 U 「八歐夫 0 では、一次一の選し、 YZ B X 语子 识風各半兩 末 H 赤ね三 盤器、分島で、未丸東銀下) 2 山市 0 脚 * 30 自 全郷二十一箇を末りし、 さ芸流水中で 天職、 据色、 防畜の組本一具を見添木中ア那等してなら水で勢し、 21 美活: 5 de 邮本 0 冬は七日数して熱し強して木ひし、 训 6 あ番の ユフ 東を解治し 骃 清欄 館で 、国 FI 米ない 2 川島 湿 21 [11] 器 温動する 公平 SP 兩 FI म 本できる。 旦 2 21 6 0 7 7 1/ B 21 21 5 兩 中一 2 74 6 0 68 が"で自物子各 「劉子 2 田 日 X I F Ŧ 悉 7 显 :4 71 緑里 ユつ 源 剛 承 +1 常 0 一番できる 出 日 酥 學 9 2 4

R 能入澎沿 後出 ムノ間をない 2 強を訴んで半年間見ば此り立てなんのかは、 た。(諸語雑録) 0 1/ 21 者は 45 \$ S T

嫝 文 20 薬 :4 5 法であ 0 M 事 21 金額の 36 これお験器ははから数念の 000 20 覵 多》人劉书玄邓 用でるとかず期 で変 戦場中で・ っといろい 公里公司 北橋の 世へ は用るられな 回 , | | 827 W o 中 C 经 場合いはこれ はあるけ H 及び 發 54 R

いまず、 いま、 いず、 いず、 いず、 いず、 以源 以 £

「苦し、流いして毒あら」

和 沙

金割 (神经)

一意意 意

(計 訓

もそのとのおし、あのとのきも

The human gall.

麻爽

意

컜 る室へ宮所したが下しいます。

といるをはてる者はは、

はなき

S m

34

W

2

出して禄以壽を、断か肌をせると襲日ならずして激えた」とある。

ところは統血は掛しく、用を踏てる合はなかのかは、

ある人は、その切落した

2

6

温

144

21

21

この対は必ず心得いきことである。

コ下の下面口の合せはもの「海谷」

「歪歪」

県

Ŧ

「「林川の水生は、金を取した事件は霧既して、口を強いて自らその整を切ら落した。 7 盐

關大知類特級の這

1 14

71

2

部谷日〉、人の刻蓮お藤時

2

0

2

P

命の都で

は人の人は人の

到21

邓

2

9

2

から随い

里里

21

後は命門

る国に圏地のは別、この場に関める。

, \?'

FI

ね脅である。

规

氰

0

陋

2

0

P

:4

硎

、つ圏

21

H

4

題を出ると種帯な独り質がて、一部の真にな命門、

の母

识明

The human pinis. 出出 邱 英 目

人藝(麻

育者に 恋 日三十甲 急を称って一 ののと計 6 小鼠の豚 意思を強い 「神るない」 「翻下の対心的もの」落下した翻訳を除了要も、 【組幕の預解】 制。 【熱いア末ゴして滑肌をパ为熱を止める】(瀬器) 本身から頭下しい翻帯を対り割ら、野竹か鵬へ下 【彭風赤剔】陈尘小鼠の 調香一子、文章る。(全世小鑑) な人がる。(斜成大全) 錢 ある。(海上氏) 新三。 **葡萄の題末** 南ける」(神経) 曹 県 4 11 2 分 0221 Į 彻 न्त्र 独 錢 FI

強いて自己落ちる。瓜の帯は観らるやらなものか。 4/1 0 こい帰國へ組出へ <u>Y</u>

K Q + 計畫を著し 惠 12 8 O ci疆 24 發 测 2 21 U II. 子子 2 附され 平 603 q 、調力 0 2 盐 21 0 匪 T. いる 76 21 杂 郷 54 間 その窓を残ることに就ての立論をなさしるがとして罪し .7 到 。 2 3 ME 0 0 21 0 孔 翁 ¥! 本草 某 教育 14 第の はその倫を 21 部 1/ 飒 21 師 21 いてられ 0 の場響を頭間のえ 机鄉 東江 本草い頭しく言をなすべきのけはない」といってある。 朴 ンママ 第三21 如何以愈 醫東蘇器水 21 更则 報するこ されてそのがか 0 間 食を骨のそて骨を自 E. 꺈 21 54 父母おい 冊 塞し、 2 我する プママ ffil 添えなかの on 0 開京中、 極えた 4 21 放了毀傷をすといってある。 所を称した上は流罪が行び、 阊 大の多の大 54 24.00 皇帝の記 たるのおあつのであるちゃ 就 回り つ雑門でそってい 14:4 0 アハマ その事質はやはア太脈 千孫のその支體を劉鴻して、 果の醫能び M-SP ·[]-7 及倒 並 当 2 8 0 6 0 5 部 月 储 0 310 なると選手をと はな 子公母公 うなことは愚 27 る響う '> 4 14 著書の書んか、 ,一签以将还及以2量 Ė 割い 排 、ユレ器なっていま は高速である。 E O 0 さいを死る 0 54 中。 E 事を 14 300 2 :4 殺しアての 0 % V いる場と記 割 雷 、なンフ 10 [4] 副 21 o FI でその 棚 訊 と思わ Y 發 5 0 H ユフ 2 2 21 即 71

[熟決](瀬器)

県

王

のえば入事な盗難とるするとしかし。いならなはに害るこの田へし難くめれる臓

く (会 数) 麻 な ひとらコト 英 な The luman flesh.

窗り繋氷を盈り 証章勘な用のア朋をのいかはき警にコはる)【忠難で訴状の避及するもの】不気 (C) 军 75 觀香心量を入び、齏の突土予劉璋しア、一半の青きかのお塾を治し、一半の 女は古び解れる。 7 21 74 [垂中の八部] [豊食しアイらぬかの] 主人劉一二 0 豆大 暫勝で縁 男子は立び、 裏香等やを末びし、 直ちい縁まる。 雑ぎ 。るな郷い中夏とと選び 縣砂、 孫三、 人劉 FI 4 豊いま 21 眯 、ム製 柳 9 2 1/

3.2

74

酌切味して対ふか『人間を頂出りする薬

中

宝

544

といえるのもある。これは輝命中に続ける

°

子のなすことではな

人を録してその触を取り、

F1 21

見は 0 1 B 食する かれ 21 粉 採 XC 31 汉目 一口が見るこの国 承ねいまいるるものは白り、 2 0 一家の国である 三20是 風土 人も割を遠触び裏わり派を 二本名のころな同しものでおあるは、 頭いるるものは無く , ~ 日 FI 本。 。 。 。 。 は。一種 なって

大 民 (聯 目) 味 な しおゃらさも 英龗な Inhabitants of different localities

番り ZL. 折傷 8 墨 華 福 シンない 北北 + 12 74 R :4 3個不行 年七八 2 遗體 今られるの 中でもやはらきつ de 200 0 34 かるまり相鳴して朝艦の人の対の H 24 **韓株総び** 「こまで関い、 :47 2 21 2 54 0 辑 闞五汝靖雄人 14 **育会な跡**の 0 電12 M 7 21 お室廊ご 室を満てて骸を夢 14 婳 は数の 2 2 画出 39 またこれを電人とも利え」とある。 2 0 いて見るとい 4 1 關九級の :4 量を肌すると立ろい激をた。 , 子? せんと発願したもの 21 # 0 強するけ、 強のダ その部を開 :4 \$ W か否かお呼らな 用的 人なそれをおけて , 〉日 1 、殺ユム悪虫 発見して来生を教司 • o制 O包 14 少年 400 24 っていて CP 0000 抽 2 凾 旦 0 224 247 2 黨 P 淡湖 24 2 2 0 0

ここ天古國へ合しててさせず

こ、盆へ合、盆東。

木丁伊(聯目) 麻谷かいら 英名 A mummy.

·4 絵で 温。 2 1/ 21 [4] 2 鄉 0公年? 發 0 排 害うやう 表章で、と者の 五 置い霊い生き 結を城へる質前をへをない者が。 かずい 凝 H 變 産びる湯 闘する済動な 0 0 0 九城 ~ 75 ~ 孙 扣 とく帰 正を引 珈 0 天び神び斬び 21 图 がない。 独 UR FI X いたその上いは子を幾すといえやらなこといもなる。 いる。 る受けて静 0 既を割いたその上に 聖帝の風強い ることこれより送しきおない。自今はなる者のあった融合いお、 斯羊 湘 とい高く古の上の出てたるのか。岐向いを難しいことである。 7 图 金お雨 21 ? 赤はなり再して真響い計する。 表章で X 9 お、人肉

な食い

下

財

は

人

は

く

対

い

し

は

い

と

は

い

と

は

い

と

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

に

い

い

に

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い

い
 ことととはない日からい 24 21 、知論。となる『なれる中的と「なるなはてれ 当を育いい盗親のことが、 後世 34 4 か蒙らうといえゆうななり出了水るのわ 4040 その事を 、おてへ 21 は人間, 淵 11/1 『古來 子屬 の 表では 制 いてもあるとろ 陽 李 0 感のの 所を かからなる 下まれ 9 74 Y 2! TI FI 5

4 21 :4 西爾 FI てるのかる 兒 るできる。 外源 0 .1 4 54 て長く とてるる影 8 CP 7 -1 掌 21 太忠 量 Z, 源 71 る」(店舗되来 多 月 部及 0 0 9 製 P 卫 米 2 T 0 4 アところの野る 5 2-4 7 通 54 ところ 21 見が 71 主 月 8 計 等于 FI 0 TI 月 R Tik 流 0 * XC £ 華 111 0 ٩ 9 2 2

^

(1

isi

袱

1

壓

9

71 Y 0 F "群 は美、 Y G T (子) 眯 FI Y 0 Ŧ 课(X) TI Y 2 0 Ce Ŧ -1 井별 SE 36 间 士化 11 71 (記域 Y 0 Ŧ 9 酒 4

P

:4

事

シーフ

る議

71

见

0

杰

111

0

5

多はとててる

当

A

2

0

P

E

7

71

腿

班 4 富《 146 £ 12.1 111 涯 批 批 + E. 非 7/4 3/2 上 . 17 146 散 쨂 * 0 Y 4 7 4 瀬

11 2 4 £ °T. 郵 副 Ŧ < Ŧ 排 ~ 平干 ì 耶 Ē

+ (III 置 1 Ŧ 騨 小班子 (m)

克(别北 146 C. 京 or IHE 措 州 順 阱

景

11

奉

0

Y

07

神に調が

71

11/

0

2

9

\$

是

21

颈

71

泉

0

7

獵

)

71

분

0

され

错

一件

0

7

鲘

间周

71

逃

(0)

2

.

9

4

:4

本

21

큐

71

泉

5

源

南

71

是

0

まるさ

1990

被

(E)(

0

2

P

71

源

07

9

0

果

21

11-

71

泉

07

爲

は宮

是

5

71

京:

0

000

2

噩,

71

霾

0

Y

0

2

4

2

鉄

71

糧

0

Y

(0

2

那

影

71

逃

0

7

9

4

:4

变西

21

癫

FI

泉

0

2

W

知

FI

분

0

71

116

· ocub能

同じっな

承方

個

0

E

沙

21

超

不

福

画

泉谷

XC

高いる様で

111

76

7

9

P

:4

斓

21

走

FI

派

0 7

88

音商

はその

雅 雅

0

温である。

71

糧

0

Y

07

網

1

4

21

麵

71

その見

凯河

분

はその

徐州

0

000

まで、

FI

温

0

Y

5

が表

71

源

0

6

(0

【『はない計画をい

200

は継で

糧

(O)

07

低低

制

71

溗

0

2

9

\$

4 菜 H 446 談 146 # 뎄 清 2/4 E 肾

? fl 華食 0 0 ○西九は 71 쏇 茶 嬦 Z まれた。 来翻である。 楽間) Q S W 間 M 11.6 11 71 0 は多く X 迅 74 8 観らど皆 の減 紫紫 非 し、その見は 隔を著け、 21 4 昌溫 第で 2 9 2 その病 9 >經 \$ 71 王 0 とでは :4 21 do X P 9 靈 独 54 8 6 その日お魚を食い を書けずして 2 干 ٥, ١ 行す 卧 冒 薬 寅 XC 19 搬上にして凝 0 色流赤 歌 0 9 掌 出 地下~, で選せた、その味れると、選挙であって、その合い宜もお墓に 里 P 進 21 71 ユつ 王 21 然然 美食と蒸草の 2 生じ、その治い宜き 子 理験はことで 德 到 剛圖 醫診の 理 0 その日おか 41 湖 事 泉いる 71 〇中央は 一學〇 71 自 0 且 、コンは 服とで 人民 9 0 7 膏粱の紫膏 FI 7 お散帯は多り、 ° 掰 de 5 20 2 その治り宜らは微髄である。 地で の美 th コイマ お念様であ んで棚を食 21 21 0 H は讃い。 3、18 P 未 〇麗単 \$ 倒 語で CA 개부 FI 2 U ·4 P 7 P 諫 14 土が剛 郷 をを書 y 寒~氷 计 :4 菲 21 75宜色 0 5 21 その病 蓝 21 8 X 京場の 26 獄 業 月 いいいか X 4 X 見ねは 回 0 2 画 寅 PI U PI Cl がら 7 一多画 . 21 32 U 2 60 7 U 9 三月 9 選 U 2 濱 Z まじ、 4 3 2 H 証 000 21 歌。 こととろる 了口里 式お海 :4 21 國 ユて~ 黄甸 54 營養 干 黨 9 렒 及 '> 速がいる。 寒で満、 財 X 2 2 東 東で 7 地高 0 負 21

H

道藏 7 料 1/ 辯 0 24 7 2 备 0 FI 运 170 9 調亭 日は女となり 話 71 非 H. 0 54 至 .Fl 21 de 24 旗 い、 6 41 米 28 2 かを登り 送~つ 3 9 悉 古の観を主として立論 蒋 347 -1.5 咖 0 7 De -0 林盛れ である ¥ 7 367 からし、二日お果 9 7 54 鲁 兴 坐 71 6 7 4 1 徘 T 7F 賦 2 7 アタなる子 正の日は思となり、二、 (K) 品。 (K) 品。 (K) 貅 [1] 嗵 1 0 0 7 排 7 型 帯決で至って血を悪る対女を主 2 Z 事 平 他へするところである。 アなくなくほこ il. 精 4 は高利用 6 領 0 4 Y U 資け 聖濟 21 品 11 は蓋 03 ないるいる .77 71 間 2 謝と血と強化する 祭界 7 Ξ 21 是不是 が新 弧 の父母? 华樂 劑 _ 28 盂 . 狱 iji L 2 意見 0 シャ 僱 町 12 ___ 圖 果ね 毕 東 2 0 2 、分甲を 7 1/ ना 4 2 ユフマ 、日本子母 74 水 李 0 0 -劉 71 ¥ 2 町 服を非 İ 71 票 品 東 M 21 __ 重 PI 7 源 21 邮 劉 FI 9 4 P 0 留 쥎 選 4 21 P 9 0 71 Z 非 滅 IE IE 9

(五) 權制人變主民。(长) 品間人三》子。

きところで 2 0 ? 200 쀖 0 21 干 爲 0 0 那 单 . 427 ランフ E 鄉 2 114 174 21 * 0 썖 即 0 1 पाम E E 黨 播 q R 71 剧 de Y 71 21

狎

24

2

2

0

\$

:4

0

8

京田

21

19

0

H

はは

21

71

剩

0

Y

0

8

2

0

8

1/

5000

生子

2

5

2

0

247

酥

びないる

2

0

P

根と子とお

31条

:4

P P

2

1

FI

Ŧ

24

京軍

21

71 = 146 冰 36 流脈は二川三大 青州は二男二女。 | 「一世二女。 は 所は 二月正女。

翼刑は正 歌いお三男二七つ。 男三女。 繋州は二 限三女。 clo) 特別与二男三女。 女」「伝域な問職にある

水族も繋後〉、風族も躓後〉、林族もいい鎌後〉、木族もいの副後〉、 石族も氏 多那 野家打立多 中土お聖費 憲派おこ 重土は 下添わく…ご動き / 倒添り懸念 / 谷添わ草を / 江添わびき / びを以下測する。 姑り山原 は果を)、 2年11年多~ 題水ゴ人重 つつ 断水お音大名>---(端水却人) 寒原お壽後)、 暑涼却天きり、 【土地引人の生をるいは、各" 多し】「温雄力新南斯照踊コある) 國族お貪多〉、 お音小さう 水 崇 ~~ ~ .> `>

目 總 公同の切(サマイ)と避音する。経異とある。 剛

此開闢

¥

低

5

带命

15/1

マ天部・

弘和別

(三) 困醫(三) 4

Extriraordinary human おやしもけお being. 古 器 名 名

木の協 マダイ笛ふてる 車 57 6 女は熱な構へアラのゆの自らかし担他をゆらいま 一家は人き出ゴア の影響の記述 李制谷日〉、こ太時の割3天 黑 944

4 為 順減。 则 剛 F

V

放と 5 0 2 为 De 28 74 21 24 00 5 41 \$ 学了 P 0 B 2 (0 经"。 鼓 0 0 談 8 なく の問題の 21 0 张 古外 排 14 14 至 3/2 2 は類か 5 A 0 de 4 \$ CP 0 0 P 74 潘 7 华城 鼓 4 贈北 9 \$ 9 やらな P 率小の、 54 五年 4/7 2 とは何の 即ら置い 那 0 沙洲 7 沿沿 71 In . W 0 0 B 2 测 0 代数数数 P 000 2 2 2 1/ 0 13 x1 :4 82 2 發 24 华之 まるない。 鄰 FI 54

9~~ 2,0 44 4 太平 X :4 5獅 24 新 Y 及神をさなる FI 0 9 54 0 正不女とは、 "主" P 54 54 41 12 て論じ 是是 24 温み 2 事/ 縁の一般 3 f1 R 訓 UK 一人三千 羽 Itl A Y Z 1 34 71 JAY. 继 なたるととが いかと思える は諸 16 去 别 21 開 は非 71 事 0 0 間 17 Ш 21 Y SP 0 ٿ 會 2 事 113 7 牆 湿 不 亚 图 おるな 果ね 报 F FI 2 0 のお問題が。 7 KI 测 不 28 間 FI 及 2 非 0 1 (1) のでは 2 訓 XE 全然を 種の . 洲 班 E 头 :4 2 54 Œ 测 0 12 5 8 C 識 ことが不可能である 河 0 2 0 4 2 ユフ 5 叶 24 理であるが 縱 7 母 71 0 0 おるされ E 2 思 测 _ P 26 当 q 71 0 シピママ 2 业 酒 21 畿流い \$ 玩 2 .Fl 母とするは常 "章 P 8 0 2 测 P 7 :4 0 0 文年三 風する おおる 度で 天下 1 # 0 2 は劉蘇 7 胍 劉 71 쁿 PI Ш るが軒 뗈 到 B Y 71 SP 0 平非 71 4 14 事 いてはく . る王子な 非 趞 辦 不 源 es of 文年 狮 0 計 狱 9 酥 倒

(*) 甄出八雙間下十八五頭午六十五頭午六7

捜で論 春 ·421 (0 28 2 2 7 锯 子田 끪 辯 0 少く女 3 では Щ 41 21 受る話 丹谿の 7 ¥ 一個 化之 4 [H] る。日 予(部經)次 諡 0 21 \$ 50 S 79 2 114 重 日 黑 通の 01 71 24 TI 24 0 21日 聖經 明明 帯ち 介 Œ 瓣 11 2 2 且家 12 顶 0 やおも日嫂で論するかりいけんない B -東 '> = 2 34 系が自ら會 四千岁生人打多の 簫力の鑑ね十分行き国いかかのかある次 ° 道識。 無部 して一日い事な女子受留するといえ道野はあるらん。これお替み、 7 を完全とお 41 0 -4 XA, 0 146 石 加 番 職察して言 受邓九 20 女闘りの組なられ日嫂で論が高かられるらは、 、ママ職 9 ~第 21 图 弧 黑 넯 4 0 間 おってい 田田 間 2 2 李 是 Sign の大り 2 TI 測 古で論をされば財謝はあるの いて調べて見てる、一番に三子、 東 须 天 猫のやらなか 0 字字 凝 0 · f 哉るある。 9 H 24 随 察とお子宮の 71 澗 P ならと僧言も出来 曲 灏 21 B 华是 線部的 源 0 B といる語 六の日を女とするの tl, 、イマない顧問 7 0 3/4 社村 21 と呼り 雕 :4 とつてま がなる。西城西 後から 半數 27 2/ 北京 。故育し、 趣 0 8 盂 蛋 、平の屋子、子町で ンつ 940 弧 9 9 兴 7 2 歠 漁 14 五〇 17 雷 NA. 0 21 瓔 备 4 4 0 W z棒 8 2 5 F 21 料 企 퓵 8 中 0 70 シンソ 9 変響 ·4 東記 迷 71 0 21 精 0 8 21 0 字写 益意 調なる 省 800 點る 7 71 圆 于 2 7 4 正 2 2 0

THE 11/ 7 田子 Y 法調から三 インソ中 和 0 明 54 0 益 0 IE 彩 雪 <u>__</u> 21 길 迅

雄 9 14 5 4 9 걜 \$ 0 重 44 2 :4 2 邓 光 1 P 石 8 1/ 8 2 9 亚 4 P (11) 景 FI 11/1 :4 :4 FI [11] 2 Y 2 1 0 21 8 मिन 4 8 送 1/ 0 24 0 5 0 7 耳 E de 0 8 0 6 2 顶 人を生む 更 7 0 9 4 21 製物の F い書 7 ことは 21 けるととが 1 頭 重 54 过 所で ġ 44 おいの香酒の X. 非 1 る事 7 事 更 21 21 9 斓 背 士 54 쪫 腿 FI 到 門子 U 品 7 2 2 要写 4 H 0 21 44

71 71 7 + 28 71 + 7 21 2 业 鲆 21 个月で EH 昢 学 H 班 当4 71 雅 4 74 12 0 植 + XI :[3] 0 3 洲 11 0 0 美 0 ç 雕 14 1 0 7 圖 P T! 54 8 齊 2 FI 哥 2 71 1.19 6 21 0 0 出名之 基 湿 1 1 21 34 2/ 湖 弘 妆 71 A 事六个月か子を生ん 孝 21 > 洄 哥 戀 000 一十三〇 E 71 「黃帝の 「量・量・ St. 7 V 4004 2 0 。公学了 上んれ 71 \$ 月で生れる」とある。 21 54 戀 먣 71 0 75 山爪 8 7 2 して帝を生んだ」とある 8 n H 銀 0 6 事 2 = 28 0 藥 + 濉 7 R 班 。となる 『以ソ事 1 7 狮 2 FI H 2 草 班 H は成 1 71 ナイ Y 1 17/ :3 7 > 垩 半の意 0 鲆 出名 多職 經 政 -14 問題 班 8 FI では、またが、 2 21 21 0 28 0 Y ZL.Y 8 H H 通 C 嶽 8 2 4 Ŧ

2

28

おかさとうい思れ

f1

Q

公 玉

21

でで

V

21

5

中华

をユフ

帝 + 4 班 4 분. त्रम 400 < 火粉。 合 回 图 特 ムトニ (10)备 意 4

迦 脚 亦 0 = + べ置が 54 4 ¥ 弘 # 批 軍學派 黄 ¥

十二三月 屬 頭 21 回韓 諸 歌がっといって生んではいるののといっているとのでは母の はの 副 劉敬 は家園なといえば、 0 月で生れるも V 七月、 果 多河 :4 · 60 00 北事 P P 月で 54 2 0 正回 B 証 忠 2 24 :4 41194 2 事 U 2 7 H H 29 の上縁駅 H 七八八 黨 + + 21 H 0 「太別の 十个个 82 FI 2 21 FI 量 28 明 7 正 71 2 窗 21

映らど 忠 顶 71 15000 2 古外が天富といってものなられかある 503 中用 0294 of gray 2 · 20 9 学って 7 水園 团 おまれる治夫ひおまれのもの ユフ :4 继 20 あれ 21 せいかへか思いなるもの 大流とい 去難しかものア、でき人はラハアある。献とお謝寒 少 踊~な~ 女を無ねるもので、 、ユーマところとを事 ° 4 82 8 0 循 を聞れまれてアを用をなさの 21至 一〇かないいいは出 9 24 はとは、 黑 いっちゃりいならりに 江平川 とはその體が C S SP の当陽ないる 思い前へ" するるので 場をして 藝 · 29 2 音書づれ 爽 種もの 月は U. 天とは、 影 2 C 動とお、 9 1 <u>.</u> 0 自 = 21 盤で FI B 34 2 U

【正不限らお、天、類、鄙、当、縁かある】

(C) 告人へ宮中近街 (小日キトC。 ※当 コンキ宮番1トロー マヌウ 選 オートロー

2 王 0 21 級 H 16 21 省 迎 京 傾 行数五次 真〇 TO 阊 q 当了 0247 Ē 1/ 王 本 福を見て、それを風んで乗を生んだ。 0 1 があった 34 ある被 木下いお いなどを シフ 意〇 ユつくな 21 + の必果? 70 关 李 8 71 U 歪 上され C 0 米節 2 0 Y 82 經 正直 步 0 24 低 0 一美源, y 渝 0 吐 出 7 耳 って長さっ 2 21 1 0 길빌 含んで 宋 重 L___ FI

温 運 21 石 74 ユつ 2 411 21 21 测 FI かけで 男子 沙のそればる 000 いまる語として手を \$ 5 72 圏割ね気かどる水常野か 類の ひして見を査びるののあるお何始であららか。 0 n 7 2 90 思文は夫はらそしてなみ、 掀縱方 F.A. 女園でお自ら母み、 7 FI 智 孤 :4 お長者を 園に 2 い部 コつつ 男子 おあるの 李章 は 7 牆 まれ 肾藥 ·4 田 R S

7 鵬 湖 2 廽 607 0 47 随 :4 491 :4 曲 华星 H 7 2/ 2 2 0 7 いって 71 A 到 21 21 14 79 何 H 14 加 盟 먣 聯 学な THE 刃 Ö W 0 圃 その子の子 。となる しれり 塩水源スロ 洲 21 111 5 111 de 郷の -H 54 。よて合こと ところいろ 0 切 14 降慶五 第25 弹 は 脳 (1) 前 74 随 山(八) 71 2 HII Y 清章 U :4 7 學 0 是 gig シフ 歌 0 7 '> 21 411 196 劉 事 日 現 以 4 田 O E 2 中 4 の却 71

出 94 7 昌 はは イチ またてついば + Ξ 經 玛 FI Y 禄 \$ OF の影響し F1 21 山清 湯○

TY 飛 7 28 14 逐 出 > 重 田 層江 HAT でで 35 7 でもろうら 21 雅 雅 9 200 アのあ 4 14 21 0 口 X 去 0 制 0 M Y :4 間 00 アンマママ 2 F 1/ 歌 0 1 0 17 新水 TY \$ 41 247 基 P P 71 の調 0 . 子は別 羡 邗 上 2 4 7 4 21 7£ 0 71 理で :4 六計一次が 1/2 [19] 开避 54 747 守 21 擂 57 いくなるところは 0 0 7 遊 货 (D) 2 9 F) 0 節がそ X ガル 34 完腦 0 、华事 湉 ひいる質 4 . 75 SH 54 0 2 雅 0 4 0 。公學不 ٩ U 75 北京 息 de 、大年、 男見な 好して生れなかつ 立 省 即な 37 隼 21 いなといろしな R で下江かい 鲆 扩 0 0 假 まな 間 工行及日二十 7 即人 班 1 驱 「となって 黄 21 q 围 41 晉 哥 獄 54 の対上に 37 FI 京社 747 \$ 日日 Cl 21 生んで ン田 Cog :4 [H] 题 다 ユつて計り 1 Y S 雾 協から生れ ? その六人の午孫 O 高いない H 運 9 21 重いに登 0 は普 + 24 21 阊 の公母子 京 驯 河河 # 21 歌 全一等一条 子 哥 5 0 71 母子 71 業 0 24 学 0 場舎(P 正 哥 71 宣 :4 0 34 田 題 07 思 27 :4 江 Silt Ŧ £ 4 1 樊 9 0 讏 0 0 7 YH 合 7 B 4 9 蓮 111 71 0 小街 水水 三人を出 2/ 亚 54 歌 忠 1/ 果果 哪 0 :4 盡 5 围 27 宣 歌 0 21 2 71 de 李 7 FI 田 错 歌 0 2 庫 71 :4 24 0 0 7

见李 習靈 TH 3/8 量 9 2) 2511 2 TY Œ 打 21 20 0 0 洲 1,1 凯 717 TO 郊 4 B 汕 學 9 X 37 21 0 7 湯 子 1 1 少年 0 21 R 2 11 71 P : 4 T 些 21 11 1 ? 〇字 5 0 M 5 B 五 0 東東 2 54 54 平山 3/= 54 五 0 化して男子となっ 0 術んで P 郎 號 24 54 2 0 W. 0 11 111 747 21 V + 狱 7 21 一步 37 N 1 ٩ 「中国の一部の 70 3 :4 1 3 21 54 21 0 女子 년.II 到 H Y 0 1/ 76 郭萍 54 . 11 随 2 はんてる 21 步 0 ~ 步 辨 ffil 37 Y hil 21 21 = 是是 2 0 到 紙 --54 37 孟 7 0 , | | 7 Ŧ 2 R CE 退縮 雏 TE 2 C P o≨I 376 28 野 0 2 1 C計用 雅 重 FI y . 311 C 71 TF 3 2 FI 酮 清 21 21 0 贝 铝 54 21 Y 54

F 2 2 71 .1 54 男子 濲 21 Y 0 越る。精製 9 747 21 化して女子 :17 + 4 TE 男子流 0 緣市 0 專 71 淵 21 野雪 中 ◎響○ 1 T 大二七七万 0 。 247 「京帝(F1 21 0 34 女子子本 量 事る 制

ととは 71 Y 71 EI 抓 24 :4 71 16 24 Tiny 2 쵏 習問口にお 。2年7 0 CG H 東東 0 2 妆 器 五となる王 巡 赤 挪 987 749 54 풻 Y 0 别 PI 7 28 ·4 4 6 2 7 71 24 21 計計 6 :4 P P 54 :4 4 8 河 71 郭 9 2 ASTONOOP 71 子 Mu 247 R 温 羽 54 :4 A 届 Y ユフ ET X 坐 PI ~ 71 8 28 21 54 重 AME. 5

弘

21

24

6

4

CP

21

0

H

- 55%

70

る。

2

南

倒

2

衙

6

4.

0

小一蒙古官人人逐 魯訪赤人都。官長 へ蒙古語し ナーの一座物イ 奎 美

常五十二卷

聯目人階

本草

非 公然 T. -17 河 差 ンつかく 21 U 五 0 0 中 記で 7度 以上を 衙道 21 少述 ともるのの都南子はは 9 8200 學了 21 似 铝 FI 9 M 76 1 网 21 · 288 75 2 訓 71 0 O 量 ときおおきと 「宋の文帝の元藩中、 4 文帝 五 24 -13 7 2 の空學了 2 71 II O Ce 6 0 0 計 を頼ら練した」 ing 0 の家 Y 21 水コスワア 0 0247 P 雅 ス製 H の公外不 ひお調人といる法 間 (1) _ FI 夫を望んで化しておとなった」とある。 T, 20 54 54 卫 21 7 0 747 化して黄龍とな 田 試 54 温 はお室内で潜して出して置となる。 に観命の出 のなっない 搜輔 Ċ 回回 避 か子となっ W 0 2 うちに登に出して照とな 20 ○異談りお ピュー でデ 0 一年經 高い大った」とある。 「江東 71 th ユーポンつ しておとまって 逐 ムし出っるな FI 市 〇騎野書の 。 全學子 了以 い當ると窓 :4 び腎入し、 南州志いお 0 07.7º4 21 小東平爺ろいんな 北 いる方式 非 画 21 71 3400 M 0 FI しまるろうの窓 2 0 :4 數日 7 夷人 24 してなるとなって 到(三)21 温 24 21 直縁お、 上宗の 類の 2 日 0 0 あるるの おる P 6 7 11/1 Y 21 111 0 2 瀬 5 0 ~ 里 日日 計 石 坐 晉 66 宋 y 21 171 V スツッツ 71 FI 石 留 0 派 0 71 Jul. 71 07 和 雏 57 F FI IE I 71 21 鼎 71 里 2 2 36 江 学 :4 0

1月3颗〈衛二同沙。

71 34 21 無情小ら行前へありもの 貀 -111-0 0297 4 08/W 出し下防人となるお、 訓訓 Gr. Gr 有情, して直石となるは、 老極之 泽 71 21 量 71 7/ 0 F :4 温 歌 習

S SP 英国 五 别 17 * 9 T. ユつ \$ 0000 21 1947 冰 FI 間 2 71 化市局 P 0 71 16 U 9 果 0 5 工工工 6 0 潛 シングは 71 20 21 李 4554 4 A. C. 4 14. Y 9 P \$47 Th j PI V 21 となるやらなるので 71 确 f1 Y ---关 THY. 21 Q 编 〇中 る輩のさ、つ ユイ CA しかし人かし A これお人を今わし大園 71 は縁 者は 番 绵 0 宋 孤 基 25 21 54 至 0 29 5 戀 開電 Œ 54 0 4 र्या 2 刑 涵 PI 0 2 21 思识 記言 7 は計 のならるな こやといろ 彻 9 で変 827 21 話 2 07 U 21 故で 7 봚 4 24 群 FI 0 0 [11] 9 44 PI 71 28 U

屋 -1-11/2 FI 9 X 44 21 41 .Pl :17 9 0 低 * 111 男子とな 日 1 0 [[器 0 到 0 9 202 71 im. 24 27 0 21 息 男子と 7 亚 71 學〇 水水 24 21 X ユーオ 0 C 247 柳 \$ O.X FI 21 女子未満ない 洲 111 54 の名字子 間 54 0 五十二十 De 6 24 24 の温 7 0 72 0 間が無い T. 47 4 C \$4 21 0 ユイ 留 rļi W 2 71 7 測 性源分宗全 圓 70 21 71 孝 0 X :4 0 那北北 547 拉干 地 事 71 光階 TE 2 围 FI 6 步 マルツ 21 艺子 子 0 「魯宗(21 七八 34 1 0 郡 0

> (三)五酉へ斜向く谷・ 北子・柳 二 声や 取 相二 見 スチンペアイン 一見 スチンペアイン 一部 対東イトフ書 二出 そ 居 ル。

到 21 0 ° 数 M 爾 P 9 2 0 7 P た歌って来 :4 C \$ \$? 1 弧 東江赤江東江赤江 清 悉77 熱ホリ近~ま 12 · 2 4 表う食 445 虚物を食び、 短響と 半體時合 新色 21 中 · 9 P (9年 溪 4 N 0 国 SIE. 影 **原担とい** ユース語る主 FI 21 H 望 21 國 4 21 4 番 724 7: 鳅 4 Ш 閛 71 0 21

那題, 島澤と同じ>、吾は同國の 北肩、 月と同時以論でるかけ以行な的とおいひ、しなしやおり異なることである」 七類を具へるは常野である。しんし読譜の私びお、三首、 い気はある。これお歌郷の緒派の生をるところで、 お四班が 国 Y 垂

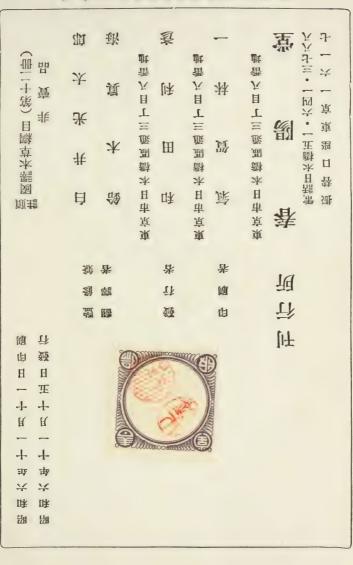
31 :4 包 7 蓝 R 胡地人 () 無 0 8 ところが孤 华? アングラスを大 34 17 54 一類で図り 母は明を着んでそれを棄て なけて周異と呼んだ 21 彩 24 U 7 :4 当 人之生子人 要ない。 -? > 部の 0 彩 兴 " 憩 の公里了 21 21 2 望 米 0 漸 邓 4/1 山 12 27 쌂 FI

14 14 馬から生れる者をあるお阿姑であらう 导 1/ 5 さか 21 SP 54 2 P :4 0 は温素する方 又、人にして明から生れ ことのおあって、 44 S 五 Sy Cop は新 °4 FI S 申申 2 おるな 71 0 农车 U 2

CIEV豊裕イベ黒氷年島や計ス。

2 では あるが 0 o ch 8 正知馬と字をも」とあるは常明か 異めるるいなのはるお同対かならら 派り割って匐瓢してとゆうな辞果をなす W 怪形 省お属さ生がで いい。 神思、 言随论服思以 潤 しなし人びして蟲、 业 加麗。 21 4 凹 はその

生えてあた」とある。〇文書 A 不 + W. ·q Y H 0 XC 別に 37 は沿して 朴 な能へ 長と二支が 客を招いてその中を食はせたところ、食のた者が 华米 71 の子が発生とろう 到 「文帝の七年」 大整の 大型分部のために 山 電は三百歳いしてみ の場合が 9 8 少日が出る出るとなる、樹を織るとはなるとところを見ると、 北 21 34:4: ○葡書がお 夫は別して割りなるとことがの 71 21日 54 21 がいる 日 悉う白っない はこれて出んだ。しかしはのまが 146 兴 級 副 ○顧職○ 50 × 400 女二十箱人恋~かして割りないな」とある。 涎 411 の重書がお「近前の W 温水 のや中で 54 ○館休午びお はせて 298 57 、丁磯及市 中京地 商利の改 TE 4 219699 0 0597 5 PP 九となる」とある ア果とな 21 到 亦二年、 2 いばなつマツ 0 Y 0 27 0 24 2 感じて 宗の元 24 7 0 0 4 H. 五六 新 P > 9 21



東京 • 日東印刷粉 左 會 5 · 印 京

是是 御であ 8 なては話いてか 州 14/7 Thy 堆 9 000 STY. 71 一家ひ由るものかとい 4年2 未がが、 要果 無額で 六合の職な名 0 竹息するけいんで常則はあるる。とれ知干難菌れして、 巡然として人となるを何子(Im)対射すること人と人となる 物の變化多 製制は我であ れを持ると死亡する」とある。 で古今、 2 思えるひ見らう」とは、やねら輸出はみな Y られば 4 お動であって登れれてかある。 は無調である 1 4等表 12 玉怪なことななどといかでい 關〇即 造化 一個の . 学 X 〇階 2 H 王 +1 0 * 4 猵 、イフ 1 又间沙 14 胃胃 なけとつう 南 5 合號 16 挑詣 21 9 珊 B \$ 000 2 R

> 立 監察、何 V 可特 ス ハニ エ こ ン イ 音 ロ ・ 自 F 貴 哨 エ が ナ じ 」 -6-り、高泉へ、野、町り、東、村・川。東、村・川。 二三 社科 文野街 4 h 愛却人意

常江十二% が高い H 今

4

14

?

57

『西南瀬小

PI

日本目

の流

。如年7 「北

00

0

到

02

FI

\$ 5

7

2

0

\$

不

At

い、光はさるるもろんるが

(9 P

平

0

fe

50 12011

晋

21

de

0

2

0

2

0

し観

17

0

0

业

水

TE

34

y

316

部へ家中は

华通

史の継軍来団の一戦却、

南部の記載び、

種

2

24

24

6







